令和元年度実施
西東京市の障害者福祉に関する調査報告書

令和２年３月

西東京市

目次

Ⅰ. 調査概要 3

1. 調査の目的 3
2. 調査対象および方法、回収状況 3
3. 調査内容 4
4. 報告書の見方 8

Ⅱ. 調査結果 ～障害者調査～ 10

1. 対象者について 10
2. 障害について 28
3. 日常生活について 54
4. 就労について 78
5. 相談支援や情報入手について 92
6. 福祉サービスについて 114
7. 西東京市について 152

Ⅲ. 調査結果 ～障害児調査～ 164

1. 対象者について 164
2. 障害について 182
3. 日常生活について 202
4. 幼稚園や保育所、学校での生活について 216
5. 相談支援や情報入手について 232
6. 福祉サービスについて 248
7. 西東京市について 284

Ⅳ. 調査結果 ～施設入所者調査～ 296

1. 事業所の概要 296
2. 施設入所に関するニーズの変化 301
3. 施設入所者の地域移行の状況 305
4. 事業所における質の向上に関する取組 313

Ⅴ. ヒアリング 328

1. ヒアリングの目的 328
2. ヒアリング対象および方法、実施日 328
3. ヒアリング内容 329
4. 団体ヒアリング結果 330
5. 事業所ヒアリング結果 332

Ⅵ. 資料編 338
1. 障害者調査票 338
2. 障害児調査票 398
3. 施設入所に関する調査票 408

Ⅰ　調査概要

Ⅰ. 調査概要

１. 調査の目的

令和２年度に『第５期西東京市障害福祉計画・第１期西東京市障害児福祉計画』を見直し、令和３年度～５年度を計画期間とする第６期西東京市障害福祉計画・第２期西東京市障害児福祉計画の策定に向けて、市内に在住する障害者および障害児などの生活状況、福祉サービスの利用状況及び今後の意向を把握し、次期計画に必要となる障害福祉・障害児福祉施策の現状把握のための基礎資料を作成することを目的として実施しました。

２. 調査対象および方法、回収状況

① 市民向け調査

対象地域：西東京市在住の市民

抽出方法：調査対象に該当する母集団から無作為抽出

調査期間：令和元年 10 月 11 日（金）～令和元年 10 月 27 日（日）

調査方法：郵送配布、郵送回収

※発達障害者の方には関係機関に来所した際、調査協力に賛同した者のみに配布し、郵送回収。

対象種別による対象者、発送数は以下の表の通り。

番号	対象種別	対象者	発送数	回収数	回収率
01	身体障害者調査	身体障害者手帳所持者	910 人	427 件	46.9%
02	知的障害者調査	愛の手帳（療育手帳）所持者	215 人	101 件	47.0%
03	精神障害者調査	精神障害者保健福祉手帳所持者	240 人	77 件	32.1%
04	自立支援医療費制度受給者調査	自立支援医療（精神通院）を受けている方	100 人	40 件	40.0%
05	難病患者調査	難病医療費等助成対象疾病を患っている方	200 人	95 件	47.5%
06	発達障害者調査	発達障害と診断されたことがある方	50 人	1 件	2.0%
07	児童調査	障害者手帳を持っている、自立支援医療（精神通院）を受けている、難病医療費等の助成対象となっている児童・児童の保護者	300 人	128 件	42.7%
合計			2,015 人	869 件	43.1%

※発達障害者調査については、回収数が少なく、統計的な有意性を担保できないことから、障害種別による結果を割愛しています。なお、調査全体集計には反映されています。

② 事業所向け調査
対象地域：西東京市から施設入所支援の決定を受けた方が入所している市内外の障害者施設
抽出方法：調査対象に該当する母集団から無作為抽出
調査期間：令和元年 10 月 11 日（金）～令和元年 10 月 27 日（日）
調査方法：郵送配布、郵送回収

対象種別による対象者、発送数は以下の表の通り。

番号	対象種別	対象者	発送数	回収数	回収率
08	施設入所者調査	西東京市から支援決定を受けた方が入所している障害者施設	50 件	36 件	72.0%
合計			50 件	36 件	72.0%

3. 調査内容

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援	難病	発達障害	児童	施設入所
調査票記入者	単一	問 1	問 1	問 1	問 1	問 1	問 1	問 1	―
年齢	単一	問 2	問 2	問 2	問 2	問 2	問 2	問 2	―
暮らしている場所	単一	問 3	問 3	問 3	問 3	問 3	問 3	問 3	―
バリアフリー対応	単一	問 4	問 4	問 4	問 4	問 4	問 4	問 4	―
同居者	複数	問 5	問 5	問 5	問 5	問 5	問 5	問 5	―
同居者の方の状況	複数	問 6	問 6	問 6	問 6	問 6	問 6	問 6	―
介護・支援者	単一	問 7	問 7	問 7	問 7	問 7	問 7	問 7	―
介護・支援者の年齢	単一	問 8	問 8	問 8	問 8	問 8	問 8	問 8	―
暮らしの状況	単一	問 9	問 9	問 9	問 9	問 9	問 9	問 9	―
障害について	複数	問 10	問 10	問 10	問 10	問 10	問 10	問 10	―
身体障害者手帳記載障害名	複数	問 11	―	―	―	―	―	問 12	―
障害に気づいた年齢	単一	問 12	問 12	問 12	問 11	問 11	問 12	問 11	―
愛の手帳の程度	単一	―	問 11	―	―	―	―	―	―
精神障害者手帳の程度	単一	―	―	問 11	―	―	―	―	―
発達障害の診断内容	複数	―	―	―	―	―	問 11	問 13	―
自宅での医療的ケア	複数	問 13	問 13	問 16	問 15	問 14	問 15	問 14	―
体調の変化から医療機関まで	単一	―	―	問 13	問 12	―	―	―	―
通院頻度	単一	―	―	問 14	問 13	問 12	―	―	―
通院で困ったこと	複数	―	―	問 15	問 14	問 13	―	―	―

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援	難病	発達障害	児童	施設入所
障害に気づいたきっかけ	単一	―	―	―	―	―	―	問 15	―
発達障害と知った時の相談先	複数	―	―	―	―	―	問 13	問 16	―
相談しなかった理由	複数	―	―	―	―	―	問 14	問 17	―
介護認定	単一	問 14	問 14	問 17	問 16	問 15	問 16	―	―
差別偏見を感じたことがあるか	単一	問 15	問 15	問 18	問 17	問 16	問 17	問 18	―
差別偏見を受けた場所	複数	問 16	問 16	問 19	問 18	問 17	問 18	問 19	―
介助が必要な動作	単一	問 17	問 17	問 20	問 19	問 18	問 19	問 20	―
平日の過ごし方	単一	問 18	問 18	問 21	問 20	問 19	問 20	―	―
外出頻度	単一	問 19	問 19	問 22	問 21	問 20	問 21	―	―
外出時の支援	単一	問 20	問 20	問 23	問 22	問 21	問 22	問 21	―
外出をためらう理由	複数	問 21	問 21	問 24	問 23	問 22	問 23	問 22	―
趣味や楽しみ	単一	問 22	問 22	問 25	問 24	問 23	問 24	―	―
趣味楽しみの内容	複数	問 23	問 23	問 26	問 25	問 24	問 25	問 23	―
参加させたいと思う活動	複数	問 24	問 24	問 27	問 26	問 25	問 26	問 24	―
収入に伴う仕事をしている	単一	問 25	問 25	問 28	問 27	問 26	問 27	―	―
仕事形態	単一	問 26	問 26	問 29	問 28	問 27	問 28	―	―
就職のための支援サポート	複数	問 27	問 27	問 30	問 29	問 28	問 29	―	―
仕事で困っていること	複数	問 28	問 28	問 31	問 30	問 29	問 30	―	―
働かない理由	単一	問 29	問 29	問 32	問 31	問 30	問 31	―	―
今後の就労意向	単一	問 30	問 30	問 33	問 32	問 31	問 32	―	―
障害者が働くために必要なこと	複数	問 31	問 31	問 34	問 33	問 32	問 33	問 30	―
学校などの種類	単一	―	―	―	―	―	―	問 25	―
学校などの生活で困っていること	複数	―	―	―	―	―	―	問 26	―
頻度の多い過ごし方	単一	―	―	―	―	―	―	問 27	―
放課後の過ごし方	複数	―	―	―	―	―	―	問 28	―
卒業後日中どのように過ごしたいか	単一	―	―	―	―	―	―	問 29	―

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援	難病	発達障害	児童	施設入所
悩みや将来についての相談	単一	問 32	問 32	問 35	問 34	問 33	問 34	問 31	―
家族以外の相談先	複数	問 33	問 33	問 36	問 35	問 34	問 35	―	―
家族以外に相談したいこと	複数	問 34	問 34	問 37	問 36	問 35	問 36	問 32	―
生活に必要な情報入手できているか	単一	問 35	問 35	問 38	問 37	問 36	問 37	問 33	―
福祉サービス情報の入手先	複数	問 36	問 36	問 39	問 38	問 37	問 38	問 34	―
コミュニケーションをとる際に困ること	複数	問 37	問 37	問 40	問 39	問 38	問 39	―	―
対応しやすいコミュニケーション手段	複数	問 38	問 38	問 41	問 40	問 39	問 40	―	―
フレンドリーを知っているか	単一	問 39	問 39	問 42	問 41	問 40	問 41	問 35	―
次の福祉施設を知っているか	単一	問 40	問 40	問 43	問 42	問 41	問 42	問 36	―
西東京市の講座や事業を知っているか	単一	問 41	問 41	問 44	問 43	問 42	問 43	問 37	―
次の福祉サービスを利用したことがあるか	複数	問 42	問 42	問 45	問 44	問 43	問 44	問 38	―
日々、福祉サービスは必要か	単一	問 43	問 43	問 46	問 45	問 44	問 45	問 39	―
福祉サービスを十分利用できているか	単一	問 44	問 44	問 47	問 46	問 45	問 46	問 40	―
十分に利用できてない理由	複数	問 45	問 45	問 48	問 47	問 46	問 47	問 41	―
２年後に必要とするサービス	複数	問 46	問 46	問 49	問 48	問 47	問 48	問 42	―
5 年後どのように暮らしたいか	単一	問 47	問 47	問 50	問 49	問 48	問 49	―	
5 年後について相談できる人	複数	問 48	問 48	問 51	問 50	問 49	問 50	―	―
地震台風で不安なこと	複数	問 49	問 49	問 52	問 51	問 50	問 51	問 43	―

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援	難病	発達障害	児童	施設入所
障害者施策に満足しているか	単一	問 50	問 50	問 53	問 52	問 51	問 52	問 44	―
自宅以外に居心地のいい場所	単一	問 51	問 51	問 54	問 53	問 52	問 53	問 45	―
具体的な場所	自由	問 52	問 52	問 55	問 54	問 53	問 54	問 46	―
障害者施策で充実させること	複数	問 53	問 53	問 56	問 55	問 54	問 55	問 47	―
ご意見・ご要望	自由	問 54	問 54	問 57	問 56	問 55	問 56	問 48	―
事業所の対象者	複数	―	―	―	―	―	―	―	問 1
事業開始年度	単一	―	―	―	―	―	―	―	問 2
定員・利用者数	数値	―	―	―	―	―	―	―	問 3
ニーズの変化	単一	―	―	―	―	―	―	―	問 4
ニーズに対応するための対策	単一	―	―	―	―	―	―	―	問 5
事業継続について	単一	―	―	―	―	―	―	―	問 6
サービス提供する上の課題	自由	―	―	―	―	―	―	―	問 7
事業所から地域生活に移行した人	単一	―	―	―	―	―	―	―	問 8
地域生活に移行した人の生活拠点	複数	―	―	―	―	―	―	―	問 9
地域生活に移行する際工夫している事	複数	―	―	―	―	―	―	―	問 10
移行の際の課題	自由	―	―	―	―	―	―	―	問 11
地域生活への移行を考えている方	単一	―	―	―	―	―	―	―	問 12
地域生活への移行ができる可能性	数値	―	―	―	―	―	―	―	問 13
地域生活の移行先	複数	―	―	―	―	―	―	―	問 14
地域生活への移行の課題	複数	―	―	―	―	―	―	―	問 15
障害者の虐待防止マニュアルがあるか	単一	―	―	―	―	―	―	―	問 16
障害者の虐待防止研修があるか	単一	―	―	―	―	―	―	―	問 17
ニーズを把握するための取組	自由	―	―	―	―	―	―	―	問 18

設問	回答形式	身体障害	知的障害	精神障害	自立支援	難病	発達障害	児童	施設入所
組織と連携した取り組み	単一	―	―	―	―	―	―	―	問 19
差別や偏見を受けたことがあるか	単一	―	―	―	―	―	―	―	問 20
抱えている問題に対して実施している事	自由	―	―	―	―	―	―	―	問 21

4. 報告書の見方

・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0%にならない場合もあります。
・複数回答の場合、回答の合計比率が 100.0%を超える場合があります。
・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が 0 の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化してある場合があります。
・図表のタイトル及び回答の選択肢等は、簡略化して表現している場合があります。正しいタイトル等は巻末の調査票を参照してください。
・Ⅱ章以降では、以下の調査結果（図表、文章）において略称を用いています。

番号	調査票の名称		略称
01	身体障害者調査	⇒	身体
02	知的障害者調査	⇒	知的
03	精神障害者調査	⇒	精神
04	自立支援医療費制度受給者調査	⇒	自立
05	難病患者調査	⇒	難病
06	発達障害者調査	⇒	発達
07	障害児調査	⇒	児童
08	施設入所者調査	⇒	入所

Ⅱ　調査結果

～障害者調査～

Ⅱ. 調査結果　～障害者調査～

1.　対象者について

①　調査票の記入者

問　この調査票に記入される方についてお答えください。　（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	1	1	1	1	1	1

全体でみると、「本人」が 66.5%と最も高く、次いで「家族」が 21.2%、「宛名シールの本人の回答を聞いた代理の方」が 4.3%の割合となっている。

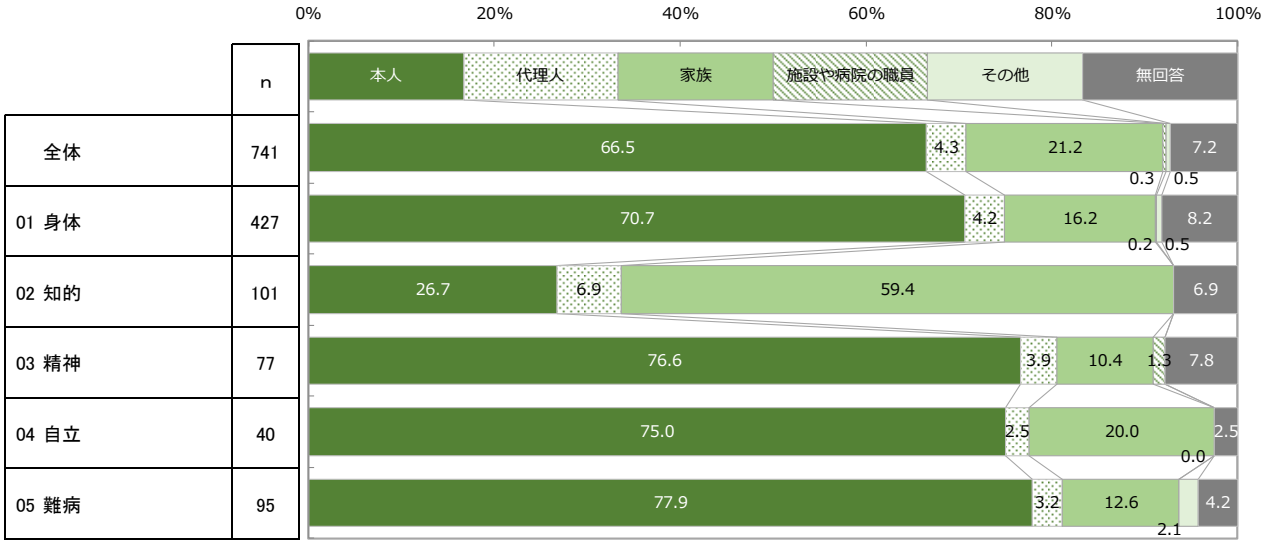
障害種別でみると、知的では「本人」による記入が 26.7%と低く、一方で「家族」による記入が 59.4%となっている。

属性別でみると、世帯構成別では、『ひとり暮らし』は「本人」が 90.4%となっているが、『核家族世帯』や『三世代世帯』など他の家族と同居している場合は「本人」の割合が低くなる。

サービス利用別では、『利用している』場合は、『利用していない』に比べて「本人」が低くなり、一方で「家族」の割合が高くなっている。

特徴的な状態別では、『視覚障害がある』場合は、他に比べて「本人」の割合が低く 34.5%となっている。

【障害種別の集計】



	n	本人	代理人	家族	施設や病院の職員	その他	無回答
全体	741	66.5	4.3	21.2	0.3	0.5	7.2
01 身体	427	70.7	4.2	16.2	0.2	0.5	8.2
02 知的	101	26.7	6.9	59.4			6.9
03 精神	77	76.6	3.9	10.4	1.3		7.8
04 自立	40	75.0	2.5	20.0		0.0	2.5
05 難病	95	77.9	3.2	12.6	2.1		4.2

【属性別の集計】

		調査数	宛名シールの本人	宛名シールの本人の回答を聞いた代理の方	家族（本人の立場に立って記入）	施設や病院の職員（本人の立場に立って記入）	その他の方（本人の立場に立って記入）	無回答
全体		741	66.5	4.3	21.2	0.3	0.5	7.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	34.0	6.0	54.0	0.0	0.0	6.0
	30～39歳	47	63.8	4.3	31.9	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	82	67.1	6.1	20.7	0.0	0.0	6.1
	50～59歳	102	81.4	1.0	14.7	0.0	0.0	2.9
	60～64歳	37	70.3	2.7	21.6	0.0	0.0	5.4
	65～69歳	77	74.0	3.9	14.3	2.6	0.0	5.2
	70歳以上	330	67.6	5.2	18.2	0.0	1.2	7.9
世帯構成	ひとり暮らし	146	90.4	2.1	2.7	0.0	0.0	4.8
	核家族世帯	478	66.3	5.0	21.1	0.2	0.4	6.9
	三世代世帯	62	54.8	3.2	37.1	0.0	0.0	4.8
	その他の世帯	42	16.7	7.1	66.7	2.4	4.8	2.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	62.8	4.1	27.2	0.7	0.3	4.8
	障害者手帳所持者がいる	103	52.4	6.8	29.1	1.0	1.0	9.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	69.2	7.7	23.1	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	62.8	7.0	25.6	2.3	0.0	2.3
	あてはまらない	125	67.2	4.8	22.4	0.0	0.8	4.8
介助者の年齢	19歳以下	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	62.5	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	155	63.2	7.7	26.5	0.0	1.3	1.3
	60歳代	99	58.6	4.0	29.3	0.0	0.0	8.1
	70歳代	116	61.2	3.4	25.0	0.0	0.0	10.3
	80歳以上	73	65.8	5.5	15.1	1.4	0.0	12.3
	わからない	41	58.5	2.4	29.3	2.4	2.4	4.9
生活困窮	ゆとりがある	42	59.5	2.4	33.3	0.0	0.0	4.8
	まあまあゆとりがある	302	67.9	5.0	22.5	0.7	0.3	3.6
	やや苦しい	291	66.7	4.8	19.9	0.0	0.7	7.9
	不自由が多く、生活が苦しい	58	72.4	3.4	19.0	0.0	0.0	5.2
サービス	利用している	240	45.8	7.5	39.6	0.8	0.8	5.4
	利用していない	418	79.9	2.9	12.2	0.0	0.0	5.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	52.1	7.0	35.2	0.0	0.0	5.6
	視覚障害がある	29	34.5	10.3	37.9	0.0	3.4	13.8
	聴覚障害がある	44	68.2	0.0	18.2	0.0	0.0	13.6

② 年齢

問　あなたの年齢をお答えください。【令和元年 10 月 1 日現在】　（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	2	2	2	2	2	2

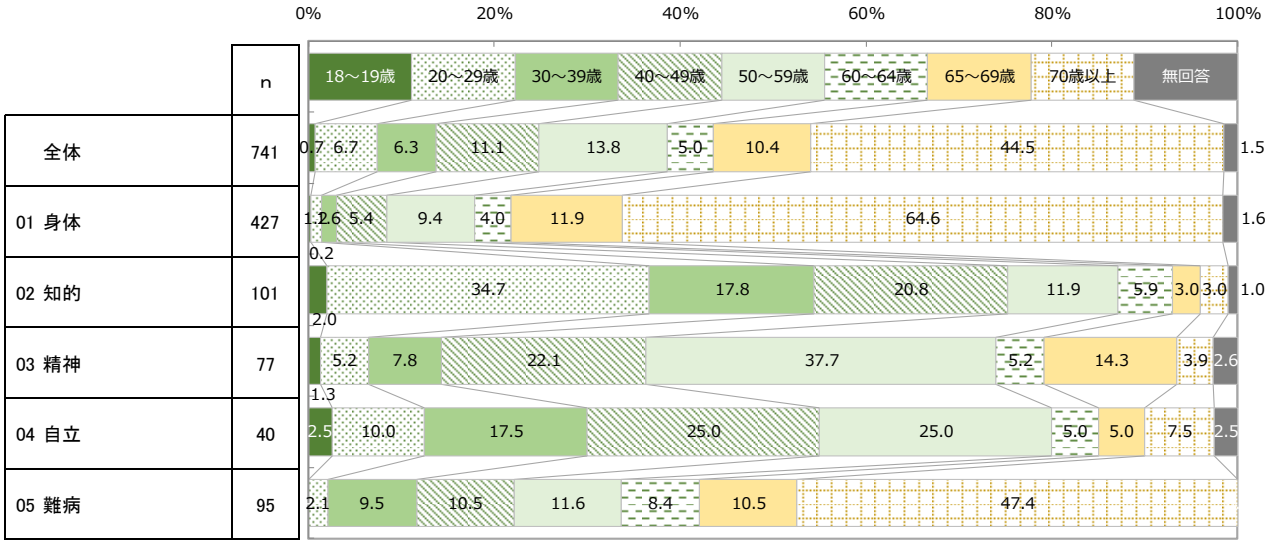
全体でみると、「70 歳以上」が 44.5%と最も高く、次いで「50～59 歳」が 13.8%、「40～49 歳」11.1%の割合となっている。

障害種別では、「70 歳以上」は身体で 64.6%、難病で 47.4%と高くなっている。一方で、知的は若い世代で多く「29 歳以下」が 36.7%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では『介助者が 60 歳代』以上と高齢になるにつれて、本人の年齢も「65 歳以上」と高齢になる傾向があり、『介助者が 70 歳代』や『介助者が 80 歳以上』の 7 割近くの本人の年齢が「70 歳以上」となっている。

生活困窮状況別では、『生活が苦しく、不自由が多い』層では、「50～59 歳」が 29.3%と最も高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
全体		741	0.7	6.7	6.3	11.1	13.8	5.0	10.4	44.5	1.5 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	47	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	82	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	102	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～64歳	37	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	77	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	70歳以上	330	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
世帯構成	ひとり暮らし	146	0.0	1.4	2.1	9.6	17.1	2.7	16.4	50.7	0.0
	核家族世帯	478	1.0	7.5	8.2	11.9	14.0	5.6	8.2	43.3	0.2
	三世代世帯	62	0.0	12.9	4.8	11.3	8.1	6.5	9.7	45.2	1.6
	その他の世帯	42	0.0	9.5	4.8	9.5	9.5	4.8	16.7	45.2	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	0.0	3.4	5.2	13.1	9.3	5.9	8.3	54.1	0.7
	障害者手帳所持者がいる	103	0.0	8.7	5.8	12.6	15.5	2.9	6.8	46.6	1.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	0.0	53.8	23.1	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	0.0	9.3	4.7	14.0	14.0	4.7	4.7	48.8	0.0
	あてはまらない	125	1.6	15.2	9.6	10.4	16.8	8.8	8.0	29.6	0.0
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	0.0	8.3	12.5	8.3	29.2	4.2	16.7	20.8	0.0
	40～59歳	155	1.9	16.1	6.5	6.5	15.5	7.1	5.2	41.3	0.0
	60歳代	99	0.0	8.1	12.1	7.1	7.1	9.1	28.3	28.3	0.0
	70歳代	116	0.0	0.0	1.7	16.4	2.6	1.7	7.8	69.0	0.9
	80歳以上	73	1.4	0.0	1.4	4.1	19.2	0.0	4.1	69.9	0.0
	わからない	41	0.0	2.4	2.4	12.2	17.1	2.4	14.6	48.8	0.0
生活困窮	ゆとりがある	42	4.8	16.7	7.1	7.1	19.0	4.8	7.1	33.3	0.0
	まあまあゆとりがある	302	0.0	6.6	7.0	9.9	11.9	4.6	8.6	51.0	0.3
	やや苦しい	291	0.7	6.2	6.5	13.1	11.0	5.8	12.4	42.3	2.1
	不自由が多く、生活が苦しい	58	1.7	3.4	6.9	15.5	29.3	1.7	15.5	24.1	1.7
サービス	利用している	240	0.4	16.3	6.7	13.3	11.3	4.6	7.5	39.2	0.8
	利用していない	418	1.0	2.2	6.9	9.8	15.6	5.0	12.7	45.7	1.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	0.0	5.6	0.0	9.9	18.3	2.8	12.7	50.7	0.0
	視覚障害がある	29	0.0	3.4	10.3	0.0	3.4	6.9	3.4	72.4	0.0
	聴覚障害がある	44	0.0	0.0	0.0	2.3	9.1	2.3	6.8	79.5	0.0

③ 暮らしている場所

問　あなたは、現在どこで暮らしていますか。（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	3	3	3	3	3	3

全体でみると、「持ち家」58.4%と最も高く、次いで「賃貸住宅」28.6%、「グループホーム・福祉ホーム」4.2%となっている。

障害種別でみると、「持ち家」は身体・自立・難病で半数を超えており、知的・精神では下回っている。知的では「グループホーム・福祉ホーム」が 18.8%と高く、精神では「賃貸住宅」が 40.3%と他に比べて高い傾向にある。

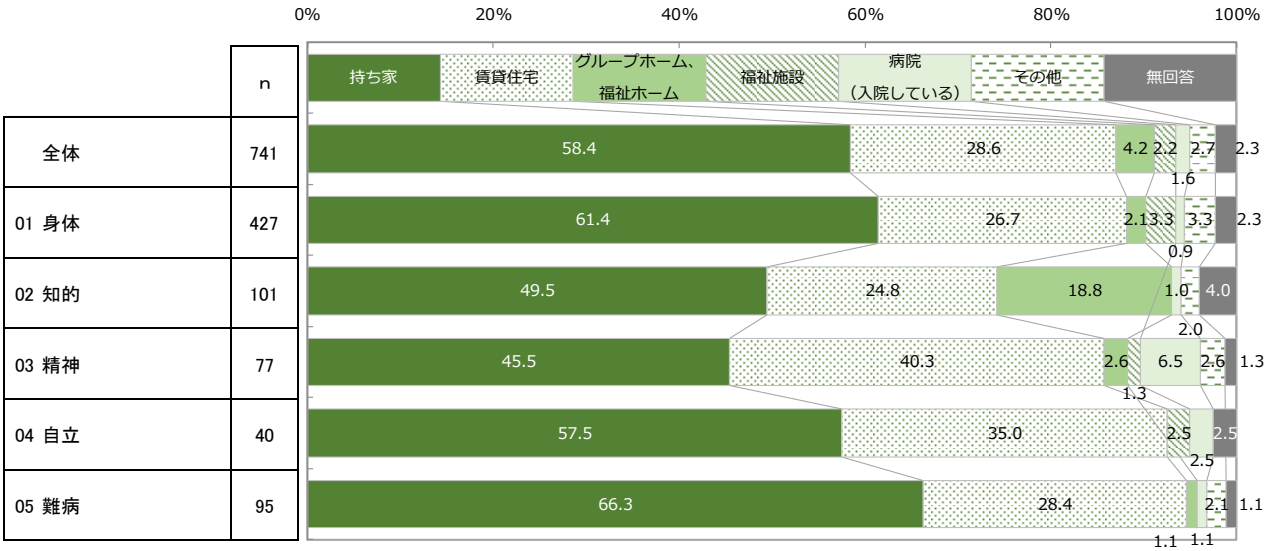
属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高齢になるほど「持ち家」の割合が少なくなっているが、『70 歳以上』に関しては「持ち家」が 68.8%と高くなっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では 54.8%が「賃貸住宅」となっている反面、『核家族世帯』や『三世代世帯』では「持ち家」が 7 割を超えている。

生活困窮状況別では、生活にゆとりがある層ほど「持ち家」の割合が高く 7 割を超えている。一方で、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、「持ち家」は 34.5%となっており、「賃貸住宅」が 50.0%となっている。

特徴的な状態別では、『視覚障害がある』では他に比べて「持ち家」の割合が低く 37.9%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	持ち家（分譲マンションを含む）	賃貸住宅（アパート・マンション・借家）	グループホーム、福祉ホーム	福祉施設（障害者・高齢者支援施設）	病院（入院している）	その他	無回答
全体		741	58.4	28.6	4.2	2.2	1.6	2.7	2.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	54.0	34.0	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0
	30～39歳	47	63.8	25.5	6.4	0.0	0.0	2.1	2.1
	40～49歳	82	52.4	34.1	6.1	0.0	4.9	2.4	0.0
	50～59歳	102	49.0	42.2	5.9	0.0	2.0	1.0	0.0
	60～64歳	37	45.9	40.5	5.4	0.0	0.0	5.4	2.7
	65～69歳	77	45.5	36.4	5.2	2.6	3.9	5.2	1.3
	70歳以上	330	68.8	20.6	2.1	4.2	0.9	2.7	0.6
世帯構成	ひとり暮らし	146	35.6	54.8	2.1	1.4	1.4	4.8	0.0
	核家族世帯	478	70.1	25.7	0.2	0.0	1.0	1.7	1.3
	三世代世帯	62	74.2	9.7	6.5	0.0	1.6	6.5	1.6
	その他の世帯	42	0.0	2.4	54.8	28.6	9.5	2.4	2.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	69.0	20.7	3.8	1.7	1.0	2.4	1.4
	障害者手帳所持者がいる	103	52.4	27.2	11.7	4.9	1.9	1.9	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	61.5	30.8	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	55.8	23.3	7.0	9.3	2.3	2.3	0.0
	あてはまらない	125	72.0	22.4	0.8	0.0	1.6	2.4	0.8
介助者の年齢	19歳以下	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	33.3	37.5	20.8	4.2	0.0	4.2	0.0
	40～59歳	155	62.6	24.5	7.1	1.9	0.6	2.6	0.6
	60歳代	99	58.6	31.3	4.0	0.0	4.0	1.0	1.0
	70歳代	116	69.0	21.6	0.0	1.7	1.7	3.4	2.6
	80歳以上	73	68.5	24.7	2.7	0.0	1.4	2.7	0.0
	わからない	41	9.8	48.8	17.1	14.6	4.9	4.9	0.0
生活困窮	ゆとりがある	42	71.4	11.9	9.5	2.4	0.0	2.4	2.4
	まあまあゆとりがある	302	72.2	15.6	6.3	2.0	0.7	2.0	1.3
	やや苦しい	291	47.8	40.9	2.4	2.1	1.4	3.1	2.4
	不自由が多く、生活が苦しい	58	34.5	50.0	0.0	1.7	5.2	6.9	1.7
サービス	利用している	240	53.8	27.5	10.8	3.3	1.3	1.7	1.7
	利用していない	418	62.7	28.9	0.5	1.2	1.2	3.6	1.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	53.5	31.0	7.0	1.4	2.8	4.2	0.0
	視覚障害がある	29	37.9	37.9	3.4	6.9	3.4	10.3	0.0
	聴覚障害がある	44	63.6	22.7	4.5	2.3	4.5	2.3	0.0

④ バリアフリー対応

問　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	4	4	4	4	4	4

全体でみると、「全くされていない」が 40.4%と最も高く、次いで「一部がバリアフリー化されている」34.3%、「全体がバリアフリー化されている」14.8%の割合となっている。

障害種別でみると、知的・精神・自立では「全くされていない」が 4 割を超えている。一方で、難病は「全体がバリアフリー化されている」「一部がされている」の合計が 56.8%となっており、身体（52.7%）に比べて高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、40 歳以上になると「全くされていない」の割合は減少しており、『70 歳以上』では 34.8%となっている。

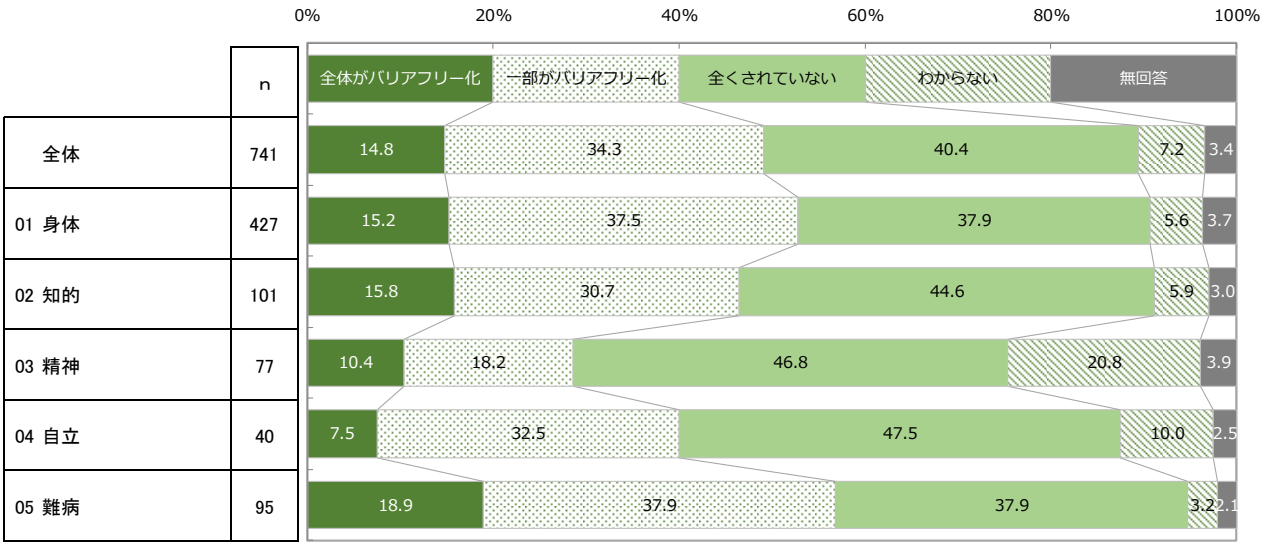
世帯構成別では、「全くされていない」は『ひとり暮らし』で最も高く 43.8%となっており、多世代になるほどバリアフリー化の状況が改善されている。

生活困窮状況別では、生活状況が苦しくなるにつれて「全くされていない」の割合が高くなっており、『不自由が多く、生活が苦しい』層では 58.6%となっている。

サービス利用別では、『サービスを利用している』は「全くされていない」が高い傾向にある。

特徴的な障害別では、『視覚障害がある』では「全くされていない」は 41.4%となっており、他に比べても高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	全体がバリアフリー化されている	一部がバリアフリー化されている	バリアフリー化が全くされていない	わからない	無回答
全体		741	14.8	34.3	40.4	7.2	3.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	10.0	32.0	46.0	10.0	2.0
	30～39歳	47	12.8	31.9	44.7	10.6	0.0
	40～49歳	82	12.2	24.4	53.7	8.5	1.2
	50～59歳	102	9.8	32.4	49.0	5.9	2.9
	60～64歳	37	21.6	32.4	40.5	2.7	2.7
	65～69歳	77	10.4	35.1	39.0	13.0	2.6
	70歳以上	330	18.5	39.1	34.8	5.5	2.1
世帯構成	ひとり暮らし	146	11.6	30.8	43.8	11.6	2.1
	核家族世帯	478	12.6	36.4	43.1	5.6	2.3
	三世代世帯	62	14.5	46.8	32.3	3.2	3.2
	その他の世帯	42	52.4	14.3	16.7	16.7	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	13.8	35.5	41.7	6.2	2.8
	障害者手帳所持者がいる	103	20.4	28.2	36.9	13.6	1.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	7.7	46.2	38.5	7.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	18.6	39.5	30.2	9.3	2.3
	あてはまらない	125	11.2	42.4	39.2	6.4	0.8
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	29.2	20.8	41.7	8.3	0.0
	40～59歳	155	17.4	41.3	34.8	5.2	1.3
	60歳代	99	9.1	38.4	41.4	8.1	3.0
	70歳代	116	14.7	37.9	41.4	5.2	0.9
	80歳以上	73	11.0	39.7	37.0	9.6	2.7
	わからない	41	26.8	19.5	29.3	24.4	0.0
生活困窮	ゆとりがある	42	28.6	33.3	31.0	7.1	0.0
	まあまあゆとりがある	302	17.2	39.7	34.1	7.0	2.0
	やや苦しい	291	10.0	33.3	46.0	7.6	3.1
	不自由が多く、生活が苦しい	58	13.8	17.2	58.6	6.9	3.4
サービス	利用している	240	17.1	37.5	35.0	7.9	2.5
	利用していない	418	13.4	34.0	44.3	6.7	1.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	22.5	35.2	32.4	7.0	2.8
	視覚障害がある	29	20.7	20.7	41.4	10.3	6.9
	聴覚障害がある	44	11.4	40.9	36.4	9.1	2.3

⑤ 同居者

問　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	5	5	5	5	5	5

全体でみると、「配偶者」が 41.8%と最も高く、次いで「子ども」22.4%、「母親」20.5%の割合となっている。

障害種別でみると、身体・難病は同居者の中で「配偶者」の割合が高く、身体では 52.2%、難病で 60.0%となっている。また、知的・精神・自立では「父親」「母親」との同居が高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『49 歳』までは「父親」「母親」との同居が高くなっており、『50 歳』以上では「配偶者」や「子ども」の割合が高くなっている。

介助者の年齢別では、『介助者が 70 歳以上』での「配偶者」との同居が約 7 割となっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では 39.7%が「ひとり暮らし」となっており、「配偶者」との同居率も他に比べて低く 24.1%となっている。

特徴的な状態別では、「ひとり暮らし」の割合は『医療的ケア』『視覚障害』『聴覚障害』で大きな差はなく、約２～３割となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	ひとり暮らしをしている	配偶者（夫、妻）・パートナー	子ども	子どもの配偶者・パートナー	父親	母親	祖父	祖母	兄弟・姉妹	親戚	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
全体		741	19.7	41.8	22.4	3.4	15.0	20.5	0.5	0.7	8.2	0.3	5.7	1.8	1.8 (%)
障害種別	身体	427	21.3	52.2	27.2	4.9	4.7	6.8	0.2	0.2	3.5	0.2	4.4	1.9	1.9
	知的	101	2.0	2.0	5.0	0.0	55.4	69.3	2.0	4.0	32.7	1.0	18.8	1.0	1.0
	精神	77	26.0	22.1	10.4	0.0	26.0	37.7	1.3	0.0	5.2	0.0	1.3	5.2	3.9
	自立	40	30.0	27.5	17.5	0.0	22.5	37.5	0.0	0.0	17.5	0.0	2.5	0.0	2.5
	難病	95	21.1	60.0	31.6	4.2	6.3	9.5	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0

【属性別の集計】

		調査数	ひとり暮らしをしている	配偶者（夫、妻）・パートナー	子ども	子どもの配偶者・パートナー	父親	母親	祖父	祖母	兄弟・姉妹	親戚	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
全体		741	19.7	41.8	22.4	3.4	15.0	20.5	0.5	0.7	8.2	0.3	5.7	1.8	1.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	4.0	2.0	0.0	0.0	70.0	86.0	6.0	8.0	50.0	0.0	10.0	2.0	0.0
	30～39歳	47	6.4	31.9	21.3	0.0	40.4	55.3	0.0	0.0	10.6	0.0	6.4	0.0	0.0
	40～49歳	82	17.1	23.2	17.1	0.0	42.7	46.3	1.2	1.2	18.3	1.2	6.1	1.2	0.0
	50～59歳	102	24.5	40.2	28.4	1.0	11.8	24.5	0.0	0.0	2.9	1.0	3.9	2.9	1.0
	60～64歳	37	10.8	54.1	24.3	0.0	10.8	27.0	0.0	0.0	13.5	0.0	5.4	2.7	0.0
	65～69歳	77	31.2	46.8	14.3	1.3	0.0	2.6	0.0	0.0	5.2	0.0	5.2	5.2	1.3
	70歳以上	330	22.4	53.6	28.2	7.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0	5.8	0.9	0.6
世帯構成	ひとり暮らし	146	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	核家族世帯	478	0.0	60.5	30.5	0.0	20.7	26.8	0.0	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	三世代世帯	62	0.0	33.9	32.3	40.3	19.4	38.7	6.5	8.1	30.6	3.2	9.7	11.3	0.0
	その他の世帯	42	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	0.0	57.2	17.6	3.1	21.7	30.3	1.4	1.7	11.4	0.7	5.5	1.7	0.0
	障害者手帳所持者がいる	103	0.0	46.6	32.0	3.9	17.5	23.3	1.0	0.0	10.7	1.0	17.5	3.9	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	84.6	92.3	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	0.0	41.9	23.3	7.0	25.6	32.6	2.3	0.0	18.6	0.0	18.6	4.7	0.0
	あてはまらない	125	0.0	49.6	44.0	5.6	20.8	23.2	0.0	0.0	9.6	0.0	0.8	1.6	0.0
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	20.8	25.0	41.7	8.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	29.2	4.2	0.0
	40～59歳	155	17.4	30.3	34.2	7.1	20.0	24.5	0.0	0.6	11.0	0.0	8.4	1.3	0.0
	60歳代	99	14.1	40.4	16.2	5.1	20.2	24.2	0.0	0.0	10.1	0.0	3.0	4.0	0.0
	70歳代	116	6.9	67.2	14.7	1.7	11.2	16.4	0.0	0.0	9.5	0.9	1.7	0.0	0.9
	80歳以上	73	6.8	64.4	9.6	2.7	6.8	20.5	0.0	0.0	2.7	1.4	2.7	1.4	0.0
	わからない	41	51.2	12.2	4.9	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	26.8	2.4	4.9
生活困窮	ゆとりがある	42	9.5	40.5	14.3	4.8	26.2	33.3	2.4	2.4	9.5	0.0	11.9	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	302	16.6	43.4	21.9	5.0	17.5	20.5	0.3	0.3	7.3	0.0	7.3	1.0	0.7
	やや苦しい	291	20.3	44.0	24.4	1.7	13.7	18.9	0.7	0.7	9.3	0.7	3.4	1.7	2.4
	不自由が多く、生活が苦しい	58	39.7	24.1	19.0	1.7	6.9	20.7	0.0	0.0	8.6	0.0	3.4	5.2	3.4
サービス	利用している	240	17.9	24.2	16.3	3.3	24.6	32.5	1.3	0.8	13.3	0.0	13.8	1.7	1.3
	利用していない	418	19.9	52.4	26.8	3.3	10.5	14.8	0.2	0.7	6.0	0.5	0.7	1.7	1.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	26.8	35.2	26.8	5.6	5.6	12.7	1.4	0.0	1.4	0.0	7.0	1.4	1.4
	視覚障害がある	29	27.6	44.8	24.1	3.4	3.4	6.9	0.0	0.0	3.4	0.0	13.8	3.4	0.0
	聴覚障害がある	44	20.5	52.3	22.7	9.1	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	6.8	0.0	0.0

⑥ 同居者の方の状況

問　【問 6 は問 5 で「１．ひとり暮らしをしている」“以外”に回答した方にお聞きします。】
あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。
（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	6	6	6	6	6	6

全体でみると「65 歳以上の高齢者がいる」が 49.8%と最も割合が高く、次いで「あてはまらない」が 21.5%、「障害者手帳所持者がいる」が 17.7%の割合となっている。

障害種別でみると、自立では「病気などの理由で不自由な人がいる」が 22.2%と他に比べて高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高くなるにつれて「65 歳以上の高齢者がいる」が高くなっており、特に『40～49 歳』では 55.9%となっている。また「妊婦や小学生以下の子どもがいる」は『30~39 歳』で 15.9%と高くなっている。

介助者の年齢別では、『介助者が 59 歳以下』では「あてはまらない」が高くなっている一方で、介助者の年齢が 60 歳を超えると、「65 歳以上の高齢者がいる」が半数を超えて高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	65歳以上の高齢者がいる	障害者手帳所持者がいる	妊婦や小学生以下の子どもがいる	病気などの理由で不自由な方がいる	あてはまらない	無回答
全体		582	49.8	17.7	2.2	7.4	21.5	16.3 (%)
障害種別	身体	328	53.4	15.9	2.1	7.0	20.1	15.9
	知的	98	44.9	25.5	0.0	5.1	22.4	17.3
	精神	54	51.9	22.2	1.9	5.6	24.1	11.1
	自立	27	44.4	18.5	3.7	22.2	22.2	14.8
	難病	75	41.3	12.0	5.3	8.0	24.0	21.3

【属性別の集計】

		調査数	65歳以上の高齢者がいる	障害者手帳所持者がいる	妊婦や小学生以下の子どもがいる	病気などの理由で不自由な方がいる	あてはまらない	無回答
全体		582	49.8	17.7	2.2	7.4	21.5	16.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0
	20～29歳	48	20.8	18.8	0.0	8.3	39.6	20.8
	30～39歳	44	34.1	13.6	15.9	4.5	27.3	13.6
	40～49歳	68	55.9	19.1	4.4	8.8	19.1	16.2
	50～59歳	76	35.5	21.1	2.6	7.9	27.6	18.4
	60～64歳	33	51.5	9.1	0.0	6.1	33.3	15.2
	65～69歳	52	46.2	13.5	0.0	3.8	19.2	25.0
	70歳以上	254	61.8	18.9	0.4	8.3	14.6	13.0
世帯構成	ひとり暮らし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	核家族世帯	478	50.2	15.3	1.9	6.1	23.8	15.1
	三世代世帯	62	56.5	19.4	6.5	9.7	14.5	14.5
	その他の世帯	42	35.7	42.9	0.0	19.0	4.8	33.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	100.0	17.6	0.7	10.3	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	103	49.5	100.0	1.9	17.5	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	15.4	15.4	100.0	7.7	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	69.8	41.9	2.3	100.0	0.0	0.0
	あてはまらない	125	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～39歳	19	21.1	21.1	21.1	5.3	26.3	15.8
	40～59歳	128	18.8	15.6	1.6	5.5	44.5	25.0
	60歳代	85	51.8	11.8	0.0	1.2	18.8	23.5
	70歳代	107	75.7	21.5	0.0	5.6	3.7	12.1
	80歳以上	68	75.0	11.8	0.0	8.8	8.8	8.8
	わからない	18	50.0	38.9	5.6	22.2	5.6	16.7
生活困窮	ゆとりがある	38	39.5	15.8	2.6	2.6	28.9	18.4
	まあまあゆとりがある	250	57.2	14.8	1.6	7.2	20.0	14.0
	やや苦しい	225	43.6	20.9	1.8	6.7	22.7	19.6
	不自由が多く、生活が苦しい	33	51.5	21.2	9.1	15.2	18.2	9.1
サービス	利用している	194	50.0	21.1	0.0	9.3	20.1	18.6
	利用していない	328	51.2	14.9	3.0	6.1	23.5	14.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	51	60.8	27.5	0.0	7.8	15.7	13.7
	視覚障害がある	21	57.1	19.0	14.3	9.5	4.8	14.3
	聴覚障害がある	35	60.0	37.1	0.0	5.7	8.6	5.7

⑦ 介助・支援者

問　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。　（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	7	7	7	7	7	7

全体でみると、「配偶者・パートナー」が 29.0%と最も割合が高く、次いで「特に介助・支援を必要としない」が 17.0%、「母親」が 11.5%の割合となっている。

障害種別でみると、「配偶者・パートナー」は身体（36.8%）、精神（20.8%）、難病（37.9%）で高くなっている。知的は「母親」が 49.5%と高く、自立は「特に介助・支援を必要としない」が 37.5%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『49 歳』までは「母親」の割合が高くなっており、『50 歳以上』は「配偶者」の割合が高くなっている。

世帯構成別では、『核家族世帯』では介助者は「配偶者」の割合が 41.6%と高くなっている。一方で『ひとり暮らし』では「ホームヘルパー」が 20.5%、次いで「子ども」が 18.5%となっており、「介助・支援を必要としない」は 29.5%となっている。

同居人の特徴別では、「妊婦や小学生以下の子どもがいる」は「特に介助支援を必要としない」の割合が 30.8%と高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「特に介助・支援を必要としない」が 12.1%となっており、生活が苦しくなると割合が低くなる傾向がある。

特徴的な状態別では、「特に介助・支援を必要としない」は『医療的ケア』で 1.4%と低く、『視覚障害』で 10.3%、『聴覚障害』で 18.2%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	配偶者（夫、妻）・パートナー	子ども	子どもの配偶者・パートナー	父親	母親	祖父母	兄弟・姉妹	親戚	近所の友人や知人	ホームヘルパーなどのサービス事業者	特に介助・支援を必要としない	その他	無回答
全体		741	29.0	11.3	1.2	2.2	11.5	0.1	2.2	0.3	1.2	9.2	17.0	4.2	10.7 (%)
障害種別	身体	427	36.8	15.5	1.9	0.9	2.3	0.0	1.2	0.2	1.4	9.4	17.1	3.7	9.6
	知的	101	1.0	2.0	0.0	5.0	49.5	0.0	5.0	0.0	0.0	13.9	5.9	2.0	15.8
	精神	77	20.8	3.9	0.0	7.8	15.6	1.3	2.6	1.3	1.3	9.1	13.0	7.8	15.6
	自立	40	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5	37.5	12.5	7.5
	難病	95	37.9	13.7	1.1	1.1	3.2	0.0	3.2	0.0	2.1	5.3	23.2	2.1	7.4

【属性別の集計】

		調査数	配偶者（夫、妻）・パートナー	子ども	子どもの配偶者・パートナー	父親	母親	祖父母	兄弟・姉妹	親戚	近所の友人や知人	ホームヘルパーなどのサービス事業者	特に介助・支援を必要としない	その他	無回答
全体		741	29.0	11.3	1.2	2.2	11.5	0.1	2.2	0.3	1.2	9.2	17.0	4.2	10.7
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	20～29歳	50	0.0	0.0	0.0	4.0	58.0	0.0	0.0	0.0	2.0	6.0	12.0	2.0	16.0
	30～39歳	47	14.9	0.0	0.0	6.4	29.8	2.1	0.0	0.0	2.1	6.4	25.5	0.0	12.8
	40～49歳	82	7.3	1.2	0.0	8.5	24.4	0.0	2.4	0.0	0.0	7.3	24.4	7.3	17.1
	50～59歳	102	24.5	5.9	0.0	2.9	15.7	0.0	2.0	1.0	0.0	8.8	22.5	8.8	7.8
	60～64歳	37	43.2	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	10.8	16.2	2.7	16.2
	65～69歳	77	36.4	9.1	1.3	0.0	2.6	0.0	7.8	0.0	3.9	10.4	15.6	5.2	7.8
	70歳以上	330	40.0	20.6	2.4	0.0	0.3	0.0	1.2	0.3	1.2	10.6	14.2	3.0	6.1
世帯構成	ひとり暮らし	146	2.1	18.5	0.0	0.7	2.7	0.7	2.7	0.7	4.1	20.5	29.5	13.7	4.1
	核家族世帯	478	41.6	9.8	0.2	3.1	15.3	0.0	0.4	0.0	0.2	0.8	15.7	1.3	11.5
	三世代世帯	62	17.7	16.1	12.9	0.0	11.3	0.0	11.3	0.0	1.6	4.8	11.3	1.6	11.3
	その他の世帯	42	4.8	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	7.1	0.0	2.4	71.4	0.0	7.1	4.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	41.7	4.5	1.4	3.8	13.4	0.0	2.4	0.0	0.3	6.2	13.8	1.7	10.7
	障害者手帳所持者がいる	103	25.2	9.7	0.0	3.9	12.6	0.0	1.9	0.0	1.0	15.5	11.7	3.9	14.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	30.8	7.7	15.4
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	23.3	9.3	0.0	4.7	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3	16.3	4.7	18.6
	あてはまらない	125	33.6	16.8	3.2	0.8	15.2	0.0	0.8	0.0	0.0	1.6	17.6	1.6	8.8
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	16.7	41.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	29.2	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	155	24.5	32.9	1.9	1.9	18.7	0.0	2.6	0.6	1.3	14.8	0.0	0.6	0.0
	60歳代	99	40.4	16.2	4.0	5.1	21.2	0.0	6.1	0.0	1.0	4.0	0.0	2.0	0.0
	70歳代	116	69.0	0.9	0.0	4.3	15.5	0.0	4.3	0.9	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	73	65.8	2.7	0.0	4.1	23.3	1.4	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	41	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.7	0.0	24.4	0.0
生活困窮	ゆとりがある	42	21.4	7.1	4.8	2.4	11.9	0.0	2.4	0.0	0.0	11.9	21.4	2.4	14.3
	まあまあゆとりがある	302	31.5	10.3	1.0	2.6	11.9	0.0	2.3	0.3	1.0	8.6	18.2	3.3	8.9
	やや苦しい	291	30.6	13.4	0.7	1.7	11.0	0.3	2.4	0.0	1.7	8.6	16.5	1.4	11.7
	不自由が多く、生活が苦しい	58	13.8	12.1	1.7	1.7	12.1	0.0	1.7	1.7	1.7	12.1	12.1	19.0	10.3
サービス	利用している	240	18.8	10.0	1.7	2.5	22.5	0.0	2.5	0.0	1.3	20.4	6.3	2.5	11.7
	利用していない	418	33.5	12.2	1.2	2.2	5.5	0.2	2.2	0.2	1.4	3.3	24.6	3.8	9.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	23.9	18.3	2.8	2.8	9.9	0.0	1.4	0.0	1.4	23.9	1.4	2.8	11.3
	視覚障害がある	29	34.5	13.8	0.0	3.4	3.4	0.0	3.4	0.0	3.4	17.2	10.3	6.9	3.4
	聴覚障害がある	44	36.4	13.6	4.5	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	2.3	6.8	18.2	6.8	6.8

(%)

⑧ 介助・支援者の年齢

問　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	8	8	8	8	8	8

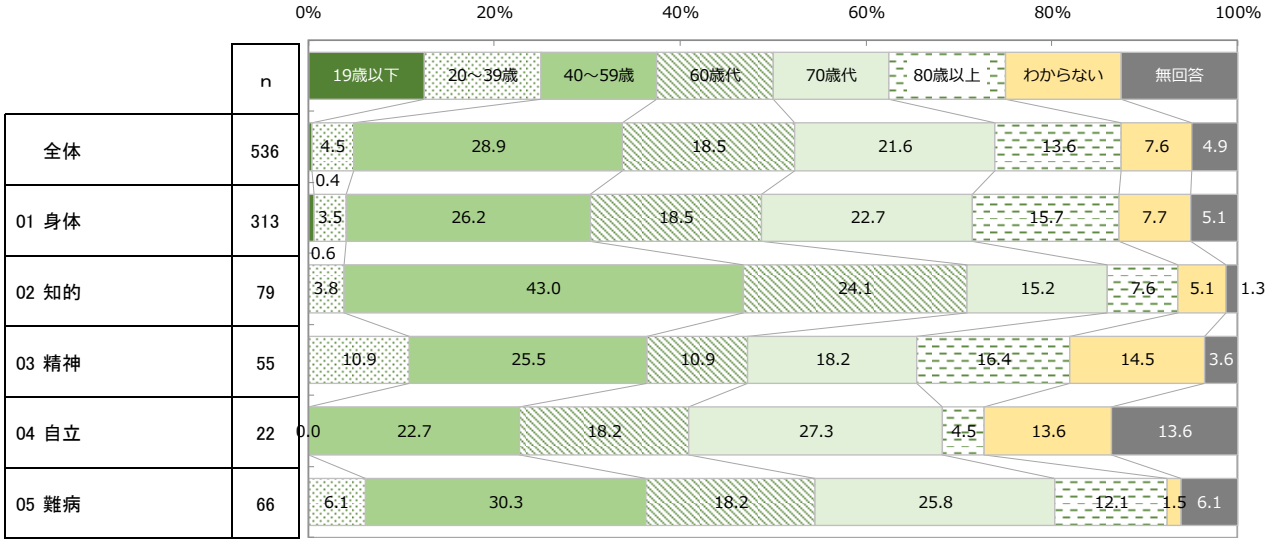
全体でみると、「40～59 歳」が 28.9%と最も割合が高く、次いで「70 歳代」が 21.6%、「60 歳代」が 18.5%の割合となっている。

障害種別でみると、知的では「59 歳以下」が 46.8%と他に比べて高くなっている。一方で身体・自立では「60 歳以上」が半数を超えている。

属性別でみると、本人の年齢別では、本人が『18～29 歳』は介助者の年齢が「40～59 歳」が約 7 割と高く、本人が『30～39 歳』では「60 歳代」で 41.4%、本人が『40～49 歳』では「70 歳代」で 39.6%と割合が高くなっている。また、本人が『50~59 歳』では「40～59 歳」が 33.8%と介助者の年齢が低くなり、以降は本人と介助者の年齢が重なる箇所で割合が高くなっている。

生活困窮状況別では、『ゆとりがある』層は介助者の年齢が「40～59 歳」の割合が 48.1%高くなっている。一方で、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「わからない」が 22.2%と最も高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
全体		536	0.4	4.5	28.9	18.5	21.6	13.6	7.6	4.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	4	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	20～29歳	36	0.0	5.6	69.4	22.2	0.0	0.0	2.8	0.0
	30～39歳	29	0.0	10.3	34.5	41.4	6.9	3.4	3.4	0.0
	40～49歳	48	0.0	4.2	20.8	14.6	39.6	6.3	10.4	4.2
	50～59歳	71	2.8	9.9	33.8	9.9	4.2	19.7	9.9	9.9
	60～64歳	25	0.0	4.0	44.0	36.0	8.0	0.0	4.0	4.0
	65～69歳	59	0.0	6.8	13.6	47.5	15.3	5.1	10.2	1.7
	70歳以上	263	0.0	1.9	24.3	10.6	30.4	19.4	7.6	5.7
世帯構成	ひとり暮らし	97	0.0	5.2	27.8	14.4	8.2	5.2	21.6	17.5
	核家族世帯	348	0.6	2.6	27.6	19.8	28.2	17.8	1.7	1.7
	三世代世帯	48	0.0	6.3	43.8	25.0	14.6	8.3	0.0	2.1
	その他の世帯	40	0.0	17.5	27.5	10.0	5.0	5.0	30.0	5.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	219	0.0	1.8	11.0	20.1	37.0	23.3	4.1	2.7
	障害者手帳所持者がいる	76	0.0	5.3	26.3	13.2	30.3	10.5	9.2	5.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	7	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	28	0.0	3.6	25.0	3.6	21.4	21.4	14.3	10.7
	あてはまらない	92	2.2	5.4	62.0	17.4	4.3	6.5	1.1	1.1
介助者の年齢	19歳以下	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	155	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	99	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	116	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	73	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	わからない	41	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	27	0.0	7.4	48.1	11.1	22.2	7.4	0.0	3.7
	まあまあゆとりがある	220	0.0	2.7	27.7	20.9	20.9	17.7	6.8	3.2
	やや苦しい	209	0.5	5.3	31.6	20.6	23.4	9.1	7.2	2.4
	不自由が多く、生活が苦しい	45	2.2	8.9	17.8	8.9	15.6	11.1	22.2	13.3
サービス	利用している	197	0.5	4.1	33.0	17.3	19.3	10.2	13.2	2.5
	利用していない	275	0.4	4.7	29.1	19.6	22.9	14.5	4.4	4.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	62	1.6	8.1	30.6	12.9	21.0	11.3	12.9	1.6
	視覚障害がある	25	0.0	12.0	24.0	16.0	12.0	16.0	8.0	12.0
	聴覚障害がある	33	0.0	3.0	27.3	15.2	27.3	15.2	6.1	6.1

⑨ 暮らしの状況

問　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	9	9	9	9	9	9

全体でみると、「まあまあゆとりがある」が 40.8%と最も割合が高く、次いで「やや苦しい」が 39.3%、「不自由が多く、生活が苦しい」が 7.8%の割合となっている。一方で、「ゆとりがある」は 5.7%の割合となっている。

障害種別でみると、「不自由が多く、生活が苦しい」は精神と自立で高く約２割となっており、「やや苦しい」との合計でみると、６割を超えている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『18～29 歳』の若い世代で「ゆとりがある」の割合が高い傾向がある。一方で「不自由が多く、生活が苦しい」は年齢による傾向はない。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「不自由が多く、生活が苦しい」が 15.8%と他に比べて高くなっている。

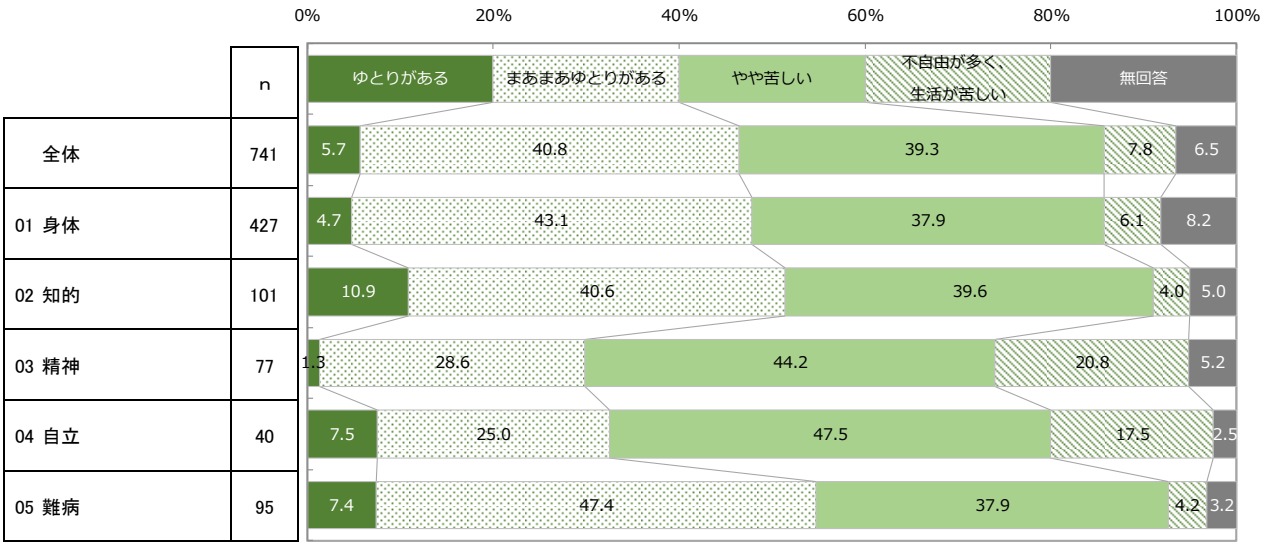
同居人の特徴別では、「妊婦や小学生以下の子どもがいる」は暮らしに「不自由が多く、生活が苦しい」が 23.1%と高い割合となっている。

介助者の年齢別では、介助者の年齢が『39 歳以下』で「不自由が多く、生活が苦しい」の割合が高い傾向にある。

サービス利用別では、暮らしの状況への大きな差は見られなかった。

特徴的な状態別では、「医療的ケアを受けている」は暮らしに「まあまあゆとりがある」の割合が 26.8%と低く、「やや苦しい」の割合が 50.7%と高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	ゆとりがある	まあまあゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい	無回答
全体	741	5.7	40.8	39.3	7.8	6.5
01 身体	427	4.7	43.1	37.9	6.1	8.2
02 知的	101	10.9	40.6	39.6	4.0	5.0
03 精神	77	1.3	28.6	44.2	20.8	5.2
04 自立	40	7.5	25.0	47.5	17.5	2.5
05 難病	95	7.4	47.4	37.9	4.2	3.2

【属性別の集計】

		調査数	ゆとりがある	まあまあゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい	無回答
全体		741	5.7	40.8	39.3	7.8	6.5
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	14.0	40.0	36.0	4.0	6.0
	30～39歳	47	6.4	44.7	40.4	8.5	0.0
	40～49歳	82	3.7	36.6	46.3	11.0	2.4
	50～59歳	102	7.8	35.3	31.4	16.7	8.8
	60～64歳	37	5.4	37.8	45.9	2.7	8.1
	65～69歳	77	3.9	33.8	46.8	11.7	3.9
	70歳以上	330	4.2	46.7	37.3	4.2	7.6
世帯構成	ひとり暮らし	146	2.7	34.2	40.4	15.8	6.8
	核家族世帯	478	6.1	42.7	40.2	5.4	5.6
	三世代世帯	62	6.5	41.9	35.5	8.1	8.1
	その他の世帯	42	11.9	47.6	26.2	4.8	9.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	5.2	49.3	33.8	5.9	5.9
	障害者手帳所持者がいる	103	5.8	35.9	45.6	6.8	5.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	7.7	30.8	30.8	23.1	7.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	2.3	41.9	34.9	11.6	9.3
	あてはまらない	125	8.8	40.0	40.8	4.8	5.6
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	8.3	25.0	45.8	16.7	4.2
	40～59歳	155	8.4	39.4	42.6	5.2	4.5
	60歳代	99	3.0	46.5	43.4	4.0	3.0
	70歳代	116	5.2	39.7	42.2	6.0	6.9
	80歳以上	73	2.7	53.4	26.0	6.8	11.0
	わからない	41	0.0	36.6	36.6	24.4	2.4
生活困窮	ゆとりがある	42	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	302	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	やや苦しい	291	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	58	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
サービス	利用している	240	5.8	39.2	44.2	6.3	4.6
	利用していない	418	6.5	41.6	38.3	7.9	5.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	9.9	26.8	50.7	11.3	1.4
	視覚障害がある	29	0.0	41.4	34.5	13.8	10.3
	聴覚障害がある	44	6.8	47.7	31.8	2.3	11.4

(%)

2.　障害について

①　障害について

問　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	10	10	10	10	10	10

全体でみると、「身体障害者手帳を持っている」が 63.7%と最も高く、次いで「難病医療費等助成対象疾患を患っている」が 17.0%、「自立支援医療費制度を受けている」が 16.5%となっている。

障害種別でみると、知的では愛の手帳の他、「身体障害者手帳を持っている」が 22.8%、「発達障害と診断されたことがある」が 18.8%となっている。精神では「自立支援医療費制度を受けている」が 71.4%、「訪問看護などの医療的ケアを受けている」が 19.5%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、高齢になるほど「身体障害者手帳を持っている」の割合が高くなる傾向があり、一方で「愛の手帳を持っている」は年齢が若い世代の方が高い傾向がある。「精神障害者保健福祉手帳を持っている」は『40～59 歳』で高くなっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「精神障害者保健福祉手帳を持っている」「自立支援医療費制度を受けている」が平均より高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「精神障害者保健福祉手帳を持っている」「自立支援医療費制度を受けている」が高く約４割となっている。

サービス利用別では、『サービスを利用している』では「愛の手帳を持っている」が 33.3%となっており、『利用していない』の 6.5%に比べて高くなっている。

特徴的な状態別では、『医療的ケアを受けている』では「精神障害者保健福祉手帳を持っている」「自立支援医療費制度を受けている」が約３割となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	どれにもあてはまらない	無回答
全体		741	63.7	15.4	14.6	16.5	17.0	2.7	4.3	9.6	1.3	1.8 (%)
障害種別	身体	427	96.3	2.1	1.9	2.8	9.4	3.3	0.2	9.4	1.6	2.3
	知的	101	22.8	98.0	5.0	13.9	1.0	2.0	18.8	5.0	0.0	0.0
	精神	77	7.8	3.9	94.8	71.4	1.3	3.9	9.1	19.5	0.0	2.6
	自立	40	2.5	5.0	50.0	90.0	2.5	0.0	10.0	7.5	0.0	0.0
	難病	95	32.6	1.1	2.1	4.2	87.4	1.1	0.0	8.4	3.2	1.1

【属性別の集計】

		調査数	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	どれにもあてはまらない	無回答
全体		741	63.7	15.4	14.6	16.5	17.0	2.7	4.3	9.6	1.3	1.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	20.0	80.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	28.0	78.0	16.0	28.0	4.0	4.0	26.0	8.0	2.0	0.0
	30～39歳	47	25.5	38.3	19.1	25.5	21.3	0.0	12.8	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	82	40.2	30.5	35.4	34.1	19.5	3.7	6.1	8.5	0.0	0.0
	50～59歳	102	47.1	10.8	37.3	34.3	15.7	5.9	2.9	12.7	1.0	1.0
	60～64歳	37	51.4	18.9	16.2	18.9	35.1	5.4	8.1	5.4	0.0	0.0
	65～69歳	77	72.7	3.9	13.0	16.9	20.8	3.9	0.0	11.7	0.0	1.3
	70歳以上	330	86.1	1.8	1.5	2.7	15.8	0.9	0.0	10.9	2.4	2.7
世帯構成	ひとり暮らし	146	67.1	1.4	21.2	20.5	14.4	2.7	1.4	13.0	2.7	2.1
	核家族世帯	478	62.8	16.7	13.4	16.7	18.8	1.9	4.4	8.4	1.3	1.5
	三世代世帯	62	67.7	24.2	6.5	4.8	17.7	3.2	6.5	8.1	0.0	3.2
	その他の世帯	42	59.5	38.1	14.3	14.3	7.1	9.5	9.5	14.3	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	66.6	17.2	12.8	15.2	14.5	1.7	3.4	10.7	0.7	2.1
	障害者手帳所持者がいる	103	64.1	25.2	18.4	21.4	10.7	4.9	5.8	13.6	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	53.8	0.0	15.4	15.4	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	62.8	20.9	16.3	27.9	20.9	2.3	9.3	9.3	0.0	0.0
	あてはまらない	125	56.0	20.0	12.8	12.8	20.8	1.6	5.6	6.4	2.4	1.6
介助者の年齢	19歳以下	2	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	54.2	12.5	29.2	20.8	20.8	4.2	0.0	20.8	0.0	0.0
	40～59歳	155	59.4	25.2	12.9	12.3	18.7	4.5	5.8	12.3	0.6	1.3
	60歳代	99	68.7	19.2	8.1	10.1	18.2	3.0	6.1	8.1	0.0	0.0
	70歳代	116	66.4	12.1	11.2	17.2	19.8	3.4	0.9	11.2	0.9	5.2
	80歳以上	73	72.6	8.2	13.7	12.3	11.0	1.4	2.7	9.6	1.4	4.1
	わからない	41	63.4	9.8	26.8	36.6	4.9	2.4	7.3	19.5	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	42	57.1	28.6	4.8	16.7	19.0	9.5	4.8	16.7	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	302	69.9	15.6	9.6	11.9	17.5	1.3	2.6	6.3	1.7	0.3
	やや苦しい	291	63.2	15.1	17.5	17.5	19.2	2.4	6.2	12.4	1.0	0.3
	不自由が多く、生活が苦しい	58	46.6	6.9	39.7	43.1	8.6	6.9	5.2	13.8	3.4	0.0
サービス	利用している	240	55.0	33.3	18.3	22.9	12.9	4.6	8.3	23.3	0.8	1.7
	利用していない	418	67.7	6.5	11.7	13.4	20.6	1.7	2.9	2.6	1.4	1.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	70.4	8.5	26.8	28.2	14.1	2.8	0.0	100.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	29	100.0	0.0	0.0	0.0	6.9	3.4	0.0	10.3	0.0	0.0
	聴覚障害がある	44	100.0	2.3	4.5	6.8	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0

② 身体障害の内容

問　身体障害者手帳に記載されている障害名をお答えください。
　　また、記載されている障害の程度（等級）についてもお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	11					

全体でみると、「内部障害(心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害)」(以下、内部障害：内臓)が 34.3%と最も高く、次いで「肢体不自由(上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)」(以下、肢体不自由（上肢・下肢など)) が 32.6%、「肢体不自由(体幹機能障害)」が 12.9%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では『40 歳以上』になると「肢体不自由（上肢・下肢など)」の割合が高くなり、『40~49 歳』では 47.8%となっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「視覚障害」が 16.0%、「肢体不自由（体幹機能障害)」が 28.0%と他に比べて高くなっている。

サービス利用別では、『サービスを利用している』では『利用していない』に比べて「肢体不自由（体幹機能障害)」が 25.7%と高くなっている。

【障害種別の集計（障害の内容)】

	調査数	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害）	肢体不自由（体幹機能障害）	内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害）	内部障害（免疫、肝臓の機能の障害）	わからない	無回答
全体	411	7.1	10.7	1.5	2.2	32.6	12.9	34.3	2.2	1.5	7.1 (%)

【障害の内容別の等級】

		調査数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
障害種別	視覚障害	29	24.1	31.0	6.9	10.3	17.2	6.9	3.4 (%)
	聴覚障害	44		27.3	9.1	40.9		22.7	0.0
	平衡機能障害	6			33.3		66.7		0.0
	音声障害・言語障害・そしゃく機能障害	9			55.6	11.1			33.3
	肢体不自由（上肢・下肢など）	134	11.2	12.7	15.7	37.3	7.5	6.0	9.7
	肢体不自由（体幹機能障害）	53	17.0	32.1	34.0		11.3		5.7
	内部障害（心臓、じん臓など）	141	59.6		12.1	19.1			9.2
	内部障害（免疫、肝機能障害）	9	55.6	11.1	0.0	11.1			22.2

【属性別の集計（障害の内容）】

		調査数	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害）	肢体不自由（体幹機能障害）	内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害）	内部障害（免疫、肝臓の機能の障害）	わからない	無回答
全体		411	7.1	10.7	1.5	2.2	32.6	12.9	34.3	2.2	1.5	7.1 (%)
本人の年齢	18～19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	7	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	23	0.0	4.3	0.0	0.0	47.8	34.8	21.7	0.0	0.0	4.3
	50～59歳	40	2.5	10.0	2.5	2.5	52.5	15.0	25.0	2.5	0.0	5.0
	60～64歳	16	12.5	6.3	6.3	0.0	37.5	12.5	31.3	6.3	0.0	0.0
	65～69歳	51	2.0	5.9	0.0	3.9	47.1	3.9	31.4	3.9	0.0	13.7
	70歳以上	264	8.0	13.3	1.5	2.3	25.8	12.9	37.5	1.9	2.3	6.4
世帯構成	ひとり暮らし	86	9.3	10.5	1.2	1.2	34.9	9.3	26.7	4.7	3.5	9.3
	核家族世帯	263	5.3	9.9	0.8	1.9	31.6	12.2	37.6	1.5	1.1	6.1
	三世代世帯	34	8.8	17.6	0.0	0.0	32.4	17.6	38.2	0.0	0.0	5.9
	その他の世帯	21	19.0	14.3	14.3	14.3	33.3	33.3	23.8	4.8	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	170	7.1	12.4	1.8	3.5	31.8	12.9	37.6	1.2	1.2	4.7
	障害者手帳所持者がいる	52	7.7	25.0	1.9	3.8	25.0	25.0	25.0	0.0	1.9	5.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	7	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3
	病気などの理由で不自由な方がいる	22	9.1	9.1	4.5	9.1	22.7	27.3	31.8	0.0	4.5	9.1
	あてはまらない	62	1.6	4.8	0.0	0.0	33.9	9.7	46.8	1.6	1.6	4.8
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	11	27.3	9.1	9.1	9.1	27.3	18.2	45.5	9.1	9.1	0.0
	40～59歳	79	7.6	11.4	2.5	2.5	34.2	15.2	29.1	1.3	0.0	8.9
	60歳代	58	6.9	8.6	0.0	0.0	39.7	12.1	29.3	1.7	1.7	6.9
	70歳代	66	4.5	13.6	1.5	4.5	25.8	19.7	36.4	0.0	1.5	6.1
	80歳以上	47	8.5	10.6	2.1	2.1	23.4	4.3	42.6	4.3	0.0	6.4
	わからない	24	8.3	8.3	0.0	0.0	37.5	16.7	29.2	4.2	4.2	12.5
生活困窮	ゆとりがある	20	0.0	15.0	0.0	10.0	30.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	181	6.6	11.6	2.2	2.2	32.6	11.6	33.1	1.7	0.6	7.2
	やや苦しい	160	6.3	8.8	0.6	1.9	35.0	11.9	32.5	3.1	1.9	8.8
	不自由が多く、生活が苦しい	25	16.0	4.0	0.0	0.0	36.0	28.0	32.0	4.0	8.0	8.0
サービス	利用している	101	8.9	6.9	4.0	4.0	33.7	25.7	29.7	3.0	0.0	7.9
	利用していない	261	5.7	11.1	0.8	1.9	34.9	8.8	34.9	1.5	1.5	6.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	40	7.5	2.5	2.5	7.5	37.5	27.5	30.0	10.0	0.0	12.5
	視覚障害がある	29	100.0	13.8	3.4	3.4	6.9	10.3	13.8	6.9	3.4	0.0
	聴覚障害がある	44	9.1	100.0	2.3	2.3	4.5	2.3	6.8	2.3	0.0	0.0

③ 愛の手帳の程度

問　愛の手帳（療育手帳）に記載されている障害の程度をお答えください。　（○は 1 つだけ）

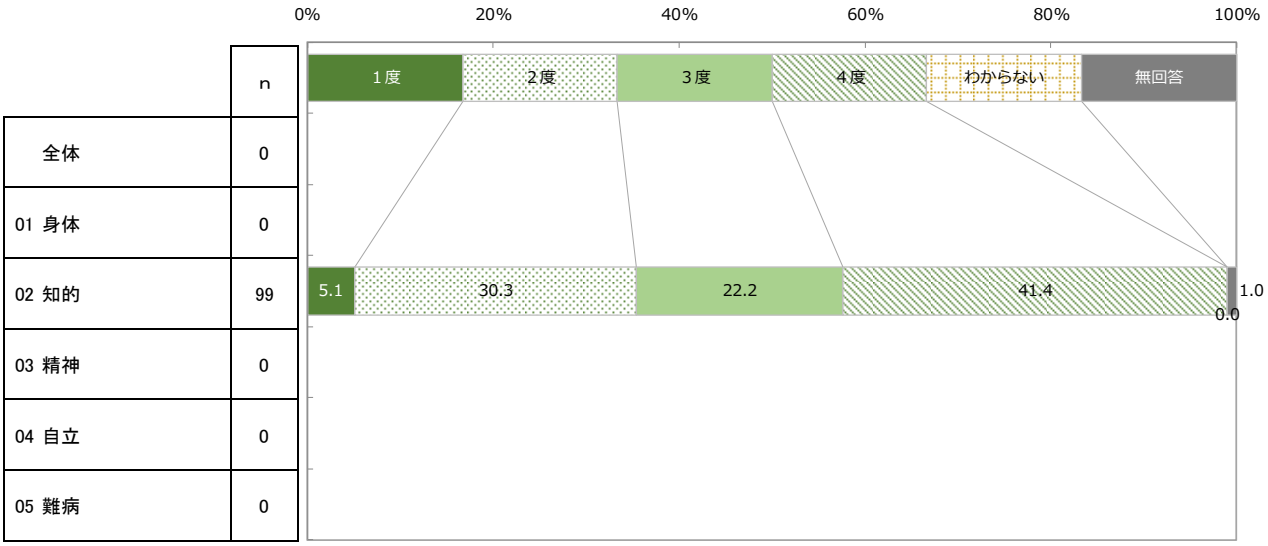
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号		11				

全体でみると、「４度」が 41.4%と最も高く、次いで「２度」が 30.3%、「３度」が 22.2%となっている。

属性別でみると、生活困窮状況別では、『ゆとりがある』層では「４度」が 63.6%と最も高く、生活が苦しくなると半数を下回り重度化する傾向がある。

サービス利用別では、『利用している』では「４度」は 31.9%となっており、『利用していない』の 66.7%に比べて低くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	1度	2度	3度	4度	わからない	無回答
全体		99	5.1	30.3	22.2	41.4	0.0	1.0
本人の年齢	18～19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	35	14.3	17.1	17.1	51.4	0.0	0.0
	30～39歳	17	0.0	41.2	23.5	35.3	0.0	0.0
	40～49歳	21	0.0	33.3	23.8	42.9	0.0	0.0
	50～59歳	11	0.0	36.4	27.3	36.4	0.0	0.0
	60～64歳	6	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0
	65～69歳	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
	70歳以上	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
世帯構成	ひとり暮らし	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	核家族世帯	66	4.5	27.3	24.2	43.9	0.0	0.0
	三世代世帯	15	6.7	40.0	26.7	26.7	0.0	0.0
	その他の世帯	15	6.7	40.0	13.3	33.3	0.0	6.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	42	4.8	28.6	26.2	40.5	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	24	4.2	29.2	12.5	54.2	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	あてはまらない	22	4.5	31.8	18.2	45.5	0.0	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	34	11.8	26.5	26.5	35.3	0.0	0.0
	60歳代	17	0.0	35.3	35.3	29.4	0.0	0.0
	70歳代	12	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	80歳以上	6	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7
	わからない	4	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	11	9.1	18.2	9.1	63.6	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	39	5.1	38.5	28.2	25.6	0.0	2.6
	やや苦しい	40	5.0	25.0	20.0	50.0	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
サービス	利用している	72	6.9	34.7	26.4	31.9	0.0	0.0
	利用していない	21	0.0	19.0	14.3	66.7	0.0	0.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	4	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

④ 精神障害者手帳の程度

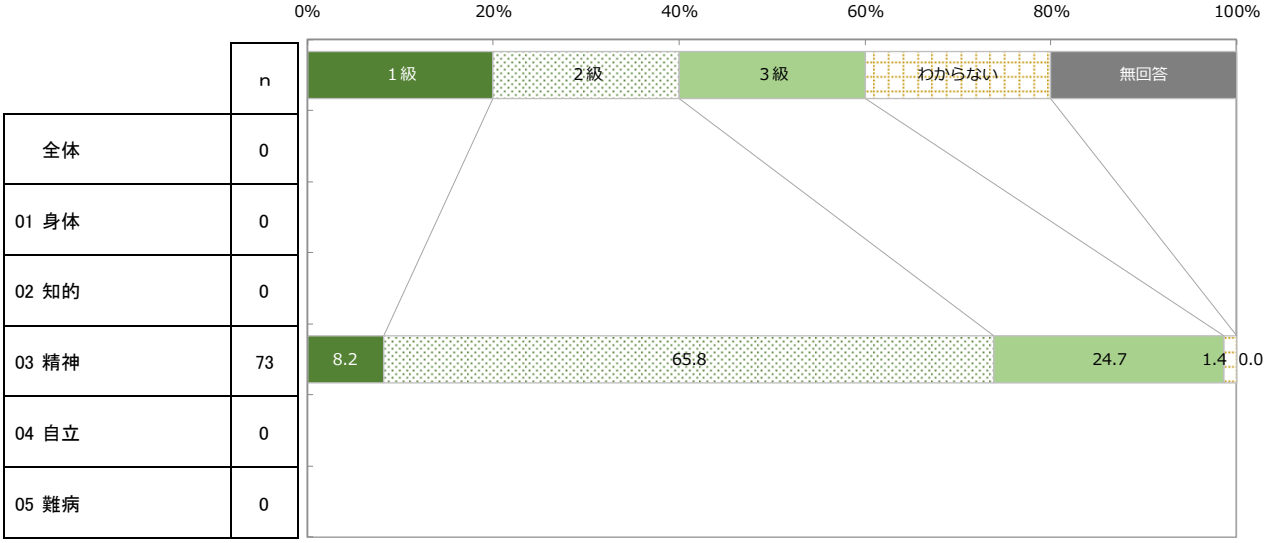
問　精神障害者保健福祉手帳に記載されている障害の程度（等級）をお答えください。
（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号			11			

全体でみると、「2 級」が 65.8%と最も高く、次いで「3 級」が 24.7%、「1 級」が 8.2%となっている。

属性別でみると、生活困窮状況別では、「3 級」は『まあまあゆとりがある』層で 15.0%、『不自由が多く、生活が苦しい』層では 31.3%と生活が苦しくなるにつれて高くなる傾向がある。一方で、「1 級」の割合については生活状況による大きな差はない。

【障害種別の集計】



	n
全体	0
01 身体	0
02 知的	0
03 精神	73
04 自立	0
05 難病	0

【属性別の集計】

		調査数	1級	2級	3級	わからない
全体		73	8.2	65.8	24.7	1.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	20～29歳	4	0.0	100.0	0.0	0.0
	30～39歳	6	16.7	50.0	33.3	0.0
	40～49歳	16	6.3	68.8	25.0	0.0
	50～59歳	28	3.6	67.9	28.6	0.0
	60～64歳	4	0.0	75.0	25.0	0.0
	65～69歳	9	22.2	55.6	11.1	11.1
	70歳以上	3	0.0	33.3	66.7	0.0
世帯構成	ひとり暮らし	19	5.3	63.2	31.6	0.0
	核家族世帯	45	2.2	71.1	24.4	2.2
	三世代世帯	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他の世帯	4	75.0	0.0	25.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	25	0.0	76.0	24.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	12	0.0	83.3	16.7	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	あてはまらない	13	23.1	53.8	15.4	7.7
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	6	0.0	33.3	50.0	16.7
	40～59歳	14	7.1	71.4	21.4	0.0
	60歳代	6	16.7	50.0	33.3	0.0
	70歳代	9	0.0	77.8	22.2	0.0
	80歳以上	8	0.0	87.5	12.5	0.0
	わからない	7	28.6	42.9	28.6	0.0
生活困窮	ゆとりがある	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	20	5.0	80.0	15.0	0.0
	やや苦しい	34	11.8	58.8	26.5	2.9
	不自由が多く、生活が苦しい	16	6.3	62.5	31.3	0.0
サービス	利用している	27	7.4	66.7	25.9	0.0
	利用していない	36	5.6	72.2	19.4	2.8
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	15	6.7	66.7	26.7	0.0
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑤ 障害に気づいた年齢

問　障害や疾病などがあることに気がついたのは、何歳の頃でしたか。　（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	12	12	12	11	11	12

全体でみると、「50~60 歳代」が 28.4%と最も高く、次いで「30～40 歳代」が 19.3%、「0～9 歳」が 19.2%となっている。

障害種別でみると、知的では「0～9 歳」が 81.8%と大半を占めている。また、精神や自立については「10 歳代」までで約 3 割となっている。一方で、身体や難病は「50～60 歳代」が最も高くなっており、身体で 38.2%、難病で 38.6%となっている。

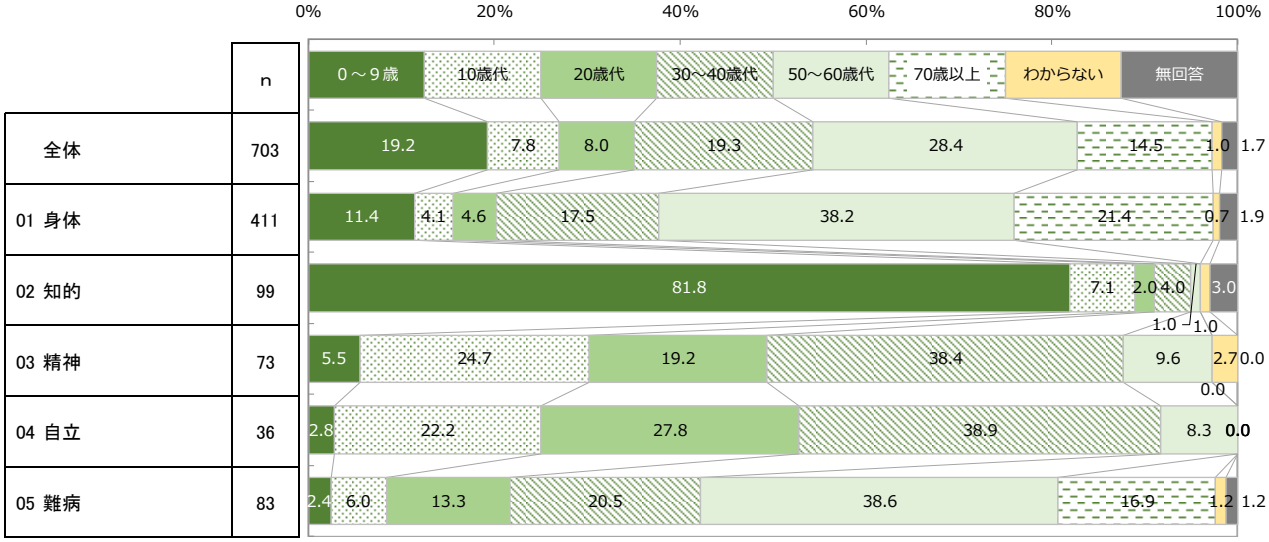
属性別でみると、本人の年齢別では、『49 歳』までは「10 歳代」までに気づいた割合が半数を超えており、50 歳を超えると、『50~59 歳』では「30～40 歳代」に気づき、『60～69 歳』では「50～60 歳代」に気づく割合が高くなっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』は「0～9 歳」までに気づいた割合が他に比べて低く、「30～40 歳代」に気づいた割合が 30.6%と最も高くなっている。

生活困窮状況別では、『ゆとりがある』層は「0～9 歳」で気づいた割合が高く 33.3%となっており、一方で『不自由が多く、生活が苦しい』層では「30~40 歳代」が 36.4 と最も高くなっている。

サービス利用別では、『サービスを利用している』は「0～9 歳」で気づいた割合が高く 33.5%となっており、『利用していない』では「50～60 歳代」が最も高く 32.5%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	0～9歳	10歳代	20歳代	30～40歳代	50～60歳代	70歳以上	わからない	無回答
全体		703	19.2	7.8	8.0	19.3	28.4	14.5	1.0	1.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	49	73.5	12.2	10.2	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0
	30～39歳	46	41.3	21.7	30.4	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	79	36.7	13.9	16.5	31.6	0.0	0.0	1.3	0.0
	50～59歳	97	15.5	13.4	10.3	47.4	10.3	0.0	0.0	3.1
	60～64歳	35	11.4	5.7	14.3	22.9	45.7	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	75	8.0	4.0	2.7	21.3	58.7	0.0	2.7	2.7
	70歳以上	308	6.8	2.6	2.3	11.4	41.2	32.8	1.0	1.9
世帯構成	ひとり暮らし	134	9.0	5.2	7.5	30.6	28.4	14.9	3.0	1.5
	核家族世帯	457	19.9	8.8	8.1	17.7	29.1	14.2	0.4	1.8
	三世代世帯	58	29.3	5.2	8.6	15.5	25.9	13.8	0.0	1.7
	その他の世帯	42	33.3	9.5	7.1	4.8	21.4	19.0	2.4	2.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	277	18.1	9.4	6.9	14.4	30.7	18.4	0.4	1.8
	障害者手帳所持者がいる	101	29.7	12.9	5.9	11.9	24.8	11.9	0.0	3.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	15.4	0.0	23.1	53.8	0.0	7.7	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	41	17.1	12.2	7.3	14.6	29.3	14.6	2.4	2.4
	あてはまらない	118	22.0	5.9	7.6	24.6	25.4	11.0	1.7	1.7
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	12.5	8.3	0.0	41.7	29.2	8.3	0.0	0.0
	40～59歳	151	29.1	4.0	8.6	17.2	23.8	16.6	0.0	0.7
	60歳代	94	24.5	11.7	5.3	11.7	37.2	8.5	0.0	1.1
	70歳代	108	13.9	6.5	4.6	14.8	43.5	14.8	0.0	1.9
	80歳以上	67	13.4	7.5	4.5	11.9	28.4	29.9	0.0	4.5
	わからない	39	15.4	0.0	10.3	30.8	17.9	15.4	7.7	2.6
生活困窮	ゆとりがある	42	33.3	7.1	9.5	19.0	14.3	14.3	0.0	2.4
	まあまあゆとりがある	291	19.2	7.9	6.9	15.5	27.8	18.9	1.0	2.7
	やや苦しい	280	18.2	6.8	8.9	19.3	33.2	12.1	1.1	0.4
	不自由が多く、生活が苦しい	55	10.9	12.7	12.7	36.4	16.4	7.3	1.8	1.8
サービス	利用している	230	33.5	7.8	10.4	11.7	18.7	13.5	2.2	2.2
	利用していない	397	12.3	8.3	7.8	22.7	32.5	14.9	0.3	1.3
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	66	7.6	6.1	15.2	16.7	31.8	18.2	0.0	4.5
	視覚障害がある	29	20.7	6.9	10.3	20.7	20.7	20.7	0.0	0.0
	聴覚障害がある	44	27.3	4.5	4.5	15.9	20.5	22.7	2.3	2.3

⑥ 体調の変化から医療機関で受診するまでの期間

問　体調の変化に気がついてから、どれくらいで医療機関を受診しましたか。　（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号			13	12		

全体でみると、「１か月以内」が 29.4%と最も高く、次いで「１～６か月以内」が 24.8%、「１～５年以内」が 20.2%となっている。

障害種別でみると、精神では「１か月以内」が 32.9%と最も高く、自立では「１～６か月以内」が 38.9%となっており、どちらも『６か月以内』での受診が半数を占めている。

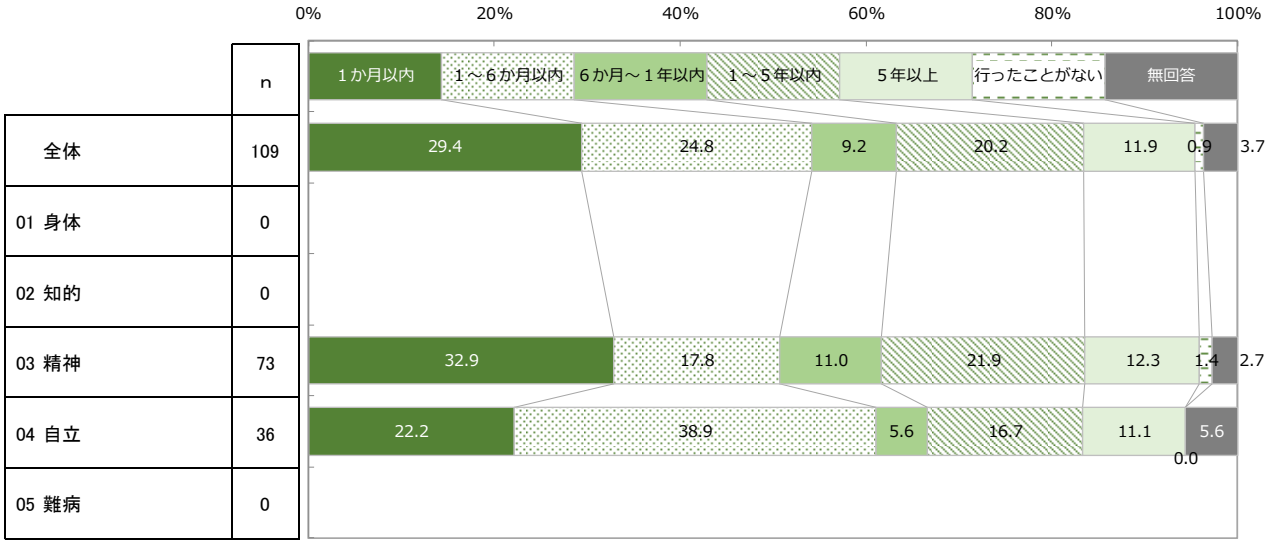
属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高い方が受診までの期間が短い傾向があり、年齢が若い場合は「１～５年以内」での受診が最も高くなっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』は「1 か月以内」が最も高く 46.4%となっているが、『核家族世帯』では「６か月以内」と「１～５年以内」で回答が分かれている。

生活困窮状況別では、「６か月以内」の受診は『ゆとりがある』『不自由が多く、生活が苦しい』層では６割を超えている一方で、『まあまあゆとりがある』『やや苦しい』では約５割となっている。

サービス利用別では、『利用している』は『利用していない』に比べて「６か月以内」での受診割合が低く、『利用していない』が 61.4%に対して『利用している』は 39.5%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	1か月以内	1～6か月以内	6か月～1年以内	1～5年以内	5年以上たってから	医療機関に行ったことがない	無回答
全体		109	29.4	24.8	9.2	20.2	11.9	0.9	3.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	8	0.0	37.5	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	13	15.4	23.1	15.4	38.5	7.7	0.0	0.0
	40～49歳	24	37.5	25.0	8.3	12.5	8.3	0.0	8.3
	50～59歳	36	30.6	25.0	11.1	16.7	13.9	0.0	2.8
	60～64歳	6	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	11	36.4	36.4	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0
	70歳以上	6	16.7	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7
世帯構成	ひとり暮らし	28	46.4	21.4	10.7	7.1	10.7	3.6	0.0
	核家族世帯	70	24.3	25.7	10.0	25.7	10.0	0.0	4.3
	三世代世帯	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	5	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	37	27.0	21.6	8.1	27.0	8.1	0.0	8.1
	障害者手帳所持者がいる	17	23.5	11.8	5.9	29.4	17.6	0.0	11.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	8	12.5	25.0	0.0	37.5	12.5	0.0	12.5
	あてはまらない	18	27.8	33.3	5.6	22.2	11.1	0.0	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	6	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0
	40～59歳	18	44.4	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0
	60歳代	10	20.0	60.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	70歳代	15	20.0	20.0	13.3	20.0	20.0	0.0	6.7
	80歳以上	9	11.1	22.2	0.0	44.4	11.1	0.0	11.1
	わからない	9	44.4	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0	11.1
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	30	26.7	23.3	16.7	23.3	6.7	0.0	3.3
	やや苦しい	51	29.4	21.6	7.8	23.5	13.7	0.0	3.9
	不自由が多く、生活が苦しい	21	33.3	33.3	4.8	14.3	9.5	4.8	0.0
サービス	利用している	38	23.7	15.8	13.2	21.1	15.8	2.6	7.9
	利用していない	57	31.6	29.8	7.0	22.8	8.8	0.0	0.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	17	35.3	11.8	5.9	17.6	23.5	0.0	5.9
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑦ 通院頻度

問　この 1 年間で、精神的な不調のために通っている医療機関への通院頻度をお答えください。
（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号			14	13	12	

全体でみると、「月に１回くらい」が 43.8%と最も高く、次いで「２か月に１回くらい」が 16.7%、「２週に１回くらい」が 10.9%となっている。

障害種別でみると、精神や自立では「月に１回くらい」が最も高くなっているが、「難病」では「２か月に１回くらい」が最も高くなっている。

属性別でみると、生活困窮状況別では、生活が苦しくなると通院頻度が高くなる傾向があり、『ゆとりがある』では「月に１回くらい」が 36.4%、「２か月に１回くらい」が 45.5%となっているのに対して、『不自由が多く、生活が苦しい』では「月に１回くらい」が 52.0%、「２か月に１回くらい」が 4.0%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	週に１回くらい	２週に１回くらい	月に１回くらい	２か月に１回くらい	３か月に１回くらい	６か月に１回くらい	具合が悪くなったときだけ	その他	特に病院に行っていない	無回答
全体		192	3.6	10.9	43.8	16.7	7.3	2.6	0.5	11.5	0.5	2.6 (%)
障害種別	身体											
	知的											
	精神	73	4.1	19.2	49.3	1.4	9.6	1.4	0.0	12.3	1.4	1.4
	自立	36	5.6	13.9	61.1	2.8	2.8	0.0	0.0	11.1	0.0	2.8
	難病	83	2.4	2.4	31.3	36.1	7.2	4.8	1.2	10.8	0.0	3.6

【属性別の集計】

		調査数	週に１回くらい	２週に１回くらい	月に１回くらい	２か月に１回くらい	３か月に１回くらい	６か月に１回くらい	具合が悪くなったときだけ	その他	特に病院に行っていない	無回答
全体		192	3.6	10.9	43.8	16.7	7.3	2.6	0.5	11.5	0.5	2.6
本人の年齢	18～19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	10	0.0	10.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	30～39歳	22	4.5	13.6	40.9	22.7	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
	40～49歳	34	2.9	20.6	41.2	14.7	8.8	2.9	0.0	8.8	0.0	0.0
	50～59歳	46	4.3	10.9	54.3	10.9	8.7	4.3	0.0	2.2	0.0	4.3
	60～64歳	13	0.0	7.7	46.2	30.8	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0
	65～69歳	21	4.8	14.3	33.3	14.3	9.5	4.8	0.0	14.3	4.8	0.0
	70歳以上	41	4.9	2.4	41.5	22.0	2.4	2.4	2.4	14.6	0.0	7.3
世帯構成	ひとり暮らし	45	4.4	8.9	48.9	13.3	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	4.4
	核家族世帯	128	3.9	10.2	43.0	18.8	8.6	1.6	0.8	10.9	0.8	1.6
	三世代世帯	9	0.0	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1
	その他の世帯	6	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	65	3.1	13.8	49.2	13.8	3.1	0.0	1.5	10.8	1.5	3.1
	障害者手帳所持者がいる	25	0.0	24.0	44.0	8.0	12.0	4.0	0.0	8.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	6	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	14	0.0	14.3	50.0	7.1	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1
	あてはまらない	34	5.9	5.9	38.2	23.5	8.8	0.0	0.0	17.6	0.0	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	10	10.0	10.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	38	5.3	10.5	34.2	23.7	13.2	0.0	0.0	13.2	0.0	0.0
	60歳代	19	0.0	15.8	36.8	21.1	0.0	0.0	0.0	15.8	5.3	5.3
	70歳代	30	3.3	10.0	60.0	6.7	0.0	3.3	3.3	10.0	0.0	3.3
	80歳以上	14	0.0	14.3	50.0	14.3	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
	わからない	10	0.0	20.0	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	11	0.0	18.2	36.4	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	71	2.8	5.6	43.7	19.7	9.9	2.8	1.4	14.1	0.0	0.0
	やや苦しい	80	6.3	12.5	43.8	15.0	6.3	2.5	0.0	11.3	1.3	1.3
	不自由が多く、生活が苦しい	25	0.0	16.0	52.0	4.0	4.0	0.0	0.0	8.0	0.0	16.0
サービス	利用している	57	3.5	14.0	43.9	12.3	8.8	1.8	0.0	12.3	0.0	3.5
	利用していない	114	3.5	10.5	43.0	20.2	6.1	2.6	0.9	9.6	0.9	2.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	22	4.5	18.2	40.9	18.2	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0	4.5
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑧ 通院で困っていること

問　通院の際に困っていることをお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号			15	14	13	

全体でみると、「病院までの移動が困難」が 22.4%と最も高く、次いで「経済的な負担が大きい」が 16.2%、「予定日の当日に体調不良で通院できない」が 14.6%となっている。一方で、「特にない」は 38.0%なっている。

障害種別でみると、精神では「予定日の当日に体調不良で通院できない」が 20.5%と最も高く、次いで「主治医との意思疎通がとりづらい」が 19.2%となっている。自立・難病では「病院までの移動が困難」が最も高く、「経済的な負担が大きい」が続いている。

属性別でみると、本人の年齢別では「病院までの移動が困難」は『70 歳以上』で 39.0%となっており、「予定日の当日に体調不良で通院できない」は『30～59 歳』で高くなっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「予定日の当日に体調不良で通院できない」が最も高く、『三世帯家族』では「病院までの移動が困難」が 44.4%と高くなっている。

同居人の特徴別では、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』や『病気などの理由で不自由な方がいる』場合に「経済的な負担が大きい」とする割合が高くなっている。

介助者の年齢別では、「病院までの移動が困難」が介助者の年齢が『60 歳代』を除く全てで高くなっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるほど「経済的な負担が大きい」の割合が高くなる傾向がある。また、『不自由が多く、生活が苦しい』層の 52.0%が「予定日の当日に体調不良で通院できない」となっており、「特にない」の割合も低くなっている。

サービス利用別では、『利用している』では「介助者の負担が大きい」が 15.8%となっており、『利用していない』の 2.6%に比べて高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	予定日の当日に体調不良で通院できない	経済的な負担が大きい	病院までの移動が困難	同伴者がいない	介助者の負担が大きい	仕事を休みづらい（休めない）	主治医との意思疎通がとりづらい	病院を変えたいが相談できない	その他	特にない	無回答
全体		192	14.6	16.1	22.4	6.8	7.3	8.3	13.0	5.7	10.4	38.0	3.6 (%)
障害種別	身体												
	知的												
	精神	73	20.5	8.2	16.4	6.8	5.5	4.1	19.2	9.6	16.4	41.1	4.1
	自立	36	16.7	19.4	19.4	5.6	8.3	13.9	2.8	2.8	8.3	47.2	0.0
	難病	83	8.4	21.7	28.9	7.2	8.4	9.6	12.0	3.6	6.0	31.3	4.8

【属性別の集計】

		調査数	予定日の当日に体調不良で通院できない	経済的な負担が大きい	病院までの移動が困難	同伴者がいない	介助者の負担が大きい	仕事を休みづらい（休めない）	主治医との意思疎通がとりづらい	病院を変えたいが相談できない	その他	特にない	無回答
全体		192	14.6	16.1	22.4	6.8	7.3	8.3	13.0	5.7	10.4	38.0	3.6
本人の年齢	18～19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	10	0.0	30.0	20.0	10.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	50.0	0.0
	30～39歳	22	31.8	36.4	31.8	9.1	9.1	22.7	13.6	4.5	13.6	18.2	0.0
	40～49歳	34	14.7	20.6	11.8	0.0	0.0	2.9	14.7	11.8	11.8	38.2	2.9
	50～59歳	46	19.6	6.5	19.6	8.7	0.0	6.5	15.2	4.3	17.4	47.8	2.2
	60～64歳	13	7.7	15.4	15.4	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	61.5	0.0
	65～69歳	21	9.5	0.0	9.5	4.8	4.8	9.5	19.0	4.8	19.0	28.6	14.3
	70歳以上	41	9.8	19.5	39.0	9.8	19.5	2.4	9.8	4.9	0.0	34.1	2.4
世帯構成	ひとり暮らし	45	26.7	13.3	20.0	8.9	0.0	8.9	17.8	4.4	20.0	31.1	4.4
	核家族世帯	128	11.7	17.2	21.1	6.3	9.4	9.4	11.7	6.3	6.3	42.2	2.3
	三世代世帯	9	11.1	33.3	44.4	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0
	その他の世帯	6	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	65	10.8	16.9	21.5	3.1	10.8	1.5	16.9	10.8	6.2	46.2	1.5
	障害者手帳所持者がいる	25	16.0	8.0	32.0	12.0	8.0	8.0	16.0	16.0	4.0	36.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	6	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	14	0.0	28.6	35.7	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	42.9	0.0
	あてはまらない	34	8.8	17.6	17.6	5.9	11.8	14.7	2.9	0.0	11.8	38.2	2.9
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	10	20.0	20.0	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	40.0	10.0
	40～59歳	38	15.8	10.5	34.2	7.9	10.5	13.2	13.2	2.6	13.2	28.9	0.0
	60歳代	19	21.1	21.1	10.5	0.0	15.8	10.5	15.8	10.5	15.8	26.3	0.0
	70歳代	30	6.7	13.3	23.3	10.0	13.3	6.7	13.3	10.0	3.3	40.0	6.7
	80歳以上	14	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	7.1	28.6	7.1	7.1	35.7	0.0
	わからない	10	20.0	10.0	30.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	40.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	11	0.0	0.0	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	63.6	0.0
	まあまあゆとりがある	71	7.0	12.7	15.5	1.4	7.0	7.0	12.7	5.6	5.6	50.7	1.4
	やや苦しい	80	12.5	18.8	26.3	8.8	6.3	10.0	11.3	5.0	15.0	30.0	5.0
	不自由が多く、生活が苦しい	25	52.0	24.0	32.0	16.0	12.0	8.0	24.0	12.0	8.0	16.0	4.0
サービス	利用している	57	8.8	12.3	19.3	3.5	15.8	7.0	12.3	5.3	8.8	42.1	1.8
	利用していない	114	17.5	19.3	22.8	8.8	2.6	10.5	14.0	5.3	12.3	36.0	3.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	22	9.1	9.1	27.3	9.1	13.6	0.0	22.7	0.0	18.2	45.5	0.0
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

⑨ 自宅での医療的ケア

問　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	13	13	16	15	14	15

全体でみると、「リハビリテーション」が 40.8%と最も高く、次いで「注射・点滴」が 5.6%、「経管栄養」が 4.2%となっている。一方で、「特にない」が 16.9%となっている。

障害種別でみると、身体・難病では「リハビリテーション」が高く、身体では 47.5%、難病で 75.0%となっている。また、精神は「特にない」46.7%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、高齢になると「リハビリテーション」が高くなり、『70 歳以上』で 58.3%となっている。

サービス利用別では、『利用している』では「リハビリテーション」が 37.5%となっているのに対して、『利用していない』では 63.6%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	注射・点滴	自己注射	リハビリテーション	経管栄養	気管切開（それに伴う処置）	褥瘡処置	吸引器使用	ネブライザー使用	膀胱カテーテル	自己導尿	人工透析	酸素吸入器	人工呼吸器装着	その他	特にない	無回答
全体		71	5.6	2.8	40.8	4.2	1.4	0.0	2.8	1.4	1.4	1.4	0.0	1.4	2.8	33.8	16.9	9.9
障害種別	身体	40	5.0	2.5	47.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5	0.0	2.5	0.0	32.5	12.5	12.5
	知的	5	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0
	精神	15	6.7	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	46.7	0.0
	自立	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3
	難病	8	0.0	0.0	75.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	注射・点滴	自己注射	リハビリテーション	経管栄養	気管切開（それに伴う処置）	褥瘡処置	吸引器使用	ネブライザー使用	膀胱カテーテル	自己導尿	人工透析	酸素吸入器	人工呼吸器装着	その他	特にない	無回答
全体		71	5.6	2.8	40.8	4.2	1.4	0.0	2.8	1.4	1.4	1.4	0.0	1.4	2.8	33.8	16.9	9.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
	30～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	7	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	28.6	28.6
	50～59歳	13	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	30.8	23.1
	60～64歳	2	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	9	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	22.2	11.1
	70歳以上	36	5.6	2.8	58.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	36.1	8.3	2.8
世帯構成	ひとり暮らし	19	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0	47.4	31.6	5.3
	核家族世帯	40	5.0	5.0	55.0	7.5	2.5	0.0	5.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	22.5	12.5	12.5
	三世代世帯	5	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	その他の世帯	6	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	16.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	31	6.5	6.5	48.4	6.5	3.2	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	25.8	19.4	3.2
	障害者手帳所持者がいる	14	14.3	7.1	50.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	21.4	14.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	4	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
	あてはまらない	8	12.5	0.0	75.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	50.0	0.0	0.0
介助者の年齢	19歳以下	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0
	40～59歳	19	5.3	0.0	31.6	5.3	5.3	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	47.4	10.5	10.5
	60歳代	8	12.5	12.5	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	12.5
	70歳代	13	7.7	7.7	61.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	15.4	7.7
	80歳以上	7	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9	0.0
	わからない	8	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	12.5	12.5
生活困窮	ゆとりがある	7	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	28.6	0.0
	まあまあゆとりがある	19	5.3	5.3	42.1	5.3	5.3	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	31.6	21.1	5.3
	やや苦しい	36	8.3	0.0	47.2	5.6	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8	27.8	13.9	11.1
	不自由が多く、生活が苦しい	8	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	50.0	12.5	25.0
サービス	利用している	56	5.4	1.8	37.5	5.4	1.8	0.0	3.6	1.8	1.8	1.8	0.0	1.8	3.6	28.6	19.6	12.5
	利用していない	11	9.1	9.1	63.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	0.0	0.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	5.6	2.8	40.8	4.2	1.4	0.0	2.8	1.4	1.4	1.4	0.0	1.4	2.8	33.8	16.9	9.9
	視覚障害がある	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	聴覚障害がある	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

⑩ 要介護認定

問　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。　（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	14	14	17	16	15	16

全体でみると、「受けていない、または非該当」が 56.4%と最も高く、次いで「要支援１」が 4.9%、「要介護１」が 4.7%となっている。

障害種別でみると、「受けていない、または非該当」は知的・精神・自立・難病で半数を上回っている。一方で、身体では「要支援１・２」が 12.2%、「要介護１・２」が 13.4%、「要介護３以上」が 10.5%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『65 歳以上』になると「受けていない、または非該当」が半数を下回り、『70 歳以上』では 46.2%が要介護認定を受けている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』の 33.4%が要介護認定を受けており、『核家族世帯』では 22.1%、『三世代世帯』では 29.0%となっている。

同居人の特徴別では、「妊婦や小学生以下の子供がいる」は介護認定を「受けていない、または非該当」の割合が 100.0%となっている。

介助者の年齢別では、「受けていない、または非該当」の割合に大きな差はない。

サービス利用別では、『利用している』は「受けていない、または非該当」が 42.9%と低く、43.7%が要介護認定を受けている。一方で、『利用していない』で要介護認定を受けているのは 17.4%となっている。

特徴的な状態別では、『医療的ケアを受けている』では「受けていない、または非該当」の割合が 23.9%と割合が低く、67.6%が要介護認定を受けている。

【障害種別の集計】

		調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	受けていない、または非該当	わからない	無回答
全体		741	4.9	4.5	4.7	4.5	3.2	3.4	2.3	56.4	5.5	10.7 (%)
障害種別	身体	427	6.1	6.1	6.8	6.6	3.5	4.4	2.6	49.4	3.5	11.0
	知的	101	1.0	2.0	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	67.3	13.9	12.9
	精神	77	2.6	2.6	2.6	0.0	1.3	1.3	2.6	66.2	11.7	9.1
	自立	40	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	85.0	5.0	7.5
	難病	95	7.4	3.2	4.2	5.3	6.3	3.2	4.2	55.8	1.1	9.5

【属性別の集計】

		調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	受けていない、または非該当	わからない	無回答
全体		741	4.9	4.5	4.7	4.5	3.2	3.4	2.3	56.4	5.5	10.7
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.0	14.0	8.0
	30～39歳	47	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.4	8.5	2.1
	40～49歳	82	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79.3	6.1	12.2
	50～59歳	102	0.0	1.0	1.0	2.9	2.0	2.0	2.0	75.5	6.9	6.9
	60～64歳	37	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	5.4	2.7	54.1	10.8	13.5
	65～69歳	77	6.5	5.2	3.9	7.8	2.6	3.9	5.2	44.2	6.5	14.3
	70歳以上	330	8.8	7.6	9.1	7.0	5.5	5.5	2.7	41.2	2.1	10.6
世帯構成	ひとり暮らし	146	4.1	7.5	7.5	5.5	2.7	3.4	2.7	52.7	4.1	9.6
	核家族世帯	478	5.9	3.1	3.8	3.6	2.1	2.3	1.3	62.1	5.2	10.7
	三世代世帯	62	3.2	4.8	6.5	4.8	6.5	3.2	0.0	50.0	11.3	9.7
	その他の世帯	42	0.0	7.1	2.4	11.9	9.5	14.3	14.3	28.6	4.8	7.1
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	5.2	2.4	5.5	4.5	4.5	4.1	1.4	57.6	5.9	9.0
	障害者手帳所持者がいる	103	4.9	1.9	2.9	4.9	3.9	5.8	3.9	50.5	8.7	12.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	4.7	0.0	9.3	4.7	4.7	4.7	0.0	48.8	9.3	14.0
	あてはまらない	125	5.6	4.8	3.2	1.6	0.8	0.8	1.6	67.2	5.6	8.8
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	4.2	0.0	0.0	4.2	4.2	8.3	4.2	58.3	4.2	12.5
	40～59歳	155	1.9	5.8	5.2	6.5	5.2	2.6	1.9	56.1	3.9	11.0
	60歳代	99	5.1	6.1	6.1	4.0	4.0	3.0	2.0	50.5	9.1	10.1
	70歳代	116	9.5	1.7	5.2	7.8	1.7	6.0	2.6	50.9	5.2	9.5
	80歳以上	73	8.2	6.8	6.8	4.1	0.0	5.5	1.4	46.6	4.1	16.4
	わからない	41	2.4	4.9	9.8	9.8	12.2	7.3	7.3	34.1	7.3	4.9
生活困窮	ゆとりがある	42	9.5	4.8	4.8	7.1	2.4	0.0	2.4	50.0	9.5	9.5
	まあまあゆとりがある	302	5.6	4.0	5.6	4.0	3.3	3.0	1.3	58.6	3.6	10.9
	やや苦しい	291	4.1	4.5	5.2	4.8	3.1	4.1	3.1	55.3	5.8	10.0
	不自由が多く、生活が苦しい	58	3.4	3.4	0.0	5.2	6.9	3.4	3.4	55.2	12.1	6.9
サービス	利用している	240	5.4	5.8	10.0	7.5	5.0	6.7	3.3	42.9	6.3	7.1
	利用していない	418	4.5	3.3	2.4	2.4	2.6	1.2	1.0	67.9	5.0	9.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	2.8	2.8	14.1	14.1	8.5	18.3	7.0	23.9	2.8	5.6
	視覚障害がある	29	6.9	3.4	6.9	10.3	3.4	6.9	10.3	37.9	10.3	3.4
	聴覚障害がある	44	6.8	2.3	6.8	4.5	2.3	4.5	2.3	54.5	2.3	13.6

(%)

⑪ 差別・偏見を感じたこと

問　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。　（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	15	15	18	17	16	17

全体でみると、「ほとんど感じることはない」が 54.8%と最も高く、次いで「たまに感じる」が 25.5%、「わからない」が 10.4%となっている。

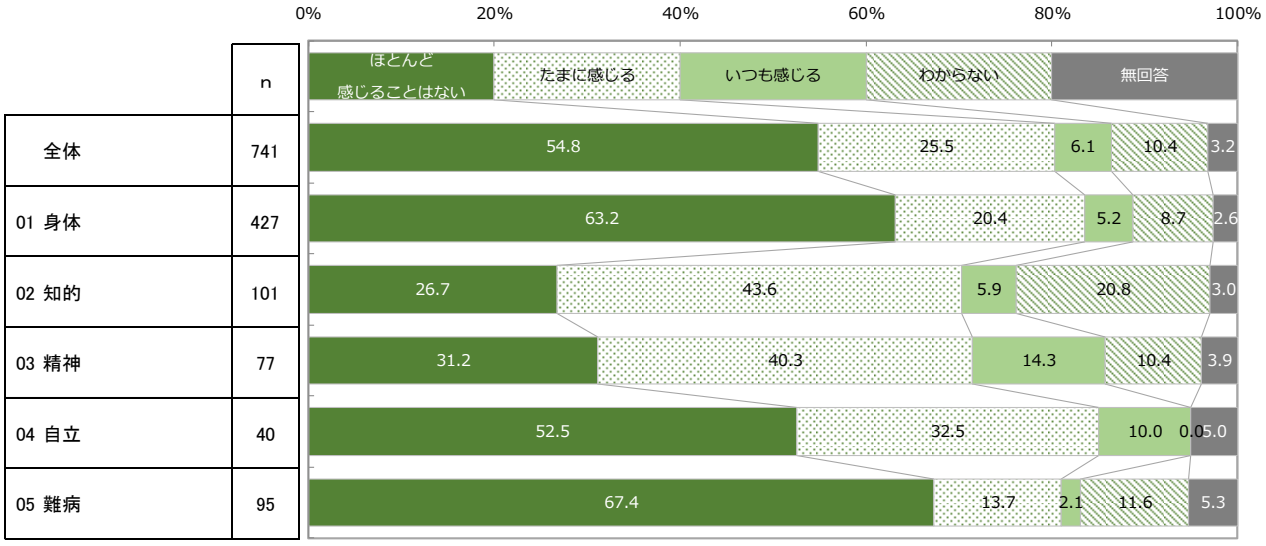
障害種別でみると、身体・自立・難病では「ほとんど感じることはない」が半数を超えている。一方で、知的・精神では「たまに感じる」が約４割と最も高く、特に精神では「いつも感じる」が 14.3%と全ての障害種別の中で最も高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高齢になるほど差別・偏見を「ほとんど感じることはない」の割合は高くなる傾向がある。一方で「いつも感じる」は『30～49 歳』で１割を超え高くなっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるにつれて差別などを感じる割合が高くなる傾向があり、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「いつも感じる」が 20.7%となっている。

特徴的な状態別では、『視覚障害がある』では「いつも感じる」が 17.2%となっており、他に比べて高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない	無回答
全体	741	54.8	25.5	6.1	10.4	3.2
01 身体	427	63.2	20.4	5.2	8.7	2.6
02 知的	101	26.7	43.6	5.9	20.8	3.0
03 精神	77	31.2	40.3	14.3	10.4	3.9
04 自立	40	52.5	32.5	10.0	0.0	5.0
05 難病	95	67.4	13.7	2.1	11.6	5.3

【属性別の集計】

		調査数	ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない	無回答
全体		741	54.8	25.5	6.1	10.4	3.2
本人の年齢	18～19歳	5	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	36.0	32.0	2.0	28.0	2.0
	30～39歳	47	31.9	44.7	12.8	10.6	0.0
	40～49歳	82	40.2	34.1	18.3	4.9	2.4
	50～59歳	102	51.0	33.3	3.9	5.9	5.9
	60～64歳	37	56.8	21.6	8.1	10.8	2.7
	65～69歳	77	45.5	28.6	6.5	14.3	5.2
	70歳以上	330	67.9	17.6	3.0	9.1	2.4
世帯構成	ひとり暮らし	146	56.8	25.3	6.8	8.9	2.1
	核家族世帯	478	56.9	24.7	5.6	9.2	3.6
	三世代世帯	62	43.5	33.9	8.1	12.9	1.6
	その他の世帯	42	38.1	28.6	4.8	23.8	4.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	59.7	23.1	5.2	9.3	2.8
	障害者手帳所持者がいる	103	43.7	35.9	5.8	9.7	4.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	38.5	38.5	7.7	15.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	51.2	25.6	4.7	11.6	7.0
	あてはまらない	125	53.6	26.4	8.0	8.8	3.2
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	37.5	29.2	8.3	20.8	4.2
	40～59歳	155	47.7	29.7	8.4	12.3	1.9
	60歳代	99	53.5	26.3	5.1	15.2	0.0
	70歳代	116	55.2	30.2	3.4	8.6	2.6
	80歳以上	73	69.9	15.1	2.7	5.5	6.8
	わからない	41	43.9	24.4	12.2	17.1	2.4
生活困窮	ゆとりがある	42	81.0	14.3	0.0	4.8	0.0
	まあまあゆとりがある	302	62.9	20.5	2.6	10.6	3.3
	やや苦しい	291	51.9	28.2	8.6	9.3	2.1
	不自由が多く、生活が苦しい	58	20.7	39.7	20.7	15.5	3.4
サービス	利用している	240	42.5	33.8	7.9	13.8	2.1
	利用していない	418	63.2	22.0	4.8	7.4	2.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	49.3	28.2	9.9	8.5	4.2
	視覚障害がある	29	51.7	17.2	17.2	13.8	0.0
	聴覚障害がある	44	52.3	27.3	9.1	9.1	2.3

(%)

⑫ 差別・偏見を受けた場所

問　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。
（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	16	16	19	18	17	18

全体でみると、「バスや電車などの交通機関」が 38.9%と最も高く、次いで「スーパーやレストラン」が 25.6%、「病院などの医療機関」が 20.5%となっている。

障害種別でみると、身体・知的では「バスや電車などの交通機関」で受けた割合が高く、特に知的では 70.0%となっている。精神では「病院などの医療機関」が 35.7%と最も高く、自立・難病では「学校や職場」が最も高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『18~29 歳』『60～64 歳』で「バスや電車などの交通機関」が最も高くなっており、『49 歳以下』の若い世代では「学校や職場」も高くなっている。一方で、『70 歳以上』になると「病院などの医療機関」や「福祉サービス事業所」で他の年代よりも高くなっている。

世帯構成別では、『三世代世帯』で「スーパーやレストラン」が 38.5%、「バスや電車などの交通機関」が 53.8%と高くなっている。また、「その他の世帯」では「福祉サービス事業所」での差別を受けた割合が高く 42.9%となっている。

同居人の特徴別では、「妊婦や小学生以下の子どもがいる」は「バスや電車などの交通機関」で差別を受けた割合が 16.7%と低く、「学校や職場」と「市役所などの公的機関」がそれぞれ 33.3%と高い割合となっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるにつれて「病院などの医療機関」が高くなる傾向があり『不自由が多く、生活が苦しい』では 37.1%となっている。

特徴的な状態別では、『聴覚障害がある』では「病院などの医療機関」や「スーパーやレストラン」の割合が高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	学校や職場	市役所などの公的機関	病院などの医療機関	福祉サービス事業所	スーパーやレストラン	バスや電車などの交通機関	面接などの就職活動の場	余暇活動の場	その他	無回答
全体		234	12.8	10.3	20.5	8.5	25.6	38.9	7.3	15.0	14.5	3.8 (%)
障害種別	身体	109	5.5	10.1	19.3	10.1	23.9	32.1	3.7	12.8	17.4	3.7
	知的	50	16.0	4.0	8.0	6.0	48.0	70.0	6.0	14.0	8.0	2.0
	精神	42	14.3	16.7	35.7	11.9	9.5	33.3	16.7	21.4	11.9	4.8
	自立	17	35.3	11.8	17.6	5.9	29.4	23.5	17.6	17.6	23.5	5.9
	難病	15	26.7	13.3	26.7	0.0	6.7	20.0	0.0	13.3	13.3	6.7

【属性別の集計】

		調査数	学校や職場	市役所などの公的機関	病院などの医療機関	福祉サービス事業所	スーパーやレストラン	バスや電車などの交通機関	面接などの就職活動の場	余暇活動の場	その他	無回答
全体		234	12.8	10.3	20.5	8.5	25.6	38.9	7.3	15.0	14.5	3.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	3	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	17	23.5	11.8	5.9	5.9	35.3	64.7	11.8	29.4	0.0	0.0
	30～39歳	27	33.3	11.1	14.8	7.4	37.0	40.7	22.2	22.2	14.8	3.7
	40～49歳	43	20.9	11.6	20.9	7.0	20.9	44.2	11.6	16.3	11.6	2.3
	50～59歳	38	10.5	13.2	23.7	5.3	23.7	34.2	10.5	15.8	15.8	7.9
	60～64歳	11	18.2	9.1	9.1	9.1	54.5	54.5	0.0	9.1	0.0	0.0
	65～69歳	27	3.7	7.4	11.1	3.7	25.9	37.0	0.0	3.7	22.2	3.7
	70歳以上	68	1.5	8.8	29.4	14.7	14.7	26.5	0.0	13.2	19.1	4.4
世帯構成	ひとり暮らし	47	6.4	10.6	27.7	0.0	17.0	34.0	10.6	4.3	25.5	4.3
	核家族世帯	145	16.6	11.0	18.6	9.0	26.2	39.3	6.9	20.7	12.4	2.8
	三世代世帯	26	11.5	11.5	15.4	3.8	38.5	53.8	7.7	7.7	11.5	0.0
	その他の世帯	14	0.0	0.0	28.6	42.9	28.6	28.6	0.0	7.1	7.1	7.1
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	82	12.2	11.0	18.3	9.8	25.6	42.7	4.9	23.2	8.5	4.9
	障害者手帳所持者がいる	43	20.9	14.0	18.6	9.3	11.6	41.9	7.0	11.6	4.7	4.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	6	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	13	7.7	7.7	7.7	15.4	7.7	53.8	7.7	7.7	7.7	7.7
	あてはまらない	43	16.3	4.7	23.3	7.0	34.9	51.2	7.0	9.3	14.0	2.3
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	9	0.0	22.2	33.3	11.1	33.3	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0
	40～59歳	59	15.3	8.5	22.0	5.1	33.9	40.7	6.8	6.8	13.6	3.4
	60歳代	31	12.9	3.2	12.9	9.7	45.2	45.2	3.2	32.3	16.1	3.2
	70歳代	39	12.8	7.7	12.8	5.1	20.5	41.0	2.6	17.9	2.6	10.3
	80歳以上	13	0.0	7.7	15.4	7.7	15.4	38.5	7.7	15.4	15.4	7.7
	わからない	15	0.0	6.7	46.7	13.3	20.0	13.3	6.7	13.3	33.3	6.7
生活困窮	ゆとりがある	6	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	70	7.1	8.6	18.6	8.6	27.1	31.4	4.3	14.3	14.3	4.3
	やや苦しい	107	15.9	10.3	20.6	12.1	25.2	40.2	7.5	15.0	13.1	3.7
	不自由が多く、生活が苦しい	35	14.3	17.1	37.1	2.9	17.1	45.7	14.3	14.3	22.9	2.9
サービス	利用している	100	13.0	12.0	22.0	15.0	31.0	47.0	4.0	14.0	13.0	3.0
	利用していない	112	14.3	8.0	16.1	4.5	19.6	33.0	9.8	15.2	15.2	4.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	27	0.0	14.8	29.6	11.1	22.2	33.3	3.7	11.1	14.8	7.4
	視覚障害がある	10	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	40.0	0.0
	聴覚障害がある	16	0.0	0.0	43.8	12.5	31.3	25.0	6.3	18.8	12.5	0.0

⑬ 発達障害の診断内容

問　診断内容をお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号						11

【選択肢】

1．自閉症	5．チック（トゥレット症候群）
2．アスペルガー症候群	6．吃音症
3．注意欠陥多動性障害（ADHD）	7．その他の発達障害
4．学習障害（LD）	8．わからない

⑭ 発達障害と知ったときの相談先

問　発達障害であると感じた際の相談先はどこですか。また、相談した人がいれば併せてお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号						13

【選択肢】

1．市役所の窓口	11．こどもの発達センター　ひいらぎ
2．かかりつけのの医師や看護師	12．その他の福祉施設や相談支援事業所
3．心療内科	13．保育所や幼稚園、学校
4．市が実施する乳幼児健診	14．社会福祉協議会
5．東京都発達障害者支援センター TOSCA	15．職場の同僚
6．保健所、保健センター	16．友人や知人
7．産業医・カウンセラー	17．家族や親せき
8．ハローワーク	18．自分自身でなんとなく気がついた
9．子ども家庭支援センター のどか	19．その他（　　）
10．児童相談所	20．特に相談していない
	21．わからない

発達障害者調査については、回収数が少なく、統計的な有意性を担保できないことから、結果を割愛しています。

⑮ 相談しなかった理由

問　相談されなかった理由をお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号						14

【選択肢】

1．困っていることがなかった	5．身近に相談できる人や場所がなかった
2．どこに相談できるのかわからなかった	6．学校や職場などに知られたくなかった
3．発達障害を受け入れられなかった	7．その他（　　）
4．相談することのメリットが感じられなかった	

発達障害者調査については、回収数が少なく、統計的な有意性を担保できないことから、結果を割愛しています。

3.　日常生活について

①　介助が必要な動作（食事、トイレ等、入浴、寝返り・起き上がり）

問　あなたは次の動作について介助が必要ですか。　（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	17	17	20	19	18	19

【食事をする】

全体でみると、81.8%が「ひとりでできる」としており、障害種別でみても同様の水準となっている。属性別でみると、世帯構成別では、『その他の世帯』において「ひとりでできる」が 57.1%と低くなっている。

【トイレの使用やオムツ交換】

全体でみると、74.4%が「ひとりでできる」としており、障害種別でみても同様の水準となっている。属性別でみると、介助者の年齢別では、『80 歳以上』となると「ひとりでできる」が 58.9%と低くなる。また、特徴的な状態別では、『医療的ケアを受けている』や『聴覚障害がある』で全体を下回っている。

【お風呂に入る】

全体でみると、69.5%が「ひとりでできる」としており、障害種別でみると、知的では「ひとりでできる」が 56.4%と低くなっている。属性別でみると、本人の年齢別では『18～29 歳』『65 歳以上』では「ひとりでできる」が全体を下回っている。また、生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層、サービス利用別では『利用している』、特徴的な状態別では『医療的ケアを受けている』などで「ひとりでできる」が低くなっている。

【寝返り・起き上がり】

全体でみると、82.5%が「ひとりでできる」としており、障害種別でみても同様の水準となっている。属性別でみると、世帯構成別では『その他の世帯』、特徴的な状態別では『医療的ケアを受けている』で「ひとりでできる」が７割を下回っている。

【障害種別の集計】

		調査数	食事をする				トイレの使用やオムツ交換				お風呂に入る				寝返り・起き上がり			
			ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		741	81.8	7.3	2.8	8.1	74.4	8.0	5.4	12.3	69.5	13.0	9.0	8.5	82.5	5.7	3.0	8.9
障害種別	身体	427	81.7	6.8	1.9	9.6	73.1	7.0	5.2	14.8	68.4	12.4	8.4	10.8	79.6	7.0	2.8	10.5
	知的	101	74.3	15.8	5.9	4.0	67.3	18.8	7.9	5.9	56.4	22.8	17.8	3.0	88.1	3.0	4.0	5.0
	精神	77	80.5	5.2	3.9	10.4	80.5	0.0	3.9	15.6	77.9	6.5	5.2	10.4	87.0	0.0	2.6	10.4
	自立	40	95.0	2.5	0.0	2.5	95.0	0.0	2.5	2.5	87.5	10.0	0.0	2.5	90.0	7.5	0.0	2.5
	難病	95	85.3	4.2	4.2	6.3	73.7	10.5	6.3	9.5	73.7	11.6	9.5	5.3	82.1	6.3	4.2	7.4

(%)

【属性別の集計】

		調査数	食事をする				トイレの使用やオムツ交換				お風呂に入る				寝返り・起き上がり			
			ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		741	81.8	7.3	2.8	8.1	74.4	8.0	5.4	12.3	69.5	13.0	9.0	8.5	82.5	5.7	3.0	8.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	80.0	20.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	40.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	74.0	18.0	8.0	0.0	72.0	16.0	10.0	2.0	60.0	22.0	18.0	0.0	90.0	2.0	6.0	2.0
	30～39歳	47	87.2	12.8	0.0	0.0	87.2	10.6	2.1	0.0	78.7	12.8	8.5	0.0	97.9	0.0	2.1	0.0
	40～49歳	82	80.5	6.1	7.3	6.1	79.3	8.5	4.9	7.3	75.6	9.8	9.8	4.9	82.9	6.1	2.4	8.5
	50～59歳	102	87.3	4.9	2.0	5.9	81.4	4.9	2.9	10.8	77.5	10.8	3.9	7.8	86.3	5.9	1.0	6.9
	60～64歳	37	89.2	5.4	2.7	2.7	91.9	5.4	2.7	0.0	91.9	5.4	2.7	0.0	91.9	5.4	2.7	0.0
	65～69歳	77	84.4	3.9	1.3	10.4	77.9	1.3	6.5	14.3	68.8	10.4	9.1	11.7	84.4	1.3	3.9	10.4
	70歳以上	330	80.0	6.7	2.1	11.2	67.6	8.8	5.8	17.9	64.2	14.5	9.4	11.8	77.3	7.6	3.0	12.1
世帯構成	ひとり暮らし	146	84.9	2.1	1.4	11.6	79.5	2.1	2.1	16.4	71.9	13.0	3.4	11.6	82.2	5.5	0.7	11.6
	核家族世帯	478	82.6	7.3	2.5	7.5	76.6	7.1	4.0	12.3	74.7	10.3	6.9	8.2	84.3	4.4	2.5	8.8
	三世代世帯	62	87.1	6.5	1.6	4.8	72.6	14.5	6.5	6.5	64.5	16.1	14.5	4.8	83.9	9.7	1.6	4.8
	その他の世帯	42	57.1	26.2	14.3	2.4	42.9	26.2	28.6	2.4	19.0	38.1	40.5	2.4	64.3	14.3	16.7	4.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	82.1	6.6	3.4	7.9	72.4	8.3	6.2	13.1	69.0	13.8	9.7	7.6	82.4	5.9	2.8	9.0
	障害者手帳所持者がいる	103	79.6	8.7	3.9	7.8	69.9	7.8	7.8	14.6	63.1	18.4	9.7	8.7	75.7	8.7	2.9	12.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	92.3	0.0	7.7	0.0	92.3	0.0	7.7	0.0	92.3	0.0	7.7	0.0	92.3	0.0	7.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	72.1	18.6	2.3	7.0	62.8	14.0	9.3	14.0	55.8	27.9	9.3	7.0	74.4	11.6	2.3	11.6
	あてはまらない	125	84.0	11.2	2.4	2.4	82.4	8.0	4.0	5.6	79.2	9.6	8.0	3.2	88.0	4.8	4.0	3.2
介助者の年齢	19歳以下	2	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	75.0	12.5	8.3	4.2	66.7	20.8	8.3	4.2	58.3	12.5	25.0	4.2	79.2	8.3	8.3	4.2
	40～59歳	155	82.6	11.0	3.9	2.6	75.5	12.3	5.8	6.5	69.7	16.8	9.7	3.9	85.2	5.8	3.9	5.2
	60歳代	99	83.8	8.1	2.0	6.1	75.8	10.1	7.1	7.1	63.6	16.2	14.1	6.1	84.8	6.1	4.0	5.1
	70歳代	116	80.2	7.8	1.7	10.3	73.3	9.5	5.2	12.1	66.4	13.8	9.5	10.3	78.4	6.9	3.4	11.2
	80歳以上	73	75.3	4.1	1.4	19.2	58.9	2.7	1.4	37.0	67.1	8.2	2.7	21.9	74.0	4.1	0.0	21.9
	わからない	41	75.6	9.8	7.3	7.3	61.0	14.6	14.6	9.8	39.0	36.6	19.5	4.9	75.6	12.2	7.3	4.9
生活困窮	ゆとりがある	42	85.7	4.8	7.1	2.4	81.0	4.8	7.1	7.1	78.6	2.4	14.3	4.8	85.7	2.4	4.8	7.1
	まあまあゆとりがある	302	82.8	7.0	2.3	7.9	72.5	9.9	3.3	14.2	69.5	13.2	8.6	8.6	85.4	4.0	1.3	9.3
	やや苦しい	291	82.1	7.6	2.4	7.9	75.9	7.2	6.9	10.0	69.8	14.4	8.6	7.2	81.8	5.8	4.5	7.9
	不自由が多く、生活が苦しい	58	75.9	8.6	6.9	8.6	72.4	5.2	10.3	12.1	60.3	15.5	13.8	10.3	70.7	15.5	5.2	8.6
サービス	利用している	240	72.1	16.3	5.4	6.3	65.4	16.3	10.0	8.3	50.0	26.3	17.5	6.3	77.9	9.2	5.8	7.1
	利用していない	418	89.2	2.6	1.0	7.2	82.8	3.8	2.2	11.2	82.8	6.5	3.6	7.2	88.8	3.3	1.0	6.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	71.8	11.3	7.0	9.9	52.1	23.9	11.3	12.7	40.8	25.4	23.9	9.9	60.6	19.7	9.9	9.9
	視覚障害がある	29	72.4	20.7	6.9	0.0	75.9	6.9	10.3	6.9	72.4	10.3	13.8	3.4	79.3	10.3	6.9	3.4
	聴覚障害がある	44	77.3	2.3	4.5	15.9	63.6	4.5	4.5	27.3	68.2	4.5	6.8	20.5	75.0	0.0	4.5	20.5

② 介助が必要な動作（着替え、身だしなみ、家での移動、外出）

問　あなたは次の動作について介助が必要ですか。　（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	17	17	20	19	18	19

【着替え】

全体でみると、「ひとりでできる」は 76.0%となっており、障害種別でみると、知的が 62.4%となっている。属性別でみると、本人の年齢別では『18~19 歳』、世帯構成別では『その他の世帯』、特徴的な状態別では『医療的ケアを受けている』で「ひとりでできる」が６割を下回っている。

【身だしなみ】

全体でみると、「ひとりでできる」は 70.6%となっており、障害種別でみると、知的が 37.6%と低くなっている。属性別でみると、本人の年齢別では『18~19 歳』、世帯構成別では『その他の世帯』で約２割となっており、サービス利用別では『利用している』、特徴的な状態別では『医療的ケアを受けている』で約５割となっている。

【家の中での移動】

全体でみると、「ひとりでできる」は 81.0%となっており、障害種別でみても同様の水準となっている。属性別でみると、世帯構成別では『その他の世帯』で 54.8%、特徴的な状態別では『医療的ケアを受けている』『聴覚障害がある』で７割を下回っている。

【外出する】

全体でみると、「ひとりでできる」が 58.0%となっており、障害種別でみると、知的が 36.6%となっている。属性別でみると、本人の年齢別では『18~29 歳』では半数を下回っており、また世帯構成別では『その他の世帯』、サービス利用別では『利用している』、特徴的な状態別では『医療的ケアを受けている』で低くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	着替え				身だしなみ				家の中での移動				外出			
			ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		741	76.0	10.7	5.0	8.4	70.6	14.4	5.9	9.0	81.0	6.1	4.0	8.9	58.0	18.6	14.3	9.0
障害種別	身体	427	76.8	8.4	4.7	10.1	75.2	9.6	4.2	11.0	78.2	6.6	4.2	11.0	60.0	16.6	12.2	11.2
	知的	101	62.4	24.8	8.9	4.0	37.6	41.6	16.8	4.0	84.2	7.9	5.0	3.0	36.6	33.7	27.7	2.0
	精神	77	80.5	6.5	2.6	10.4	68.8	15.6	3.9	11.7	87.0	0.0	1.3	11.7	55.8	23.4	7.8	13.0
	自立	40	92.5	5.0	0.0	2.5	87.5	10.0	0.0	2.5	92.5	5.0	0.0	2.5	72.5	15.0	10.0	2.5
	難病	95	75.8	11.6	6.3	6.3	78.9	8.4	6.3	6.3	80.0	7.4	6.3	6.3	67.4	9.5	16.8	6.3

(%)

【属性別の集計】

		調査数	着替え				身だしなみ				家の中での移動				外出			
			ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		741	76.0	10.7	5.0	8.4	70.6	14.4	5.9	9.0	81.0	6.1	4.0	8.9	58.0	18.6	14.3	9.0
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	60.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	68.0	20.0	12.0	0.0	46.0	36.0	18.0	0.0	86.0	8.0	6.0	0.0	44.0	28.0	28.0	0.0
	30～39歳	47	85.1	10.6	4.3	0.0	74.5	14.9	8.5	2.1	97.9	2.1	0.0	0.0	57.4	23.4	19.1	0.0
	40～49歳	82	74.4	11.0	6.1	8.5	68.3	18.3	7.3	6.1	85.4	3.7	3.7	7.3	57.3	24.4	12.2	6.1
	50～59歳	102	82.4	9.8	1.0	6.9	75.5	14.7	2.0	7.8	87.3	2.9	2.0	7.8	65.7	17.6	7.8	8.8
	60～64歳	37	83.8	13.5	2.7	0.0	78.4	13.5	5.4	2.7	86.5	10.8	2.7	0.0	67.6	16.2	16.2	0.0
	65～69歳	77	83.1	3.9	3.9	9.1	77.9	6.5	3.9	11.7	81.8	2.6	5.2	10.4	66.2	14.3	10.4	9.1
	70歳以上	330	73.0	10.0	5.5	11.5	71.8	11.5	4.5	12.1	75.2	7.6	5.2	12.1	56.4	16.1	14.8	12.7
世帯構成	ひとり暮らし	146	84.9	2.1	1.4	11.6	82.9	2.7	1.4	13.0	82.9	1.4	2.7	13.0	71.2	12.3	3.4	13.0
	核家族世帯	478	77.6	10.0	4.2	8.2	72.4	13.4	5.6	8.6	83.9	4.8	2.9	8.4	61.1	18.2	12.3	8.4
	三世代世帯	62	71.0	19.4	4.8	4.8	66.1	22.6	6.5	4.8	75.8	16.1	3.2	4.8	38.7	27.4	27.4	6.5
	その他の世帯	42	35.7	35.7	26.2	2.4	21.4	52.4	23.8	2.4	54.8	19.0	23.8	2.4	14.3	31.0	52.4	2.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	76.2	10.0	5.5	8.3	69.7	15.5	6.2	8.6	81.4	6.6	4.1	7.9	55.2	19.3	16.9	8.6
	障害者手帳所持者がいる	103	68.0	15.5	6.8	9.7	59.2	23.3	6.8	10.7	75.7	8.7	4.9	10.7	46.6	30.1	13.6	9.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	92.3	0.0	7.7	0.0	84.6	7.7	7.7	0.0	92.3	0.0	7.7	0.0	53.8	30.8	7.7	7.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	62.8	20.9	7.0	9.3	58.1	25.6	7.0	9.3	79.1	7.0	7.0	7.0	46.5	20.9	20.9	11.6
	あてはまらない	125	79.2	12.8	4.8	3.2	76.8	12.8	7.2	3.2	86.4	7.2	3.2	3.2	68.0	12.8	15.2	4.0
介助者の年齢	19歳以下	2	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	66.7	16.7	12.5	4.2	66.7	16.7	12.5	4.2	79.2	8.3	8.3	4.2	29.2	37.5	25.0	8.3
	40～59歳	155	76.1	15.5	4.5	3.9	67.7	20.0	7.7	4.5	81.9	9.7	4.5	3.9	54.2	20.0	20.6	5.2
	60歳代	99	75.8	12.1	7.1	5.1	65.7	20.2	8.1	6.1	79.8	9.1	6.1	5.1	52.5	19.2	21.2	7.1
	70歳代	116	75.9	6.9	6.0	11.2	69.0	12.9	6.0	12.1	79.3	5.2	4.3	11.2	54.3	21.6	14.7	9.5
	80歳以上	73	69.9	9.6	0.0	20.5	67.1	9.6	1.4	21.9	76.7	1.4	1.4	20.5	50.7	15.1	9.6	24.7
	わからない	41	61.0	24.4	9.8	4.9	61.0	26.8	7.3	4.9	73.2	9.8	9.8	7.3	41.5	34.1	22.0	2.4
生活困窮	ゆとりがある	42	78.6	4.8	9.5	7.1	71.4	9.5	11.9	7.1	78.6	9.5	4.8	7.1	66.7	14.3	11.9	7.1
	まあまあゆとりがある	302	75.2	12.9	3.6	8.3	73.2	13.9	4.3	8.6	83.4	5.0	3.0	8.6	60.9	14.9	15.6	8.6
	やや苦しい	291	77.0	9.3	5.8	7.9	69.8	16.2	6.2	7.9	81.1	6.2	4.8	7.9	54.6	23.0	13.4	8.9
	不自由が多く、生活が苦しい	58	72.4	13.8	6.9	6.9	62.1	17.2	10.3	10.3	75.9	8.6	6.9	8.6	51.7	20.7	20.7	6.9
サービス	利用している	240	63.3	20.8	10.0	5.8	52.9	29.2	11.7	6.3	74.6	11.3	7.5	6.7	35.0	30.4	28.8	5.8
	利用していない	418	85.6	6.0	1.4	6.9	83.3	7.4	1.9	7.4	87.6	4.1	1.4	6.9	72.7	13.4	6.7	7.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	59.2	18.3	14.1	8.5	53.5	25.4	11.3	9.9	66.2	12.7	11.3	9.9	28.2	31.0	29.6	11.3
	視覚障害がある	29	75.9	10.3	10.3	3.4	69.0	20.7	6.9	3.4	79.3	6.9	10.3	3.4	44.8	24.1	24.1	6.9
	聴覚障害がある	44	68.2	6.8	4.5	20.5	68.2	6.8	4.5	20.5	68.2	6.8	4.5	20.5	61.4	11.4	9.1	18.2

(%)

③ 介助が必要な動作（家事、他人との意思疎通、金銭管理、服薬管理）

問　あなたは次の動作について介助が必要ですか。　（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	17	17	20	19	18	19

【家事】

全体でみると、「ひとりでできる」は 48.7%となっており、障害種別でみると、知的では 15.8%、精神では 40.3%となっている。属性別でみると、本人の年齢別では『18～29 歳』、サービス利用別では『利用している』、特徴的な状態別では『医療的ケアを受けている』で「ひとりでできる」が３割を下回っている。

【家族以外の人との意思疎通】

全体でみると、「ひとりでできる」は 64.2%となっており、障害種別でみると、知的では 26.7%となっている。属性別でみると、本人の年齢別では『18~29 歳』、世帯構成別では『その他の世帯』で「ひとりでできる」が４割以下となっている。

【金銭管理】

全体でみると、「ひとりでできる」は 59.0%となっており、障害種別でみると、知的では 13.9%となっている。属性別でみると、「ひとりでできる」は、本人の年齢別では『18~29 歳』、世帯構成別では『その他の世帯』で３割を下回っており、またサービス利用別では『利用している』で 33.3%となっている。

【服薬管理】

全体でみると、「ひとりでできる」は 64.4%となっており、障害種別でみると、知的では 21.8%となっている。属性別でみると、「ひとりでできる」は、本人の年齢別では『18~29 歳』、世帯構成別では『その他の世帯』で３割を下回っており、またサービス利用別では『利用している』で 39.6%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	家事 ひとりでできる	家事 一部介助が必要	家事 全部介助が必要	家事 無回答	他人との意思疎通 ひとりでできる	他人との意思疎通 一部介助が必要	他人との意思疎通 全部介助が必要	他人との意思疎通 無回答	金銭管理 ひとりでできる	金銭管理 一部介助が必要	金銭管理 全部介助が必要	金銭管理 無回答	服薬管理 ひとりでできる	服薬管理 一部介助が必要	服薬管理 全部介助が必要	服薬管理 無回答
全体		741	48.7	20.5	19.7	11.1	64.2	19.0	6.6	10.1	59.0	13.4	18.4	9.3	64.4	13.2	15.1	7.3
障害種別	身体	427	53.6	17.3	15.9	13.1	71.4	12.9	3.5	12.2	67.4	8.2	12.9	11.5	71.7	7.5	11.2	9.6
	知的	101	15.8	35.6	43.6	5.0	26.7	45.5	22.8	5.0	13.9	33.7	49.5	3.0	21.8	37.6	39.6	1.0
	精神	77	40.3	31.2	15.6	13.0	57.1	19.5	9.1	14.3	51.9	22.1	15.6	10.4	64.9	16.9	11.7	6.5
	自立	40	67.5	20.0	10.0	2.5	67.5	30.0	0.0	2.5	75.0	12.5	7.5	5.0	70.0	15.0	10.0	5.0
	難病	95	61.1	9.5	18.9	10.5	75.8	13.7	4.2	6.3	68.4	7.4	16.8	7.4	73.7	9.5	11.6	5.3

(%)

【属性別の集計】

		調査数	家事				他人との意思疎通				金銭管理				服薬管理			
			ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		741	48.7	20.5	19.7	11.1	64.2	19.0	6.6	10.1	59.0	13.4	18.4	9.3	64.4	13.2	15.1	7.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	40.0	60.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0
	20～29歳	50	24.0	34.0	42.0	0.0	34.0	50.0	16.0	0.0	26.0	32.0	42.0	0.0	30.0	36.0	34.0	0.0
	30～39歳	47	55.3	23.4	21.3	0.0	57.4	25.5	17.0	0.0	55.3	17.0	27.7	0.0	59.6	17.0	23.4	0.0
	40～49歳	82	39.0	31.7	20.7	8.5	58.5	29.3	4.9	7.3	51.2	24.4	19.5	4.9	58.5	23.2	14.6	3.7
	50～59歳	102	54.9	25.5	10.8	8.8	68.6	15.7	5.9	9.8	69.6	11.8	9.8	8.8	75.5	8.8	9.8	5.9
	60～64歳	37	54.1	27.0	16.2	2.7	67.6	21.6	5.4	5.4	67.6	16.2	13.5	2.7	78.4	10.8	10.8	0.0
	65～69歳	77	53.2	20.8	14.3	11.7	70.1	11.7	6.5	11.7	67.5	6.5	13.0	13.0	71.4	5.2	13.0	10.4
	70歳以上	330	51.5	13.0	19.7	15.8	68.8	13.6	4.2	13.3	61.5	9.4	16.4	12.7	66.7	9.7	13.3	10.3
世帯構成	ひとり暮らし	146	64.4	17.8	6.2	11.6	74.0	9.6	2.1	14.4	78.8	6.2	2.7	12.3	78.1	6.8	3.4	11.6
	核家族世帯	478	50.2	20.9	17.6	11.3	66.7	18.0	5.9	9.4	60.3	15.3	15.5	9.0	68.2	13.8	11.7	6.3
	三世代世帯	62	32.3	29.0	32.3	6.5	53.2	32.3	9.7	4.8	41.9	17.7	35.5	4.8	45.2	22.6	25.8	6.5
	その他の世帯	42	7.1	11.9	71.4	9.5	21.4	42.9	28.6	7.1	4.8	11.9	78.6	4.8	4.8	19.0	76.2	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	45.5	21.0	21.7	11.7	65.2	17.6	8.3	9.0	55.5	15.2	20.7	8.6	63.4	13.1	17.2	6.2
	障害者手帳所持者がいる	103	35.9	24.3	24.3	15.5	51.5	31.1	6.8	10.7	43.7	20.4	24.3	11.7	53.4	19.4	21.4	5.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	69.2	23.1	7.7	0.0	76.9	23.1	0.0	0.0	76.9	0.0	15.4	7.7	84.6	0.0	15.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	32.6	25.6	27.9	14.0	53.5	30.2	4.7	11.6	46.5	16.3	30.2	7.0	51.2	11.6	30.2	7.0
	あてはまらない	125	51.2	22.4	20.8	5.6	66.4	21.6	7.2	4.8	63.2	12.0	21.6	3.2	66.4	14.4	16.0	3.2
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	37.5	20.8	33.3	8.3	45.8	29.2	20.8	4.2	45.8	8.3	37.5	8.3	54.2	4.2	37.5	4.2
	40～59歳	155	42.6	23.2	29.0	5.2	61.3	25.2	8.4	5.2	51.6	15.5	27.7	5.2	54.8	20.0	21.3	3.9
	60歳代	99	43.4	22.2	27.3	7.1	59.6	22.2	11.1	7.1	49.5	17.2	26.3	7.1	54.5	20.2	20.2	5.1
	70歳代	116	44.0	20.7	20.7	14.7	64.7	23.3	2.6	9.5	58.6	16.4	13.8	11.2	66.4	12.1	13.8	7.8
	80歳以上	73	34.2	23.3	12.3	30.1	57.5	11.0	6.8	24.7	54.8	12.3	11.0	21.9	68.5	11.0	4.1	16.4
	わからない	41	31.7	29.3	34.1	4.9	53.7	29.3	7.3	9.8	43.9	19.5	31.7	4.9	43.9	17.1	34.1	4.9
生活困窮	ゆとりがある	42	47.6	16.7	26.2	9.5	64.3	16.7	7.1	11.9	59.5	7.1	26.2	7.1	61.9	19.0	14.3	4.8
	まあまあゆとりがある	302	52.3	15.9	19.5	12.3	68.5	16.2	6.3	8.9	63.6	10.3	17.9	8.3	65.6	10.6	16.6	7.3
	やや苦しい	291	47.8	24.1	19.2	8.9	62.9	21.6	6.2	9.3	57.0	16.5	17.9	8.6	66.0	14.1	13.7	6.2
	不自由が多く、生活が苦しい	58	36.2	31.0	25.9	6.9	55.2	25.9	12.1	6.9	48.3	15.5	24.1	12.1	51.7	19.0	20.7	8.6
サービス	利用している	240	24.2	31.3	36.7	7.9	45.0	35.0	12.1	7.9	33.3	22.5	37.5	6.7	39.6	23.8	31.3	5.4
	利用していない	418	64.8	15.6	10.5	9.1	78.2	10.5	3.6	7.7	76.3	8.9	7.9	6.9	80.1	7.9	6.2	5.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	19.7	25.4	35.2	19.7	52.1	28.2	7.0	12.7	40.8	16.9	31.0	11.3	45.1	19.7	25.4	9.9
	視覚障害がある	29	48.3	13.8	31.0	6.9	65.5	20.7	6.9	6.9	51.7	13.8	27.6	6.9	55.2	17.2	24.1	3.4
	聴覚障害がある	44	56.8	4.5	11.4	27.3	52.3	22.7	9.1	15.9	61.4	4.5	13.6	20.5	63.6	6.8	11.4	18.2

④ 介助が必要な動作（災害時の避難）

問　あなたは次の動作について介助が必要ですか。　（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	17	17	20	19	18	19

全体でみると、「ひとりでできる」は 43.6%となっている。

障害種別でみると、「ひとりでできる」は知的で 11.9%となっている。

属性別でみると、「ひとりでできる」は、本人の年齢別では『18~29 歳』で３割を下回っており、また、世帯構成別では『三世代世帯』や『その他の世帯』、サービス利用別では『利用している』、特徴的な状態別では『医療的ケアを受けている』で２割を下回っている。

【障害種別の集計】

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		741	43.6	22.7	23.5	10.3 (%)
障害種別	身体	427	44.3	24.4	18.7	12.6
	知的	101	11.9	29.7	54.5	4.0
	精神	77	48.1	24.7	15.6	11.7
	自立	40	65.0	12.5	17.5	5.0
	難病	95	61.1	10.5	21.1	7.4

【属性別の集計】

		調査数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		741	43.6	22.7	23.5	10.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	20.0	0.0	80.0	0.0
	20～29歳	50	26.0	26.0	48.0	0.0
	30～39歳	47	46.8	25.5	27.7	0.0
	40～49歳	82	42.7	28.0	24.4	4.9
	50～59歳	102	51.0	25.5	13.7	9.8
	60～64歳	37	48.6	21.6	24.3	5.4
	65～69歳	77	50.6	26.0	13.0	10.4
	70歳以上	330	42.1	20.0	23.0	14.8
世帯構成	ひとり暮らし	146	54.8	23.3	6.8	15.1
	核家族世帯	478	47.3	22.2	20.5	10.0
	三世代世帯	62	19.4	35.5	40.3	4.8
	その他の世帯	42	2.4	9.5	85.7	2.4
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	40.3	22.8	26.9	10.0
	障害者手帳所持者がいる	103	30.1	31.1	28.2	10.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	53.8	38.5	7.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	34.9	25.6	32.6	7.0
	あてはまらない	125	53.6	16.8	24.8	4.8
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	33.3	29.2	33.3	4.2
	40～59歳	155	36.1	25.2	32.3	6.5
	60歳代	99	33.3	28.3	32.3	6.1
	70歳代	116	44.0	25.0	21.6	9.5
	80歳以上	73	37.0	15.1	20.5	27.4
	わからない	41	24.4	34.1	34.1	7.3
生活困窮	ゆとりがある	42	47.6	16.7	26.2	9.5
	まあまあゆとりがある	302	45.0	22.2	23.2	9.6
	やや苦しい	291	42.3	24.4	23.4	10.0
	不自由が多く、生活が苦しい	58	36.2	27.6	29.3	6.9
サービス	利用している	240	18.3	27.9	47.5	6.3
	利用していない	418	59.1	21.1	11.0	8.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	14.1	29.6	46.5	9.9
	視覚障害がある	29	27.6	34.5	31.0	6.9
	聴覚障害がある	44	50.0	13.6	15.9	20.5

⑤ 平日の過ごし方（昼過ぎ）

問　平日の過ごし方について、どこで過ごしているかお答えください。
（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	18	18	21	20	19	20

全体でみると、「自宅」が 50.3%と最も高く、次いで「学校や職場」が 17.3%、「福祉施設」が 13.8%となっている。

障害種別でみると、知的では「自宅」が 11.9%と低く、一方で「福祉施設」が 46.5%と高くなっている。また、知的・精神・自立・難病では「学校や職場」が２割を超えており、身体の 11.5%に比べて高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が若いほど「学校や職場」や「福祉施設」の割合が高く、年齢が高くなるにつれて「自宅」が高くなっている。

世帯構成別では、『その他の世帯』では「福祉施設」が 71.4%と高くなっている。

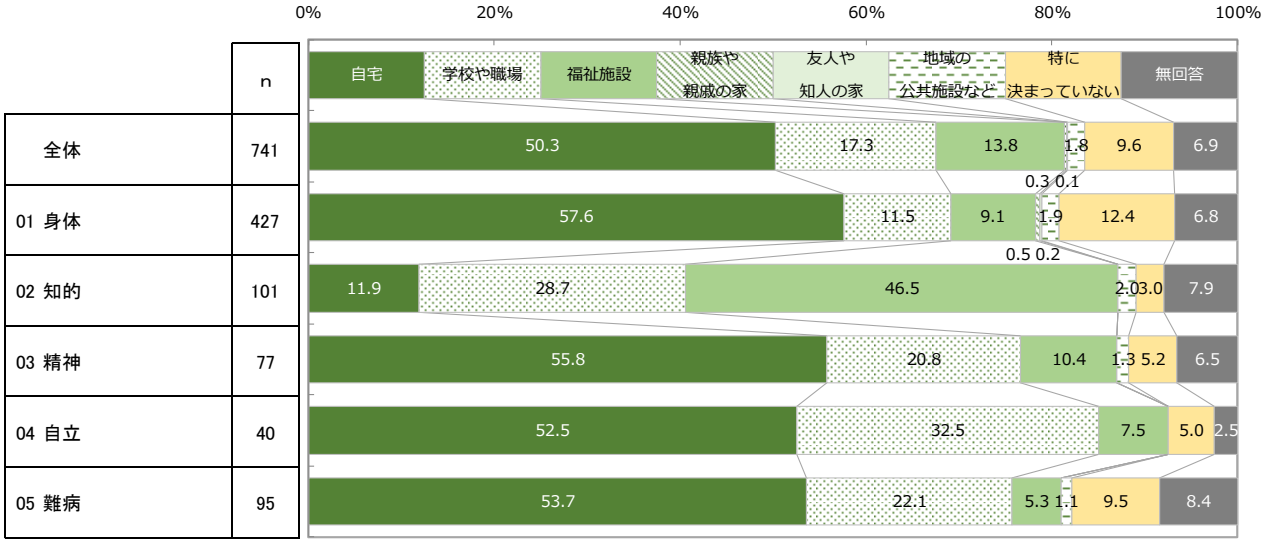
同居人の特徴別では、『妊婦や小学生の子どもがいる』では「学校や職場」が高く 53.8%となっている。

介助者の年齢別では、介助者が若いほど「学校や職場」「福祉施設」が高くなっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるほど「自宅」の割合が高くなっており、『不自由が多く、生活が苦しい』層では 55.2%となっている。

サービス利用別では、『サービスを利用している』は「福祉施設」が 33.3%となっており、「自宅」は 39.2%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	自宅	学校や職場	福祉施設	親族や親戚の家	友人や知人の家	地域の公共施設など	特に決まっていない	無回答
全体		741	50.3	17.3	13.8	0.3	0.1	1.8	9.6	6.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	8.0	48.0	38.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
	30～39歳	47	25.5	38.3	25.5	0.0	0.0	0.0	6.4	4.3
	40～49歳	82	32.9	34.1	23.2	0.0	0.0	3.7	4.9	1.2
	50～59歳	102	45.1	32.4	6.9	0.0	0.0	2.0	8.8	4.9
	60～64歳	37	45.9	21.6	13.5	0.0	0.0	0.0	10.8	8.1
	65～69歳	77	62.3	7.8	6.5	1.3	0.0	1.3	11.7	9.1
	70歳以上	330	65.5	1.8	10.0	0.3	0.3	2.1	12.4	7.6
世帯構成	ひとり暮らし	146	61.0	10.3	5.5	1.4	0.0	1.4	13.0	7.5
	核家族世帯	478	51.0	20.7	10.3	0.0	0.2	2.1	9.8	5.9
	三世代世帯	62	56.5	14.5	21.0	0.0	0.0	0.0	4.8	3.2
	その他の世帯	42	2.4	9.5	71.4	0.0	0.0	2.4	0.0	14.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	53.1	13.4	15.9	0.0	0.0	2.8	9.7	5.2
	障害者手帳所持者がいる	103	45.6	15.5	17.5	0.0	0.0	1.9	10.7	8.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	38.5	53.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	46.5	14.0	25.6	0.0	0.0	0.0	7.0	7.0
	あてはまらない	125	46.4	30.4	10.4	0.0	0.0	1.6	7.2	4.0
介助者の年齢	19歳以下	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	45.8	12.5	33.3	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2
	40～59歳	155	46.5	22.6	17.4	0.0	0.6	1.9	7.1	3.9
	60歳代	99	54.5	13.1	14.1	1.0	0.0	1.0	8.1	8.1
	70歳代	116	61.2	5.2	12.1	0.0	0.0	3.4	10.3	7.8
	80歳以上	73	57.5	9.6	6.8	0.0	0.0	1.4	17.8	6.8
	わからない	41	48.8	4.9	39.0	0.0	0.0	2.4	2.4	2.4
生活困窮	ゆとりがある	42	38.1	28.6	16.7	2.4	0.0	2.4	9.5	2.4
	まあまあゆとりがある	302	50.7	17.2	17.2	0.3	0.3	1.3	8.3	4.6
	やや苦しい	291	49.8	17.9	9.6	0.0	0.0	1.7	12.0	8.9
	不自由が多く、生活が苦しい	58	55.2	17.2	15.5	0.0	0.0	3.4	6.9	1.7
サービス	利用している	240	39.2	14.2	33.3	0.0	0.0	2.1	3.8	7.5
	利用していない	418	56.7	19.9	3.6	0.5	0.2	1.7	13.4	4.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	67.6	2.8	15.5	0.0	0.0	2.8	4.2	7.0
	視覚障害がある	29	51.7	17.2	13.8	0.0	0.0	3.4	6.9	6.9
	聴覚障害がある	44	54.5	4.5	9.1	2.3	0.0	4.5	20.5	4.5

⑥ 平日の過ごし方（夕方）

問　平日の過ごし方について、どこで過ごしているかお答えください。
（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	18	18	21	20	19	20

全体でみると、「自宅」が 66.8%と最も高く、次いで「学校や職場」が 10.4%、「福祉施設」が 7.7%となっている。

障害種別でみると、全ての種別で「自宅」が半数を超えている。一方で、知的では「福祉施設」が 25.7%、自立では「学校や職場」が 22.5%となっている。

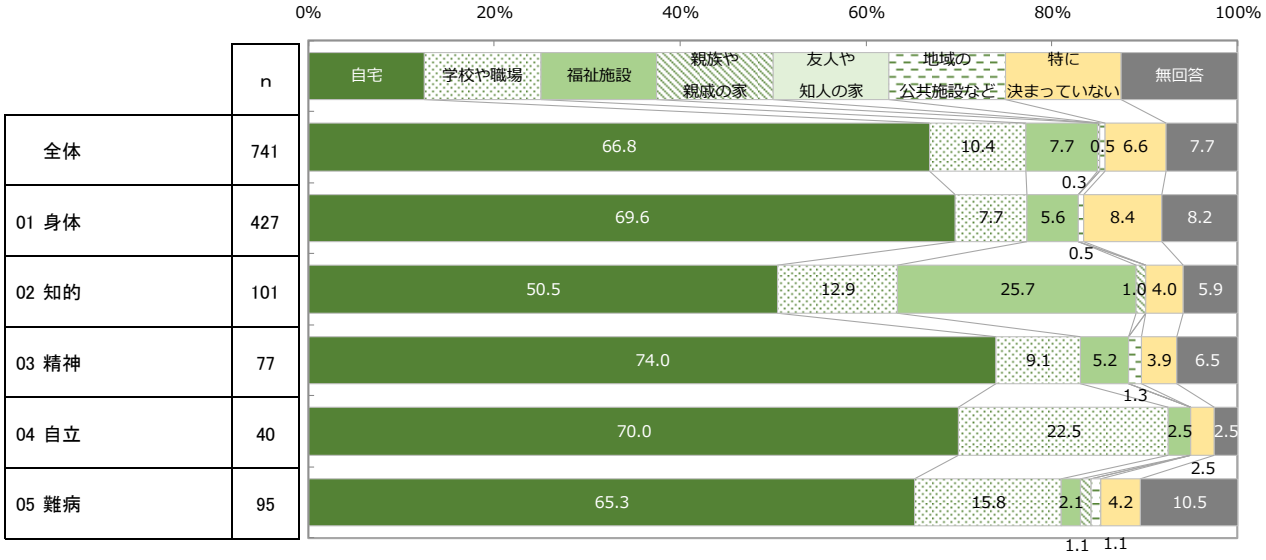
属性別でみると、本人の年齢別では『20～59 歳』では「学校や職場」が２～３割程度となっており、一方で「自宅」が５～６割程度となっている。

世帯構成別では、『その他の世帯』を除くすべての世帯で「自宅」が７割を超えている。

生活困窮状況別では、生活の状況に関わらず「自宅」が約７割となっている。

サービス利用別では、『サービスを利用している』場合で「自宅」が 64.6%となっており、『利用していない』場合で 70.1%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	自宅	学校や職場	福祉施設	親族や親戚の家	友人や知人の家	地域の公共施設など	特に決まっていない	無回答
全体		741	66.8	10.4	7.7	0.3	0.0	0.5	6.6	7.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	62.0	26.0	8.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0
	30～39歳	47	48.9	34.0	10.6	0.0	0.0	0.0	4.3	2.1
	40～49歳	82	51.2	23.2	12.2	1.2	0.0	1.2	4.9	6.1
	50～59歳	102	63.7	20.6	4.9	0.0	0.0	0.0	5.9	4.9
	60～64歳	37	70.3	10.8	8.1	0.0	0.0	0.0	2.7	8.1
	65～69歳	77	70.1	2.6	5.2	1.3	0.0	0.0	9.1	11.7
	70歳以上	330	74.5	0.6	7.0	0.0	0.0	0.9	8.5	8.5
世帯構成	ひとり暮らし	146	71.2	4.8	2.7	0.0	0.0	0.0	11.6	9.6
	核家族世帯	478	70.9	13.2	2.9	0.4	0.0	0.6	5.9	6.1
	三世代世帯	62	71.0	9.7	8.1	0.0	0.0	0.0	4.8	6.5
	その他の世帯	42	4.8	2.4	76.2	0.0	0.0	2.4	0.0	14.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	68.6	7.9	8.6	0.7	0.0	1.0	6.2	6.9
	障害者手帳所持者がいる	103	60.2	9.7	16.5	0.0	0.0	0.0	7.8	5.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	46.2	46.2	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	65.1	9.3	18.6	0.0	0.0	0.0	2.3	4.7
	あてはまらない	125	70.4	19.2	3.2	0.0	0.0	0.8	4.8	1.6
介助者の年齢	19歳以下	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	58.3	8.3	29.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
	40～59歳	155	71.6	9.7	9.0	0.0	0.0	0.6	5.2	3.9
	60歳代	99	69.7	9.1	6.1	1.0	0.0	0.0	7.1	7.1
	70歳代	116	71.6	3.4	3.4	0.0	0.0	1.7	10.3	9.5
	80歳以上	73	79.5	2.7	2.7	1.4	0.0	1.4	4.1	8.2
	わからない	41	53.7	2.4	34.1	0.0	0.0	0.0	7.3	2.4
生活困窮	ゆとりがある	42	64.3	11.9	11.9	0.0	0.0	2.4	2.4	7.1
	まあまあゆとりがある	302	66.9	11.6	8.9	0.3	0.0	0.7	6.3	5.3
	やや苦しい	291	66.7	10.3	5.5	0.0	0.0	0.3	7.9	9.3
	不自由が多く、生活が苦しい	58	67.2	8.6	12.1	1.7	0.0	0.0	8.6	1.7
サービス	利用している	240	64.6	5.8	17.5	0.4	0.0	0.4	3.8	7.5
	利用していない	418	70.1	14.1	2.2	0.2	0.0	0.5	7.9	5.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	81.7	0.0	7.0	0.0	0.0	1.4	2.8	7.0
	視覚障害がある	29	51.7	13.8	13.8	0.0	0.0	0.0	6.9	13.8
	聴覚障害がある	44	63.6	4.5	6.8	0.0	0.0	0.0	13.6	11.4

⑦ 外出頻度

問　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。　（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	19	19	22	21	20	21

全体でみると、「週に 5 日以上」が 44.1%と最も高く、次いで「週に 3～4 日」が 26.7%、「週に 1～2 日」が 13.8%となっている。

障害種別でみると、知的では「週に 5 日以上」が 86.1%と最も高くなっており、他の障害でも「週に 3 日以上」が半数以上を占めている。

属性別でみると、本人の年齢別では、高齢になるほど外出頻度は低くなっているが、『70 歳以上』でも「週に 3 日以上」は半数を上回っている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「週に 5 日以上」が 31.5%と低くなっている。

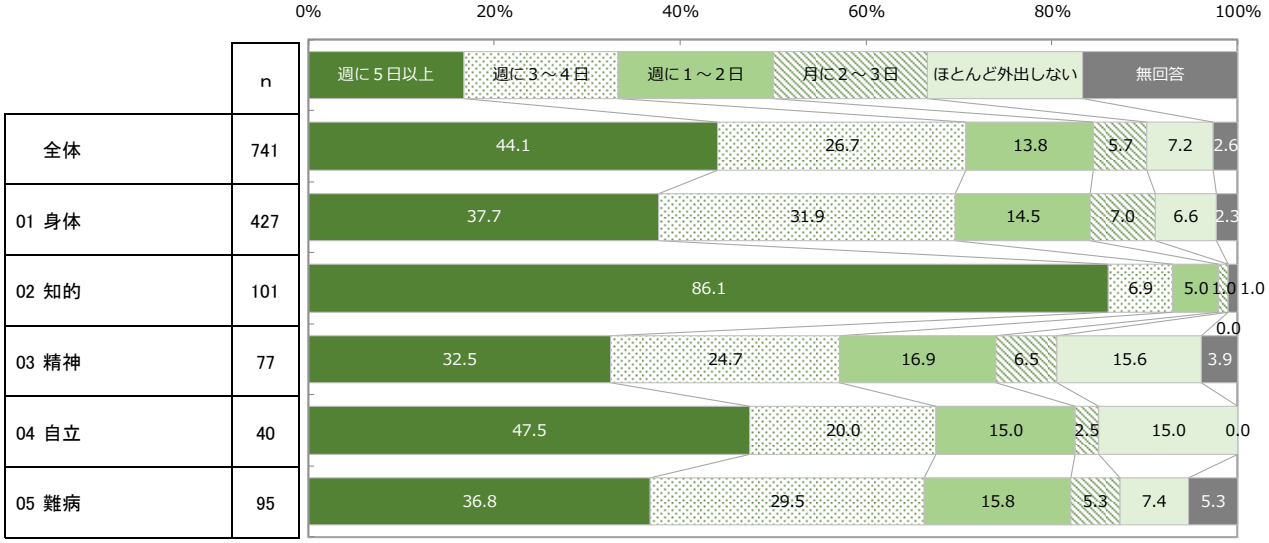
介助者の年齢別では、介助者の高齢化による外出頻度の極端な変化は見られない。一方で、介助者の年齢が『わからない』では「ほとんど外出しない」が 29.3%となっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるにつれて外出頻度が低くなる傾向があり、『不自由が多く、生活が苦しい』では「ほとんど外出しない」が 22.4%となっている。

サービス利用別では外出頻度に大きな差はなかった。

特徴的な状態別では、『医療的ケアを受けている』では他に比べて外出頻度が低くなる傾向がある。

【障害種別の集計】



	n	週に５日以上	週に３～４日	週に１～２日	月に２～３日	ほとんど外出しない	無回答
全体	741	44.1	26.7	13.8	5.7	7.2	2.6
01 身体	427	37.7	31.9	14.5	7.0	6.6	2.3
02 知的	101	86.1	6.9	5.0	1.0	1.0	0.0
03 精神	77	32.5	24.7	16.9	6.5	15.6	3.9
04 自立	40	47.5	20.0	15.0	2.5	15.0	0.0
05 難病	95	36.8	29.5	15.8	5.3	7.4	5.3

【属性別の集計】

		調査数	週に5日以上	週に3～4日	週に1～2日	月に2～3日	ほとんど外出しない	無回答
全体		741	44.1	26.7	13.8	5.7	7.2	2.6
本人の年齢	18～19歳	5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	82.0	12.0	4.0	0.0	2.0	0.0
	30～39歳	47	66.0	6.4	14.9	2.1	8.5	2.1
	40～49歳	82	57.3	15.9	15.9	2.4	6.1	2.4
	50～59歳	102	56.9	20.6	9.8	2.9	5.9	3.9
	60～64歳	37	43.2	29.7	16.2	8.1	2.7	0.0
	65～69歳	77	24.7	45.5	9.1	9.1	6.5	5.2
	70歳以上	330	31.8	33.0	17.3	7.9	8.8	1.2
世帯構成	ひとり暮らし	146	31.5	37.7	17.1	6.2	2.7	4.8
	核家族世帯	478	49.2	25.7	13.2	5.4	5.2	1.3
	三世代世帯	62	45.2	25.8	17.7	4.8	4.8	1.6
	その他の世帯	42	33.3	7.1	4.8	9.5	40.5	4.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	46.9	25.5	13.1	5.9	7.2	1.4
	障害者手帳所持者がいる	103	51.5	21.4	12.6	4.9	7.8	1.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	61.5	7.7	15.4	0.0	15.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	48.8	11.6	20.9	7.0	9.3	2.3
	あてはまらない	125	54.4	28.0	7.2	4.8	5.6	0.0
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	33.3	20.8	12.5	12.5	16.7	4.2
	40～59歳	155	51.0	23.9	12.3	7.1	5.8	0.0
	60歳代	99	40.4	26.3	18.2	8.1	5.1	2.0
	70歳代	116	34.5	33.6	14.7	6.0	8.6	2.6
	80歳以上	73	42.5	23.3	17.8	8.2	5.5	2.7
	わからない	41	31.7	17.1	12.2	9.8	29.3	0.0
生活困窮	ゆとりがある	42	59.5	26.2	9.5	2.4	2.4	0.0
	まあまあゆとりがある	302	46.7	29.5	10.6	6.0	5.0	2.3
	やや苦しい	291	41.9	25.4	16.2	6.2	7.6	2.7
	不自由が多く、生活が苦しい	58	37.9	17.2	20.7	1.7	22.4	0.0
サービス	利用している	240	43.3	26.3	12.9	6.7	8.8	2.1
	利用していない	418	46.7	28.0	13.9	4.8	5.3	1.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	25.4	22.5	21.1	12.7	16.9	1.4
	視覚障害がある	29	44.8	20.7	6.9	10.3	13.8	3.4
	聴覚障害がある	44	36.4	34.1	15.9	2.3	9.1	2.3

(%)

⑧ 外出時の支援

問　外出するときの支援の必要性についてお答えください。（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	20	20	23	22	21	22

全体でみると、「支援は必要ない」が 34.8%と最も高く、次いで「慣れた場所以外は支援が必要」が 17.2%、「どこへ外出するにも支援が必要」が 11.8%となっている。

障害種別でみると、知的では「支援は必要ない」が 9.0%と低くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高齢になるにつれ「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」の割合が高くなっており、『70 歳以上』では 42.1%なのに対し『20～29 歳』では 12.2%となっている。

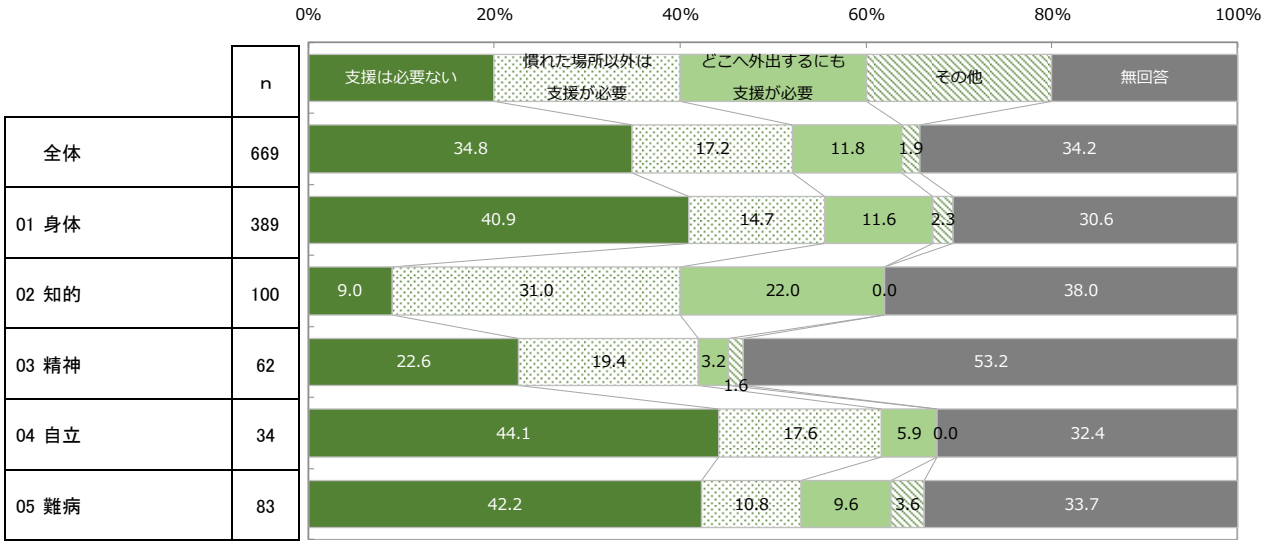
世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「支援が必要ない」が 40.0%となっている。

介助者の年齢別では、介助者が高齢になるほど「支援は必要ない」が高くなっており、介助者が『80 歳以上』で 44.8%となっている。

サービス利用別では、『利用している』では「支援は必要ない」が 14.5%となっており、『利用していない』場合の 46.2%より低くなっている。

特徴的な状態別では、『医療的ケアを受けている』では「支援は必要ない」が 10.3%と低くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない	慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要	どこへ外出するにも支援が必要	その他	無回答
全体		669	34.8	17.2	11.8	1.9	34.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0
	20～29歳	49	12.2	22.4	20.4	0.0	44.9
	30～39歳	42	31.0	21.4	19.0	0.0	28.6
	40～49歳	75	29.3	22.7	9.3	0.0	38.7
	50～59歳	92	30.4	16.3	4.3	1.1	47.8
	60～64歳	36	27.8	22.2	8.3	5.6	36.1
	65～69歳	68	38.2	14.7	10.3	4.4	32.4
	70歳以上	297	42.1	15.2	13.5	2.4	26.9
世帯構成	ひとり暮らし	135	40.0	14.8	3.0	3.7	38.5
	核家族世帯	447	36.7	17.4	11.6	1.3	32.9
	三世代世帯	58	19.0	22.4	17.2	3.4	37.9
	その他の世帯	23	8.7	13.0	52.2	0.0	26.1
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	265	35.8	20.0	16.6	1.9	25.7
	障害者手帳所持者がいる	93	25.8	22.6	18.3	1.1	32.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	11	36.4	27.3	0.0	0.0	36.4
	病気などの理由で不自由な方がいる	38	28.9	21.1	18.4	0.0	31.6
	あてはまらない	118	39.0	13.6	9.3	0.8	37.3
介助者の年齢	19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	20～39歳	19	10.5	26.3	21.1	0.0	42.1
	40～59歳	146	27.4	21.9	13.7	0.7	36.3
	60歳代	92	27.2	20.7	15.2	3.3	33.7
	70歳代	103	37.9	23.3	16.5	1.9	20.4
	80歳以上	67	44.8	14.9	13.4	1.5	25.4
	わからない	29	20.7	3.4	27.6	0.0	48.3
生活困窮	ゆとりがある	41	39.0	7.3	9.8	2.4	41.5
	まあまあゆとりがある	280	38.6	16.1	12.5	1.8	31.1
	やや苦しい	261	30.3	18.4	12.6	1.5	37.2
	不自由が多く、生活が苦しい	45	26.7	22.2	11.1	2.2	37.8
サービス	利用している	214	14.5	23.4	29.9	0.0	32.2
	利用していない	390	46.2	13.8	3.6	2.6	33.8
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	58	10.3	20.7	39.7	0.0	29.3
	視覚障害がある	24	41.7	20.8	25.0	4.2	8.3
	聴覚障害がある	39	46.2	5.1	5.1	10.3	33.3

⑨ 外出をためらう理由

問　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。
（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	21	21	24	23	22	23

全体でみると、「特にない」が 32.3%と最も高く、次いで「体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安」が 25.0%、「狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い」が 18.5%となっている。

障害種別でみると、精神・自立・難病では「体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安」の割合が高く、精神では 40.3%、自立では 47.5%、難病では 31.6%となっている。また、知的では「他人との会話が難しい」が 44.6%と高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が若いほど「ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない」「他人との会話が難しい」の割合が高くなっている。

介助者の年齢別では、介助者の年齢が若いほど「体調や気分が悪くなっときの対応が不安」の割合が高くなる傾向があり、また介助者の年齢が高齢になるほど「特にない」の割合が高くなる傾向となっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層ほど「特にない」の割合は低くなっており、一方で他の全ての選択肢で割合が高くなる傾向となっている。

サービス利用別では、サービスを『利用していない』では「特にない」の割合が 42.8%高く、『利用している』では「特にない」以外の割合が高くなっている。

特徴的な状態別では、「医療的ケアを受けている」方は「体調や気分が悪くなったときの対応が不安」の割合が 45.1%と高い割合となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	視線が気になる	体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	バリアフリーの建物が少ない	車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）	電車やバスなどの交通機関が利用しづらい	障害者用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）	その他	特にない	無回答
全体		741	13.4	14.6	7.6	25.0	18.5	7.8	6.1	3.5	8.4	17.5	6.6	8.4	32.3	12.3
障害種別	身体	427	10.5	6.6	1.6	19.2	22.7	9.4	7.5	3.5	8.2	15.9	7.0	7.3	34.9	13.8
	知的	101	31.7	44.6	11.9	22.8	13.9	7.9	2.0	2.0	8.9	25.7	10.9	10.9	22.8	5.0
	精神	77	14.3	27.3	32.5	40.3	6.5	5.2	3.9	2.6	6.5	19.5	1.3	7.8	27.3	10.4
	自立	40	10.0	30.0	20.0	47.5	7.5	5.0	2.5	0.0	7.5	15.0	2.5	12.5	35.0	5.0
	難病	95	7.4	2.1	4.2	31.6	18.9	4.2	7.4	7.4	10.5	15.8	6.3	9.5	33.7	16.8

(%)

【属性別の集計】

		調査数	ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	視線が気になる	体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	バリアフリーの建物が少ない	車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）	電車やバスなどの交通機関が利用しづらい	障害者用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）	その他	特にない	無回答
全体		741	13.4	14.6	7.6	25.0	18.5	7.8	6.1	3.5	8.4	17.5	6.6	8.4	32.3	12.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	80.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	34.0	40.0	20.0	24.0	18.0	8.0	6.0	4.0	14.0	30.0	14.0	12.0	32.0	0.0
	30～39歳	47	21.3	25.5	19.1	25.5	10.6	6.4	4.3	2.1	8.5	21.3	6.4	10.6	36.2	6.4
	40～49歳	82	6.1	18.3	17.1	28.0	11.0	8.5	7.3	2.4	6.1	12.2	3.7	11.0	35.4	8.5
	50～59歳	102	17.6	19.6	12.7	36.3	12.7	2.9	2.9	0.0	4.9	17.6	6.9	5.9	30.4	8.8
	60～64歳	37	8.1	21.6	10.8	37.8	32.4	21.6	2.7	2.7	13.5	27.0	10.8	10.8	24.3	5.4
	65～69歳	77	9.1	6.5	3.9	23.4	24.7	10.4	5.2	3.9	5.2	6.5	2.6	7.8	28.6	18.2
	70歳以上	330	10.9	7.0	0.9	20.3	21.2	7.3	7.6	5.2	9.4	18.2	6.4	7.9	34.2	14.5
世帯構成	ひとり暮らし	146	9.6	8.9	7.5	26.7	13.7	5.5	4.1	3.4	8.2	15.8	2.7	10.3	28.8	19.2
	核家族世帯	478	12.1	14.2	7.3	24.5	18.6	7.7	5.4	2.7	7.5	17.6	6.7	6.9	36.8	9.8
	三世代世帯	62	17.7	25.8	11.3	32.3	32.3	12.9	11.3	9.7	14.5	25.8	12.9	12.9	24.2	4.8
	その他の世帯	42	31.0	21.4	2.4	16.7	16.7	7.1	7.1	4.8	9.5	11.9	9.5	9.5	11.9	16.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	11.0	14.5	6.9	21.4	21.0	9.0	6.6	3.8	8.6	18.3	6.6	6.6	37.2	10.3
	障害者手帳所持者がいる	103	11.7	17.5	9.7	24.3	13.6	6.8	5.8	1.9	10.7	18.4	6.8	1.0	35.9	9.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	7.7	15.4	7.7	30.8	23.1	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	46.2	7.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	7.0	7.0	7.0	20.9	23.3	9.3	7.0	4.7	11.6	30.2	4.7	11.6	27.9	9.3
	あてはまらない	125	20.0	18.4	9.6	30.4	20.8	7.2	5.6	4.0	7.2	16.8	8.8	11.2	35.2	4.0
介助者の年齢	19歳以下	2	100.0	0.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	12.5	25.0	25.0	41.7	33.3	12.5	4.2	4.2	4.2	20.8	8.3	8.3	16.7	8.3
	40～59歳	155	21.9	18.7	12.3	24.5	26.5	10.3	7.1	5.8	14.2	21.3	9.7	9.7	21.3	8.4
	60歳代	99	17.2	16.2	8.1	30.3	23.2	7.1	5.1	5.1	5.1	20.2	10.1	11.1	28.3	10.1
	70歳代	116	10.3	15.5	5.2	25.9	19.8	6.9	4.3	3.4	4.3	17.2	7.8	3.4	33.6	11.2
	80歳以上	73	8.2	9.6	2.7	15.1	19.2	9.6	5.5	1.4	12.3	16.4	1.4	2.7	34.2	20.5
	わからない	41	22.0	19.5	9.8	26.8	14.6	9.8	12.2	4.9	14.6	14.6	7.3	14.6	24.4	14.6
生活困窮	ゆとりがある	42	14.3	16.7	7.1	19.0	19.0	9.5	4.8	2.4	7.1	11.9	4.8	2.4	42.9	4.8
	まあまあゆとりがある	302	14.9	12.6	3.3	20.5	16.2	6.6	4.6	2.6	6.3	16.2	6.3	7.6	36.4	11.6
	やや苦しい	291	9.3	14.4	10.0	29.6	19.2	7.6	5.2	3.4	8.9	16.5	7.6	8.2	28.5	12.7
	不自由が多く、生活が苦しい	58	24.1	24.1	24.1	36.2	27.6	19.0	20.7	10.3	20.7	32.8	8.6	15.5	20.7	12.1
サービス	利用している	240	26.7	25.0	12.1	31.3	24.6	10.0	10.0	5.4	14.6	30.0	12.9	10.8	17.1	7.9
	利用していない	418	6.5	8.9	5.5	22.2	15.1	6.2	4.3	2.2	4.3	10.8	3.6	7.2	42.8	12.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	29.6	18.3	11.3	45.1	33.8	15.5	14.1	5.6	21.1	28.2	18.3	14.1	15.5	9.9
	視覚障害がある	29	17.2	0.0	3.4	13.8	31.0	20.7	3.4	3.4	13.8	24.1	3.4	3.4	34.5	6.9
	聴覚障害がある	44	4.5	22.7	0.0	20.5	15.9	2.3	2.3	2.3	2.3	13.6	0.0	6.8	38.6	11.4

⑩ 趣味や楽しみ

問　あなたには、趣味や楽しみがありますか。　　（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	22	22	25	24	23	24

全体でみると、「ある」が 64.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 14.4%、「ない」が 10.7%となっている。

障害種別でみると、全ての種別で「ある」が 6 割を超えている。一方で、「ない」は精神で 18.2%となっている。

属性別でみると、世帯構成別では、『その他の世帯』は趣味や楽しみが「ある」の割合が 35.7%と低い傾向があり、「ない」「どちらともいえない」の割合が 2 割以上となっている。

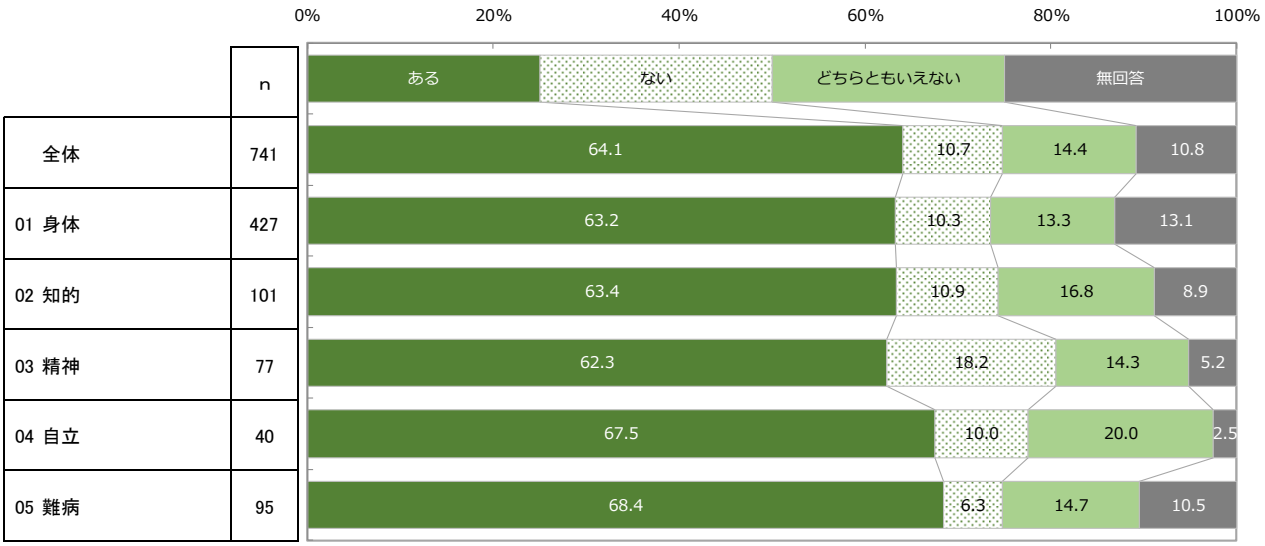
介助者の年齢別では、年齢が高齢になるほど趣味や楽しみが「ない」の割合が低くなっており、介助者の年齢が『20～39 歳』では 20.8%、『80 歳以上』では 4.1%となっている。また、介助者の年齢が『40～59 歳』で趣味や楽しみが「ある」の割合が最も高くなっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるほど、「ある」の割合が低くなり、「ない」が高くなる傾向がある。

サービス利用別では、属性別によって結果に大きな差は見られなかった。

特徴的な状態別では、『視覚障害がある』では「どちらともいえない」の割合が 24.1%と高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	ある	ない	どちらともいえない	無回答
全体	741	64.1	10.7	14.4	10.8
01 身体	427	63.2	10.3	13.3	13.1
02 知的	101	63.4	10.9	16.8	8.9
03 精神	77	62.3	18.2	14.3	5.2
04 自立	40	67.5	10.0	20.0	2.5
05 難病	95	68.4	6.3	14.7	10.5

【属性別の集計】

		調査数	ある	ない	どちらともいえない	無回答
全体		741	64.1	10.7	14.4	10.8
本人の年齢	18～19歳	5	60.0	0.0	40.0	0.0
	20～29歳	50	80.0	8.0	10.0	2.0
	30～39歳	47	61.7	10.6	23.4	4.3
	40～49歳	82	72.0	6.1	14.6	7.3
	50～59歳	102	65.7	15.7	10.8	7.8
	60～64歳	37	62.2	8.1	24.3	5.4
	65～69歳	77	63.6	13.0	7.8	15.6
	70歳以上	330	61.2	10.3	14.5	13.9
世帯構成	ひとり暮らし	146	65.1	11.0	15.1	8.9
	核家族世帯	478	68.0	9.2	12.1	10.7
	三世代世帯	62	58.1	8.1	19.4	14.5
	その他の世帯	42	35.7	23.8	28.6	11.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	62.8	9.7	13.4	14.1
	障害者手帳所持者がいる	103	56.3	15.5	13.6	14.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	76.9	7.7	15.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	55.8	20.9	11.6	11.6
	あてはまらない	125	72.8	8.8	13.6	4.8
介助者の年齢	19歳以下	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	50.0	20.8	20.8	8.3
	40～59歳	155	71.6	7.1	16.8	4.5
	60歳代	99	66.7	9.1	14.1	10.1
	70歳代	116	59.5	12.9	14.7	12.9
	80歳以上	73	58.9	4.1	13.7	23.3
	わからない	41	46.3	31.7	19.5	2.4
生活困窮	ゆとりがある	42	83.3	4.8	7.1	4.8
	まあまあゆとりがある	302	68.9	6.3	13.6	11.3
	やや苦しい	291	58.4	13.4	16.8	11.3
	不自由が多く、生活が苦しい	58	50.0	29.3	17.2	3.4
サービス	利用している	240	62.1	14.2	14.2	9.6
	利用していない	418	68.2	8.1	13.9	9.8
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	59.2	19.7	12.7	8.5
	視覚障害がある	29	55.2	6.9	24.1	13.8
	聴覚障害がある	44	63.6	11.4	6.8	18.2

(%)

⑪ 趣味や楽しみの内容

問　あなたの趣味や楽しみをお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	23	23	26	25	24	25

全体でみると、「テレビやビデオ、映画などの鑑賞」が 63.2%と最も高く、次いで「買い物」が 40.2%、「友人や知人との遊び」が 26.3%となっている。

障害種別でみると、身体・知的・自立・難病で「テレビやビデオ、映画などの鑑賞」の割合が 6～7 割となっている。一方で、精神では「演奏や歌などの音楽活動」が 29.2%と他に比べて高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では『18～29 歳』は「スポーツやダンスなど体を動かすこと」や「近所へ出かけること」が高くなっている。

生活困窮状況別では、『ゆとりがある』層では「スポーツやダンスなど体を動かすこと」の割合が 40.0%となっており、『不自由が多く、生活が苦しい』層では 10.3%となっている。

特徴的な状態別では、『視覚障害がある』では「テレビやビデオ、映画などの鑑賞」の割合が 37.5%と低くなっており、一方で「友人や知人との遊び」「旅行」が高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	スポーツやダンスなど体を動かすこと	絵画や工作などの美術活動	演奏や歌などの音楽活動	仕事や家事の手伝い	友人や知人との遊び	テレビやビデオ、映画などの鑑賞	近所へ出かけること	旅行	買い物	その他	無回答
全体		475	19.4	13.5	16.8	13.9	26.3	63.2	24.2	25.5	40.2	27.4	0.2 (%)
障害種別	身体	270	18.5	13.3	17.0	13.3	29.3	64.8	20.7	32.2	41.5	26.3	0.4
	知的	64	26.6	12.5	18.8	20.3	15.6	68.8	42.2	21.9	37.5	34.4	0.0
	精神	48	12.5	14.6	29.2	14.6	25.0	43.8	18.8	12.5	33.3	33.3	0.0
	自立	27	18.5	11.1	0.0	14.8	18.5	74.1	22.2	14.8	33.3	22.2	0.0
	難病	65	21.5	15.4	12.3	9.2	29.2	61.5	24.6	15.4	44.6	23.1	0.0

【属性別の集計】

		調査数	スポーツやダンスなど体を動かすこと	絵画や工作などの美術活動	演奏や歌などの音楽活動	仕事や家事の手伝い	友人や知人との遊び	テレビやビデオ、映画などの鑑賞	近所へ出かけること	旅行	買い物	その他	無回答
全体		475	19.4	13.5	16.8	13.9	26.3	63.2	24.2	25.5	40.2	27.4	0.2
本人の年齢	18～19歳	3	66.7	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	20～29歳	40	32.5	7.5	20.0	22.5	25.0	70.0	35.0	20.0	27.5	27.5	0.0
	30～39歳	29	13.8	3.4	17.2	17.2	34.5	62.1	20.7	20.7	41.4	27.6	0.0
	40～49歳	59	20.3	15.3	20.3	13.6	23.7	59.3	30.5	15.3	45.8	20.3	0.0
	50～59歳	67	11.9	14.9	14.9	13.4	19.4	61.2	20.9	25.4	44.8	23.9	0.0
	60～64歳	23	13.0	26.1	8.7	17.4	26.1	78.3	17.4	21.7	26.1	26.1	0.0
	65～69歳	49	26.5	10.2	12.2	12.2	20.4	67.3	12.2	34.7	36.7	26.5	0.0
	70歳以上	202	18.3	14.4	17.8	11.9	29.7	60.9	24.8	28.7	42.1	30.7	0.5
世帯構成	ひとり暮らし	95	16.8	16.8	21.1	5.3	25.3	56.8	22.1	24.2	33.7	29.5	0.0
	核家族世帯	325	20.3	12.9	16.3	15.7	28.0	65.2	23.7	26.2	42.2	27.1	0.3
	三世代世帯	36	19.4	11.1	13.9	25.0	25.0	66.7	33.3	25.0	47.2	16.7	0.0
	その他の世帯	15	20.0	13.3	13.3	6.7	6.7	53.3	26.7	26.7	26.7	33.3	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	182	16.5	14.8	15.9	12.1	28.6	64.3	25.3	26.9	44.5	29.1	0.0
	障害者手帳所持者がいる	58	24.1	12.1	19.0	12.1	27.6	63.8	27.6	25.9	44.8	25.9	1.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	10	10.0	10.0	10.0	10.0	40.0	50.0	20.0	30.0	50.0	10.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	24	20.8	16.7	16.7	16.7	25.0	58.3	25.0	16.7	41.7	25.0	0.0
	あてはまらない	91	22.0	2.2	17.6	16.5	26.4	70.3	18.7	20.9	36.3	27.5	0.0
介助者の年齢	19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	12	16.7	8.3	16.7	0.0	33.3	66.7	16.7	25.0	25.0	25.0	0.0
	40～59歳	111	21.6	17.1	18.0	20.7	23.4	59.5	30.6	19.8	43.2	29.7	0.0
	60歳代	66	25.8	10.6	18.2	9.1	27.3	74.2	22.7	30.3	37.9	25.8	0.0
	70歳代	69	17.4	11.6	14.5	8.7	26.1	66.7	26.1	27.5	34.8	17.4	1.4
	80歳以上	43	9.3	18.6	16.3	18.6	30.2	55.8	18.6	27.9	44.2	27.9	0.0
	わからない	19	5.3	5.3	21.1	0.0	10.5	47.4	15.8	5.3	21.1	31.6	0.0
生活困窮	ゆとりがある	35	40.0	22.9	20.0	20.0	37.1	77.1	25.7	22.9	51.4	20.0	0.0
	まあまあゆとりがある	208	19.7	13.5	19.7	13.9	30.8	63.5	21.2	32.2	38.5	29.3	0.0
	やや苦しい	170	16.5	12.9	14.1	10.6	20.0	60.0	25.9	20.0	40.0	26.5	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	29	10.3	10.3	17.2	17.2	31.0	62.1	31.0	13.8	37.9	20.7	0.0
サービス	利用している	149	18.1	15.4	24.8	17.4	21.5	63.8	28.9	20.1	40.3	28.9	0.0
	利用していない	285	20.0	13.0	10.9	13.3	29.5	65.3	22.1	27.7	40.7	27.0	0.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	42	4.8	21.4	21.4	11.9	14.3	59.5	21.4	19.0	40.5	28.6	0.0
	視覚障害がある	16	18.8	12.5	6.3	25.0	50.0	37.5	25.0	43.8	31.3	12.5	6.3
	聴覚障害がある	28	21.4	25.0	14.3	0.0	28.6	67.9	21.4	39.3	42.9	17.9	3.6

(%)

⑫ 参加したいと思う活動

問　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	24	24	27	26	25	26

全体でみると、「障害の有無にかかわらず楽しめる活動」が 35.6%と最も高く、次いで「特に参加したいと思わない」が 33.2%、「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」が 28.1%となっている。

障害種別でみると、知的では「障害のある人と一緒に楽しめる活動」の割合が 37.6%と高く、「特に参加したいと思わない」が 19.8%と低くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『20 歳～49 歳』にかけては「障害のある人と一緒に楽しめる活動」の割合が高くなっている。

同居人の特徴別では、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』世帯では、「障害の有無にかかわらず楽しめる活動」が 53.8%と高くなっている。

介助者の年齢別では、年齢が高くなるほど「障害の有無にかかわらず楽しめる活動」の割合が低くなっている。

生活困窮状況別では、属性別によって結果に大きな差は見られなかった。

サービス利用別では、『利用している』では「障害のある人と一緒に楽しめる活動」の割合が 20.4%と高くなっている。

特徴的な状態別では、『聴覚障害がある』では「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」の割合が 29.5%となっており、『視覚障害がある』では「特に参加したいと思わない」が 51.7%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	障害のある人と一緒に楽しめる活動	障害の有無にかかわらず楽しめる活動	その他	特に参加したいと思わない	無回答
全体		741	28.1	10.3	35.6	2.4	33.2	9.9
障害種別	身体	427	25.5	4.9	34.0	1.6	33.7	12.6
	知的	101	27.7	37.6	44.6	3.0	19.8	6.9
	精神	77	29.9	13.0	26.0	5.2	41.6	6.5
	自立	40	40.0	7.5	32.5	5.0	37.5	5.0
	難病	95	32.6	4.2	42.1	2.1	36.8	5.3

(%)

【属性別の集計】

		調査数	ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	障害のある人と一緒に楽しめる活動	障害の有無にかかわらず楽しめる活動	その他	特に参加したいと思わない	無回答
全体		741	28.1	10.3	35.6	2.4	33.2	9.9
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	40.0	40.0	58.0	4.0	12.0	0.0
	30～39歳	47	31.9	17.0	44.7	2.1	29.8	6.4
	40～49歳	82	37.8	24.4	40.2	1.2	30.5	6.1
	50～59歳	102	25.5	5.9	33.3	2.9	39.2	9.8
	60～64歳	37	35.1	5.4	29.7	0.0	35.1	5.4
	65～69歳	77	24.7	7.8	32.5	3.9	32.5	10.4
	70歳以上	330	23.9	4.2	32.7	2.4	35.8	12.7
世帯構成	ひとり暮らし	146	29.5	6.2	34.2	4.8	30.8	13.7
	核家族世帯	478	30.3	11.3	37.9	2.1	32.0	8.6
	三世代世帯	62	21.0	12.9	33.9	1.6	35.5	6.5
	その他の世帯	42	7.1	11.9	23.8	0.0	47.6	14.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	25.9	10.3	35.2	1.4	33.8	10.7
	障害者手帳所持者がいる	103	28.2	12.6	33.0	1.0	29.1	15.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	30.8	0.0	53.8	0.0	30.8	7.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	25.6	14.0	32.6	0.0	39.5	14.0
	あてはまらない	125	28.8	14.4	39.2	3.2	36.0	2.4
介助者の年齢	19歳以下	2	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	20.8	0.0	29.2	0.0	50.0	8.3
	40～59歳	155	24.5	14.8	43.2	1.9	30.3	9.0
	60歳代	99	27.3	10.1	37.4	0.0	33.3	8.1
	70歳代	116	21.6	9.5	32.8	1.7	38.8	12.1
	80歳以上	73	38.4	4.1	28.8	6.8	21.9	15.1
	わからない	41	22.0	12.2	31.7	4.9	41.5	4.9
生活困窮	ゆとりがある	42	21.4	14.3	35.7	2.4	40.5	7.1
	まあまあゆとりがある	302	27.8	10.3	40.1	2.3	29.5	9.6
	やや苦しい	291	27.8	10.0	33.0	1.7	36.8	8.6
	不自由が多く、生活が苦しい	58	31.0	13.8	41.4	6.9	31.0	8.6
サービス	利用している	240	22.9	20.4	40.4	2.1	26.7	9.6
	利用していない	418	32.3	5.3	35.9	2.2	36.4	6.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	19.7	9.9	25.4	4.2	45.1	8.5
	視覚障害がある	29	10.3	3.4	24.1	0.0	51.7	10.3
	聴覚障害がある	44	29.5	4.5	25.0	4.5	34.1	15.9

(%)

4.　就労について

①　収入が伴う仕事をしている

問　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。　（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	25	25	28	27	26	27

全体でみると、「仕事をしていない」が 61.9%と最も高く、次いで「仕事をしている」が 28.5%となっている。

障害種別でみると、知的では「仕事をしている」が 61.4%となっており、他の障害では 2～3 割程度となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高齢になるほど「仕事をしている」の割合が低くなり、『60～64 歳』で 40.5%、『65～69 歳』で 24.7%となっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「仕事をしている」が 20.5%となっており、『核家族世帯』『三世代世帯』と比較すると低くなっている。

同居人の特徴別では、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』は「仕事をしている」の割合が 69.2%と高くなっている。

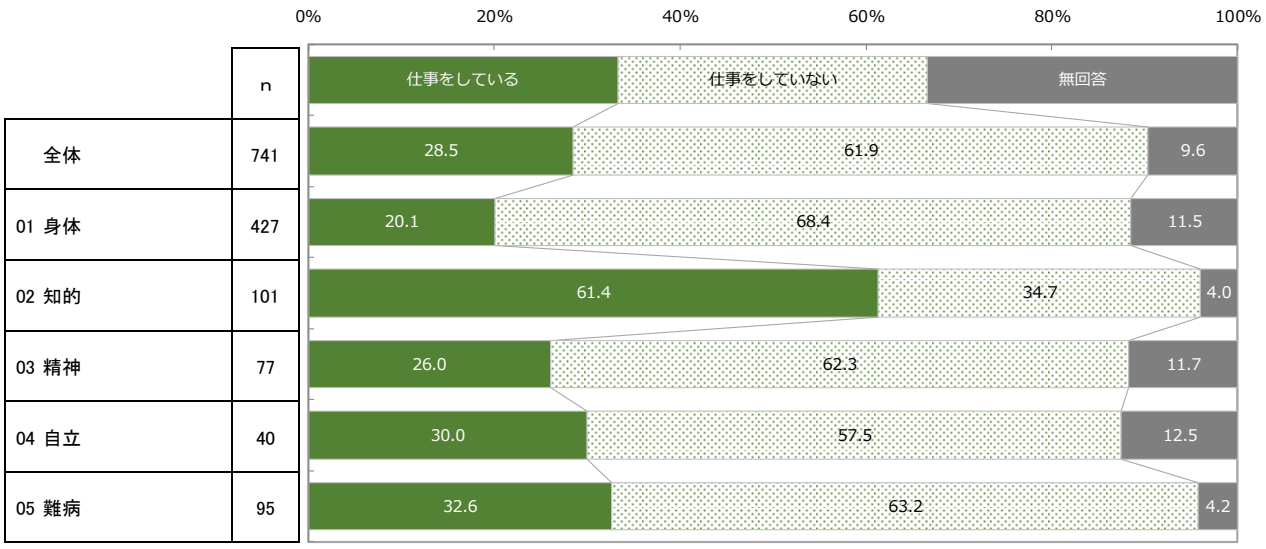
介助者の年齢別では、『20 歳～60 歳代』は「仕事をしている」の割合が 2 割以上と高い傾向にある。

生活困窮状況別では、『ゆとりがある』層では「仕事をしている」が 40.5%となっている一方で、その他では 3 割以下となっている。

サービス利用別では、『利用している』では「仕事をしている」が 31.7%となっており、『利用していない』に比べて高くなっている。

特徴的な状態別では、『視覚障害がある』では「仕事をしている」が 20.7%と、他に比べて高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	仕事をしている	仕事をしていない	無回答
全体		741	28.5	61.9	9.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	80.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	70.0	28.0	2.0
	30～39歳	47	59.6	36.2	4.3
	40～49歳	82	53.7	35.4	11.0
	50～59歳	102	39.2	52.9	7.8
	60～64歳	37	40.5	54.1	5.4
	65～69歳	77	24.7	61.0	14.3
	70歳以上	330	7.3	81.5	11.2
世帯構成	ひとり暮らし	146	20.5	67.8	11.6
	核家族世帯	478	32.4	58.2	9.4
	三世代世帯	62	29.0	61.3	9.7
	その他の世帯	42	14.3	81.0	4.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	24.1	66.9	9.0
	障害者手帳所持者がいる	103	26.2	64.1	9.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	69.2	23.1	7.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	20.9	72.1	7.0
	あてはまらない	125	44.0	47.2	8.8
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	100.0	0.0
	20～39歳	24	25.0	66.7	8.3
	40～59歳	155	34.8	55.5	9.7
	60歳代	99	28.3	63.6	8.1
	70歳代	116	17.2	71.6	11.2
	80歳以上	73	17.8	65.8	16.4
	わからない	41	12.2	78.0	9.8
生活困窮	ゆとりがある	42	40.5	54.8	4.8
	まあまあゆとりがある	302	28.5	61.9	9.6
	やや苦しい	291	29.9	61.5	8.6
	不自由が多く、生活が苦しい	58	22.4	62.1	15.5
サービス	利用している	240	31.7	62.9	5.4
	利用していない	418	27.8	62.7	9.6
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	9.9	87.3	2.8
	視覚障害がある	29	20.7	58.6	20.7
	聴覚障害がある	44	9.1	77.3	13.6

② 仕事形態

問　あなたの仕事の形態をお答えください。　（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	26	26	29	28	27	28

全体でみると、「会社・団体などの正規職員」が 33.6%と最も高く、次いで「福祉作業所」が 27.0%、「パート・アルバイトなどの非正規職員」が 24.6%となっている。

障害種別でみると、身体・自立・難病では「会社・団体などの正規職員」が高く、４割を上回っている。一方で、知的・精神では「福祉作業所」が高く、知的では 62.9%、精神では 40.0%となっている。

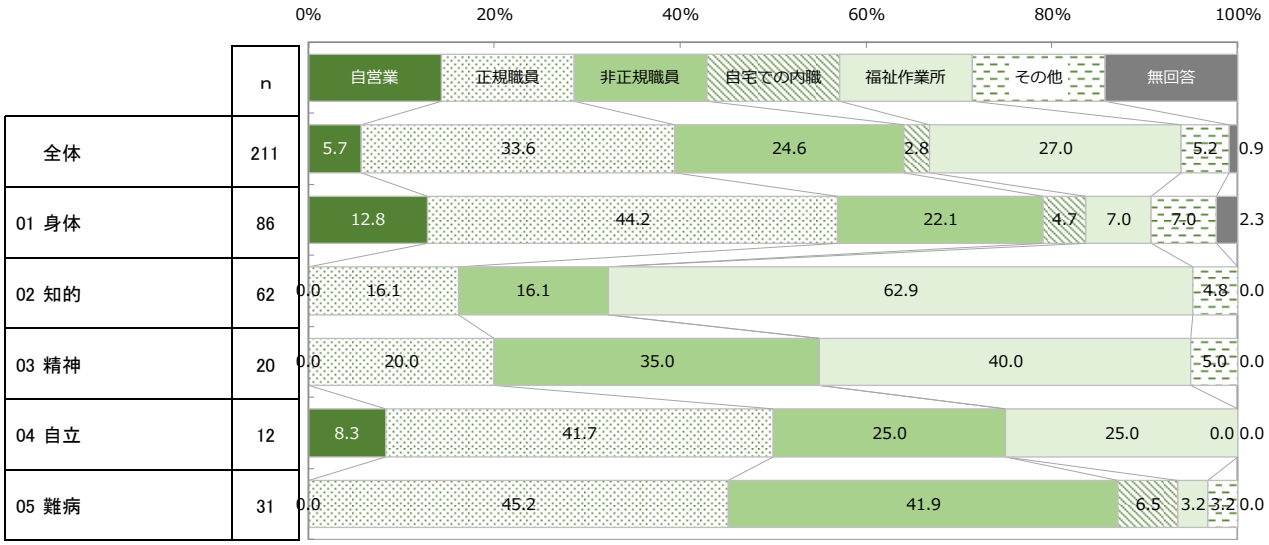
属性別でみると、本人の年齢別では、『20～64 歳』までは「会社・団体などの正規職員」の割合が約４割となっているが、『65 歳以上』では「パート・アルバイトなどの非正規社員」の割合が約３割となっている。

世帯構成別では、『三世代世帯』『その他の世帯』は仕事形態が「福祉作業所」の割合が５割以上と高く、「核家族世帯」では『会社・団体などの正規職員』の割合が 38.7%となっている。

同居人の特徴別では、同居人が『妊婦や小学生以下の子どもがいる』世帯では「会社・団体などの正規職員」が 77.8%となっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「パート・アルバイトなどの非正規職員」が 38.5%と高く、一方で「会社・団体などの正規職員」は 7.7%と低くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	自営業（家業の手伝いを含む）	会社・団体などの正規職員	パート・アルバイトなどの非正規職員	自宅での内職	福祉作業所	その他	無回答
全体		211	5.7	33.6	24.6	2.8	27.0	5.2	0.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	4	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	20～29歳	35	0.0	34.3	14.3	0.0	45.7	5.7	0.0
	30～39歳	28	0.0	46.4	39.3	0.0	14.3	0.0	0.0
	40～49歳	44	2.3	36.4	15.9	2.3	38.6	4.5	0.0
	50～59歳	40	2.5	45.0	27.5	5.0	15.0	5.0	0.0
	60～64歳	15	6.7	46.7	0.0	0.0	40.0	6.7	0.0
	65～69歳	19	15.8	15.8	26.3	5.3	26.3	5.3	5.3
	70歳以上	24	25.0	8.3	33.3	8.3	8.3	12.5	4.2
世帯構成	ひとり暮らし	30	6.7	20.0	33.3	6.7	23.3	3.3	6.7
	核家族世帯	155	5.8	38.7	23.9	2.6	22.6	6.5	0.0
	三世代世帯	18	5.6	27.8	11.1	0.0	55.6	0.0	0.0
	その他の世帯	6	0.0	0.0	16.7	0.0	83.3	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	70	2.9	31.4	20.0	1.4	37.1	7.1	0.0
	障害者手帳所持者がいる	27	3.7	22.2	29.6	0.0	37.0	7.4	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	9	0.0	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	9	22.2	22.2	11.1	0.0	33.3	11.1	0.0
	あてはまらない	55	9.1	41.8	25.5	0.0	20.0	3.6	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	54	5.6	33.3	22.2	3.7	31.5	1.9	1.9
	60歳代	28	3.6	21.4	21.4	3.6	46.4	3.6	0.0
	70歳代	20	15.0	20.0	20.0	0.0	35.0	10.0	0.0
	80歳以上	13	15.4	15.4	15.4	15.4	30.8	7.7	0.0
	わからない	5	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	17	0.0	47.1	17.6	0.0	17.6	17.6	0.0
	まあまあゆとりがある	86	9.3	32.6	27.9	1.2	25.6	3.5	0.0
	やや苦しい	87	3.4	36.8	21.8	4.6	28.7	3.4	1.1
	不自由が多く、生活が苦しい	13	7.7	7.7	38.5	7.7	30.8	7.7	0.0
サービス	利用している	76	3.9	11.8	11.8	2.6	64.5	5.3	0.0
	利用していない	116	6.0	47.4	32.8	2.6	5.2	5.2	0.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	7	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1	28.6	0.0
	視覚障害がある	6	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7
	聴覚障害がある	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③ 就職のための支援やサポート

問　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。
（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	27	27	30	29	28	29

全体でみると、「特に支援やサポートは受けていない」が 25.6%と最も高く、次いで「学校」が 21.8%、「ハローワーク」が 16.1%となっている。

障害種別でみると、身体・自立・難病は「特に支援やサポートは受けていない」の割合が高く、身体では 38.4%、自立では 41.7%、難病では 41.9%となっている。また、知的では「学校」48.4%、精神では「障害者就労支援センター一歩」35.0%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では『18～29 歳』はサポートを受けた場所として「学校」の割合が 6 割以上となっている。

同居人の特徴別では、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』世帯では「特に支援やサポートは受けていない」の割合が 55.6%と高く、『病気などの理由で不自由な方がいる』世帯では「家族や親せき」が 44.4%となっている。

生活困窮状況別では、『ゆとりがある』層では「学校」が 47.1%と高く、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「ハローワーク」や「就労移行支援事業所」が高くなっている。

サービス利用別では、『利用していない』では「特に支援やサポートは受けていない」が 40.5%と高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	ハローワーク	障害者就労支援センター「一歩」	就労移行支援事業所	学校	家族や親戚	友人や知人	その他	特に支援やサポートは受けていない	無回答
全体		211	16.1	11.8	12.8	21.8	13.3	7.6	11.8	25.6	3.8 (%)
障害種別	身体	86	23.3	2.3	4.7	9.3	4.7	10.5	8.1	38.4	7.0
	知的	62	8.1	22.6	21.0	48.4	24.2	3.2	4.8	1.6	3.2
	精神	20	20.0	35.0	25.0	5.0	20.0	5.0	30.0	10.0	0.0
	自立	12	16.7	16.7	16.7	25.0	16.7	0.0	16.7	41.7	0.0
	難病	31	9.7	0.0	9.7	12.9	9.7	12.9	22.6	41.9	0.0

【属性別の集計】

		調査数	ハローワーク	障害者就労支援センター「一歩」	就労移行支援事業所	学校	家族や親戚	友人や知人	その他	特に支援やサポートは受けていない	無回答
全体		211	16.1	11.8	12.8	21.8	13.3	7.6	11.8	25.6	3.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	4	25.0	25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	35	11.4	25.7	25.7	60.0	34.3	0.0	2.9	5.7	0.0
	30～39歳	28	14.3	10.7	17.9	14.3	10.7	7.1	7.1	35.7	0.0
	40～49歳	44	18.2	11.4	9.1	25.0	11.4	9.1	15.9	18.2	0.0
	50～59歳	40	20.0	10.0	5.0	5.0	12.5	7.5	12.5	42.5	2.5
	60～64歳	15	20.0	6.7	13.3	0.0	13.3	13.3	26.7	13.3	0.0
	65～69歳	19	15.8	5.3	15.8	10.5	5.3	10.5	10.5	42.1	5.3
	70歳以上	24	12.5	0.0	4.2	4.2	0.0	12.5	16.7	29.2	25.0
世帯構成	ひとり暮らし	30	6.7	6.7	10.0	6.7	0.0	10.0	26.7	26.7	6.7
	核家族世帯	155	18.7	12.9	11.6	21.3	14.8	8.4	9.7	29.0	2.6
	三世代世帯	18	16.7	0.0	22.2	33.3	5.6	0.0	11.1	5.6	11.1
	その他の世帯	6	0.0	33.3	16.7	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	70	24.3	14.3	15.7	18.6	11.4	10.0	12.9	11.4	4.3
	障害者手帳所持者がいる	27	25.9	25.9	22.2	25.9	11.1	0.0	0.0	14.8	11.1
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	9	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	55.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	9	22.2	11.1	22.2	33.3	44.4	22.2	0.0	0.0	11.1
	あてはまらない	55	14.5	7.3	12.7	21.8	18.2	3.6	10.9	36.4	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	6	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0
	40～59歳	54	14.8	9.3	16.7	33.3	24.1	1.9	7.4	24.1	3.7
	60歳代	28	3.6	21.4	17.9	28.6	14.3	7.1	0.0	25.0	0.0
	70歳代	20	10.0	0.0	5.0	15.0	10.0	20.0	20.0	10.0	15.0
	80歳以上	13	23.1	23.1	23.1	15.4	7.7	0.0	23.1	15.4	15.4
	わからない	5	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	17	17.6	17.6	5.9	47.1	29.4	5.9	11.8	23.5	5.9
	まあまあゆとりがある	86	11.6	9.3	10.5	22.1	10.5	10.5	12.8	29.1	2.3
	やや苦しい	87	18.4	13.8	13.8	17.2	12.6	5.7	12.6	25.3	3.4
	不自由が多く、生活が苦しい	13	30.8	15.4	38.5	15.4	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0
サービス	利用している	76	11.8	21.1	26.3	32.9	26.3	3.9	13.2	7.9	0.0
	利用していない	116	19.0	4.3	3.4	15.5	6.9	9.5	12.1	40.5	3.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	7	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	57.1	14.3	14.3
	視覚障害がある	6	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
	聴覚障害がある	4	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0

④ 仕事で困っていること

問　仕事をする上で困っていることをお答えください。（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	28	28	31	30	29	30

全体でみると、「給与や工賃などの収入が少ない」が 41.2%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」が 30.3%、「通勤の負担が大きい」が 18.0%となっている。

障害種別でみると、「給与や工賃などの収入が少ない」は知的・精神で高く、約５割となっている。また、身体では「特に困っていることはない」40.7%、自立では「通勤の負担が大きい」が 50.0%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『18～64 歳』の幅広い層で「給与や工賃などの収入が少ない」が高くなっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「特に困っていることはない」が 43.3%となっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しいほど、「給与や工賃などの収入が少ない」が高くなる傾向にあるが、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「特に困っていることはない」が 38.5%となっている。

サービス利用別では、『利用している』では「給与や工賃などの収入が少ない」の割合が 52.6%と高くなっており、一方で『利用していない』では「勤務時間・日数の負荷が大きい」「通勤の負担が大きい」が高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	給与や工賃などの収入が少ない	勤務時間・日数の負荷が大きい	通勤の負担が大きい	職務内容が自分に合わない	職場の人間関係が難しい	職場の設備が障害に対応していない	職場の人の障害に対する理解が不足	職場での悩みを相談できるところがない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体		211	41.2	12.8	18.0	5.2	15.6	3.3	10.9	8.5	5.2	30.3	2.4 (%)
障害種別	身体	86	32.6	17.4	17.4	7.0	8.1	3.5	4.7	8.1	4.7	40.7	3.5
	知的	62	48.4	3.2	8.1	3.2	24.2	6.5	16.1	6.5	8.1	17.7	1.6
	精神	20	55.0	0.0	15.0	0.0	25.0	0.0	10.0	10.0	0.0	35.0	0.0
	自立	12	41.7	8.3	50.0	8.3	25.0	0.0	25.0	16.7	8.3	16.7	0.0
	難病	31	41.9	29.0	29.0	6.5	9.7	0.0	12.9	9.7	3.2	29.0	3.2

【属性別の集計】

		調査数	給与や工賃などの収入が少ない	勤務時間・日数の負荷が大きい	通勤の負担が大きい	職務内容が自分に合わない	職場の人間関係が難しい	職場の設備が障害に対応していない	職場の人の障害に対する理解が不足	職場での悩みを相談できるところがない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体		211	41.2	12.8	18.0	5.2	15.6	3.3	10.9	8.5	5.2	30.3	2.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	20～29歳	35	40.0	2.9	20.0	0.0	20.0	0.0	17.1	8.6	8.6	20.0	0.0
	30～39歳	28	46.4	14.3	28.6	0.0	17.9	3.6	21.4	14.3	3.6	25.0	0.0
	40～49歳	44	52.3	13.6	15.9	9.1	13.6	6.8	9.1	11.4	6.8	22.7	2.3
	50～59歳	40	40.0	22.5	15.0	15.0	27.5	5.0	15.0	12.5	7.5	30.0	2.5
	60～64歳	15	53.3	26.7	26.7	0.0	13.3	0.0	6.7	6.7	0.0	20.0	6.7
	65～69歳	19	31.6	10.5	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	47.4	0.0
	70歳以上	24	16.7	4.2	8.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	8.3
世帯構成	ひとり暮らし	30	40.0	13.3	16.7	10.0	13.3	0.0	6.7	10.0	0.0	43.3	3.3
	核家族世帯	155	39.4	14.2	19.4	4.5	16.1	1.9	11.6	7.7	6.5	29.7	1.9
	三世代世帯	18	55.6	5.6	11.1	5.6	16.7	11.1	11.1	16.7	5.6	22.2	0.0
	その他の世帯	6	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	70	47.1	12.9	17.1	4.3	12.9	2.9	14.3	10.0	5.7	31.4	2.9
	障害者手帳所持者がいる	27	51.9	0.0	14.8	7.4	25.9	7.4	22.2	18.5	3.7	25.9	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	9	44.4	22.2	11.1	0.0	33.3	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	9	44.4	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	33.3	0.0
	あてはまらない	55	34.5	16.4	18.2	5.5	20.0	3.6	9.1	5.5	10.9	25.5	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	6	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0
	40～59歳	54	37.0	9.3	14.8	3.7	16.7	7.4	5.6	7.4	5.6	29.6	1.9
	60歳代	28	50.0	17.9	25.0	3.6	10.7	0.0	17.9	10.7	7.1	17.9	0.0
	70歳代	20	30.0	10.0	5.0	5.0	15.0	5.0	10.0	10.0	5.0	40.0	10.0
	80歳以上	13	46.2	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	46.2	0.0
	わからない	5	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	17	35.3	5.9	11.8	5.9	23.5	0.0	11.8	0.0	0.0	47.1	5.9
	まあまあゆとりがある	86	23.3	14.0	15.1	3.5	10.5	3.5	7.0	8.1	7.0	44.2	2.3
	やや苦しい	87	58.6	14.9	20.7	6.9	17.2	2.3	13.8	9.2	3.4	13.8	2.3
	不自由が多く、生活が苦しい	13	53.8	7.7	30.8	7.7	23.1	15.4	15.4	23.1	7.7	38.5	0.0
サービス	利用している	76	52.6	3.9	13.2	2.6	17.1	3.9	13.2	7.9	9.2	18.4	2.6
	利用していない	116	31.9	19.8	19.0	6.9	15.5	2.6	8.6	7.8	3.4	38.8	1.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	7	57.1	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0
	視覚障害がある	6	33.3	16.7	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
	聴覚障害がある	4	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0

⑤ 働かない理由

問　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	29	29	32	31	30	31

全体でみると、「仕事をする必要がない」が 43.1%と最も高く、次いで「仕事をしたいと思うが、できない」が 32.5%、「仕事をしたいと思わない」が 5.2%となっている。

障害種別でみると、知的・精神・自立で「仕事をしたいと思うが、できない」が４～６割程度となっている。一方で、身体・難病では「仕事をする必要がない」が半数を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『20～59 歳』は「仕事をしたいと思うが、できない」の割合が半数割以上となっている。

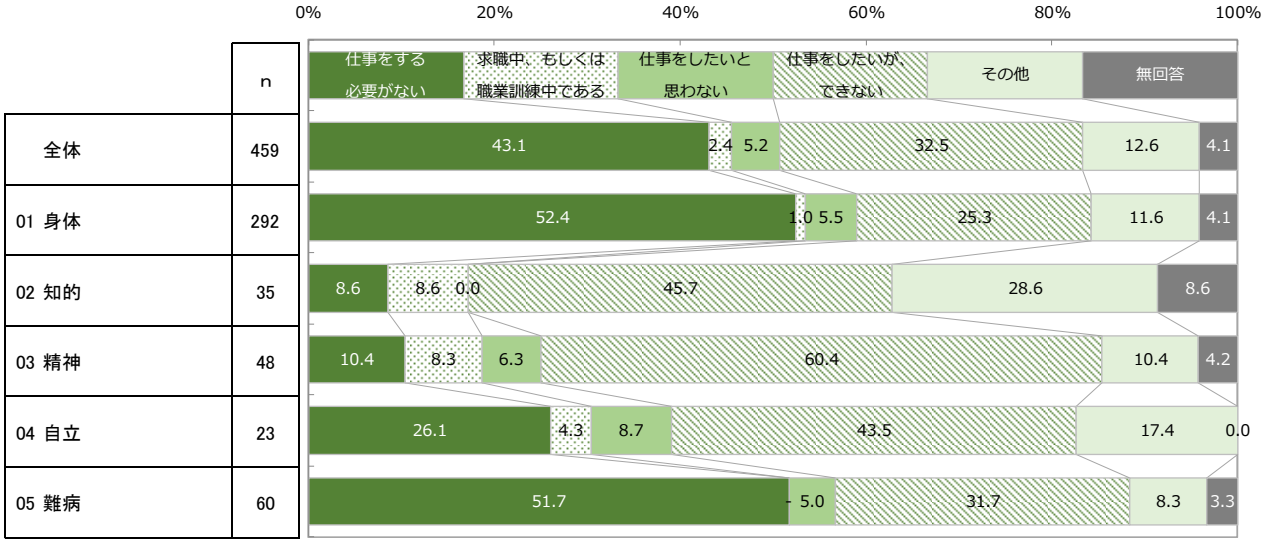
介助者の年齢別では、介助者が高齢になるほど、働かない理由として「仕事をする必要がない」の割合が高くなっている。

生活困窮状況別では、『ゆとりがある』層では「仕事をする必要はない」の割合が高く 65.2%となっており、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「仕事をしたいと思うが、できない」が 50.0%となっている。

サービス利用別では、利用の有無による働いていない理由に大きな差はなかった。

特徴的な状態別では、『医療的ケアを受けている』では「仕事をしたいと思うが、できない」が 33.9%となっており、『視覚障害がある』『聴覚障害がある』では「仕事をする必要がない」が７～８割となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	仕事をする必要がない（高齢、学生、専業主婦などのため）	求職中、もしくは職業訓練中である	仕事をしたいと思わない	仕事をしたいと思うが、できない	その他	無回答
全体		459	43.1	2.4	5.2	32.5	12.6	4.1
本人の年齢	18～19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	14	7.1	14.3	0.0	50.0	28.6	0.0
	30～39歳	17	0.0	11.8	5.9	58.8	23.5	0.0
	40～49歳	29	6.9	10.3	6.9	62.1	10.3	3.4
	50～59歳	54	13.0	1.9	3.7	59.3	16.7	5.6
	60～64歳	20	40.0	0.0	0.0	40.0	15.0	5.0
	65～69歳	47	29.8	0.0	2.1	36.2	27.7	4.3
	70歳以上	269	60.6	1.1	6.7	19.7	7.8	4.1
世帯構成	ひとり暮らし	99	35.4	4.0	4.0	34.3	18.2	4.0
	核家族世帯	278	45.7	2.2	5.8	34.2	9.0	3.2
	三世代世帯	38	47.4	0.0	5.3	26.3	10.5	10.5
	その他の世帯	34	47.1	2.9	2.9	17.6	26.5	2.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	194	50.5	1.5	7.2	26.3	11.9	2.6
	障害者手帳所持者がいる	66	45.5	3.0	3.0	27.3	16.7	4.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	31	41.9	3.2	3.2	25.8	19.4	6.5
	あてはまらない	59	47.5	1.7	5.1	39.0	1.7	5.1
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20～39歳	16	18.8	6.3	0.0	43.8	31.3	0.0
	40～59歳	86	47.7	1.2	3.5	32.6	10.5	4.7
	60歳代	63	34.9	1.6	3.2	41.3	14.3	4.8
	70歳代	83	43.4	2.4	9.6	33.7	9.6	1.2
	80歳以上	48	68.8	2.1	4.2	12.5	6.3	6.3
	わからない	32	46.9	3.1	3.1	34.4	9.4	3.1
生活困窮	ゆとりがある	23	65.2	4.3	4.3	21.7	4.3	0.0
	まあまあゆとりがある	187	58.3	0.5	5.3	23.0	8.6	4.3
	やや苦しい	179	31.3	4.5	5.0	40.2	15.1	3.9
	不自由が多く、生活が苦しい	36	16.7	0.0	2.8	50.0	25.0	5.6
サービス	利用している	151	42.4	3.3	2.0	31.1	14.6	6.6
	利用していない	262	45.8	1.9	6.5	33.2	11.5	1.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	62	38.7	1.6	3.2	33.9	14.5	8.1
	視覚障害がある	17	82.4	0.0	0.0	11.8	5.9	0.0
	聴覚障害がある	34	67.6	2.9	8.8	8.8	8.8	2.9

(%)

⑥ 今後の労働意向

問　今後の就労意向についてお答えください。　　（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	30	30	33	32	31	32

全体でみると、「働くことは考えていない」が 49.0%と最も高く、次いで「すぐに（継続して）フルタイムで働きたい」が 10.9%、「いずれ働くことを考えている」が 10.5%となっている。

障害種別でみると、「働くことは考えていない」は身体・難病で半数を上回っているものの、他の障害では約３割となっている。知的では「すぐに（継続して）福祉作業所で働きたい」が 32.7%と高く、精神・自立では「いずれ働くことを考えている」が高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『18～49 歳』では「すぐに（継続して）フルタイムで働きたい」が２割を上回っている。一方で、『50～64 歳』では「いずれ働くことを考えている」が高くなっている。

同居人の特徴別では、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』では、「すぐに（継続して）フルタイムで働きたい」が 46.2%、「すぐに（継続して）パートなどで働きたい」が 23.1%と高く、約７割が一般就労の意向を持っている。また「働くことは考えていない」は 23.1%と低くなっている。

介助者の年齢別では、介助者の年齢が高くなるにつれて「働くことは考えていない」が高くなる傾向にある。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるにつれて「働くことは考えていない」が低くなる傾向があるが、一方で「すぐに働きたい」の割合には大きな差は見られない。

特徴的な状態別では、『医療的ケアを受けている』『視覚障害がある』『聴覚障害がある』の全てで「働くことは考えていない」が７割を上回っている。

【障害種別の集計】

		調査数	すぐに（継続して）フルタイムで働きたい	すぐに（継続して）パートなどで働きたい	すぐに（継続して）福祉作業所などで働きたい	1年以内に何らかの形で働きたい	いずれ働くことを考えている	働くことは考えていない	無回答
全体		741	10.9	8.1	6.6	2.6	10.5	49.0	12.3 (%)
障害種別	身体	427	8.7	5.9	1.9	2.3	6.3	59.3	15.7
	知的	101	12.9	9.9	32.7	2.0	9.9	24.8	7.9
	精神	77	14.3	7.8	6.5	2.6	33.8	28.6	6.5
	自立	40	17.5	7.5	5.0	7.5	25.0	32.5	5.0
	難病	95	13.7	16.8	1.1	2.1	5.3	51.6	9.5

【属性別の集計】

		調査数	すぐに（継続して）フルタイムで働きたい	すぐに（継続して）パートなどで働きたい	すぐに（継続して）福祉作業所などで働きたい	1年以内に何らかの形で働きたい	いずれ働くことを考えている	働くことは考えていない	無回答
全体		741	10.9	8.1	6.6	2.6	10.5	49.0	12.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	20～29歳	50	28.0	12.0	22.0	4.0	14.0	14.0	6.0
	30～39歳	47	36.2	17.0	10.6	6.4	12.8	14.9	2.1
	40～49歳	82	24.4	7.3	19.5	2.4	18.3	17.1	11.0
	50～59歳	102	18.6	15.7	4.9	3.9	23.5	26.5	6.9
	60～64歳	37	10.8	10.8	8.1	2.7	21.6	40.5	5.4
	65～69歳	77	6.5	7.8	6.5	2.6	6.5	53.2	16.9
	70歳以上	330	0.3	3.9	0.9	1.2	3.6	74.2	15.8
世帯構成	ひとり暮らし	146	6.2	8.2	4.1	2.1	14.4	46.6	18.5
	核家族世帯	478	13.8	8.4	6.7	2.7	10.9	47.5	10.0
	三世代世帯	62	9.7	9.7	9.7	1.6	6.5	50.0	12.9
	その他の世帯	42	0.0	4.8	11.9	2.4	2.4	69.0	9.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	8.3	6.6	9.0	2.4	7.2	56.9	9.7
	障害者手帳所持者がいる	103	7.8	8.7	5.8	1.9	13.6	51.5	10.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	46.2	23.1	0.0	0.0	7.7	23.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	4.7	7.0	7.0	4.7	9.3	58.1	9.3
	あてはまらない	125	20.0	12.0	6.4	1.6	11.2	40.0	8.8
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～39歳	24	16.7	0.0	0.0	8.3	33.3	37.5	4.2
	40～59歳	155	12.3	11.0	9.7	1.9	11.0	45.2	9.0
	60歳代	99	7.1	7.1	9.1	3.0	12.1	51.5	10.1
	70歳代	116	3.4	7.8	6.9	1.7	6.9	57.8	15.5
	80歳以上	73	6.8	4.1	6.8	0.0	4.1	61.6	16.4
	わからない	41	2.4	2.4	4.9	2.4	9.8	70.7	7.3
生活困窮	ゆとりがある	42	14.3	9.5	7.1	0.0	11.9	57.1	0.0
	まあまあゆとりがある	302	9.6	7.9	6.0	1.7	7.3	57.3	10.3
	やや苦しい	291	12.0	8.6	7.2	3.8	12.4	40.9	15.1
	不自由が多く、生活が苦しい	58	13.8	12.1	5.2	0.0	24.1	34.5	10.3
サービス	利用している	240	6.3	7.1	15.8	2.5	9.6	48.8	10.0
	利用していない	418	14.1	9.8	2.2	2.9	11.7	49.5	9.8
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	2.8	1.4	2.8	0.0	11.3	71.8	9.9
	視覚障害がある	29	10.3	6.9	0.0	0.0	0.0	72.4	10.3
	聴覚障害がある	44	6.8	2.3	0.0	2.3	4.5	75.0	9.1

⑦ 障害者が働くために必要なこと

問　障害のある人が働くために必要なことをお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	31	31	34	33	32	33

全体でみると、「障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること」が 40.8%と最も高く、次いで「体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所」が 36.8%、「障害のある人を雇用したい事業所の求人情報」が 33.9%となっている。

障害種別でみると、「障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること」は知的・精神・自立で高く、難病では「体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所」が高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が若いほど、どの回答も割合が高い傾向にあるが、特に『18～29 歳』では、「就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者」や「障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること」「就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援」の割合が高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、「障害のある人を雇用したい事業者の求人情報」「障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること」「体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所」が半数以上と高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	障害のある人が就職や転職についての悩みを相談する窓口	障害のある人を雇用したい事業者の求人情報	就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援	就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度	就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）	パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練	障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること	障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化	体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所	就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援	その他	わからない	無回答
全体		741	31.7	33.9	13.8	21.2	23.8	24.0	40.8	24.0	36.8	23.8	3.8	19.2	18.1 (%)
障害種別	身体	427	26.2	29.3	9.6	15.7	17.8	22.2	31.9	23.4	31.1	16.9	3.5	20.4	22.0
	知的	101	39.6	37.6	20.8	33.7	38.6	26.7	57.4	25.7	34.7	39.6	3.0	22.8	11.9
	精神	77	42.9	50.6	24.7	33.8	29.9	33.8	58.4	16.9	53.2	32.5	3.9	11.7	10.4
	自立	40	37.5	35.0	20.0	30.0	22.5	30.0	57.5	25.0	50.0	35.0	7.5	20.0	7.5
	難病	95	35.8	36.8	13.7	18.9	30.5	18.9	41.1	30.5	45.3	26.3	4.2	15.8	17.9

【属性別の集計】

		調査数	障害のある人が就職や転職についての悩みを相談する窓口	障害のある人を雇用したい事業者の求人情報	就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援	就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度	就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）	パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練	障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること	障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化	体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所	就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援	その他	わからない	無回答
全体		741	31.7	33.9	13.8	21.2	23.8	24.0	40.8	24.0	36.8	23.8	3.8	19.2	18.1 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	40.0	20.0	0.0	60.0	20.0	60.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	56.0	52.0	36.0	48.0	50.0	38.0	74.0	30.0	48.0	52.0	4.0	8.0	8.0
	30～39歳	47	31.9	48.9	17.0	23.4	31.9	25.5	61.7	25.5	48.9	36.2	4.3	23.4	6.4
	40～49歳	82	36.6	46.3	18.3	30.5	26.8	30.5	65.9	35.4	51.2	31.7	2.4	13.4	7.3
	50～59歳	102	47.1	49.0	20.6	29.4	34.3	36.3	49.0	23.5	52.9	32.4	2.9	10.8	9.8
	60～64歳	37	43.2	40.5	16.2	18.9	24.3	27.0	48.6	37.8	43.2	21.6	5.4	16.2	2.7
	65～69歳	77	27.3	24.7	7.8	14.3	19.5	18.2	31.2	20.8	39.0	16.9	3.9	24.7	16.9
	70歳以上	330	22.4	23.3	7.9	14.5	15.5	17.9	26.1	20.3	24.5	14.8	4.2	22.1	28.5
世帯構成	ひとり暮らし	146	26.0	30.8	11.6	14.4	18.5	24.7	37.0	21.2	34.9	17.1	4.1	21.2	21.2
	核家族世帯	478	33.5	35.4	14.6	23.0	24.9	23.8	42.1	24.1	38.1	25.3	3.8	17.2	17.6
	三世代世帯	62	43.5	41.9	16.1	32.3	29.0	32.3	46.8	37.1	43.5	27.4	3.2	21.0	8.1
	その他の世帯	42	21.4	23.8	9.5	11.9	23.8	14.3	35.7	16.7	21.4	26.2	4.8	26.2	23.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	33.4	31.0	15.2	22.8	22.1	24.5	38.3	26.6	34.5	25.5	4.8	17.6	19.0
	障害者手帳所持者がいる	103	30.1	30.1	13.6	22.3	21.4	27.2	37.9	24.3	30.1	26.2	2.9	23.3	22.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	38.5	23.1	0.0	15.4	30.8	23.1	53.8	23.1	30.8	38.5	15.4	23.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	41.9	37.2	16.3	23.3	25.6	23.3	44.2	30.2	41.9	25.6	4.7	20.9	18.6
	あてはまらない	125	37.6	42.4	15.2	24.8	31.2	24.0	49.6	25.6	47.2	25.6	0.0	18.4	12.0
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	20～39歳	24	37.5	50.0	16.7	20.8	37.5	33.3	58.3	41.7	66.7	29.2	8.3	12.5	0.0
	40～59歳	155	41.3	38.1	18.1	25.2	32.3	27.1	48.4	23.2	36.8	34.8	1.9	18.1	14.8
	60歳代	99	27.3	31.3	10.1	20.2	24.2	18.2	35.4	31.3	43.4	22.2	1.0	21.2	16.2
	70歳代	116	24.1	30.2	9.5	15.5	19.0	24.1	34.5	23.3	30.2	17.2	6.0	23.3	19.0
	80歳以上	73	24.7	27.4	13.7	20.5	15.1	19.2	21.9	17.8	26.0	16.4	5.5	19.2	35.6
	わからない	41	31.7	22.0	17.1	19.5	17.1	19.5	39.0	22.0	29.3	24.4	9.8	26.8	19.5
生活困窮	ゆとりがある	42	33.3	35.7	11.9	19.0	28.6	26.2	40.5	26.2	28.6	28.6	2.4	26.2	9.5
	まあまあゆとりがある	302	32.8	33.4	13.2	23.2	26.8	27.2	41.1	26.8	33.1	25.2	4.3	17.2	18.9
	やや苦しい	291	32.0	30.9	11.7	18.9	20.6	19.6	39.9	21.6	40.2	21.0	2.7	21.3	17.9
	不自由が多く、生活が苦しい	58	39.7	53.4	31.0	27.6	27.6	37.9	58.6	31.0	50.0	37.9	8.6	10.3	10.3
サービス	利用している	240	34.2	30.8	17.9	28.8	27.9	22.9	46.7	26.7	37.1	31.3	3.8	20.0	17.9
	利用していない	418	32.5	38.0	11.7	18.4	23.9	26.3	40.2	24.6	38.0	21.5	2.6	19.6	14.8
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	36.6	28.2	11.3	22.5	23.9	25.4	36.6	28.2	42.3	21.1	5.6	16.9	18.3
	視覚障害がある	29	27.6	27.6	13.8	24.1	20.7	20.7	34.5	24.1	20.7	31.0	6.9	24.1	20.7
	聴覚障害がある	44	31.8	25.0	11.4	9.1	11.4	20.5	34.1	13.6	18.2	20.5	2.3	27.3	18.2

５．　相談支援や情報入手について

①　悩みや将来についての相談

問　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。
（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	32	32	35	34	33	34

全体でみると、「必要に応じて相談している」が 41.0%と最も高く、次いで「あまり相談していない」が 26.5%、「相談したことがない」が 20.9%となっている。

障害種別でみると、障害によって相談の状況に大きな差はなく、「あまり相談していない」「相談したことがない」が半数近くを占めている。

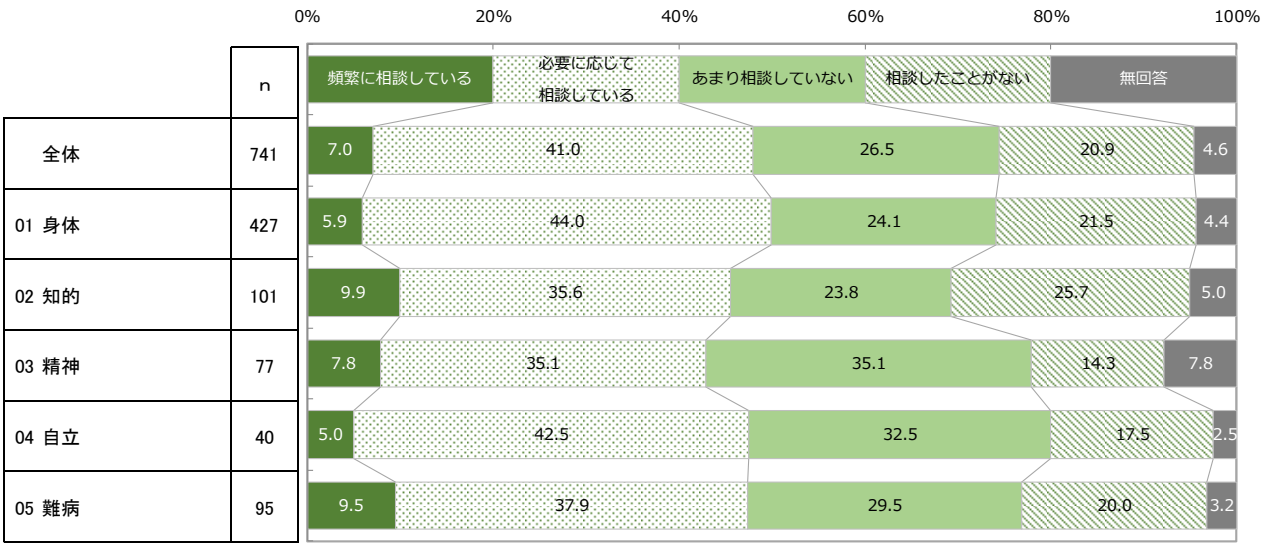
属性別でみると、本人の年齢別では、『18～29 歳』の若い世代では「頻繁に相談している」の割合が高い傾向があるが、『30 歳以上』になると「あまり相談していない」の割合が高くなっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「相談したことがない」が 30.1%となっている。

同居人の特徴別では、『65 歳以上の高齢者がいる』『障害者手帳所持者がいる』世帯では「相談したことがない」が高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「必要に応じて相談している」が 17.2%と低く、「あまり相談していない」が 43.1%と高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	頻繁に相談している	必要に応じて相談している	あまり相談していない	相談したことがない	無回答
全体		741	7.0	41.0	26.5	20.9	4.6
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	20.0	44.0	18.0	18.0	0.0
	30～39歳	47	8.5	38.3	40.4	10.6	2.1
	40～49歳	82	4.9	34.1	40.2	17.1	3.7
	50～59歳	102	9.8	35.3	29.4	20.6	4.9
	60～64歳	37	5.4	40.5	37.8	16.2	0.0
	65～69歳	77	5.2	23.4	33.8	27.3	10.4
	70歳以上	330	4.8	49.1	18.8	22.7	4.5
世帯構成	ひとり暮らし	146	3.4	33.6	29.5	30.1	3.4
	核家族世帯	478	7.7	45.0	27.0	16.5	3.8
	三世代世帯	62	8.1	33.9	24.2	25.8	8.1
	その他の世帯	42	9.5	33.3	14.3	31.0	11.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	6.2	40.3	26.9	20.3	6.2
	障害者手帳所持者がいる	103	7.8	36.9	22.3	23.3	9.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	7.7	69.2	15.4	0.0	7.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	7.0	44.2	27.9	11.6	9.3
	あてはまらない	125	8.8	47.2	27.2	16.0	0.8
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	4.2	41.7	29.2	16.7	8.3
	40～59歳	155	9.7	46.5	27.1	14.8	1.9
	60歳代	99	7.1	47.5	23.2	19.2	3.0
	70歳代	116	6.9	37.1	31.9	18.1	6.0
	80歳以上	73	8.2	41.1	16.4	23.3	11.0
	わからない	41	4.9	34.1	31.7	26.8	2.4
生活困窮	ゆとりがある	42	14.3	50.0	7.1	26.2	2.4
	まあまあゆとりがある	302	6.0	45.4	24.5	20.5	3.6
	やや苦しい	291	5.8	40.2	29.2	20.6	4.1
	不自由が多く、生活が苦しい	58	10.3	17.2	43.1	24.1	5.2
サービス	利用している	240	8.3	40.8	25.8	21.7	3.3
	利用していない	418	6.7	41.6	28.2	20.6	2.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	4.2	45.1	31.0	18.3	1.4
	視覚障害がある	29	6.9	51.7	17.2	20.7	3.4
	聴覚障害がある	44	9.1	45.5	13.6	27.3	4.5

(%)

② 親族以外の相談先

問　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	33	33	36	35	34	35

全体でみると、「相談できる人や場所は特にいない」が 24.7%と最も高く、次いで「友人や知人」が 22.7%、「病院や診療所」が 19.3%となっている。

障害種別でみると、身体・自立は「相談できる人や場所は特にいない」の割合が高く、身体では 27.4%、自立で 40.0%となっている。また、知的は「福祉施設や作業所の職員」39.6%、精神は「病院や診療所」42.9%、難病は「友人や知人」34.7%の割合となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『40 歳以上』になると「相談できる人や場所は特にいない」が増加する傾向がある。

介助者の年齢別では、介助者の年齢が若い『19 歳以下』『20～39 歳』で「友人や知人」の割合が高く、高齢になるにつれて「介護福祉施設の職員やケアマネジャー」が高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「相談できる人や場所は特にいない」が 34.5%と高くなっている。

サービス利用別では、『利用していない』は『利用している』場合に比べて「相談できる人や場所は特にいない」が高くなっている。

特徴的な状態別では、『視覚障害がある』では「相談できる人や場所は特にいない」が 37.9%と他に比べて高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	市役所の相談窓口	市役所以外の障害福祉の相談窓口	福祉施設や作業所の職員	職場や学校	病院や診療所	児童相談所	介護福祉施設の職員やケアマネジャー	幼稚園や保育所の先生	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障害者団体	友人や知人	その他	相談できる人や場所は特にいない	無回答
全体		741	8.4	4.6	10.9	3.8	19.3	0.0	13.5	0.0	0.4	1.3	1.8	22.7	7.8	24.7	12.7 (%)
障害種別	身体	427	8.0	2.6	5.2	1.9	13.8	0.0	15.7	0.0	0.7	1.6	0.9	22.5	6.3	27.4	15.9
	知的	101	7.9	9.9	39.6	5.9	16.8	0.0	7.9	0.0	0.0	1.0	4.0	14.9	13.9	14.9	9.9
	精神	77	14.3	9.1	19.5	6.5	42.9	0.0	3.9	0.0	0.0	1.3	2.6	20.8	15.6	16.9	7.8
	自立	40	7.5	2.5	5.0	7.5	35.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	2.5	17.5	2.5	40.0	2.5
	難病	95	6.3	5.3	2.1	6.3	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	1.1	2.1	34.7	4.2	23.2	9.5

【属性別の集計】

		調査数	市役所の相談窓口	市役所以外の障害福祉の相談窓口	福祉施設や作業所の職員	職場や学校	病院や診療所	児童相談所	介護福祉施設の職員やケアマネジャー	幼稚園や保育所の先生	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障害者団体	友人や知人	その他	相談できる人や場所は特にいない	無回答
全体		741	8.4	4.6	10.9	3.8	19.3	0.0	13.5	0.0	0.4	1.3	1.8	22.7	7.8	24.7	12.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	20.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	4.0	12.0	28.0	8.0	26.0	0.0	10.0	0.0	0.0	2.0	2.0	24.0	18.0	14.0	8.0
	30～39歳	47	8.5	4.3	23.4	19.1	34.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	25.5	6.4	14.9	2.1
	40～49歳	82	13.4	8.5	22.0	4.9	20.7	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	6.1	29.3	9.8	29.3	4.9
	50～59歳	102	5.9	5.9	10.8	2.9	31.4	0.0	6.9	0.0	0.0	1.0	3.9	25.5	7.8	27.5	7.8
	60～64歳	37	10.8	10.8	16.2	5.4	27.0	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.6	8.1	32.4	2.7
	65～69歳	77	9.1	2.6	9.1	1.3	24.7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8	5.2	24.7	14.3
	70歳以上	330	8.5	1.8	3.9	0.6	10.6	0.0	21.8	0.0	0.9	2.1	0.6	20.0	6.7	24.8	18.5
世帯構成	ひとり暮らし	146	14.4	4.8	2.7	2.1	19.2	0.0	14.4	0.0	0.0	2.1	1.4	24.7	9.6	26.7	12.3
	核家族世帯	478	7.5	5.0	10.7	5.0	20.7	0.0	11.3	0.0	0.6	1.0	1.9	23.4	7.1	25.3	12.8
	三世代世帯	62	3.2	4.8	19.4	1.6	12.9	0.0	17.7	0.0	0.0	1.6	3.2	24.2	8.1	19.4	11.3
	その他の世帯	42	4.8	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	11.9	16.7	14.3
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	7.9	4.1	14.5	1.7	16.9	0.0	15.5	0.0	0.7	1.7	2.4	19.3	9.0	23.1	14.1
	障害者手帳所持者がいる	103	7.8	3.9	15.5	2.9	15.5	0.0	23.3	0.0	0.0	1.0	0.0	19.4	9.7	20.4	13.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	7.7	30.8	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	11.6	4.7	18.6	2.3	27.9	0.0	23.3	0.0	0.0	4.7	7.0	25.6	9.3	20.9	14.0
	あてはまらない	125	6.4	7.2	10.4	8.0	31.2	0.0	2.4	0.0	0.8	0.0	0.0	27.2	6.4	24.8	12.0
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	8.3	4.2	12.5	8.3	25.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	8.3	29.2	4.2
	40～59歳	155	7.1	5.8	13.5	5.8	25.8	0.0	14.2	0.0	0.0	0.6	1.9	24.5	7.7	20.6	6.5
	60歳代	99	2.0	2.0	15.2	1.0	20.2	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	3.0	21.2	7.1	19.2	10.1
	70歳代	116	12.9	1.7	8.6	1.7	18.1	0.0	18.1	0.0	0.0	2.6	0.9	18.1	7.8	24.1	13.8
	80歳以上	73	6.8	5.5	9.6	1.4	17.8	0.0	17.8	0.0	2.7	2.7	2.7	13.7	9.6	20.5	24.7
	わからない	41	9.8	2.4	17.1	2.4	12.2	0.0	39.0	0.0	0.0	4.9	0.0	12.2	9.8	22.0	4.9
生活困窮	ゆとりがある	42	0.0	2.4	9.5	4.8	19.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	2.4	33.3	16.7	21.4	7.1
	まあまあゆとりがある	302	7.3	3.6	13.9	4.0	16.2	0.0	14.2	0.0	1.0	0.7	2.3	21.9	6.6	24.2	13.6
	やや苦しい	291	9.3	5.5	7.9	3.4	22.0	0.0	14.8	0.0	0.0	2.4	1.4	23.7	6.9	24.4	12.0
	不自由が多く、生活が苦しい	58	13.8	5.2	10.3	3.4	24.1	0.0	8.6	0.0	0.0	1.7	1.7	17.2	13.8	34.5	6.9
サービス	利用している	240	10.8	7.9	27.1	2.1	22.1	0.0	24.2	0.0	0.4	1.3	3.8	18.8	9.6	15.0	10.0
	利用していない	418	6.9	3.3	2.6	5.0	19.9	0.0	7.7	0.0	0.5	1.4	0.7	26.6	7.2	30.6	11.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	11.3	2.8	15.5	1.4	21.1	0.0	38.0	0.0	0.0	1.4	1.4	16.9	18.3	12.7	9.9
	視覚障害がある	29	13.8	0.0	6.9	3.4	13.8	0.0	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8	6.9	37.9	10.3
	聴覚障害がある	44	4.5	2.3	4.5	0.0	13.6	0.0	11.4	0.0	0.0	6.8	0.0	20.5	4.5	25.0	15.9

③ 親族以外に相談したいこと

問　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	34	34	37	36	35	36

全体でみると、「自分の健康や障害に関すること」が 32.7%と最も高く、次いで「自分の今後の生活や将来に関すること」が 30.2%、「特にない」が 28.7%となっている。

障害種別でみると、精神・自立・難病では「自分の健康や障害に関すること」が４割を上回っている。また、精神・自立では「経済的なこと」についても約４割となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が若いほど「自分の今後の生活や将来に関すること」の割合が高く、『18～19 歳』では 60.0%となっている。

同居人の特徴別では、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』世帯では「経済的なこと」が 53.8%、「自分の今後の生活や将来に関すること」が 46.2%と高くなっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるほど相談したいことも多くなる傾向があり、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、「自分の健康や障害に関すること」「自分の今後の生活や将来に関すること」「経済的なこと」で４割を上回っている。

【障害種別の集計】

		調査数	自分の健康や障害に関すること	家族との関係に関すること	仕事や職場の人間関係に関すること	友人や仲間に関すること	自分の今後の生活や将来に関すること	経済的なこと	障害や介護サービスに関すること	虐待や差別に関すること	その他	特にない	無回答
全体		741	32.7	9.3	7.6	4.2	30.2	18.4	16.2	2.4	2.3	28.7	12.3 (%)
障害種別	身体	427	30.2	8.2	3.3	2.6	23.0	13.8	17.1	0.7	1.9	33.7	11.9
	知的	101	20.8	7.9	18.8	7.9	41.6	16.8	12.9	2.0	0.0	22.8	21.8
	精神	77	45.5	14.3	18.2	5.2	42.9	39.0	16.9	7.8	3.9	16.9	10.4
	自立	40	42.5	15.0	10.0	10.0	50.0	42.5	20.0	12.5	7.5	27.5	0.0
	難病	95	42.1	9.5	5.3	3.2	32.6	13.7	13.7	1.1	3.2	23.2	10.5

【属性別の集計】

		調査数	自分の健康や障害に関すること	家族との関係に関すること	仕事や職場の人間関係に関すること	友人や仲間に関すること	自分の今後の生活や将来に関すること	経済的なこと	障害や介護サービスに関すること	虐待や差別に関すること	その他	特にない	無回答
全体		741	32.7	9.3	7.6	4.2	30.2	18.4	16.2	2.4	2.3	28.7	12.3
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	0.0	20.0	0.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	18.0	4.0	22.0	6.0	50.0	16.0	10.0	4.0	0.0	24.0	10.0
	30～39歳	47	34.0	17.0	21.3	6.4	46.8	29.8	14.9	4.3	2.1	19.1	6.4
	40～49歳	82	42.7	17.1	13.4	7.3	47.6	28.0	20.7	6.1	1.2	23.2	9.8
	50～59歳	102	39.2	16.7	14.7	7.8	35.3	30.4	8.8	4.9	2.9	20.6	13.7
	60～64歳	37	48.6	10.8	10.8	0.0	29.7	24.3	13.5	0.0	2.7	21.6	5.4
	65～69歳	77	26.0	3.9	3.9	3.9	23.4	15.6	19.5	2.6	2.6	27.3	14.3
	70歳以上	330	30.3	6.1	0.3	2.4	20.9	10.9	18.2	0.6	2.7	35.8	13.3
世帯構成	ひとり暮らし	146	34.2	6.2	4.1	5.5	30.8	19.9	17.1	5.5	4.8	28.1	8.9
	核家族世帯	478	34.9	11.1	9.4	4.0	32.0	18.6	16.9	2.1	2.1	27.2	10.7
	三世代世帯	62	24.2	8.1	6.5	4.8	25.8	14.5	11.3	0.0	0.0	35.5	19.4
	その他の世帯	42	16.7	2.4	2.4	2.4	19.0	16.7	14.3	0.0	0.0	33.3	28.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	31.0	9.7	5.9	4.1	29.0	15.2	17.9	2.8	2.1	31.0	15.2
	障害者手帳所持者がいる	103	24.3	10.7	10.7	7.8	23.3	17.5	15.5	3.9	0.0	34.0	19.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	38.5	7.7	23.1	7.7	46.2	53.8	15.4	0.0	0.0	23.1	7.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	32.6	20.9	4.7	4.7	27.9	23.3	20.9	4.7	0.0	23.3	16.3
	あてはまらない	125	40.0	12.0	14.4	1.6	30.4	21.6	16.8	0.0	0.8	24.0	8.8
介助者の年齢	19歳以下	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	37.5	8.3	0.0	0.0	20.8	20.8	12.5	0.0	4.2	29.2	20.8
	40～59歳	155	36.8	11.6	12.9	5.8	34.2	16.1	14.8	2.6	1.3	25.2	9.0
	60歳代	99	36.4	8.1	4.0	2.0	30.3	20.2	20.2	2.0	1.0	27.3	8.1
	70歳代	116	33.6	8.6	1.7	3.4	26.7	13.8	18.1	2.6	2.6	35.3	9.5
	80歳以上	73	30.1	12.3	6.8	4.1	23.3	17.8	13.7	1.4	1.4	27.4	27.4
	わからない	41	39.0	9.8	4.9	4.9	24.4	29.3	26.8	9.8	4.9	24.4	4.9
生活困窮	ゆとりがある	42	23.8	4.8	11.9	9.5	35.7	4.8	9.5	2.4	0.0	42.9	7.1
	まあまあゆとりがある	302	32.8	7.3	6.0	3.0	23.5	6.6	16.2	0.7	1.0	31.8	13.9
	やや苦しい	291	31.6	9.3	7.2	3.8	35.4	27.5	17.5	2.4	3.1	25.1	10.7
	不自由が多く、生活が苦しい	58	43.1	24.1	13.8	8.6	41.4	48.3	25.9	13.8	6.9	15.5	10.3
サービス	利用している	240	35.0	10.4	10.0	5.8	39.6	21.3	23.3	2.9	2.1	20.8	12.1
	利用していない	418	32.5	9.1	7.7	3.8	26.3	16.0	12.2	2.2	1.7	34.7	9.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	49.3	12.7	2.8	4.2	45.1	23.9	26.8	5.6	5.6	19.7	7.0
	視覚障害がある	29	37.9	6.9	6.9	0.0	27.6	17.2	24.1	0.0	0.0	37.9	0.0
	聴覚障害がある	44	22.7	4.5	2.3	2.3	9.1	4.5	13.6	0.0	0.0	38.6	9.1

(%)

④ 生活情報の入手状況（福祉サービス）

問　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。　（○はそれぞれに 1 つずつ）

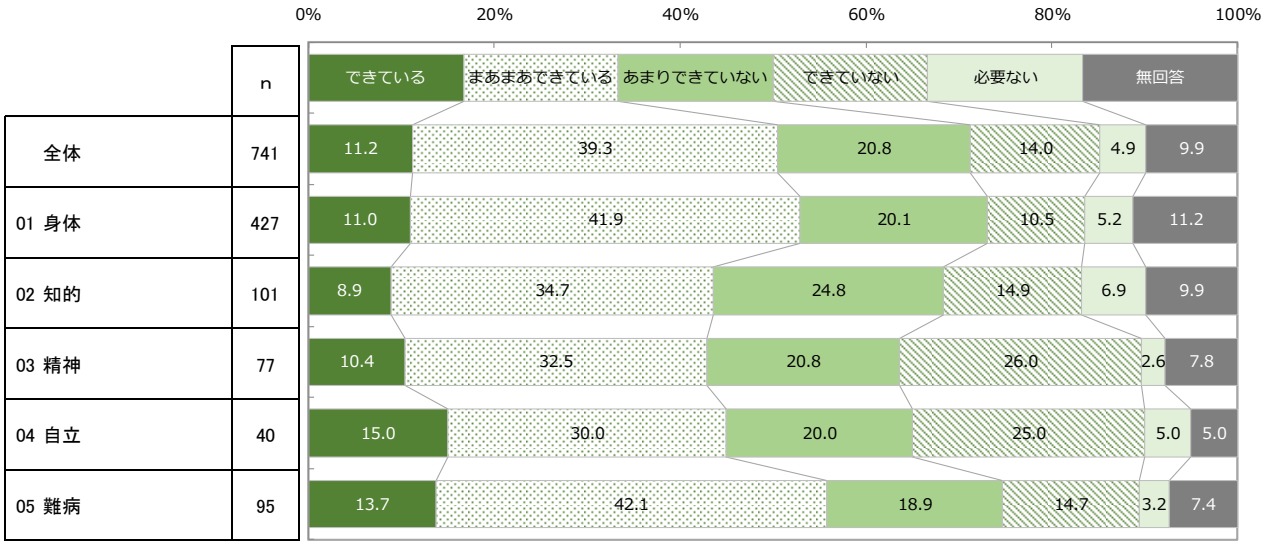
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	35	35	38	37	36	37

全体でみると、「まあまあできている」が 39.3%と最も高く、次いで「あまりできていない」が 20.8%、「できていない」が 14.0%となっている。

障害種別でみると、「できている」「まあまあできている」の合計が半数を上回っているのは身体と難病となっており、精神・自立では「できていない」が約 3 割を占めている。

属性別でみると、生活困窮状況別では、生活が苦しいほど「できていない」が高くなる傾向があり、『不自由が多く、生活が苦しい』では 32.8%となっている。

【障害種別の集計】



	n	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体	741	11.2	39.3	20.8	14.0	4.9	9.9
01 身体	427	11.0	41.9	20.1	10.5	5.2	11.2
02 知的	101	8.9	34.7	24.8	14.9	6.9	9.9
03 精神	77	10.4	32.5	20.8	26.0	2.6	7.8
04 自立	40	15.0	30.0	20.0	25.0	5.0	5.0
05 難病	95	13.7	42.1	18.9	14.7	3.2	7.4

【属性別の集計】

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体		741	11.2	39.3	20.8	14.0	4.9	9.9
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	14.0	36.0	26.0	14.0	6.0	4.0
	30～39歳	47	4.3	38.3	27.7	19.1	10.6	0.0
	40～49歳	82	13.4	34.1	19.5	23.2	2.4	7.3
	50～59歳	102	6.9	35.3	24.5	17.6	7.8	7.8
	60～64歳	37	5.4	45.9	24.3	13.5	5.4	5.4
	65～69歳	77	15.6	32.5	18.2	13.0	6.5	14.3
	70歳以上	330	12.4	43.9	17.9	10.3	3.3	12.1
世帯構成	ひとり暮らし	146	15.8	39.0	17.8	15.8	4.1	7.5
	核家族世帯	478	9.6	40.8	22.6	13.2	4.6	9.2
	三世代世帯	62	12.9	41.9	17.7	12.9	8.1	6.5
	その他の世帯	42	14.3	21.4	14.3	19.0	7.1	23.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	12.1	41.4	16.2	14.5	5.2	10.7
	障害者手帳所持者がいる	103	13.6	34.0	16.5	15.5	6.8	13.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	7.7	38.5	38.5	7.7	7.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	23.3	32.6	14.0	7.0	7.0	16.3
	あてはまらない	125	6.4	40.8	28.0	14.4	4.0	6.4
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	4.2	29.2	33.3	20.8	4.2	8.3
	40～59歳	155	7.1	46.5	21.9	12.3	5.8	6.5
	60歳代	99	18.2	33.3	26.3	12.1	3.0	7.1
	70歳代	116	11.2	44.0	19.0	16.4	3.4	6.0
	80歳以上	73	15.1	37.0	15.1	8.2	1.4	23.3
	わからない	41	14.6	43.9	19.5	9.8	4.9	7.3
生活困窮	ゆとりがある	42	16.7	31.0	26.2	7.1	7.1	11.9
	まあまあゆとりがある	302	11.6	45.7	16.6	10.9	6.6	8.6
	やや苦しい	291	11.3	37.1	25.1	15.8	3.8	6.9
	不自由が多く、生活が苦しい	58	8.6	22.4	24.1	32.8	3.4	8.6
サービス	利用している	240	14.6	45.0	17.5	12.1	2.1	8.8
	利用していない	418	10.0	38.8	23.2	15.1	6.5	6.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	14.1	47.9	15.5	12.7	5.6	4.2
	視覚障害がある	29	17.2	48.3	6.9	17.2	3.4	6.9
	聴覚障害がある	44	13.6	43.2	20.5	9.1	2.3	11.4

(%)

⑤ 生活情報の入手状況（地域情報）

問　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。　（○はそれぞれに１つずつ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	35	35	38	37	36	37

全体でみると、「まあまあできている」が 30.2%と最も高く、次いで「あまりできていない」が 27.7%、「できていない」が 17.9%となっている。

障害種別でみると、「できている」「まあまあできている」の合計が半数を上回っている障害はなく、知的・精神・自立では「できていない」「あまりできていない」の合計が半数以上となっている。

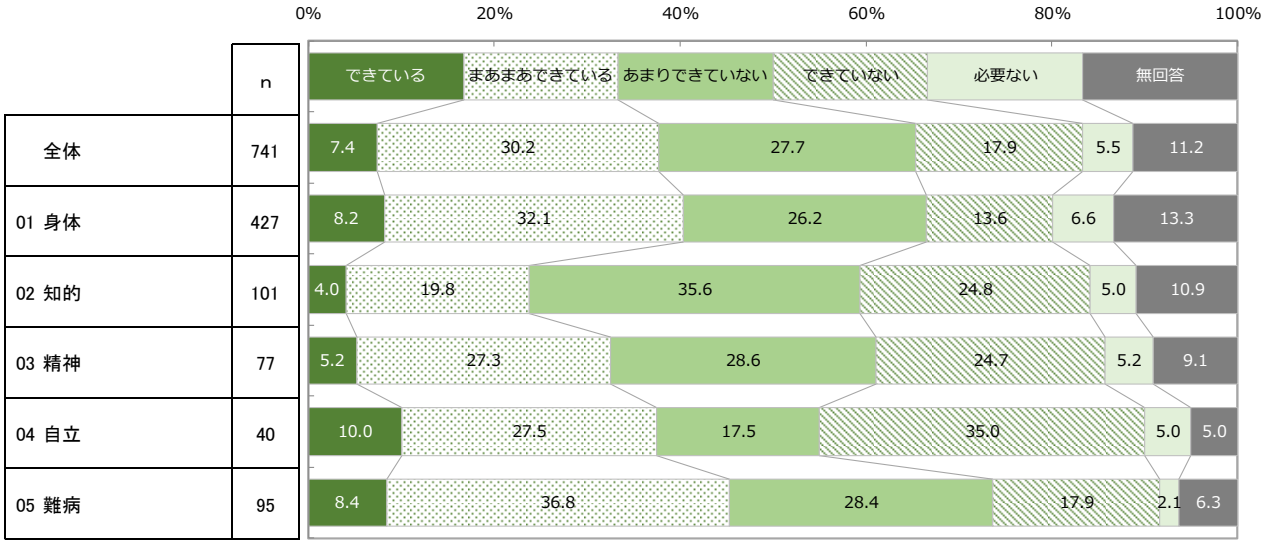
属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高くなるにつれて「できていない」が低くなる傾向がある。

同居人の特徴別では、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』世帯では「できている」「まあまあできている」の合計が６割以上となっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、「できていない」が 41.4%と高くなっている。

特徴的な状態別では、『医療的ケアを受けている』『視覚障害がある』では「できていない」が２割を上回り、全体よりも高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体	741	7.4	30.2	27.7	17.9	5.5	11.2
01 身体	427	8.2	32.1	26.2	13.6	6.6	13.3
02 知的	101	4.0	19.8	35.6	24.8	5.0	10.9
03 精神	77	5.2	27.3	28.6	24.7	5.2	9.1
04 自立	40	10.0	27.5	17.5	35.0	5.0	5.0
05 難病	95	8.4	36.8	28.4	17.9	2.1	6.3

【属性別の集計】

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体		741	7.4	30.2	27.7	17.9	5.5	11.2
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	12.0	28.0	34.0	16.0	6.0	4.0
	30～39歳	47	4.3	23.4	34.0	29.8	8.5	0.0
	40～49歳	82	4.9	24.4	34.1	25.6	3.7	7.3
	50～59歳	102	3.9	29.4	31.4	18.6	6.9	9.8
	60～64歳	37	5.4	29.7	40.5	13.5	5.4	5.4
	65～69歳	77	16.9	22.1	18.2	18.2	10.4	14.3
	70歳以上	330	6.7	36.4	23.0	14.8	4.2	14.8
世帯構成	ひとり暮らし	146	8.9	28.8	22.6	23.3	5.5	11.0
	核家族世帯	478	7.7	32.4	29.3	15.9	5.0	9.6
	三世代世帯	62	4.8	30.6	33.9	14.5	6.5	9.7
	その他の世帯	42	2.4	11.9	16.7	28.6	11.9	28.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	7.6	32.8	23.1	17.9	6.2	12.4
	障害者手帳所持者がいる	103	10.7	20.4	26.2	16.5	9.7	16.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	7.7	53.8	23.1	7.7	7.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	7.0	23.3	32.6	11.6	2.3	23.3
	あてはまらない	125	5.6	28.0	41.6	16.8	2.4	5.6
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	0.0	20.8	29.2	37.5	4.2	8.3
	40～59歳	155	3.9	32.9	34.8	15.5	5.2	7.7
	60歳代	99	12.1	21.2	32.3	17.2	6.1	11.1
	70歳代	116	7.8	31.0	28.4	17.2	7.8	7.8
	80歳以上	73	8.2	28.8	17.8	16.4	1.4	27.4
	わからない	41	9.8	22.0	22.0	24.4	9.8	12.2
生活困窮	ゆとりがある	42	9.5	26.2	28.6	14.3	9.5	11.9
	まあまあゆとりがある	302	7.9	38.1	23.2	13.9	7.3	9.6
	やや苦しい	291	6.5	25.4	35.4	18.6	3.8	10.3
	不自由が多く、生活が苦しい	58	6.9	15.5	24.1	41.4	5.2	6.9
サービス	利用している	240	4.2	24.2	32.1	21.7	5.0	12.9
	利用していない	418	9.3	35.2	27.3	16.3	5.7	6.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	1.4	21.1	35.2	22.5	9.9	9.9
	視覚障害がある	29	13.8	31.0	20.7	24.1	6.9	3.4
	聴覚障害がある	44	9.1	36.4	27.3	4.5	9.1	13.6

(%)

⑥ 生活情報の入手状況（社会情勢）

問　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。　（○はそれぞれに 1 つずつ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	35	35	38	37	36	37

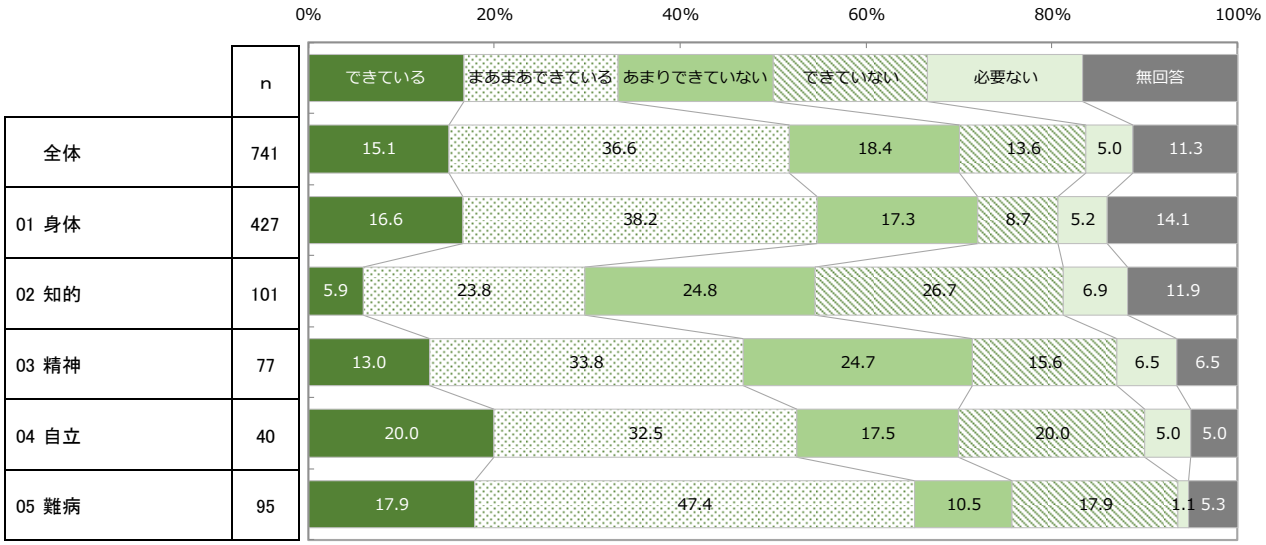
全体でみると、「まあまあできている」が 36.6%と最も高く、次いで「あまりできていない」が 18.4%、「できている」が 15.1%となっている。

障害種別でみると、「できている」「まあまあできている」の合計は身体・自立・難病で半数を上回っている。一方で、知的では「あまりできていない」「できていない」が 51.5%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高くなるにつれて「できていない」の割合が低くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、「できていない」は 27.6%となっている。

【障害種別の集計】



	n	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体	741	15.1	36.6	18.4	13.6	5.0	11.3
01 身体	427	16.6	38.2	17.3	8.7	5.2	14.1
02 知的	101	5.9	23.8	24.8	26.7	6.9	11.9
03 精神	77	13.0	33.8	24.7	15.6	6.5	6.5
04 自立	40	20.0	32.5	17.5	20.0	5.0	5.0
05 難病	95	17.9	47.4	10.5	17.9	1.1	5.3

【属性別の集計】

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体		741	15.1	36.6	18.4	13.6	5.0	11.3
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	14.0	38.0	22.0	20.0	4.0	2.0
	30～39歳	47	10.6	36.2	23.4	21.3	8.5	0.0
	40～49歳	82	14.6	24.4	26.8	19.5	4.9	9.8
	50～59歳	102	14.7	37.3	19.6	12.7	6.9	8.8
	60～64歳	37	18.9	45.9	8.1	18.9	2.7	5.4
	65～69歳	77	23.4	26.0	19.5	10.4	7.8	13.0
	70歳以上	330	13.6	41.8	14.8	10.9	3.6	15.2
世帯構成	ひとり暮らし	146	16.4	37.0	15.8	17.8	2.7	10.3
	核家族世帯	478	15.5	38.7	19.0	12.1	4.6	10.0
	三世代世帯	62	16.1	35.5	19.4	14.5	4.8	9.7
	その他の世帯	42	4.8	14.3	14.3	19.0	19.0	28.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	16.6	37.9	14.8	12.4	5.9	12.4
	障害者手帳所持者がいる	103	12.6	21.4	22.3	16.5	8.7	18.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	23.1	38.5	30.8	7.7	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	20.9	23.3	23.3	7.0	4.7	20.9
	あてはまらない	125	14.4	43.2	19.2	12.8	4.0	6.4
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	8.3	29.2	20.8	20.8	8.3	12.5
	40～59歳	155	12.9	38.7	21.3	15.5	5.8	5.8
	60歳代	99	19.2	25.3	27.3	15.2	3.0	10.1
	70歳代	116	13.8	37.9	19.8	14.7	4.3	9.5
	80歳以上	73	12.3	38.4	12.3	5.5	1.4	30.1
	わからない	41	17.1	31.7	19.5	14.6	9.8	7.3
生活困窮	ゆとりがある	42	19.0	38.1	14.3	9.5	7.1	11.9
	まあまあゆとりがある	302	17.9	41.1	14.6	10.9	6.0	9.6
	やや苦しい	291	12.0	33.0	24.7	15.1	4.8	10.3
	不自由が多く、生活が苦しい	58	12.1	27.6	22.4	27.6	3.4	6.9
サービス	利用している	240	9.2	34.6	21.7	17.9	4.6	12.1
	利用していない	418	19.4	40.7	17.0	11.2	5.5	6.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	8.5	36.6	21.1	18.3	4.2	11.3
	視覚障害がある	29	24.1	37.9	3.4	17.2	10.3	6.9
	聴覚障害がある	44	20.5	38.6	15.9	2.3	4.5	18.2

(%)

⑦ 生活情報の入手状況（趣味や娯楽）

問　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。　（○はそれぞれに 1 つずつ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	35	35	38	37	36	37

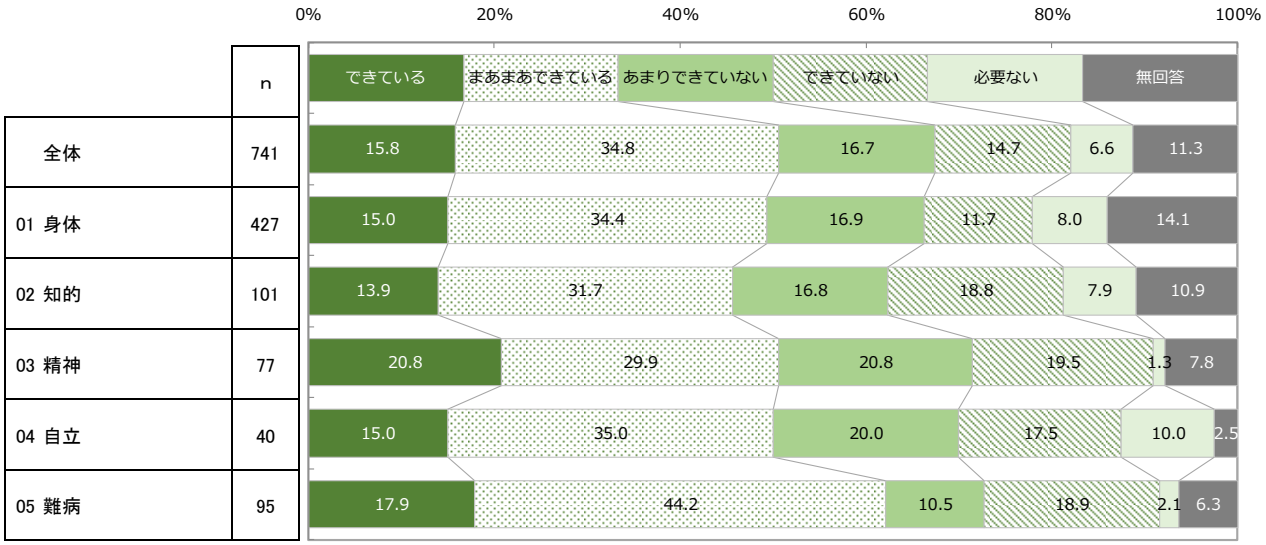
全体でみると、「まあまあできている」が 34.8%と最も高く、次いで「あまりできていない」が 16.7%、「できている」が 15.8%となっている。

障害種別でみると、「できている」「まあまあできている」の合計は精神・自立・難病で半数を上回っており、身体で 49.4%、知的でも 45.6%となっている。

属性別でみると、生活困窮状況別では、生活が苦しくなるほど「あまりできていない」「できていない」が高くなる傾向がある。

特徴的な状態別では、『聴覚障害がある』では「できている」「まあまあできている」の合計が 61.4%と高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体	741	15.8	34.8	16.7	14.7	6.6	11.3
01 身体	427	15.0	34.4	16.9	11.7	8.0	14.1
02 知的	101	13.9	31.7	16.8	18.8	7.9	10.9
03 精神	77	20.8	29.9	20.8	19.5	1.3	7.8
04 自立	40	15.0	35.0	20.0	17.5	10.0	2.5
05 難病	95	17.9	44.2	10.5	18.9	2.1	6.3

【属性別の集計】

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体		741	15.8	34.8	16.7	14.7	6.6	11.3 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	28.0	30.0	14.0	22.0	4.0	2.0
	30～39歳	47	17.0	42.6	6.4	19.1	14.9	0.0
	40～49歳	82	20.7	31.7	19.5	14.6	4.9	8.5
	50～59歳	102	17.6	32.4	18.6	14.7	5.9	10.8
	60～64歳	37	8.1	43.2	21.6	18.9	2.7	5.4
	65～69歳	77	20.8	24.7	19.5	14.3	7.8	13.0
	70歳以上	330	11.5	37.9	15.5	13.0	7.0	15.2
世帯構成	ひとり暮らし	146	17.1	36.3	15.8	15.8	4.1	11.0
	核家族世帯	478	16.3	36.0	16.5	14.9	6.9	9.4
	三世代世帯	62	16.1	35.5	17.7	11.3	6.5	12.9
	その他の世帯	42	4.8	19.0	16.7	19.0	14.3	26.2
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	14.5	36.2	15.5	13.8	8.3	11.7
	障害者手帳所持者がいる	103	12.6	27.2	19.4	12.6	9.7	18.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	30.8	46.2	15.4	7.7	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	7.0	34.9	16.3	9.3	14.0	18.6
	あてはまらない	125	20.0	35.2	16.0	14.4	6.4	8.0
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	12.5	29.2	8.3	33.3	4.2	12.5
	40～59歳	155	14.8	41.9	16.1	12.9	6.5	7.7
	60歳代	99	15.2	28.3	21.2	20.2	5.1	10.1
	70歳代	116	12.1	37.1	19.8	13.8	9.5	7.8
	80歳以上	73	16.4	32.9	16.4	5.5	2.7	26.0
	わからない	41	9.8	29.3	24.4	19.5	7.3	9.8
生活困窮	ゆとりがある	42	35.7	35.7	4.8	7.1	9.5	7.1
	まあまあゆとりがある	302	17.5	39.7	12.9	11.3	7.9	10.6
	やや苦しい	291	12.0	32.6	21.0	17.9	6.2	10.3
	不自由が多く、生活が苦しい	58	8.6	22.4	31.0	27.6	1.7	8.6
サービス	利用している	240	12.1	36.7	19.2	15.8	5.4	10.8
	利用していない	418	19.1	36.8	15.6	13.2	7.9	7.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	8.5	39.4	18.3	18.3	7.0	8.5
	視覚障害がある	29	20.7	31.0	24.1	10.3	10.3	3.4
	聴覚障害がある	44	18.2	43.2	15.9	2.3	6.8	13.6

⑧ 生活情報の入手状況（災害や避難）

問　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。　（○はそれぞれに 1 つずつ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	35	35	38	37	36	37

全体でみると、「あまりできていない」が 27.4%と最も高く、次いで「まあまあできている」が 26.7%、「できていない」が 22.4%となっている。

障害種別でみると、「できている」「まあまあできている」の合計が半数を上回っている障害はなく、身体以外の種別で「できていない」が約３割となっている。特に、知的では「できていない」「あまりできていない」の合計が 61.4%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『18～29 歳』で「できていない」の割合が高く３割を上回っている。

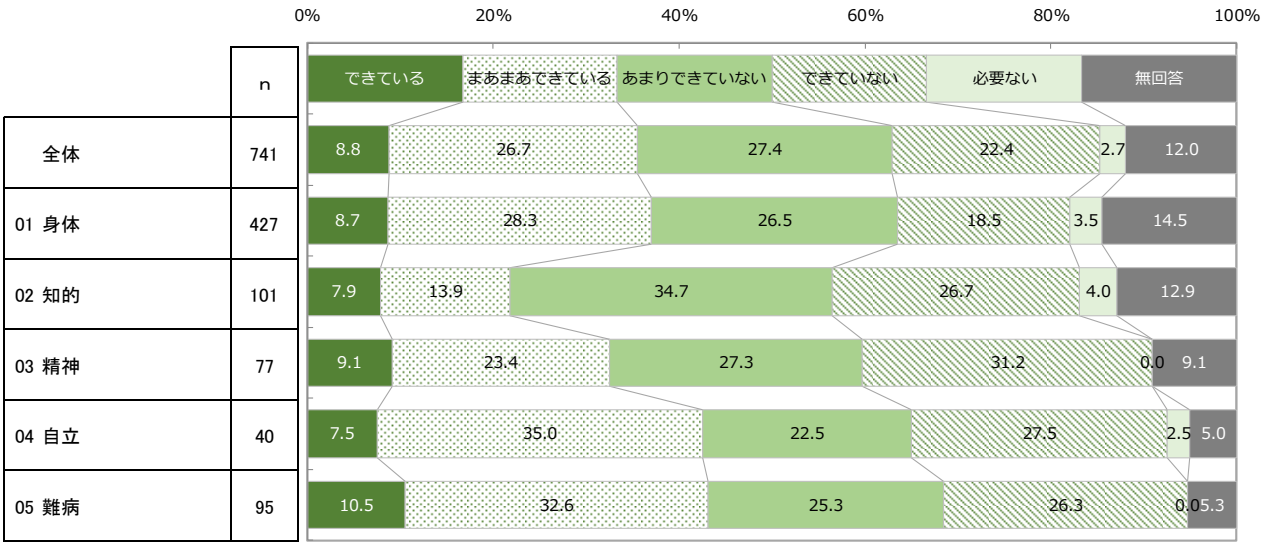
世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「できていない」が 28.8%となっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、「できていない」が 37.9%となっている。

サービス利用別では、『利用している』は『利用していない』に比べて「できていない」が高く、26.7%となっている。

特徴的な状態別では、『医療的ケアを受けている』では「できていない」が 28.2%と全体を上回っている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体		741	8.8	26.7	27.4	22.4	2.7	12.0 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	16.0	20.0	28.0	32.0	2.0	2.0
	30～39歳	47	6.4	27.7	31.9	27.7	6.4	0.0
	40～49歳	82	12.2	20.7	28.0	25.6	1.2	12.2
	50～59歳	102	5.9	28.4	32.4	20.6	2.9	9.8
	60～64歳	37	8.1	35.1	21.6	27.0	2.7	5.4
	65～69歳	77	14.3	23.4	20.8	23.4	3.9	14.3
	70歳以上	330	6.7	28.8	27.0	19.4	2.4	15.8
世帯構成	ひとり暮らし	146	9.6	23.3	25.3	28.8	2.1	11.0
	核家族世帯	478	9.4	30.1	27.6	20.5	2.1	10.3
	三世代世帯	62	6.5	22.6	32.3	22.6	3.2	12.9
	その他の世帯	42	2.4	9.5	19.0	26.2	11.9	31.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	9.3	27.9	25.9	19.0	4.5	13.4
	障害者手帳所持者がいる	103	7.8	20.4	29.1	17.5	5.8	19.4
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	15.4	38.5	38.5	7.7	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	7.0	20.9	27.9	18.6	4.7	20.9
	あてはまらない	125	8.8	32.0	26.4	25.6	0.0	7.2
介助者の年齢	19歳以下	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	4.2	12.5	33.3	37.5	0.0	12.5
	40～59歳	155	7.1	27.1	34.2	21.9	2.6	7.1
	60歳代	99	12.1	26.3	23.2	24.2	4.0	10.1
	70歳代	116	6.9	28.4	31.9	21.6	1.7	9.5
	80歳以上	73	5.5	28.8	20.5	13.7	1.4	30.1
	わからない	41	14.6	12.2	29.3	24.4	4.9	14.6
生活困窮	ゆとりがある	42	11.9	33.3	16.7	21.4	2.4	14.3
	まあまあゆとりがある	302	9.3	29.8	27.5	19.5	3.3	10.6
	やや苦しい	291	8.9	24.1	29.6	24.4	2.7	10.3
	不自由が多く、生活が苦しい	58	5.2	15.5	31.0	37.9	1.7	8.6
サービス	利用している	240	7.5	21.3	30.8	26.7	2.1	11.7
	利用していない	418	9.8	33.0	26.8	19.4	3.3	7.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	4.2	22.5	31.0	28.2	2.8	11.3
	視覚障害がある	29	13.8	24.1	34.5	17.2	3.4	6.9
	聴覚障害がある	44	9.1	36.4	22.7	11.4	2.3	18.2

⑨ 福祉サービス情報の入手先

問　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	36	36	39	38	37	38

全体でみると、「市の広報誌」が 52.4%と最も高く、次いで「障害者のしおり」が 24.8%、「テレビ・ラジオ・新聞のニュース」が 23.8%となっている。

障害種別でみると、身体・自立・難病は「市の広報誌」の割合が高く、身体では 57.6%、自立では 47.5%、難病では 65.3%の割合となっている。知的では「障害福祉施設」が 39.6%、「家族や親戚」が 32.7%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『18～29 歳』は情報の入手先として「障害者団体」「職場や学校」「障害福祉施設」「家族や親せき」の割合が高くなっている。「市の広報紙」は高齢になるにつれて割合が高くなっている。一方で「市のホームページや SNS」は『30～64 歳』で高くなっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「市の広報紙」に次いで「テレビ・ラジオ・新聞のニュース」が高くなっており、一方で「家族や親戚」は 4.8%と低くなっている。

サービス利用別では、『利用している』は『利用していない』に比べて「障害福祉施設」や「家族や親戚」の割合が高くなっている。

特徴的な状態別では、『医療的ケアを受けている』『視覚障害がある』では「市の広報誌」の割合が低くなっており、一方で、『医療的ケアを受けている』では「病院や診療所」、『視覚障害がある』では「家族や親戚」が高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	障害者のしおり（市が作成した冊子）	市の広報紙	市のホームページやSNS	都の広報紙やホームページ	その他の広報紙やインターネット、SNS	テレビ・ラジオ・新聞のニュース	障害者団体	職場や学校	障害福祉施設	病院や診療所	図書館の障害者向けサービス	民生委員・児童委員	自治会や町内会の回覧板	市内にある掲示板	家族や親戚	友人や知人	その他	特にない	無回答
全体		741	24.8	52.4	11.1	12.8	5.9	23.8	5.5	2.6	11.9	17.3	0.4	1.1	2.7	2.0	18.9	11.7	4.9	11.3	4.6 (%)
障害種別	身体	427	29.5	57.6	11.2	15.5	5.4	29.3	4.9	0.2	5.9	17.6	0.7	1.4	3.5	1.9	17.8	12.6	4.2	11.0	4.4
	知的	101	27.7	34.7	6.9	3.0	1.0	9.9	12.9	10.9	39.6	7.9	0.0	0.0	1.0	0.0	32.7	15.8	3.0	13.9	6.9
	精神	77	18.2	33.8	11.7	9.1	7.8	16.9	3.9	5.2	15.6	23.4	0.0	1.3	0.0	1.3	16.9	6.5	10.4	11.7	3.9
	自立	40	10.0	47.5	12.5	12.5	10.0	5.0	0.0	0.0	10.0	22.5	0.0	0.0	0.0	5.0	12.5	5.0	5.0	17.5	5.0
	難病	95	12.6	65.3	13.7	14.7	10.5	27.4	4.2	3.2	6.3	18.9	0.0	1.1	4.2	4.2	13.7	9.5	5.3	7.4	3.2

【属性別の集計】

		調査数	障害者のしおり（市が作成した冊子）	市の広報紙	市のホームページやSNS	都の広報紙やホームページ	その他の広報紙やインターネット、SNS	テレビ・ラジオ・新聞のニュース	障害者団体	職場や学校	障害福祉施設	病院や診療所	図書館の障害者向けサービス	民生委員・児童委員	自治会や町内会の回覧板	市内にある掲示板	家族や親戚	友人や知人	その他	特にない	無回答
全体		741	24.8	52.4	11.1	12.8	5.9	23.8	5.5	2.6	11.9	17.3	0.4	1.1	2.7	2.0	18.9	11.7	4.9	11.3	4.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	80.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	32.0	36.0	6.0	4.0	2.0	12.0	12.0	14.0	36.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.0	18.0	6.0	8.0	2.0
	30～39歳	47	19.1	36.2	23.4	6.4	12.8	8.5	0.0	4.3	12.8	21.3	0.0	0.0	0.0	2.1	17.0	6.4	4.3	17.0	0.0
	40～49歳	82	24.4	46.3	23.2	12.2	11.0	14.6	9.8	3.7	24.4	14.6	1.2	0.0	0.0	0.0	22.0	11.0	4.9	13.4	2.4
	50～59歳	102	26.5	46.1	17.6	11.8	6.9	14.7	6.9	1.0	7.8	16.7	0.0	1.0	0.0	1.0	5.9	3.9	6.9	20.6	4.9
	60～64歳	37	40.5	43.2	16.2	13.5	10.8	8.1	8.1	5.4	10.8	18.9	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	5.4	0.0	8.1	0.0
	65～69歳	77	22.1	51.9	6.5	11.7	7.8	26.0	3.9	2.6	10.4	19.5	1.3	0.0	2.6	3.9	14.3	10.4	6.5	10.4	7.8
	70歳以上	330	22.1	61.8	5.8	16.1	3.3	34.5	3.9	0.0	6.7	17.3	0.3	2.1	5.2	3.0	19.7	15.5	4.5	7.9	5.5
世帯構成	ひとり暮らし	146	17.1	51.4	10.3	13.0	6.8	28.1	4.8	0.0	6.2	17.8	0.0	1.4	4.8	3.4	4.8	14.4	7.5	9.6	6.2
	核家族世帯	478	28.5	58.2	11.7	13.6	5.4	25.1	6.1	3.1	9.8	18.0	0.6	1.0	2.3	1.7	20.5	12.1	3.8	11.3	4.0
	三世代世帯	62	22.6	40.3	14.5	14.5	11.3	14.5	6.5	3.2	19.4	11.3	0.0	1.6	1.6	1.6	32.3	9.7	6.5	11.3	1.6
	その他の世帯	42	16.7	14.3	2.4	2.4	2.4	9.5	2.4	4.8	47.6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	4.8	7.1	11.9	7.1
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	26.9	57.6	7.6	15.5	5.5	26.9	6.9	2.1	12.4	16.2	1.0	1.4	2.4	1.7	24.1	11.7	3.4	11.7	3.8
	障害者手帳所持者がいる	103	32.0	43.7	8.7	6.8	5.8	18.4	2.9	1.9	20.4	11.7	1.0	0.0	2.9	1.0	24.3	7.8	4.9	11.7	5.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	23.1	53.8	23.1	7.7	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	30.2	48.8	9.3	16.3	9.3	27.9	4.7	0.0	27.9	20.9	2.3	4.7	0.0	0.0	30.2	14.0	0.0	9.3	7.0
	あてはまらない	125	27.2	49.6	20.0	7.2	3.2	18.4	7.2	5.6	10.4	24.8	0.0	0.0	2.4	1.6	17.6	15.2	4.8	9.6	4.8
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	12.5	41.7	12.5	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	4.2	20.8	25.0	4.2
	40～59歳	155	28.4	52.3	14.2	10.3	7.1	19.4	7.1	3.9	15.5	23.9	0.0	2.6	3.2	0.6	25.2	12.3	5.8	7.7	1.9
	60歳代	99	23.2	47.5	8.1	11.1	5.1	20.2	4.0	3.0	12.1	16.2	1.0	0.0	4.0	1.0	27.3	11.1	3.0	11.1	3.0
	70歳代	116	23.3	56.9	7.8	12.1	3.4	26.7	4.3	0.9	12.1	18.1	0.0	0.9	1.7	0.9	22.4	15.5	3.4	8.6	3.4
	80歳以上	73	26.0	65.8	9.6	26.0	4.1	35.6	13.7	1.4	11.0	21.9	1.4	2.7	4.1	1.4	17.8	13.7	1.4	11.0	8.2
	わからない	41	17.1	24.4	4.9	7.3	4.9	19.5	2.4	2.4	14.6	19.5	0.0	2.4	0.0	4.9	14.6	12.2	7.3	19.5	7.3
生活困窮	ゆとりがある	42	23.8	45.2	11.9	11.9	7.1	19.0	9.5	2.4	16.7	16.7	0.0	2.4	4.8	0.0	26.2	14.3	14.3	7.1	2.4
	まあまあゆとりがある	302	25.8	56.0	9.9	14.9	4.6	26.5	4.6	3.0	11.3	17.5	0.7	1.7	2.3	3.0	22.2	14.2	3.0	12.3	4.3
	やや苦しい	291	24.4	50.5	12.0	12.0	6.9	22.0	5.8	2.7	12.4	18.6	0.3	0.3	3.1	1.4	15.1	8.2	4.8	11.0	4.5
	不自由が多く、生活が苦しい	58	20.7	46.6	12.1	5.2	5.2	12.1	6.9	1.7	13.8	12.1	0.0	1.7	3.4	3.4	10.3	13.8	10.3	17.2	5.2
サービス	利用している	240	28.3	45.8	8.8	9.2	4.2	21.3	10.4	5.8	27.1	19.2	0.8	1.7	2.5	1.7	27.5	12.5	8.3	8.8	4.2
	利用していない	418	23.2	58.4	12.4	15.6	6.7	26.6	3.3	1.2	4.1	17.0	0.2	0.7	3.1	2.2	14.8	12.2	3.1	12.7	3.1
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	19.7	38.0	9.9	7.0	8.5	31.0	5.6	1.4	12.7	29.6	0.0	2.8	4.2	2.8	16.9	4.2	16.9	11.3	4.2
	視覚障害がある	29	24.1	27.6	10.3	6.9	6.9	27.6	6.9	3.4	6.9	17.2	3.4	0.0	0.0	0.0	31.0	6.9	3.4	10.3	0.0
	聴覚障害がある	44	34.1	68.2	2.3	11.4	2.3	34.1	0.0	0.0	9.1	13.6	0.0	0.0	4.5	4.5	25.0	6.8	0.0	11.4	4.5

⑩ 情報取得やコミュニケーションをとる際に困っていること

問　普段の生活の中で情報を取得したりそれらのコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	37	37	40	39	38	39

全体でみると、「特にない」が 45.9%と最も高く、次いで「周囲との意思疎通がとりづらい」が 19.8%、「緊急時や災害時の情報が入りにくい」が 16.9%となっている。

障害種別でみると、身体・自立・難病は「特にない」の割合が半数を超えている。一方で、知的では「周囲との意思疎通がとりづらい」が 60.4%、「困っていることを周りに伝えられない」が 57.4%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高齢になるほど、「周囲との意思疎通が取りづらい」「困っていることを周りに伝えられない」の割合は低くなる傾向がある。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「特にない」が 22.4%と低く、「周囲との意思疎通がとりづらい」「困っていることを周りに伝えられない」の割合が 3 割以上と高くなっている。

サービス利用別では、『利用している』では「特にない」の割合が 32.9%と低く、「周囲との意思疎通がとりづらい」「困っていることを周りに伝えられない」の割合が 3 割程と高くなっている。

特徴的な状態別では、『視覚障害がある』で「公的な場での音声案内が不足している」は 17.2%となっており、『聴覚障害がある』で「手話や要約筆記できる人が少ない」は 11.4%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	点字、音声の出版物が少ない	公的な場での音声案内が不足している	手話や要約筆記ができる人が少ない	公共施設の案内表示がわからない	インターネットが利用しにくい	周囲との意思疎通がとりづらい	困っていることを周りに伝えられない	緊急時や災害時の情報が入りにくい	郵便物の重要度がわからない	その他	特にない	無回答
全体		741	0.3	2.7	1.2	5.9	5.7	19.8	16.2	16.9	9.2	3.1	45.9	14.6
障害種別	身体	427	0.2	3.7	1.4	4.9	5.4	9.6	5.9	15.2	4.2	2.8	52.0	17.3
	知的	101	0.0	1.0	0.0	10.9	5.9	60.4	57.4	20.8	28.7	2.0	18.8	9.9
	精神	77	1.3	1.3	2.6	7.8	5.2	24.7	26.0	16.9	14.3	5.2	36.4	11.7
	自立	40	0.0	0.0	0.0	10.0	7.5	27.5	15.0	12.5	7.5	7.5	55.0	7.5
	難病	95	0.0	2.1	1.1	2.1	6.3	15.8	11.6	22.1	7.4	2.1	51.6	11.6

(%)

【属性別の集計】

		調査数	点字、音声の出版物が少ない	公的な場での音声案内が不足している	手話や要約筆記ができる人が少ない	公共施設の案内表示がわかりにくい	インターネットが利用しにくい	周囲との意思疎通がとりづらい	困っていることを周りに伝えられない	緊急時や災害時の情報が入りにくい	郵便物の重要度がわからない	その他	特にない	無回答
全体		741	0.3	2.7	1.2	5.9	5.7	19.8	16.2	16.9	9.2	3.1	45.9	14.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	0.0	2.0	0.0	12.0	6.0	52.0	46.0	22.0	24.0	2.0	26.0	6.0
	30～39歳	47	2.1	4.3	2.1	10.6	10.6	29.8	34.0	14.9	14.9	2.1	46.8	4.3
	40～49歳	82	0.0	0.0	1.2	8.5	2.4	28.0	23.2	19.5	15.9	3.7	43.9	13.4
	50～59歳	102	0.0	0.0	2.0	2.9	3.9	22.5	22.5	12.7	7.8	2.0	50.0	9.8
	60～64歳	37	0.0	8.1	0.0	10.8	16.2	21.6	18.9	18.9	13.5	2.7	43.2	5.4
	65～69歳	77	1.3	1.3	2.6	3.9	3.9	7.8	5.2	13.0	5.2	5.2	51.9	18.2
	70歳以上	330	0.0	3.9	0.9	4.8	5.8	13.3	7.6	18.2	5.2	2.7	47.0	18.8
世帯構成	ひとり暮らし	146	0.7	3.4	1.4	4.1	6.8	11.6	11.0	19.2	4.1	4.8	43.8	19.9
	核家族世帯	478	0.2	2.5	1.5	7.1	5.0	21.1	16.3	16.1	9.6	2.7	49.0	11.7
	三世代世帯	62	0.0	4.8	0.0	3.2	8.1	32.3	21.0	17.7	16.1	1.6	38.7	11.3
	その他の世帯	42	0.0	0.0	0.0	4.8	7.1	19.0	28.6	19.0	11.9	2.4	28.6	28.6
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	0.3	3.4	1.0	5.5	6.6	20.7	15.5	17.9	11.0	3.1	47.9	13.1
	障害者手帳所持者がいる	103	0.0	2.9	3.9	8.7	5.8	23.3	22.3	18.4	9.7	1.0	36.9	17.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	15.4	23.1	15.4	15.4	0.0	61.5	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	0.0	0.0	0.0	4.7	9.3	16.3	11.6	18.6	11.6	2.3	39.5	23.3
	あてはまらない	125	0.0	0.8	0.0	10.4	7.2	22.4	18.4	16.8	11.2	2.4	46.4	9.6
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	20～39歳	24	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	12.5	16.7	25.0	4.2	4.2	41.7	20.8
	40～59歳	155	0.0	3.2	0.6	7.7	5.8	31.0	25.8	16.1	14.2	3.2	37.4	10.3
	60歳代	99	0.0	3.0	2.0	9.1	6.1	21.2	18.2	20.2	14.1	2.0	43.4	12.1
	70歳代	116	0.0	1.7	0.9	7.8	6.0	19.8	15.5	16.4	6.9	2.6	49.1	13.8
	80歳以上	73	0.0	4.1	1.4	4.1	6.8	16.4	12.3	21.9	8.2	1.4	37.0	23.3
	わからない	41	0.0	0.0	0.0	4.9	2.4	26.8	22.0	12.2	4.9	4.9	39.0	22.0
生活困窮	ゆとりがある	42	0.0	2.4	7.1	4.8	4.8	11.9	14.3	16.7	0.0	0.0	61.9	4.8
	まあまあゆとりがある	302	0.3	1.7	0.7	3.6	6.0	18.2	11.6	15.9	7.9	2.6	51.0	13.9
	やや苦しい	291	0.0	3.1	0.3	6.9	5.2	20.3	17.5	17.5	8.2	2.7	43.6	15.5
	不自由が多く、生活が苦しい	58	1.7	6.9	3.4	13.8	6.9	34.5	39.7	27.6	24.1	10.3	22.4	10.3
サービス	利用している	240	0.0	3.3	0.0	9.6	7.1	35.4	29.2	20.8	15.8	2.1	32.9	13.3
	利用していない	418	0.5	2.2	1.9	3.3	5.7	11.5	8.6	14.8	5.7	3.3	57.2	11.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	0.0	4.2	0.0	8.5	7.0	25.4	15.5	25.4	8.5	4.2	36.6	15.5
	視覚障害がある	29	3.4	17.2	0.0	10.3	13.8	6.9	10.3	20.7	13.8	3.4	31.0	13.8
	聴覚障害がある	44	0.0	4.5	11.4	2.3	2.3	25.0	6.8	15.9	4.5	2.3	38.6	15.9

⑪ 対応しやすいコミュニケーション手段

問　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。
（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	38	38	41	40	39	40

全体でみると、「対面での会話」が 65.9%と最も高く、次いで「電話やテレビ電話を使った会話」が 27.8%、「インターネットや携帯などの電子メール」が 25.5%となっている。

障害種別でみると、すべての種別で「対面での会話」の割合が高くなっている。また、精神・自立・難病では「インターネットや携帯などの電子メール」が３割を上回っており、知的では「家族や介助者を介した伝言」が 50.5%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、若い世代ほど「インターネットや携帯などの電子メール」が高い傾向にある。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるほど、「家族や介助者を介した伝言」が高くなる傾向がある。

サービス利用別では、『利用している』は『利用していない』に比べて「家族や介助者を介した伝言」が高くなっており、一方で「インターネットや携帯などの電子メール」は『利用していない』の方が高くなっている。

特徴的な状態別では、『聴覚障害がある』では「手話」は 13.6%となっており、「ペンと紙を使った筆談」（27.3%）に比べて低くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	対面での会話	電話やテレビ電話を使った会話	ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	インターネットや携帯などの電子メール	SNS	点字	手話	家族や介助者を介した伝言	その他	コミュニケーションをとる手段がない	無回答
全体		741	65.9	27.8	9.4	25.5	7.3	0.0	1.2	20.0	2.0	2.7	10.0 (%)
障害種別	身体	427	68.9	31.6	10.8	22.2	4.4	0.0	1.6	15.7	1.9	2.8	10.8
	知的	101	52.5	13.9	10.9	16.8	4.0	0.0	0.0	50.5	3.0	4.0	7.9
	精神	77	55.8	23.4	7.8	35.1	16.9	0.0	1.3	15.6	1.3	2.6	10.4
	自立	40	72.5	22.5	0.0	40.0	22.5	0.0	0.0	10.0	2.5	2.5	2.5
	難病	95	71.6	31.6	7.4	34.7	8.4	0.0	1.1	14.7	2.1	1.1	11.6

【属性別の集計】

		調査数	対面での会話	電話やテレビ電話を使った会話	ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	インターネットや携帯などの電子メール	SNS	点字	手話	家族や介助者を介した伝言	その他	コミュニケーションをとる手段がない	無回答
全体		741	65.9	27.8	9.4	25.5	7.3	0.0	1.2	20.0	2.0	2.7	10.0
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	66.0	28.0	4.0	38.0	18.0	0.0	0.0	40.0	0.0	4.0	2.0
	30～39歳	47	70.2	21.3	10.6	31.9	12.8	0.0	0.0	34.0	2.1	0.0	2.1
	40～49歳	82	65.9	25.6	13.4	43.9	19.5	0.0	3.7	25.6	1.2	1.2	7.3
	50～59歳	102	62.7	27.5	8.8	38.2	8.8	0.0	1.0	6.9	2.9	5.9	6.9
	60～64歳	37	81.1	24.3	10.8	29.7	5.4	0.0	0.0	16.2	2.7	0.0	8.1
	65～69歳	77	61.0	29.9	6.5	22.1	6.5	0.0	3.9	9.1	1.3	2.6	15.6
	70歳以上	330	66.1	30.3	10.0	14.8	1.8	0.0	0.6	20.0	1.8	2.7	13.0
世帯構成	ひとり暮らし	146	69.2	34.2	9.6	24.7	10.3	0.0	2.1	4.8	2.1	4.1	10.3
	核家族世帯	478	68.0	29.5	9.8	28.7	6.9	0.0	1.3	20.5	1.7	2.1	9.4
	三世代世帯	62	59.7	12.9	9.7	17.7	9.7	0.0	0.0	37.1	4.8	4.8	6.5
	その他の世帯	42	47.6	11.9	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	42.9	2.4	2.4	16.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	68.3	26.9	11.4	20.7	4.1	0.0	0.3	25.2	2.1	1.7	10.3
	障害者手帳所持者がいる	103	57.3	18.4	12.6	24.3	4.9	0.0	4.9	27.2	1.9	0.0	11.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	76.9	30.8	7.7	46.2	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	69.8	30.2	11.6	30.2	7.0	0.0	0.0	25.6	2.3	2.3	14.0
	あてはまらない	125	68.8	30.4	7.2	32.8	10.4	0.0	0.0	21.6	1.6	2.4	7.2
介助者の年齢	19歳以下	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	45.8	20.8	4.2	37.5	12.5	0.0	0.0	29.2	0.0	12.5	8.3
	40～59歳	155	63.9	28.4	10.3	29.0	9.7	0.0	0.6	29.7	1.9	1.9	5.8
	60歳代	99	65.7	27.3	10.1	23.2	3.0	0.0	2.0	25.3	1.0	0.0	9.1
	70歳代	116	67.2	28.4	6.9	21.6	3.4	0.0	0.9	22.4	4.3	0.0	11.2
	80歳以上	73	60.3	37.0	6.8	17.8	2.7	0.0	0.0	20.5	2.7	4.1	15.1
	わからない	41	68.3	19.5	7.3	9.8	4.9	0.0	2.4	19.5	4.9	0.0	9.8
生活困窮	ゆとりがある	42	81.0	28.6	14.3	26.2	9.5	0.0	4.8	11.9	0.0	4.8	2.4
	まあまあゆとりがある	302	71.2	31.1	8.9	25.2	5.3	0.0	1.7	19.2	2.0	3.3	9.3
	やや苦しい	291	61.2	25.4	8.6	26.5	8.2	0.0	0.3	21.6	1.4	1.0	11.0
	不自由が多く、生活が苦しい	58	56.9	22.4	10.3	24.1	12.1	0.0	0.0	24.1	5.2	6.9	5.2
サービス	利用している	240	66.7	22.9	8.3	18.8	6.7	0.0	0.0	38.3	2.1	2.1	6.3
	利用していない	418	69.9	31.3	11.0	30.6	8.1	0.0	1.9	10.5	1.4	3.1	7.4
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	63.4	28.2	8.5	16.9	7.0	0.0	0.0	32.4	4.2	2.8	8.5
	視覚障害がある	29	79.3	37.9	3.4	20.7	6.9	0.0	0.0	24.1	0.0	0.0	10.3
	聴覚障害がある	44	54.5	11.4	27.3	18.2	2.3	0.0	13.6	27.3	6.8	0.0	9.1

(%)

6.　福祉サービスについて

①　障害者総合支援センター「フレンドリー」の認知

問　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。
（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	39	39	42	41	40	41

全体でみると、「知らない」が 56.1%と最も高く、次いで「知っているが利用したことがない」が 25.5%、「知っている／利用したことがある」が 15.0%となっている。

障害種別でみると、知的・精神で『知っている（利用したことがないも含む）』が半数を上回っており、知的で 69.3%、精神で 59.8%となっている。一方で、身体・自立・難病では「知らない」が半数を上回っている。

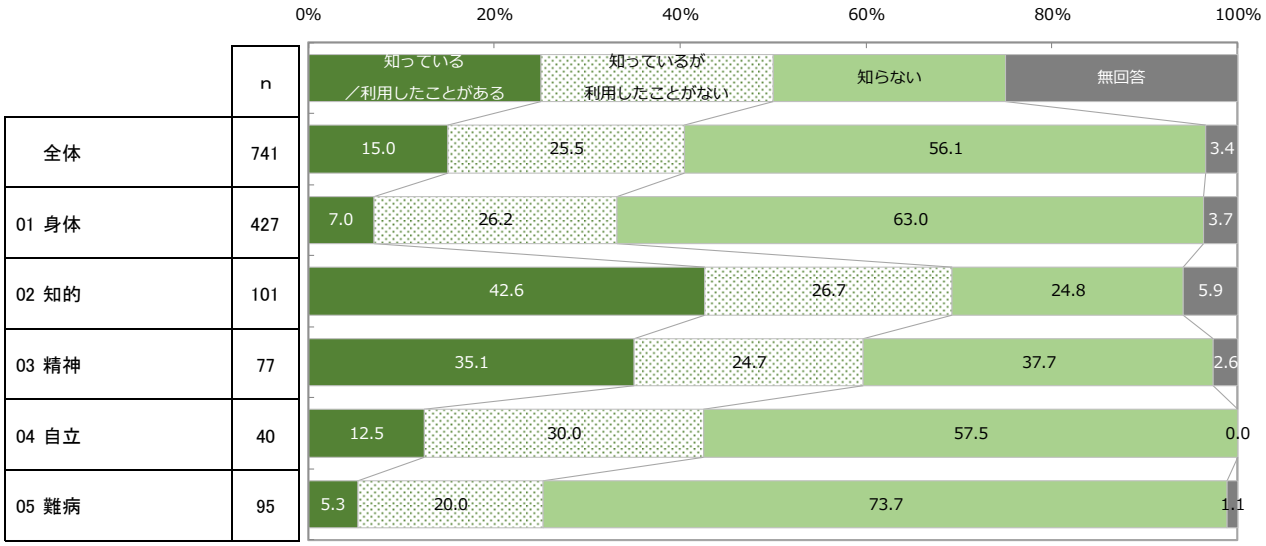
属性別でみると、本人の年齢別では、『18～29 歳』では「知っている」が高い傾向にあるが、高齢になるにつれて「知らない」が増加する傾向がある。

同居人の特徴別では、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』世帯では「知っているが利用したことがない」が 46.2%と高いが「知っている／利用したことがある」は 0.0%となっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「知っている／利用したことがある」の割合が 25.9%と高くなっている。

特徴的な状態別では、『視覚障害がある』では「知らない」が 79.3%と高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことがない	知らない	無回答
全体		741	15.0	25.5	56.1	3.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	60.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	58.0	18.0	22.0	2.0
	30～39歳	47	23.4	27.7	48.9	0.0
	40～49歳	82	19.5	32.9	45.1	2.4
	50～59歳	102	18.6	17.6	59.8	3.9
	60～64歳	37	13.5	18.9	67.6	0.0
	65～69歳	77	7.8	23.4	63.6	5.2
	70歳以上	330	6.7	27.9	61.5	3.9
世帯構成	ひとり暮らし	146	8.9	21.2	67.1	2.7
	核家族世帯	478	16.3	27.4	53.6	2.7
	三世代世帯	62	19.4	27.4	48.4	4.8
	その他の世帯	42	11.9	19.0	61.9	7.1
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	13.4	29.3	52.8	4.5
	障害者手帳所持者がいる	103	23.3	29.1	43.7	3.9
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	46.2	53.8	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	25.6	23.3	41.9	9.3
	あてはまらない	125	19.2	21.6	56.8	2.4
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	4.2	12.5	83.3	0.0
	40～59歳	155	20.0	23.2	55.5	1.3
	60歳代	99	16.2	23.2	57.6	3.0
	70歳代	116	12.1	31.0	52.6	4.3
	80歳以上	73	12.3	28.8	53.4	5.5
	わからない	41	7.3	19.5	68.3	4.9
生活困窮	ゆとりがある	42	19.0	26.2	54.8	0.0
	まあまあゆとりがある	302	13.2	27.2	56.0	3.6
	やや苦しい	291	14.1	26.1	57.0	2.7
	不自由が多く、生活が苦しい	58	25.9	13.8	58.6	1.7
サービス	利用している	240	26.7	29.2	39.6	4.6
	利用していない	418	8.1	25.4	65.6	1.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	8.5	32.4	56.3	2.8
	視覚障害がある	29	6.9	6.9	79.3	6.9
	聴覚障害がある	44	6.8	29.5	61.4	2.3

② 西東京市内の福祉施設の認知（相談支援センター「えぽっく」）

問　あなたは、西東京市内にある福祉施設について知っていますか。
（○はそれぞれに 1 つずつ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	40	40	43	42	41	42

全体でみると、「知らない」が 69.4%と最も高く、次いで「知っているが利用したことがない」が 14.7%、「知っている／利用したことがある」が 5.5%となっている。

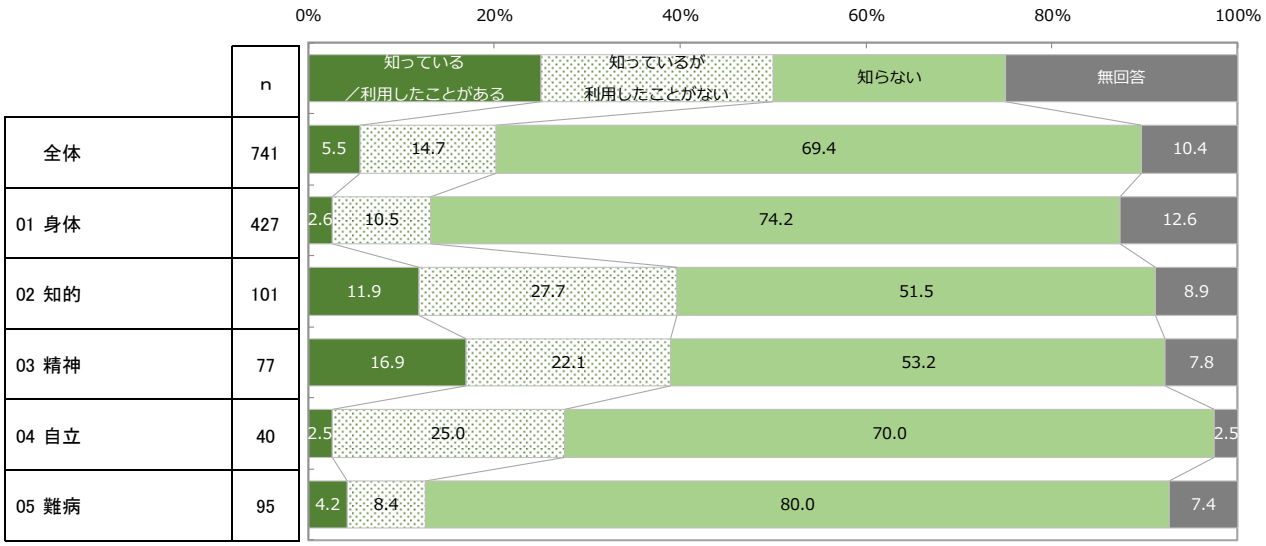
障害種別でみると、全ての障害で「知らない」が半数を上回っており、特に身体・自立・難病では 7 割以上となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、「知っている／利用したことがある」は高齢になるにつれて低くなる傾向がある。

介助者の年齢別では、介助者が高齢になるにつれて、「知らない」の割合は低くなる傾向があるが、『80 歳以上』でも 57.5%が「知らない」となっている。

サービス利用別では、『利用している』場合でも「知らない」は 60.0%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全体		741	5.5	14.7	69.4	10.4
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	80.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	18.0	28.0	50.0	4.0
	30～39歳	47	10.6	14.9	74.5	0.0
	40～49歳	82	9.8	25.6	56.1	8.5
	50～59歳	102	8.8	12.7	73.5	4.9
	60～64歳	37	5.4	13.5	78.4	2.7
	65～69歳	77	1.3	14.3	74.0	10.4
	70歳以上	330	1.8	10.0	73.0	15.2
世帯構成	ひとり暮らし	146	2.1	13.7	73.3	11.0
	核家族世帯	478	6.3	15.9	68.0	9.8
	三世代世帯	62	4.8	16.1	71.0	8.1
	その他の世帯	42	7.1	2.4	78.6	11.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	6.6	14.5	67.6	11.4
	障害者手帳所持者がいる	103	12.6	18.4	54.4	14.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	0.0	100.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	14.0	9.3	58.1	18.6
	あてはまらない	125	6.4	11.2	76.0	6.4
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～39歳	24	4.2	0.0	87.5	8.3
	40～59歳	155	5.8	17.4	71.6	5.2
	60歳代	99	4.0	14.1	74.7	7.1
	70歳代	116	5.2	14.7	65.5	14.7
	80歳以上	73	6.8	13.7	57.5	21.9
	わからない	41	2.4	14.6	73.2	9.8
生活困窮	ゆとりがある	42	7.1	16.7	73.8	2.4
	まあまあゆとりがある	302	5.3	14.9	70.2	9.6
	やや苦しい	291	5.2	14.8	69.1	11.0
	不自由が多く、生活が苦しい	58	6.9	19.0	70.7	3.4
サービス	利用している	240	10.4	19.6	60.0	10.0
	利用していない	418	3.1	12.9	78.0	6.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	2.8	12.7	77.5	7.0
	視覚障害がある	29	6.9	3.4	79.3	10.3
	聴覚障害がある	44	4.5	4.5	75.0	15.9

(%)

③ 西東京市内の福祉施設の認知（障害者就労支援センター「一歩」）

問　あなたは、西東京市内にある福祉施設について知っていますか。
（○はそれぞれに 1 つずつ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	40	40	43	42	41	42

全体でみると、「知らない」が 67.9%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」が 13.5%、「知っている／利用したことがある」が 7.8%となっている。

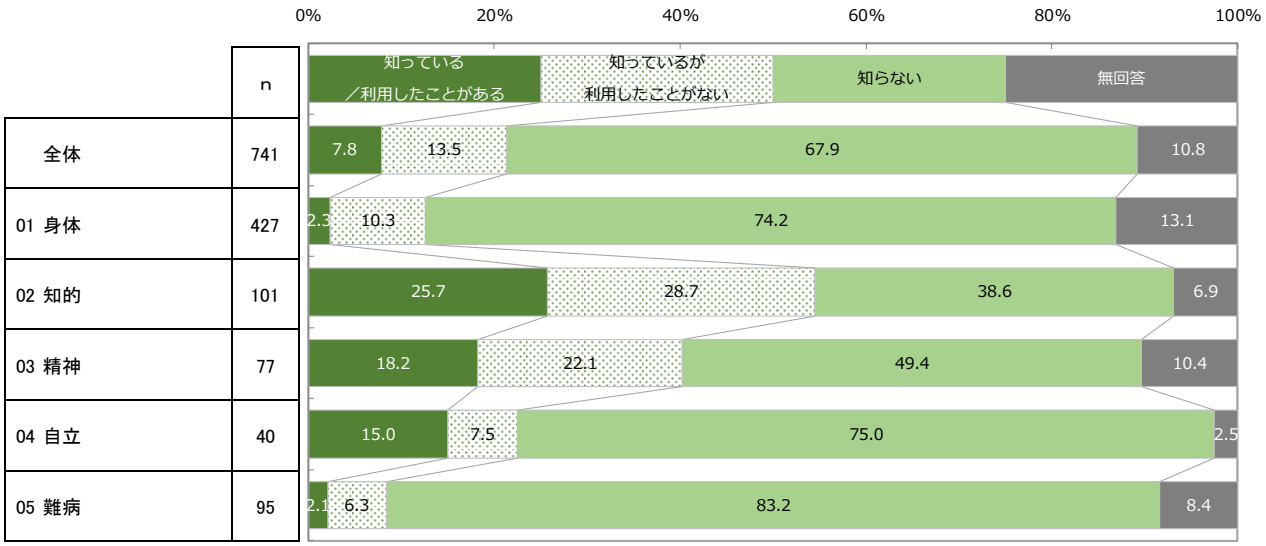
障害種別でみると、知的では『知っている（利用したことがないも含む）』が 54.4%となっているものの、身体・自立・難病では「知らない」が 7 割を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、「知っている／利用したことがある」は『18～29 歳』で 4 割を上回っているが、『30 歳以上』では「知らない」が 6 割を上回っている。

同居人の特徴別では、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』世帯では「知らない」が 100%となっている。

サービス利用別では、『利用している』では『利用していない』に比べて「知らない」が低くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全体		741	7.8	13.5	67.9	10.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	40.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	42.0	22.0	32.0	4.0
	30～39歳	47	17.0	19.1	63.8	0.0
	40～49歳	82	11.0	20.7	61.0	7.3
	50～59歳	102	8.8	13.7	70.6	6.9
	60～64歳	37	10.8	18.9	70.3	0.0
	65～69歳	77	2.6	15.6	72.7	9.1
	70歳以上	330	0.6	8.2	74.8	16.4
世帯構成	ひとり暮らし	146	5.5	10.3	71.2	13.0
	核家族世帯	478	8.4	14.2	67.4	10.0
	三世代世帯	62	9.7	16.1	66.1	8.1
	その他の世帯	42	7.1	9.5	73.8	9.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	7.9	14.1	66.2	11.7
	障害者手帳所持者がいる	103	13.6	19.4	50.5	16.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	0.0	100.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	11.6	9.3	60.5	18.6
	あてはまらない	125	10.4	12.0	70.4	7.2
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～39歳	24	0.0	8.3	83.3	8.3
	40～59歳	155	10.3	13.5	69.7	6.5
	60歳代	99	9.1	14.1	70.7	6.1
	70歳代	116	0.9	15.5	68.1	15.5
	80歳以上	73	4.1	17.8	54.8	23.3
	わからない	41	2.4	9.8	75.6	12.2
生活困窮	ゆとりがある	42	16.7	11.9	69.0	2.4
	まあまあゆとりがある	302	5.3	13.2	71.2	10.3
	やや苦しい	291	8.9	15.5	64.3	11.3
	不自由が多く、生活が苦しい	58	13.8	10.3	72.4	3.4
サービス	利用している	240	15.0	20.4	53.3	11.3
	利用していない	418	3.6	10.3	79.7	6.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	2.8	12.7	76.1	8.5
	視覚障害がある	29	3.4	3.4	79.3	13.8
	聴覚障害がある	44	2.3	13.6	72.7	11.4

④ 西東京市内の福祉施設の認知（地域活動支援センター「ハーモニー」）

問　あなたは、西東京市内にある福祉施設について知っていますか。
（○はそれぞれに 1 つずつ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	40	40	43	42	41	42

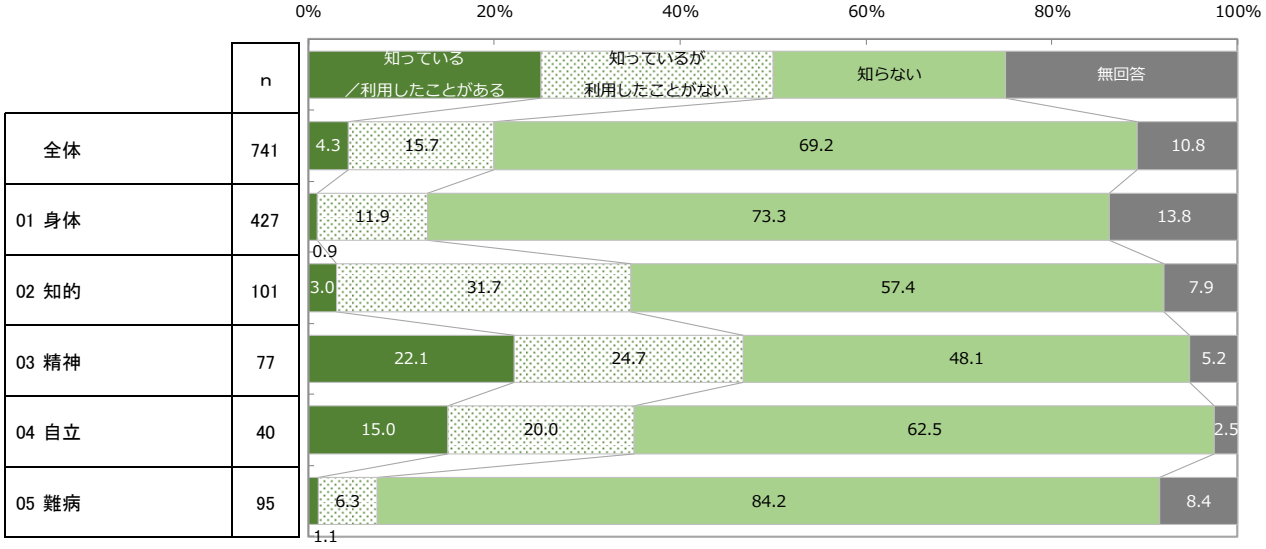
全体でみると、「知らない」が 69.2%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」が 15.7%、「知っている／利用したことがある」が 4.3%となっている。

障害種別でみると、精神を除くすべてで「知らない」が半数を上回っており、精神でも『知っている（利用したことはないも含む）』は 46.8%と半数以下になっている。

属性別でみると、本人の年齢別では『18~19 歳』で「知っているが利用したことはない」が 40.0%となっているものの、『20 歳以上』では 3 割以下に減少している。

サービス利用別では、『利用している』では『利用していない』に比べて「知らない」の割合が低く、「知っているが利用したことはない」が高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全体		741	4.3	15.7	69.2	10.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	40.0	60.0	0.0
	20～29歳	50	4.0	26.0	66.0	4.0
	30～39歳	47	2.1	23.4	74.5	0.0
	40～49歳	82	12.2	24.4	56.1	7.3
	50～59歳	102	6.9	17.6	69.6	5.9
	60～64歳	37	8.1	18.9	70.3	2.7
	65～69歳	77	7.8	11.7	72.7	7.8
	70歳以上	330	0.9	10.6	71.8	16.7
世帯構成	ひとり暮らし	146	7.5	14.4	65.8	12.3
	核家族世帯	478	3.1	16.9	69.5	10.5
	三世代世帯	62	4.8	12.9	75.8	6.5
	その他の世帯	42	4.8	9.5	73.8	11.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	3.4	17.9	65.9	12.8
	障害者手帳所持者がいる	103	3.9	22.3	57.3	16.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	0.0	100.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	7.0	18.6	53.5	20.9
	あてはまらない	125	2.4	12.8	78.4	6.4
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～39歳	24	0.0	8.3	83.3	8.3
	40～59歳	155	3.9	15.5	74.8	5.8
	60歳代	99	5.1	15.2	72.7	7.1
	70歳代	116	3.4	19.8	62.9	13.8
	80歳以上	73	1.4	11.0	58.9	28.8
	わからない	41	9.8	7.3	73.2	9.8
生活困窮	ゆとりがある	42	4.8	14.3	78.6	2.4
	まあまあゆとりがある	302	2.6	16.6	70.5	10.3
	やや苦しい	291	3.8	17.2	67.7	11.3
	不自由が多く、生活が苦しい	58	17.2	15.5	65.5	1.7
サービス	利用している	240	6.3	23.8	59.6	10.4
	利用していない	418	2.9	12.7	78.2	6.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	8.5	16.9	67.6	7.0
	視覚障害がある	29	3.4	3.4	79.3	13.8
	聴覚障害がある	44	0.0	11.4	77.3	11.4

⑤ 西東京市内の福祉施設の認知（保谷障害者福祉センター）

問　あなたは、西東京市内にある福祉施設について知っていますか。
（○はそれぞれに 1 つずつ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	40	40	43	42	41	42

全体でみると、「知らない」が 64.1%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」が 20.0%、「知っている／利用しことがある」が 5.5%となっている。

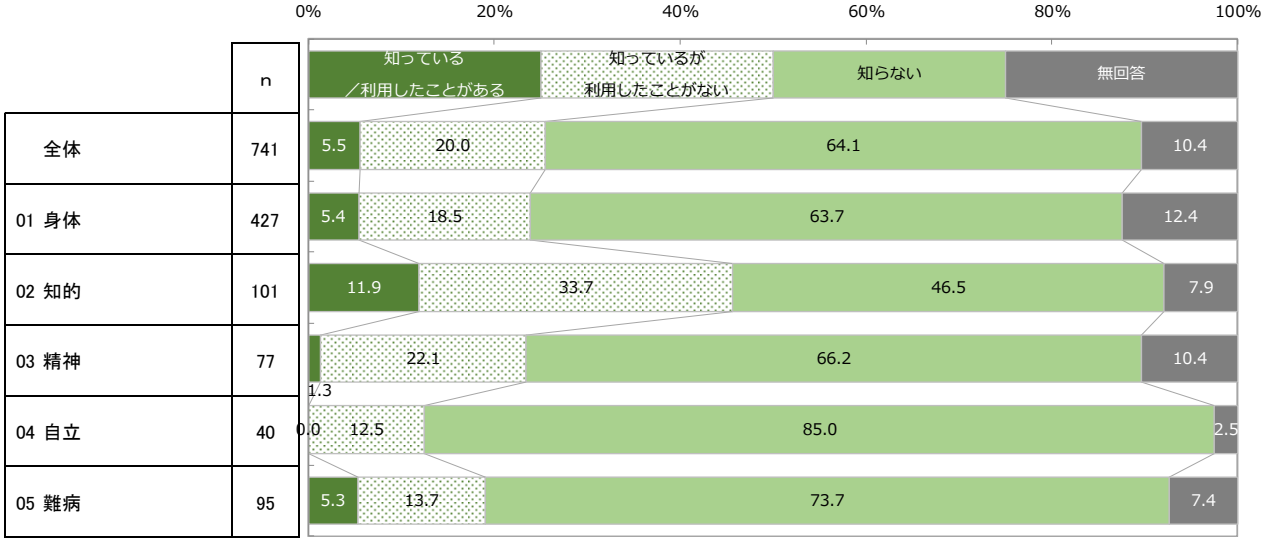
障害種別でみると、知的をのぞくすべての障害で「知らない」が 6 割を超えている。知的では『知っている（利用したことはないを含む）』が 45.6%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『20 歳以上』のすべての年代で「知らない」が半数を上回っている。

介助者の年齢別では、介助者が高齢になるにつれて、「知らない」は低くなっている傾向がある。

サービス利用別では、『利用している』場合でも「知らない」が 55.0%と半数を上回っている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全体		741	5.5	20.0	64.1	10.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	60.0	40.0	0.0
	20～29歳	50	8.0	22.0	66.0	4.0
	30～39歳	47	8.5	23.4	68.1	0.0
	40～49歳	82	11.0	22.0	58.5	8.5
	50～59歳	102	4.9	16.7	71.6	6.9
	60～64歳	37	5.4	13.5	78.4	2.7
	65～69歳	77	9.1	19.5	62.3	9.1
	70歳以上	330	2.7	20.0	62.4	14.8
世帯構成	ひとり暮らし	146	4.8	15.8	68.5	11.0
	核家族世帯	478	4.6	21.8	63.6	10.0
	三世代世帯	62	12.9	17.7	62.9	6.5
	その他の世帯	42	7.1	14.3	66.7	11.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	6.6	23.4	58.6	11.4
	障害者手帳所持者がいる	103	7.8	24.3	52.4	15.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	7.7	92.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	9.3	14.0	58.1	18.6
	あてはまらない	125	3.2	18.4	71.2	7.2
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～39歳	24	4.2	8.3	79.2	8.3
	40～59歳	155	7.1	20.0	67.1	5.8
	60歳代	99	9.1	21.2	63.6	6.1
	70歳代	116	5.2	23.3	57.8	13.8
	80歳以上	73	4.1	23.3	49.3	23.3
	わからない	41	2.4	4.9	80.5	12.2
生活困窮	ゆとりがある	42	14.3	16.7	69.0	0.0
	まあまあゆとりがある	302	5.3	19.5	64.6	10.6
	やや苦しい	291	5.2	22.0	62.2	10.7
	不自由が多く、生活が苦しい	58	5.2	27.6	65.5	1.7
サービス	利用している	240	9.2	24.6	55.0	11.3
	利用していない	418	3.8	19.9	71.1	5.3
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	1.4	15.5	74.6	8.5
	視覚障害がある	29	3.4	10.3	75.9	10.3
	聴覚障害がある	44	4.5	22.7	63.6	9.1

⑥ 西東京市内の福祉施設の認知（地域活動支援センター「ブルーム」）

問　あなたは、西東京市内にある福祉施設について知っていますか。
（○はそれぞれに 1 つずつ）

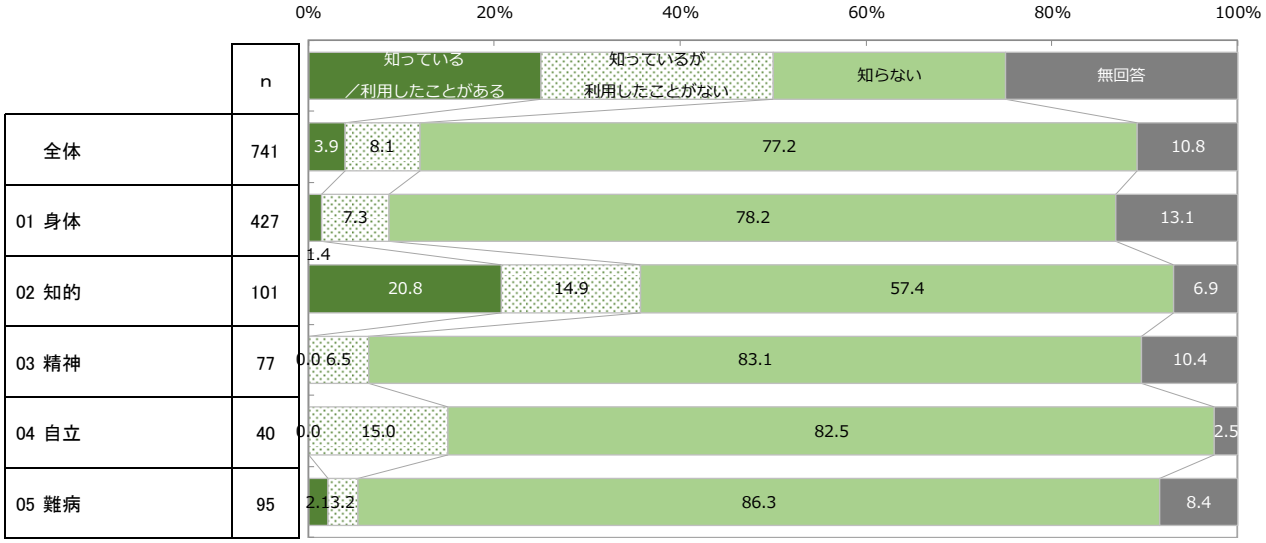
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	40	40	43	42	41	42

全体でみると、「知らない」が 77.2%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」が 8.1%、「知っている／利用したことがある」が 3.9%となっている。

障害種別でみると、すべての種別で「知らない」が半数を上回っており、特に身体・精神・自立・難病では約 8 割を占めている。

属性別でみると、属性による大きな差はなく、あらゆる属性で「知らない」が大半を占めている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全体		741	3.9	8.1	77.2	10.8 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	20.0	40.0	40.0	0.0
	20～29歳	50	20.0	18.0	62.0	0.0
	30～39歳	47	12.8	6.4	80.9	0.0
	40～49歳	82	6.1	4.9	79.3	9.8
	50～59歳	102	1.0	5.9	86.3	6.9
	60～64歳	37	0.0	8.1	89.2	2.7
	65～69歳	77	1.3	11.7	76.6	10.4
	70歳以上	330	1.5	7.3	75.5	15.8
世帯構成	ひとり暮らし	146	0.7	7.5	78.1	13.7
	核家族世帯	478	5.0	8.6	76.6	9.8
	三世代世帯	62	1.6	9.7	80.6	8.1
	その他の世帯	42	7.1	2.4	81.0	9.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	3.4	10.3	74.1	12.1
	障害者手帳所持者がいる	103	4.9	11.7	68.9	14.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	0.0	100.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	4.7	9.3	67.4	18.6
	あてはまらない	125	7.2	5.6	81.6	5.6
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～39歳	24	8.3	0.0	87.5	4.2
	40～59歳	155	7.1	8.4	78.1	6.5
	60歳代	99	5.1	8.1	79.8	7.1
	70歳代	116	3.4	8.6	72.4	15.5
	80歳以上	73	1.4	8.2	67.1	23.3
	わからない	41	0.0	0.0	87.8	12.2
生活困窮	ゆとりがある	42	9.5	7.1	81.0	2.4
	まあまあゆとりがある	302	5.6	8.3	76.8	9.3
	やや苦しい	291	2.1	9.3	76.3	12.4
	不自由が多く、生活が苦しい	58	1.7	8.6	86.2	3.4
サービス	利用している	240	9.2	11.7	68.8	10.4
	利用していない	418	1.2	7.2	85.2	6.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	2.8	1.4	87.3	8.5
	視覚障害がある	29	3.4	3.4	82.8	10.3
	聴覚障害がある	44	0.0	6.8	79.5	13.6

⑦ 西東京の講座や事業の認知（障害者サポーター養成講座）

問　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。
（○はそれぞれに 1 つずつ）

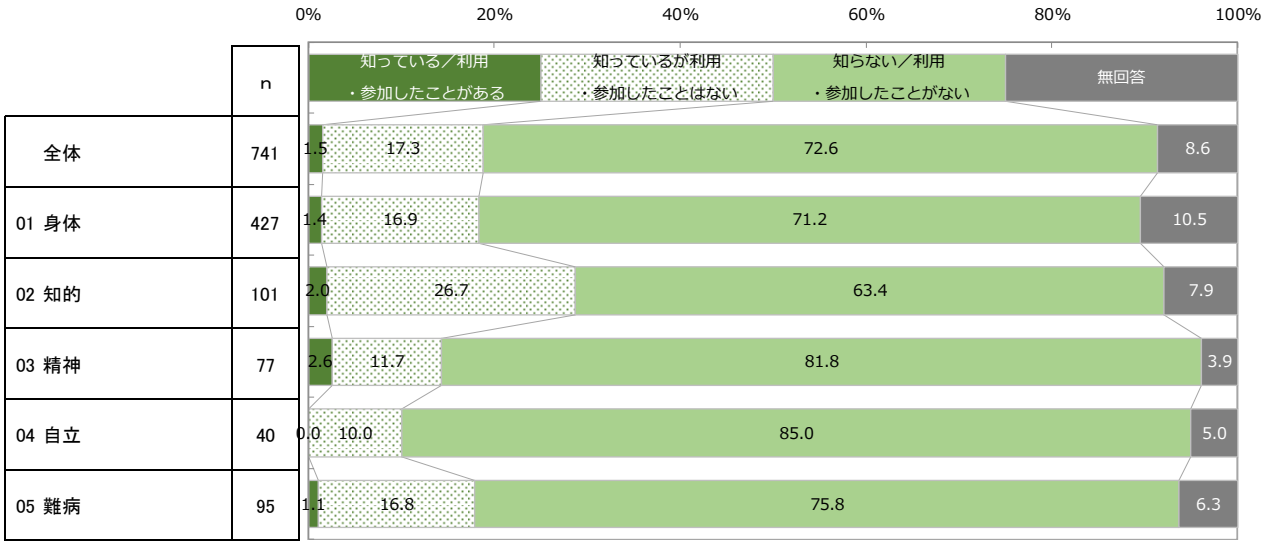
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	41	41	44	43	42	43

全体でみると、「知らない」が 72.6%と最も高く、次いで「知っているが利用・参加したことはない」が 17.3%、「知っている／利用・参加しことがある」が 1.5%となっている。

障害種別でみると、すべての障害で「知らない」が 6 割を超えている。知的では『知っている（利用・参加したことはないを含む）』が 28.7%となっている。

属性別でみると、属性による大きな差はなく、あらゆる属性で「知らない」が大半を占めている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない	無回答
全体		741	1.5	17.3	72.6	8.6
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	80.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	0.0	26.0	72.0	2.0
	30～39歳	47	2.1	14.9	83.0	0.0
	40～49歳	82	2.4	22.0	72.0	3.7
	50～59歳	102	2.0	11.8	81.4	4.9
	60～64歳	37	0.0	13.5	78.4	8.1
	65～69歳	77	2.6	15.6	74.0	7.8
	70歳以上	330	1.2	17.0	69.4	12.4
世帯構成	ひとり暮らし	146	0.7	14.4	76.7	8.2
	核家族世帯	478	1.7	18.0	72.2	8.2
	三世代世帯	62	1.6	24.2	66.1	8.1
	その他の世帯	42	2.4	7.1	81.0	9.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	2.1	18.6	69.0	10.3
	障害者手帳所持者がいる	103	1.9	16.5	69.9	11.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	23.1	76.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	2.3	11.6	72.1	14.0
	あてはまらない	125	1.6	16.8	75.2	6.4
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～39歳	24	0.0	12.5	83.3	4.2
	40～59歳	155	1.3	20.6	72.9	5.2
	60歳代	99	1.0	17.2	78.8	3.0
	70歳代	116	0.0	17.2	74.1	8.6
	80歳以上	73	2.7	16.4	58.9	21.9
	わからない	41	0.0	12.2	78.0	9.8
生活困窮	ゆとりがある	42	0.0	21.4	78.6	0.0
	まあまあゆとりがある	302	1.0	18.9	72.5	7.6
	やや苦しい	291	2.1	17.2	72.9	7.9
	不自由が多く、生活が苦しい	58	0.0	13.8	81.0	5.2
サービス	利用している	240	1.7	22.5	67.1	8.8
	利用していない	418	1.4	16.0	78.2	4.3
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	1.4	14.1	78.9	5.6
	視覚障害がある	29	0.0	6.9	79.3	13.8
	聴覚障害がある	44	2.3	13.6	75.0	9.1

(%)

⑧ 西東京の講座や事業の認知（ヘルプカード）

問　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。
（○はそれぞれに 1 つずつ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	41	41	44	43	42	43

全体でみると、「知らない」が 51.3%と最も高く、次いで「知っているが利用・参加したことはない」が 26.7%、「知っている／利用・参加しことがある」が 13.5%となっている。

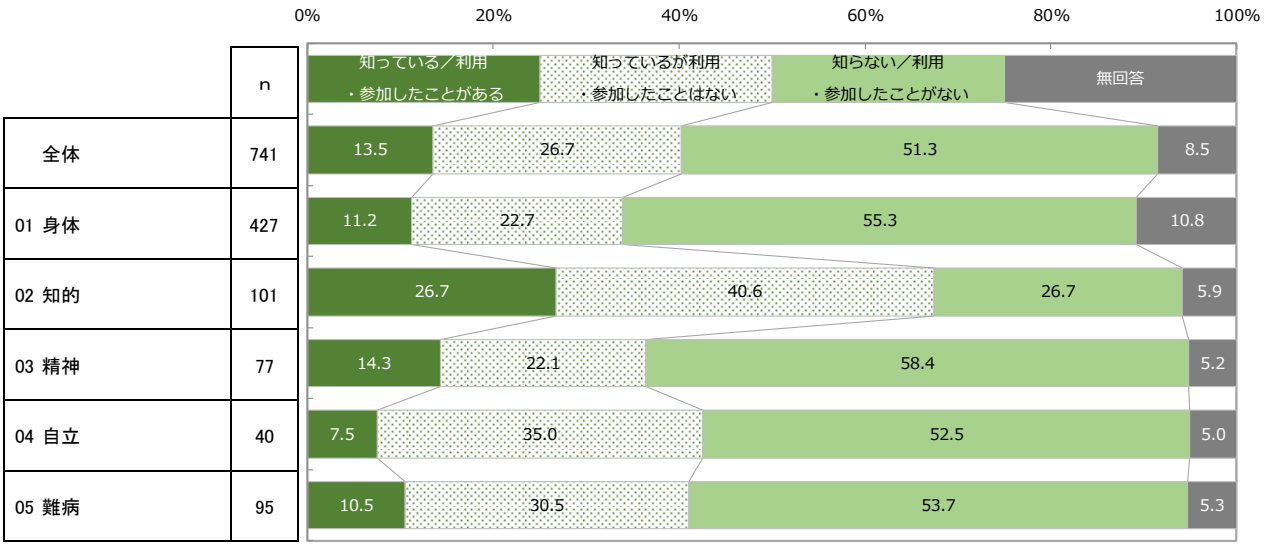
障害種別でみると、知的では『知っている（利用・参加したことはないを含む）』で 67.3%となっているものの、他の障害では「知らない」が半数以上を占めている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『49 歳以下』の若い世代で『知っている（利用・参加したことはないを含む）』が半数を超えており、『65 歳以上』となると「知らない」が半数を超えている。

同居人の特徴別では、『障害者手帳所持者がいる』『病気などの理由で不自由な方がいる』世帯では「知らない」が半数を下回っている。

特徴的な状態別では、『視覚障害がある』場合は、「知らない」が 75.9%となっており、他に比べて高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない	無回答
全体		741	13.5	26.7	51.3	8.5 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	60.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	16.0	44.0	38.0	2.0
	30～39歳	47	23.4	36.2	40.4	0.0
	40～49歳	82	19.5	35.4	42.7	2.4
	50～59歳	102	16.7	26.5	50.0	6.9
	60～64歳	37	35.1	21.6	40.5	2.7
	65～69歳	77	11.7	24.7	54.5	9.1
	70歳以上	330	6.7	21.8	59.1	12.4
世帯構成	ひとり暮らし	146	14.4	23.3	53.4	8.9
	核家族世帯	478	14.0	27.8	50.0	8.2
	三世代世帯	62	8.1	33.9	51.6	6.5
	その他の世帯	42	9.5	19.0	61.9	9.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	12.1	26.6	50.7	10.7
	障害者手帳所持者がいる	103	15.5	35.0	35.9	13.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	7.7	38.5	53.8	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	11.6	30.2	41.9	16.3
	あてはまらない	125	14.4	30.4	51.2	4.0
介助者の年齢	19歳以下	2	50.0	0.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	16.7	25.0	54.2	4.2
	40～59歳	155	16.1	31.0	48.4	4.5
	60歳代	99	9.1	28.3	58.6	4.0
	70歳代	116	11.2	26.7	54.3	7.8
	80歳以上	73	12.3	16.4	45.2	26.0
	わからない	41	17.1	14.6	61.0	7.3
生活困窮	ゆとりがある	42	14.3	33.3	50.0	2.4
	まあまあゆとりがある	302	12.3	26.5	54.0	7.3
	やや苦しい	291	13.7	28.5	49.8	7.9
	不自由が多く、生活が苦しい	58	15.5	24.1	56.9	3.4
サービス	利用している	240	17.5	30.0	43.8	8.8
	利用していない	418	12.9	27.3	55.5	4.3
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	9.9	23.9	59.2	7.0
	視覚障害がある	29	0.0	10.3	75.9	13.8
	聴覚障害がある	44	4.5	18.2	65.9	11.4

⑨ 西東京の講座や事業の認知（障害者スポーツ支援事業）

問　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。
（○はそれぞれに 1 つずつ）

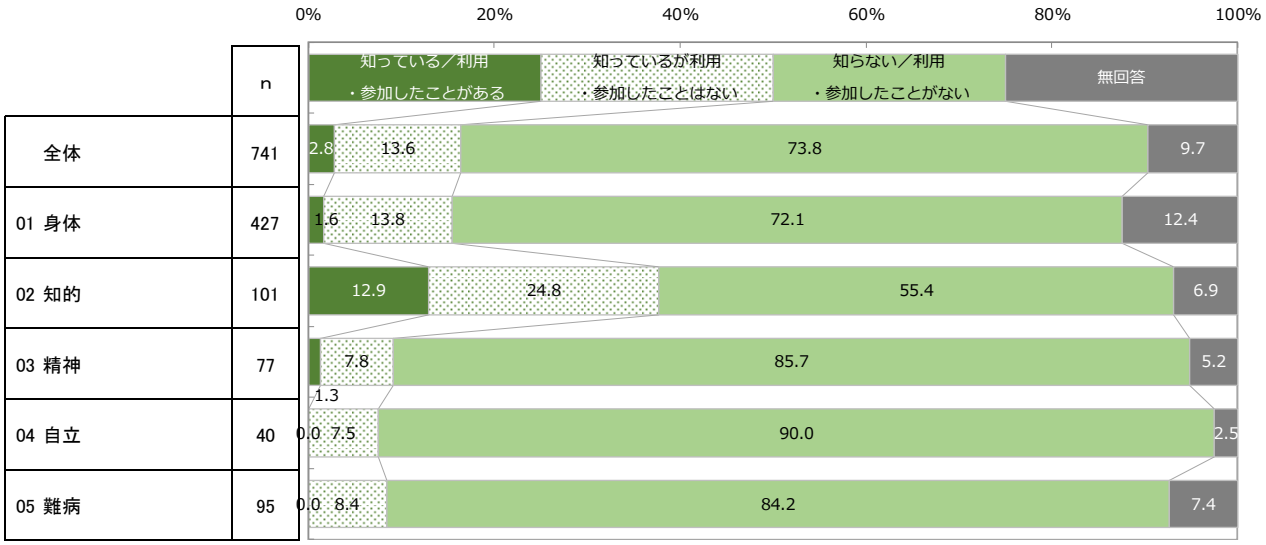
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	41	41	44	43	42	43

全体でみると、「知らない」が 73.8%と最も高く、次いで「知っているが利用・参加したことはない」が 13.6%、「知っている／利用・参加しことがある」が 2.8%となっている。

障害種別でみると、すべての障害で「知らない」が半数を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『18～19 歳』では認知されているものの、『20 歳以上』では「知らない」が 6 割以上となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない	無回答
全体		741	2.8	13.6	73.8	9.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	80.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	14.0	16.0	68.0	2.0
	30～39歳	47	4.3	14.9	80.9	0.0
	40～49歳	82	4.9	9.8	80.5	4.9
	50～59歳	102	2.0	7.8	84.3	5.9
	60～64歳	37	2.7	13.5	75.7	8.1
	65～69歳	77	1.3	20.8	68.8	9.1
	70歳以上	330	1.2	13.3	71.2	14.2
世帯構成	ひとり暮らし	146	0.0	9.6	79.5	11.0
	核家族世帯	478	3.6	15.1	72.2	9.2
	三世代世帯	62	3.2	14.5	74.2	8.1
	その他の世帯	42	4.8	7.1	78.6	9.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	4.5	17.2	67.6	10.7
	障害者手帳所持者がいる	103	4.9	15.5	65.0	14.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	7.7	7.7	84.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	4.7	14.0	65.1	16.3
	あてはまらない	125	3.2	12.0	76.8	8.0
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	0.0	4.2	91.7	4.2
	40～59歳	155	5.2	12.3	75.5	7.1
	60歳代	99	4.0	15.2	76.8	4.0
	70歳代	116	1.7	15.5	75.0	7.8
	80歳以上	73	1.4	20.5	52.1	26.0
	わからない	41	0.0	4.9	82.9	12.2
生活困窮	ゆとりがある	42	2.4	16.7	78.6	2.4
	まあまあゆとりがある	302	3.0	16.9	72.5	7.6
	やや苦しい	291	3.1	11.3	75.6	10.0
	不自由が多く、生活が苦しい	58	1.7	12.1	79.3	6.9
サービス	利用している	240	6.3	17.1	67.1	9.6
	利用していない	418	1.4	13.2	79.9	5.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	0.0	9.9	80.3	9.9
	視覚障害がある	29	3.4	3.4	79.3	13.8
	聴覚障害がある	44	0.0	13.6	72.7	13.6

⑩ 西東京の講座や事業の認知（障害者水泳教室）

問　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。
（○はそれぞれに 1 つずつ）

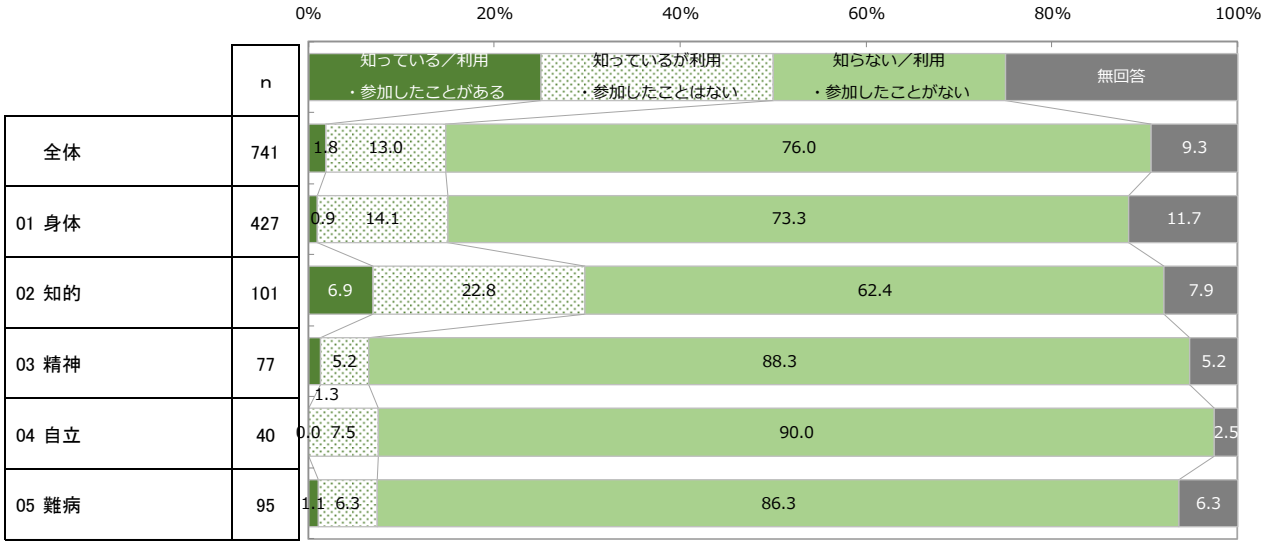
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	41	41	44	43	42	43

全体でみると、「知らない」が 76.0%と最も高く、次いで「知っているが利用・参加したことはない」が 13.0%、「知っている／利用・参加しことがある」が 1.8%となっている。

障害種別でみると、すべての障害で「知らない」が半数を上回っている。

属性別でみると、属性による大きな差はなく、あらゆる属性で「知らない」が大半を占めている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない	無回答
全体		741	1.8	13.0	76.0	9.3
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	80.0	20.0	0.0
	20～29歳	50	12.0	14.0	72.0	2.0
	30～39歳	47	0.0	14.9	85.1	0.0
	40～49歳	82	2.4	8.5	85.4	3.7
	50～59歳	102	0.0	7.8	86.3	5.9
	60～64歳	37	2.7	5.4	83.8	8.1
	65～69歳	77	1.3	22.1	67.5	9.1
	70歳以上	330	0.9	13.0	72.4	13.6
世帯構成	ひとり暮らし	146	0.0	11.0	78.1	11.0
	核家族世帯	478	2.3	13.8	75.3	8.6
	三世代世帯	62	1.6	14.5	75.8	8.1
	その他の世帯	42	2.4	4.8	83.3	9.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	1.7	15.9	72.1	10.3
	障害者手帳所持者がいる	103	1.9	12.6	71.8	13.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	7.7	92.3	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	2.3	14.0	69.8	14.0
	あてはまらない	125	3.2	11.2	79.2	6.4
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	0.0	4.2	91.7	4.2
	40～59歳	155	3.9	12.3	77.4	6.5
	60歳代	99	0.0	19.2	76.8	4.0
	70歳代	116	0.0	15.5	77.6	6.9
	80歳以上	73	2.7	16.4	56.2	24.7
	わからない	41	0.0	0.0	87.8	12.2
生活困窮	ゆとりがある	42	7.1	14.3	76.2	2.4
	まあまあゆとりがある	302	1.7	15.9	75.2	7.3
	やや苦しい	291	1.4	11.3	78.0	9.3
	不自由が多く、生活が苦しい	58	0.0	6.9	86.2	6.9
サービス	利用している	240	3.3	15.0	72.1	9.6
	利用していない	418	1.2	12.9	80.9	5.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	0.0	7.0	83.1	9.9
	視覚障害がある	29	0.0	3.4	82.8	13.8
	聴覚障害がある	44	0.0	15.9	70.5	13.6

(%)

⑪ 西東京の講座や事業の認知（ENJOY ニュースポーツ）

問　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。
（○はそれぞれに 1 つずつ）

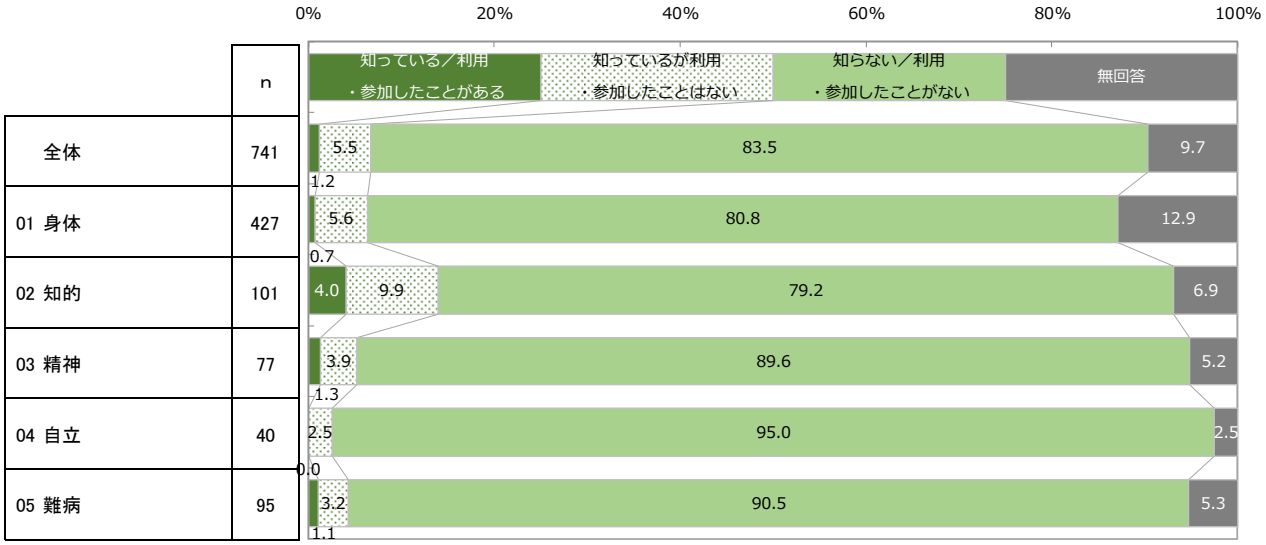
調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	41	41	44	43	42	43

全体でみると、「知らない」が 83.5%と最も高く、次いで「知っているが利用・参加したことはない」が 5.5%、「知っている／利用・参加しことがある」が 1.2%となっている。

障害種別でみると、すべての障害で「知らない」が 7 割を上回っている。

属性別でみると、属性による大きな差はなく、あらゆる属性で「知らない」が大半を占めている。

【障害種別の集計】



	n	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない	無回答
全体	741	1.2	5.5	83.5	9.7
01 身体	427	0.7	5.6	80.8	12.9
02 知的	101	4.0	9.9	79.2	6.9
03 精神	77	1.3	3.9	89.6	5.2
04 自立	40	0.0	2.5	95.0	2.5
05 難病	95	1.1	3.2	90.5	5.3

【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない	無回答
全体		741	1.2	5.5	83.5	9.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	40.0	60.0	0.0
	20～29歳	50	8.0	6.0	86.0	0.0
	30～39歳	47	2.1	8.5	89.4	0.0
	40～49歳	82	1.2	1.2	93.9	3.7
	50～59歳	102	0.0	4.9	88.2	6.9
	60～64歳	37	2.7	0.0	89.2	8.1
	65～69歳	77	1.3	10.4	79.2	9.1
	70歳以上	330	0.3	5.2	80.0	14.5
世帯構成	ひとり暮らし	146	0.0	4.1	84.2	11.6
	核家族世帯	478	1.7	5.9	83.3	9.2
	三世代世帯	62	1.6	8.1	83.9	6.5
	その他の世帯	42	0.0	0.0	90.5	9.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	1.7	7.2	79.3	11.7
	障害者手帳所持者がいる	103	1.0	6.8	77.7	14.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	0.0	100.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	2.3	2.3	76.7	18.6
	あてはまらない	125	2.4	5.6	85.6	6.4
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	0.0	0.0	95.8	4.2
	40～59歳	155	2.6	3.9	87.7	5.8
	60歳代	99	1.0	10.1	84.8	4.0
	70歳代	116	0.9	6.9	82.8	9.5
	80歳以上	73	1.4	8.2	64.4	26.0
	わからない	41	0.0	0.0	87.8	12.2
生活困窮	ゆとりがある	42	0.0	9.5	88.1	2.4
	まあまあゆとりがある	302	1.0	5.6	85.1	8.3
	やや苦しい	291	1.4	5.5	84.5	8.6
	不自由が多く、生活が苦しい	58	0.0	5.2	86.2	8.6
サービス	利用している	240	2.5	6.7	81.3	9.6
	利用していない	418	0.7	5.7	88.3	5.3
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	0.0	2.8	87.3	9.9
	視覚障害がある	29	0.0	3.4	82.8	13.8
	聴覚障害がある	44	0.0	2.3	84.1	13.6

⑫ 福祉サービスの利用

問　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
　　利用したことがあるサービスに○をつけてください。　　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	42	42	45	44	43	44

全体でみると、「利用したことがない」が 56.4%と最も高く、次いで「訪問系サービス」が 11.1%、「相談支援」が 8.1%となっている。

障害種別でみると、身体・精神・自立・難病では「利用したことがない」の割合が高く、身体では 63.2%、精神では 50.6%、自立では 60.0%、難病では 64.2%の割合となっている。知的では「就労継続支援」の割合が高く、26.7%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では「20～29 歳」の方は福祉サービスを「利用したことがない」の割合が 18.0%と低くなっており、「生活介護」「訪問系サービス」「短期入所」「相談支援」の割合が約２割となっている。

世帯構成別では、「その他の世帯」は福祉サービスを「利用したことがない」の割合が 14.3%と低く、「グループホーム」の割合が 40.5%と高くなっている。

特徴的な状態別では、「医療的ケアを受けている」方は利用した福祉サービスで「訪問系サービス」の割合が 54.9%と高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	訪問系サービス	生活介護	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型・B型）	就労定着支援	療養介護	短期入所（ショートステイ）	グループホーム	施設入所支援	自立生活援助	相談支援	利用したことがない	無回答
全体		741	11.1	6.9	6.9	2.0	6.1	1.2	3.6	6.6	4.6	1.3	2.2	8.1	56.4	11.2 (%)
障害種別	身体	427	11.7	4.2	7.7	0.5	1.2	0.0	4.0	4.2	1.6	1.2	1.9	5.9	63.2	12.2
	知的	101	16.8	21.8	5.0	5.0	26.7	2.0	1.0	18.8	20.8	2.0	1.0	15.8	22.8	5.9
	精神	77	7.8	2.6	5.2	6.5	13.0	6.5	2.6	2.6	7.8	1.3	6.5	10.4	50.6	13.0
	自立	40	5.0	2.5	2.5	7.5	5.0	5.0	5.0	2.5	0.0	2.5	0.0	2.5	60.0	12.5
	難病	95	7.4	8.4	8.4	0.0	1.1	0.0	5.3	9.5	0.0	1.1	2.1	10.5	64.2	10.5

【属性別の集計】

		調査数	訪問系サービス	生活介護	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型・B型）	就労定着支援	療養介護	短期入所（ショートステイ）	グループホーム	施設入所支援	自立生活援助	相談支援	利用したことがない	無回答
全体		741	11.1	6.9	6.9	2.0	6.1	1.2	3.6	6.6	4.6	1.3	2.2	8.1	56.4	11.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0
	20～29歳	50	20.0	30.0	4.0	10.0	18.0	8.0	0.0	24.0	10.0	0.0	0.0	18.0	18.0	4.0
	30～39歳	47	6.4	12.8	6.4	4.3	8.5	2.1	0.0	10.6	6.4	2.1	2.1	6.4	61.7	4.3
	40～49歳	82	9.8	0.0	3.7	3.7	19.5	2.4	1.2	6.1	6.1	0.0	0.0	12.2	50.0	11.0
	50～59歳	102	10.8	4.9	5.9	2.9	4.9	1.0	2.9	0.0	5.9	2.0	2.0	7.8	63.7	9.8
	60～64歳	37	8.1	8.1	10.8	0.0	13.5	0.0	2.7	2.7	8.1	0.0	2.7	8.1	56.8	13.5
	65～69歳	77	10.4	7.8	7.8	2.6	6.5	1.3	2.6	2.6	5.2	1.3	7.8	7.8	68.8	7.8
	70歳以上	330	11.2	4.5	7.9	0.0	0.3	0.0	5.8	7.3	2.4	1.8	1.8	6.4	57.9	13.6
世帯構成	ひとり暮らし	146	14.4	4.1	4.8	2.7	4.8	0.0	3.4	3.4	2.1	0.7	6.2	6.8	56.8	13.7
	核家族世帯	478	9.8	6.3	6.7	1.7	5.6	1.9	3.1	7.3	2.1	0.4	1.3	8.4	60.0	10.3
	三世代世帯	62	8.1	9.7	9.7	3.2	11.3	0.0	1.6	9.7	6.5	1.6	0.0	8.1	56.5	6.5
	その他の世帯	42	19.0	21.4	11.9	2.4	9.5	0.0	9.5	7.1	40.5	14.3	2.4	11.9	14.3	16.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	10.0	6.9	7.2	1.4	9.3	1.0	4.5	7.9	5.2	1.7	1.4	8.6	57.9	8.6
	障害者手帳所持者がいる	103	13.6	12.6	7.8	5.8	7.8	2.9	3.9	6.8	10.7	6.8	1.9	9.7	47.6	12.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9	23.1
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	11.6	11.6	14.0	0.0	4.7	2.3	7.0	4.7	7.0	9.3	0.0	9.3	46.5	11.6
	あてはまらない	125	10.4	8.0	6.4	0.8	4.0	3.2	2.4	8.8	2.4	0.0	0.8	9.6	61.6	7.2
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	12.5	12.5	8.3	4.2	0.0	0.0	4.2	4.2	8.3	0.0	0.0	4.2	54.2	12.5
	40～59歳	155	12.9	11.6	9.7	1.9	7.7	2.6	0.6	11.6	7.1	1.3	0.0	11.6	51.6	6.5
	60歳代	99	13.1	10.1	8.1	2.0	9.1	0.0	4.0	8.1	5.1	0.0	2.0	5.1	54.5	11.1
	70歳代	116	8.6	4.3	7.8	0.9	5.2	0.0	5.2	6.0	2.6	0.0	1.7	11.2	54.3	12.9
	80歳以上	73	13.7	4.1	8.2	2.7	4.1	2.7	6.8	5.5	2.7	1.4	4.1	9.6	54.8	17.8
	わからない	41	26.8	9.8	4.9	2.4	4.9	0.0	12.2	14.6	17.1	14.6	7.3	12.2	29.3	7.3
生活困窮	ゆとりがある	42	11.9	9.5	9.5	0.0	2.4	2.4	0.0	7.1	4.8	0.0	2.4	2.4	64.3	2.4
	まあまあゆとりがある	302	10.3	7.0	6.3	2.0	6.3	1.0	2.6	6.6	6.6	1.7	2.3	8.6	57.6	11.3
	やや苦しい	291	11.3	6.5	7.9	2.7	6.5	1.7	5.2	6.9	3.4	1.4	2.4	9.3	55.0	8.6
	不自由が多く、生活が苦しい	58	13.8	6.9	5.2	1.7	8.6	0.0	3.4	10.3	0.0	1.7	0.0	3.4	56.9	17.2
サービス	利用している	240	34.2	21.3	21.3	6.3	18.8	3.8	11.3	20.4	14.2	4.2	6.7	25.0	0.0	0.0
	利用していない	418	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	54.9	22.5	16.9	1.4	8.5	1.4	12.7	19.7	11.3	1.4	5.6	7.0	15.5	5.6
	視覚障害がある	29	24.1	6.9	10.3	0.0	3.4	0.0	10.3	10.3	0.0	3.4	0.0	10.3	51.7	17.2
	聴覚障害がある	44	2.3	2.3	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	2.3	2.3	2.3	2.3	65.9	18.2

⑬ 福祉サービスの必要性

問　あなたの日々の暮らしに、福祉サービスの利用は必要ですか。　（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	43	43	46	45	44	45

全体でみると、「今は必要ないが、いずれ必要になる」が 45.3%と最も高く、次いで「必要である」が 32.0%、「必要ない」が 17.3%となっている。

障害種別でみると、知的では「必要である」が 64.4%と高くなっているものの、他の障害では半数を下回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、高齢になるほど「今は必要ないが、いずれ必要になる」の割合が高くなる傾向となっている。

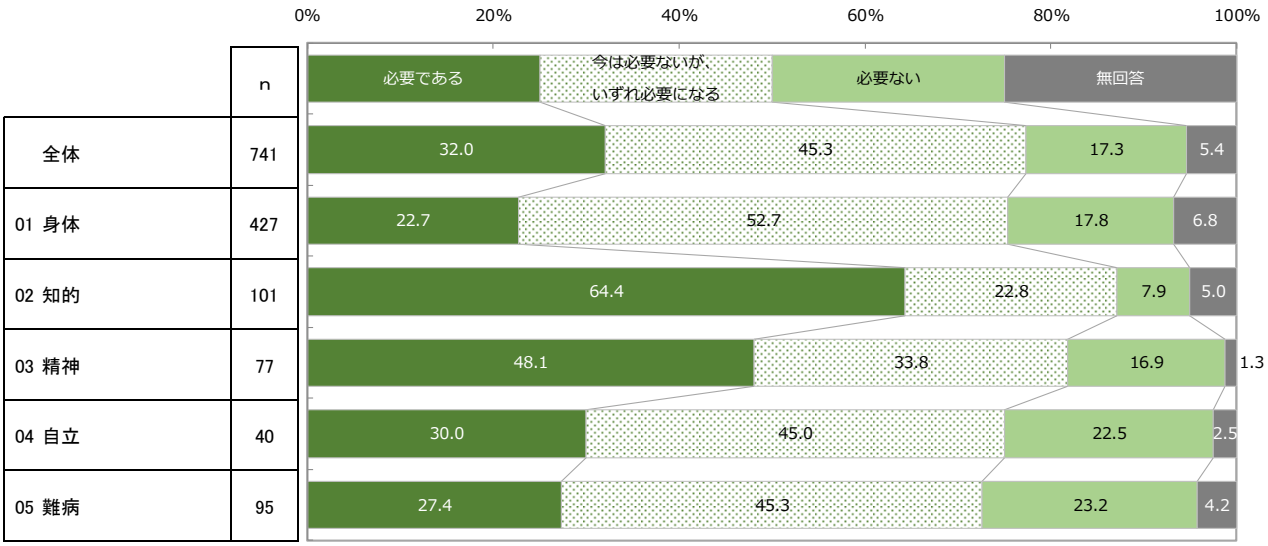
同居人の特徴別では、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』では「必要ない」が 53.8%と高くなっている。

介助者の年齢別では、介助者の年齢が『70 歳以上』になると「今は必要ないが、いずれ必要になる」が半数を超えている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるほど「必要である」の割合が高くなり、『不自由が多く、生活が苦しい』層では 46.6%となっている。

サービス利用別では、『利用していない』場合でも 60.5%が「今は必要ないが、いずれ必要になる」としており、「必要ない」は 25.8%となっている。

【障害種別の集計】



	n	必要である	今は必要ないが、いずれ必要になる	必要ない	無回答
全体	741	32.0	45.3	17.3	5.4
01 身体	427	22.7	52.7	17.8	6.8
02 知的	101	64.4	22.8	7.9	5.0
03 精神	77	48.1	33.8	16.9	1.3
04 自立	40	30.0	45.0	22.5	2.5
05 難病	95	27.4	45.3	23.2	4.2

【属性別の集計】

		調査数	必要である	今は必要ないが、いずれ必要になる	必要ない	無回答
全体		741	32.0	45.3	17.3	5.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	60.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	64.0	20.0	14.0	2.0
	30～39歳	47	38.3	27.7	31.9	2.1
	40～49歳	82	42.7	31.7	22.0	3.7
	50～59歳	102	29.4	42.2	24.5	3.9
	60～64歳	37	32.4	45.9	16.2	5.4
	65～69歳	77	29.9	53.2	13.0	3.9
	70歳以上	330	25.2	53.9	13.3	7.6
世帯構成	ひとり暮らし	146	30.1	45.9	15.8	8.2
	核家族世帯	478	27.6	48.7	19.5	4.2
	三世代世帯	62	40.3	41.9	14.5	3.2
	その他の世帯	42	76.2	9.5	2.4	11.9
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	32.4	45.2	18.3	4.1
	障害者手帳所持者がいる	103	35.9	48.5	8.7	6.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	23.1	15.4	53.8	7.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	39.5	46.5	4.7	9.3
	あてはまらない	125	28.0	48.8	19.2	4.0
介助者の年齢	19歳以下	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	25.0	45.8	25.0	4.2
	40～59歳	155	44.5	42.6	10.3	2.6
	60歳代	99	43.4	41.4	12.1	3.0
	70歳代	116	27.6	56.0	12.9	3.4
	80歳以上	73	21.9	52.1	11.0	15.1
	わからない	41	70.7	19.5	7.3	2.4
生活困窮	ゆとりがある	42	23.8	42.9	31.0	2.4
	まあまあゆとりがある	302	30.5	43.7	19.9	6.0
	やや苦しい	291	34.0	49.5	13.7	2.7
	不自由が多く、生活が苦しい	58	46.6	36.2	12.1	5.2
サービス	利用している	240	70.0	24.2	4.2	1.7
	利用していない	418	12.4	60.5	25.8	1.2
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	63.4	29.6	4.2	2.8
	視覚障害がある	29	44.8	27.6	10.3	17.2
	聴覚障害がある	44	13.6	63.6	11.4	11.4

⑭ 福祉サービスを十分に利用できているか

問　あなたは、生活に必要な福祉サービスを十分に利用できていますか。
（○は 1 つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	44	44	47	46	45	46

全体でみると、「まあまあ利用できている」が 42.2%と最も高く、次いで「あまり利用できていない」が 25.3%、「利用できている」が 21.1%となっている。

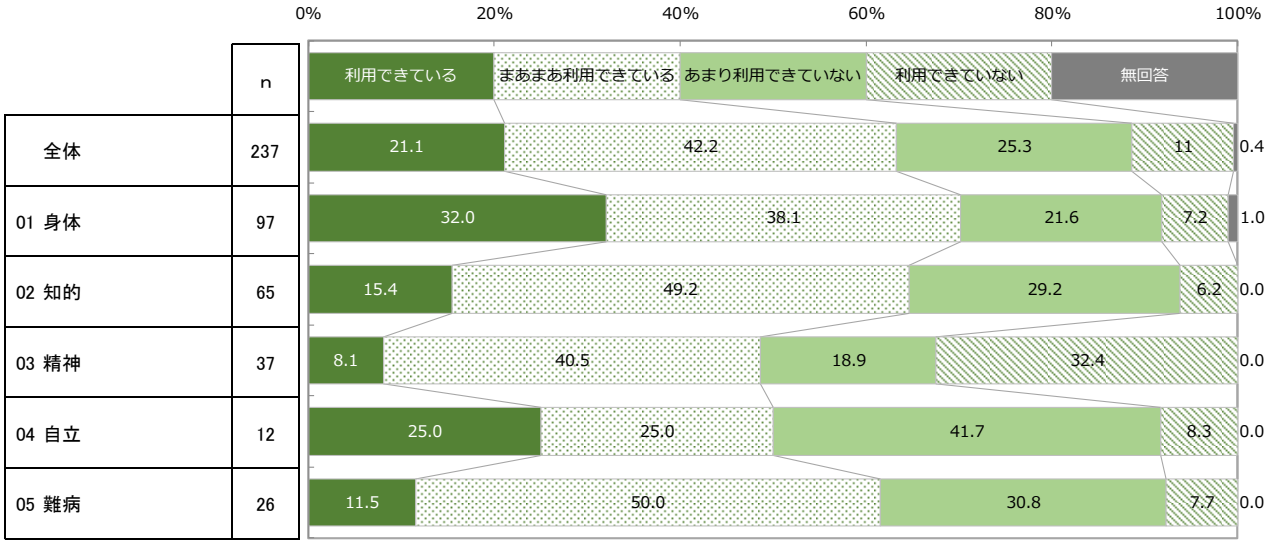
障害種別でみると、身体・知的・難病では「利用できている」「まあまあ利用できている」が 6 割を超えている。一方で、精神では「利用できていない」が 32.4%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『30～39 歳』『50～59 歳』で「利用できていない」が高くなっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「利用できている」が 34.1%と高くなっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるほど「利用できていない」が高くなる傾向があり、『不自由が多く、生活が苦しい』層では 37.0%となっている。

【障害種別の集計】



	n	利用できている	まあまあ利用できている	あまり利用できていない	利用できていない	無回答	
全体	237	21.1	42.2	25.3	11	0.4	
01 身体	97	32.0	38.1	21.6	7.2	1.0	
02 知的	65	15.4	49.2	29.2	6.2	0.0	
03 精神	37	8.1	40.5	18.9	32.4	0.0	
04 自立	12	25.0	25.0	41.7	8.3	0.0	
05 難病	26	11.5	50.0	30.8	7.7	0.0	

【属性別の集計】

		調査数	利用できている	まあまあ利用できている	あまり利用できていない	利用できていない	無回答
全体		237	21.1	42.2	25.3	11.0	0.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20～29歳	32	15.6	59.4	25.0	0.0	0.0
	30～39歳	18	22.2	16.7	27.8	33.3	0.0
	40～49歳	35	14.3	42.9	34.3	8.6	0.0
	50～59歳	30	20.0	50.0	6.7	23.3	0.0
	60～64歳	12	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0
	65～69歳	23	17.4	56.5	13.0	13.0	0.0
	70歳以上	83	28.9	38.6	24.1	7.2	1.2
世帯構成	ひとり暮らし	44	34.1	31.8	22.7	11.4	0.0
	核家族世帯	132	12.9	49.2	27.3	9.8	0.8
	三世代世帯	25	16.0	40.0	36.0	8.0	0.0
	その他の世帯	32	40.6	31.3	15.6	12.5	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	94	21.3	39.4	27.7	10.6	1.1
	障害者手帳所持者がいる	37	37.8	32.4	21.6	8.1	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	17	41.2	35.3	11.8	11.8	0.0
	あてはまらない	35	5.7	60.0	22.9	11.4	0.0
介助者の年齢	19歳以下	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	40～59歳	69	10.1	46.4	30.4	13.0	0.0
	60歳代	43	18.6	37.2	34.9	9.3	0.0
	70歳代	32	21.9	40.6	28.1	9.4	0.0
	80歳以上	16	12.5	68.8	6.3	12.5	0.0
	わからない	29	51.7	27.6	13.8	6.9	0.0
生活困窮	ゆとりがある	10	30.0	60.0	0.0	10.0	0.0
	まあまあゆとりがある	92	32.6	40.2	19.6	6.5	1.1
	やや苦しい	99	14.1	43.4	34.3	8.1	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	27	11.1	29.6	22.2	37.0	0.0
サービス	利用している	168	25.6	48.8	22.0	3.6	0.0
	利用していない	52	9.6	23.1	36.5	28.8	1.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	45	26.7	51.1	13.3	8.9	0.0
	視覚障害がある	13	30.8	38.5	15.4	15.4	0.0
	聴覚障害がある	6	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0

⑮ 十分に利用できない理由

問　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。
（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	45	45	48	47	46	47

全体でみると、「自分に適したサービスがわからない」が 43.0%と高く、次いで「サービスの利用方法がわからない」が 37.2%、「通うのが大変」が 22.1%となっている。

障害種別でみると、身体・知的・精神・自立で「自分に適したサービスがわからない」の割合が４割を超えている。また、精神・自立では「通うのが大変」が３割を超えている。

属性別でみると、本人の年齢別では、「自分に適したサービスがわからない」は『20～59 歳』で約 5 割を占めている。一方で、『60 歳以上』では「サービスの利用方法がわからない」が高くなっている。

サービス利用別では、『利用している』では「自分に適したサービスがわからない」が高く、『利用していない』では「サービスの利用方法がわからない」が高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	自己負担が大きい	定員がいっぱいで利用できない	通うのが大変	利用したい時間や時期と合わない	市内に利用したい事業所がない	自分に適したサービスがわからない	サービスの利用方法がわからない	その他	無回答
全体		86	16.3	10.5	22.1	18.6	10.5	43.0	37.2	14.0	4.7
障害種別	身体	28	17.9	3.6	14.3	14.3	3.6	42.9	35.7	17.9	10.7
	知的	23	8.7	21.7	21.7	26.1	17.4	47.8	39.1	8.7	0.0
	精神	19	21.1	10.5	36.8	10.5	5.3	47.4	31.6	10.5	5.3
	自立	6	16.7	16.7	33.3	50.0	50.0	50.0	16.7	16.7	0.0
	難病	10	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	自己負担が大きい	定員がいっぱいで利用できない	通うのが大変	利用したい時間や時期と合わない	市内に利用したい事業所がない	自分に適したサービスがわからない	サービスの利用方法がわからない	その他	無回答
全体		86	16.3	10.5	22.1	18.6	10.5	43.0	37.2	14.0	4.7 (%)
本人の年齢	18～19歳	1	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	8	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	12.5	0.0
	30～39歳	11	9.1	36.4	18.2	18.2	18.2	63.6	45.5	18.2	0.0
	40～49歳	15	13.3	0.0	13.3	20.0	13.3	40.0	20.0	20.0	6.7
	50～59歳	9	22.2	11.1	66.7	33.3	11.1	55.6	22.2	0.0	0.0
	60～64歳	8	12.5	0.0	37.5	12.5	0.0	37.5	75.0	0.0	0.0
	65～69歳	6	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0
	70歳以上	26	19.2	3.8	7.7	15.4	3.8	34.6	30.8	15.4	7.7
世帯構成	ひとり暮らし	15	20.0	0.0	13.3	13.3	6.7	46.7	53.3	13.3	6.7
	核家族世帯	49	14.3	14.3	24.5	20.4	14.3	34.7	30.6	16.3	4.1
	三世代世帯	11	0.0	0.0	27.3	36.4	9.1	63.6	63.6	9.1	0.0
	その他の世帯	9	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	55.6	22.2	11.1	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	36	13.9	16.7	16.7	13.9	13.9	47.2	33.3	16.7	2.8
	障害者手帳所持者がいる	11	9.1	0.0	45.5	36.4	0.0	36.4	36.4	0.0	9.1
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	あてはまらない	12	33.3	16.7	25.0	25.0	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	30	10.0	6.7	26.7	33.3	10.0	53.3	36.7	6.7	3.3
	60歳代	19	21.1	21.1	15.8	10.5	10.5	26.3	36.8	21.1	5.3
	70歳代	12	8.3	8.3	25.0	0.0	8.3	41.7	41.7	25.0	8.3
	80歳以上	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	わからない	6	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0
生活困窮	ゆとりがある	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	まあまあゆとりがある	24	4.2	16.7	16.7	16.7	8.3	50.0	37.5	16.7	4.2
	やや苦しい	42	16.7	7.1	23.8	19.0	11.9	33.3	35.7	7.1	7.1
	不自由が多く、生活が苦しい	16	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	56.3	37.5	12.5	0.0
サービス	利用している	43	18.6	11.6	20.9	18.6	11.6	53.5	32.6	4.7	2.3
	利用していない	34	14.7	11.8	29.4	20.6	11.8	35.3	47.1	14.7	2.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	10	50.0	10.0	20.0	10.0	0.0	40.0	20.0	20.0	10.0
	視覚障害がある	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	75.0	50.0	0.0	25.0
	聴覚障害がある	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3

⑯ 2年後に必要とするサービス

問　今から2年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	46	46	49	48	47	48

全体でみると、「わからない」が40.5%と最も高く、次いで「ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス」が21.7%、「短期間を施設で過ごすサービス」が15.5%となっている。

障害種別でみると、身体・精神・自立・難病では「わからない」の割合が高く、身体では44.0%、精神では41.6%、自立では55.0%、難病では42.1%の割合となっている。知的は「施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス」の割合が高く35.6%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『18～29歳』は「施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス」の割合が3割以上と高く、『70歳以上』では「ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス」の割合が28.8%と高くなっている。

介助者の年齢別では、年齢が高くなるにつれて「ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス」の割合が高くなっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるにつれ、「ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス」が高くなっている。

サービス利用別では、『利用していない』では「わからない」が56.2%となっている。

特徴的な状態別では、「医療的ケアを受けている」方は「ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス」の割合が47.9%と高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス	自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス	働くために必要な技術を身につけるサービス	施設に通って日中を過ごすサービス	施設や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス	短期間を施設で過ごすサービス	施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス	その他	わからない	無回答
全体		741	21.7	12.8	8.0	14.6	5.1	15.5	12.8	5.1	40.5	10.9
障害種別	身体	427	23.9	12.9	2.3	12.2	1.9	12.9	8.7	3.7	44.0	13.3
	知的	101	14.9	14.9	17.8	27.7	20.8	35.6	35.6	5.0	17.8	10.9
	精神	77	19.5	11.7	28.6	7.8	5.2	7.8	9.1	6.5	41.6	6.5
	自立	40	7.5	7.5	17.5	12.5	5.0	7.5	12.5	5.0	55.0	2.5
	難病	95	27.4	13.7	2.1	16.8	2.1	15.8	10.5	10.5	42.1	7.4

(%)

【属性別の集計】

		調査数	ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス	自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス	働くために必要な技術を身につけるサービス	施設に通って日中を過ごすサービス	施設や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス	短期間を施設で過ごすサービス	施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス	その他	わからない	無回答
全体		741	21.7	12.8	8.0	14.6	5.1	15.5	12.8	5.1	40.5	10.9
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	60.0	0.0	40.0	0.0
	20～29歳	50	18.0	24.0	30.0	26.0	30.0	36.0	34.0	4.0	22.0	6.0
	30～39歳	47	6.4	4.3	23.4	10.6	10.6	17.0	21.3	10.6	38.3	6.4
	40～49歳	82	13.4	8.5	14.6	17.1	7.3	20.7	15.9	4.9	43.9	9.8
	50～59歳	102	19.6	8.8	12.7	7.8	2.0	3.9	2.0	3.9	56.9	5.9
	60～64歳	37	16.2	8.1	8.1	13.5	2.7	10.8	5.4	13.5	40.5	13.5
	65～69歳	77	19.5	13.0	2.6	11.7	1.3	9.1	11.7	2.6	55.8	6.5
	70歳以上	330	28.8	15.2	0.6	15.5	1.8	16.7	11.8	4.5	33.6	14.5
世帯構成	ひとり暮らし	146	25.3	8.9	5.5	8.2	1.4	3.4	4.8	5.5	44.5	13.7
	核家族世帯	478	21.3	14.2	8.4	14.9	6.1	16.9	13.0	4.8	42.9	9.4
	三世代世帯	62	25.8	16.1	14.5	27.4	6.5	40.3	11.3	4.8	24.2	8.1
	その他の世帯	42	7.1	4.8	4.8	14.3	7.1	4.8	45.2	9.5	19.0	19.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	23.4	15.2	6.6	17.2	4.8	20.3	14.5	4.8	37.2	9.7
	障害者手帳所持者がいる	103	24.3	7.8	15.5	21.4	7.8	20.4	17.5	2.9	34.0	10.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	7.7	7.7	7.7	15.4	0.0	15.4	0.0	15.4	53.8	7.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	34.9	18.6	9.3	23.3	4.7	20.9	25.6	7.0	20.9	14.0
	あてはまらない	125	18.4	16.0	10.4	13.6	8.8	17.6	15.2	5.6	45.6	8.0
介助者の年齢	19歳以下	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	8.3	16.7	12.5	4.2	4.2	8.3	12.5	0.0	50.0	12.5
	40～59歳	155	19.4	15.5	13.5	18.7	9.0	22.6	18.1	3.2	37.4	9.0
	60歳代	99	16.2	8.1	8.1	15.2	4.0	17.2	12.1	3.0	43.4	10.1
	70歳代	116	31.9	18.1	5.2	20.7	6.0	18.1	12.1	5.2	35.3	8.6
	80歳以上	73	32.9	19.2	6.8	19.2	2.7	19.2	9.6	2.7	21.9	21.9
	わからない	41	34.1	7.3	7.3	14.6	4.9	7.3	22.0	9.8	31.7	2.4
生活困窮	ゆとりがある	42	11.9	7.1	4.8	9.5	7.1	9.5	16.7	11.9	38.1	16.7
	まあまあゆとりがある	302	18.2	12.6	5.6	13.2	5.6	15.9	10.9	5.0	44.0	10.9
	やや苦しい	291	23.7	13.7	11.0	15.5	4.1	17.5	14.4	4.1	39.5	8.2
	不自由が多く、生活が苦しい	58	36.2	12.1	12.1	20.7	6.9	15.5	15.5	5.2	39.7	1.7
サービス	利用している	240	32.9	21.7	14.6	23.3	10.8	27.9	26.3	4.6	19.6	6.7
	利用していない	418	16.5	8.4	5.5	9.8	2.6	10.0	6.5	5.3	56.2	6.9
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	47.9	23.9	8.5	19.7	2.8	25.4	15.5	2.8	28.2	4.2
	視覚障害がある	29	20.7	6.9	10.3	6.9	3.4	13.8	13.8	3.4	34.5	17.2
	聴覚障害がある	44	25.0	11.4	0.0	11.4	4.5	13.6	2.3	4.5	40.9	15.9

(%)

⑰ 5年後どのように暮らしたいか

問　今から5年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。
（○は1つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	47	47	50	49	48	49

全体でみると、「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」が38.3%と最も高く、次いで「わからない」が19.7%、「自宅で訪問や通いの福祉サービスを活用しながら暮らしたい」が13.8%となっている。

障害種別でみると、「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」はすべての種別で高く3割以上を占めている。また、自立では「ひとり暮らし」が22.5%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『65歳以上』では「自宅で訪問や通いの福祉サービスを活用しながら暮らしたい」が高くなっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では「ひとり暮らしをしたい」は24.7%となっており、「わからない」が29.5%と他に比べて高くなっている。

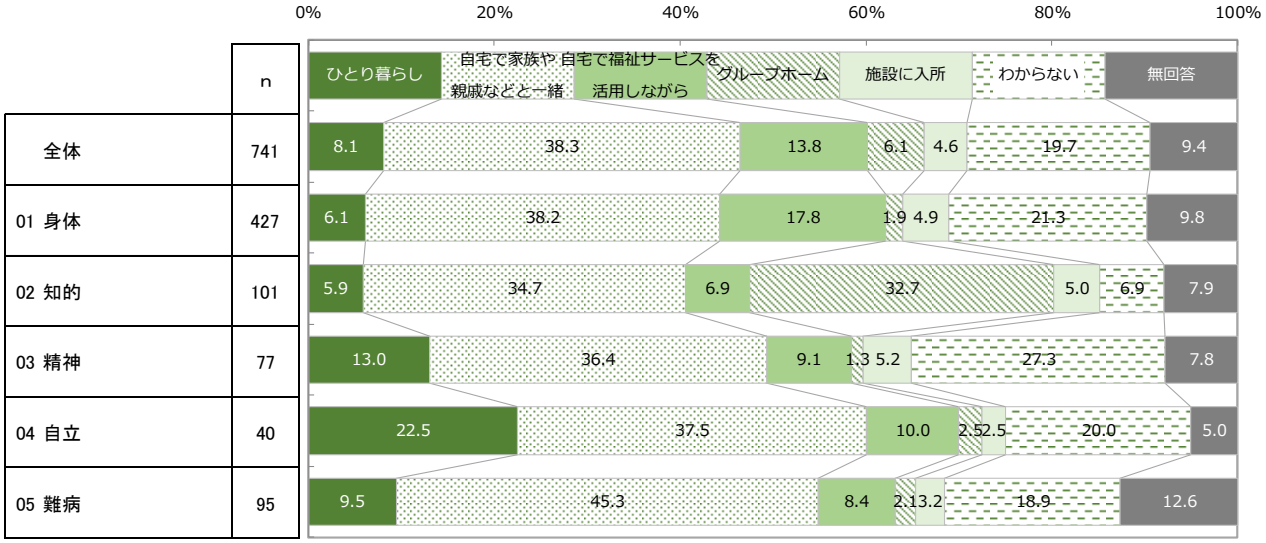
介助者の年齢別では、介助者が高齢になるほど、「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」の割合が低くなる傾向にあるが、『20～39歳』では「わからない」の割合も高くなっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるにつれて、「わからない」が高くなる傾向がある。

サービス利用別では、『利用している』では「グループホームで暮らしたい」が16.3%となっている。

特徴的な状態別では、『視覚障害がある』では「施設に入所して暮らしたい」が17.2%となっている。

【障害種別の集計】



	n	ひとり暮らし	自宅で家族や親戚などと一緒	自宅で福祉サービスを活用しながら	グループホーム	施設に入所	わからない	無回答
全体	741	8.1	38.3	13.8	6.1	4.6	19.7	9.4
01 身体	427	6.1	38.2	17.8	1.9	4.9	21.3	9.8
02 知的	101	5.9	34.7	6.9	32.7	5.0	6.9	7.9
03 精神	77	13.0	36.4	9.1	1.3	5.2	27.3	7.8
04 自立	40	22.5	37.5	10.0	2.5	2.5	20.0	5.0
05 難病	95	9.5	45.3	8.4	2.1	3.2	18.9	12.6

【属性別の集計】

		調査数	ひとり暮らしがしたい	自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい	自宅で訪問や通いの福祉サービスを活用しながら暮らしたい	グループホームで暮らしたい	施設に入所して暮らしたい	わからない	無回答
全体		741	8.1	38.3	13.8	6.1	4.6	19.7	9.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	8.0	36.0	10.0	24.0	0.0	14.0	8.0
	30～39歳	47	14.9	51.1	2.1	14.9	0.0	14.9	2.1
	40～49歳	82	14.6	42.7	4.9	8.5	3.7	18.3	7.3
	50～59歳	102	11.8	47.1	7.8	4.9	0.0	20.6	7.8
	60～64歳	37	2.7	54.1	2.7	2.7	5.4	21.6	10.8
	65～69歳	77	11.7	28.6	15.6	5.2	5.2	23.4	10.4
	70歳以上	330	4.2	33.6	21.2	2.4	7.3	20.3	10.9
世帯構成	ひとり暮らし	146	24.7	6.8	21.2	2.1	4.1	29.5	11.6
	核家族世帯	478	4.8	49.8	12.3	5.0	3.1	16.3	8.6
	三世代世帯	62	0.0	50.0	16.1	8.1	6.5	14.5	4.8
	その他の世帯	42	2.4	4.8	2.4	31.0	21.4	21.4	16.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	4.8	42.8	14.5	6.6	5.2	17.2	9.0
	障害者手帳所持者がいる	103	3.9	43.7	12.6	7.8	5.8	13.6	12.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	84.6	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	11.6	25.6	16.3	7.0	7.0	18.6	14.0
	あてはまらない	125	4.0	52.8	8.8	6.4	4.0	19.2	4.8
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	8.3	33.3	8.3	4.2	4.2	29.2	12.5
	40～59歳	155	1.9	47.7	12.3	10.3	5.2	14.8	7.7
	60歳代	99	6.1	45.5	12.1	9.1	3.0	16.2	8.1
	70歳代	116	4.3	35.3	19.8	2.6	5.2	19.0	13.8
	80歳以上	73	8.2	34.2	19.2	6.8	6.8	16.4	8.2
	わからない	41	12.2	14.6	17.1	4.9	14.6	24.4	12.2
生活困窮	ゆとりがある	42	4.8	45.2	9.5	21.4	2.4	9.5	7.1
	まあまあゆとりがある	302	7.3	43.0	13.6	6.0	5.0	16.9	8.3
	やや苦しい	291	7.6	35.7	15.1	4.5	4.5	22.0	10.7
	不自由が多く、生活が苦しい	58	17.2	24.1	13.8	5.2	6.9	27.6	5.2
サービス	利用している	240	8.3	25.0	15.4	16.3	7.1	16.7	11.3
	利用していない	418	7.9	48.3	12.7	0.7	3.1	21.5	5.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	4.2	31.0	22.5	5.6	7.0	19.7	9.9
	視覚障害がある	29	3.4	41.4	10.3	0.0	17.2	20.7	6.9
	聴覚障害がある	44	4.5	36.4	9.1	2.3	4.5	27.3	15.9

⑱ ５年後について相談できる人

問　「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。
（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	48	48	51	50	49	50

全体でみると、「同居している家族や親戚」が 52.8%と最も高く、次いで「別居している家族や親戚」が 16.9%、「福祉施設の職員や相談員」が 14.6%となっている。

障害種別でみると、すべての障害種別で「同居している家族や親戚」の割合が高くなっている。一方で、精神・自立では「いない」が２～３割となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、相談できる相手が「いない」は『30～59 歳』で約２割となっている。

世帯構成別では、『ひとり暮らし』では相談できる人が「いない」が 32.2%と高くなっている。

生活困窮状況別では、『ゆとりがある』層では「同居している家族や親戚」の割合が 66.7%高く、一方で『不自由が多く、生活が苦しい』層では相談できる人が「いない」の割合が 32.8%と高くなっている。

サービス利用別では、『利用している』では「福祉施設の職員や相談員」の割合が 31.7%と高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	同居している家族や親戚	別居している家族や親戚	友人や知人	弁護士や後見人	福祉施設の職員や相談員	その他	いない	無回答
全体		741	52.8	16.9	10.4	1.5	14.6	3.2	13.9	12.6 (%)
障害種別	身体	427	50.6	19.2	9.4	0.5	11.9	3.0	13.8	15.0
	知的	101	65.3	16.8	4.0	4.0	35.6	2.0	4.0	6.9
	精神	77	44.2	11.7	18.2	2.6	11.7	7.8	22.1	9.1
	自立	40	52.5	10.0	10.0	2.5	5.0	2.5	35.0	2.5
	難病	95	56.8	13.7	14.7	2.1	10.5	2.1	9.5	14.7

【属性別の集計】

		調査数	同居している家族や親戚	別居している家族や親戚	友人や知人	弁護士や後見人	福祉施設の職員や相談員	その他	いない	無回答
全体		741	52.8	16.9	10.4	1.5	14.6	3.2	13.9	12.6 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	100.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	70.0	12.0	18.0	0.0	30.0	2.0	6.0	8.0
	30～39歳	47	72.3	12.8	14.9	2.1	12.8	2.1	14.9	0.0
	40～49歳	82	57.3	12.2	14.6	2.4	19.5	2.4	18.3	6.1
	50～59歳	102	50.0	12.7	8.8	2.9	9.8	5.9	22.5	6.9
	60～64歳	37	64.9	16.2	10.8	0.0	24.3	2.7	2.7	10.8
	65～69歳	77	41.6	13.0	9.1	1.3	9.1	2.6	22.1	16.9
	70歳以上	330	47.9	22.4	8.5	1.2	13.3	3.3	10.6	17.0
世帯構成	ひとり暮らし	146	0.0	29.5	18.5	2.1	14.4	3.4	32.2	17.1
	核家族世帯	478	69.9	13.6	8.6	1.5	11.5	2.5	8.8	10.5
	三世代世帯	62	79.0	11.3	12.9	1.6	22.6	1.6	8.1	4.8
	その他の世帯	42	9.5	23.8	0.0	0.0	42.9	11.9	14.3	23.8
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	64.5	17.9	6.9	2.1	16.2	2.1	9.7	11.4
	障害者手帳所持者がいる	103	58.3	21.4	7.8	1.0	20.4	3.9	4.9	12.6
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	76.9	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	58.1	18.6	4.7	0.0	16.3	2.3	16.3	11.6
	あてはまらない	125	74.4	8.0	13.6	0.8	9.6	3.2	12.0	5.6
介助者の年齢	19歳以下	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	50.0	12.5	12.5	0.0	8.3	0.0	20.8	12.5
	40～59歳	155	60.6	16.8	12.3	1.3	18.1	3.9	7.1	8.4
	60歳代	99	64.6	16.2	8.1	1.0	14.1	0.0	7.1	14.1
	70歳代	116	57.8	13.8	6.0	0.0	13.8	5.2	12.1	12.1
	80歳以上	73	58.9	20.5	6.8	6.8	16.4	0.0	8.2	19.2
	わからない	41	14.6	31.7	7.3	2.4	29.3	9.8	19.5	14.6
生活困窮	ゆとりがある	42	66.7	16.7	16.7	2.4	19.0	2.4	9.5	4.8
	まあまあゆとりがある	302	56.6	18.5	10.9	1.3	15.9	2.6	10.9	12.6
	やや苦しい	291	50.5	16.2	8.2	0.7	13.1	3.8	13.1	13.7
	不自由が多く、生活が苦しい	58	37.9	13.8	13.8	5.2	13.8	5.2	32.8	5.2
サービス	利用している	240	50.0	19.2	9.6	2.1	31.7	4.2	9.6	12.1
	利用していない	418	58.6	16.0	11.2	1.2	5.7	2.6	16.0	9.3
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	42.3	16.9	9.9	4.2	22.5	7.0	11.3	15.5
	視覚障害がある	29	44.8	24.1	10.3	0.0	13.8	0.0	10.3	24.1
	聴覚障害がある	44	47.7	25.0	6.8	2.3	11.4	2.3	11.4	15.9

⑲ 災害で不安なこと

問　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。
（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	49	49	52	51	50	51

全体でみると、「避難所の場所がわからない」が 25.5%と最も高く、次いで「障害の特性上、避難所にいることが困難」が 23.3%、「避難所での他人とのコミュニケーション」が 22.1%となっている。

障害種別でみると、知的・精神・自立は「避難所の場所がわからない」の割合が高く３割を超えている。また、知的では「避難所での他人とのコミュニケーション」が 54.5%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、「避難所での他人とのコミュニケーション」は高齢になるにつれて低くなるものの、『20～39 歳』では４割以上となっている。

介助者の年齢別では、介護者の年齢が『20～39 歳』では「障害の特性上、避難所にいることが困難」「避難所での他人とのコミュニケーション」の割合が４割以上となっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層ではあらゆる不安が高くなっており、とくに「避難所の場所がわからない」は 46.6%と半数近くを占めている。

【障害種別の集計】

		調査数	避難所の場所がわからない	災害や避難の情報の入手方法がわからない	避難時に介助してくれる人がいない	助けを呼ぶための手段がない	避難所で十分な医療的ケアが受けられない	障害の特性上、避難所にいることが困難	避難所での他人とのコミュニケーション	その他	特にない	無回答
全体		741	25.5	21.5	15.1	13.0	18.8	23.3	22.1	7.6	21.3	10.0 (%)
障害種別	身体	427	20.6	18.3	15.0	10.8	15.5	21.5	13.3	6.8	24.1	10.3
	知的	101	34.7	31.7	14.9	17.8	15.8	34.7	54.5	5.0	9.9	10.9
	精神	77	35.1	26.0	16.9	15.6	26.0	24.7	33.8	9.1	13.0	10.4
	自立	40	37.5	32.5	15.0	22.5	22.5	20.0	35.0	12.5	25.0	2.5
	難病	95	24.2	16.8	13.7	11.6	29.5	20.0	12.6	10.5	26.3	10.5

【属性別の集計】

		調査数	避難所の場所がわからない	災害や避難の情報の入手方法がわからない	避難時に介助してくれる人がいない	助けを呼ぶための手段がない	避難所で十分な医療的ケアが受けられない	障害の特性上、避難所にいることが困難	避難所での他人とのコミュニケーション	その他	特にない	無回答
全体		741	25.5	21.5	15.1	13.0	18.8	23.3	22.1	7.6	21.3	10.0 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	80.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	36.0	26.0	12.0	10.0	16.0	28.0	42.0	8.0	10.0	14.0
	30～39歳	47	29.8	21.3	12.8	10.6	21.3	19.1	42.6	12.8	25.5	0.0
	40～49歳	82	29.3	28.0	14.6	17.1	22.0	25.6	31.7	13.4	23.2	4.9
	50～59歳	102	26.5	19.6	18.6	10.8	18.6	26.5	26.5	10.8	20.6	5.9
	60～64歳	37	32.4	27.0	16.2	13.5	32.4	35.1	24.3	10.8	8.1	5.4
	65～69歳	77	22.1	23.4	16.9	13.0	13.0	22.1	11.7	5.2	20.8	14.3
	70歳以上	330	22.1	19.1	14.8	13.3	18.2	20.0	14.2	4.5	23.9	12.7
世帯構成	ひとり暮らし	146	27.4	20.5	22.6	15.8	17.1	19.9	17.1	11.6	17.8	12.3
	核家族世帯	478	26.4	22.6	14.0	13.6	20.5	23.0	23.4	6.7	21.5	9.2
	三世代世帯	62	24.2	22.6	12.9	6.5	17.7	33.9	29.0	6.5	24.2	3.2
	その他の世帯	42	14.3	14.3	4.8	9.5	7.1	26.2	21.4	4.8	23.8	19.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	27.2	26.2	13.4	15.5	19.7	23.4	21.7	5.5	23.4	9.3
	障害者手帳所持者がいる	103	29.1	29.1	14.6	15.5	19.4	19.4	28.2	1.9	22.3	11.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	0.0	15.4	7.7	7.7	7.7	15.4	30.8	15.4	38.5	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	37.2	27.9	11.6	18.6	16.3	27.9	25.6	4.7	25.6	9.3
	あてはまらない	125	23.2	20.8	12.0	8.0	20.0	22.4	24.0	12.0	20.0	6.4
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	20.8	25.0	16.7	4.2	16.7	45.8	41.7	16.7	12.5	4.2
	40～59歳	155	27.1	18.1	21.3	9.7	20.0	24.5	28.4	7.7	16.1	8.4
	60歳代	99	28.3	20.2	5.1	11.1	15.2	28.3	22.2	3.0	19.2	13.1
	70歳代	116	25.0	27.6	12.9	18.1	19.8	23.3	18.1	3.4	20.7	12.1
	80歳以上	73	28.8	23.3	20.5	15.1	21.9	27.4	21.9	4.1	13.7	12.3
	わからない	41	26.8	26.8	24.4	17.1	31.7	26.8	22.0	7.3	12.2	12.2
生活困窮	ゆとりがある	42	19.0	16.7	4.8	2.4	7.1	19.0	21.4	4.8	40.5	4.8
	まあまあゆとりがある	302	23.5	20.2	13.2	9.6	17.9	20.5	19.2	8.3	24.5	9.6
	やや苦しい	291	25.8	21.6	13.7	13.7	21.3	26.5	24.4	6.9	17.5	10.0
	不自由が多く、生活が苦しい	58	46.6	34.5	36.2	34.5	29.3	36.2	31.0	10.3	12.1	3.4
サービス	利用している	240	31.7	25.4	21.7	17.9	20.8	32.1	30.8	5.4	11.3	11.3
	利用していない	418	21.5	19.4	12.0	9.6	17.0	19.6	18.2	8.9	29.9	6.5
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	33.8	23.9	36.6	21.1	33.8	45.1	21.1	7.0	9.9	2.8
	視覚障害がある	29	37.9	13.8	24.1	10.3	13.8	20.7	6.9	3.4	31.0	13.8
	聴覚障害がある	44	18.2	20.5	6.8	9.1	11.4	6.8	34.1	4.5	22.7	11.4

7.　西東京市について

①　障害者施策について満足しているか

問　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。
（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	50	50	53	52	51	52

全体でみると、「わからない」が 30.1%と最も高く、次いで「どちらでもない」が 25.4%、「やや満足」が 17.9%となっている。

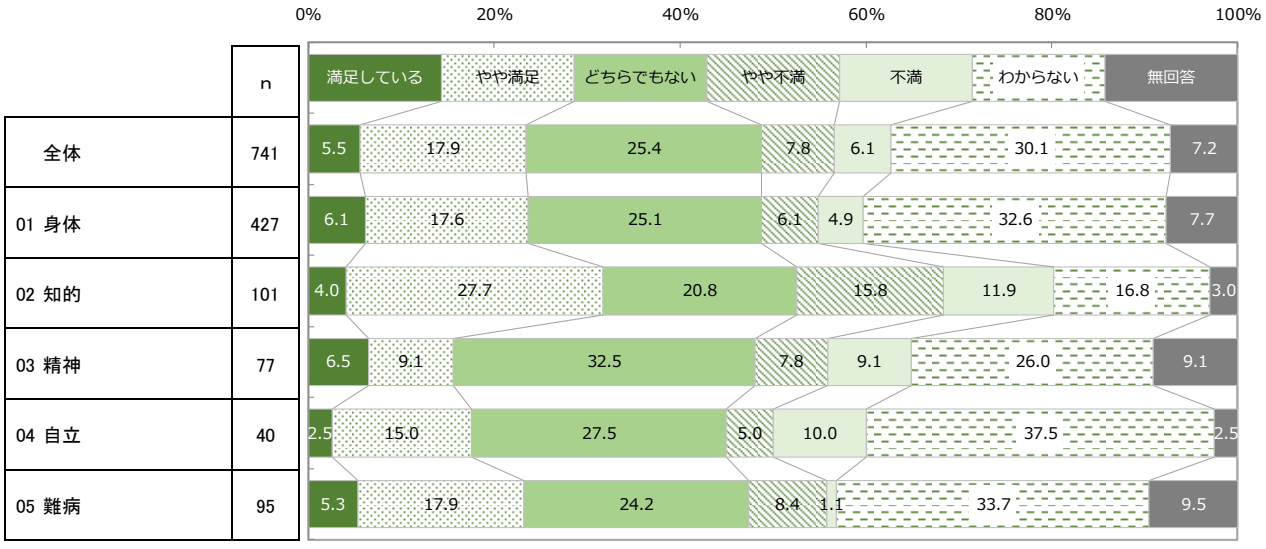
障害種別でみると、知的をのぞくすべての種別で「わからない」が３～４割を占めている。また、「不満」「やや不満」は知的で 27.7%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、高齢になるにつれて「わからない」が高くなる傾向がある。一方で「不満」「やや不満」は『39 歳以下』で３～４割を占めている。

生活困窮状況別では、『ゆとりがある』層では「満足」「やや満足」が 33.4%と高いが、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「不満」「やや不満」が 32.8%となっている。

サービス利用別では、『利用している』では「満足」「やや満足」が 33.3%と高く、『利用していない』では「わからない」が 35.9%と高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない	無回答
全体	741	5.5	17.9	25.4	7.8	6.1	30.1	7.2
01 身体	427	6.1	17.6	25.1	6.1	4.9	32.6	7.7
02 知的	101	4.0	27.7	20.8	15.8	11.9	16.8	3.0
03 精神	77	6.5	9.1	32.5	7.8	9.1	26.0	9.1
04 自立	40	2.5	15.0	27.5	5.0	10.0	37.5	2.5
05 難病	95	5.3	17.9	24.2	8.4	1.1	33.7	9.5

【属性別の集計】

		調査数	満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない	無回答
全体		741	5.5	17.9	25.4	7.8	6.1	30.1	7.2 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	6.0	34.0	14.0	22.0	6.0	16.0	2.0
	30～39歳	47	4.3	12.8	36.2	8.5	23.4	12.8	2.1
	40～49歳	82	4.9	25.6	23.2	6.1	8.5	28.0	3.7
	50～59歳	102	5.9	17.6	27.5	5.9	5.9	31.4	5.9
	60～64歳	37	0.0	21.6	37.8	5.4	0.0	27.0	8.1
	65～69歳	77	9.1	13.0	26.0	10.4	5.2	26.0	10.4
	70歳以上	330	5.5	15.5	23.6	6.4	3.9	36.4	8.8
世帯構成	ひとり暮らし	146	7.5	17.8	22.6	6.2	7.5	30.8	7.5
	核家族世帯	478	4.6	16.9	26.4	7.5	5.6	32.2	6.7
	三世代世帯	62	6.5	24.2	24.2	14.5	3.2	21.0	6.5
	その他の世帯	42	7.1	23.8	23.8	9.5	9.5	16.7	9.5
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	6.2	15.5	22.8	7.2	6.6	33.1	8.6
	障害者手帳所持者がいる	103	2.9	19.4	30.1	10.7	2.9	24.3	9.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	7.7	7.7	23.1	7.7	15.4	38.5	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	4.7	23.3	25.6	7.0	4.7	16.3	18.6
	あてはまらない	125	3.2	20.8	26.4	11.2	5.6	29.6	3.2
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20～39歳	24	4.2	20.8	16.7	12.5	12.5	33.3	0.0
	40～59歳	155	3.9	22.6	28.4	14.8	3.9	22.6	3.9
	60歳代	99	3.0	16.2	24.2	11.1	7.1	32.3	6.1
	70歳代	116	2.6	19.0	26.7	6.0	3.4	32.8	9.5
	80歳以上	73	8.2	17.8	19.2	2.7	5.5	35.6	11.0
	わからない	41	12.2	14.6	29.3	4.9	2.4	24.4	12.2
生活困窮	ゆとりがある	42	2.4	31.0	23.8	4.8	0.0	38.1	0.0
	まあまあゆとりがある	302	6.6	20.5	25.5	6.6	2.0	31.8	7.0
	やや苦しい	291	5.5	13.7	29.6	9.3	9.3	24.4	8.2
	不自由が多く、生活が苦しい	58	1.7	6.9	17.2	13.8	19.0	39.7	1.7
サービス	利用している	240	8.3	25.0	21.7	12.5	8.8	16.3	7.5
	利用していない	418	4.3	14.8	28.5	5.7	5.0	35.9	5.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	9.9	19.7	21.1	16.9	7.0	19.7	5.6
	視覚障害がある	29	3.4	17.2	20.7	3.4	10.3	37.9	6.9
	聴覚障害がある	44	6.8	15.9	22.7	4.5	2.3	38.6	9.1

② 自宅以外で居心地がいい場所

問　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。
（○は１つだけ）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	51	51	54	53	52	53

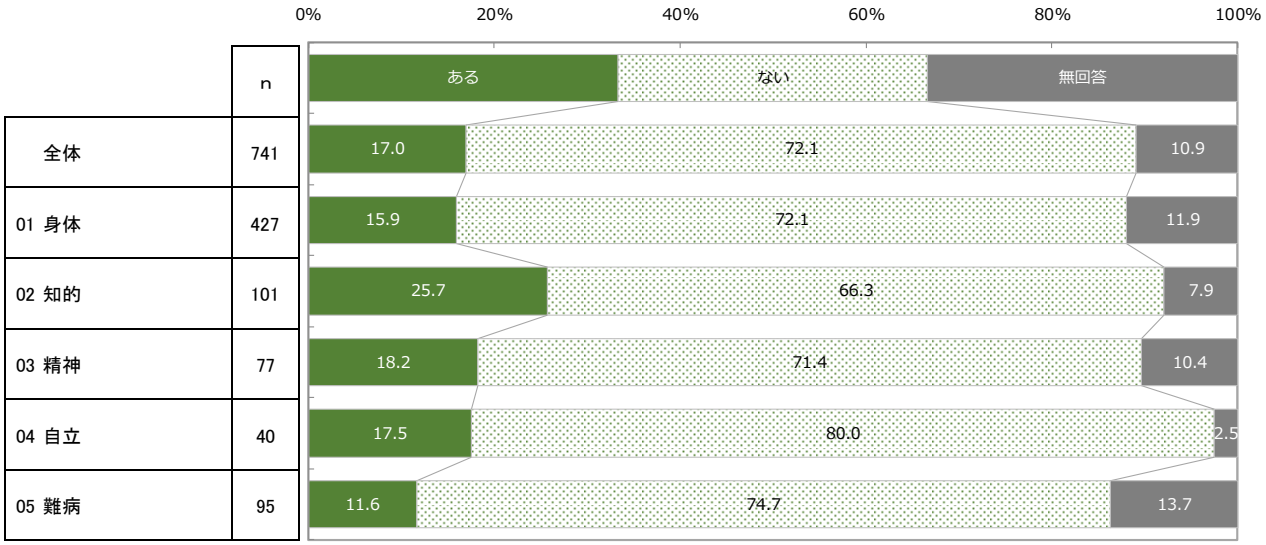
全体でみると、「ない」が 72.1%と最も高く、次いで「ある」が 17.0%、「無回答」が 10.9%となっている。

障害種別でみると、知的をのぞくすべての種別で「ない」が７割を上回っている。知的では「ない」が 66.3%、「ある」が 25.7%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では『20～29 歳』では「ある」が 34.0%と高くなっている。

サービスの利用別では、『利用している』では『利用していない』に比べて「ある」が高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	ある	ない	無回答
全体		741	17.0	72.1	10.9 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	0.0	100.0	0.0
	20～29歳	50	34.0	58.0	8.0
	30～39歳	47	17.0	80.9	2.1
	40～49歳	82	20.7	76.8	2.4
	50～59歳	102	17.6	73.5	8.8
	60～64歳	37	18.9	75.7	5.4
	65～69歳	77	15.6	67.5	16.9
	70歳以上	330	13.9	71.8	14.2
世帯構成	ひとり暮らし	146	16.4	71.9	11.6
	核家族世帯	478	15.7	73.8	10.5
	三世代世帯	62	21.0	71.0	8.1
	その他の世帯	42	28.6	54.8	16.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	14.8	74.1	11.0
	障害者手帳所持者がいる	103	17.5	71.8	10.7
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	23.1	76.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	18.6	72.1	9.3
	あてはまらない	125	21.6	68.8	9.6
介助者の年齢	19歳以下	2	0.0	100.0	0.0
	20～39歳	24	33.3	58.3	8.3
	40～59歳	155	21.3	70.3	8.4
	60歳代	99	12.1	74.7	13.1
	70歳代	116	10.3	77.6	12.1
	80歳以上	73	8.2	72.6	19.2
	わからない	41	14.6	78.0	7.3
生活困窮	ゆとりがある	42	26.2	69.0	4.8
	まあまあゆとりがある	302	18.5	71.2	10.3
	やや苦しい	291	13.7	74.9	11.3
	不自由が多く、生活が苦しい	58	15.5	79.3	5.2
サービス	利用している	240	22.9	66.3	10.8
	利用していない	418	13.6	79.7	6.7
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	18.3	77.5	4.2
	視覚障害がある	29	17.2	69.0	13.8
	聴覚障害がある	44	15.9	72.7	11.4

③ 具体的な場所

問　その場所を具体的にお答えください。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	52	52	55	54	53	54

自由意見	126 件
福祉施設	49 件
趣味の場所	21 件
公共施設（図書館、体育館、公民館など）	15 件
家族・親戚の家	13 件
近所の公園	10 件
友人・知人の家	5 件
病院	5 件
近所の飲食店	4 件
その他	17 件

自由意見　（一部抜粋）

【福祉施設】

- ●ほうや福祉作業所
- ●グループホーム（今現在くらしているところ）、作業所
- ●ケアこげら西東京、障害者就労支援センター「一歩」、地域活動支援センター「ブルーム」、保谷スポーツセンター、田無公民館
- ●就労移行支援事業所に通所しています。ウェルビー三鷹センターという所ですが、スタッフも利用者さんも良い人が多く、通所しやすいです。居心地が良いです。
- ●リハビリ施設に通所している。「元気ジム」の様な機能訓練で、運動機能を重点的にやっている。介護施設で、体のバランスを整えたり、体感を目的にしている所が他にはなかなかない!!市の施設で、元気ジムの様な機能訓練を目的にリハビリが出来る施設を作って頂けたらと、常に思っています。

【趣味の場所】

- ●柳沢公民館で陶芸をしている。
- ●指のリハビリの為のピアノ教室。指の筋力が減少していて、つらいが、それでもピアノ教師のはげましが有り、つかのまの時間であるが楽しい。

④ 障害者施策で充実してほしいこと

問　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、お答えください。　（○はいくつでも）

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	53	53	56	55	54	55

全体でみると、「家族などの介護者の負担を軽減するための支援を充実させること」が 48.0%と最も高く、次いで「障害者福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること」が 43.6%、「障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること」が 37.8%となっている。

障害種別でみると、「家族などの介護者の負担を軽減するための支援を充実させること」は知的・自立で半数を超えており、知的では 63.4%、自立では 50.0%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が若いほど様々な課題への関心が高くなっている。

同居人の特徴別では、『妊婦や小学生以下の子どもがいる』世帯では「障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること」「障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと」の割合が高くなっている。

特徴的な状態別では、『医療的ケアを受けている』は「障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること」の割合が 56.3%と高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	障害福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること	障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること	市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること	障害のある人が働くための機会を創出すること	障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	障害のある人が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	障害のある人が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	地域のボランティア活動を充実させること	その他	不足していることはない	無回答
全体		741	43.6	36.4	19.0	26.6	25.9	21.6	29.1	31.3	29.6	37.8	19.6	48.0	16.2	5.3	4.6	12.4
障害種別	身体	427	39.3	28.1	19.7	27.6	21.3	21.3	23.2	31.4	27.9	33.7	17.1	47.3	14.5	5.2	5.4	13.1
	知的	101	54.5	60.4	16.8	21.8	46.5	28.7	46.5	41.6	38.6	58.4	28.7	63.4	32.7	4.0	2.0	5.0
	精神	77	51.9	42.9	16.9	24.7	40.3	13.0	42.9	22.1	24.7	37.7	24.7	39.0	13.0	5.2	1.3	15.6
	自立	40	47.5	50.0	20.0	32.5	20.0	25.0	45.0	20.0	45.0	50.0	30.0	50.0	7.5	2.5	15.0	0.0
	難病	95	42.1	36.8	18.9	25.3	15.8	21.1	20.0	32.6	24.2	28.4	12.6	42.1	12.6	8.4	2.1	20.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	障害福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること	障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること	市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること	障害のある人が働くための機会を創出すること	障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	障害のある人が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	障害のある人が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	地域のボランティア活動を充実させること	その他	不足していることはない	無回答
全体		741	43.6	36.4	19.0	26.6	25.9	21.6	29.1	31.3	29.6	37.8	19.6	48.0	16.2	5.3	4.6	12.4 (%)
本人の年齢	18～19歳	5	40.0	60.0	20.0	0.0	20.0	40.0	80.0	40.0	40.0	60.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	50	56.0	58.0	12.0	22.0	50.0	30.0	58.0	28.0	42.0	62.0	30.0	66.0	28.0	4.0	0.0	2.0
	30～39歳	47	53.2	44.7	10.6	25.5	27.7	34.0	57.4	21.3	34.0	38.3	21.3	61.7	21.3	4.3	4.3	4.3
	40～49歳	82	54.9	47.6	23.2	34.1	45.1	26.8	42.7	37.8	47.6	58.5	25.6	54.9	15.9	6.1	6.1	2.4
	50～59歳	102	44.1	40.2	11.8	27.5	24.5	19.6	37.3	22.5	26.5	37.3	20.6	41.2	14.7	4.9	6.9	15.7
	60～64歳	37	48.6	37.8	27.0	32.4	35.1	18.9	27.0	37.8	27.0	45.9	18.9	45.9	13.5	5.4	0.0	5.4
	65～69歳	77	36.4	28.6	15.6	24.7	15.6	11.7	19.5	29.9	19.5	24.7	13.0	40.3	13.0	6.5	9.1	18.2
	70歳以上	330	39.1	30.3	22.7	26.1	19.7	20.9	17.3	34.8	27.0	31.8	18.2	46.1	16.1	5.2	3.6	16.4
世帯構成	ひとり暮らし	146	42.5	35.6	19.2	20.5	19.9	17.8	24.0	31.5	23.3	36.3	14.4	27.4	10.3	5.5	6.2	20.5
	核家族世帯	478	45.0	37.0	20.1	28.5	28.2	22.4	31.4	31.6	31.6	37.0	20.7	51.7	17.6	5.4	4.2	10.3
	三世代世帯	62	48.4	38.7	19.4	33.9	27.4	32.3	37.1	33.9	35.5	45.2	27.4	67.7	24.2	6.5	3.2	6.5
	その他の世帯	42	31.0	33.3	9.5	21.4	21.4	14.3	16.7	31.0	26.2	50.0	16.7	54.8	11.9	0.0	4.8	16.7
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	290	45.5	37.2	22.1	31.4	27.6	21.0	29.0	33.4	30.7	38.6	22.4	53.4	17.9	4.5	4.8	10.7
	障害者手帳所持者がいる	103	48.5	37.9	15.5	25.2	27.2	21.4	25.2	31.1	22.3	31.1	19.4	49.5	14.6	1.9	5.8	7.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	13	46.2	30.8	30.8	53.8	23.1	76.9	46.2	15.4	15.4	30.8	7.7	53.8	23.1	7.7	7.7	7.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	43	41.9	46.5	14.0	30.2	27.9	20.9	23.3	32.6	32.6	44.2	25.6	69.8	16.3	4.7	7.0	9.3
	あてはまらない	125	48.0	37.6	19.2	21.6	30.4	25.6	35.2	30.4	33.6	38.4	20.0	55.2	15.2	7.2	3.2	8.0
介助者の年齢	19歳以下	2	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20～39歳	24	41.7	29.2	16.7	33.3	16.7	20.8	25.0	33.3	25.0	29.2	8.3	50.0	16.7	8.3	8.3	12.5
	40～59歳	155	49.0	38.7	15.5	28.4	31.6	25.8	37.4	36.1	32.9	40.6	21.3	59.4	19.4	5.8	1.9	7.7
	60歳代	99	41.4	37.4	17.2	24.2	24.2	16.2	27.3	35.4	34.3	41.4	21.2	50.5	21.2	4.0	6.1	6.1
	70歳代	116	40.5	34.5	26.7	35.3	25.0	25.0	26.7	27.6	33.6	31.9	21.6	44.8	13.8	6.0	6.9	12.9
	80歳以上	73	38.4	34.2	20.5	26.0	26.0	17.8	20.5	35.6	30.1	31.5	23.3	46.6	15.1	5.5	0.0	26.0
	わからない	41	34.1	41.5	22.0	22.0	26.8	17.1	17.1	34.1	31.7	43.9	22.0	36.6	12.2	2.4	7.3	12.2
生活困窮	ゆとりがある	42	35.7	28.6	14.3	31.0	23.8	23.8	23.8	23.8	31.0	42.9	16.7	50.0	14.3	4.8	7.1	9.5
	まあまあゆとりがある	302	42.1	32.5	21.5	28.1	25.8	19.5	28.5	33.4	30.1	35.1	20.2	46.7	18.2	4.6	4.3	13.9
	やや苦しい	291	45.0	39.9	15.8	23.0	24.1	22.3	29.2	30.6	28.2	39.9	19.9	49.8	14.1	4.1	4.5	10.0
	不自由が多く、生活が苦しい	58	60.3	55.2	29.3	34.5	39.7	29.3	37.9	37.9	37.9	50.0	20.7	50.0	17.2	13.8	6.9	6.9
サービス	利用している	240	50.0	46.7	19.6	30.0	33.3	23.8	33.3	39.2	37.1	47.5	25.4	58.8	21.3	5.4	2.9	7.1
	利用していない	418	41.9	32.3	19.4	24.6	22.0	21.8	28.9	26.8	25.8	33.3	18.4	43.3	14.1	5.7	6.2	12.0
特徴的な状態	医療的ケアを受けている	71	49.3	45.1	29.6	35.2	29.6	18.3	22.5	56.3	33.8	46.5	21.1	63.4	14.1	8.5	1.4	8.5
	視覚障害がある	29	34.5	41.4	24.1	24.1	27.6	24.1	24.1	31.0	34.5	41.4	20.7	51.7	31.0	0.0	3.4	17.2
	聴覚障害がある	44	36.4	27.3	9.1	15.9	22.7	18.2	15.9	15.9	25.0	20.5	13.6	34.1	11.4	6.8	4.5	13.6

⑤ ご意見・ご要望

問　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

調査票名	身体	知的	精神	自立	難病	発達
設問番号	54	54	57	56	55	56

自由意見	188 件
福祉サービスについて	33 件
行政について（手続きなど）	28 件
暮らしについて	17 件
まちづくり全般について	15 件
障害者差別・理解の推進について	12 件
移動・交通機関について	11 件
相談先について	9 件
余暇活動について	3 件
医療機関について	3 件
その他（感想など）	88 件

自由意見　（一部抜粋）

【福祉サービスについて】

- ●介護保険でないと入浴施設が利用できない現状のため、そうでない人でも利用できるように改善してほしい。障害者施設を増やしてほしい。
- ●家族は介護をする為に自宅をバリアフリー化にしました。この時も手つづきが出来る事を知りませんでした。介護をしていて、少しでも良くなるように、リハビリや治験に参加などもしましたが金銭的にも辛く、子供を作る事も出来ていません。本人は施設に入るのは嫌がり、入れたとしても高くてついていけません。ショートステイも利用しているが、月に何回も行ける余裕なんてありません。介護する側の心が折れてしまうような事も多々あります。少しでも要介護者、家族が楽になれるようにしてもらえると助かります。
- ●西東京市に働ける場所がない。就労移行等で利用できる所が市内にない。
- ●障害者に対するグループホームや、施設が他の市と比べると少ないと思う。
- ●ひきこもりの障害者が外へ出られるよう段階的なサービス・施設が多くなる事を望みます。ほうや福祉作業所

【行政について（手続きなど）】

- ●障害者手帳（4 級、2 種）を持っていますが、普段の生活では特に不便は感じていません。ただ、サービス等の情報を得るには市報等の情報誌をしっかり読まないと、知らないままで、その恩恵を受けられない場合があります。その辺の、情報提供の仕方の一考が必要と感じています。
- ●重度障害者に対しては対策を考えているようですが、軽度の人でも不便に思うこと多々あります。旧保谷市役所に偏っていると思います。全地域で活動できるといいと思います。
- ●土、日対応もできる支援をもう少し考えてほしい。
- ●障害の程度は個々の違いが有り、すべて満足のいく支援を望むことは無理だと思う。正直最善の支援はできないと思う。自分で、出来ることは、身体の許す限り、自分でやる。市としては個々

の状態を的確に把握していくことが大事と思います。

●いずれ先に親は亡くなります。親亡き後も、障害を持った子が、大好きな西東京に住み続けて行けるよう、ご支援どうぞよろしくお願いいたします。毎年、行われるサービスを受給するための更新の手続きを、私が亡くなったら誰がするのだろうと思います。先天性の息子の障害は、悪くなることはあっても良くなることはありえません。そういう人のための更新手続きを考慮していただけたらと思います。

【暮らしについて】

●年齢を重ねた後の住まいが心配の無い状態に西東京市でしっかり考えてほしく希望します。

●グループホームで毎日生活して、平日は作業所に行っています。今はまだ元気ですが、歩くのが大変になったり、グループホームにいられなくなったら、と思うと、不安です。介護ホームに変わればよいと言われましたが、そうすると障害者のサービスは受けられなくなるそうです。お金も足りないし、本当に困ります。

●子どもが、グループホームに入所して、安心しているところがありますが、最後は親亡き後の問題です。成年後見人の問題です。本当に信頼できる人や機関を捜すのが難しいです。

●低所得のため生活が苦しい。親 2 人を養うので精一杯。

●年齢もありますが、子ども主人も居ないので心配ばかりですが何年先の事か解りませんが借りアパート生活なので生活費が不安です。

【まちづくり全般について】

●高齢になっても、障がいが重くなっても住み慣れたこの地域で暮らしたいです。そんな西東京市であってほしいと願っています。

●災害時の避難所についてのお願い。一般の人とは別に車イスでも生活できるような施設があると大変助かります。

●歩道が狭かったり、見通しの悪い道があったりすると、歩きにくくて怖いので、整備していただけると、うれしいです。特に、車とすれ違うような細い道も怖いです。

●障害者が自立して生活できる環境づくりが大切。そのためには、公共のデザインや技術の仕様を、障害者も使いやすいユニバーサルデザインにすることが大切。（エレベータまで遠い、どこにあるかわからない、エスカレーターがのぼりだけ etc）要改善。外出がおっくうになり引きこもりがちになる。外出すると松葉づえや車いすで移動している人が少なく感じる。障害者のためのルートナビがあると助かる。移動しやすい道づくり、利用しやすい公共交通。多数ある障害と一般人との接し方の宣教。

●重度の生活介護の通所施設は定員がいっぱいで、事故なども起こり危険だと思います。もう少しゆったり過ごせるように施設を増やしてほしい。また、車いすの人も安全に過ごせるように避難経路など確保、スロープの増設など、お願いしたい。ショートステイも市内で、できる施設があるとありがたい。

Ⅲ　調査結果

～障害児調査～

Ⅲ. 調査結果　～障害児調査～

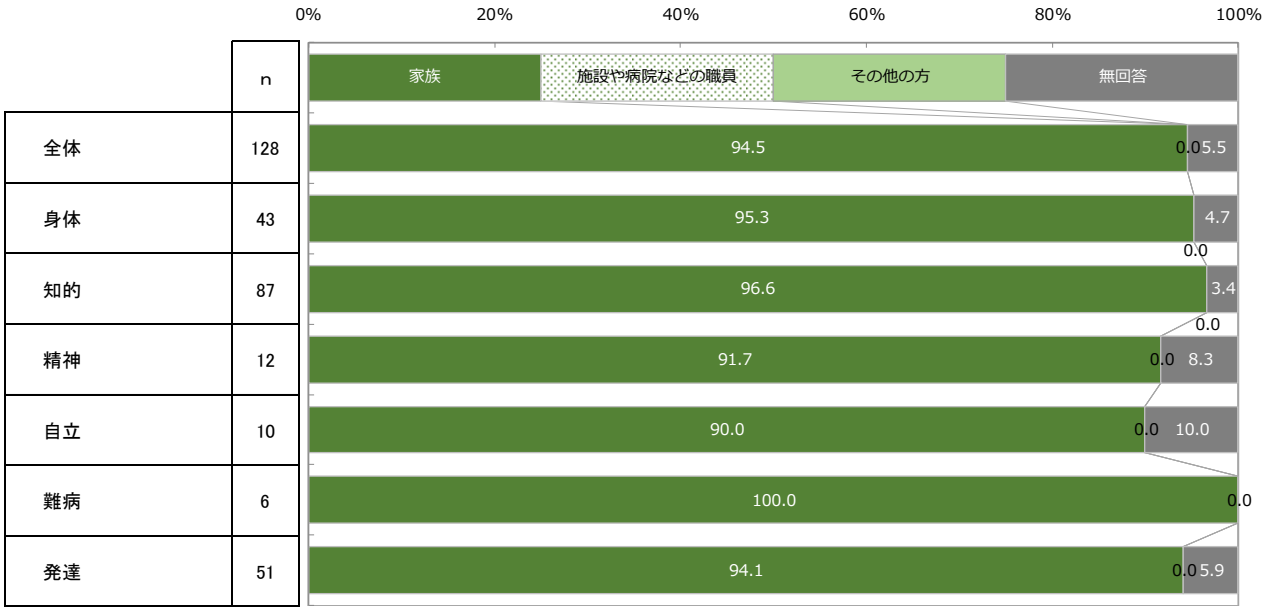
1.　対象者について

①　調査票の記入者

問１　この調査票を記入されるのはどなたですか。　（○はひとつ）

全体でみると、「家族」が 94.5%と大半を占めている。
障害種別・属性別でみても、「家族」による回答が大半を占めている。

【障害種別の集計】



	n	家族	施設や病院などの職員	その他の方	無回答
全体	128	94.5	0.0		5.5
身体	43	95.3	0.0		4.7
知的	87	96.6	0.0		3.4
精神	12	91.7	0.0		8.3
自立	10	90.0	0.0		10.0
難病	6	100.0	0.0		0.0
発達	51	94.1	0.0		5.9

【属性別の集計】

		調査数	家族（本人の立場に立って記入）	施設や病院などの職員（本人の立場に立って記入）	その他の方（本人の立場に立って記入）	無回答
全体		128	94.5	0.0	0.0	5.5 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	91.7	0.0	0.0	8.3
	6～8歳	18	88.9	0.0	0.0	11.1
	9～11歳	34	97.1	0.0	0.0	2.9
	12～14歳	26	92.3	0.0	0.0	7.7
	15～17歳	36	97.2	0.0	0.0	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	95.8	0.0	0.0	4.2
	三世代世帯	9	77.8	0.0	0.0	22.2
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	80.0	0.0	0.0	20.0
	障害者手帳所持者がいる	16	100.0	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	91.2	0.0	0.0	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	100.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	96.8	0.0	0.0	3.2
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	94.7	0.0	0.0	5.3
	40～59歳	90	94.4	0.0	0.0	5.6
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	98.0	0.0	0.0	2.0
	やや苦しい	60	91.7	0.0	0.0	8.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	100.0	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	84	94.0	0.0	0.0	6.0
	利用していない	40	95.0	0.0	0.0	5.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	90.0	0.0	0.0	10.0
	医療的ケアを受けている	8	87.5	0.0	0.0	12.5
	視覚障害がある	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	100.0	0.0	0.0	0.0

② 年齢

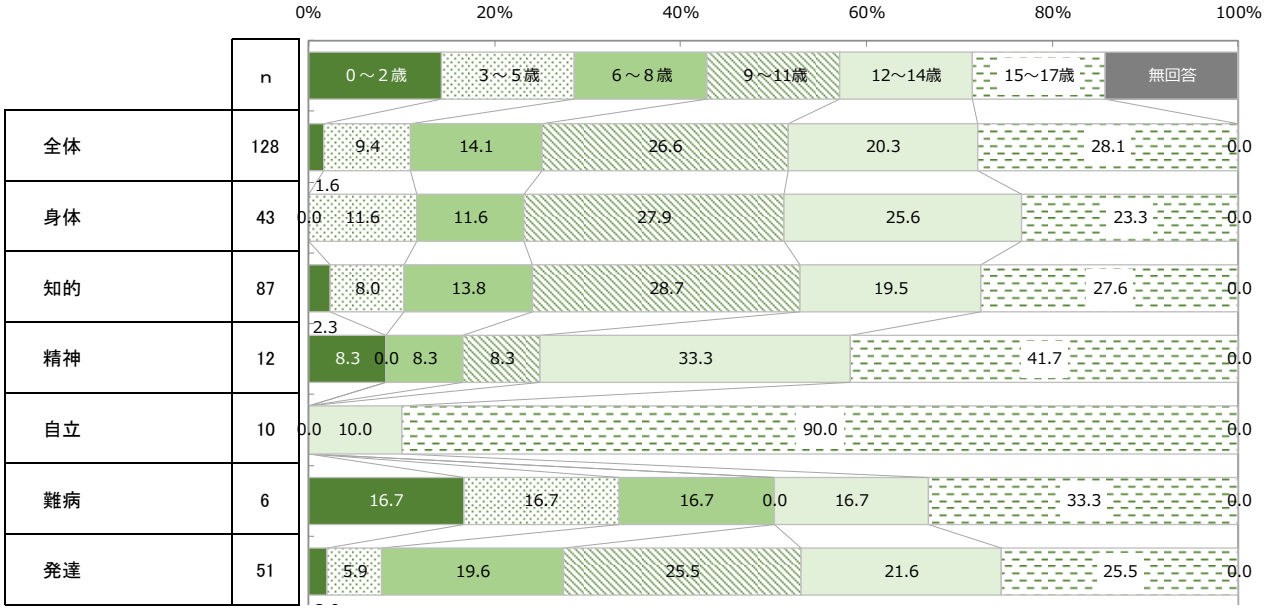
問２　お子さまの年齢をお答えください。（令和元年 10 月１日現在）　（○は１つだけ）

全体でみると、「15～17 歳」が 28.1%と最も高く、次いで「9～11 歳」が 26.6%、「12～14 歳」が 20.3%となっている。

障害種別では、自立は「15~17 歳」が多く 90.0%となっている。

属性別では、結果に大きな差はみられなかった。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳
全体		128	1.6	9.4	14.1	26.6	20.3	28.1
本人の年齢	0～2歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～8歳	18	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	9～11歳	34	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	12～14歳	26	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	15～17歳	36	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
世帯構成	核家族世帯	119	1.7	10.1	13.4	26.9	20.2	27.7
	三世代世帯	9	0.0	0.0	22.2	22.2	22.2	33.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	0.0	20.0	20.0	30.0	30.0
	障害者手帳所持者がいる	16	0.0	6.3	12.5	25.0	18.8	37.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	14.7	32.4	29.4	2.9	14.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
	あてはまらない	63	0.0	7.9	3.2	30.2	27.0	31.7
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	10.5	15.8	47.4	21.1	0.0	5.3
	40～59歳	90	0.0	8.9	6.7	30.0	23.3	31.1
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0
	まあまあゆとりがある	50	0.0	10.0	10.0	34.0	16.0	30.0
	やや苦しい	60	3.3	8.3	16.7	26.7	21.7	23.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	0.0	14.3	14.3	42.9	28.6
サービス	利用している	84	2.4	9.5	14.3	29.8	20.2	23.8
	利用していない	40	0.0	10.0	10.0	20.0	20.0	40.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	10.0	5.0	40.0	20.0	25.0
	医療的ケアを受けている	8	12.5	25.0	0.0	12.5	25.0	25.0
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0

(%)

③ 暮らしている場所

問３　お子さまは、現在どこで暮らしていますか。　（○は１つだけ）

全体でみると、「持ち家」が 76.6%と最も高く、次いで「賃貸住宅」23.4%の割合となっている。

障害種別でみると、すべての種別で「持ち家」が６割を超えており、それ以外は「賃貸住宅」となっている。

属性別でみると、生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「持ち家」は 57.1%と低くなっており、一方で「賃貸住宅」が 42.9%と高くなっている。

【障害種別の集計】

	n	持ち家	賃貸住宅	障害児入所施設	病院（入院している）	その他	無回答
全体	128	76.6	23.4				0.0
身体	43	81.4	18.6				0.0
知的	87	73.6	26.4				0.0
精神	12	66.7	33.3				0.0
自立	10	70.0	30.0				0.0
難病	6	66.7	33.3				0.0
発達	51	72.5	27.5				0.0

【属性別の集計】

		調査数	持ち家（分譲マンションを含む）	賃貸住宅（アパート・マンション・借家）	障害児入所施設	病院（入院している）	その他
全体		128	76.6	23.4	0.0	0.0	0.0 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	6～8歳	18	72.2	27.8	0.0	0.0	0.0
	9～11歳	34	91.2	8.8	0.0	0.0	0.0
	12～14歳	26	73.1	26.9	0.0	0.0	0.0
	15～17歳	36	72.2	27.8	0.0	0.0	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	75.6	24.4	0.0	0.0	0.0
	三世代世帯	9	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	81.3	18.8	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	79.4	20.6	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	74.6	25.4	0.0	0.0	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	73.7	26.3	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	90	75.6	24.4	0.0	0.0	0.0
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	82.0	18.0	0.0	0.0	0.0
	やや苦しい	60	71.7	28.3	0.0	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	84	77.4	22.6	0.0	0.0	0.0
	利用していない	40	72.5	27.5	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

④ バリアフリー対応

問４　お子さまの住まいはバリアフリーに対応していますか。　（○は１つだけ）

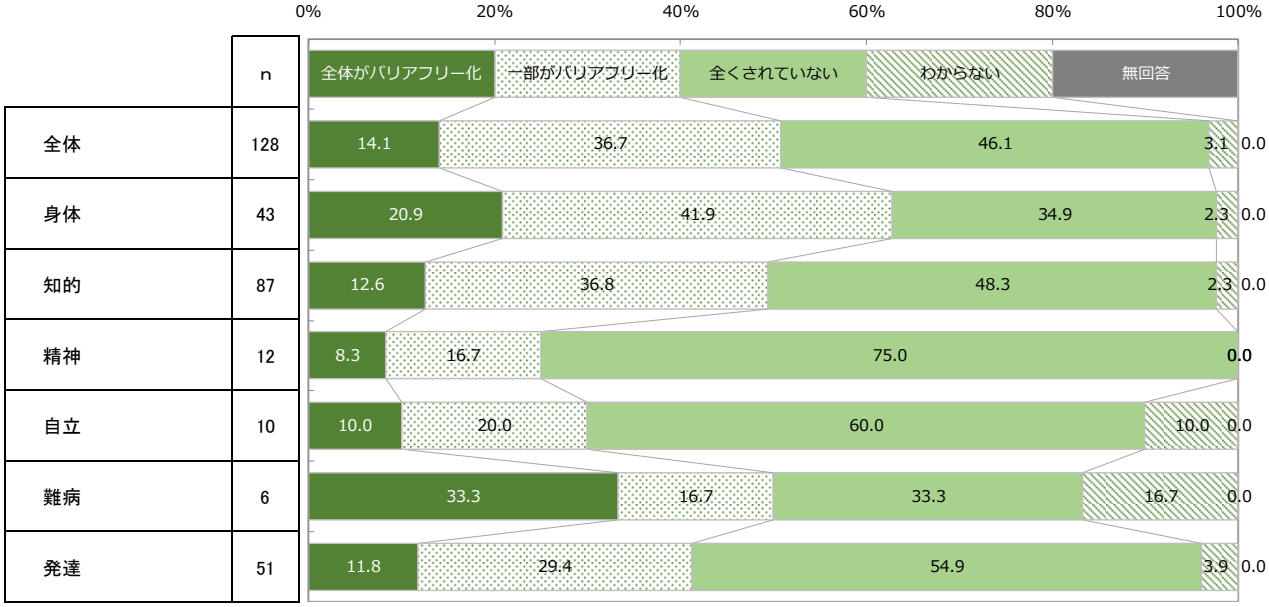
全体でみると、「バリアフリー化が全くされていない」は 46.1%と最も多く、次いで「一部がバリアフリー化されている」は 36.7%、「全体がバリアフリー化されている」は 14.1%の割合となっている。

障害種別でみると、「全体がバリアフリー化されている」は難病で高く 33.3%となっており、身体では「一部がバリアフリー化されている」を含めると 6 割以上でバリアフリー化されている。

属性別でみると、バリアフリー化が全くされていない状況のうち、同居人の特徴別では、『65 歳以上の高齢者がいる』『障害者手帳保持者がいる』世帯では「全くされていない」が半数を上回っている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるにつれて、「バリアフリー化が全くされていない」が高くなる傾向があり、『不自由が多く、生活が苦しい』層では 85.7%と最も高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	全体がバリアフリー化されている	一部がバリアフリー化されている	バリアフリー化が全くされていない	わからない
全体		128	14.1	36.7	46.1	3.1 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	3～5歳	12	8.3	66.7	25.0	0.0
	6～8歳	18	16.7	38.9	38.9	5.6
	9～11歳	34	23.5	38.2	35.3	2.9
	12～14歳	26	3.8	30.8	61.5	3.8
	15～17歳	36	13.9	30.6	52.8	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	15.1	37.0	44.5	3.4
	三世代世帯	9	0.0	33.3	66.7	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	40.0	60.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	25.0	18.8	56.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	44.1	44.1	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	40.0	40.0	0.0
	あてはまらない	63	12.7	34.9	49.2	3.2
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	10.5	42.1	47.4	0.0
	40～59歳	90	16.7	37.8	43.3	2.2
	60歳代	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	75.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	28.0	34.0	32.0	6.0
	やや苦しい	60	5.0	36.7	58.3	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	14.3	85.7	0.0
サービス	利用している	84	13.1	39.3	45.2	2.4
	利用していない	40	17.5	32.5	45.0	5.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	25.0	40.0	30.0	5.0
	医療的ケアを受けている	8	12.5	37.5	50.0	0.0
	視覚障害がある	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	75.0	25.0	0.0

⑤ 同居者

問５　お子さまはどなたと一緒に暮らしていますか。お子さまから見た間柄でお答えください。
（○はいくつでも）

全体でみると、「お母さん」が 99.2%と最も多く、次いで「お父さん」が 93.0%、「きょうだい・しまい」が 67.2%の割合となっている。

障害種別でも、「お母さん」「お父さん」「きょうだい・しまい」の割合が大半を占めている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『3～5 歳』は同居者が「きょうだい・しまい」の割合が 41.7%と低く、『6～8 歳』になると「きょうだい・しまい」の割合は 94.4%と高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	お父さん	お母さん	おじいさん	おばあさん	きょうだい・しまい	親せき	福祉施設の職員や仲間	その他
全体		128	93.0	99.2	3.9	4.7	67.2	0.8	0.0	0.0 (%)
障害種別	身体	43	97.7	97.7	2.3	7.0	72.1	0.0	0.0	0.0
	知的	87	92.0	100.0	4.6	2.3	64.4	1.1	0.0	0.0
	精神	12	83.3	100.0	0.0	8.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	自立	10	90.0	100.0	0.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	難病	6	100.0	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	発達	51	88.2	100.0	5.9	3.9	70.6	0.0	0.0	0.0

【属性別の集計】

		調査数	お父さん	お母さん	おじいさん	おばあさん	きょうだい・しまい	親せき	福祉施設の職員や仲間	その他
全体		128	93.0	99.2	3.9	4.7	67.2	0.8	0.0	0.0 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	91.7	100.0	0.0	0.0	41.7	0.0	0.0	0.0
	6～8歳	18	94.4	100.0	11.1	5.6	94.4	0.0	0.0	0.0
	9～11歳	34	91.2	97.1	0.0	2.9	70.6	2.9	0.0	0.0
	12～14歳	26	92.3	100.0	3.8	7.7	61.5	0.0	0.0	0.0
	15～17歳	36	94.4	100.0	5.6	5.6	61.1	0.0	0.0	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	95.0	99.2	0.0	0.0	66.4	0.0	0.0	0.0
	三世代世帯	9	66.7	100.0	55.6	66.7	77.8	11.1	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	80.0	100.0	50.0	60.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	93.8	100.0	0.0	0.0	93.8	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	97.1	97.1	2.9	8.8	94.1	2.9	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	100.0	100.0	20.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	92.1	100.0	0.0	0.0	52.4	0.0	0.0	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	94.7	100.0	0.0	5.3	84.2	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	90	94.4	100.0	4.4	3.3	64.4	0.0	0.0	0.0
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	100.0	100.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	92.0	100.0	2.0	2.0	56.0	2.0	0.0	0.0
	やや苦しい	60	93.3	98.3	5.0	6.7	73.3	0.0	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	85.7	100.0	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	84	91.7	100.0	3.6	4.8	61.9	0.0	0.0	0.0
	利用していない	40	95.0	97.5	5.0	5.0	75.0	2.5	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	100.0	95.0	5.0	10.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	100.0	100.0	12.5	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

⑥ 同居者の方の状況

問６　お子さまと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。
（○はいくつでも）

全体でみると、「あてはまらない」が 49.2%と最も多く、次いで「妊婦や小学生以下の子どもがいる」が 26.6%、「障害者手帳所持者がいる」が 12.5%の割合となっている。

障害種別でみても、「あてはまらない」、次いで「妊婦や小学生以下の子どもがいる」の割合が多くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『9～17 歳』は同居者の状態に「あてはまらない」の割合が高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	65歳以上の高齢者がいる	障害者手帳所持者がいる	妊婦や小学生以下の子どもがいる	病気などの理由で不自由な方がいる	その他	あてはまらない	無回答
全体		128	7.8	12.5	26.6	3.9	2.3	49.2	3.9
障害種別	身体	43	9.3	18.6	20.9	4.7	4.7	44.2	4.7
	知的	87	6.9	9.2	24.1	4.6	1.1	55.2	3.4
	精神	12	8.3	25.0	33.3	0.0	0.0	41.7	0.0
	自立	10	10.0	0.0	30.0	0.0	10.0	40.0	10.0
	難病	6	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
	発達	51	9.8	11.8	33.3	7.8	0.0	45.1	2.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	65歳以上の高齢者がいる	障害者手帳所持者がいる	妊婦や小学生以下の子どもがいる	病気などの理由で不自由な方がいる	その他	あてはまらない	無回答
全体		128	7.8	12.5	26.6	3.9	2.3	49.2	3.9 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	8.3	41.7	0.0	0.0	41.7	8.3
	6～8歳	18	11.1	11.1	61.1	5.6	5.6	11.1	5.6
	9～11歳	34	5.9	11.8	29.4	8.8	0.0	55.9	0.0
	12～14歳	26	11.5	11.5	3.8	3.8	3.8	65.4	7.7
	15～17歳	36	8.3	16.7	13.9	0.0	2.8	55.6	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	1.7	13.4	25.2	3.4	2.5	52.9	4.2
	三世代世帯	9	88.9	0.0	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	100.0	0.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	0.0	100.0	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	8.8	2.9	100.0	5.9	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	40.0	20.0	40.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	5.3	15.8	57.9	0.0	5.3	21.1	0.0
	40～59歳	90	6.7	12.2	21.1	4.4	1.1	56.7	4.4
	60歳代	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	4.0	12.0	24.0	2.0	0.0	58.0	4.0
	やや苦しい	60	11.7	8.3	31.7	5.0	1.7	45.0	5.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	57.1	0.0
サービス	利用している	84	8.3	10.7	25.0	4.8	1.2	52.4	3.6
	利用していない	40	7.5	17.5	30.0	2.5	5.0	40.0	5.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	15.0	10.0	15.0	10.0	5.0	45.0	10.0
	医療的ケアを受けている	8	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	37.5	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0

⑦ 介助・支援者

問７　ふだん、お子さまを主に介助・支援しているのはどなたですか。　（○は１つだけ）

全体でみると、「お母さん」が 82.8%と大半を占めている。

障害種別でみると、すべての種別で「お母さん」が大半を占めているが、難病では「お父さん」が 16.7%となっている。

属性別でみると、属性による大きな差はなかった。

【障害種別の集計】

		調査数	お父さん	お母さん	おじいさん	おばあさん	きょうだい・しまい	親せき	近所の人、友だちや知り合い	ホームヘルパーなどの在宅サービス事業者	特に介助・支援を必要としない	その他	無回答
全体		128	3.9	82.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.8	8.6
障害種別	身体	43	9.3	79.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	7.0
	知的	87	0.0	90.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	8.0
	精神	12	8.3	75.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	自立	10	0.0	70.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	難病	6	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	発達	51	2.0	90.2	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	3.9

(%)

【属性別の集計】

		調査数	お父さん	お母さん	おじいさん	おばあさん	きょうだい・しまい	親せき	近所の人、友だちや知り合い	ホームヘルパーなどの在宅サービス事業者	特に介助・支援を必要としない	その他	無回答
全体		128	3.9	82.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.8	8.6 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	8.3	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	6～8歳	18	5.6	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1
	9～11歳	34	2.9	94.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
	12～14歳	26	3.8	76.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.2
	15～17歳	36	2.8	77.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	2.8	5.6
世帯構成	核家族世帯	119	4.2	83.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.8	9.2
	三世代世帯	9	0.0	77.8	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	70.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	88.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	あてはまらない	63	3.2	84.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	9.5
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	90	4.4	95.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	4.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	12.0
	やや苦しい	60	1.7	90.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	84	0.0	90.5	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	利用していない	40	12.5	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	2.5	5.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	10.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑧ 介助・支援者の年齢

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください　（○は１つだけ）

全体でみると、「40～59 歳」が 79.6%と割合が多く、次いで「20～39 歳」が 16.8%の割合となっている。

障害種別でみると、すべての種別で「40~59 歳」が 6 割以上を占めており、難病では「20~39 歳」が 40.0%となっている。

属性別でみると、世帯構成別では、『三世代世帯』になると「60 歳以上」の割合が高くなっている。

【障害種別の集計】

【属性別の集計】

		調査数	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
全体		113	0.0	16.8	79.6	1.8	0.9	0.0	0.0	0.9
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	11	0.0	27.3	72.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～8歳	15	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9～11歳	33	0.0	12.1	81.8	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	12～14歳	21	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	15～17歳	31	0.0	3.2	90.3	0.0	3.2	0.0	0.0	3.2
世帯構成	核家族世帯	105	0.0	17.1	81.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	三世代世帯	8	0.0	12.5	62.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	8	0.0	12.5	75.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	14	0.0	21.4	78.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	32	0.0	34.4	59.4	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	55	0.0	7.3	92.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	90	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	42	0.0	9.5	88.1	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	やや苦しい	56	0.0	25.0	71.4	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	77	0.0	20.8	77.9	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
	利用していない	34	0.0	8.8	82.4	5.9	0.0	0.0	0.0	2.9
特徴的な状態	重度心身障害	17	0.0	17.6	76.5	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

⑨ 暮らしの状況

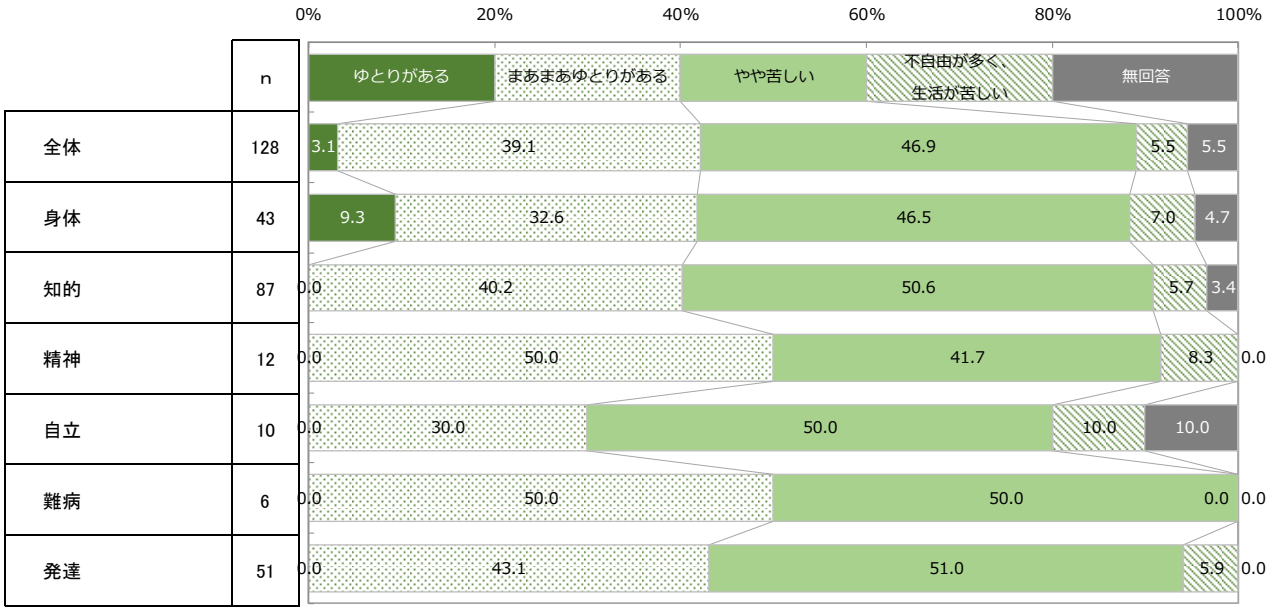
問９　お子さまの世帯の暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。
（○は１つだけ）

全体でみると、「やや苦しい」が 46.9%と最も高く、次いで「まあまあゆとりがある」は 39.1%、「不自由が多く、生活が苦しい」は 5.5%の割合となっている。

障害種別でみると、すべての種別で「不自由が多く、生活が苦しい」「やや苦しい」が半数を上回っている。

属性別でみると、サービス利用別では、『利用している』は『利用していない』に比べて「やや苦しい」が高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	ゆとりがある	まあまあゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい	無回答
全体		128	3.1	39.1	46.9	5.5	5.5 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	8.3	41.7	41.7	0.0	8.3
	6～8歳	18	0.0	27.8	55.6	5.6	11.1
	9～11歳	34	0.0	50.0	47.1	2.9	0.0
	12～14歳	26	3.8	30.8	50.0	11.5	3.8
	15～17歳	36	5.6	41.7	38.9	5.6	8.3
世帯構成	核家族世帯	119	3.4	39.5	46.2	5.9	5.0
	三世代世帯	9	0.0	33.3	55.6	0.0	11.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	20.0	70.0	0.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	12.5	37.5	31.3	12.5	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	35.3	55.9	2.9	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
	あてはまらない	63	3.2	46.0	42.9	6.3	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	5.3	21.1	73.7	0.0	0.0
	40～59歳	90	2.2	41.1	44.4	7.8	4.4
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	やや苦しい	60	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
サービス	利用している	84	0.0	39.3	52.4	6.0	2.4
	利用していない	40	10.0	40.0	37.5	2.5	10.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	40.0	45.0	10.0	5.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	12.5	62.5	12.5	12.5
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0

2.　障害について

①　障害について

問 10　次のうち、お子さまにあてはまるものに○をつけてください。手帳をお持ちの方は等級・程度についても○をつけてください。　（○はいくつでも）

全体でみると、「愛の手帳を持っている」が 68.0%と割合が多く、次いで「発達障害と診断されたことがある」が 39.8%、「身体障害者手帳を持っている」が 33.6%の割合となっている。

障害種別でみると、精神・自立・難病では、「発達障害と診断されたことがある」が半数を超えている。一方で、身体では発達障害との重複は 11.6%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『15～17 歳』では「自立支援医療費制度を受けている」の割合が 25.0%と高くなっている。

サービス利用別では、『利用している』では「身体障害者手帳を持っている」の割合が 25.0%と少なく、「愛の手帳を持っている」の割合が 86.9%と高くなっている。一方で、『利用していない』では「身体障害者手帳を持っている」の割合が 50.0%と高く、「愛の手帳を持っている」の割合が 32.5%と低くなっている。

【障害種別の集計（障害の内容）】

		調査数	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	どれにもあてはまらない	無回答
全体		128	33.6	68.0	9.4	7.8	4.7	0.8	39.8	6.3	0.0	1.6 (%)
障害種別	身体	43	100.0	41.9	0.0	2.3	7.0	0.0	11.6	14.0	0.0	0.0
	知的	87	20.7	100.0	2.3	3.4	3.4	1.1	43.7	5.7	0.0	0.0
	精神	12	0.0	16.7	100.0	33.3	8.3	8.3	83.3	0.0	0.0	0.0
	自立	10	10.0	30.0	40.0	100.0	10.0	10.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	難病	6	50.0	50.0	16.7	16.7	100.0	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0
	発達	51	9.8	74.5	19.6	11.8	5.9	0.0	100.0	2.0	0.0	0.0

【障害別の集計（等級・程度）】

		調査数	1級／1度	2級／2度	3級／3度	4級／4度	5級	6級	無回答
障害種別	身体	43	46.5	14.0	18.6	9.3	4.7	4.7	2.3 (%)
	知的	87	5.7	21.8	32.2	39.1			1.1
	精神	12	8.3	25.0	58.3				8.3

【属性別の集計】

		調査数	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳（療育手帳）を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	訪問看護などの医療的ケアを受けている	どれにもあてはまらない	無回答
全体		128	33.6	68.0	9.4	7.8	4.7	0.8	39.8	6.3	0.0	1.6 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	41.7	58.3	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0	16.7	0.0	0.0
	6～8歳	18	27.8	66.7	5.6	0.0	5.6	0.0	55.6	0.0	0.0	11.1
	9～11歳	34	35.3	73.5	2.9	0.0	0.0	0.0	38.2	2.9	0.0	0.0
	12～14歳	26	42.3	65.4	15.4	3.8	3.8	0.0	42.3	7.7	0.0	0.0
	15～17歳	36	27.8	66.7	13.9	25.0	5.6	2.8	36.1	5.6	0.0	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	33.6	68.9	9.2	7.6	5.0	0.8	39.5	5.9	0.0	1.7
	三世代世帯	9	33.3	55.6	11.1	11.1	0.0	0.0	44.4	11.1	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	40.0	60.0	10.0	10.0	0.0	0.0	50.0	20.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	50.0	50.0	18.8	0.0	0.0	0.0	37.5	6.3	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	26.5	61.8	11.8	8.8	5.9	0.0	50.0	5.9	0.0	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	40.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	30.2	76.2	7.9	6.3	3.2	1.6	36.5	4.8	0.0	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	42.1	63.2	10.5	5.3	10.5	0.0	36.8	10.5	0.0	0.0
	40～59歳	90	32.2	73.3	8.9	6.7	3.3	1.1	44.4	6.7	0.0	1.1
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	28.0	70.0	12.0	6.0	6.0	2.0	44.0	2.0	0.0	0.0
	やや苦しい	60	33.3	73.3	8.3	8.3	5.0	0.0	43.3	8.3	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	42.9	71.4	14.3	14.3	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0
サービス	利用している	84	25.0	86.9	4.8	4.8	4.8	0.0	41.7	8.3	0.0	1.2
	利用していない	40	50.0	32.5	20.0	15.0	5.0	2.5	37.5	2.5	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	95.0	45.0	0.0	0.0	10.0	0.0	5.0	30.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	75.0	62.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	100.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

② 障害に気づいた年齢

問 11　お子さまに発達の遅れや障害があることに気がついたのは、お子さまが何歳の頃でしたか。　（○は 1 つだけ）

全体でみると、「0～2 歳」が 71.1%と割合が高く、次いで「3～5 歳」が 15.6%、「6～8 歳」が 6.3%となっている。大半を占めている。

障害種別でみると、身体・知的・難病・発達は「0~2 歳」が高く 6 割を超えている。一方で、精神・自立は「8 歳まで」が 7 割を占めている。

属性別でみると、生活困窮状況別では、生活が苦しくなるほど「0～2 歳」の割合が低くなり、『不自由が多く、生活が苦しい』では「3～5 歳」が 42.9%となっている。

サービス利用別では、『利用している』では「0~2 歳」が 78.6%と、『利用していない』（57.5%）に比べて高くなっている。

【障害種別の集計】

【属性別の集計】

		調査数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15歳以降	わからない	無回答
全体		128	71.1	15.6	6.3	1.6	0.0	0.8	0.0	4.7 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～8歳	18	72.2	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	9～11歳	34	70.6	17.6	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
	12～14歳	26	61.5	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	15～17歳	36	66.7	11.1	5.6	5.6	0.0	2.8	0.0	8.3
世帯構成	核家族世帯	119	71.4	15.1	5.9	1.7	0.0	0.8	0.0	5.0
	三世代世帯	9	66.7	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	70.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	62.5	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	76.5	11.8	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	71.4	14.3	7.9	0.0	0.0	1.6	0.0	4.8
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	94.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	90	67.8	17.8	7.8	1.1	0.0	1.1	0.0	4.4
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	72.0	12.0	10.0	0.0	0.0	2.0	0.0	4.0
	やや苦しい	60	71.7	18.3	5.0	1.7	0.0	0.0	0.0	3.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	84	78.6	17.9	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
	利用していない	40	57.5	12.5	15.0	5.0	0.0	2.5	0.0	7.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	80.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	医療的ケアを受けている	8	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	視覚障害がある	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	20	80.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

③ 身体障害者手帳記載障害名

問 12　身体障害者手帳に記載されている障害をお答えください。　（○はいくつでも）

全体でみると、「肢体不自由（上肢・下肢機能障害）」が 55.8%と割合が高く、次いで「肢体不自由（体幹機能障害）」が 32.6%、「内部障害」が 25.6%の割合となっている。

障害種別でみると、「肢体不自由（上肢・下肢機能障害）」の割合が最も高くなっている。

属性別でみると、属性によって結果に大きな差は見られなかった。

【障害種別の集計】

		調査数	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	肢体不自由（上肢・下肢機能障害）	肢体不自由（体幹機能障害）	内部障害	わからない
全体		43	4.7	9.3	0.0	0.0	0.0	55.8	32.6	25.6	4.7 (%)
障害種別	身体	43	4.7	9.3	0.0	0.0	0.0	55.8	32.6	25.6	4.7
	知的	18	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	50.0	16.7	0.0
	精神	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自立	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	難病	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	発達	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	20.0	0.0

【属性別の集計】

		調査数	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	肢体不自由（上肢・下肢機能障害）	肢体不自由（体幹機能障害）	内部障害	わからない
全体		43	4.7	9.3	0.0	0.0	0.0	55.8	32.6	25.6	4.7 (%)
本人の年齢	0～2歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0
	6～8歳	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	60.0	0.0
	9～11歳	12	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	41.7	25.0	0.0
	12～14歳	11	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	72.7	36.4	18.2	9.1
	15～17歳	10	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	80.0	30.0	20.0	0.0
世帯構成	核家族世帯	40	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	55.0	30.0	25.0	5.0
	三世代世帯	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	75.0	25.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	8	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	9	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	22.2	44.4	11.1
	病気などの理由で不自由な方がいる	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	あてはまらない	19	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	68.4	26.3	26.3	5.3
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	8	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	25.0	12.5
	40～59歳	29	3.4	10.3	0.0	0.0	0.0	69.0	31.0	20.7	3.4
	60歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	14	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	57.1	28.6	14.3	7.1
	やや苦しい	20	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.0	35.0	40.0	5.0
	不自由が多く、生活が苦しい	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	66.7	0.0	0.0
サービス	利用している	21	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	66.7	47.6	19.0	0.0
	利用していない	20	5.0	15.0	0.0	0.0	0.0	45.0	15.0	35.0	5.0
特徴的な状態	重度心身障害	19	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	57.9	57.9	31.6	0.0
	医療的ケアを受けている	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0
	視覚障害がある	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

④ 発達障害の診断内容

問 13　診断内容をお答えください。　　（○はいくつでも）

全体でみると、「自閉症」が 66.7%と割合が高く、次いで「注意欠陥多動性障害」と「その他の発達障害」がそれぞれ 25.5%、「アスペルガー症候群」が 11.8%となっている。

障害種別でみると、知的・精神・発達では「自閉症」の割合が高く、自立では「注意欠陥多動性障害」、身体・難病では「その他の発達障害」の割合が高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『３～14 歳』では「自閉症」の割合が高く６割以上となっているが、『15~17 歳』では「注意欠陥多動性障害」の割合が 46.2%と高くなっている。

サービス利用別では、『利用している』では「自閉症」が高く 71.4%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	自閉症	アスペルガー症候群	注意欠陥多動性障害（ＡＤＨＤ）	学習障害（ＬＤ）	チック（トゥレット症候群）	吃音症	その他の発達障害	わからない
全体		51	66.7	11.8	25.5	7.8	3.9	2.0	25.5	3.9
障害種別	身体	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0
	知的	38	73.7	0.0	10.5	0.0	2.6	0.0	31.6	5.3
	精神	10	60.0	40.0	60.0	30.0	10.0	10.0	10.0	0.0
	自立	6	0.0	66.7	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	発達	51	66.7	11.8	25.5	7.8	3.9	2.0	25.5	3.9

(%)

【属性別の集計】

		調査数	自閉症	アスペルガー症候群	注意欠陥多動性障害（ＡＤＨＤ）	学習障害（ＬＤ）	チック（トゥレット症候群）	吃音症	その他の発達障害	わからない
全体		51	66.7	11.8	25.5	7.8	3.9	2.0	25.5	3.9 (%)
本人の年齢	0～2歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	3～5歳	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	6～8歳	10	80.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0
	9～11歳	13	92.3	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	23.1	0.0
	12～14歳	11	63.6	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	36.4	9.1
	15～17歳	13	38.5	30.8	46.2	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0
世帯構成	核家族世帯	47	68.1	12.8	21.3	8.5	4.3	2.1	23.4	4.3
	三世代世帯	4	50.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	5	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	6	83.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	17	70.6	17.6	29.4	11.8	5.9	5.9	23.5	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	4	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	あてはまらない	23	69.6	8.7	21.7	4.3	4.3	0.0	26.1	4.3
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	7	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	40～59歳	40	72.5	12.5	25.0	10.0	5.0	2.5	25.0	5.0
	60歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	22	63.6	4.5	18.2	9.1	4.5	0.0	27.3	9.1
	やや苦しい	26	65.4	19.2	30.8	7.7	3.8	3.8	23.1	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	3	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
サービス	利用している	35	71.4	2.9	17.1	0.0	2.9	0.0	25.7	5.7
	利用していない	15	53.3	33.3	46.7	26.7	6.7	6.7	26.7	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	視覚障害がある	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑤ 自宅での医療的ケア

問 14　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。　（○はいくつでも）

全体でみると、「リハビリテーション」が 62.5%と割合が多く、次いで「ネプライザー使用」が 50%、「酸素吸入器」が 50%の割合となっている。

障害種・属性別で見ても、「リハビリテーション」の割合が高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	注射・点滴	自己注射	リハビリテーション	経管栄養	気管切開（それに伴う処置）	褥瘡処置	吸引器使用	ネブライザー使用	膀胱カテーテル	自己導尿	人工透析	酸素吸入器	人工呼吸器装着	その他	特にない
全体		8	0.0	0.0	62.5	37.5	37.5	12.5	37.5	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
障害種別	身体	6	0.0	0.0	66.7	33.3	50.0	16.7	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0
	知的	5	0.0	0.0	60.0	40.0	40.0	20.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0
	精神	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自立	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	発達	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	注射・点滴	自己注射	リハビリテーション	経管栄養	気管切開（それに伴う処置）	褥瘡処置	吸引器使用	ネブライザー使用	膀胱カテーテル	自己導尿	人工透析	酸素吸入器	人工呼吸器装着	その他	特にない
全体		8	0.0	0.0	62.5	37.5	37.5	12.5	37.5	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0 (%)
本人の年齢	0～2歳	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	6～8歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9～11歳	1	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	12～14歳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	15～17歳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
世帯構成	核家族世帯	7	0.0	0.0	71.4	42.9	42.9	14.3	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	57.1	28.6	14.3	0.0
	三世代世帯	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	2	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	2	0.0	0.0	100.0	100.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	2	0.0	0.0	100.0	100.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	40～59歳	6	0.0	0.0	50.0	16.7	33.3	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0
	60歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	やや苦しい	5	0.0	0.0	80.0	60.0	40.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	20.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	7	0.0	0.0	57.1	42.9	42.9	14.3	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	57.1	28.6	28.6	0.0
	利用していない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	6	0.0	0.0	66.7	33.3	50.0	16.7	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	0.0	62.5	37.5	37.5	12.5	37.5	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑥ 障害に気がついたきっかけ

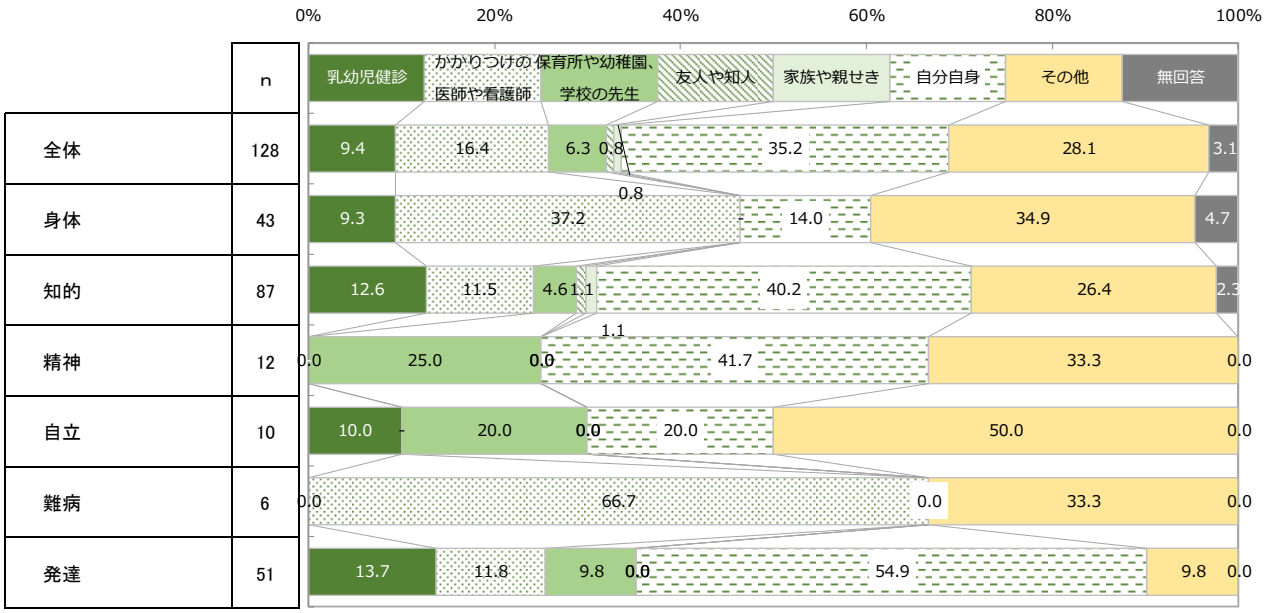
問 15　お子さまに発達の遅れや障害があると気がついた、最初のきっかけをお答えください。
（○は 1 つだけ）

全体でみると、「自分自身で何となく気がついた」が 35.2%と割合が多く、次いで「かかりつけの医師や看護師の助言」が 16.4%、「市役所が実施する乳幼児健診」が 9.4%の割合となっている。

障害種別でみると、「かかりつけの医師や看護師」は身体や難病で高く、知的・精神・発達では「自分自身で何となく気がついた」が高くなっている。

属性別でみると、生活困窮状況別では、「自分自身で何となく気がついた」は『まあまあゆとりがある』で 42.0%となっているものの、『不自由が多く、生活が苦しい』では 28.6%となっている。

【障害種別の集計】



	n	乳幼児健診	かかりつけの医師や看護師	保育所や幼稚園、学校の先生	友人や知人	家族や親せき	自分自身	その他	無回答
全体	128	9.4	16.4	6.3	0.8	0.8	35.2	28.1	3.1
身体	43	9.3	37.2				14.0	34.9	4.7
知的	87	12.6	11.5	4.6	1.1	1.1	40.2	26.4	2.3
精神	12	0.0	25.0	0.0			41.7	33.3	0.0
自立	10	10.0	20.0	0.0			20.0	50.0	0.0
難病	6	0.0	66.7				0.0	33.3	0.0
発達	51	13.7	11.8	9.8	0.0		54.9	9.8	0.0

【属性別の集計】

		調査数	市役所が実施する乳幼児健診	かかりつけの医師や看護師の助言	保育所や幼稚園、学校の先生の助言	友人や知人への相談	家族や親せきへの相談	自分自身でなんとなく気がついた	その他	無回答
全体		128	9.4	16.4	6.3	0.8	0.8	35.2	28.1	3.1
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	25.0	58.3	0.0
	6～8歳	18	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	55.6	27.8	0.0
	9～11歳	34	8.8	17.6	0.0	0.0	0.0	55.9	14.7	2.9
	12～14歳	26	26.9	15.4	3.8	0.0	0.0	26.9	23.1	3.8
	15～17歳	36	5.6	13.9	19.4	2.8	2.8	16.7	33.3	5.6
世帯構成	核家族世帯	119	10.1	15.1	5.0	0.8	0.8	37.0	28.6	2.5
	三世代世帯	9	0.0	33.3	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	10.0	40.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	0.0	18.8	12.5	0.0	6.3	37.5	18.8	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	11.8	8.8	0.0	0.0	44.1	29.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	あてはまらない	63	12.7	15.9	1.6	1.6	0.0	38.1	27.0	3.2
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	47.4	36.8	0.0
	40～59歳	90	7.8	18.9	6.7	1.1	1.1	35.6	26.7	2.2
	60歳代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	12.0	10.0	8.0	0.0	0.0	42.0	24.0	4.0
	やや苦しい	60	8.3	18.3	6.7	1.7	1.7	35.0	26.7	1.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9	0.0
サービス	利用している	84	10.7	14.3	3.6	1.2	1.2	39.3	27.4	2.4
	利用していない	40	7.5	20.0	12.5	0.0	0.0	25.0	30.0	5.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	5.0	40.0	5.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

(%)

⑦ 発達障害と知ったときの相談先

問 16　お子さまに発達の遅れや障害があると気がついたときに、保護者や家族の方が相談した公共機関をお答えください。　（○はいくつでも）

全体でみると、「子どもの発達センター　ひいらぎ」が 48.4%と割合が多く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が 42.2%、「市役所の窓口」が 22.7%の割合となっている。

障害種別でみると、知的・精神・自立・難病・発達で「子どもの発達センター　ひいらぎ」の割合が高く、身体では「かかりつけの医師や看護師」の割合が高くなっている。

属性別でみると、世帯構成別では、「三世代世帯」は「市役所の窓口」へ相談した割合が 66.7%と高くなっている。

同居人の特徴別では、「65 歳以上の高齢者がいる」方は「市役所の窓口」へ相談した割合が 70.0%と高くなっている。

生活困窮状況別では、『ゆとりがある』層では「子どもの発達センターひいらぎ」の割合が 25.0%と低く、「かかりつけの医師や看護師」が 75.0%と高くなっている。一方で、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「子どもの発達センターひいらぎ」の割合が 57.1%と高く、「かかりつけの医師や看護師」は 28.6%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	市役所の窓口	かかりつけの医師や看護師	東京都発達障害者支援センター TOSCA	心療内科	保健所、保健センター	子ども家庭支援センター　のどか	児童相談所	こどもの発達センター　ひいらぎ	その他の福祉施設や相談支援事業所	保育所や幼稚園、学校	社会福祉協議会	その他	特に相談していない	わからない	無回答
全体		128	22.7	42.2	0.0	3.1	15.6	5.5	5.5	48.4	3.9	14.1	0.8	15.6	6.3	0.0	1.6
障害種別	身体	43	14.0	65.1	0.0	0.0	7.0	2.3	0.0	41.9	2.3	9.3	2.3	14.0	9.3	0.0	4.7
	知的	87	23.0	39.1	0.0	1.1	18.4	3.4	5.7	55.2	3.4	11.5	0.0	13.8	2.3	0.0	0.0
	精神	12	41.7	25.0	0.0	8.3	16.7	25.0	16.7	50.0	8.3	25.0	0.0	25.0	8.3	0.0	0.0
	自立	10	20.0	20.0	0.0	30.0	10.0	20.0	0.0	30.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	難病	6	16.7	50.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	発達	51	25.5	37.3	0.0	7.8	21.6	7.8	9.8	51.0	5.9	21.6	0.0	21.6	3.9	0.0	0.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	市役所の窓口	かかりつけの医師や看護師	東京都発達障害者支援センター TOSCA	心療内科	保健所、保健センター	子ども家庭支援センター のどか	児童相談所	こどもの発達センター ひいらぎ	その他の福祉施設や相談支援事業所	保育所や幼稚園、学校	社会福祉協議会	その他	特に相談していない	わからない	無回答
全体		128	22.7	42.2	0.0	3.1	15.6	5.5	5.5	48.4	3.9	14.1	0.8	15.6	6.3	0.0	1.6 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	16.7	66.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0	0.0	0.0
	6～8歳	18	27.8	55.6	0.0	0.0	33.3	5.6	0.0	44.4	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
	9～11歳	34	17.6	32.4	0.0	2.9	23.5	5.9	11.8	44.1	0.0	17.6	0.0	20.6	2.9	0.0	2.9
	12～14歳	26	23.1	38.5	0.0	3.8	7.7	3.8	3.8	57.7	7.7	15.4	3.8	11.5	3.8	0.0	0.0
	15～17歳	36	25.0	38.9	0.0	5.6	8.3	5.6	5.6	44.4	8.3	11.1	0.0	16.7	8.3	0.0	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	19.3	42.0	0.0	3.4	16.0	5.9	5.0	48.7	3.4	14.3	0.8	13.4	6.7	0.0	1.7
	三世代世帯	9	66.7	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	44.4	11.1	11.1	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	70.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	40.0	20.0	10.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	12.5	43.8	0.0	0.0	12.5	6.3	6.3	50.0	0.0	25.0	0.0	18.8	6.3	0.0	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	20.6	41.2	0.0	2.9	26.5	8.8	8.8	41.2	2.9	14.7	0.0	17.6	8.8	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	40.0	60.0	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0	60.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	19.0	38.1	0.0	3.2	7.9	3.2	4.8	47.6	3.2	11.1	1.6	15.9	4.8	0.0	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	21.1	52.6	0.0	0.0	21.1	5.3	5.3	42.1	0.0	10.5	0.0	15.8	10.5	0.0	0.0
	40～59歳	90	18.9	40.0	0.0	4.4	14.4	5.6	4.4	53.3	4.4	14.4	1.1	14.4	4.4	0.0	1.1
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	26.0	32.0	0.0	4.0	22.0	4.0	6.0	48.0	4.0	18.0	0.0	12.0	4.0	0.0	2.0
	やや苦しい	60	21.7	50.0	0.0	3.3	13.3	8.3	6.7	48.3	5.0	11.7	0.0	20.0	5.0	0.0	1.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
サービス	利用している	84	25.0	42.9	0.0	1.2	17.9	2.4	3.6	56.0	3.6	9.5	0.0	16.7	2.4	0.0	1.2
	利用していない	40	20.0	40.0	0.0	7.5	10.0	12.5	10.0	37.5	5.0	25.0	2.5	12.5	15.0	0.0	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	20.0	50.0	0.0	0.0	15.0	5.0	0.0	40.0	5.0	5.0	0.0	15.0	15.0	0.0	5.0
	医療的ケアを受けている	8	25.0	87.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	50.0	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0

⑧ 特に相談しなかった理由

問 17　【問 17 は問 16 で「13. 特に相談していない」と回答した方にお聞きします。】
相談されなかった理由をお答えください。　（○はいくつでも）

全体でみると、「身近に相談できる人や場所がなかった」が 25.0%と割合が多く、次いで「相談することのメリットが感じられなかった」「どこに相談できるのかわからなかった」「困っていることがなかった」がそれぞれ 12.5%の割合となっている。

障害種別・属性別でみても、「身近に相談できる人や場所がなかった」の割合が高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	困っていることがなかった	どこに相談できるのかわからなかった	障害を受け入れられなかった	相談することのメリットが感じられなかった	身近に相談できる人や場所がなかった	学校などに知られたくなかった	その他
全体		8	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	62.5
障害種別	身体	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	知的	2	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
	精神	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	自立	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	難病	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	発達	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	困っていることがなかった	どこに相談できるのかわからなかった	障害を受け入れられなかった	相談することのメリットが感じられなかった	身近に相談できる人や場所がなかった	学校などに知られたくなかった	その他
全体		8	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	62.5 (%)
本人の年齢	0～2歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	6～8歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9～11歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	12～14歳	1	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	15～17歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
世帯構成	核家族世帯	8	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	62.5
	三世代世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	40～59歳	4	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0
	60歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	まあまあゆとりがある	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	やや苦しい	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	不自由が多く、生活が苦しい	1	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
サービス	利用している	2	0.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0
	利用していない	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3
特徴的な状態	重度心身障害	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	医療的ケアを受けている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

⑨ 差別・偏見を感じたことがあるか

問 18　この 1 年間にお子さまの発達や障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。（○は 1 つだけ）

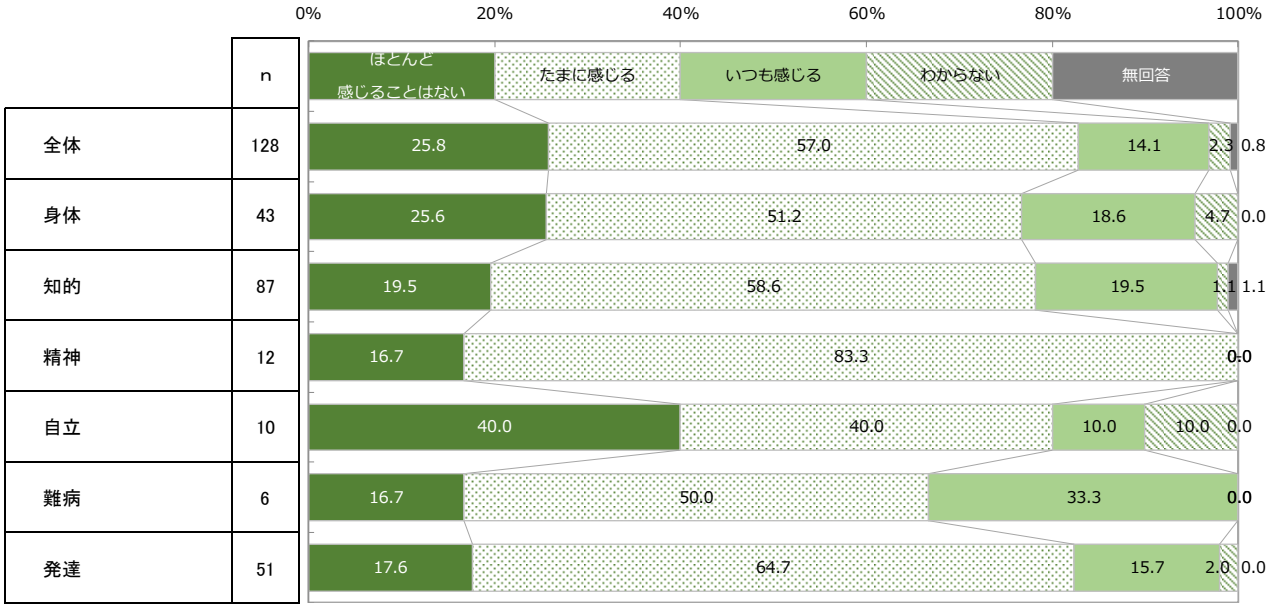
全体でみると、「たまに感じる」が 57.0%と割合が多く、次いで「ほとんど感じることはない」が 25.8%、「いつも感じる」が 14.1%の割合となっている。

障害種別でみると、自立では「ほとんど感じることはない」が 40.0%となっているものの、すべての種別で「いつも感じる」「たまに感じる」が半数を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『3～5 歳』では「ほとんど感じたことない」の割合が 50.0%と高く、『12～14 歳』では「いつも感じる」の割合が 26.9%と高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「いつも感じる」の割合が 57.1%と高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない	無回答
全体	128	25.8	57.0	14.1	2.3	0.8
身体	43	25.6	51.2	18.6	4.7	0.0
知的	87	19.5	58.6	19.5	1.1	1.1
精神	12	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
自立	10	40.0	40.0	10.0	10.0	0.0
難病	6	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0
発達	51	17.6	64.7	15.7	2.0	0.0

【属性別の集計】

		調査数	ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない	無回答
全体		128	25.8	57.0	14.1	2.3	0.8
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	50.0	41.7	8.3	0.0	0.0
	6～8歳	18	22.2	66.7	11.1	0.0	0.0
	9～11歳	34	8.8	79.4	11.8	0.0	0.0
	12～14歳	26	30.8	34.6	26.9	3.8	3.8
	15～17歳	36	33.3	52.8	8.3	5.6	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	25.2	56.3	15.1	2.5	0.8
	三世代世帯	9	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	30.0	50.0	20.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	12.5	81.3	6.3	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	70.6	14.7	2.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	28.6	50.8	15.9	3.2	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	15.8	63.2	21.1	0.0	0.0
	40～59歳	90	26.7	55.6	13.3	3.3	1.1
	60歳代	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	26.0	66.0	8.0	0.0	0.0
	やや苦しい	60	18.3	60.0	16.7	3.3	1.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	28.6	57.1	0.0	0.0
サービス	利用している	84	20.2	61.9	16.7	0.0	1.2
	利用していない	40	37.5	47.5	7.5	7.5	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	30.0	50.0	15.0	5.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	37.5	12.5	50.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0

(%)

⑩ 差別・偏見を受けた場所

問 19　この 1 年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所などをお答えください。
（○はいくつでも）

全体でみると、「バスや電車などの交通機関」が 52.7%と割合が高く、次いで「スーパーやレストラン」が 45.1%、「保育所や幼稚園、学校」が 36.3%の割合となっている。

障害種別でみると、知的・自立・発達では「バスや電車などの交通機関」の割合が 6 割を超えており、精神では「保育所や幼稚園、学校」が 60.0%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『9~11 歳』では「保育所や幼稚園、学校」が 58.1%と高くなっている。

サービスの利用別では、『利用している』では「スーパーやレストラン」「バスや電車などの交通機関」が約 6 割となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	保育所や幼稚園、学校	市役所などの公的機関	病院などの医療機関	福祉サービス事業所	スーパーやレストラン	バスや電車などの交通機関	習い事	その他	無回答
全体		91	36.3	8.8	14.3	3.3	45.1	52.7	2.2	18.7	1.1 (%)
障害種別	身体	30	40.0	6.7	10.0	3.3	43.3	46.7	3.3	13.3	3.3
	知的	68	29.4	7.4	16.2	1.5	54.4	60.3	1.5	22.1	1.5
	精神	10	60.0	20.0	10.0	10.0	10.0	30.0	0.0	20.0	0.0
	自立	5	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	難病	5	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	60.0	0.0
	発達	41	26.8	14.6	9.8	2.4	53.7	63.4	0.0	29.3	0.0

【属性別の集計】

		調査数	保育所や幼稚園、学校	市役所などの公的機関	病院などの医療機関	福祉サービス事業所	スーパーやレストラン	バスや電車などの交通機関	習い事	その他	無回答
全体		91	36.3	8.8	14.3	3.3	45.1	52.7	2.2	18.7	1.1 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	6	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0
	6～8歳	14	21.4	7.1	14.3	0.0	50.0	64.3	0.0	21.4	0.0
	9～11歳	31	58.1	12.9	25.8	6.5	48.4	51.6	3.2	12.9	0.0
	12～14歳	16	37.5	6.3	0.0	0.0	25.0	37.5	6.3	25.0	6.3
	15～17歳	22	13.6	4.5	9.1	4.5	59.1	63.6	0.0	22.7	0.0
世帯構成	核家族世帯	85	35.3	9.4	15.3	3.5	44.7	54.1	1.2	18.8	1.2
	三世代世帯	6	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	7	42.9	0.0	14.3	0.0	57.1	28.6	14.3	28.6	0.0
	障害者手帳所持者がいる	14	42.9	14.3	14.3	21.4	35.7	42.9	7.1	7.1	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	29	37.9	13.8	20.7	3.4	37.9	44.8	3.4	27.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	60.0	0.0
	あてはまらない	42	35.7	7.1	11.9	0.0	54.8	61.9	0.0	11.9	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	16	43.8	12.5	12.5	0.0	50.0	56.3	0.0	12.5	0.0
	40～59歳	62	30.6	9.7	16.1	4.8	50.0	53.2	3.2	22.6	1.6
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	37	27.0	5.4	13.5	0.0	48.6	59.5	0.0	10.8	0.0
	やや苦しい	46	41.3	13.0	17.4	4.3	41.3	50.0	4.3	26.1	2.2
	不自由が多く、生活が苦しい	6	33.3	0.0	0.0	16.7	66.7	50.0	0.0	16.7	0.0
サービス	利用している	66	28.8	6.1	13.6	3.0	54.5	59.1	1.5	21.2	1.5
	利用していない	22	54.5	18.2	18.2	4.5	18.2	36.4	4.5	13.6	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	13	38.5	7.7	15.4	7.7	53.8	38.5	0.0	15.4	7.7
	医療的ケアを受けている	5	60.0	20.0	20.0	0.0	40.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0
	聴覚障害がある	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3.　日常生活について

①　介助が必要な動作（食事、トイレなど、入浴、寝返り・起き上がり）

問 20　お子さまは、次の動作について介助が必要ですか。
（それぞれ 1 つに○）

【食事をする】

全体でみると、51.6%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、難病では「ひとりでできる」が 16.7%と低くなっている。属性別でみると、「ひとりでできる」は本人の年齢が高くなるにつれて実施できるようになっており、また、サービス利用別では『利用している』で 36.9%と『利用していない』（80.0%）に比べて低くなっている。

【トイレの使用やオムツ交換】

全体でみると、45.3%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、難病では 16.7%が「ひとりでできる」となっている。属性別でみると、本人の年齢が高くなるにつれて「ひとりでできる」は高くなるが、『15~17 歳』で 55.6%となっている。サービス利用別では『利用している』で「ひとりでできる」が 31.0%となっている。

【お風呂に入る】

全体でみると、32.8%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、知的・難病では「ひとりでできる」が約 2 割となっている。属性別でみると、本人の年齢別では『15~17 歳』では 52.8%、サービス利用別では『利用している』で 20.2%、『利用していない』では 57.5%となっている。

【寝返り・起き上がり】

全体でみると、85.9%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、すべての障害種別で「ひとりでできる」が 7 割を上回っている。属性別でみると、特徴的な状態別では『重度心身障害』、『医療的ケアを受けている』で「ひとりでできる」が半数を下回っている。

【障害種別の集計】

		調査数	食事をする				トイレの使用やオムツ交換				お風呂に入る				寝返り・起き上がり			
			ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		128	51.6	35.9	9.4	3.1	45.3	35.2	15.6	3.9	32.8	43.0	21.1	3.1	85.9	3.9	6.3	3.9 (%)
障害種別	身体	43	48.8	30.2	20.9	0.0	44.2	20.9	34.9	0.0	37.2	20.9	41.9	0.0	72.1	9.3	18.6	0.0
	知的	87	41.4	46.0	10.3	2.3	36.8	44.8	16.1	2.3	20.7	50.6	25.3	3.4	87.4	4.6	4.6	3.4
	精神	12	58.3	16.7	8.3	16.7	50.0	16.7	8.3	25.0	41.7	41.7	8.3	8.3	75.0	8.3	0.0	16.7
	自立	10	60.0	30.0	0.0	10.0	60.0	30.0	0.0	10.0	50.0	20.0	20.0	10.0	90.0	0.0	0.0	10.0
	難病	6	16.7	66.7	16.7	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0
	発達	51	45.1	43.1	3.9	7.8	41.2	41.2	7.8	9.8	31.4	52.9	7.8	7.8	88.2	2.0	0.0	9.8

【属性別の集計】

		調査数	食事をする				トイレの使用やオムツ交換				お風呂に入る				寝返り・起き上がり			
			ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		128	51.6	35.9	9.4	3.1	45.3	35.2	15.6	3.9	32.8	43.0	21.1	3.1	85.9	3.9	6.3	3.9 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	33.3	50.0	16.7	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	8.3	66.7	25.0	0.0	91.7	8.3	0.0	0.0
	6～8歳	18	61.1	33.3	0.0	5.6	38.9	38.9	16.7	5.6	16.7	66.7	5.6	11.1	88.9	5.6	0.0	5.6
	9～11歳	34	44.1	50.0	5.9	0.0	47.1	38.2	14.7	0.0	29.4	50.0	20.6	0.0	94.1	0.0	5.9	0.0
	12～14歳	26	53.8	26.9	11.5	7.7	50.0	26.9	11.5	11.5	34.6	42.3	19.2	3.8	73.1	3.8	11.5	11.5
	15～17歳	36	61.1	27.8	8.3	2.8	55.6	27.8	13.9	2.8	52.8	19.4	25.0	2.8	86.1	2.8	8.3	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	50.4	37.8	9.2	2.5	44.5	36.1	16.0	3.4	32.8	42.9	21.8	2.5	86.6	4.2	5.9	3.4
	三世代世帯	9	66.7	11.1	11.1	11.1	55.6	22.2	11.1	11.1	33.3	44.4	11.1	11.1	77.8	0.0	11.1	11.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	50.0	20.0	20.0	10.0	40.0	30.0	20.0	10.0	30.0	40.0	20.0	10.0	60.0	0.0	20.0	20.0
	障害者手帳所持者がいる	16	56.3	31.3	6.3	6.3	56.3	12.5	18.8	12.5	50.0	25.0	18.8	6.3	75.0	6.3	12.5	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	55.9	32.4	8.8	2.9	35.3	47.1	14.7	2.9	20.6	61.8	14.7	2.9	94.1	2.9	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0
	あてはまらない	63	47.6	44.4	6.3	1.6	46.0	39.7	12.7	1.6	33.3	42.9	22.2	1.6	90.5	3.2	4.8	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	42.1	36.8	15.8	5.3	26.3	42.1	26.3	5.3	10.5	52.6	26.3	10.5	84.2	10.5	0.0	5.3
	40～59歳	90	47.8	41.1	8.9	2.2	44.4	37.8	15.6	2.2	35.6	41.1	22.2	1.1	86.7	3.3	7.8	2.2
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	56.0	40.0	2.0	2.0	50.0	34.0	12.0	4.0	36.0	46.0	18.0	0.0	90.0	4.0	4.0	2.0
	やや苦しい	60	43.3	38.3	15.0	3.3	36.7	43.3	16.7	3.3	28.3	45.0	21.7	5.0	85.0	3.3	6.7	5.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	28.6	42.9	14.3	14.3	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	28.6	42.9	14.3	57.1	0.0	28.6	14.3
サービス	利用している	84	36.9	45.2	14.3	3.6	31.0	45.2	20.2	3.6	20.2	47.6	27.4	4.8	84.5	2.4	8.3	4.8
	利用していない	40	80.0	17.5	0.0	2.5	72.5	15.0	7.5	5.0	57.5	32.5	10.0	0.0	87.5	7.5	2.5	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	35.0	25.0	40.0	0.0	30.0	15.0	55.0	0.0	20.0	15.0	65.0	0.0	45.0	15.0	40.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	37.5	0.0	62.5	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

② 介助が必要な動作（着替え、身だしなみ、家の中での移動、外出）

問 20　お子さまは、次の動作について介助が必要ですか。
（それぞれ 1 つに○）

【着替え】

全体でみると、57.8%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、難病では「ひとりでできる」が 16.7%と低くなっている。属性別でみると、「ひとりでできる」は、本人の年齢別では『６～17 歳』で約６割となっており、また、サービス利用別では『利用している』で 46.4%と『利用していない』（80.0%）に比べて低くなっている。

【身だしなみ】

全体でみると、30.5%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、知的・難病・発達で「ひとりでできる」が約２割となっている。属性別でみると、サービス利用別では『利用している』で「ひとりでできる」は 15.5%と、『利用していない』（57.5%）に比べて低くなっている。

【家の中での移動】

全体でみると、82.0%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、身体・難病以外の種別では「ひとりでできる」が７割を上回っている。属性別での大きな差はない。

【外出する】

全体でみると、23.4%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、精神では「ひとりでできる」が 41.7%となっているが、他の種別は３割を下回っている。属性別でみると、本人の年齢別では『12~17 歳』で「ひとりでできる」は約３割となっており、サービス利用別では『利用していない』で 47.5%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	着替え				身だしなみ				家の中での移動				外出			
			ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		128	57.8	25.0	14.1	3.1	30.5	47.7	18.8	3.1	82.0	7.8	7.0	3.1	23.4	40.6	32.0	3.9
障害種別	身体	43	51.2	18.6	30.2	0.0	39.5	20.9	39.5	0.0	67.4	14.0	18.6	0.0	25.6	23.3	51.2	0.0
	知的	87	50.6	32.2	14.9	2.3	16.1	58.6	21.8	3.4	83.9	8.0	5.7	2.3	12.6	47.1	36.8	3.4
	精神	12	58.3	16.7	8.3	16.7	41.7	41.7	8.3	8.3	75.0	0.0	8.3	16.7	41.7	25.0	16.7	16.7
	自立	10	60.0	30.0	0.0	10.0	60.0	20.0	10.0	10.0	90.0	0.0	0.0	10.0	30.0	30.0	30.0	10.0
	難病	6	16.7	66.7	16.7	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	66.7	16.7	16.7	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0
	発達	51	54.9	31.4	5.9	7.8	21.6	60.8	9.8	7.8	86.3	5.9	0.0	7.8	19.6	45.1	25.5	9.8

(%)

【属性別の集計】

		調査数	着替え				身だしなみ				家の中での移動				外出			
			ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		128	57.8	25.0	14.1	3.1	30.5	47.7	18.8	3.1	82.0	7.8	7.0	3.1	23.4	40.6	32.0	3.9 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	3～5歳	12	41.7	41.7	16.7	0.0	8.3	66.7	25.0	0.0	83.3	8.3	8.3	0.0	8.3	41.7	41.7	8.3
	6～8歳	18	61.1	27.8	5.6	5.6	38.9	44.4	11.1	5.6	83.3	11.1	0.0	5.6	33.3	38.9	22.2	5.6
	9～11歳	34	61.8	26.5	11.8	0.0	29.4	52.9	17.6	0.0	85.3	8.8	5.9	0.0	11.8	50.0	38.2	0.0
	12～14歳	26	57.7	23.1	11.5	7.7	30.8	53.8	11.5	3.8	76.9	3.8	11.5	7.7	26.9	34.6	30.8	7.7
	15～17歳	36	61.1	19.4	16.7	2.8	36.1	36.1	22.2	5.6	86.1	5.6	5.6	2.8	33.3	38.9	25.0	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	57.1	26.1	14.3	2.5	30.3	47.9	19.3	2.5	83.2	7.6	6.7	2.5	21.8	42.0	32.8	3.4
	三世代世帯	9	66.7	11.1	11.1	11.1	33.3	44.4	11.1	11.1	66.7	11.1	11.1	11.1	44.4	22.2	22.2	11.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	60.0	10.0	20.0	10.0	30.0	40.0	20.0	10.0	60.0	10.0	20.0	10.0	40.0	30.0	20.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	68.8	12.5	12.5	6.3	37.5	43.8	18.8	0.0	75.0	6.3	12.5	6.3	25.0	50.0	18.8	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	55.9	29.4	11.8	2.9	26.5	52.9	17.6	2.9	82.4	11.8	2.9	2.9	23.5	35.3	35.3	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0
	あてはまらない	63	57.1	28.6	12.7	1.6	28.6	50.8	17.5	3.2	85.7	7.9	4.8	1.6	19.0	44.4	34.9	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	57.9	21.1	15.8	5.3	26.3	42.1	26.3	5.3	68.4	21.1	5.3	5.3	10.5	36.8	47.4	5.3
	40～59歳	90	52.2	30.0	15.6	2.2	27.8	51.1	18.9	2.2	83.3	6.7	7.8	2.2	20.0	45.6	31.1	3.3
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	60.0	30.0	8.0	2.0	30.0	54.0	16.0	0.0	84.0	10.0	4.0	2.0	24.0	46.0	26.0	4.0
	やや苦しい	60	56.7	21.7	18.3	3.3	26.7	48.3	20.0	5.0	83.3	5.0	8.3	3.3	20.0	40.0	36.7	3.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	28.6	42.9	14.3	57.1	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	71.4	14.3
サービス	利用している	84	46.4	32.1	17.9	3.6	15.5	57.1	23.8	3.6	77.4	9.5	9.5	3.6	10.7	45.2	39.3	4.8
	利用していない	40	80.0	10.0	7.5	2.5	57.5	30.0	10.0	2.5	90.0	5.0	2.5	2.5	47.5	32.5	17.5	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	30.0	20.0	50.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	15.0	20.0	65.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	12.5	37.5	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	視覚障害がある	2	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	聴覚障害がある	4	100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

③ 介助が必要な動作（他人との意思疎通、小遣い管理、服薬管理、災害時の避難）

問 20　お子さまは、次の動作について介助が必要ですか。
（それぞれ 1 つに○）

【家族以外の人との意思疎通】

全体でみると、35.2%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、身体・自立では「ひとりでできる」が約５割となっている。属性別でみると、本人の年齢別では『15~17 歳』で「ひとりでできる」は 44.4%となっている。また、サービス利用別では『利用している』で 19.0%と『利用していない』（65.0%）に比べて低くなっている。

【小遣い管理】

全体でみると、19.5%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、すべての種別で「ひとりでできる」は４割以下となっている。属性別でみると、本人の年齢別では『12~17 歳』で「ひとりでできる」は３割を下回っており、サービス利用別では『利用していない』で「ひとりでできる」は 50.0%となっている。

【服薬管理】

全体でみると、14.8%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、すべての種別で「ひとりでできる」が３割以下となっている。属性別でみると、本人の年齢別では『15~17 歳』で「ひとりでできる」は 19.4%、サービス利用別では『利用していない』で「ひとりでできる」は 35.0%となっている。

【災害時の避難】

全体でみると、9.4%が「ひとりでできる」となっている。障害種別でみると、すべての種別で「ひとりでできる」が３割を下回っている。属性別でみると、本人の年齢別では『15~17 歳』でも「ひとりでできる」は 16.7%となっており、サービス利用別では『利用している』で 1.2%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	他人との意思疎通				小遣いの管理				服薬管理				災害時の避難			
			ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		128	35.2	41.4	20.3	3.1	19.5	14.8	61.7	3.9	14.8	21.1	59.4	4.7	9.4	20.3	66.4	3.9
障害種別	身体	43	48.8	20.9	30.2	0.0	34.9	4.7	60.5	0.0	25.6	14.0	60.5	0.0	14.0	18.6	67.4	0.0
	知的	87	20.7	49.4	27.6	2.3	5.7	14.9	75.9	3.4	4.6	20.7	70.1	4.6	3.4	14.9	78.2	3.4
	精神	12	33.3	41.7	8.3	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	25.0	41.7	16.7	0.0	50.0	33.3	16.7
	自立	10	50.0	40.0	0.0	10.0	30.0	30.0	30.0	10.0	20.0	40.0	30.0	10.0	30.0	30.0	30.0	10.0
	難病	6	16.7	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0	83.3	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0
	発達	51	15.7	58.8	17.6	7.8	9.8	15.7	64.7	9.8	7.8	15.7	66.7	9.8	5.9	17.6	66.7	9.8

【属性別の集計】

		調査数	他人との意思疎通				小遣いの管理				服薬管理				災害時の避難			
			ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		128	35.2	41.4	20.3	3.1	19.5	14.8	61.7	3.9	14.8	21.1	59.4	4.7	9.4	20.3	66.4	3.9 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	3～5歳	12	16.7	58.3	25.0	0.0	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	0.0	91.7	8.3
	6～8歳	18	38.9	38.9	16.7	5.6	16.7	5.6	72.2	5.6	11.1	16.7	66.7	5.6	5.6	22.2	66.7	5.6
	9～11歳	34	35.3	44.1	20.6	0.0	17.6	8.8	73.5	0.0	8.8	20.6	70.6	0.0	5.9	14.7	79.4	0.0
	12～14歳	26	30.8	42.3	23.1	3.8	26.9	19.2	46.2	7.7	26.9	19.2	46.2	7.7	11.5	30.8	50.0	7.7
	15～17歳	36	44.4	36.1	13.9	5.6	25.0	27.8	44.4	2.8	19.4	33.3	41.7	5.6	16.7	25.0	55.6	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	32.8	43.7	21.0	2.5	18.5	15.1	63.0	3.4	13.4	22.7	59.7	4.2	7.6	21.8	67.2	3.4
	三世代世帯	9	66.7	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	44.4	11.1	33.3	0.0	55.6	11.1	33.3	0.0	55.6	11.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	50.0	20.0	20.0	10.0	30.0	10.0	50.0	10.0	30.0	0.0	60.0	10.0	30.0	0.0	60.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	37.5	43.8	18.8	0.0	25.0	6.3	62.5	6.3	25.0	18.8	43.8	12.5	6.3	37.5	50.0	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	32.4	52.9	11.8	2.9	14.7	8.8	70.6	5.9	5.9	17.6	70.6	5.9	5.9	14.7	73.5	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	あてはまらない	63	33.3	41.3	22.2	3.2	15.9	22.2	60.3	1.6	12.7	25.4	60.3	1.6	7.9	20.6	69.8	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	36.8	36.8	21.1	5.3	5.3	10.5	78.9	5.3	5.3	10.5	78.9	5.3	5.3	10.5	78.9	5.3
	40～59歳	90	27.8	47.8	22.2	2.2	17.8	15.6	63.3	3.3	13.3	21.1	61.1	4.4	6.7	22.2	67.8	3.3
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	38.0	40.0	22.0	0.0	16.0	20.0	60.0	4.0	10.0	28.0	58.0	4.0	8.0	22.0	66.0	4.0
	やや苦しい	60	28.3	45.0	21.7	5.0	13.3	15.0	68.3	3.3	8.3	21.7	65.0	5.0	8.3	18.3	70.0	3.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	57.1	28.6	14.3	14.3	0.0	71.4	14.3	14.3	0.0	71.4	14.3	0.0	14.3	71.4	14.3
サービス	利用している	84	19.0	52.4	25.0	3.6	3.6	15.5	76.2	4.8	3.6	19.0	71.4	6.0	1.2	14.3	79.8	4.8
	利用していない	40	65.0	22.5	10.0	2.5	50.0	15.0	32.5	2.5	35.0	27.5	35.0	2.5	25.0	32.5	40.0	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	45.0	15.0	40.0	0.0	25.0	10.0	65.0	0.0	5.0	25.0	70.0	0.0	5.0	10.0	85.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	12.5	25.0	62.5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	視覚障害がある	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	聴覚障害がある	4	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0

④ 外出の時の支援

問 21　お子さまが外出するときの支援の必要性についてお答えください。　（○は 1 つだけ）

全体でみると、「どこへ外出するにも支援が必要」が 53.1%と割合が多く、次いで「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」が 25.8%、「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」が 11.7%の割合となっている。

障害種別でみると、自立では「支援は必要ない」が 30.0%と高くなっている。一方で、「どこへ外出するにも支援が必要」は身体・知的・難病で半数を上回っている。

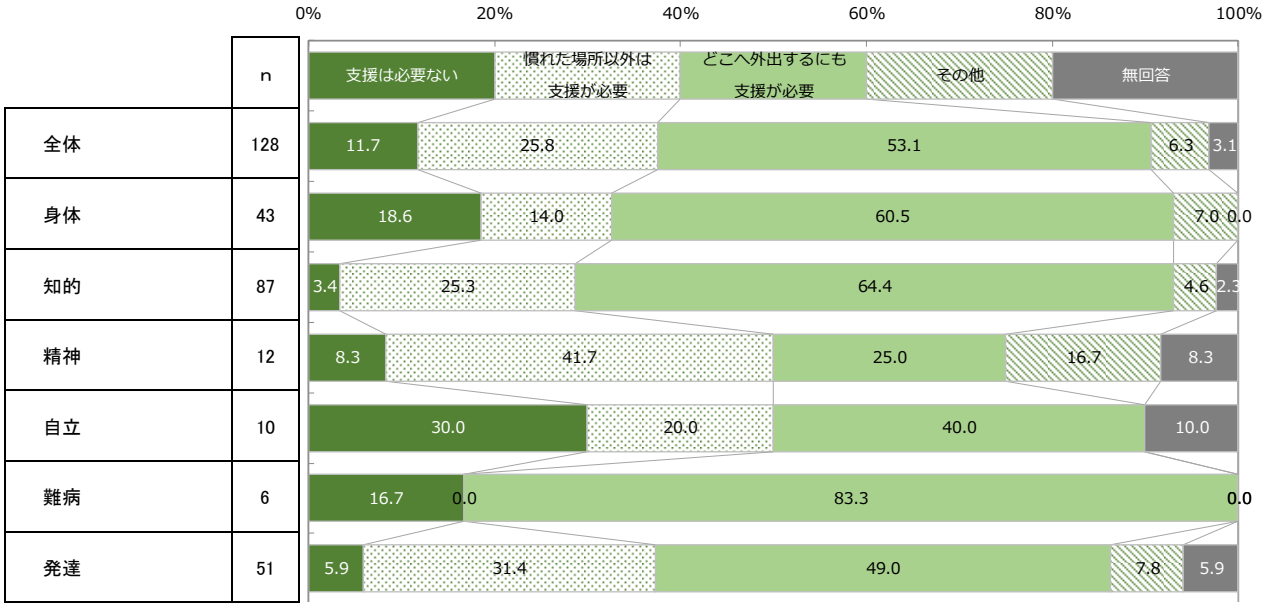
属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高くなるにつれて、「どこへ外出するにも支援が必要」の割合は低くなり、「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」「どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない」の割合が高くなっている。

同居人の特徴別では、『障害者手帳所持者がいる』世帯では「どこへ外出するにも支援が必要」が 31.3%と低く、「慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要」が 43.8%と高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「どこへ外出するにも支援が必要」が 71.4%と高くなっている。

サービスの利用別では、『利用していない』では「ひとりで外出できるため、必要ない」が 32.5%と高くなっている。一方、『利用している』では「どこへ外出するにも支援が必要」が 65.5%と高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	支援は必要ない	慣れた場所以外は支援が必要	どこへ外出するにも支援が必要	その他	無回答
全体	128	11.7	25.8	53.1	6.3	3.1
身体	43	18.6	14.0	60.5	7.0	0.0
知的	87	3.4	25.3	64.4	4.6	2.3
精神	12	8.3	41.7	25.0	16.7	8.3
自立	10	30.0	20.0	40.0	10.0	
難病	6	16.7	0.0	83.3		0.0
発達	51	5.9	31.4	49.0	7.8	5.9

【属性別の集計】

		調査数	どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない	慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要	どこへ外出するにも支援が必要	その他	無回答
全体		128	11.7	25.8	53.1	6.3	3.1
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0
	6～8歳	18	5.6	22.2	61.1	0.0	11.1
	9～11歳	34	5.9	29.4	61.8	2.9	0.0
	12～14歳	26	15.4	34.6	38.5	7.7	3.8
	15～17歳	36	22.2	27.8	38.9	8.3	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	10.9	26.9	52.9	6.7	2.5
	三世代世帯	9	22.2	11.1	55.6	0.0	11.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	20.0	20.0	50.0	0.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	12.5	43.8	31.3	12.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	8.8	20.6	58.8	5.9	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	11.1	25.4	57.1	4.8	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	0.0	15.8	78.9	0.0	5.3
	40～59歳	90	11.1	24.4	54.4	8.9	1.1
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	10.0	30.0	50.0	10.0	0.0
	やや苦しい	60	6.7	28.3	58.3	3.3	3.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	0.0	71.4	0.0	14.3
サービス	利用している	84	1.2	23.8	65.5	6.0	3.6
	利用していない	40	32.5	30.0	30.0	7.5	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	10.0	5.0	75.0	10.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0

(%)

⑤ 外出をためらう理由

問 22　お子さまの外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。
（○はいくつでも）

全体でみると、「ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない」が 38.3%と割合が高く、次いで「他人との会話が難しい」が 37.5%、「体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安」が 29.7%の割合になっている。

障害種別でみると、知的・発達では「ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない」や「他人との会話が難しい」が半数近くを占めている。また、身体・難病では「気軽に利用できる移動手段が少ない」が３割以上を占めている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『9～11 歳』では「他人との会話が難しい」の割合が 61.8%と高くなっている。

サービスの利用別では、『利用していない』では「特にない」が 35.0%となっており、『利用している』に比べて高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	視線が気になる	体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	バリアフリーの建物が少ない	車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）	電車やバスなどの交通機関が利用しづらい	障害者用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）	その他	特にない	無回答
全体		128	38.3	37.5	17.2	29.7	14.1	10.2	7.0	4.7	20.3	22.7	14.1	18.0	17.2	7.0 (%)
障害種別	身体	43	30.2	18.6	18.6	30.2	27.9	20.9	20.9	14.0	37.2	32.6	25.6	14.0	18.6	4.7
	知的	87	49.4	49.4	21.8	33.3	13.8	12.6	4.6	4.6	21.8	25.3	16.1	20.7	11.5	6.9
	精神	12	33.3	25.0	0.0	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	8.3	25.0	8.3
	自立	10	40.0	10.0	10.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0
	難病	6	50.0	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0
	発達	51	47.1	54.9	19.6	35.3	5.9	5.9	2.0	0.0	9.8	13.7	7.8	21.6	13.7	7.8

【属性別の集計】

		調査数	ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	視線が気になる	体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	バリアフリーの建物が少ない	車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）	電車やバスなどの交通機関が利用しづらい	障害者用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）	その他	特にない	無回答
全体		128	38.3	37.5	17.2	29.7	14.1	10.2	7.0	4.7	20.3	22.7	14.1	18.0	17.2	7.0 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	16.7	25.0	16.7	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0	0.0	16.7	33.3	16.7
	6～8歳	18	38.9	44.4	11.1	22.2	22.2	11.1	5.6	0.0	22.2	22.2	11.1	33.3	5.6	5.6
	9～11歳	34	47.1	61.8	29.4	38.2	11.8	8.8	17.6	8.8	17.6	29.4	14.7	14.7	14.7	0.0
	12～14歳	26	38.5	26.9	11.5	15.4	7.7	11.5	0.0	7.7	26.9	7.7	15.4	19.2	19.2	11.5
	15～17歳	36	36.1	25.0	11.1	36.1	16.7	13.9	5.6	2.8	16.7	25.0	19.4	11.1	19.4	8.3
世帯構成	核家族世帯	119	41.2	39.5	18.5	31.1	15.1	10.9	6.7	4.2	20.2	23.5	14.3	18.5	16.8	5.9
	三世代世帯	9	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2	22.2
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	20.0	20.0	0.0	30.0	0.0	0.0	20.0	20.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0
	障害者手帳所持者がいる	16	31.3	37.5	12.5	50.0	18.8	12.5	12.5	12.5	6.3	18.8	12.5	18.8	18.8	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	44.1	41.2	17.6	29.4	11.8	5.9	5.9	0.0	23.5	26.5	11.8	17.6	14.7	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	80.0	60.0	40.0	80.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	36.5	39.7	20.6	27.0	12.7	9.5	4.8	1.6	17.5	22.2	14.3	17.5	19.0	4.8
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	42.1	42.1	21.1	31.6	15.8	15.8	15.8	5.3	21.1	36.8	5.3	36.8	5.3	5.3
	40～59歳	90	43.3	43.3	20.0	33.3	15.6	11.1	6.7	5.6	23.3	23.3	18.9	16.7	14.4	4.4
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	36.0	46.0	20.0	28.0	14.0	8.0	8.0	2.0	16.0	14.0	14.0	14.0	14.0	6.0
	やや苦しい	60	38.3	36.7	15.0	31.7	10.0	10.0	5.0	3.3	20.0	25.0	10.0	20.0	18.3	6.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	71.4	28.6	42.9	42.9	42.9	28.6	28.6	28.6	42.9	71.4	57.1	28.6	14.3	14.3
サービス	利用している	84	50.0	46.4	22.6	33.3	15.5	11.9	7.1	6.0	22.6	28.6	17.9	22.6	8.3	7.1
	利用していない	40	15.0	20.0	5.0	25.0	12.5	7.5	7.5	2.5	17.5	10.0	7.5	5.0	35.0	5.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	35.0	10.0	20.0	45.0	40.0	30.0	35.0	30.0	50.0	45.0	35.0	15.0	10.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	37.5	0.0	25.0	50.0	50.0	37.5	37.5	37.5	62.5	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	50.0	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0

⑥ 趣味・楽しみ

問 23　お子さまのしゅみや楽しみをお答えください。　　（○はいくつでも）

全体でみると、「テレビやビデオ、映画を見ること」が 74.2%と割合が高く、次いで「買い物に行くこと」が 43.8%、「絵をかいたり工作をすること」が 41.4%の割合となっている。

障害種別でみると、身体・知的・精神・難病・発達では「テレビやビデオ、映画をみること」の割合が 5～8 割と高く、自立では「旅行に行くこと」が 50.0%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高くなるほど「お父さんやお母さんの手伝いをすること」が低くなっている。また、『12 歳以上』では「近所におでかけをすること」の割合が 2 割程に低くなり、『9 歳以上』では「旅行に行くこと」の割合が 4～5 割程と高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	スポーツやダンスなど体を動かすこと	絵をかいたり工作をすること	楽器をひいたり歌うこと	お父さんやお母さんの手伝いをすること	友達と遊ぶこと	テレビやビデオ、映画をみること	近所におでかけをすること	旅行にいくこと	買い物に行くこと	その他	特にない	無回答
全体		128	39.1	41.4	32.0	28.1	36.7	74.2	35.9	40.6	43.8	32.8	0.0	3.1
障害種別	身体	43	30.2	39.5	39.5	20.9	44.2	81.4	39.5	37.2	41.9	23.3	0.0	0.0
	知的	87	43.7	36.8	32.2	29.9	33.3	71.3	39.1	41.4	44.8	31.0	0.0	3.4
	精神	12	33.3	50.0	25.0	25.0	25.0	58.3	8.3	33.3	41.7	75.0	0.0	8.3
	自立	10	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	40.0	20.0	50.0	20.0	50.0	0.0	10.0
	難病	6	50.0	66.7	50.0	66.7	50.0	83.3	66.7	66.7	83.3	16.7	0.0	16.7
	発達	51	43.1	45.1	27.5	31.4	35.3	66.7	31.4	37.3	45.1	35.3	0.0	7.8

(%)

【属性別の集計】

		調査数	スポーツやダンスなど体を動かすこと	絵をかいたり工作をすること	楽器をひいたり歌うこと	お父さんやお母さんの手伝いをすること	友達と遊ぶこと	テレビやビデオ、映画をみること	近所におでかけをすること	旅行にいくこと	買い物に行くこと	その他	特にない	無回答
全体		128	39.1	41.4	32.0	28.1	36.7	74.2	35.9	40.6	43.8	32.8	0.0	3.1
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	66.7	58.3	41.7	50.0	41.7	83.3	66.7	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0
	6～8歳	18	44.4	55.6	16.7	38.9	55.6	83.3	55.6	16.7	50.0	27.8	0.0	5.6
	9～11歳	34	38.2	50.0	44.1	32.4	38.2	73.5	44.1	52.9	44.1	32.4	0.0	0.0
	12～14歳	26	30.8	38.5	38.5	19.2	42.3	76.9	19.2	38.5	38.5	38.5	0.0	3.8
	15～17歳	36	36.1	25.0	22.2	19.4	22.2	69.4	22.2	47.2	44.4	36.1	0.0	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	38.7	42.0	32.8	27.7	36.1	73.9	37.8	41.2	46.2	31.9	0.0	2.5
	三世代世帯	9	44.4	33.3	22.2	33.3	44.4	77.8	11.1	33.3	11.1	44.4	0.0	11.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	50.0	30.0	30.0	30.0	40.0	70.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	43.8	68.8	37.5	18.8	56.3	87.5	37.5	56.3	75.0	25.0	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	47.1	50.0	23.5	32.4	41.2	67.6	38.2	44.1	32.4	35.3	0.0	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	40.0	80.0	60.0	60.0	80.0	80.0	80.0	60.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	31.7	34.9	36.5	30.2	28.6	74.6	36.5	39.7	44.4	36.5	0.0	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	36.8	47.4	21.1	42.1	36.8	68.4	52.6	21.1	47.4	15.8	0.0	10.5
	40～59歳	90	40.0	38.9	35.6	24.4	34.4	72.2	35.6	43.3	43.3	37.8	0.0	1.1
	60歳代	2	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	50.0	75.0	50.0	50.0	75.0	100.0	25.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	42.0	48.0	30.0	30.0	36.0	72.0	36.0	48.0	46.0	44.0	0.0	0.0
	やや苦しい	60	35.0	36.7	33.3	28.3	31.7	73.3	38.3	35.0	43.3	26.7	0.0	5.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	42.9	42.9	0.0	28.6	71.4	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0	14.3
サービス	利用している	84	42.9	41.7	36.9	29.8	31.0	71.4	40.5	44.0	46.4	31.0	0.0	4.8
	利用していない	40	30.0	40.0	25.0	27.5	47.5	77.5	27.5	35.0	40.0	35.0	0.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	15.0	30.0	45.0	15.0	30.0	80.0	40.0	50.0	40.0	25.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	37.5	12.5	37.5	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	12.5	25.0	0.0	12.5
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	75.0	50.0	25.0	25.0	75.0	75.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(%)

⑦ 参加させたいと思う活動

問 24　今後、お子さまを参加させたいと思う活動についてお答えください。（○はいくつでも）

全体でみると、「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」が 64.8%と割合が高く、「障害の有無にかかわらず参加できる活動」が 61.7%、「障害のある人と一緒に参加できる活動」が 42.2%の割合となっている。

障害種別でみると、自立をのぞくすべての種別で「ひとりで自分の趣味を楽しめる活動」が６割以上となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高くなるほど「保護者と一緒に参加できる活動」「障害のある人と一緒に参加できる活動」の割合が低くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、参加させたい活動の幅が狭くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	保護者と一緒に参加できる活動	障害のある人と一緒に参加できる活動	障害の有無にかかわらず参加できる活動	その他	無回答
全体		128	64.8	36.7	42.2	61.7	3.1	2.3
障害種別	身体	43	60.5	37.2	37.2	58.1	0.0	2.3
	知的	87	64.4	39.1	50.6	64.4	2.3	0.0
	精神	12	66.7	25.0	33.3	58.3	8.3	0.0
	自立	10	30.0	10.0	30.0	30.0	0.0	20.0
	難病	6	100.0	50.0	50.0	66.7	16.7	0.0
	発達	51	68.6	47.1	51.0	58.8	2.0	2.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	保護者と一緒に参加できる活動	障害のある人と一緒に参加できる活動	障害の有無にかかわらず参加できる活動	その他	無回答
全体		128	64.8	36.7	42.2	61.7	3.1	2.3 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	58.3	83.3	58.3	83.3	0.0	0.0
	6～8歳	18	44.4	55.6	38.9	72.2	5.6	0.0
	9～11歳	34	79.4	41.2	47.1	55.9	0.0	2.9
	12～14歳	26	61.5	23.1	42.3	53.8	3.8	0.0
	15～17歳	36	63.9	13.9	30.6	58.3	5.6	5.6
世帯構成	核家族世帯	119	63.9	36.1	42.9	62.2	3.4	2.5
	三世代世帯	9	77.8	44.4	33.3	55.6	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	70.0	60.0	50.0	60.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	62.5	25.0	31.3	75.0	0.0	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	61.8	47.1	41.2	55.9	2.9	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	100.0	20.0	40.0	80.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	69.8	31.7	44.4	60.3	3.2	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	57.9	68.4	47.4	63.2	0.0	0.0
	40～59歳	90	66.7	33.3	44.4	55.6	4.4	2.2
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	100.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	68.0	34.0	48.0	66.0	2.0	0.0
	やや苦しい	60	66.7	41.7	40.0	56.7	1.7	3.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	42.9	14.3	42.9	42.9	14.3	0.0
サービス	利用している	84	64.3	40.5	48.8	61.9	3.6	0.0
	利用していない	40	65.0	27.5	27.5	60.0	2.5	7.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	65.0	30.0	35.0	70.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	25.0	62.5	50.0	75.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	50.0	50.0	25.0	100.0	0.0	0.0

4.　幼稚園や保育所、学校での生活について

①　通学先

問 25　お子さまの通っている学校などの種類をお答えください。　（○は 1 つだけ）

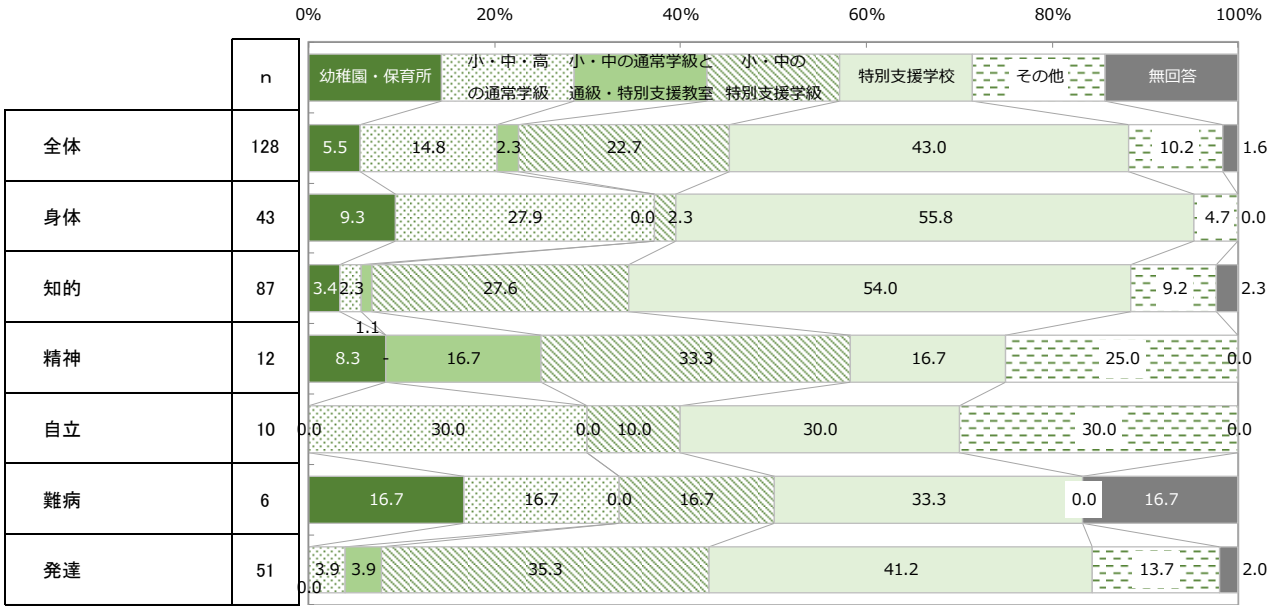
全体でみると、「特別支援学校」が 43.0%と割合が高く、次いで「小学校・中学校の特別支援学級」が 22.7%、「小学校・中学校・高校の通常学級」が 14.8%の割合となっている。

障害種別でみると、身体・知的では「特別支援学校」が半数以上を占めている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『6~11 歳』では「通常学級」に通う割合は 3 割を下回っており、「特別支援学級」が 3 割、「特別支援学校」が 3～4 割となっている。

サービスの利用別では、『利用していない』では、「通常学級」は 30.0%となっており、「特別支援学校」は 27.5%となっている。

【障害種別の集計】



	n	幼稚園・保育所	小・中・高の通常学級	小・中の通常学級と通級・特別支援教室	小・中の特別支援学級	特別支援学校	その他	無回答
全体	128	5.5	14.8	2.3	22.7	43.0	10.2	1.6
身体	43	9.3	27.9	0.0	2.3	55.8	4.7	0.0
知的	87	3.4	2.3	27.6	1.1	54.0	9.2	2.3
精神	12	8.3	16.7	33.3	16.7	25.0	0.0	
自立	10	0.0	30.0	0.0	10.0	30.0	30.0	0.0
難病	6	16.7	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7
発達	51	3.9	3.9	35.3	0.0	41.2	13.7	2.0

【属性別の集計】

		調査数	幼稚園・保育所	小学校・中学校・高校の通常学級	小学校・中学校の通常学級と通級指導学級や特別支援教室を併用	小学校・中学校の特別支援学級	特別支援学校	その他	無回答
全体		128	5.5	14.8	2.3	22.7	43.0	10.2	1.6 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	6～8歳	18	0.0	27.8	0.0	33.3	27.8	11.1	0.0
	9～11歳	34	0.0	17.6	5.9	32.4	38.2	2.9	2.9
	12～14歳	26	0.0	11.5	0.0	38.5	46.2	3.8	0.0
	15～17歳	36	0.0	13.9	2.8	5.6	61.1	16.7	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	5.9	15.1	1.7	23.5	42.9	9.2	1.7
	三世代世帯	9	0.0	11.1	11.1	11.1	44.4	22.2	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	10.0	0.0	10.0	60.0	20.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	6.3	6.3	25.0	50.0	6.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	8.8	17.6	5.9	20.6	32.4	8.8	5.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	4.8	14.3	1.6	25.4	42.9	11.1	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	15.8	10.5	0.0	21.1	31.6	15.8	5.3
	40～59歳	90	3.3	11.1	2.2	23.3	50.0	8.9	1.1
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	6.0	16.0	2.0	24.0	44.0	6.0	2.0
	やや苦しい	60	5.0	11.7	3.3	25.0	45.0	8.3	1.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9	28.6	0.0
サービス	利用している	84	4.8	4.8	0.0	26.2	52.4	9.5	2.4
	利用していない	40	7.5	30.0	7.5	17.5	27.5	10.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	5.0	25.0	0.0	0.0	65.0	5.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	12.5	0.0	0.0	50.0	25.0	12.5
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

② 学校などの生活で困ること

問 26　幼稚園、保育所、学校などでの生活で困っていることをお答えください。
（○はいくつでも）

全体でみると、「特に困っていることはない」が 33.6%と割合が高く、次いで「通うための付き添いの負担が大きい」が 27.3%、「先生や職員の理解や配慮が足りない」が 19.5%の割合となっている。

障害種別で見てみると、身体・知的・難病・発達では「特に困っていることはない」が 3 割を占めている。精神では「先生や職員の配慮が足りない」が 41.7%と高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では『9～11 歳』で「学力がついていけない」が 32.4%と高くなっており、『12~14 歳』では「先生や職員の理解や配慮が足りない」「周囲の児童・生徒の理解が得られない」が高くなっている。

同居人の特徴別では、『障害者手帳所持者がいる』世帯では「体力がついていけない」「学力がついていけない」が他に比べて高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	通うための付き添いの負担が大きい	トイレなどのバリアフリー設備が不十分	障害を理由にイジメや仲間外れにされる	先生や職員の理解や配慮が足りない	周囲の児童・生徒の理解が得られない	体力がついていけない	学力がついていけない	体調が悪くなったときの居場所がない	介助体制が十分でない	医療的なケアが受けられない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体		128	27.3	3.9	5.5	19.5	6.3	11.7	15.6	5.5	7.8	2.3	14.8	33.6	2.3
障害種別	身体	43	27.9	4.7	0.0	11.6	2.3	20.9	9.3	4.7	4.7	7.0	9.3	34.9	0.0
	知的	87	31.0	4.6	5.7	20.7	5.7	6.9	16.1	8.0	9.2	2.3	11.5	35.6	2.3
	精神	12	25.0	0.0	8.3	41.7	25.0	16.7	25.0	16.7	8.3	0.0	25.0	8.3	8.3
	自立	10	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	40.0	20.0	10.0
	難病	6	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7
	発達	51	29.4	0.0	5.9	19.6	9.8	5.9	19.6	5.9	9.8	0.0	23.5	29.4	3.9

(%)

【属性別の集計】

		調査数	通うための付き添いの負担が大きい	トイレなどのバリアフリー設備が不十分	障害を理由にイジメや仲間外れにされる	先生や職員の理解や配慮が足りない	周囲の児童・生徒の理解が得られない	体力がついていけない	学力がついていけない	体調が悪くなったときの居場所がない	介助体制が十分でない	医療的なケアが受けられない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体		128	27.3	3.9	5.5	19.5	6.3	11.7	15.6	5.5	7.8	2.3	14.8	33.6	2.3
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	50.0	8.3
	6～8歳	18	27.8	5.6	5.6	16.7	0.0	16.7	11.1	11.1	11.1	0.0	16.7	38.9	0.0
	9～11歳	34	38.2	0.0	11.8	26.5	5.9	14.7	32.4	2.9	11.8	2.9	11.8	14.7	0.0
	12～14歳	26	19.2	7.7	7.7	34.6	19.2	11.5	11.5	3.8	11.5	0.0	19.2	30.8	0.0
	15～17歳	36	22.2	5.6	0.0	8.3	2.8	8.3	11.1	5.6	2.8	2.8	19.4	47.2	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	28.6	4.2	5.0	21.0	6.7	12.6	16.8	5.0	8.4	2.5	16.0	31.9	1.7
	三世代世帯	9	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	55.6	11.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	50.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	18.8	0.0	0.0	25.0	6.3	31.3	25.0	6.3	12.5	0.0	25.0	25.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	35.3	2.9	11.8	20.6	2.9	8.8	8.8	5.9	5.9	2.9	17.6	26.5	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	60.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	あてはまらない	63	23.8	4.8	4.8	20.6	9.5	9.5	22.2	3.2	6.3	1.6	11.1	38.1	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	26.3	0.0	0.0	26.3	5.3	15.8	15.8	15.8	5.3	5.3	10.5	26.3	5.3
	40～59歳	90	32.2	5.6	4.4	16.7	5.6	8.9	16.7	4.4	10.0	2.2	16.7	34.4	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	26.0	2.0	6.0	20.0	4.0	10.0	12.0	6.0	8.0	0.0	18.0	34.0	2.0
	やや苦しい	60	31.7	5.0	3.3	20.0	6.7	11.7	21.7	5.0	8.3	5.0	10.0	28.3	3.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	28.6	0.0	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9	28.6	0.0
サービス	利用している	84	32.1	6.0	2.4	20.2	3.6	6.0	15.5	6.0	10.7	3.6	15.5	32.1	3.6
	利用していない	40	17.5	0.0	10.0	17.5	12.5	20.0	15.0	5.0	2.5	0.0	12.5	37.5	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	25.0	0.0	0.0	10.0	0.0	25.0	5.0	5.0	5.0	10.0	15.0	40.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5
	視覚障害がある	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

(%)

③ 頻度の多い過ごし方（平日の放課後）

問 27　放課後や土日の休み、夏休みなどの長期休暇中の日中をどのように過ごしていますか。
最も頻度の多い過ごし方をそれぞれお答えください。　（○はそれぞれに 1 つずつ）

全体でみると、「家族といる」が 34.4%と最も高く、次いで「放課後等デイサービスに行く」が 32.8%、「習い事や塾に行く」が 6.3%となっている。

障害種別でみると、「家族といる」は自立で高く 70.0%となっており、その他の種別では半数を下回っている。一方で、知的・難病・発達では「放課後等デイサービス」が高く４～５割となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『５歳以下』の未就学児では「家族といる」が高くなっており、また、『15～17 歳』でも「家族といる」が 44.4%と高くなっている。一方で、『６～14 歳』では「放課後等デイサービス」が最も高く３～５割となっており、『６～11 歳』の小学生では「学童クラブ」が１～２割となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	家族といる	放課後等デイサービスに行く	習い事や塾に行く	友だちや知り合いといる	学童クラブに行く	ヘルパーなどと外出する	ひとりでいる	特になにもしていない	その他	無回答
全体		128	34.4	32.8	6.3	2.3	4.7	0.0	2.3	2.3	5.5	9.4
障害種別	身体	43	48.8	23.3	7.0	2.3	7.0	0.0	0.0	4.7	7.0	0.0
	知的	87	32.2	42.5	3.4	1.1	2.3	0.0	2.3	0.0	3.4	12.6
	精神	12	41.7	8.3	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0
	自立	10	70.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0
	難病	6	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	発達	51	27.5	39.2	5.9	2.0	5.9	0.0	3.9	2.0	5.9	7.8

(%)

【属性別の集計】

		調査数	家族といる	放課後等デイサービスに行く	習い事や塾に行く	友だちや知り合いといる	学童クラブに行く	ヘルパーなどと外出する	ひとりでいる	特になにもしていない	その他	無回答
全体		128	34.4	32.8	6.3	2.3	4.7	0.0	2.3	2.3	5.5	9.4
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
	6～8歳	18	22.2	38.9	5.6	5.6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	9～11歳	34	17.6	55.9	8.8	2.9	8.8	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9
	12～14歳	26	26.9	30.8	15.4	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	3.8	15.4
	15～17歳	36	44.4	22.2	0.0	2.8	0.0	0.0	5.6	5.6	11.1	8.3
世帯構成	核家族世帯	119	35.3	33.6	5.9	1.7	4.2	0.0	2.5	2.5	5.0	9.2
	三世代世帯	9	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0
	障害者手帳所持者がいる	16	37.5	25.0	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	38.2	26.5	5.9	2.9	11.8	0.0	2.9	2.9	0.0	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	あてはまらない	63	27.0	41.3	6.3	1.6	1.6	0.0	3.2	3.2	4.8	11.1
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	31.6	47.4	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	10.5
	40～59歳	90	37.8	32.2	5.6	3.3	4.4	0.0	3.3	2.2	5.6	5.6
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	32.0	38.0	10.0	2.0	8.0	0.0	2.0	0.0	2.0	6.0
	やや苦しい	60	38.3	33.3	5.0	1.7	3.3	0.0	1.7	1.7	3.3	11.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3
サービス	利用している	84	31.0	47.6	4.8	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	2.4	11.9
	利用していない	40	45.0	0.0	5.0	5.0	15.0	0.0	5.0	7.5	12.5	5.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	55.0	25.0	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
	医療的ケアを受けている	8	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	視覚障害がある	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0

(%)

④ 頻度の多い過ごし方（土日の休み）

問 27　放課後や土日の休み、夏休みなどの長期休暇中の日中をどのように過ごしていますか。
最も頻度の多い過ごし方をそれぞれお答えください。　（○はそれぞれに 1 つずつ）

全体でみると、「家族といる」が 76.6%と最も高く、次いで「特に何もしていない」が 3.9%、「ひとりでいる」が 3.1%となっている。

障害種別でみると、「家族といる」はすべての種別で高く 6 割を上回っている。一方、精神・自立では「ひとりでいる」が 1 割を上回っており、精神で 16.7%、自立で 10.0%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『11 歳以下』では「家族といる」が高く 9 割以上となっている。一方で、『12～17 歳』では「家族といる」は 6 割を下回っている。

【障害種別の集計】

		調査数	家族といる	放課後等デイサービスに行く	習い事や塾に行く	友だちや知り合いといる	学童クラブに行く	ヘルパーなどと外出する	ひとりでいる	特になにもしていない	その他	無回答
全体		128	76.6	1.6	2.3	0.8	0.0	0.8	3.1	3.9	2.3	8.6
障害種別	身体	43	79.1	2.3	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	9.3	4.7	0.0
	知的	87	78.2	2.3	3.4	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	2.3	11.5
	精神	12	75.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	自立	10	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0
	難病	6	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	発達	51	78.4	0.0	3.9	2.0	0.0	0.0	3.9	2.0	0.0	9.8

(%)

【属性別の集計】

		調査数	家族といる	放課後等デイサービスに行く	習い事や塾に行く	友だちや知り合いといる	学童クラブに行く	ヘルパーなどと外出する	ひとりでいる	特になにもしていない	その他	無回答
全体		128	76.6	1.6	2.3	0.8	0.0	0.8	3.1	3.9	2.3	8.6
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	91.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	6～8歳	18	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9～11歳	34	94.1	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0
	12～14歳	26	57.7	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	7.7	3.8	19.2
	15～17歳	36	58.3	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8	8.3	8.3	5.6	11.1
世帯構成	核家族世帯	119	77.3	1.7	2.5	0.8	0.0	0.8	2.5	3.4	1.7	9.2
	三世代世帯	9	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	81.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	88.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	5.9	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	あてはまらない	63	71.4	3.2	3.2	1.6	0.0	1.6	3.2	3.2	0.0	12.7
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	89.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3
	40～59歳	90	78.9	2.2	3.3	1.1	0.0	0.0	2.2	4.4	2.2	5.6
	60歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	80.0	0.0	6.0	2.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	8.0
	やや苦しい	60	80.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	3.3	0.0	8.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
サービス	利用している	84	78.6	2.4	3.6	1.2	0.0	1.2	2.4	0.0	0.0	10.7
	利用していない	40	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	12.5	7.5	5.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	85.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0
	医療的ケアを受けている	8	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	視覚障害がある	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0

(%)

⑤ 頻度の多い過ごし方（夏休みなどの長期休暇）

問 27　放課後や土日の休み、夏休みなどの長期休暇中の日中をどのように過ごしていますか。
最も頻度の多い過ごし方をそれぞれお答えください。　（○はそれぞれに 1 つずつ）

全体でみると、「家族といる」が 45.3%と最も高く、次いで「放課後等デイサービスに行く」が 21.1%、「ひとりでいる」が 7.0%となっている。

障害種別でみると、「家族といる」は身体で高く 62.8%となっており、その他の種別では半数を下回っている。一方で、知的・難病・発達では「放課後等デイサービス」が高くなっており、精神・自立では「ひとりでいる」が高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『５歳以下』の未就学児では「家族といる」が高くなっており、また、『15～17 歳』でも「家族といる」が 52.8%と高くなっている。一方で、『６～11 歳』では「放課後等デイサービス」が最も高く３～５割となっており、「学童クラブ」についても１～２割となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	家族といる	放課後等デイサービスに行く	習い事や塾に行く	友だちや知り合いといる	学童クラブに行く	ヘルパーなどと外出する	ひとりでいる	特になにもしていない	その他	無回答
全体		128	45.3	21.1	1.6	0.8	4.7	0.8	7.0	1.6	7.0	10.2
障害種別	身体	43	62.8	7.0	2.3	2.3	4.7	0.0	2.3	2.3	14.0	2.3
	知的	87	42.5	28.7	0.0	0.0	3.4	1.1	4.6	0.0	5.7	13.8
	精神	12	41.7	8.3	8.3	0.0	16.7	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	自立	10	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0
	難病	6	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	発達	51	35.3	27.5	2.0	0.0	7.8	0.0	9.8	2.0	5.9	9.8

(%)

【属性別の集計】

		調査数	家族といる	放課後等デイサービスに行く	習い事や塾に行く	友だちや知り合いといる	学童クラブに行く	ヘルパーなどと外出する	ひとりでいる	特になにもしていない	その他	無回答
全体		128	45.3	21.1	1.6	0.8	4.7	0.8	7.0	1.6	7.0	10.2
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7
	6～8歳	18	44.4	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
	9～11歳	34	32.4	44.1	2.9	0.0	8.8	0.0	2.9	0.0	5.9	2.9
	12～14歳	26	38.5	11.5	3.8	3.8	0.0	0.0	19.2	0.0	7.7	15.4
	15～17歳	36	52.8	8.3	0.0	0.0	0.0	2.8	8.3	5.6	11.1	11.1
世帯構成	核家族世帯	119	44.5	21.8	1.7	0.8	4.2	0.8	6.7	1.7	6.7	10.9
	三世代世帯	9	55.6	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	50.0	12.5	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	25.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	55.9	23.5	0.0	0.0	11.8	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	あてはまらない	63	39.7	23.8	3.2	1.6	1.6	1.6	7.9	1.6	4.8	14.3
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	47.4	31.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	10.5
	40～59歳	90	46.7	22.2	2.2	1.1	4.4	1.1	6.7	1.1	7.8	6.7
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	44.0	22.0	4.0	2.0	6.0	0.0	4.0	0.0	8.0	10.0
	やや苦しい	60	46.7	23.3	0.0	0.0	5.0	1.7	8.3	1.7	1.7	11.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	84	45.2	29.8	1.2	0.0	1.2	1.2	4.8	0.0	3.6	13.1
	利用していない	40	47.5	0.0	2.5	0.0	12.5	0.0	12.5	5.0	15.0	5.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	70.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
	医療的ケアを受けている	8	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	視覚障害がある	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	聴覚障害がある	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0

(%)

⑥ 放課後の過ごし方

問 28　放課後の過ごし方について困っていることをお答えください。　（○はいくつでも）

全体でみると、「特にない」が 45.3%と割合が高く、次いで「あまり楽しめていない」が 10.2%、「居場所が学校から離れている」が 9.4%の割合となっている。

障害種別・属性別でみても、「特にない」の割合が高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	居場所が学校から離れている	居場所が自宅から離れている	周囲の人との相性が良くない	あまり楽しめていない	体調が悪くなったときに介助する人がいない	交通環境が悪い	その他	特にない	無回答
全体		128	9.4	6.3	3.1	10.2	7.8	0.0	23.4	45.3	8.6
障害種別	身体	43	7.0	7.0	2.3	7.0	7.0	0.0	7.0	60.5	9.3
	知的	87	10.3	8.0	3.4	12.6	9.2	0.0	24.1	41.4	9.2
	精神	12	8.3	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	16.7	8.3
	自立	10	10.0	10.0	10.0	30.0	10.0	0.0	10.0	30.0	10.0
	難病	6	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7
	発達	51	9.8	11.8	5.9	9.8	7.8	0.0	41.2	33.3	3.9

(%)

【属性別の集計】

		調査数	居場所が学校から離れている	居場所が自宅から離れている	周囲の人との相性が良くない	あまり楽しめていない	体調が悪くなったときに介助する人がいない	交通環境が悪い	その他	特にない	無回答
全体		128	9.4	6.3	3.1	10.2	7.8	0.0	23.4	45.3	8.6 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	33.3	41.7
	6～8歳	18	11.1	5.6	0.0	0.0	11.1	0.0	27.8	55.6	0.0
	9～11歳	34	11.8	8.8	2.9	11.8	2.9	0.0	23.5	52.9	2.9
	12～14歳	26	11.5	7.7	0.0	19.2	7.7	0.0	34.6	30.8	11.5
	15～17歳	36	8.3	5.6	8.3	11.1	8.3	0.0	16.7	50.0	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	10.1	6.7	3.4	10.1	8.4	0.0	24.4	45.4	6.7
	三世代世帯	9	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	44.4	33.3
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	40.0	20.0
	障害者手帳所持者がいる	16	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5	0.0	25.0	43.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	8.8	2.9	8.8	5.9	0.0	26.5	41.2	8.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	あてはまらない	63	7.9	4.8	3.2	14.3	7.9	0.0	23.8	49.2	6.3
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	15.8	10.5	0.0	5.3	21.1	0.0	10.5	47.4	10.5
	40～59歳	90	7.8	6.7	4.4	11.1	4.4	0.0	27.8	44.4	6.7
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	4.0	6.0	4.0	10.0	10.0	0.0	22.0	54.0	4.0
	やや苦しい	60	13.3	6.7	3.3	8.3	6.7	0.0	28.3	36.7	13.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0
サービス	利用している	84	11.9	9.5	3.6	10.7	9.5	0.0	25.0	36.9	11.9
	利用していない	40	2.5	0.0	2.5	10.0	5.0	0.0	22.5	60.0	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	10.0	10.0	0.0	0.0	5.0	0.0	15.0	50.0	15.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	50.0
	視覚障害がある	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0

⑦ 高校卒業後の過ごし方

問 29　高等学校卒業後、日中をどのように過ごしたいですか。　（○は 1 つだけ）

全体でみると、「わからない」が 22.7%と割合が高く、次いで「会社などで働きたい」が 18.8%、「学校に通いたい」が 14.1%の割合となっている。

障害種別でみると、知的・精神・自立・発達で「会社で働きたい」が２～３割となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『3～11 歳』では「わからない」が高くなっているが、『12～17 歳』では「会社などで働きたい」が高くなっている。

世帯構成別では、『三世代世帯』では「会社などで働きたい」の割合が 44.4%と高くなっている。

同居人の特徴別では、『65 歳以上の高齢者がいる』世帯では「会社などで働きたい」の割合が高くなっている。また、『障害者手帳所持者がいる』世帯では「障害のある人といっしょに、色々な活動ができる場所で過ごしたい」「学校に通いたい」が高くなっている。

サービス利用別では、『利用していない』では「学校に通いたい」が 37.5%と高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	家でのんびりと暮らしたい	会社などで働きたい	会社で働くのはむずかしいので、作業所などに通いたい	会社で働けるようになるために、技術を身につける訓練をしたい	福祉施設で日常生活を過ごすための訓練をしたい	病院などで日常生活の訓練や介護を受けたい	障害のある人といっしょに、色々な活動ができる場所で過ごしたい	学校（大学や専門学校など）に通いたい	その他	わからない	無回答
全体		128	1.6	18.8	13.3	3.9	4.7	0.8	6.3	14.1	0.8	22.7	13.3 (%)
障害種別	身体	43	2.3	7.0	4.7	0.0	9.3	2.3	11.6	27.9	0.0	23.3	11.6
	知的	87	2.3	19.5	18.4	4.6	5.7	1.1	8.0	2.3	1.1	20.7	16.1
	精神	12	0.0	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	33.3	0.0
	自立	10	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	30.0	0.0
	難病	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0
	発達	51	0.0	25.5	17.6	7.8	2.0	0.0	2.0	3.9	0.0	29.4	11.8

【属性別の集計】

		調査数	家でのんびりと暮らしたい	会社などで働きたい	会社で働くのはむずかしいので、作業所などに通いたい	会社で働けるようになるために、技術を身につける訓練をしたい	福祉施設で日常生活を過ごすための訓練をしたい	病院などで日常生活の訓練や介護を受けたい	障害のある人といっしょに、色々な活動ができる場所で過ごしたい	学校（大学や専門学校など）に通いたい	その他	わからない	無回答
全体		128	1.6	18.8	13.3	3.9	4.7	0.8	6.3	14.1	0.8	22.7	13.3
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	25.0	50.0
	6～8歳	18	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	11.1
	9～11歳	34	0.0	5.9	23.5	5.9	0.0	2.9	11.8	14.7	2.9	26.5	5.9
	12～14歳	26	7.7	34.6	3.8	3.8	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	15.4	11.5
	15～17歳	36	0.0	30.6	16.7	0.0	11.1	0.0	2.8	19.4	0.0	11.1	8.3
世帯構成	核家族世帯	119	1.7	16.8	14.3	4.2	4.2	0.8	6.7	14.3	0.0	22.7	14.3
	三世代世帯	9	0.0	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	40.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	30.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	0.0	12.5	6.3	12.5	0.0	0.0	18.8	25.0	0.0	12.5	12.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	14.7	14.7	2.9	0.0	0.0	2.9	14.7	2.9	35.3	11.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	あてはまらない	63	3.2	19.0	17.5	4.8	6.3	0.0	6.3	12.7	0.0	14.3	15.9
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	0.0	5.3	15.8	10.5	0.0	0.0	5.3	15.8	0.0	31.6	15.8
	40～59歳	90	2.2	20.0	15.6	3.3	6.7	1.1	6.7	13.3	0.0	20.0	11.1
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	0.0	14.0	14.0	2.0	6.0	0.0	6.0	12.0	2.0	22.0	22.0
	やや苦しい	60	1.7	23.3	16.7	5.0	5.0	1.7	3.3	10.0	0.0	23.3	10.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0
サービス	利用している	84	2.4	15.5	16.7	4.8	6.0	1.2	9.5	3.6	0.0	21.4	19.0
	利用していない	40	0.0	22.5	7.5	2.5	2.5	0.0	0.0	37.5	2.5	22.5	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	5.0	5.0	5.0	0.0	10.0	5.0	15.0	15.0	0.0	25.0	15.0
	医療的ケアを受けている	8	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0

(%)

⑧ 障害者が働くために必要なこと

問 30　障害のある人が働くために必要なことをお答えください。　（○はいくつでも）

全体でみると、「障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること」が 75.8%と割合が高く、次いで「就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援」が 61.7%、「障害がある人を雇用したい事業者の求人情報」「就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者」が 57.0%となっている。

障害種別・属性別でみても、ほぼ同様の割合となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	障害のある人が就職や転職についての悩みを相談する窓口	障害のある人を雇用したい事業者の求人情報	就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援	就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度	就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）	パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練	障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること	障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化	体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所	就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援	その他	わからない	無回答
全体		128	53.9	57.0	32.8	55.5	57.0	42.2	75.8	44.5	53.1	61.7	10.2	6.3	3.1
障害種別	身体	43	58.1	58.1	30.2	55.8	62.8	51.2	69.8	58.1	62.8	62.8	11.6	9.3	0.0
	知的	87	49.4	54.0	27.6	51.7	54.0	35.6	75.9	39.1	50.6	59.8	12.6	6.9	4.6
	精神	12	75.0	83.3	58.3	58.3	58.3	41.7	91.7	50.0	58.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	自立	10	30.0	40.0	20.0	40.0	40.0	30.0	80.0	40.0	50.0	70.0	10.0	0.0	0.0
	難病	6	16.7	33.3	16.7	50.0	66.7	33.3	66.7	50.0	66.7	66.7	33.3	0.0	16.7
	発達	51	58.8	66.7	43.1	64.7	60.8	51.0	84.3	43.1	52.9	70.6	2.0	3.9	3.9

(%)

【属性別の集計】

		調査数	障害のある人が就職や転職についての悩みを相談する窓口	障害のある人を雇用したい事業者の求人情報	就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援	就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度	就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）	パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練	障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること	障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化	体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所	就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援	その他	わからない	無回答
全体		128	53.9	57.0	32.8	55.5	57.0	42.2	75.8	44.5	53.1	61.7	10.2	6.3	3.1 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	41.7	50.0	33.3	58.3	58.3	41.7	75.0	58.3	41.7	58.3	0.0	8.3	16.7
	6～8歳	18	50.0	72.2	38.9	44.4	44.4	55.6	72.2	38.9	66.7	38.9	16.7	11.1	0.0
	9～11歳	34	73.5	58.8	41.2	76.5	67.6	58.8	79.4	52.9	47.1	67.6	11.8	5.9	0.0
	12～14歳	26	50.0	57.7	30.8	53.8	61.5	38.5	57.7	46.2	53.8	57.7	15.4	7.7	3.8
	15～17歳	36	44.4	50.0	25.0	44.4	52.8	25.0	88.9	33.3	55.6	75.0	5.6	2.8	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	52.9	56.3	32.8	54.6	58.0	42.0	77.3	45.4	53.8	61.3	10.1	6.7	3.4
	三世代世帯	9	66.7	66.7	33.3	66.7	44.4	44.4	55.6	33.3	44.4	66.7	11.1	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	60.0	60.0	30.0	60.0	60.0	60.0	60.0	40.0	50.0	70.0	10.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	56.3	62.5	25.0	50.0	56.3	37.5	81.3	37.5	31.3	62.5	0.0	6.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	61.8	58.8	41.2	55.9	52.9	50.0	79.4	44.1	50.0	58.8	8.8	2.9	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	60.0	60.0	40.0	60.0	60.0	60.0	80.0	60.0	80.0	80.0	0.0	20.0	0.0
	あてはまらない	63	50.8	55.6	33.3	55.6	60.3	36.5	76.2	44.4	54.0	63.5	11.1	9.5	4.8
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	68.4	78.9	36.8	63.2	68.4	52.6	89.5	52.6	57.9	52.6	10.5	0.0	5.3
	40～59歳	90	52.2	52.2	32.2	55.6	53.3	38.9	74.4	43.3	52.2	62.2	8.9	8.9	2.2
	60歳代	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	75.0	100.0	50.0	100.0	100.0	75.0	100.0	100.0	75.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	54.0	54.0	30.0	54.0	56.0	38.0	80.0	36.0	46.0	58.0	14.0	4.0	4.0
	やや苦しい	60	55.0	61.7	38.3	55.0	58.3	48.3	76.7	48.3	58.3	68.3	5.0	6.7	3.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	42.9	42.9	28.6	28.6	42.9	28.6	42.9	42.9	57.1	42.9	28.6	28.6	0.0
サービス	利用している	84	51.2	54.8	29.8	51.2	58.3	39.3	76.2	44.0	50.0	61.9	11.9	6.0	4.8
	利用していない	40	62.5	62.5	40.0	67.5	57.5	50.0	77.5	47.5	62.5	65.0	7.5	2.5	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	75.0	65.0	35.0	60.0	65.0	65.0	70.0	80.0	75.0	75.0	15.0	5.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	50.0	50.0	25.0	50.0	62.5	37.5	62.5	62.5	50.0	62.5	12.5	0.0	12.5
	視覚障害がある	2	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	50.0	50.0	50.0	75.0	75.0	25.0	100.0	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0

５．　相談支援や情報入手について

①　子どもの成長や将来についての相談

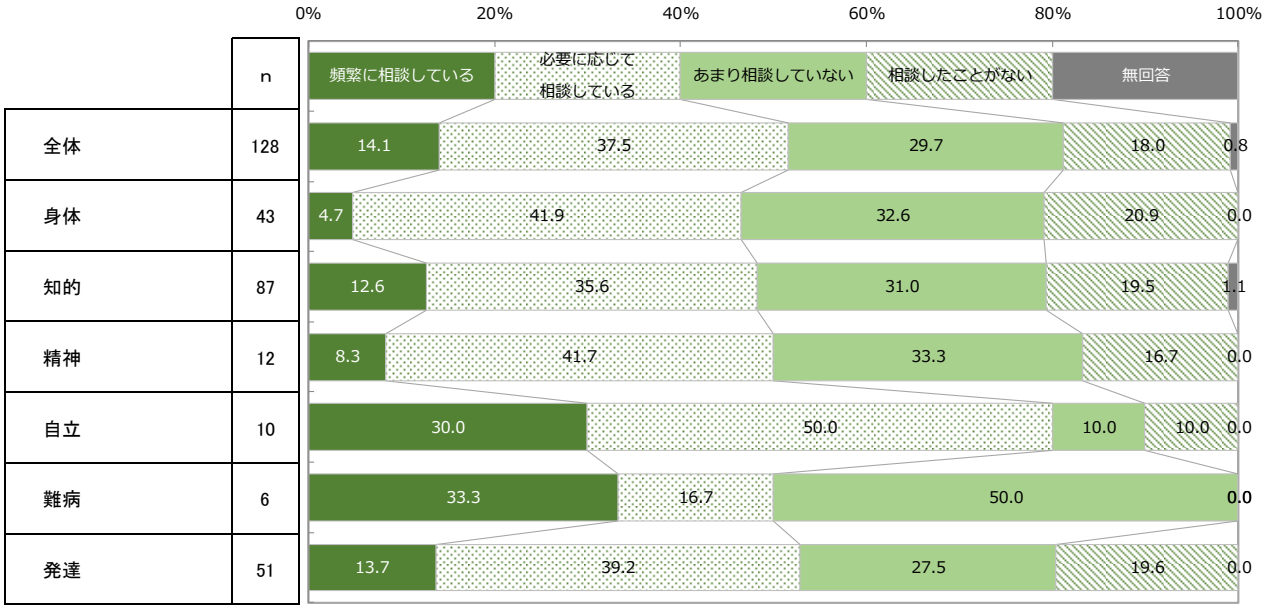
問 31　お子さまの成長や将来について、親族や親せきと相談していますか。　（○は 1 つだけ）

全体でみると、「必要に応じてしている」が 37.5%と割合が高く、次いで「あまり相談していない」が 29.7%、「相談したことがない」が 18.0%の割合となっている。

障害種別でみると、自立では「頻繁に相談している」「必要に応じて相談している」が 80.0%となっているが、身体・知的・精神・難病では「相談したことがない」「あまり相談していない」が半数を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『15~17 歳』では「頻繁に相談している」「必要に応じて相談している」が 63.9%と高くなっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	頻繁に相談している	必要に応じて相談している	あまり相談していない	相談したことがない	無回答
全体		128	14.1	37.5	29.7	18.0	0.8
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	16.7	50.0	0.0	25.0	8.3
	6～8歳	18	33.3	27.8	22.2	16.7	0.0
	9～11歳	34	0.0	32.4	47.1	20.6	0.0
	12～14歳	26	23.1	23.1	34.6	19.2	0.0
	15～17歳	36	11.1	52.8	22.2	13.9	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	14.3	37.0	29.4	18.5	0.8
	三世代世帯	9	11.1	44.4	33.3	11.1	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	10.0	50.0	20.0	20.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	12.5	37.5	31.3	18.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	14.7	35.3	29.4	20.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0
	あてはまらない	63	12.7	38.1	30.2	17.5	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	21.1	42.1	21.1	15.8	0.0
	40～59歳	90	11.1	37.8	31.1	20.0	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	4.0	36.0	46.0	12.0	2.0
	やや苦しい	60	20.0	33.3	21.7	25.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	28.6	28.6	28.6	0.0
サービス	利用している	84	14.3	35.7	32.1	16.7	1.2
	利用していない	40	10.0	45.0	25.0	20.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	10.0	25.0	35.0	30.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	12.5	50.0	0.0	37.5	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(%)

② 親族以外で相談している人や場所

問 32　親族や親せき以外にお子さまの悩みを相談している人や場所をお答えください。
（○はいくつでも）

全体でみると、「病院や診療所」が 50.8%と割合が高く、次いで「友人や知人」が 46.9%、「職場や学校」が 40.6%の割合となっている。

障害種別でみると、精神・自立では「病院や診療所」が約 8 割と高くなっており、また「友人や知人」についても他に比べて高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『3～5 歳』では「幼稚園や保育所の先生」が高く、『6～17 歳』では「職場や学校」が高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、「特にいない」が 28.6%と高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	市役所の相談窓口	市役所以外の障害福祉の相談窓口	福祉施設の職員	職場や学校	病院や診療所	児童相談所	幼稚園や保育所の先生	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障害者団体	友人や知人	その他	特にいない	無回答
全体		128	4.7	5.5	15.6	40.6	50.8	0.8	6.3	0.8	2.3	6.3	46.9	13.3	10.9	1.6
障害種別	身体	43	2.3	4.7	16.3	27.9	46.5	0.0	4.7	0.0	2.3	2.3	37.2	9.3	18.6	2.3
	知的	87	3.4	6.9	18.4	46.0	46.0	0.0	5.7	1.1	2.3	8.0	48.3	14.9	11.5	2.3
	精神	12	16.7	8.3	0.0	41.7	75.0	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	58.3	25.0	0.0	0.0
	自立	10	20.0	20.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	70.0	10.0	0.0	0.0
	難病	6	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7
	発達	51	7.8	5.9	17.6	49.0	62.7	2.0	5.9	0.0	0.0	7.8	54.9	15.7	7.8	2.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	市役所の相談窓口	市役所以外の障害福祉の相談窓口	福祉施設の職員	職場や学校	病院や診療所	児童相談所	幼稚園や保育所の先生	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障害者団体	友人や知人	その他	特にいない	無回答
全体		128	4.7	5.5	15.6	40.6	50.8	0.8	6.3	0.8	2.3	6.3	46.9	13.3	10.9	1.6 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	0.0	8.3	0.0	41.7	0.0	41.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0
	6～8歳	18	11.1	0.0	5.6	55.6	38.9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	55.6	11.1	5.6	0.0
	9～11歳	34	0.0	2.9	23.5	47.1	55.9	0.0	2.9	0.0	2.9	2.9	47.1	14.7	11.8	0.0
	12～14歳	26	3.8	7.7	11.5	46.2	42.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	53.8	11.5	15.4	7.7
	15～17歳	36	8.3	11.1	19.4	38.9	61.1	2.8	0.0	0.0	5.6	13.9	47.2	8.3	8.3	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	4.2	5.0	16.0	39.5	52.1	0.8	5.9	0.8	2.5	6.7	46.2	13.4	10.1	1.7
	三世代世帯	9	11.1	11.1	11.1	55.6	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	55.6	11.1	22.2	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	10.0	20.0	20.0	50.0	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	60.0	30.0	10.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	0.0	6.3	25.0	43.8	43.8	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	62.5	6.3	6.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	8.8	0.0	8.8	29.4	50.0	0.0	8.8	2.9	0.0	2.9	44.1	5.9	17.6	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	3.2	6.3	17.5	42.9	54.0	1.6	4.8	0.0	1.6	7.9	39.7	17.5	11.1	3.2
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	15.8	0.0	15.8	36.8	52.6	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	68.4	15.8	0.0	0.0
	40～59歳	90	2.2	6.7	16.7	43.3	52.2	1.1	5.6	0.0	2.2	7.8	45.6	11.1	13.3	2.2
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	4.0	4.0	26.0	42.0	52.0	0.0	6.0	0.0	4.0	8.0	42.0	14.0	10.0	0.0
	やや苦しい	60	6.7	6.7	8.3	41.7	55.0	1.7	6.7	1.7	1.7	6.7	50.0	13.3	11.7	3.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3	28.6	0.0
サービス	利用している	84	6.0	7.1	23.8	42.9	52.4	0.0	6.0	1.2	3.6	8.3	51.2	16.7	4.8	2.4
	利用していない	40	2.5	2.5	0.0	37.5	50.0	2.5	5.0	0.0	0.0	2.5	40.0	5.0	25.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	10.0	25.0	40.0	60.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	30.0	15.0	15.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	25.0	12.5	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	50.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

③ 生活に必要な情報入手はできているか（福祉サービス）

問 33　お子さまの生活に必要な情報を入手できていますか。　（○はそれぞれ 1 つずつ）

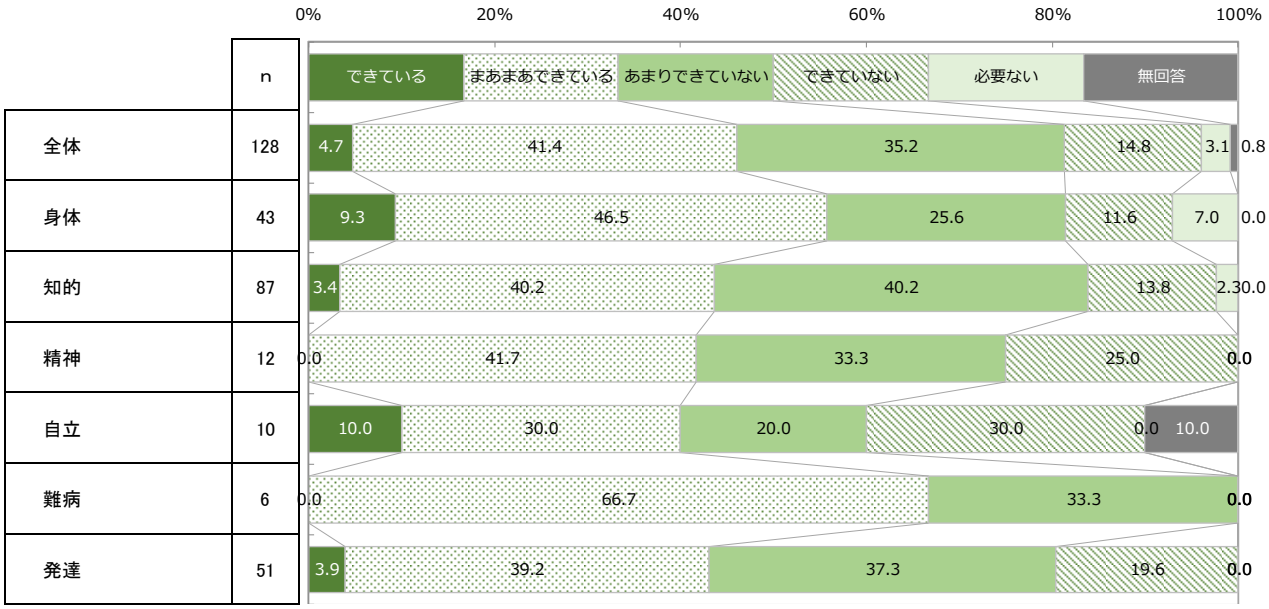
全体でみると、「まあまあできている」が最も高く 41.4%となっており、次いで「あまりできていない」が 35.2%、「できていない」が 14.8%となっている。

障害種別でみると、身体・難病では「できている」「まあまあできている」の合計が半数を上回っている。一方で、精神・自立では「できていない」が 2～3 割と高くなっている。

属性別でみると、同居人の特徴別では、『病気などの理由で不自由な方がいる』世帯では「できていない」「あまりできていない」の合計が 100%となっている。

サービス利用別では、『利用していない』では「できていない」が 22.5%となっており、『利用している』に比べて高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体	128	4.7	41.4	35.2	14.8	3.1	0.8
身体	43	9.3	46.5	25.6	11.6	7.0	0.0
知的	87	3.4	40.2	40.2	13.8	2.3	0.0
精神	12	0.0	41.7	33.3	25.0	0.0	
自立	10	10.0	30.0	20.0	30.0	0.0	10.0
難病	6	0.0	66.7	33.3	0.0		
発達	51	3.9	39.2	37.3	19.6	0.0	

【属性別の集計】

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体		128	4.7	41.4	35.2	14.8	3.1	0.8 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	16.7	41.7	33.3	8.3	0.0	0.0
	6～8歳	18	5.6	44.4	38.9	11.1	0.0	0.0
	9～11歳	34	0.0	32.4	35.3	26.5	5.9	0.0
	12～14歳	26	7.7	38.5	38.5	15.4	0.0	0.0
	15～17歳	36	2.8	50.0	30.6	8.3	5.6	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	5.0	40.3	36.1	15.1	2.5	0.8
	三世代世帯	9	0.0	55.6	22.2	11.1	11.1	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	50.0	30.0	20.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	0.0	50.0	31.3	12.5	6.3	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	35.3	29.4	17.6	5.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	3.2	42.9	39.7	12.7	1.6	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	10.5	47.4	42.1	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	90	4.4	43.3	31.1	18.9	2.2	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	4.0	44.0	36.0	14.0	2.0	0.0
	やや苦しい	60	3.3	38.3	35.0	20.0	3.3	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	28.6	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0
サービス	利用している	84	6.0	42.9	40.5	10.7	0.0	0.0
	利用していない	40	0.0	42.5	22.5	22.5	10.0	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	5.0	45.0	30.0	10.0	10.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	12.5	62.5	12.5	12.5	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0

④　生活に必要な情報入手はできているか（地域情報）

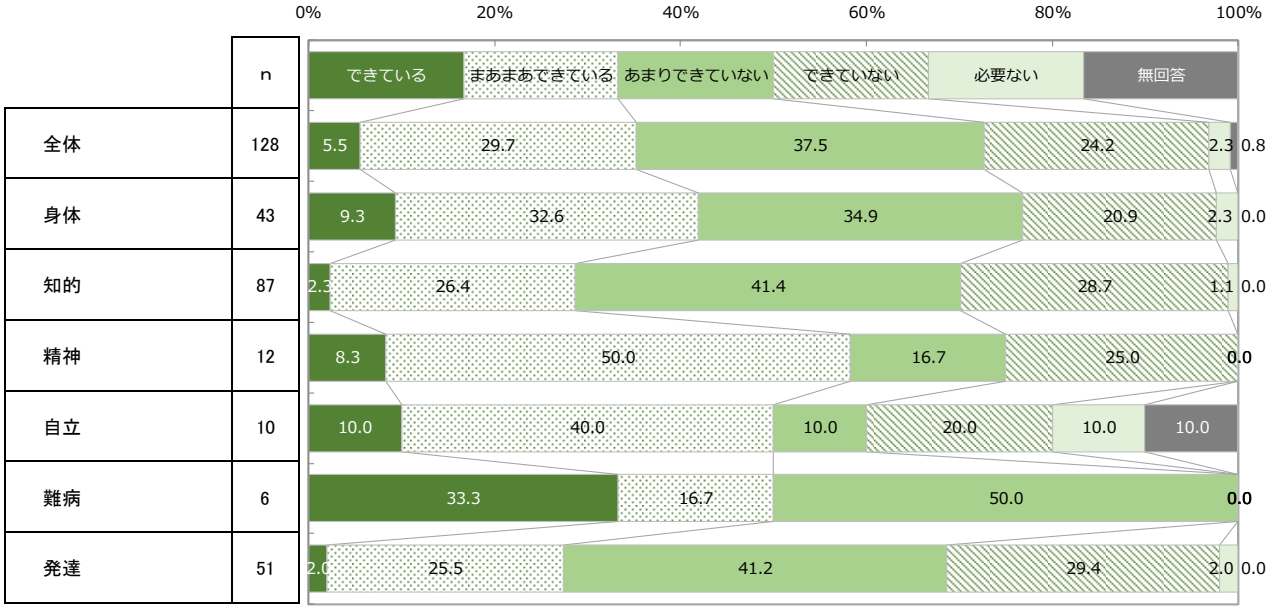
問 33　お子さまの生活に必要な情報を入手できていますか。　（○はそれぞれ 1 つずつ）

全体でみると、「あまりできていない」が最も高く 37.5%となっており、次いで「まあまあできている」が 29.7%、「できていない」が 24.2%となっている。

障害種別でみると、精神・自立・難病では「できている」「まあまあできている」の合計が半数を上回っている。一方で、知的・発達では「できていない」「あまりできていない」の合計が約 7 割と高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『6～14 歳』で「できていない」が高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体	128	5.5	29.7	37.5	24.2	2.3	0.8
身体	43	9.3	32.6	34.9	20.9	2.3	0.0
知的	87	2.3	26.4	41.4	28.7	1.1	0.0
精神	12	8.3	50.0	16.7	25.0	0.0	
自立	10	10.0	40.0	10.0	20.0	10.0	10.0
難病	6	33.3	16.7	50.0	0.0		
発達	51	2.0	25.5	41.2	29.4	2.0	0.0

【属性別の集計】

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体		128	5.5	29.7	37.5	24.2	2.3	0.8 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	8.3	33.3	41.7	16.7	0.0	0.0
	6～8歳	18	11.1	22.2	38.9	27.8	0.0	0.0
	9～11歳	34	0.0	26.5	29.4	38.2	5.9	0.0
	12～14歳	26	3.8	26.9	42.3	26.9	0.0	0.0
	15～17歳	36	8.3	36.1	38.9	11.1	2.8	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	5.9	29.4	37.8	24.4	1.7	0.8
	三世代世帯	9	0.0	33.3	33.3	22.2	11.1	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	25.0	56.3	12.5	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	8.8	35.3	20.6	29.4	5.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	3.2	30.2	38.1	27.0	1.6	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	10.5	31.6	42.1	15.8	0.0	0.0
	40～59歳	90	3.3	28.9	38.9	28.9	0.0	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	6.0	30.0	36.0	24.0	4.0	0.0
	やや苦しい	60	5.0	30.0	33.3	30.0	1.7	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0
サービス	利用している	84	4.8	31.0	38.1	26.2	0.0	0.0
	利用していない	40	5.0	30.0	35.0	20.0	7.5	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	10.0	20.0	50.0	15.0	5.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	12.5	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0

⑤ 生活に必要な情報入手はできているか（社会情勢）

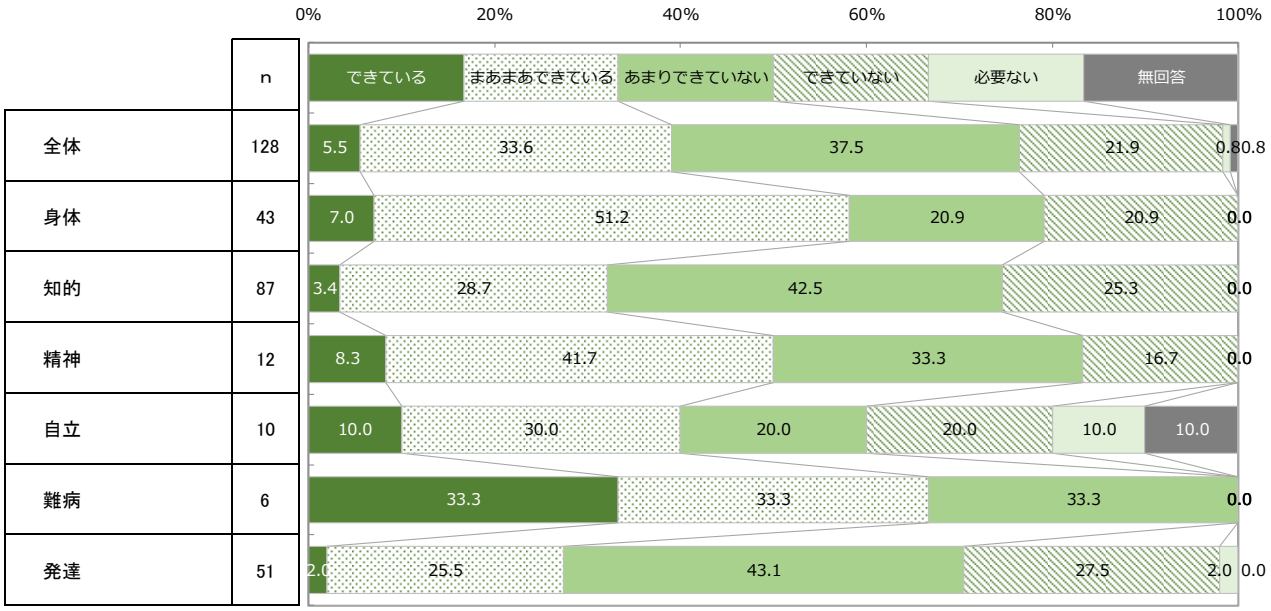
問 33　お子さまの生活に必要な情報を入手できていますか。　（○はそれぞれ 1 つずつ）

全体でみると、「あまりできていない」が最も高く 37.5%となっており、次いで「まあまあできている」が 33.6%、「できていない」が 21.9%となっている。

障害種別でみると、身体・精神・難病では「できている」「まあまあできている」の合計が半数を上回っている。一方で、知的・発達では「できていない」「あまりできていない」の合計が 6 割を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、「できていない」は『6～8 歳』で 33.3%と高くなっており、年齢が上がるにつれて「できていない」の割合は低くなっている。一方で、年齢が上がるにつ入れて「まあまあできている」が高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体	128	5.5	33.6	37.5	21.9	0.8	0.8
身体	43	7.0	51.2	20.9	20.9	0.0	0.0
知的	87	3.4	28.7	42.5	25.3	0.0	0.0
精神	12	8.3	41.7	33.3	16.7	0.0	0.0
自立	10	10.0	30.0	20.0	20.0	10.0	10.0
難病	6	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
発達	51	2.0	25.5	43.1	27.5	2.0	0.0

【属性別の集計】

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体		128	5.5	33.6	37.5	21.9	0.8	0.8 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	8.3	25.0	50.0	16.7	0.0	0.0
	6～8歳	18	11.1	22.2	33.3	33.3	0.0	0.0
	9～11歳	34	2.9	29.4	38.2	29.4	0.0	0.0
	12～14歳	26	0.0	34.6	42.3	23.1	0.0	0.0
	15～17歳	36	8.3	44.4	30.6	11.1	2.8	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	5.0	32.8	38.7	21.8	0.8	0.8
	三世代世帯	9	11.1	44.4	22.2	22.2	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	40.0	30.0	30.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	25.0	50.0	18.8	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	35.3	29.4	23.5	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	1.6	36.5	39.7	20.6	1.6	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	10.5	31.6	42.1	15.8	0.0	0.0
	40～59歳	90	2.2	34.4	37.8	25.6	0.0	0.0
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	6.0	42.0	28.0	22.0	2.0	0.0
	やや苦しい	60	5.0	26.7	41.7	26.7	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0
サービス	利用している	84	4.8	27.4	45.2	22.6	0.0	0.0
	利用していない	40	7.5	45.0	20.0	22.5	2.5	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	10.0	40.0	30.0	20.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	12.5	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

⑥ 生活に必要な情報入手はできているか（趣味や娯楽）

問 33　お子さまの生活に必要な情報を入手できていますか。　（○はそれぞれ 1 つずつ）

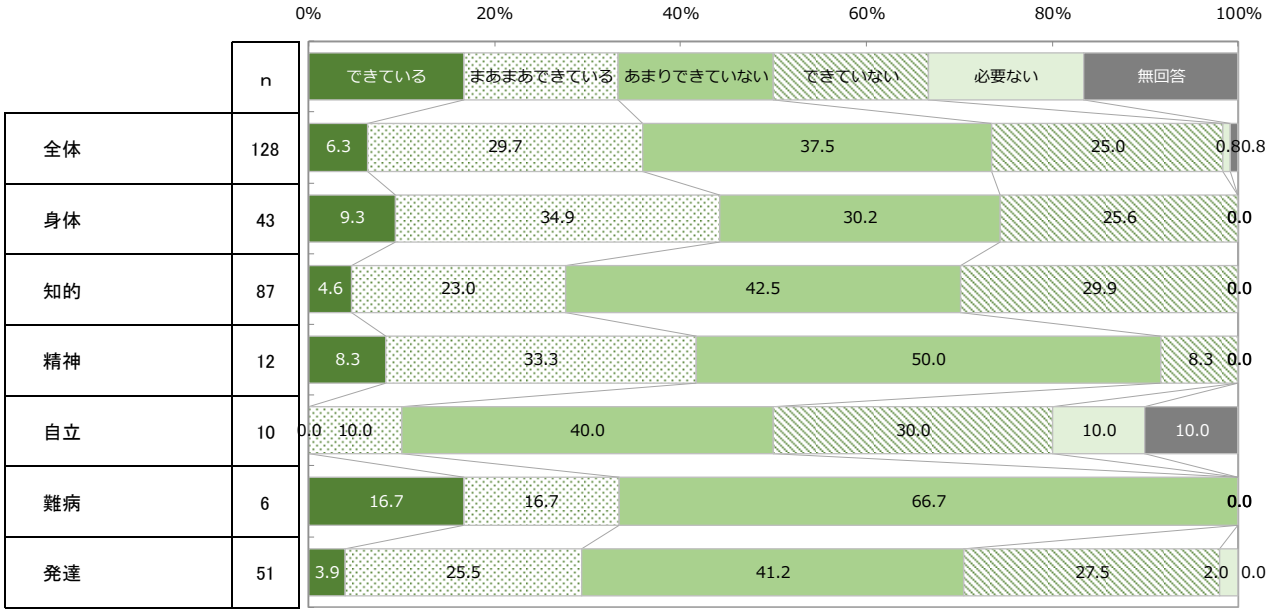
全体でみると、「あまりできていない」が最も高く 37.5%となっており、次いで「まあまあできている」が 29.7%、「できていない」が 25.0%となっている。

障害種別でみると、すべての種別で「できていない」「あまりできていない」の合計が半数を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、「できていない」は『6～14 歳』で高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「できていない」が 57.1%と高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体	128	6.3	29.7	37.5	25.0	0.8	0.8
身体	43	9.3	34.9	30.2	25.6	0.0	
知的	87	4.6	23.0	42.5	29.9	0.0	
精神	12	8.3	33.3	50.0	8.3	0.0	
自立	10	0.0	10.0	40.0	30.0	10.0	10.0
難病	6	16.7	16.7	66.7	0.0		
発達	51	3.9	25.5	41.2	27.5	2.0	0.0

【属性別の集計】

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体		128	6.3	29.7	37.5	25.0	0.8	0.8 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0
	6～8歳	18	5.6	44.4	27.8	22.2	0.0	0.0
	9～11歳	34	2.9	17.6	44.1	35.3	0.0	0.0
	12～14歳	26	11.5	26.9	34.6	26.9	0.0	0.0
	15～17歳	36	8.3	33.3	33.3	19.4	2.8	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	5.0	27.7	39.5	26.1	0.8	0.8
	三世代世帯	9	22.2	55.6	11.1	11.1	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	10.0	50.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	18.8	62.5	12.5	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	2.9	38.2	26.5	32.4	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	4.8	30.2	39.7	23.8	1.6	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	0.0	36.8	52.6	10.5	0.0	0.0
	40～59歳	90	6.7	25.6	37.8	30.0	0.0	0.0
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	8.0	36.0	36.0	18.0	2.0	0.0
	やや苦しい	60	1.7	25.0	41.7	31.7	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	0.0	28.6	57.1	0.0	0.0
サービス	利用している	84	1.2	33.3	42.9	22.6	0.0	0.0
	利用していない	40	15.0	22.5	30.0	27.5	2.5	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	10.0	40.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0

⑦ 生活に必要な情報入手はできているか（災害や避難）

問 33　お子さまの生活に必要な情報を入手できていますか。　（○はそれぞれ 1 つずつ）

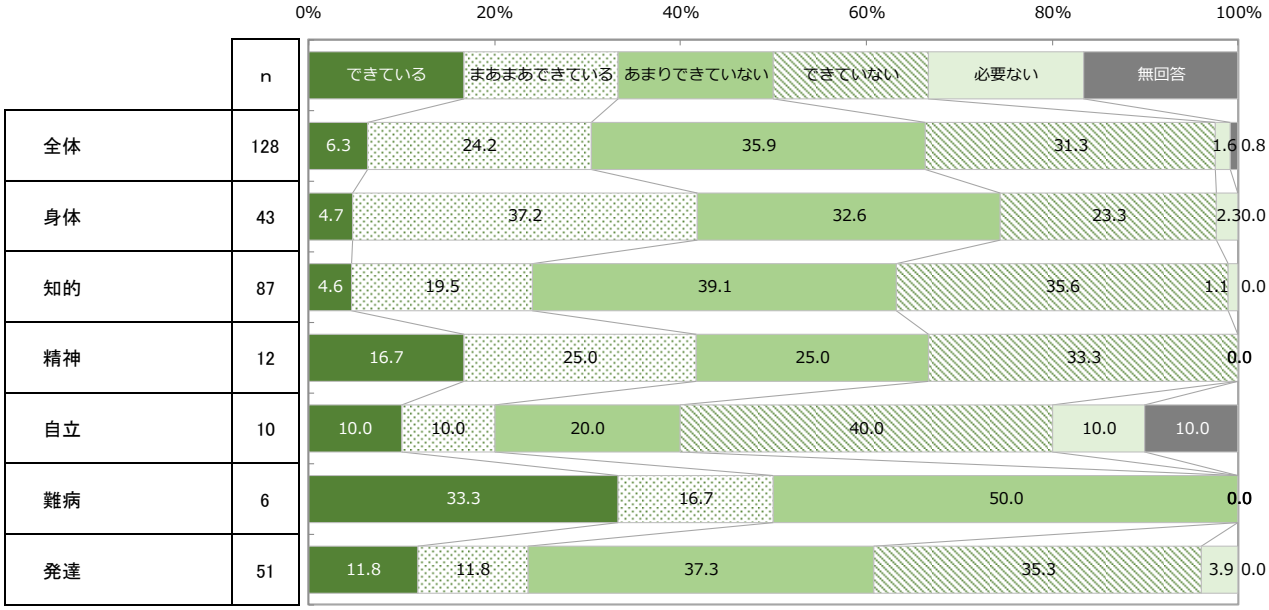
全体でみると、「あまりできていない」が最も高く 35.9%となっており、次いで「できていない」が 31.3%、「まあまあできている」が 24.2%となっている。

障害種別でみると、すべての種別で「できていない」「あまりできていない」の合計が半数を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、「できていない」は『9～11 歳』で 44.1%と高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「できていない」が 57.1%と高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体	128	6.3	24.2	35.9	31.3	1.6	0.8
身体	43	4.7	37.2	32.6	23.3	2.3	0.0
知的	87	4.6	19.5	39.1	35.6	1.1	0.0
精神	12	16.7	25.0	25.0	33.3	0.0	
自立	10	10.0	10.0	20.0	40.0	10.0	10.0
難病	6	33.3	16.7	50.0	0.0		
発達	51	11.8	11.8	37.3	35.3	3.9	0.0

【属性別の集計】

		調査数	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない	無回答
全体		128	6.3	24.2	35.9	31.3	1.6	0.8
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	8.3	8.3	58.3	25.0	0.0	0.0
	6～8歳	18	11.1	27.8	33.3	27.8	0.0	0.0
	9～11歳	34	0.0	17.6	38.2	44.1	0.0	0.0
	12～14歳	26	3.8	23.1	30.8	38.5	3.8	0.0
	15～17歳	36	8.3	33.3	33.3	19.4	2.8	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	6.7	21.0	37.8	31.9	1.7	0.8
	三世代世帯	9	0.0	66.7	11.1	22.2	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	50.0	10.0	40.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	12.5	6.3	50.0	31.3	0.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	14.7	29.4	20.6	35.3	0.0	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	1.6	22.2	44.4	28.6	3.2	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	26.3	31.6	26.3	15.8	0.0	0.0
	40～59歳	90	3.3	20.0	38.9	36.7	1.1	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	2.0	28.0	42.0	24.0	4.0	0.0
	やや苦しい	60	8.3	21.7	30.0	40.0	0.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	0.0	28.6	57.1	0.0	0.0
サービス	利用している	84	7.1	17.9	41.7	32.1	1.2	0.0
	利用していない	40	5.0	37.5	25.0	27.5	2.5	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	5.0	25.0	45.0	25.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	25.0	12.5	37.5	25.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0

(%)

⑧ 福祉サービス情報の入手先

問 34　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。　（○はいくつでも）

全体でみると、「市の広報紙」が 50.8%と割合が高く、次いで「障害者のしおり」が 47.7%、「友人や知人」が 45.3%の割合となっている。

障害種別でみると、知的・難病では「学校や職場」が高く約 5 割となっている。また、精神・自立では「障害者のしおり」が 3 割以下と低くなっており、一方で「病院や診療所」が高くなっている。

属性別でみると、同居人の特徴別では、『65 歳以上の高齢者がいる』『病気などの理由で不自由な方がいる』世帯では「友人や知人」が 6 割以上と高くなっている。

生活困窮状況別では、「学校や職場」は『ゆとりがある』層と『不自由が多く、生活が苦しい』層で低くなっている。

サービスの利用別では、『利用していない』では「友人や知人」「学校や職場」が低くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	障害者のしおり（市が作成した冊子）	市の広報紙	市のホームページやSNS	都の広報紙やホームページ	その他の広報紙やインターネット、SNS	テレビ・ラジオ・新聞のニュース	障害者団体	学校や職場	障害福祉施設	病院・診療所	図書館の障害者向けサービス	民生委員・児童委員	自治会や町内会の回覧板	市内にある掲示板	家族や親せき	友人や知人	その他	特にない	無回答
全体		128	47.7	50.8	21.9	11.7	8.6	11.7	12.5	39.8	8.6	21.1	0.0	1.6	0.0	0.8	3.9	45.3	4.7	6.3	0.8
障害種別	身体	43	55.8	48.8	25.6	14.0	7.0	11.6	9.3	30.2	9.3	30.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	51.2	2.3	7.0	0.0
	知的	87	52.9	52.9	20.7	11.5	10.3	13.8	12.6	46.0	10.3	14.9	0.0	1.1	0.0	1.1	4.6	49.4	5.7	4.6	1.1
	精神	12	25.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	25.0	8.3	8.3	0.0
	自立	10	20.0	50.0	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0	20.0	0.0	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	10.0	0.0
	難病	6	33.3	83.3	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	発達	51	37.3	52.9	15.7	11.8	9.8	11.8	13.7	35.3	13.7	17.6	0.0	2.0	0.0	2.0	5.9	47.1	5.9	9.8	0.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	障害者のしおり（市が作成した冊子）	市の広報紙	市のホームページやSNS	都の広報紙やホームページ	その他の広報紙やインターネット、SNS	テレビ・ラジオ・新聞のニュース	障害者団体	学校や職場	障害福祉施設	病院・診療所	図書館の障害者向けサービス	民生委員・児童委員	自治会や町内会の回覧板	市内にある掲示板	家族や親せき	友人や知人	その他	特にない	無回答
全体		128	47.7	50.8	21.9	11.7	8.6	11.7	12.5	39.8	8.6	21.1	0.0	1.6	0.0	0.8	3.9	45.3	4.7	6.3	0.8
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	58.3	33.3	25.0	16.7	8.3	8.3	0.0	25.0	8.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7	8.3	16.7	0.0
	6～8歳	18	38.9	61.1	27.8	11.1	11.1	11.1	5.6	38.9	5.6	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	44.4	5.6	5.6	0.0
	9～11歳	34	41.2	47.1	17.6	5.9	8.8	5.9	8.8	44.1	14.7	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	41.2	5.9	5.9	2.9
	12～14歳	26	46.2	53.8	11.5	11.5	7.7	11.5	19.2	46.2	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	50.0	7.7	3.8	0.0
	15～17歳	36	55.6	52.8	25.0	16.7	8.3	19.4	16.7	38.9	5.6	22.2	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	5.6	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	48.7	51.3	21.8	11.8	8.4	12.6	11.8	38.7	8.4	21.8	0.0	0.8	0.0	0.8	3.4	47.1	4.2	6.7	0.8
	三世代世帯	9	33.3	44.4	22.2	11.1	11.1	0.0	22.2	55.6	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	40.0	40.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0	70.0	10.0	30.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	30.0	20.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	50.0	43.8	12.5	6.3	0.0	31.3	12.5	37.5	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	62.5	6.3	12.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	41.2	35.3	29.4	11.8	11.8	2.9	11.8	23.5	11.8	20.6	0.0	2.9	0.0	0.0	5.9	35.3	5.9	5.9	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	50.8	57.1	22.2	11.1	7.9	9.5	12.7	44.4	7.9	15.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	49.2	3.2	6.3	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	47.4	57.9	42.1	10.5	15.8	10.5	10.5	36.8	10.5	26.3	0.0	5.3	0.0	0.0	10.5	52.6	0.0	0.0	0.0
	40～59歳	90	50.0	54.4	18.9	12.2	4.4	12.2	13.3	37.8	10.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	46.7	6.7	8.9	1.1
	60歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	50.0	50.0	32.0	18.0	12.0	12.0	16.0	38.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	44.0	4.0	4.0	2.0
	やや苦しい	60	48.3	51.7	18.3	6.7	6.7	10.0	11.7	45.0	10.0	21.7	0.0	3.3	0.0	1.7	3.3	45.0	5.0	6.7	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	42.9	57.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3	14.3	0.0
サービス	利用している	84	54.8	57.1	20.2	11.9	9.5	11.9	13.1	47.6	13.1	15.5	0.0	2.4	0.0	1.2	3.6	54.8	7.1	3.6	1.2
	利用していない	40	35.0	37.5	22.5	12.5	7.5	12.5	12.5	27.5	0.0	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	27.5	0.0	12.5	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	60.0	65.0	25.0	20.0	5.0	10.0	5.0	45.0	5.0	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.0	5.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	50.0	62.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0

6.　福祉サービスについて

①　障害者総合支援センター、フレンドリーの認知

問 35　西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。
（○は 1 つだけ）

全体でみると、「知っているが利用したことがない」が 45.3%と割合が高く、次いで「知らない」が 32.0%、「知っている／利用したことがある」が 22.7%の割合となっている。

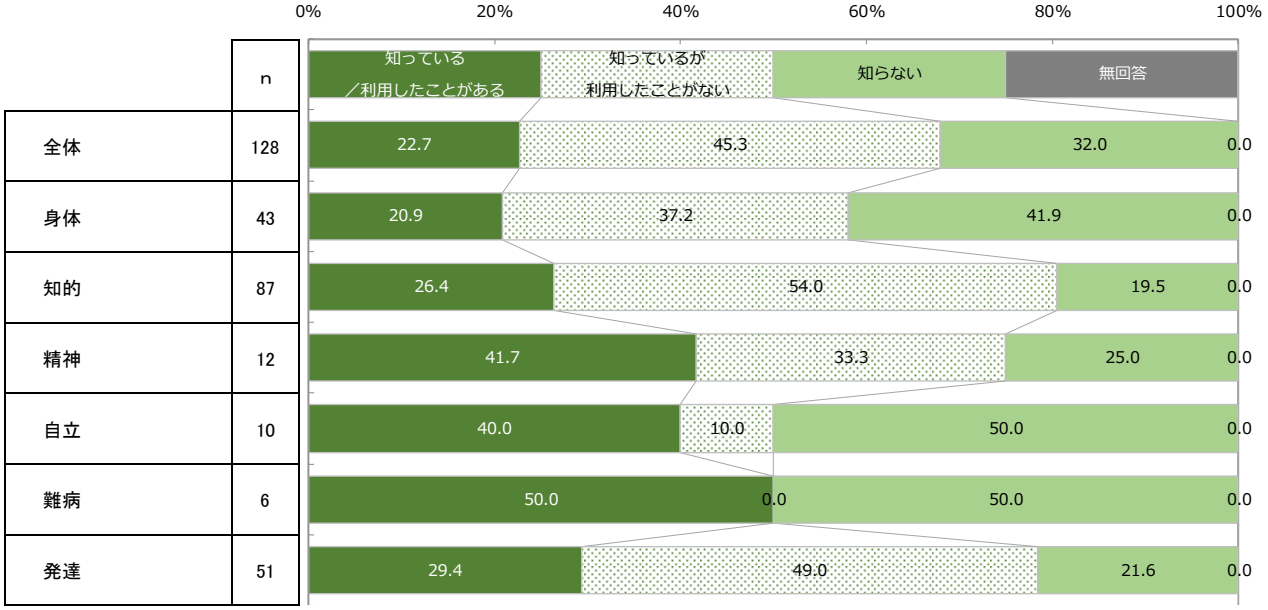
障害種別でみると、身体・知的・精神・発達で『知っている（利用・参加したことはないを含む）』が半数を超えている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『3～5 歳』では「知らない」が 75.0%と高く、年齢が高くなるにつれて低くなっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるにつれて認知度が高くなる傾向があり、『不自由が多く、生活が苦しい』層では 85.7%が『知っている（利用・参加したことはないを含む）』となっている。

サービスの利用別では、『利用していない』で「知らない」が 57.5%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことがない	知らない
全体		128	22.7	45.3	32.0 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	0.0	25.0	75.0
	6～8歳	18	16.7	44.4	38.9
	9～11歳	34	11.8	64.7	23.5
	12～14歳	26	38.5	38.5	23.1
	15～17歳	36	30.6	41.7	27.8
世帯構成	核家族世帯	119	22.7	44.5	32.8
	三世代世帯	9	22.2	55.6	22.2
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	30.0	60.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	25.0	43.8	31.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	50.0	38.2
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	80.0	0.0
	あてはまらない	63	23.8	46.0	30.2
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	21.1	52.6	26.3
	40～59歳	90	24.4	48.9	26.7
	60歳代	2	0.0	0.0	100.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	100.0
	まあまあゆとりがある	50	18.0	48.0	34.0
	やや苦しい	60	30.0	43.3	26.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	28.6	57.1	14.3
サービス	利用している	84	29.8	52.4	17.9
	利用していない	40	7.5	35.0	57.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	10.0	45.0	45.0
	医療的ケアを受けている	8	12.5	50.0	37.5
	視覚障害がある	2	0.0	100.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	25.0	75.0

② 西東京市の福祉施設の認知（相談支援センター「えぽっく」）

問 36　西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか　（○はそれぞれに 1 つずつ）

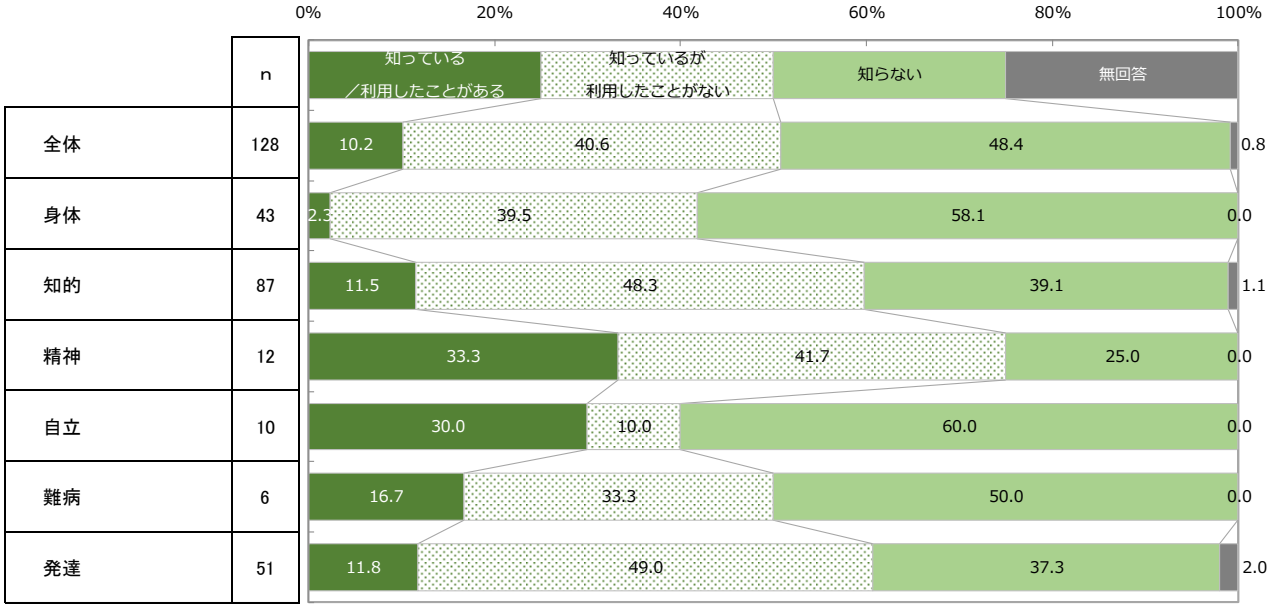
全体でみると、「知らない」が 48.4%と割合が高く、次いで「知っているが、利用したことがない」が 40.6%、「知っている／利用したことがある」が 10.2%の割合となっている。

障害種別でみると、知的・精神・難病・発達で『知っている（利用・参加したことはないを含む）』が半数を超えている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『3～5 歳』では「知らない」が 83.3%と高くなっている。

サービスの利用別では、『利用していない』で「知らない」が 67.5%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全体		128	10.2	40.6	48.4	0.8 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	0.0	50.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	16.7	83.3	0.0
	6～8歳	18	11.1	27.8	55.6	5.6
	9～11歳	34	2.9	55.9	41.2	0.0
	12～14歳	26	11.5	50.0	38.5	0.0
	15～17歳	36	16.7	36.1	47.2	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	9.2	40.3	49.6	0.8
	三世代世帯	9	22.2	44.4	33.3	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	30.0	40.0	30.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	56.3	31.3	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	26.5	61.8	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	80.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	6.3	49.2	44.4	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	15.8	31.6	47.4	5.3
	40～59歳	90	6.7	46.7	46.7	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	2.0	48.0	50.0	0.0
	やや苦しい	60	16.7	40.0	41.7	1.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	42.9	42.9	0.0
サービス	利用している	84	11.9	48.8	38.1	1.2
	利用していない	40	5.0	27.5	67.5	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	5.0	35.0	60.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	50.0	50.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	25.0	75.0	0.0

③ 西東京市の福祉施設の認知（障害者就労支援センター「一歩」）

問 36　西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか　（○はそれぞれに 1 つずつ）

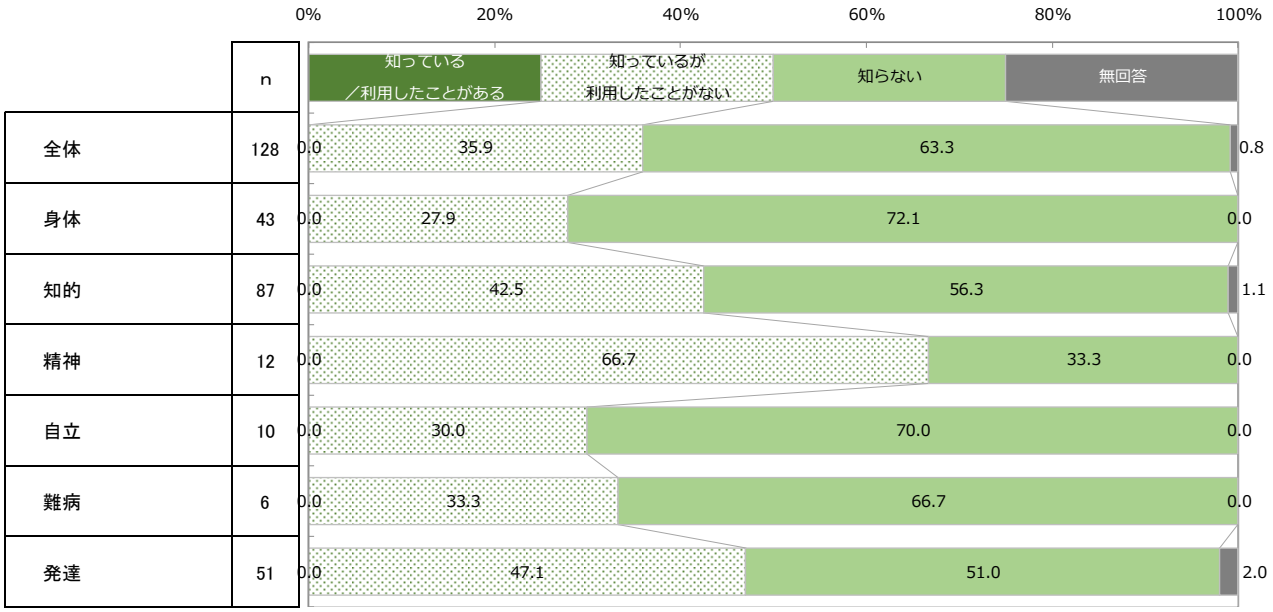
全体でみると、「知らない」が 63.3%と割合が高く、次いで「知っているが、利用したことがない」が 35.9%となっている。

障害種別でみると、精神で『知っている（利用・参加したことはないを含む）』が半数を超えているが、他の種別では「知らない」が半数を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『3～5 歳』では「知らない」が 100%と高くなっている。

サービスの利用別では、『利用している』で「知らない」が 58.3%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全体		128	0.0	35.9	63.3	0.8 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	0.0	100.0	0.0
	6～8歳	18	0.0	16.7	77.8	5.6
	9～11歳	34	0.0	35.3	64.7	0.0
	12～14歳	26	0.0	53.8	46.2	0.0
	15～17歳	36	0.0	44.4	55.6	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	0.0	34.5	64.7	0.8
	三世代世帯	9	0.0	55.6	44.4	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	50.0	50.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	0.0	50.0	43.8	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	26.5	73.5	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	0.0	100.0	0.0
	あてはまらない	63	0.0	36.5	63.5	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	0.0	21.1	73.7	5.3
	40～59歳	90	0.0	41.1	58.9	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	0.0	44.0	56.0	0.0
	やや苦しい	60	0.0	35.0	63.3	1.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	28.6	71.4	0.0
サービス	利用している	84	0.0	40.5	58.3	1.2
	利用していない	40	0.0	30.0	70.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	25.0	75.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	37.5	62.5	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	100.0	0.0

④ 西東京市の福祉施設の認知（地域活動支援センター「ハーモニー」）

問 36　西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか　（○はそれぞれに 1 つずつ）

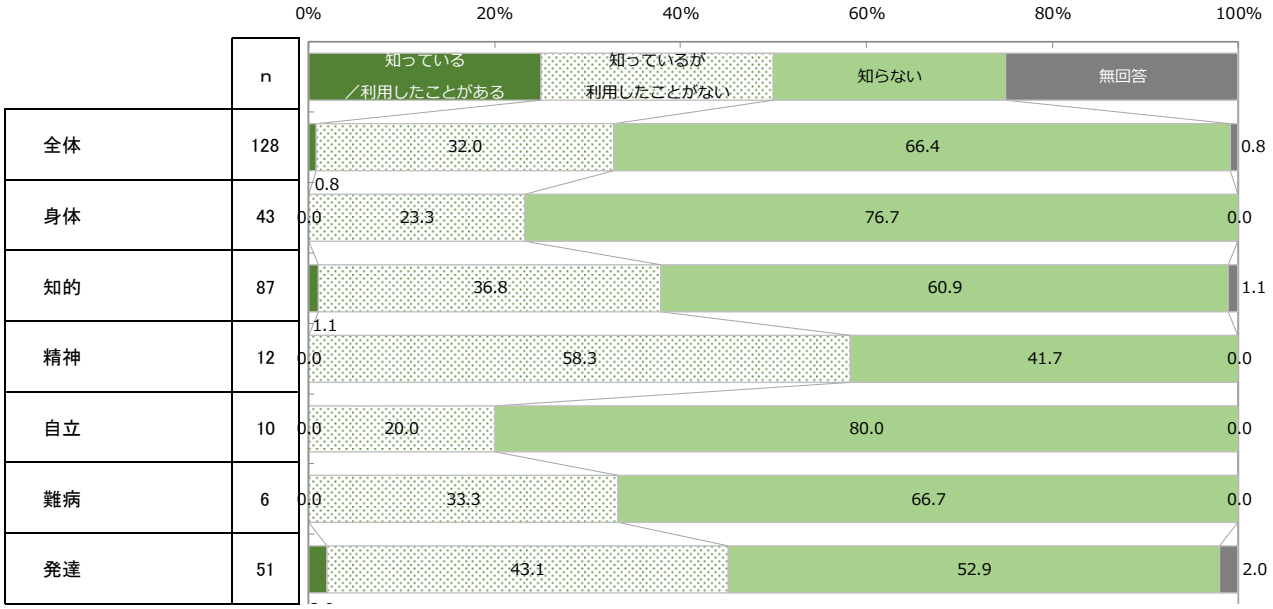
全体でみると、「知らない」が 66.4%と割合が高く、次いで「知っているが、利用したことがない」が 32.0%となっている。

障害種別でみると、精神で『知っている（利用・参加したことはないを含む）』が半数を超えているが、他の種別では「知らない」が半数を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『9～17 歳』で「知っているが利用したことはない」が 3～4 割となっている。

サービスの利用別では、『利用している』で「知らない」が 61.9%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全体		128	0.8	32.0	66.4	0.8
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	8.3	91.7	0.0
	6～8歳	18	0.0	22.2	72.2	5.6
	9～11歳	34	2.9	38.2	58.8	0.0
	12～14歳	26	0.0	38.5	61.5	0.0
	15～17歳	36	0.0	33.3	66.7	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	0.8	30.3	68.1	0.8
	三世代世帯	9	0.0	55.6	44.4	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	40.0	60.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	0.0	37.5	56.3	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	26.5	73.5	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	20.0	80.0	0.0
	あてはまらない	63	1.6	34.9	63.5	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	0.0	21.1	73.7	5.3
	40～59歳	90	1.1	35.6	63.3	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	0.0	36.0	64.0	0.0
	やや苦しい	60	1.7	31.7	65.0	1.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	28.6	71.4	0.0
サービス	利用している	84	1.2	35.7	61.9	1.2
	利用していない	40	0.0	27.5	72.5	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	15.0	85.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	37.5	62.5	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	100.0	0.0

(%)

⑤ 西東京市の福祉施設の認知（保谷障害者福祉センター）

問 36　西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか　（○はそれぞれに 1 つずつ）

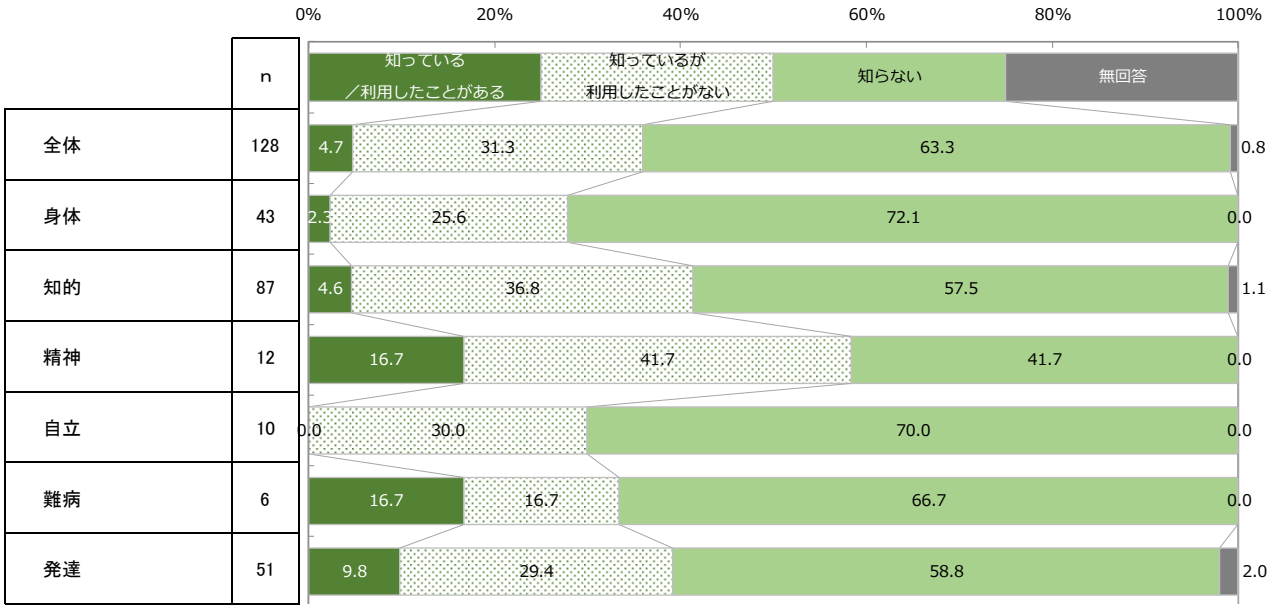
全体でみると、「知らない」が 63.3%と割合が高く、次いで「知っているが、利用したことがない」が 31.3%となっている。

障害種別でみると、精神で『知っている（利用・参加したことはないを含む）』が半数を超えているが、他の種別では「知らない」が半数を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『9～17 歳』で「知っているが利用したことはない」が 3～4 割となっている。

サービスの利用別では、『利用している』で「知らない」が 57.1%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全体		128	4.7	31.3	63.3	0.8 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	8.3	91.7	0.0
	6～8歳	18	0.0	16.7	77.8	5.6
	9～11歳	34	5.9	32.4	61.8	0.0
	12～14歳	26	7.7	42.3	50.0	0.0
	15～17歳	36	5.6	36.1	58.3	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	5.0	29.4	64.7	0.8
	三世代世帯	9	0.0	55.6	44.4	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	40.0	60.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	12.5	31.3	50.0	6.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	2.9	17.6	79.4	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	0.0	100.0	0.0
	あてはまらない	63	6.3	38.1	55.6	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	0.0	21.1	73.7	5.3
	40～59歳	90	6.7	35.6	57.8	0.0
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	6.0	36.0	58.0	0.0
	やや苦しい	60	5.0	28.3	65.0	1.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	42.9	57.1	0.0
サービス	利用している	84	6.0	35.7	57.1	1.2
	利用していない	40	2.5	25.0	72.5	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	15.0	85.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	37.5	62.5	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	100.0	0.0

⑥ 西東京市の福祉施設の認知（地域活動支援センター「ブルーム」）

問 36　西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか　（○はそれぞれに 1 つずつ）

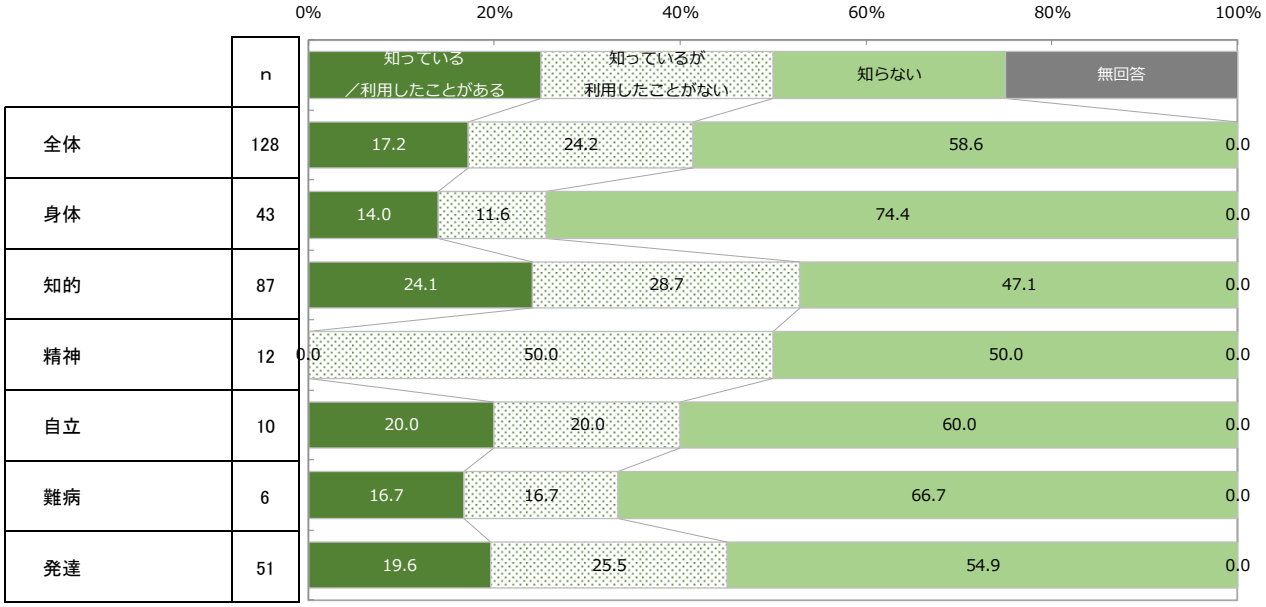
全体でみると、「知らない」が 58.6%と割合が高く、次いで「知っているが、利用したことがない」が 24.2%となっている。

障害種別でみると、知的・精神で『知っている（利用・参加したことはないを含む）』が半数を超えているが、他の種別では「知らない」が半数を上回っている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『3～８歳』では「知らない」が８割以上と高くなっている。

サービスの利用別では、『利用していない』で「知らない」が 82.5%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない
全体		128	17.2	24.2	58.6 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0
	3～5歳	12	0.0	8.3	91.7
	6～8歳	18	5.6	11.1	83.3
	9～11歳	34	23.5	29.4	47.1
	12～14歳	26	23.1	34.6	42.3
	15～17歳	36	19.4	22.2	58.3
世帯構成	核家族世帯	119	18.5	22.7	58.8
	三世代世帯	9	0.0	44.4	55.6
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	30.0	70.0
	障害者手帳所持者がいる	16	18.8	18.8	62.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	17.6	76.5
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	0.0	80.0
	あてはまらない	63	25.4	28.6	46.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	10.5	21.1	68.4
	40～59歳	90	21.1	25.6	53.3
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	100.0
	まあまあゆとりがある	50	14.0	32.0	54.0
	やや苦しい	60	21.7	20.0	58.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	28.6	14.3	57.1
サービス	利用している	84	26.2	28.6	45.2
	利用していない	40	0.0	17.5	82.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	10.0	10.0	80.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	25.0	75.0
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	100.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	100.0

⑦ 西東京市の講座や事業の認知（障害者サポーター養成講座）

問 37　西東京市が実施している次の講座や事業を知っていますか。（○はそれぞれに 1 つずつ）

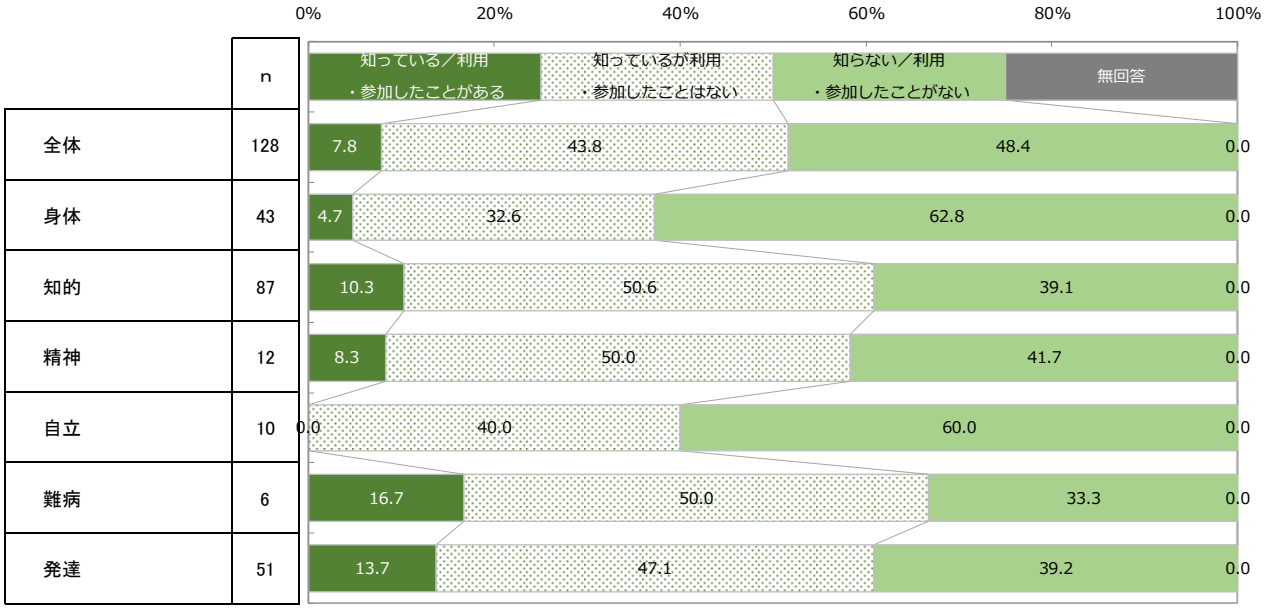
全体でみると、「知らない」が 48.4%と高く、次いで「知っているが、利用・参加したことがない」が 43.8%となっている。

障害種別でみると、知的・精神・難病・発達で『知っている（利用・参加したことはないを含む）』が半数を超えている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『12～14 歳』では「知っている／利用したことがある」が 23.1%と高くなっている。

サービスの利用別では、『利用していない』で「知らない」が 72.5%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない
全体		128	7.8	43.8	48.4 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	100.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	33.3	66.7
	6～8歳	18	0.0	50.0	50.0
	9～11歳	34	5.9	41.2	52.9
	12～14歳	26	23.1	38.5	38.5
	15～17歳	36	5.6	47.2	47.2
世帯構成	核家族世帯	119	8.4	43.7	47.9
	三世代世帯	9	0.0	44.4	55.6
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	40.0	60.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	43.8	50.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	44.1	55.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	60.0	40.0
	あてはまらない	63	14.3	44.4	41.3
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	0.0	68.4	31.6
	40～59歳	90	11.1	40.0	48.9
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	100.0
	まあまあゆとりがある	50	12.0	46.0	42.0
	やや苦しい	60	6.7	45.0	48.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	42.9	57.1
サービス	利用している	84	11.9	52.4	35.7
	利用していない	40	0.0	27.5	72.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	40.0	60.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	50.0	50.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0
	聴覚障害がある	4	0.0	25.0	75.0

⑧ 西東京市の講座や事業の認知（ヘルプカード）

問 37　西東京市が実施している次の講座や事業を知っていますか。（○はそれぞれに 1 つずつ）

全体でみると、「知っている／利用したことがある」「知っているが、利用・参加したことがない」が 43.8%となっている。

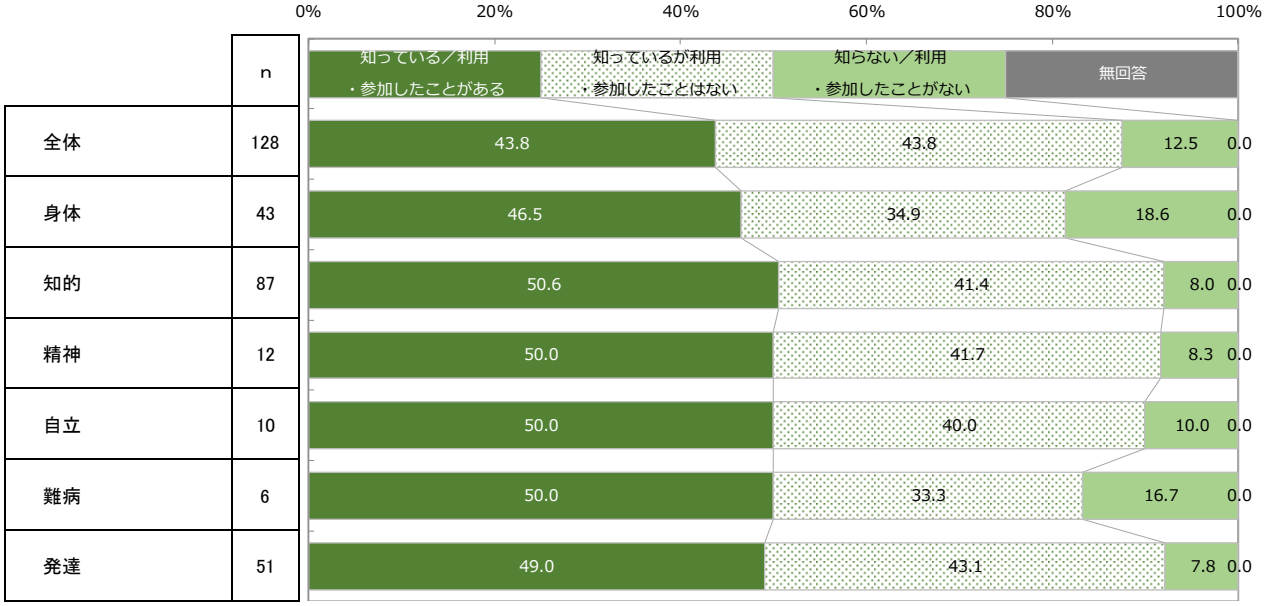
障害種別でみると、すべての種別で認知度が 8 割を超えている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高くなるにつれて「知っている／利用したことがある」が高くなっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるにつれて「知っているが利用したことはない」が高くなっている。

サービスの利用別では、『利用していない』で「知らない」が 20.0%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない
全体		128	43.8	43.8	12.5 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	100.0	0.0
	3～5歳	12	33.3	50.0	16.7
	6～8歳	18	38.9	44.4	16.7
	9～11歳	34	44.1	47.1	8.8
	12～14歳	26	42.3	46.2	11.5
	15～17歳	36	52.8	33.3	13.9
世帯構成	核家族世帯	119	45.4	41.2	13.4
	三世代世帯	9	22.2	77.8	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	20.0	70.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	37.5	50.0	12.5
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	32.4	52.9	14.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	80.0	0.0
	あてはまらない	63	52.4	38.1	9.5
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	47.4	42.1	10.5
	40～59歳	90	46.7	42.2	11.1
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	25.0	50.0
	まあまあゆとりがある	50	50.0	42.0	8.0
	やや苦しい	60	43.3	41.7	15.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	28.6	57.1	14.3
サービス	利用している	84	52.4	39.3	8.3
	利用していない	40	27.5	52.5	20.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	50.0	35.0	15.0
	医療的ケアを受けている	8	50.0	37.5	12.5
	視覚障害がある	2	100.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	75.0	0.0

⑨ 西東京市の講座や事業の認知（障害者スポーツ支援事業）

問 37　西東京市が実施している次の講座や事業を知っていますか。（○はそれぞれに 1 つずつ）

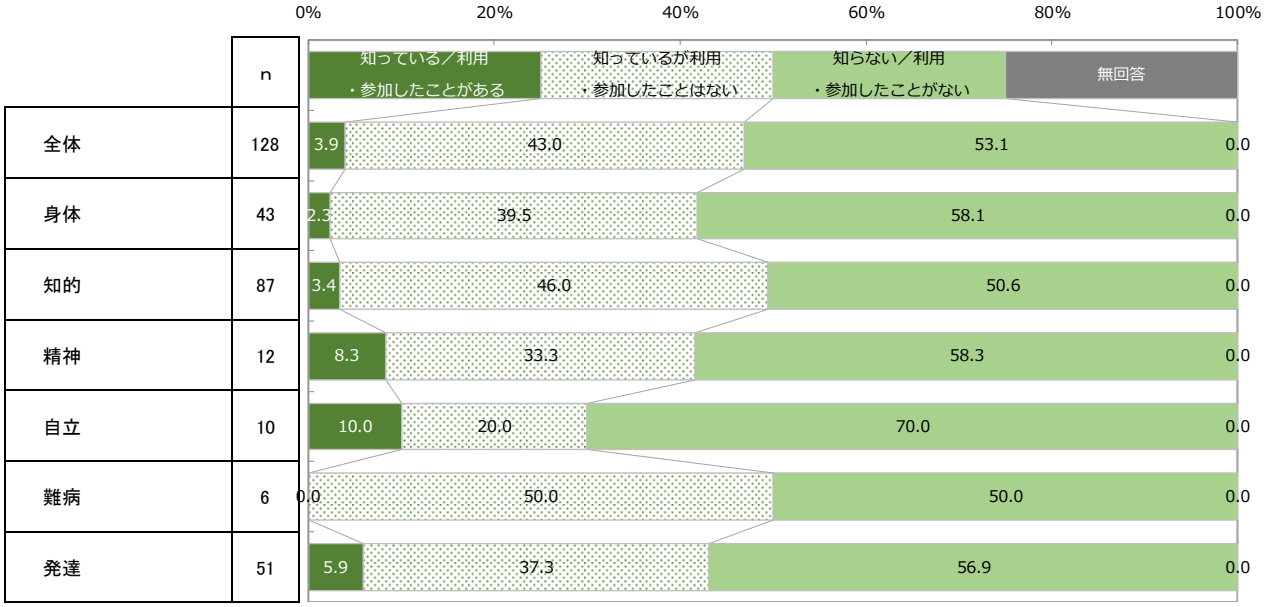
全体でみると、「知らない」が 53.1%と高く、次いで「知っているが、利用・参加したことがない」が 43.0%となっている。

障害種別でみると、すべての種別で「知らない」が半数を上回っている。

属性別でみると、生活困窮状況別では、「知っている／利用・参加したことがある」は『ゆとりがある』層で高く 25.0%となっている。

サービスの利用別では、『利用していない』で「知らない」が 62.5%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない
全体		128	3.9	43.0	53.1 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0
	3～5歳	12	0.0	41.7	58.3
	6～8歳	18	0.0	50.0	50.0
	9～11歳	34	2.9	41.2	55.9
	12～14歳	26	0.0	46.2	53.8
	15～17歳	36	11.1	38.9	50.0
世帯構成	核家族世帯	119	3.4	42.9	53.8
	三世代世帯	9	11.1	44.4	44.4
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	10.0	40.0	50.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	43.8	50.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	35.3	58.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	40.0	60.0
	あてはまらない	63	1.6	47.6	50.8
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	0.0	42.1	57.9
	40～59歳	90	4.4	41.1	54.4
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	25.0	50.0
	まあまあゆとりがある	50	2.0	50.0	48.0
	やや苦しい	60	5.0	36.7	58.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	57.1	42.9
サービス	利用している	84	4.8	46.4	48.8
	利用していない	40	2.5	35.0	62.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	50.0	50.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	37.5	62.5
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0
	聴覚障害がある	4	0.0	50.0	50.0

⑩　西東京市の講座や事業の認知（障害者水泳教室）

問 37　西東京市が実施している次の講座や事業を知っていますか。（○はそれぞれに 1 つずつ）

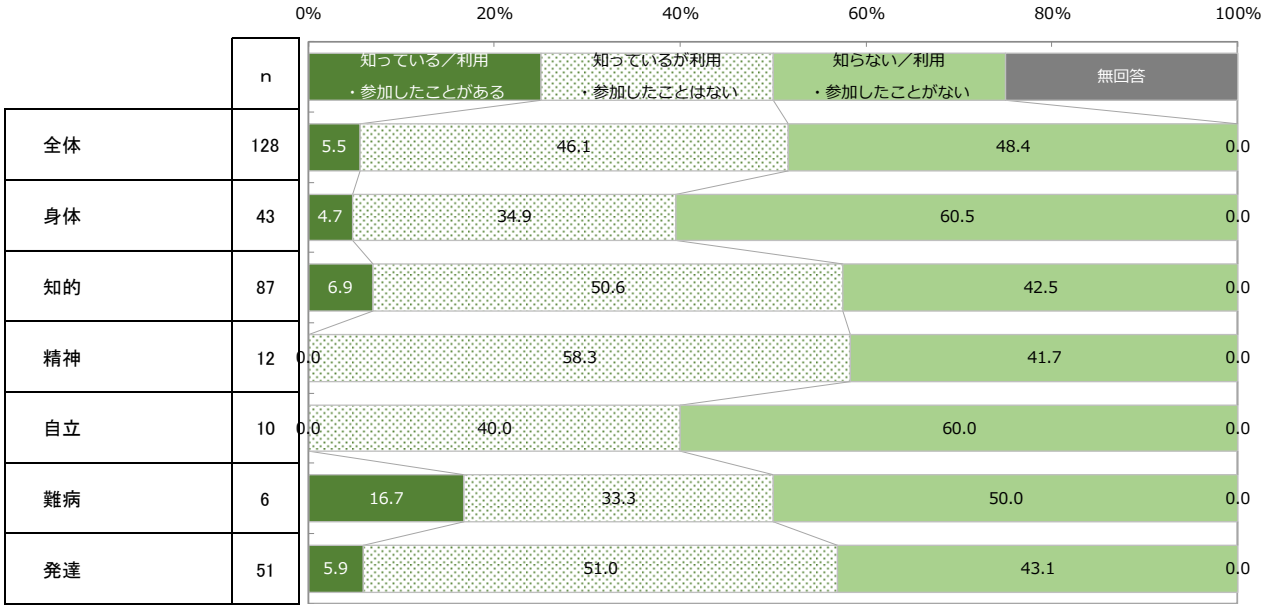
全体でみると、「知らない」が 48.4%と高く、次いで「知っているが、利用・参加したことがない」が 46.1%となっている。

障害種別でみると、知的・精神・難病・発達で『知っている（利用・参加したことはないを含む）』が半数を超えている。

属性別でみると、生活困窮状況別では、「知っている／利用・参加したことがある」は『ゆとりがある』層で高く 25.0%となっている。

サービスの利用別では、『利用していない』で「知らない」が 60.0%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない
全体		128	5.5	46.1	48.4 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	50.0
	3～5歳	12	8.3	50.0	41.7
	6～8歳	18	5.6	38.9	55.6
	9～11歳	34	2.9	50.0	47.1
	12～14歳	26	3.8	53.8	42.3
	15～17歳	36	8.3	38.9	52.8
世帯構成	核家族世帯	119	5.9	47.1	47.1
	三世代世帯	9	0.0	33.3	66.7
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	30.0	70.0
	障害者手帳所持者がいる	16	12.5	43.8	43.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	35.3	64.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	40.0	60.0
	あてはまらない	63	6.3	54.0	39.7
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	10.5	36.8	52.6
	40～59歳	90	4.4	50.0	45.6
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	0.0	75.0
	まあまあゆとりがある	50	6.0	46.0	48.0
	やや苦しい	60	5.0	46.7	48.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	57.1	42.9
サービス	利用している	84	7.1	50.0	42.9
	利用していない	40	2.5	37.5	60.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	45.0	55.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	37.5	62.5
	視覚障害がある	2	0.0	100.0	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	25.0	50.0

⑪ 西東京市の講座や事業の認知（ENJOY ニュースポーツ）

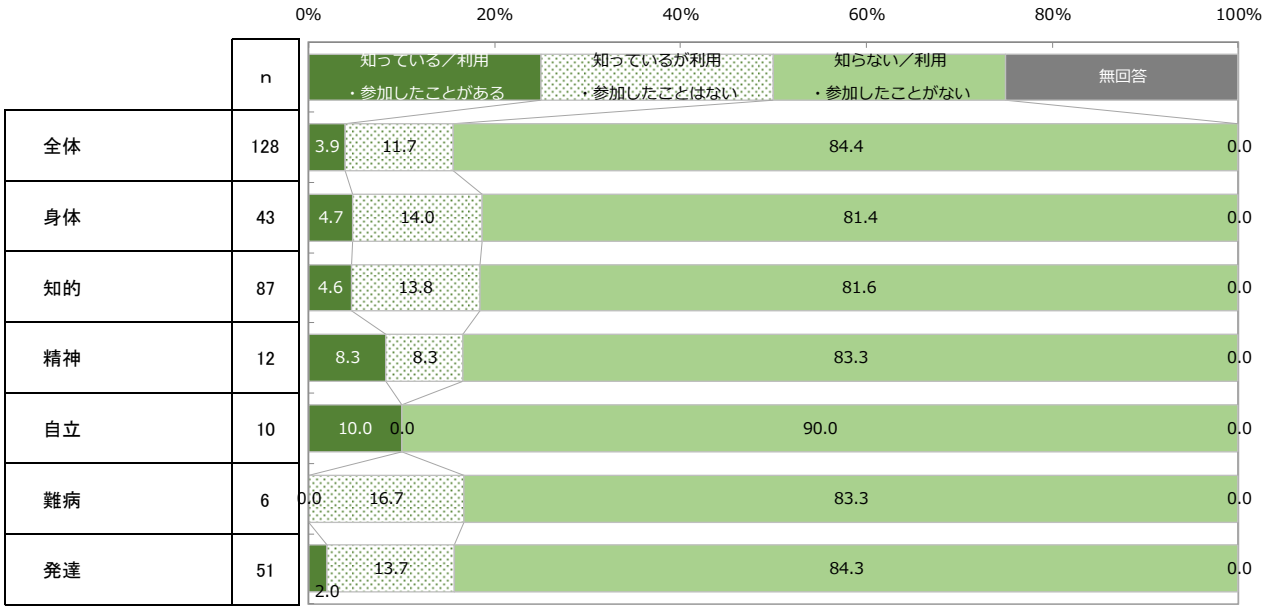
問 37　西東京市が実施している次の講座や事業を知っていますか。（○はそれぞれに 1 つずつ）

全体でみると、「知らない」が 84.4%と高く、次いで「知っているが、利用・参加したことがない」が 11.7%となっている。

障害種別でみると、すべての種別で「知らない」が 8 割を上回っている。

属性別でみると、属性による差は見られない。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない
全体		128	3.9	11.7	84.4 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	0.0	8.3	91.7
	6～8歳	18	0.0	11.1	88.9
	9～11歳	34	2.9	8.8	88.2
	12～14歳	26	3.8	23.1	73.1
	15～17歳	36	5.6	8.3	86.1
世帯構成	核家族世帯	119	4.2	10.9	84.9
	三世代世帯	9	0.0	22.2	77.8
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	10.0	90.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	18.8	75.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	5.9	5.9	88.2
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	0.0	100.0
	あてはまらない	63	3.2	12.7	84.1
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	5.3	15.8	78.9
	40～59歳	90	4.4	12.2	83.3
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	25.0	0.0	75.0
	まあまあゆとりがある	50	2.0	14.0	84.0
	やや苦しい	60	3.3	10.0	86.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	14.3	71.4
サービス	利用している	84	4.8	14.3	81.0
	利用していない	40	2.5	7.5	90.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	15.0	85.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	25.0	75.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	100.0

⑫ 西東京市の講座や事業の認知（ペアレント・メンター／ピアカウンセリング）

問　西東京市が実施している次の講座や事業を知っていますか。　（○はそれぞれに 1 つずつ）

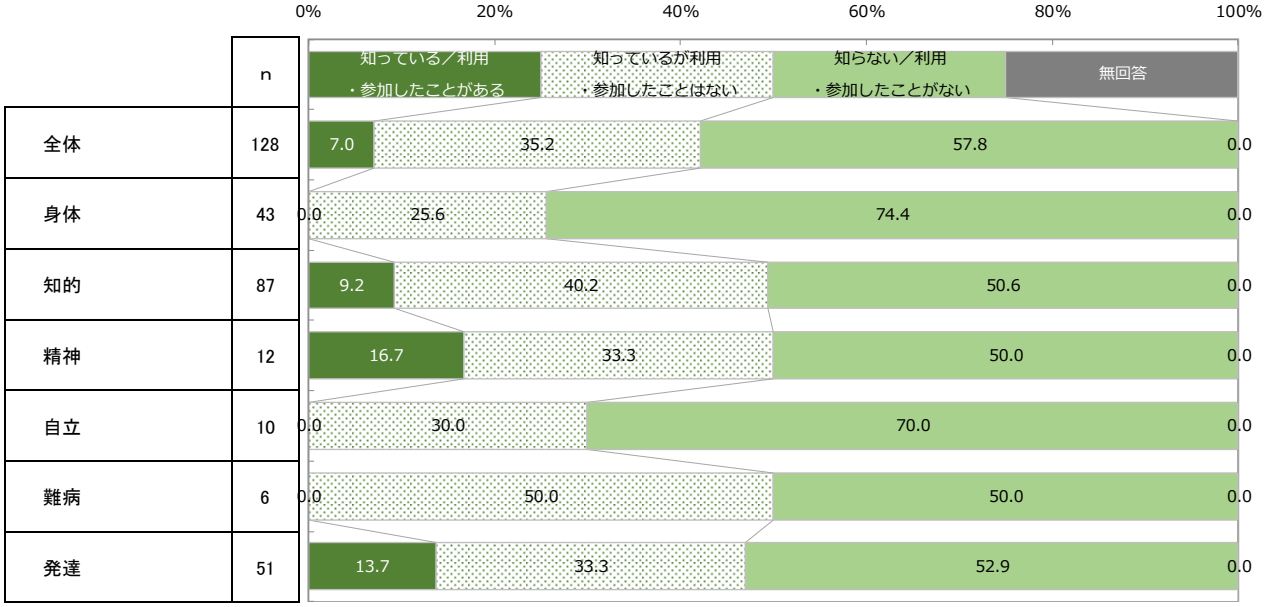
全体でみると、「知らない」が 57.8%と高く、次いで「知っているが、利用・参加したことがない」が 35.2%となっている。

障害種別でみると、すべての種別で「知らない」が半数を上回っている。

属性別でみると、生活困窮状況別では、「知っている／利用・参加したことがある」は『不自由が多く、生活が苦しい』層で高く 14.3%となっている。

サービスの利用別では、『利用していない』では「知らない」が 72.5%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	知っている／利用・参加したことがある	知っているが利用・参加したことはない	知らない／利用・参加したことがない
全体		128	7.0	35.2	57.8 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	0.0	50.0
	3～5歳	12	0.0	33.3	66.7
	6～8歳	18	11.1	38.9	50.0
	9～11歳	34	5.9	32.4	61.8
	12～14歳	26	7.7	46.2	46.2
	15～17歳	36	5.6	30.6	63.9
世帯構成	核家族世帯	119	7.6	34.5	58.0
	三世代世帯	9	0.0	44.4	55.6
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	30.0	70.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	37.5	56.3
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	26.5	61.8
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	40.0	40.0
	あてはまらない	63	6.3	39.7	54.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	10.5	31.6	57.9
	40～59歳	90	7.8	36.7	55.6
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	100.0
	まあまあゆとりがある	50	6.0	44.0	50.0
	やや苦しい	60	8.3	30.0	61.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	42.9	42.9
サービス	利用している	84	8.3	41.7	50.0
	利用していない	40	2.5	25.0	72.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	30.0	70.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	25.0	75.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	50.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	100.0

⑬ 障害福祉サービスの利用状況

問 38　お子さまは、次の障害福祉サービスを過去 1 年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。　（○はいくつでも）

全体でみると、「放課後等デイサービス」が 50.8%と割合が高く、次いで「利用したことがない」が 31.3%、「相談支援」20.3%の割合となっている。

障害種別でみると、知的・難病・発達で「放課後等デイサービス」の割合が高く、身体・精神・自立で「利用したことがない」の割合が高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『0～5 歳』の方は「児童発達支援」を利用した割合が 5 割以上と高く、『6～17 歳』の方では「放課後等デイサービス」の割合が 5 割以上と高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「利用したことがない」が低く 14.3%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	訪問系サービス	短期入所（ショートステイ）	相談支援	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	利用したことがない	無回答
全体		128	10.9	7.0	20.3	18.0	50.8	0.8	31.3	3.1
障害種別	身体	43	11.6	11.6	16.3	11.6	34.9	0.0	46.5	4.7
	知的	87	13.8	9.2	25.3	20.7	67.8	1.1	14.9	1.1
	精神	12	8.3	0.0	16.7	8.3	25.0	0.0	66.7	0.0
	自立	10	20.0	10.0	40.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0
	難病	6	33.3	0.0	33.3	33.3	50.0	0.0	33.3	0.0
	発達	51	11.8	7.8	15.7	19.6	58.8	0.0	29.4	2.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	訪問系サービス	短期入所（ショートステイ）	相談支援	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	利用したことがない	無回答
全体		128	10.9	7.0	20.3	18.0	50.8	0.8	31.3	3.1
本人の年齢	0～2歳	2	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	8.3	0.0	8.3	58.3	0.0	8.3	33.3	0.0
	6～8歳	18	0.0	0.0	11.1	27.8	50.0	0.0	22.2	11.1
	9～11歳	34	8.8	11.8	23.5	14.7	70.6	0.0	23.5	2.9
	12～14歳	26	11.5	11.5	19.2	11.5	53.8	0.0	30.8	3.8
	15～17歳	36	16.7	5.6	27.8	2.8	50.0	0.0	44.4	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	11.8	6.7	20.2	17.6	51.3	0.8	30.3	3.4
	三世代世帯	9	0.0	11.1	22.2	22.2	44.4	0.0	44.4	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	10.0	20.0	20.0	20.0	50.0	0.0	30.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	6.3	18.8	12.5	50.0	0.0	43.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	11.8	5.9	14.7	26.5	44.1	0.0	35.3	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0
	あてはまらない	63	11.1	4.8	23.8	14.3	57.1	1.6	25.4	4.8
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	15.8	0.0	26.3	36.8	57.9	0.0	15.8	0.0
	40～59歳	90	11.1	10.0	20.0	15.6	53.3	1.1	31.1	2.2
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	10.0	6.0	24.0	14.0	56.0	0.0	32.0	2.0
	やや苦しい	60	11.7	8.3	20.0	21.7	55.0	1.7	25.0	1.7
	不自由が多く、生活が苦しい	7	28.6	14.3	14.3	14.3	57.1	0.0	14.3	14.3
サービス	利用している	84	16.7	10.7	31.0	27.4	77.4	1.2	0.0	0.0
	利用していない	40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	25.0	25.0	20.0	10.0	35.0	0.0	40.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	50.0	50.0	12.5	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0

(%)

⑭ 福祉サービスの必要性

問 39　お子さまの日々の暮らしに、福祉サービスの利用は必要ですか。　（○は 1 つだけ）

全体でみると、「必要である」が 65.6%と割合が高く、次いで「今は必要ないが、いずれ必要になる」が 19.5%、「必要ない」が 13.3%となっている。

障害種別でみると、身体・知的・難病・発達では「必要である」が半数を上回っている。一方で、精神・自立では「今は必要ないが、いずれ必要になる」が約４割となっている。

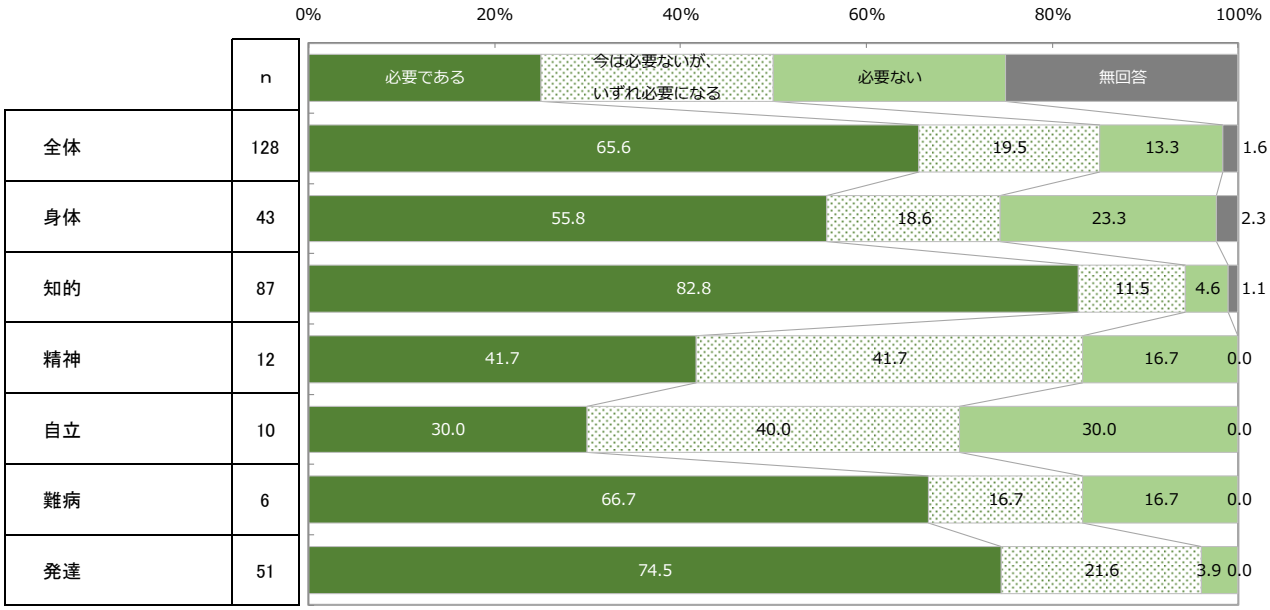
属性別でみると、本人の年齢別では、『15～17 歳』では「今は必要ないが、いずれ必要になる」の割合が 33.3%と高く、「必要である」は 44.4%と低い割合となっている。

世帯構成別では、『三世代世帯』では「今は必要ないが、いずれ必要になる」が 44.4%と高くなっている。

同居人の特徴別では、『65 歳以上の高齢者がいる』世帯では「今は必要ないが、いずれ必要になる」が高くなっている。

サービスの利用別では、『利用していない』では「必要ない」は 35.0%となっており、「必要である」「今は必要ないが、いずれ必要になる」が 62.5%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	必要である	今は必要ないが、いずれ必要になる	必要ない	無回答
全体		128	65.6	19.5	13.3	1.6 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	58.3	16.7	16.7	8.3
	6～8歳	18	66.7	27.8	5.6	0.0
	9～11歳	34	85.3	5.9	5.9	2.9
	12～14歳	26	69.2	15.4	15.4	0.0
	15～17歳	36	44.4	33.3	22.2	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	67.2	17.6	13.4	1.7
	三世代世帯	9	44.4	44.4	11.1	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	50.0	40.0	10.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	56.3	18.8	25.0	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	73.5	20.6	5.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	100.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	68.3	14.3	14.3	3.2
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	78.9	15.8	5.3	0.0
	40～59歳	90	67.8	17.8	12.2	2.2
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	72.0	14.0	14.0	0.0
	やや苦しい	60	66.7	25.0	5.0	3.3
	不自由が多く、生活が苦しい	7	85.7	0.0	14.3	0.0
サービス	利用している	84	88.1	8.3	2.4	1.2
	利用していない	40	20.0	42.5	35.0	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	70.0	15.0	10.0	5.0
	医療的ケアを受けている	8	100.0	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	0.0	75.0	0.0

⑮ 福祉サービスを十分に利用できているか

問 40　お子さまは、生活に必要な福祉サービスを十分に利用できていますか。（○は 1 つだけ）

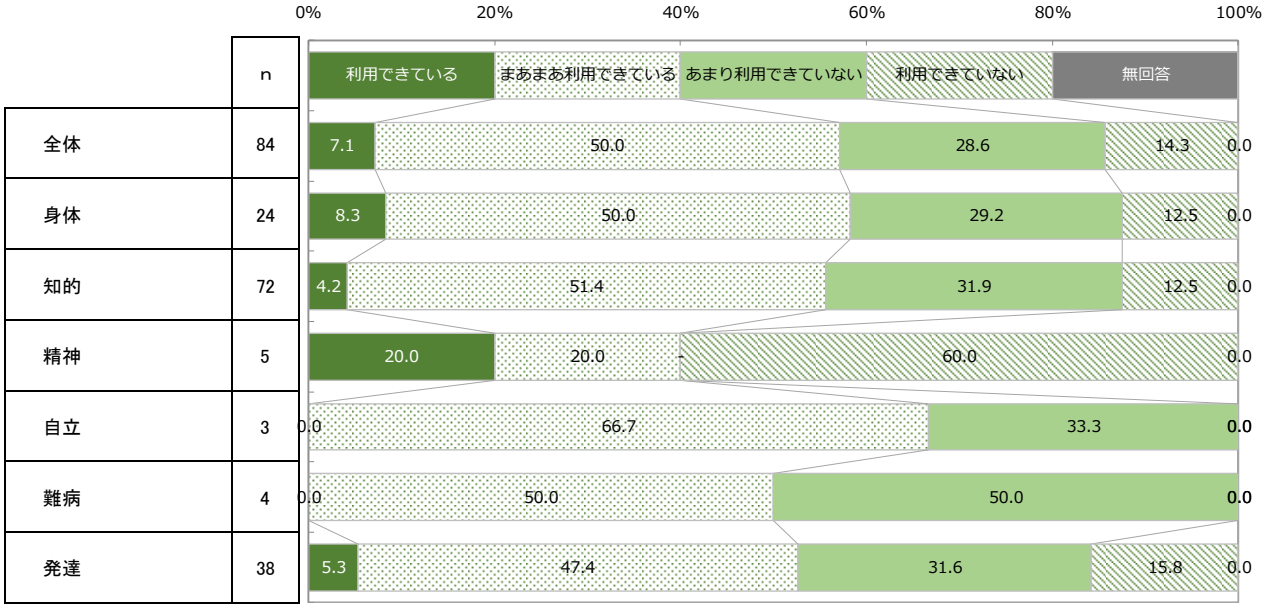
全体でみると、「まあまあ利用できている」が 50.0%と最も高く、次いで「あまり利用できていない」が 28.6%、「利用できていない」が 14.3%の割合となっている。

障害種別でみると、身体・知的・自立・難病・発達では「利用できている」「まあまあ利用できている」が半数を上回っている。一方で、精神では「利用できていない」が 60.0%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『15~17 歳』では「利用できている」「まあまあ利用できている」が 68.8%となっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では「利用できていない」が 33.3%と高くなっている。

【障害種別の集計】



	n	利用できている	まあまあ利用できている	あまり利用できていない	利用できていない	無回答
全体	84	7.1	50.0	28.6	14.3	0.0
身体	24	8.3	50.0	29.2	12.5	0.0
知的	72	4.2	51.4	31.9	12.5	0.0
精神	5	20.0	20.0	60.0		0.0
自立	3	0.0	66.7	33.3		0.0
難病	4	0.0	50.0	50.0		0.0
発達	38	5.3	47.4	31.6	15.8	0.0

【属性別の集計】

		調査数	利用できている	まあまあ利用できている	あまり利用できていない	利用できていない
全体		84	7.1	50.0	28.6	14.3 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	50.0	0.0	50.0
	3～5歳	7	14.3	42.9	28.6	14.3
	6～8歳	12	8.3	41.7	41.7	8.3
	9～11歳	29	10.3	44.8	27.6	17.2
	12～14歳	18	5.6	50.0	22.2	22.2
	15～17歳	16	0.0	68.8	31.3	0.0
世帯構成	核家族世帯	80	6.3	51.3	27.5	15.0
	三世代世帯	4	25.0	25.0	50.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	5	20.0	20.0	60.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	9	0.0	44.4	44.4	11.1
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	25	12.0	40.0	24.0	24.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	20.0	60.0	20.0
	あてはまらない	43	7.0	58.1	23.3	11.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	15	20.0	33.3	33.3	13.3
	40～59歳	61	4.9	54.1	26.2	14.8
	60歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	36	11.1	50.0	27.8	11.1
	やや苦しい	40	5.0	52.5	30.0	12.5
	不自由が多く、生活が苦しい	6	0.0	33.3	33.3	33.3
サービス	利用している	74	8.1	52.7	31.1	8.1
	利用していない	8	0.0	25.0	12.5	62.5
特徴的な状態	重度心身障害	14	7.1	57.1	28.6	7.1
	医療的ケアを受けている	8	0.0	87.5	12.5	0.0
	視覚障害がある	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	1	100.0	0.0	0.0	0.0

⑯ 十分に利用できない理由

問 41　必要なサービスを十分に利用できない理由をお答えください。　（○はいくつでも）

全体でみると、「定員がいっぱいで利用できない」が 52.8%と最も高く、次いで「利用したい時間や時期と合わない」が 33.3%、「通うのが大変」「市内に利用したい事業所がない」「自分に適したサービスがわからない」が 22.2%となっている。

障害種別でみると、身体・知的・難病・発達では「定員がいっぱいで利用できない」の割合が高く、精神では「市内に利用したい事業所がない」が 66.7%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『3～5 歳』『12～14 歳』では「サービスの利用方法がわからない」が高くなっている。

生活困窮状況別では、『まあまあゆとりがある』層では「利用したい時や時期と合わない」の割合が 57.1%と高く、『やや苦しい』層では「自分に適したサービスがわからない」「サービスの利用方法がわからない」が高くなっている。

サービスの利用別では、『利用していない』では「通うのが大変」「市内に利用したい事業所がない」が高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	自己負担が大きい	定員がいっぱいで利用できない	通うのが大変	利用したい時間や時期と合わない	市内に利用したい事業所がない	自分に適したサービスがわからない	サービスの利用方法がわからない	その他
全体		36	16.7	52.8	22.2	33.3	22.2	22.2	16.7	16.7 (%)
障害種別	身体	10	10.0	50.0	20.0	20.0	20.0	10.0	30.0	10.0
	知的	32	15.6	56.3	25.0	37.5	21.9	25.0	18.8	12.5
	精神	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	自立	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	2	0.0	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	発達	18	22.2	61.1	22.2	33.3	22.2	22.2	16.7	22.2

【属性別の集計】

		調査数	自己負担が大きい	定員がいっぱいで利用できない	通うのが大変	利用したい時間や時期と合わない	市内に利用したい事業所がない	自分に適したサービスがわからない	サービスの利用方法がわからない	その他
全体		36	16.7	52.8	22.2	33.3	22.2	22.2	16.7	16.7 (%)
本人の年齢	0～2歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
	6～8歳	6	16.7	50.0	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3
	9～11歳	13	23.1	53.8	30.8	46.2	30.8	15.4	7.7	7.7
	12～14歳	8	0.0	62.5	37.5	25.0	0.0	25.0	37.5	12.5
	15～17歳	5	40.0	40.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	40.0
世帯構成	核家族世帯	34	17.6	52.9	20.6	32.4	20.6	23.5	17.6	14.7
	三世代世帯	2	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	66.7	66.7	33.3
	障害者手帳所持者がいる	5	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	12	25.0	50.0	25.0	33.3	41.7	16.7	0.0	16.7
	病気などの理由で不自由な方がいる	4	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0
	あてはまらない	15	13.3	73.3	13.3	40.0	6.7	13.3	6.7	6.7
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	7	14.3	71.4	14.3	28.6	57.1	28.6	14.3	0.0
	40～59歳	25	20.0	48.0	20.0	36.0	12.0	16.0	16.0	24.0
	60歳代	1	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	14	14.3	57.1	28.6	57.1	35.7	14.3	7.1	21.4
	やや苦しい	17	17.6	58.8	17.6	23.5	17.6	29.4	23.5	5.9
	不自由が多く、生活が苦しい	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0
サービス	利用している	29	17.2	51.7	17.2	34.5	17.2	24.1	17.2	17.2
	利用していない	6	16.7	50.0	50.0	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7
特徴的な状態	重度心身障害	5	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0
	医療的ケアを受けている	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
	視覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑰ 2年後に必要とするサービス

問42　今から2年後にお子さまが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。（○はいくつでも）

全体でみると、「小学校や中学校、高校の放課後や長期休業期間に子どもを預けられるサービス」が 53.9%と最も高く、次いで「学校や施設から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス」が36.7%、「短期間を施設で過ごすサービス」が33.6%の割合となっている。

障害種別でみると、「放課後や長期休暇中に預けられるサービス」は知的・難病・発達で半数を上回っており、「学校や施設から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス」でも高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『6～17歳』では、年齢が高くなるほど「放課後や長期休暇中に預けられるサービス」や「学校や施設から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス」が低くなる傾向がある。

世帯構成別では、『三世代世帯』は「わからない」が44.4%と高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、「訪問系サービス」や「短期間を施設で過ごすサービス」といった福祉サービスのニーズが高くなる傾向がある。

サービスの利用別では、『利用していない』では「わからない」が40.0%と高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	訪問系サービス	短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）	保育所や学校などで集団生活をするために必要な能力を身につけるサービス	小学校や中学校、高校の放課後や長期休業期間に子どもを預けられるサービス	学校や施設（放課後等デイサービスなど）から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス	その他	わからない	無回答
全体		128	19.5	33.6	14.8	53.9	36.7	16.4	18.8	1.6
障害種別	身体	43	25.6	34.9	11.6	34.9	23.3	18.6	27.9	2.3
	知的	87	24.1	44.8	14.9	69.0	46.0	13.8	8.0	1.1
	精神	12	16.7	16.7	25.0	33.3	16.7	41.7	16.7	0.0
	自立	10	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	50.0	40.0	0.0
	難病	6	33.3	16.7	16.7	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	発達	51	13.7	29.4	19.6	66.7	41.2	17.6	15.7	0.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	訪問系サービス	短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）	保育所や学校などで集団生活をするために必要な能力を身につけるサービス	小学校や中学校、高校の放課後や長期休業期間に子どもを預けられるサービス	学校や施設（放課後等デイサービスなど）から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス	その他	わからない	無回答
全体		128	19.5	33.6	14.8	53.9	36.7	16.4	18.8	1.6 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	0.0	25.0	50.0	33.3	8.3	8.3	16.7
	6～8歳	18	5.6	11.1	27.8	72.2	55.6	5.6	16.7	0.0
	9～11歳	34	23.5	44.1	20.6	76.5	41.2	11.8	11.8	0.0
	12～14歳	26	26.9	42.3	3.8	57.7	38.5	3.8	30.8	0.0
	15～17歳	36	19.4	38.9	2.8	22.2	22.2	38.9	22.2	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	18.5	34.5	16.0	55.5	37.8	16.8	16.8	1.7
	三世代世帯	9	33.3	22.2	0.0	33.3	22.2	11.1	44.4	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	30.0	30.0	0.0	40.0	30.0	10.0	40.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	12.5	25.0	12.5	31.3	25.0	6.3	37.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	14.7	20.6	29.4	50.0	32.4	8.8	23.5	2.9
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	60.0	20.0	60.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	あてはまらない	63	20.6	41.3	12.7	63.5	44.4	22.2	9.5	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	26.3	15.8	26.3	52.6	47.4	5.3	21.1	0.0
	40～59歳	90	17.8	38.9	14.4	54.4	34.4	18.9	17.8	1.1
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	14.0	30.0	10.0	52.0	40.0	20.0	18.0	4.0
	やや苦しい	60	21.7	40.0	18.3	63.3	35.0	13.3	16.7	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	42.9	57.1	14.3	28.6	42.9	28.6	28.6	0.0
サービス	利用している	84	25.0	44.0	13.1	63.1	46.4	16.7	8.3	2.4
	利用していない	40	7.5	12.5	15.0	32.5	15.0	15.0	40.0	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	50.0	55.0	5.0	40.0	30.0	25.0	15.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	62.5	50.0	25.0	37.5	50.0	25.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0

⑱ 災害で不安なこと

問 43　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。
（○はいくつでも）

全体でみると、「避難所での他人とのコミュニケーション」が 52.3%と最も高く、次いで「障害の特性上、避難所にいることが困難」が 49.2%、「避難時に介助してくれる人がいない」が 28.1%の割合となっている。

障害種別でみると、「避難所での他人とのコミュニケーション」は身体以外で半数を上回っている。

属性別でみると、同居人の特徴別では、『障害者手帳所持者がいる』世帯では「災害や避難の情報の入手方法がわからない」が 31.3%と高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、特に「避難時に介助してくれる人がいない」「助けを呼ぶための手段がない」が他に比べて高くなっている。

【障害種別の集計】

		調査数	避難所の場所がわからない	災害や避難の情報の入手方法がわからない	避難時に介助してくれる人がいない	助けを呼ぶための手段がない	避難所で十分な医療的ケアが受けられない	障害の特性上、避難所にいることが困難	避難所での他人とのコミュニケーション	その他	特にない	無回答
全体		128	13.3	20.3	28.1	9.4	14.8	49.2	52.3	11.7	10.9	1.6
障害種別	身体	43	14.0	20.9	37.2	11.6	27.9	41.9	32.6	18.6	14.0	0.0
	知的	87	14.9	19.5	33.3	10.3	14.9	60.9	62.1	10.3	8.0	2.3
	精神	12	8.3	16.7	33.3	25.0	8.3	50.0	58.3	0.0	8.3	0.0
	自立	10	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	40.0	50.0	0.0	30.0	0.0
	難病	6	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	66.7	50.0	16.7	0.0	0.0
	発達	51	11.8	17.6	25.5	7.8	11.8	66.7	72.5	9.8	3.9	0.0

(%)

【属性別の集計】

		調査数	避難所の場所がわからない	災害や避難の情報の入手方法がわからない	避難時に介助してくれる人がいない	助けを呼ぶための手段がない	避難所で十分な医療的ケアが受けられない	障害の特性上、避難所にいることが困難	避難所での他人とのコミュニケーション	その他	特にない	無回答
全体		128	13.3	20.3	28.1	9.4	14.8	49.2	52.3	11.7	10.9	1.6 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	16.7	25.0	8.3	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7	8.3	8.3
	6～8歳	18	5.6	33.3	38.9	5.6	11.1	44.4	55.6	16.7	5.6	0.0
	9～11歳	34	2.9	2.9	20.6	5.9	8.8	55.9	55.9	20.6	11.8	0.0
	12～14歳	26	23.1	30.8	30.8	19.2	19.2	57.7	50.0	7.7	15.4	0.0
	15～17歳	36	19.4	22.2	33.3	8.3	16.7	44.4	55.6	2.8	11.1	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	14.3	21.8	30.3	10.1	15.1	49.6	53.8	11.8	10.1	0.8
	三世代世帯	9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	44.4	33.3	11.1	22.2	11.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	10.0	10.0	20.0	20.0	30.0	60.0	40.0	10.0	10.0	10.0
	障害者手帳所持者がいる	16	18.8	31.3	25.0	6.3	12.5	62.5	56.3	0.0	12.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	8.8	20.6	5.9	14.7	47.1	52.9	11.8	8.8	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	100.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	あてはまらない	63	15.9	19.0	30.2	6.3	12.7	44.4	54.0	12.7	12.7	1.6
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	5.3	31.6	26.3	10.5	21.1	42.1	63.2	15.8	0.0	0.0
	40～59歳	90	14.4	18.9	31.1	10.0	14.4	57.8	54.4	11.1	8.9	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	10.0	14.0	30.0	4.0	10.0	48.0	42.0	12.0	16.0	2.0
	やや苦しい	60	15.0	23.3	21.7	11.7	18.3	51.7	63.3	8.3	8.3	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	14.3	28.6	57.1	42.9	28.6	85.7	71.4	14.3	0.0	0.0
サービス	利用している	84	14.3	22.6	31.0	11.9	15.5	59.5	59.5	10.7	7.1	1.2
	利用していない	40	10.0	12.5	20.0	5.0	15.0	30.0	40.0	12.5	15.0	2.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	10.0	15.0	50.0	20.0	35.0	60.0	30.0	35.0	0.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	12.5	62.5	25.0	75.0	62.5	12.5	12.5	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	50.0	100.0	100.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0

7.　西東京市について

①　障害者施策に満足しているか

問 44　西東京市の障害児施策全般について、総合的に満足していますか。　（○は 1 つだけ）

全体でみると、「やや不満」が 27.3%と最も高く、次いで「どちらでもない」が 25.8%、「不満」が 21.1%となっている。

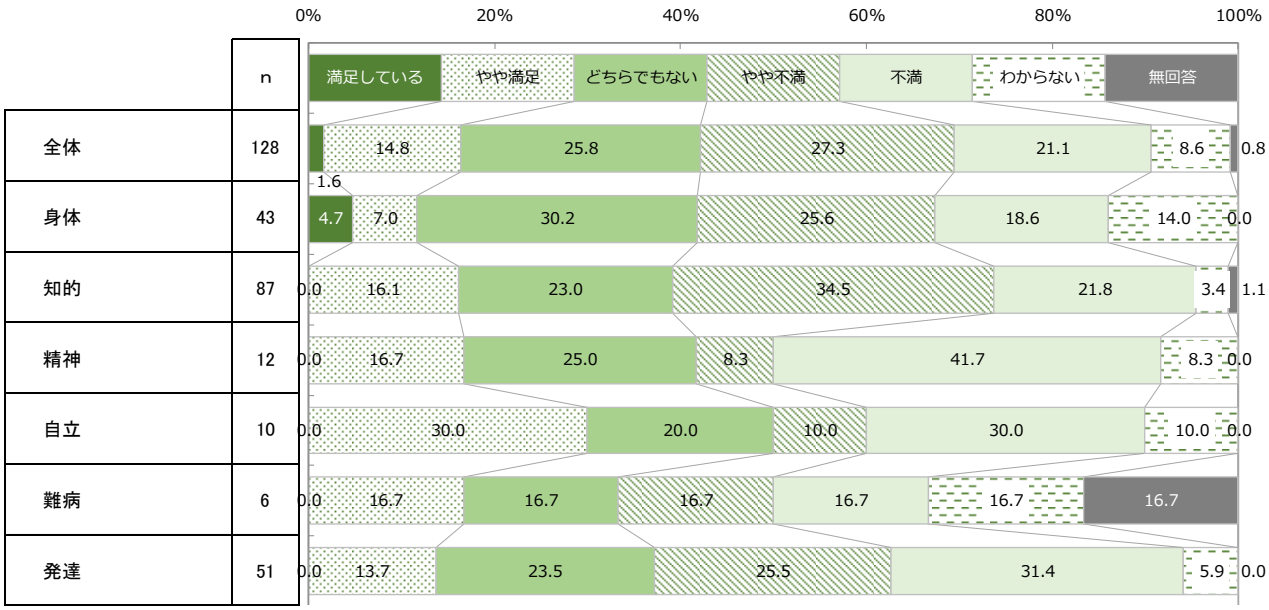
障害種別でみると、知的・発達で「不満」「やや不満」が半数を上回っている。「満足」「やや満足」は自立で高く 30.0%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『０～５歳』では「不満」「やや不満」が高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、「不満」が 57.1%と高くなっている。

サービスの利用別では、「不満」「やや不満」は『利用している』で 52.4%、『利用していない』で 40.0%となっている。

【障害種別の集計】



	n	満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない	無回答
全体	128	1.6	14.8	25.8	27.3	21.1	8.6	0.8
身体	43	4.7	7.0	30.2	25.6	18.6	14.0	0.0
知的	87	0.0	16.1	23.0	34.5	21.8	3.4	1.1
精神	12	0.0	16.7	25.0	8.3	41.7	8.3	0.0
自立	10	0.0	30.0	20.0	10.0	30.0	10.0	0.0
難病	6	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	
発達	51	0.0	13.7	23.5	25.5	31.4	5.9	0.0

【属性別の集計】

		調査数	満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない	無回答
全体		128	1.6	14.8	25.8	27.3	21.1	8.6	0.8 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	3～5歳	12	0.0	25.0	8.3	41.7	16.7	8.3	0.0
	6～8歳	18	0.0	11.1	33.3	27.8	22.2	5.6	0.0
	9～11歳	34	0.0	17.6	26.5	29.4	17.6	8.8	0.0
	12～14歳	26	0.0	7.7	34.6	26.9	26.9	3.8	0.0
	15～17歳	36	5.6	16.7	22.2	19.4	19.4	13.9	2.8
世帯構成	核家族世帯	119	1.7	13.4	24.4	28.6	21.8	9.2	0.8
	三世代世帯	9	0.0	33.3	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	0.0	20.0	40.0	20.0	10.0	10.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	6.3	6.3	25.0	18.8	25.0	18.8	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	0.0	14.7	26.5	32.4	23.5	2.9	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0
	あてはまらない	63	1.6	15.9	25.4	28.6	22.2	6.3	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	0.0	21.1	15.8	42.1	15.8	5.3	0.0
	40～59歳	90	1.1	11.1	26.7	27.8	25.6	6.7	1.1
	60歳代	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	0.0	18.0	28.0	28.0	20.0	4.0	2.0
	やや苦しい	60	0.0	15.0	21.7	31.7	21.7	10.0	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	0.0	0.0	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0
サービス	利用している	84	0.0	16.7	25.0	34.5	17.9	4.8	1.2
	利用していない	40	5.0	12.5	25.0	12.5	27.5	17.5	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	0.0	10.0	25.0	40.0	10.0	15.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	0.0	25.0	12.5	62.5	0.0	0.0	0.0
	視覚障害がある	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚障害がある	4	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0

② 自宅以外に居心地のいい場所

問 45　自分のお家以外に、西東京市内に居心地のいい場所はありますか。　（○は 1 つだけ）

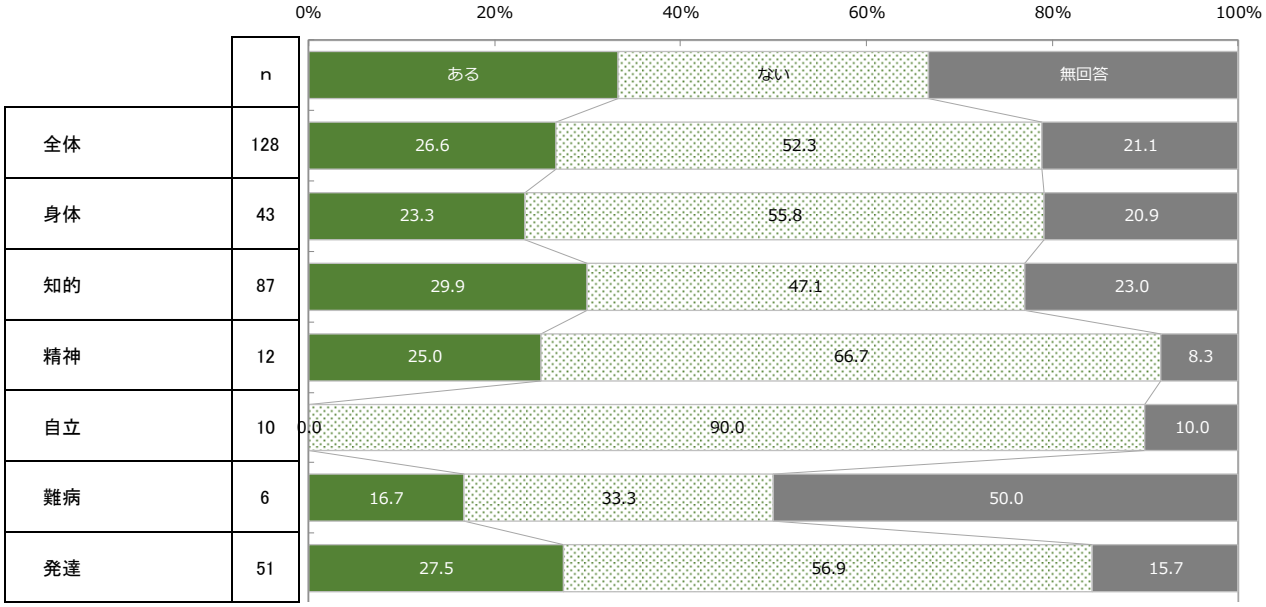
全体でみると、「ない」が 52.3%と最も高く、次いで「ある」は 26.6%となっている。

障害種別でみると、自立では「ない」が 90.0%となっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、『９～14 歳』では「ある」が約３割となっているが、『15～17 歳』では 16.7%と低くなっており、反面、「ない」が 72.2%と高くなっている。

生活困窮状況別では、生活が苦しくなるにつれて「ある」が低くなる傾向があり、『ゆとりがある』層では 50.0%が、『不自由が多く、生活が苦しい』層では 28.6%となっている。

【障害種別の集計】



【属性別の集計】

		調査数	ある	ない	無回答
全体		128	26.6	52.3	21.1 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	0.0	0.0	100.0
	3～5歳	12	50.0	25.0	25.0
	6～8歳	18	11.1	66.7	22.2
	9～11歳	34	35.3	41.2	23.5
	12～14歳	26	30.8	46.2	23.1
	15～17歳	36	16.7	72.2	11.1
世帯構成	核家族世帯	119	27.7	50.4	21.8
	三世代世帯	9	11.1	77.8	11.1
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	10.0	70.0	20.0
	障害者手帳所持者がいる	16	37.5	43.8	18.8
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	20.6	55.9	23.5
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	0.0	60.0	40.0
	あてはまらない	63	28.6	52.4	19.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	26.3	47.4	26.3
	40～59歳	90	27.8	53.3	18.9
	60歳代	2	50.0	50.0	0.0
	70歳代	1	0.0	100.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	50.0	50.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	32.0	44.0	24.0
	やや苦しい	60	20.0	60.0	20.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	28.6	57.1	14.3
サービス	利用している	84	28.6	44.0	27.4
	利用していない	40	22.5	70.0	7.5
特徴的な状態	重度心身障害	20	20.0	55.0	25.0
	医療的ケアを受けている	8	37.5	50.0	12.5
	視覚障害がある	2	0.0	100.0	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	25.0	50.0

③ 具体的な場所

問 46　その場所を具体的にお答えください。

自由意見	34	件
福祉施設	18	件
公共施設（図書館、体育館、公民館など）	7	件
幼稚園、保育所、学校	4	件
近所の公園	4	件
家族・親戚の家	3	件
友人・知人の家	3	件
趣味の場所	3	件
近所の飲食店	1	件
その他	2	件

自由意見　（一部抜粋）

【福祉施設】

●放課後等デイサービス（さざんか、ウイング、らぷあ）、あくあじょい（水泳教室）。
●発達支援センターひいらぎ、一時保育、楽しんですごしているように思えます。
●デイサービスのシュプロスとたまみずきひばり、日中一時のたまみずきハウス。
●シュプロス・ピュルエル、親せきの家、ヒッポファミリークラブ。
●放課後デイサービス、月のうさぎ、りごん U、ウィング西東京。

④ 西東京市が充実させるべき障害者施策

問 47　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、お答えください。　（○はいくつでも）

全体でみると､｢障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること｣が 75.0%と最も高く、次いで「障害のある人が働くための機会を創出すること」が 68.8%、「家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること」が 66.4%となっている。

障害種別でみると、障害者全体とほぼ同様の割合となっているが、精神・自立では「障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること」の割合も高くなっている。

属性別でみると、本人の年齢別では、年齢が高くなるほど「障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること」の割合は低くなり、｢障害のある人が働くための機会を創出すること」の割合が高くなっている。

生活困窮状況別では、『不自由が多く、生活が苦しい』層では、「障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること」「家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること」で 100%となっている。

【障害種別の集計】

		調査数	障害福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること	障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること	市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること	障害のある人が働くための機会を創出すること	障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	障害のある人が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	障害のある人が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	地域のボランティア活動を充実させること	その他	不足していることはない
全体		128	59.4	53.9	10.9	28.9	44.5	75.0	68.8	40.6	41.4	51.6	33.6	66.4	17.2	13.3	0.0 (%)
障害種別	身体	43	67.4	48.8	11.6	20.9	39.5	69.8	58.1	51.2	46.5	58.1	27.9	69.8	18.6	14.0	0.0
	知的	87	62.1	54.0	10.3	28.7	47.1	75.9	73.6	42.5	44.8	54.0	37.9	67.8	17.2	14.9	0.0
	精神	12	58.3	83.3	16.7	41.7	58.3	75.0	100.0	41.7	25.0	50.0	41.7	75.0	16.7	8.3	0.0
	自立	10	60.0	70.0	10.0	10.0	30.0	50.0	70.0	20.0	20.0	10.0	20.0	50.0	20.0	0.0	0.0
	難病	6	50.0	50.0	16.7	33.3	16.7	83.3	66.7	66.7	66.7	33.3	16.7	66.7	16.7	16.7	0.0
	発達	51	56.9	62.7	7.8	33.3	47.1	84.3	78.4	29.4	33.3	51.0	39.2	66.7	13.7	7.8	0.0

【属性別の集計】

		調査数	障害福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること	障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること	市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること	障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと	一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること	障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること	障害のある人が働くための機会を創出すること	障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること	障害のある人が利用しやすい民間の施設やお店が増えること	障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること	障害のある人が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること	家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること	地域のボランティア活動を充実させること	その他	不足していることはない
全体		128	59.4	53.9	10.9	28.9	44.5	75.0	68.8	40.6	41.4	51.6	33.6	66.4	17.2	13.3	0.0 (%)
本人の年齢	0～2歳	2	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0
	3～5歳	12	66.7	41.7	0.0	33.3	8.3	100.0	66.7	58.3	41.7	33.3	33.3	66.7	16.7	8.3	0.0
	6～8歳	18	38.9	44.4	5.6	44.4	50.0	83.3	61.1	22.2	38.9	44.4	27.8	77.8	16.7	16.7	0.0
	9～11歳	34	58.8	52.9	11.8	35.3	47.1	76.5	58.8	38.2	41.2	52.9	41.2	58.8	11.8	17.6	0.0
	12～14歳	26	73.1	69.2	15.4	19.2	65.4	76.9	76.9	46.2	42.3	61.5	42.3	76.9	30.8	3.8	0.0
	15～17歳	36	55.6	50.0	11.1	19.4	36.1	58.3	77.8	38.9	38.9	52.8	22.2	58.3	11.1	13.9	0.0
世帯構成	核家族世帯	119	58.0	52.1	10.9	28.6	42.9	74.8	69.7	40.3	41.2	51.3	36.1	68.9	17.6	14.3	0.0
	三世代世帯	9	77.8	77.8	11.1	33.3	66.7	77.8	55.6	44.4	44.4	55.6	0.0	33.3	11.1	0.0	0.0
	その他の世帯	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居人の特徴	65歳以上の高齢者がいる	10	70.0	70.0	10.0	30.0	70.0	80.0	60.0	40.0	40.0	60.0	20.0	50.0	20.0	0.0	0.0
	障害者手帳所持者がいる	16	62.5	37.5	0.0	12.5	56.3	75.0	75.0	25.0	18.8	50.0	37.5	75.0	12.5	12.5	0.0
	妊婦や小学生以下の子どもがいる	34	50.0	58.8	14.7	38.2	26.5	88.2	61.8	29.4	38.2	35.3	26.5	61.8	14.7	11.8	0.0
	病気などの理由で不自由な方がいる	5	60.0	40.0	0.0	20.0	60.0	100.0	60.0	20.0	0.0	40.0	40.0	100.0	0.0	20.0	0.0
	あてはまらない	63	58.7	54.0	12.7	28.6	49.2	65.1	71.4	46.0	47.6	58.7	39.7	65.1	20.6	14.3	0.0
介助者の年齢	19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～39歳	19	57.9	52.6	10.5	52.6	47.4	84.2	68.4	42.1	47.4	42.1	21.1	68.4	15.8	21.1	0.0
	40～59歳	90	55.6	51.1	10.0	21.1	43.3	72.2	67.8	37.8	38.9	55.6	36.7	65.6	17.8	13.3	0.0
	60歳代	2	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活困窮	ゆとりがある	4	75.0	50.0	25.0	50.0	50.0	75.0	75.0	50.0	50.0	50.0	25.0	75.0	50.0	25.0	0.0
	まあまあゆとりがある	50	54.0	48.0	2.0	28.0	38.0	64.0	68.0	38.0	34.0	52.0	32.0	62.0	6.0	14.0	0.0
	やや苦しい	60	63.3	53.3	16.7	31.7	48.3	80.0	70.0	38.3	41.7	51.7	31.7	66.7	23.3	13.3	0.0
	不自由が多く、生活が苦しい	7	71.4	85.7	14.3	0.0	71.4	100.0	85.7	71.4	85.7	85.7	85.7	100.0	28.6	14.3	0.0
サービス	利用している	84	57.1	52.4	10.7	28.6	48.8	75.0	71.4	41.7	42.9	52.4	40.5	71.4	15.5	15.5	0.0
	利用していない	40	62.5	57.5	10.0	27.5	35.0	75.0	65.0	40.0	37.5	50.0	17.5	57.5	22.5	7.5	0.0
特徴的な状態	重度心身障害	20	80.0	60.0	10.0	30.0	50.0	75.0	65.0	65.0	60.0	75.0	30.0	75.0	10.0	15.0	0.0
	医療的ケアを受けている	8	75.0	75.0	0.0	37.5	50.0	75.0	25.0	75.0	75.0	62.5	25.0	87.5	12.5	12.5	0.0
	視覚障害がある	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0
	聴覚障害がある	4	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	100.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0

⑤ ご意見・ご要望

問 48　最後にご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見	188 件
福祉サービスについて	36 件
行政について（手続きなど）	25 件
障害者差別・理解の推進について	12 件
まちづくり全般について	10 件
暮らしについて	9 件
移動・交通機関について	7 件
医療機関について	4 件
相談先について	3 件
就労について	3 件
余暇活動について	2 件
その他（感想など）	6 件

自由意見　（一部抜粋）

【福祉サービスについて】

- ●障害者の高校卒業後の余暇活動の場がほしい。
- ●障害児の放課後等デイサービスのように、土日祝に障害者が集まり活動（調理やスポーツ）したり、お出かけしたりするサービスがほしい。
- ●障害児者が参加できるスポーツ教室がほしい。
- ●来年度小学 1 年生になるため、放課後等デイサービスを利用したいがどこも定員がいっぱいでキャンセル待ち状態で利用できない。
- ●移動支援などのサービスはあるが実際には場所や時間の制限も多く利用することができない。全体的にサービス提供側が足りていない。
- ●就学前から継続して利用できる ST・OT 施設をつくってほしい。
- ●ひいらぎの ST の先生を増やして、ST に入れる頻度をふやしてほしい。
- ●卒業後、生活介護の施設を利用したいが、市内施設が絶対数的に全く足りておらず、どこも定員オーバー。市外の施設に行く予定である。市内施設を早急に多く作って欲しい。
- ●今、一番大変なことは通学の負担です。西東京市に盲学校がないため、市外へ出ないといけません。ぜひ通学支援の充実をよろしくお願いします。また、全盲のため、災害時、どう動いていいかわからなくなります。非常時の的確な情報提供をお願いします。

【行政について（手続きなど）】

- ●自分の体調が悪くなった時のことなどを考えると不安があります。何かあった時、スムーズに使える所があると安心です。
- ●最初の福祉の入り口がちょっとわかりづらかったです。いくらか、いろいろな制度が使えるようになると何となく筋道がわかってきましたが、高齢者サービスのように、もう少しわかりやすいと助かります。
- ●障がい者やその家族向けの広報誌を定期的に発行してもらえると公平に情報が得られていいと思います（事業所の一覧やサービスの提示など）。

●市役所に相談してもたらいまわしにされることが多々あるので、ケアマネさんが必要です。
●書類の更新等、個人 NO.があるのでもっと簡単にペーパーレス化されるとありがたい。
●障がい児に関するサービスに関して、23 区や隣接市と比べても充実した制度を整えてもらっていることには感謝しています。しかし、制度はあっても事業所や人材が不足しており、利用できていないのが現実です。普通の子は保育園・小・中・高とだんだん外ですごす時間が長くなるのに、障がいのある子はどんどん短くなるため、親の就労が厳しいです。働くという事は経済的な面以外に様々なメリットが個人、社会の両方にあると思います。現在、デイサービス 2 ヶ所と契約していますが、それぞれ面談があり、学校とあわせると 3 回同じ話をしています。ワンストップで状況のアセスメント、情報の共有ができる仕組みが欲しいです（相談支援を充実させれば不可能ではないと思います）。
●疾患がある、障害がある子が産まれたと市に報告していても、こんな所に相談したらいいよとか何も情報が入らず、自分で調べて、聞いて、初めてその事に関しては情報が得られる。私からは今の西東京市はそんなイメージです。そして医療的ケアが必要で、ただでさえ外出は簡単ではないのに、手続きは多くそのつど足を運ばなければならない。相談したい時も同様で、壁が立ちはだかります。何に困ってるかと聞かれる事もあるが、現状、今の私達の家庭の状況ならどんなサービスが受けれるとかそういった情報を受けれるようになると有難いです。

【障害者差別・理解の推進について】
●障がい者がごく普通にその他の人達と生活している市になっていく事を望んでおります。道の整備や福祉の充実などまだまだやるべき事、やれる事多々あると思いますので、どんどん取り組んでいってください。また、市内の子が通っている学校などにも足を運んで、どんな子がいるのか、その保護者がどんな事を市に望んでいるのか、ぜひ聞き取りをしてみて下さい。
●市内企業へ障がい者雇用を促進するよう働きかけを強く行ってほしい。
●身体や、盲、ろうへの障がい理解はすすんできているように思うが、知的障がい、発達障がいへの理解はすすんでいないように思う。子どものうちにそれを知ることで差別意識や特別なことだという考えは軽減できると思う。
●障がい者施設（フレンドリーや田無福祉センター）周辺の道路はガードレールがなく歩くのに危険が多い。整備していただけるととてもありがたいと思います。
●いろんな方がいてあたり前、医療ケア器具もひとめみただけでは何をするものかわからないので、はじめはびっくりしても、そのあと理解できるようになるとよいと思います。簡単に「かわいそう」といわないでほしいと思っています。

Ⅳ　調査結果

～施設入所者調査～

Ⅳ. 調査結果　～施設入所者調査～

１．　事業所の概要

①　事業所サービスの対象者

問１　貴事業所の主な対象者をお答えください。　（○はいくつでも）

全体でみると、「知的障害者」が 86.1%となっており、次いで「身体障害者」が 19.4%、「精神障害者」が 5.6%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』では「知的障害者」が 82.4%となっており、「精神障害者」を対象としている事業所はない。

事業所からの地域移行実績の有無でみると、実績の有無によって事業対象者に大きな差はない。

		調査数	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重症心身障害者	その他
全体		36	19.4	86.1	5.6	0.0	0.0 (%)
対象者	身体障害者	7	100.0	28.6	14.3	0.0	0.0
	知的障害者	31	6.5	100.0	6.5	0.0	0.0
	精神障害者	2	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	23.5	82.4	0.0	0.0	0.0
	東京都外	19	15.8	89.5	10.5	0.0	0.0
地域移行実績	ある	21	19.0	81.0	4.8	0.0	0.0
	ない	15	20.0	93.3	6.7	0.0	0.0

② 事業実施期間

問２　貴事業所の事業開始年度を和暦でお答えください。
※集計結果から算出

全体でみると、事業実施期間は「40 年以上」が 25.0%、「30 年以上、40 年未満」が 27.8%となっており、半数以上が 30 年以上の事業所となっている。一方で、「10 年未満」は 5.6%、「10 年以上、20 年未満」は 19.4%となっている。

主な対象者別でみると、『30 年以上』の事業期間は身体障害者を対象としている事業所で 71.5%となっており、知的障害者を対象としている事業所では 48.4%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』では「40 年以上」が 29.4%となっている一方で、「30 年以上、40 年未満」は 11.8%と低く、「10 年未満」が 11.8%、「10 年以上、20 年未満」が 29.4%と、事業期間の長い事業所と短い事業所に２極化している。

事業所からの地域移行実績の有無でみると、実績のある事業所は事業期間が長く、実績のない事業所は短い傾向がある。

		調査数	10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上40年未満	40年以上
全体		36	5.6	19.4	22.2	27.8	25.0 (%)
対象者	身体障害者	7	0.0	14.3	14.3	42.9	28.6
	知的障害者	31	6.5	19.4	25.8	22.6	25.8
	精神障害者	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	11.8	29.4	17.6	11.8	29.4
	東京都外	19	0.0	10.5	26.3	42.1	21.1
地域移行実績	ある	21	4.8	14.3	14.3	33.3	33.3
	ない	15	6.7	26.7	33.3	20.0	13.3

③ 施設の定員

問３　貴事業所が提供している施設入所サービスについて、それぞれの「定員」と 10 月１日現在の「実利用者数」をお答えください。

全体でみると、「50 人以下」が 50.0%と最も高く、「51～75 人」が 25.0%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』では「50 人以下」の事業所が多く 58.8%、『東京都外』では「76～100 人」が 26.3%となっている。

		調査数	50人以下	51～75人	76～100人	101人以上
全体		36	50.0	25.0	19.4	5.6
対象者	身体障害者	7	57.1	28.6	14.3	0.0
	知的障害者	31	48.4	25.8	19.4	6.5
	精神障害者	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	58.8	23.5	11.8	5.9
	東京都外	19	42.1	26.3	26.3	5.3
地域移行実績	ある	21	52.4	23.8	19.0	4.8
	ない	15	46.7	26.7	20.0	6.7

(%)

④ 年齢別の利用者数（施設全体）

問３　貴事業所が提供している施設入所サービスについて、それぞれの「定員」と 10 月１日現在の「実利用者数」をお答えください。

全体でみると、平均人数 62.0 人のうち、「40 歳代」「50 歳代」が最も多く 15.7 人ずつとなっている。

主な対象者別でみると、『身体障害者』を対象としている事業所では、「60 歳代」が 13.7 人と高齢者が多い傾向にある。一方で、『知的障害者』を対象としている施設では、「40 歳代」が 17.1 人と多くなっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都外』では『東京都内』に比べて「50 歳代」「60 歳代」の人数が多い傾向がある。

事業所からの地域移行実績の有無でみると、『実績がない』事業所は、「40 歳代」「50 歳代」の人数が多くなっている。

		調査数	全体	２０歳未満	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳代	７０歳代	８０歳以上
全体		36	62.0	0.2	3.3	6.2	15.7	15.7	11.4	7.6	2.0 (人)
対象者	身体障害者	7	57.1	0.0	2.7	3.3	6.1	15.1	13.7	9.9	3.8
	知的障害者	31	62.6	0.2	3.5	6.8	17.1	15.8	10.5	7.3	1.9
	精神障害者	2	50.0	1.0	5.0	4.5	7.5	13.5	8.0	9.5	0.5
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	60.1	0.0	3.9	6.1	15.9	12.6	10.7	6.6	2.4
	東京都外	19	63.6	0.4	2.7	6.4	15.5	18.3	11.9	8.4	1.8
地域移行実績	ある	21	62.5	0.3	2.8	7.5	14.7	14.4	12.7	7.1	1.8
	ない	15	61.2	0.0	4.1	4.6	17.0	17.5	9.5	8.4	2.2

⑤ 年齢別の利用者数（うち西東京市からの支援決定者）

問３　貴事業所が提供している施設入所サービスについて、それぞれの「定員」と 10 月１日現在の「実利用者数」をお答えください。

全体でみると、西東京市からの支援決定者は平均で 2.5 人となっている。

主な対象者別でみると、『身体障害者』では 1.7 人、『知的障害者』では 2.6 人、『精神障害者』では 4.0 人となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』では 3.0 人、『東京都外』では 2.0 人となっている。

事業所からの地域移行実績の有無でみると、『実績がある』では 1.8 人、『実績がない』では 3.3 人となっている。

		調査数	全体	２０歳未満	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳代	７０歳代	８０歳以上
全体		33	2.5	0.0	0.6	0.8	1.3	1.4	1.0	0.5	0.4
対象者	身体障害者	7	1.7	0.0	0.5	0.0	1.0	0.7	1.0	0.0	0.7
	知的障害者	28	2.6	0.0	0.6	0.9	1.3	1.5	1.0	0.6	0.3
	精神障害者	2	4.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	15	3.0	0.0	0.3	0.9	1.6	1.7	1.0	0.4	0.4
	東京都外	18	2.0	0.0	0.8	0.7	1.1	1.1	1.0	0.7	0.3
地域移行実績	ある	19	1.8	0.0	0.5	0.5	1.0	0.9	1.0	0.5	0.2
	ない	14	3.3	0.0	0.7	1.3	1.6	2.0	1.0	0.5	0.7

（人）

2.　施設入所に関するニーズの変化

①　ニーズの変化

問４　貴事業所が提供しているサービスへのニーズは直近の２年間でどのように変化していますか。　（○は１つだけ）

全体でみると、「増えている」が 50.0%、「変わらない」が 41.7%となっている。一方で、「減っている」「わからない」はそれぞれ 2.8%となっている。

主な対象者別でみると、『身体障害者』では「増えている」は 28.6%となっており、『知的障害者』を対象としている事業所では 54.8%となっている。

事業所からの地域移行実績の有無でみると、『実績がある』では、『実績がない』に比べて「増えている」という回答が低くなっている。

		調査数	増えている	変わらない	減っている	わからない	無回答
全体		36	50.0	41.7	2.8	2.8	2.8 (%)
対象者	身体障害者	7	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0
	知的障害者	31	54.8	38.7	0.0	3.2	3.2
	精神障害者	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	47.1	41.2	5.9	0.0	5.9
	東京都外	19	52.6	42.1	0.0	5.3	0.0
地域移行実績	ある	21	42.9	42.9	4.8	4.8	4.8
	ない	15	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0

② ニーズに対応するために必要な対策

問５　今後、利用者数の増加やニーズに対応していくために最も必要な対策をお答えください。　（○は１つだけ）

全体でみると、「人材確保のための支援や情報提供」が 77.8%と最も高く、次いで「施設・設備整備への支援」が 19.4%となっている。

主な対象者別、事業所の所在地別、事業所からの地域移行実績の有無、それぞれ対象者によって結果に差はみられなかった。

		調査数	施設・設備整備への支援	人材の確保のための支援や情報提供	職員研修のための支援	利用者へのサービスに関する情報提供	事業所運営に関する情報提供	その他
全体		36	19.4	77.8	0.0	2.8	0.0	0.0 (%)
対象者	身体障害者	7	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	知的障害者	31	19.4	77.4	0.0	3.2	0.0	0.0
	精神障害者	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	23.5	76.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	東京都外	19	15.8	78.9	0.0	5.3	0.0	0.0
地域移行実績	ある	21	19.0	76.2	0.0	4.8	0.0	0.0
	ない	15	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③ 事業継続について

問６　今後の事業継続について、どのように考えていますか。（○は１つだけ）

全体でみると、「現状維持」が 77.8%と最も高く、次いで「事業を拡大する」が 13.9%となっている。一方で、「わからない」は 5.6%、「事業を縮小する」は 2.8%となっている。

主な対象者別でみると、『身体障害者』『精神障害者』では「事業を拡大する」が４割を上回っており、『知的障害者』では「現状維持」が最も高くなっている。

事業所からの地域移行実績の有無でみると、『実績がない』事業所では、『実績がある』事業所に比べて「事業を拡大する」が高くなっている。

		調査数	事業を拡大する	現状維持	事業を縮小する	わからない
全体		36	13.9	77.8	2.8	5.6 (%)
対象者	身体障害者	7	42.9	57.1	0.0	0.0
	知的障害者	31	12.9	77.4	3.2	6.5
	精神障害者	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	17.6	70.6	0.0	11.8
	東京都外	19	10.5	84.2	5.3	0.0
地域移行実績	ある	21	9.5	81.0	0.0	9.5
	ない	15	20.0	73.3	6.7	0.0

④ サービスを提供する上での課題

問７　今後、サービスを提供していく上での課題などをご自由にお書きください。

自由意見	23 件
人材確保	15 件
施設整備・改修	10 件
入所者の高齢化への対応	8 件
医療的ケアへの対応	3 件
職員・ケアの質の向上	3 件
多職種との連携	1 件
その他（感想など）	1 件

自由意見　（一部抜粋）

【人材確保】

- 人材の確保が非常に厳しい状況が年々増えている。また求人し、採用するも、以前の様に一定のスキルを求めることが難しくなっており、年齢に伴う体力的な面や能力に合わせた仕事の行い方など、利用者に合わせたサービス提供を行うよりも職員のスキルに合わせた内容でサービス提供を行う必要が今後発生するのではと危惧する。
- 人材確保がここ数年本当に困難。有料の人材サイトなどを複数利用している。その金額に対しての補助や無料の人材サイト（自治体やハローワーク）をより一層充実させていただけると有難い。

【施設整備・改修】

- 障害の状況に合わせたフロア構成になっていないため、安全が確保できない設備になっている。
- 施設の老朽化に対する建て替え事業の展開。そのための環境変化への対応。

【入所者の高齢化への対応】

- 利用者が高齢化していく中で、個別の対応（住環境を含め）が課題となってきている。
- 重度、高齢化により、ハード面での整備の必要性や医療面での対応の増加（通院・入院含）が年々進んできており、支援体制に余裕はない。その一方で強度行動障害の支援についても年々状況が変化してきており、専門性や個別性を求められることから人材の定着・育成が課題となる。

3.　施設入所者の地域移行の状況

①　事業所から地域生活に移行した方

問８　過去５年間に貴事業所から地域生活へ移行された利用者はいますか。いる場合は人数についてもお答えください。（○は１つだけ）

全体でみると、「いる」は 58.3%となっており、移行者数は平均で 3.0 人となっている。

主な対象者別でみると、『身体障害者』『知的障害者』『精神障害者』ともに「いる」は５割以上となっており、平均人数は『身体障害者』で 4.0 人、『知的障害者』で 2.7 人、『精神障害者』で 5.0 人となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「いる」が 64.7%となっており、平均で 2.9 人となっている。『東京都外』では「いる」は 52.6%で、平均 3.0 人となっている。

【実績の有無】

		調査数	いる	いない	
全体		36	58.3	41.7	(%)
対象者	身体障害者	7	57.1	42.9	
	知的障害者	31	54.8	45.2	
	精神障害者	2	50.0	50.0	
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	
	その他	0	0.0	0.0	
所在地	東京都内	17	64.7	35.3	
	東京都外	19	52.6	47.4	
地域移行実績	ある	21	100.0	0.0	
	ない	15	0.0	100.0	

【実績人数】

		調査数	０人	１人	２人	３～５人	６人以上		平均人数	
全体		20	0.0	35.0	30.0	20.0	15.0	(%)	3.0	(人)
対象者	身体障害者	4	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0		4.0	
	知的障害者	16	0.0	37.5	31.3	18.8	12.5		2.7	
	精神障害者	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		5.0	
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
所在地	東京都内	11	0.0	27.3	45.5	9.1	18.2		2.9	
	東京都外	9	0.0	44.4	11.1	33.3	11.1		3.0	
地域移行実績	ある	20	0.0	35.0	30.0	20.0	15.0		3.0	
	ない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	

② 地域生活に移行した人の生活拠点

問９　地域生活へ移行された方の生活拠点についてお答えください。（○はいくつでも）

全体でみると、「グループホーム」が 85.7%と最も高く、次いで「家族や親戚の家」が 23.8%となっている。

主な対象者別でみると、『身体障害者』『知的障害者』では「グループホーム」が高く、『精神障害者』では「家族や親戚の家」が高くなっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「ひとり暮らし」が 27.3%となっている。

		調査数	家族や親戚の家	ひとり暮らし（一般の家）	福祉ホーム	グループホーム	その他
全体		21	23.8	14.3	0.0	85.7	4.8
対象者	身体障害者	4	50.0	50.0	0.0	75.0	0.0
	知的障害者	17	17.6	5.9	0.0	88.2	5.9
	精神障害者	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	11	27.3	27.3	0.0	81.8	0.0
	東京都外	10	20.0	0.0	0.0	90.0	10.0
地域移行実績	ある	21	23.8	14.3	0.0	85.7	4.8
	ない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

③ 地域生活に移行する際工夫していること

問 10　地域生活への移行を進める上で工夫していることをお答えください。（○はいくつでも）

全体でみると、「家族とのコミュニケーション」が 71.4%と最も高く、次いで「本人への動機づけ」「多様な関係機関との調整」がそれぞれ 66.7%、「相談支援専門員との連携」が 52.4%となっている。

主な対象者別でみると、『身体障害者』では「相談支援専門員との連携」が 25.0%と低くなっており、『知的障害者』では 58.8%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』では「相談支援員との連携」「多様な関係機関との調整」が高くなっており、一方で、『東京都外』では「家族とのコミュニケーション」が高くなっている。

		調査数	本人への動機づけ	家族とのコミュニケーション	相談支援専門員との連携	医師との連携	地域のボランティアとの連携	多様な関係機関との調整	地域移行支援の申請のタイミング
全体		21	66.7	71.4	52.4	9.5	9.5	66.7	9.5
対象者	身体障害者	4	50.0	75.0	25.0	25.0	0.0	75.0	25.0
	知的障害者	17	70.6	70.6	58.8	5.9	11.8	64.7	5.9
	精神障害者	1	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	11	72.7	63.6	63.6	9.1	9.1	81.8	9.1
	東京都外	10	60.0	80.0	40.0	10.0	10.0	50.0	10.0
地域移行実績	ある	21	66.7	71.4	52.4	9.5	9.5	66.7	9.5
	ない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

④ 移行の際の課題

問 11　地域生活への移行を進める上で課題となっていることをご自由にお書きください。

自由意見	16 件
家族の意思	8 件
移行先の住まいの確保	8 件
経済的な課題	2 件
その他	3 件

自由意見　（一部抜粋）

【家族の意思】

- ●入所施設から地域移行に対する保護者の意識が消極的である（本人はグループホームで暮らしたいと言っても保護者が反対）。
- ●利用者本人の意識向上するアプローチや、家族の施設（入所）を退所するリスクへの理解を変えていく支援が課題である。

【移行先の住まいの確保】

- ●最重度の知的障害者を受け入れられるグループホーム他サービスの確保。
- ●グループホームへの移行を希望される方が多いが受け入れ先がない。

⑤ 地域生活への移行を考えている西東京市の入所者

問 12　貴事業所の利用者で、西東京市が援護の実施者となっている方のうち、地域生活への移行を希望している方はいますか。いる場合はその人数もお答えください。　（○は 1 つだけ）

全体でみると、「いる」は 8.3%となっており、平均人数は 1.0 人（総数 3 人）となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「いる」が 11.8%（2 人）となっており、『東京都外』では 5.3%（１人）となっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』では「いる」が 14.3%となっており、『実績がない』事業所では０%となっている。

【意向の有無】

		調査数	いる	いない
全体		36	8.3	91.7 (%)
対象者	身体障害者	7	14.3	85.7
	知的障害者	31	6.5	93.5
	精神障害者	2	50.0	50.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	11.8	88.2
	東京都外	19	5.3	94.7
地域移行実績	ある	21	14.3	85.7
	ない	15	0.0	100.0

【意向者数】

		調査数	平均人数
全体		3	1.0 (人)
対象者	身体障害者	1	1.0
	知的障害者	2	1.0
	精神障害者	1	1.0
	重症心身障害者	0	0.0
	その他	0	0.0
所在地	東京都内	2	1.0
	東京都外	1	1.0
地域移行実績	ある	3	1.0
	ない	0	0.0

⑥ 地域生活への移行ができる可能性

問 13　地域生活への移行を希望している方のうち、実現できる可能性について、それぞれの人数をお答えください。

全体でみると、「5 年以内に実現できる」が 33.3%（１人）、「わからない」が 33.3%（1 人）、「実現は難しい」が 33.3%（１人）となっている。

事業所の所在地別でみると、「５年以内に実現できる」は『東京都外』の事業所となっている。

		調査数	2年以内に実現できる	5年以内に実現できる	わからない	実現は難しい
全体		3	0.0	33.3	33.3	33.3 (%)
対象者	身体障害者	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	知的障害者	2	0.0	50.0	0.0	50.0
	精神障害者	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	東京都外	1	0.0	100.0	0.0	0.0
地域移行実績	ある	3	0.0	33.3	33.3	33.3
	ない	0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑦ 地域生活への移行先

問 14　地域生活への移行先として想定している場所をお答えください。（○はいくつでも）

全体でみると、「西東京市」と「現在の施設がある地域」が 100.0%となっている。

		調査数	西東京市	現在の施設がある地域	その他の地域	わからない
全体		1	100.0	100.0	0.0	0.0 (%)
対象者	身体障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	知的障害者	1	100.0	100.0	0.0	0.0
	精神障害者	1	100.0	100.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東京都外	1	100.0	100.0	0.0	0.0
地域移行実績	ある	1	100.0	100.0	0.0	0.0
	ない	0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑧ 地域生活への移行の課題

問 15　入所者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについてお答えください。（○はいくつでも）

全体でみると、「利用者本人のニーズ把握」が 72.2%と最も高く、次いで「地域における障害への理解促進」と「利用者家族の高齢化」がそれぞれ 63.9%、「移行後の住まいの確保」が 50.0%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』では「利用者の収入確保」「福祉サービス事業者への引継ぎ」「医療機関との連携」が高くなっている。一方で『東京都外』では「利用者家族の高齢化」「移行後の住まいの確保」が高くなっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』事業所では「福祉サービス事業者への引継ぎ」が 42.9%となっており、『実績がない』事業所の 6.7%に比べて高くなっている。

		調査数	利用者本人のニーズ把握	重症心身障害者の増加	利用者家族の高齢化	地域移行支援の認知度	移行後の利用者の収入確保	移行後の住まいの確保	福祉サービス事業者への引継ぎ	医療機関との連携	相談支援機関との連携	移行先の地方自治体との連携	地域における障害への理解促進	その他
全体		36	72.2	19.4	63.9	25.0	30.6	50.0	27.8	30.6	33.3	27.8	63.9	8.3
対象者	身体障害者	7	71.4	57.1	57.1	14.3	28.6	85.7	57.1	71.4	42.9	42.9	71.4	0.0
	知的障害者	31	74.2	16.1	67.7	25.8	29.0	45.2	19.4	25.8	29.0	25.8	64.5	9.7
	精神障害者	2	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	82.4	23.5	58.8	17.6	41.2	41.2	41.2	41.2	35.3	29.4	64.7	5.9
	東京都外	19	63.2	15.8	68.4	31.6	21.1	57.9	15.8	21.1	31.6	26.3	63.2	10.5
地域移行実績	ある	21	76.2	19.0	66.7	23.8	33.3	52.4	42.9	33.3	38.1	23.8	61.9	4.8
	ない	15	66.7	20.0	60.0	26.7	26.7	46.7	6.7	26.7	26.7	33.3	66.7	13.3

(%)

4.　事業所における質の向上に関する取組

①　障害者の虐待防止マニュアル

問 16　貴事業では障害者の虐待防止マニュアルを作成していますか。（○は 1 つだけ）

全体でみると、すべての事業所で「作成している」。

		調査数	作成している	近々に作成する予定である	今後、作成することを検討する	考えていない・わからない	その他
全体		36	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0 (%)
対象者	身体障害者	7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	知的障害者	31	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神障害者	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東京都外	19	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域移行実績	ある	21	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ない	15	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

② 障害者の虐待防止研修

問 17　貴事業では障害者の虐待防止研修を実施していますか。（○は 1 つだけ）

全体でみると、「事業所自身で実施している」が 66.7%と最も高く、次いで「外部の研修に参加している」が 25.0%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「事業所自身で実施している」が 82.4%となっており、『東京都外』（52.6%）に比べて高くなっている。

地域移行実績の有無でみると、『移行実績がある』事業所では『ない』に比べて「事業所自身で実施している」の割合が低くなっている。

		調査数	事業所（法人）自身で実施している	外部の研修に参加している	今後、実施や参加を行う予定	実施も参加もしていない	無回答
全体		36	66.7	25.0	0.0	0.0	8.3
対象者	身体障害者	7	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0
	知的障害者	31	64.5	25.8	0.0	0.0	9.7
	精神障害者	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	82.4	5.9	0.0	0.0	11.8
	東京都外	19	52.6	42.1	0.0	0.0	5.3
地域移行実績	ある	21	57.1	33.3	0.0	0.0	9.5
	ない	15	80.0	13.3	0.0	0.0	6.7

(%)

③ ニーズを把握するための取り組み

問 18　貴事業所では利用者のニーズを把握するためにどのような取り組みをしていますか。
取り組み内容をご自由にお書きください。

自由意見	24	件
利用者へのアンケートなど	11	件
利用者家族へのアンケートなど	11	件
利用者自治会の活用	8	件
第３者評価等の活用	7	件
事業所内での共有会議	6	件
相談支援事業所との情報共有	3	件
その他の事業所との情報共有	2	件

自由意見　（一部抜粋）

【利用者・利用者家族へのアンケート】

- ●本人、保護者との個別面談の実施。
- ●利用者アンケート（イベント、食事など）の実施。・日々の支援において、各々のニーズの把握と、その実現の意識づけを現場職員に教育している。
- ●利用者・家族との個別面談の設定。
- ●余暇や行事での希望を把握している。難しい人には親や家族に聞いている。

【利用者自治会の活用】

- ●利用者自治会があり、利用者が主体的に活動している。
- ●毎月利用者自治会の会議に施設長が参加している。

④ 組織と連携した取り組み（地方自治体）

問 19　貴事業では、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。（○はそれぞれに 1 つ）

全体でみると、「連携している」「ときどき連携している」は 88.9%となっている。

主な対象者別でみると、『身体障害者』では「連携している」が 71.4%と高くなっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「連携している」「ときどき連携している」は 100%となっており、『東京都外』では 79.0%となっている。

地域移行実績の有無でみると、大きな差は見られなかった。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全体		36	55.6	33.3	5.6	0.0	5.6
対象者	身体障害者	7	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0
	知的障害者	31	48.4	38.7	6.5	0.0	6.5
	精神障害者	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	52.9	47.1	0.0	0.0	0.0
	東京都外	19	57.9	21.1	10.5	0.0	10.5
地域移行実績	ある	21	57.1	33.3	4.8	0.0	4.8
	ない	15	53.3	33.3	6.7	0.0	6.7

(%)

⑤ 組織と連携した取り組み（社会福祉協議会）

問 19　貴事業では、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。（○はそれぞれに 1 つ）

全体でみると、「連携している」「ときどき連携している」は 97.2%となっている。

主な対象者別でみると、『身体障害者』では「連携している」が 71.4%と高くなっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「連携している」「ときどき連携している」は 100%となっており、『東京都外』では 94.7%となっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』事業所では「連携している」が 71.4%となっており、『実績がない』（53.3%）に比べて高くなっている。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない
全体		36	63.9	33.3	2.8	0.0
対象者	身体障害者	7	71.4	28.6	0.0	0.0
	知的障害者	31	61.3	35.5	3.2	0.0
	精神障害者	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	76.5	23.5	0.0	0.0
	東京都外	19	52.6	42.1	5.3	0.0
地域移行実績	ある	21	71.4	28.6	0.0	0.0
	ない	15	53.3	40.0	6.7	0.0

(%)

⑥ 組織と連携した取り組み（地域包括支援センター）

問 19　貴事業では、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。（○はそれぞれに 1 つ）

全体でみると、「連携している」「ときどき連携している」は 47.2%となっている。

主な対象者別でみると、『身体障害者』では「連携している」が 42.9%となっており、『知的障害者』では 19.4%、『精神障害者』では 0 %となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「連携している」「ときどき連携している」は 52.9%となっており、『東京都外』では 42.1%となっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』では「連携している」「ときどき連携している」が 61.9%に対し、『実績がない』では 26.6%となっている。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全体		36	25.0	22.2	30.6	16.7	5.6
対象者	身体障害者	7	42.9	28.6	28.6	0.0	0.0
	知的障害者	31	19.4	19.4	35.5	19.4	6.5
	精神障害者	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	17.6	35.3	29.4	17.6	0.0
	東京都外	19	31.6	10.5	31.6	15.8	10.5
地域移行実績	ある	21	33.3	28.6	23.8	14.3	0.0
	ない	15	13.3	13.3	40.0	20.0	13.3

(%)

⑦ 組織と連携した取り組み（介護福祉関連施設）

問 19　貴事業では、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。（○はそれぞれに 1 つ）

全体でみると、「連携している」「ときどき連携している」は 77.8%となっている。

主な対象者別でみると、『身体障害者』では「連携している」が 57.1%となっており、『知的障害者』では 25.8%、『精神障害者』では 100%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「連携している」は 17.6%となっており、『東京都外』では 42.1%となっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』では「連携している」が 38.1%に対し、『実績がない』では 20.0%となっている。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全体		36	30.6	47.2	16.7	0.0	5.6
対象者	身体障害者	7	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
	知的障害者	31	25.8	48.4	19.4	0.0	6.5
	精神障害者	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	17.6	64.7	17.6	0.0	0.0
	東京都外	19	42.1	31.6	15.8	0.0	10.5
地域移行実績	ある	21	38.1	38.1	23.8	0.0	0.0
	ない	15	20.0	60.0	6.7	0.0	13.3

(%)

⑧ 組織と連携した取り組み（保育所・幼稚園）

問 19　貴事業では、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。（○はそれぞれに 1 つ）

全体でみると、「連携している」「ときどき連携している」は 36.1%となっている。

主な対象者別でみると、「連携している」は『知的障害者』では 19.4%となっており、『身体障害者』『精神障害者』では０%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「連携している」は 11.8%となっており、『東京都外』では 21.1%となっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』では「連携している」が 19.0%に対し、『実績がない』では 13.3%となっている。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全体		36	16.7	19.4	41.7	16.7	5.6
対象者	身体障害者	7	0.0	42.9	42.9	0.0	14.3
	知的障害者	31	19.4	16.1	41.9	19.4	3.2
	精神障害者	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	11.8	29.4	35.3	17.6	5.9
	東京都外	19	21.1	10.5	47.4	15.8	5.3
地域移行実績	ある	21	19.0	23.8	33.3	19.0	4.8
	ない	15	13.3	13.3	53.3	13.3	6.7

(%)

⑨ 組織と連携した取り組み（小学校・中学校）

問 19　貴事業では、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。（○はそれぞれに 1 つ）

全体でみると、「連携している」「ときどき連携している」は 63.9%となっている。

主な対象者別でみると、「連携している」は『身体障害者』で 14.3%、『知的障害者』では 16.1%となっており、『精神障害者』では 0 %となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「連携している」は 5.9%となっており、『東京都外』では 26.3%となっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』では「連携している」が 23.8%に対し、『実績がない』では 6.7%となっている。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全体		36	16.7	47.2	25.0	8.3	2.8
対象者	身体障害者	7	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0
	知的障害者	31	16.1	41.9	29.0	9.7	3.2
	精神障害者	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	5.9	47.1	35.3	11.8	0.0
	東京都外	19	26.3	47.4	15.8	5.3	5.3
地域移行実績	ある	21	23.8	57.1	14.3	4.8	0.0
	ない	15	6.7	33.3	40.0	13.3	6.7

(%)

⑩ 組織と連携した取り組み（自治会・町内会）

問 19　貴事業では、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。（○はそれぞれに 1 つ）

全体でみると、「連携している」「ときどき連携している」は 83.4%となっている。

主な対象者別でみると、「連携している」は『身体障害者』では 42.9%となっており、『知的障害者』では 54.8%、『精神障害者』では 50.0%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「連携している」は 52.9%となっており、『東京都外』では 57.9%となっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』では「連携している」が 71.4%に対し、『実績がない』では 33.3%となっている。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない
全体		36	55.6	27.8	13.9	2.8 (%)
対象者	身体障害者	7	42.9	42.9	14.3	0.0
	知的障害者	31	54.8	25.8	16.1	3.2
	精神障害者	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	52.9	35.3	11.8	0.0
	東京都外	19	57.9	21.1	15.8	5.3
地域移行実績	ある	21	71.4	28.6	0.0	0.0
	ない	15	33.3	26.7	33.3	6.7

⑪ 組織と連携した取り組み（地域の民間企業）

問 19　貴事業では、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。（○はそれぞれに 1 つ）

全体でみると、「連携している」「ときどき連携している」は 36.1%となっている。

主な対象者別でみると、「連携している」は『身体障害者』では 14.3%となっており、『知的障害者』では 12.9%、『精神障害者』では 0 %となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「連携している」は 17.6%となっており、『東京都外』では 10.5%となっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』では「連携している」が 19.0%に対し、『実績がない』では 6.7%となっている。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全体		36	13.9	22.2	25.0	30.6	8.3
対象者	身体障害者	7	14.3	28.6	28.6	28.6	0.0
	知的障害者	31	12.9	19.4	25.8	32.3	9.7
	精神障害者	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	17.6	23.5	17.6	41.2	0.0
	東京都外	19	10.5	21.1	31.6	21.1	15.8
地域移行実績	ある	21	19.0	33.3	19.0	23.8	4.8
	ない	15	6.7	6.7	33.3	40.0	13.3

(%)

⑫ 組織と連携した取り組み（商店街・商工会）

問 19　貴事業では、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。（○はそれぞれに 1 つ）

全体でみると、「連携している」「ときどき連携している」は 38.9%となっている。

主な対象者別でみると、「連携している」は『身体障害者』では 0 %となっており、『知的障害者』では 25.8%、『精神障害者』では 50.0%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「連携している」は 17.6%となっており、『東京都外』では 26.3%となっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』では「連携している」が 28.6%に対し、『実績がない』では 13.3%となっている。

		調査数	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全体		36	22.2	16.7	27.8	27.8	5.6
対象者	身体障害者	7	0.0	14.3	42.9	28.6	14.3
	知的障害者	31	25.8	16.1	25.8	29.0	3.2
	精神障害者	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	17.6	17.6	17.6	41.2	5.9
	東京都外	19	26.3	15.8	36.8	15.8	5.3
地域移行実績	ある	21	28.6	23.8	23.8	19.0	4.8
	ない	15	13.3	6.7	33.3	40.0	6.7

(%)

⑬ 差別や偏見を受けたことがあるか

問 20　日々支援やサービス提供の業務をしていく上で、差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。（○は 1 つだけ）

全体でみると、「たまに感じる」が 63.9%と最も高く、次いで「ほとんど感じることはない」が 27.8%、「いつも感じる」が 5.6%となっている。

主な対象者別でみると、「身体障害者」では差別偏見を「ほとんど感じることはない」は 71.4%と高い割合となっており、「知的障害者」では「たまに感じる」が 71.0%と高い割合となっている。

所在地・地域移行実績の有無では大きな差はなかった。

		調査数	ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない
全体		36	27.8	63.9	5.6	2.8 (%)
対象者	身体障害者	7	71.4	14.3	14.3	0.0
	知的障害者	31	22.6	71.0	3.2	3.2
	精神障害者	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	23.5	70.6	0.0	5.9
	東京都外	19	31.6	57.9	10.5	0.0
地域移行実績	ある	21	23.8	66.7	4.8	4.8
	ない	15	33.3	60.0	6.7	0.0

⑭ 抱えている課題に対して実施している事

問 21　貴事業所が抱えている課題に対して、実施している取り組みがあれば
ご自由にお書きください。

自由意見	20 件
人材不足対策	12 件
利用者の高齢化対策	6 件
親亡き後の対策	5 件
地域との連携	4 件
災害・防犯対策	4 件
障害福祉に関わる事業所間連携	3 件
医療との連携	2 件

自由意見　（一部抜粋）

【人材不足対策】

- 人材確保（定着のための給与改定や環境整備。既存にとらわれない労働時間の拡大等を行い、新規職員の確保を目指している）。
- 職員の定着、育成の一環として、また適正な評価（人事考課）を目的とした評価制度の構築のため、半年間の連続研修（管理監督職対象）を、専門のコンサルを入れて実施しています。
- 慢性的な、人手不足の問題が続いていたため、外国人技能実習生の受け入れを今年度予定している。
- 人材の確保については、定期的な学校への訪問、卒業生の職員の協力をしてもらいながらの新卒職員の確保。
- 人材確保・定着・予算を多く確保し、様々な採用サイトやイベントへの参加を増やしている。若手職員のフォロー体制強化、メンター制度、カウンセラー面談等。

【利用者の高齢化対策】

- 年齢分布からも高齢・重度・虚弱化が進行している。リハビリ専門職との連携、ファシリテーション力の醸成など、虚弱化して医療ケア→退所とならないような手立てを模索中である。既に ST による見立てで、食事面の改善、PT 介入によるボディメカニクスの理解と実践など始めている。地域包括ケアのセンテンスで、介護福祉領域との連携、二度支援、地域のサロン活動（自治会館のない小さな町会への場の提供）など、福祉の種別を越えた連携を模索中。
- 高齢化に対し、プロジェクトチーム（会議）を立ち上げ、数年前より検討する場を設けている。事業所だけでは抱えきれない困難事例に対して法人内の他事業所スタッフと連携し、相互にコンサルテーションができる仕組みを法人内で整備した。

Ⅴ　ヒアリング

Ⅴ. ヒアリング

1. ヒアリングの目的

令和２年度に『第５期西東京市障害福祉計画・第１期西東京市障害児福祉計画』を見直し、令和３年度～５年度を計画期間とする第６期西東京市障害福祉計画・第２期西東京市障害児福祉計画の策定に向けて、市内の当事者団体やサービス事業者における地域ニーズの実態や、今後の対応、不足している公的支援などを把握し、西東京市における障害福祉・障害児福祉施策の現状把握のための基礎資料を作成することを目的として実施しました。

2. ヒアリング対象および方法、実施月

① 団体向けヒアリング
対象地域：西東京市内で活動している団体（当事者団体、家族会、特別支援学校 PTA）
実施期間：令和元年 11 月～令和２年１月
実施方法：グループインタビュー形式

区分	団体名
当事者団体・家族会	ぶーけ、サークル縁、でこぼこ、 西東京市保谷手をつなぐ親の会、田無手をつなぐ親の会、 西東京市精神障害者家族会　小鳩会、 西東京市障害者福祉をすすめる会、 西東京市聴覚障害者協会、保谷身体障害者福祉協会、 田無身体障害者福祉協会
特別支援学校	東京都立田無特別支援学校 PTA、 東京都立石神井特別支援学校 PTA、 東京都立大泉特別支援学校 PTA

② 事業所向けヒアリング
対象地域：西東京市内で事業を行っているサービス提供団体
実施期間：令和元年 12 月～令和２年１月
実施方法：グループインタビュー形式

区分	事業所名
在宅生活を支援するサービス （居宅介護、短期入所など）	ケアワーク北多摩、自立生活企画
昼間の生活を支援するサービス （生活介護）	生活介護事業所くろーばー、どろんこ作業所
住まいの場としてのサービス （グループホーム）	グループホーム住まいる、ミモザハウス、 ケアホーム西東京、グループホームにこっ
生活訓練のためのサービス （自立訓練）	YL ひばりが丘カレッジ事業所

区分	事業所名
就労訓練のためのサービス （就労移行支援、就労継続支援など）	ＩＯＮ第１事業所、就労移行支援事業所カノン、 西東京市障害者就労支援センター一歩、 パッソ西東京、コミュニティルーム友訪、 さくらの園、富士町作業所、 ワークステーションウーノ
相談支援に関するサービス （相談支援、計画相談支援）	西東京市障害者就労支援センター一歩、 西東京市相談支援センターえぽっく 相談支援センターさくら、ケアワーク北多摩、 相談支援事業所ポラリス、 特定相談支援事業所ワン・ストップ
地域活動支援センター	地域活動支援センター・ハーモニー、 地域活動支援センターブルーム、 西東京市保谷障害者福祉センター
児童発達支援	児童発達支援事業みらい、 こどもの発達センターひいらぎ
放課後等デイサービス	療育型児童デイサービスさざんか第１・第５、 放課後等デイサービスらぷあ田無・西東京、 Pur aile ひばりが丘、ととろクラブ・ととろキッズ

※一部は回答票の提出による。

３．　ヒアリング内容

① 団体向けヒアリング

・普段の生活における福祉サービス等の情報入手に関すること

・地域生活を行う上で、西東京市で不足している障害福祉サービスに関すること

・親亡き後を見据えて、地域生活を継続するために今後必要になる支援に関すること

② 事業所向けヒアリング

・西東京市における障害福祉サービスへのニーズの変化に関すること

・西東京市で不足している障害福祉サービスに関すること

・障害福祉サービスの質の向上に向けて、今後実施したいこと

4.　団体ヒアリング結果

①　生活に必要な情報の取得方法について

【施設・専門職を介した情報について】

・施設から家族への情報共有が得られない場合がある。
・対象者の状態像について受け取る方法は異なるため、相談支援員などのスキルアップを図ることで、より個人個人に効果的な情報をカスタマイズできる仕組みが必要。
・相談員が地域情報を把握できていないことがあり、相談員の質の向上のための取組が必要。

【学校を介した情報について】

・障害のある子どもが学校に通っているうちは学校を通じて情報を入手できている。
・市外の特別支援学校に入学すると、西東京市の情報は学校からは得られない。
・学校卒業後に他市の事業所などに通うようになった場合、西東京市の情報が得られるか不安がある。

【市が行っている情報発信について】

・障害者のしおりは具体的な内容が不足している。
・市報などは情報を探すことにかかる労力が多く、欲しい情報を検索できるようなツールが必要。
・高齢の方では市報が情報入手の主なツールとなっている。
・窓口で手話を対応できる職員を常時配置できるようにしてほしい。

②　地域で生活する上で不足している福祉サービス

【日中活動の場について】

・卒業後の生活介護、就労継続支援 B 型等の日中活動の場が不足している。

【移動支援について】

・サービスへのニーズに対して供給が大きく不足している。

【共同生活援助（グループホーム）について】

・身体障害のある人を受け入れられるグループホームが不足している。
・体験入所や、ショートステイなど、施設等での共同生活に慣れるための枠や取組が必要。

【放課後等デイサービスについて】

・量は整備されてきているが、サービスの質の面では事業者による差が大きい。
・市外の学校に通っている場合の放課後等デイサービスへの送迎の有無が懸念となっている。
・肢体不自由の障害児や医療的ケア児を受け入れられる放課後等デイサービスが不足している。

【発達障害児・医療的ケア児支援について】

・支援が必要な子どもの数やニーズは増えているが、市内で対応できる事業所が限られており、既にキャパシティを超えている。
・教育、保育施設における医療的ケア児の受け入れが進んでいない。

【相談支援について】

・基幹相談支援については、市の担当課ではなく、外部の専門機関で実施できる体制を整備したほうが良い。
・市役所に相談しても、窓口が複数課にまたがっていると、相談者側が疲弊してしまうことがあり、総合相談など窓口の一本化や柔軟な対応を市が行うことが必要。

【成人デイについて】

・成人の日中活動後の居場所について、地域活動支援センターブルームや公民館等での活動を市内に拡大してほしい。

【その他の支援】

・緊急時の一時ケアやショートステイが不足している。
・市内のボランティアを育成することで、福祉サービスでカバーできないインフォーマルサービスの体制づくりが必要。
・余暇活動に対するイベントづくりや情報発信を、市や社会福祉協議会が主となって事業者や関係団体を巻き込みながら事業を実施して、地域が取組むためのきっかけづくりを行ってほしい。

③ その他

【関係機関との連携について】

・団体間で情報を共有し、西東京市やサービス事業者などと情報共有ができる機会を設けてほしい。
・サービス事業者の連絡協議会における連携の質を向上することで、市内の事業者の底上げを図ってほしい。
・関係機関や事業者の連携については、市役所が主となって推進したほうが良い。
・インフォーマルサービスについては、社会福祉協議会と連携して推進していくと良い。
・支援学級については保護者間での連携の場が無く、市からの情報などを受けられる機会が少ない。

【団体活動について】

・会員の高齢化が進んでおり、活動維持ができなくなっている。
・市内の会議室などの確保が難しく、活動の場が少なくなっている。
・活動が停滞しており、団体として個々人の課題の把握ができなくなってきている。

【介護保険制度への移行について】

・65 歳を境に障害福祉サービスから介護保険サービスへ切り替わることとなっているが、本人の意向や生活状況を踏まえて、柔軟に対応できる仕組みや体制を検討してほしい。

【計画策定にあたって】

・生活介護や就労継続支援 B 型などの日中活動の見込み量については、特別支援学校などの情報を活用してほしい。

５．　事業所ヒアリング結果

①　地域ニーズの変化について

【共通】

・市内にマンション等が増えており、人口自体が増えている。
・市外からのニーズ（利用者）が、定員を埋めている可能性がある。
・介助者が高齢化しており、訪問系のサービスに関するニーズが増えている。

【居宅介護】

・利用者家族の意識が変わってきており、若い世代の保護者は福祉サービスを活用しながら生活を成り立たせるようになってきており、ニーズは増えてきているが、人的資源が不足しているため対応できていない。
・事業所の数が減ってきており、既存事業所へのニーズが集中している。

【生活介護】

・事業所によって定員状況に差があり、医療的ケアや重心者、強度行動障害など重度の方を受け入れている事業所ではニーズが市外からも集中している。

【共同生活援助（グループホーム）】

・数年間、問合せが多く、ニーズは増えているが、施設数は足りていない。
・介助者であった保護者が高齢化してから入所を希望するケースが増えている。
・医療的ケアの必要な利用者など、複合的な課題のある利用者が増えている。

【自立訓練】

・精神障害のある人の利用ニーズが近年は大幅に増えている。
・引きこもりへの支援や、病院等からの依頼が増えている。

【就労移行支援】

・企業側からのニーズが増えている。積極的な特別支援学校では、学校側から企業と連携して雇用に結びつけている場合もあり、移行支援を必要としないケースも増えている。
・利用者が必要としているトレーニングの内容も多様化している。

【就労継続支援 B 型】

・特別支援学校卒業者よりも中途からの通所希望者が増えており、利用ニーズが見込みづらい状況となっている。
・精神障害のある人の中途通所希望が増えているが、ケアの体制が十分に取れていない。
・利用者の高齢化に伴って、身体介護や移動支援といったニーズが増えてきている。

【相談支援】

・利用者のニーズは増えているが、事業所のバリエーションが少なく、支援計画のパターンが増やせない。
・利用者のニーズの背景が多様化しており、現状の福祉サービス体制では対応が難しい困難事例が増えている。

【児童発達支援】

・長期（週 5 日）の利用希望者が増えている。

【放課後等デイサービス】
・福祉サービスの必要性が低くても、保護者等の利用希望が高くなっている。
・長期的な利用希望が増えており、定数が埋まりやすい。
・医療的ケアが必要な子どもや、他害のある子どもを受け入れられる環境が限られている。

【地域活動支援センター】
・来所者や相談件数は増えてきている。
・障害児の相談が増えており、特に発達障害に関する相談が増えている。
・保護者等の家族の介護でケアマネジャーが家庭に入って発見されるケースが増えている。

②　西東京市で不足している障害福祉サービスや支援

【事業者の運営理念やサービス内容に関する情報提供】
・自立支援協議会を連携や情報共有の場として活用した連携等の取組。
・事業者がサービスを提供する上での理念やサービスの提供内容に関する情報提供が不足している。事業者の情報が正確に伝われば、利用者を掘り起こすことができる。
・利用希望者に対する事業所の見学会の実施など。

【地域生活を行う上での支援】
・障害福祉分野を対応してくれるヘルパーが全般的に不足している。
・日中活動の場が不足しており、事業者も限られているため選択肢が少なくミスマッチも多い。
・グループホームの利用者の中にも、地域における相談体制や支援体制が整えば、グループホームから自立して生活を行える方もいるが、地域での生活を支えるサービスや相談体制が不足している。
・自立生活援助など、グループホームを退去後の生活をフォローアップできる支援が必要。
・余暇活動や成人デイの充実が必要であり、市からの補助など制度的なサポート体制が必要。
・移動支援への細かいニーズに対応できる事業所や制度的支援が不足している。
・就労移行を念頭に置いた体験から就労までのスキームがなく、就労継続支援が長期利用者でパンクしてしまっている。

【親亡き後に対する対策】
・在宅で家族が生活援助を行っている利用者やその家族に対して、在宅のうちから施設利用を促すためのアプローチ。
・ショートステイや緊急時の受け入れ体制が必要。

【利用者からの相談に対する対応強化】
・ワンストップで対応を受けたいと考えている利用者に対して、柔軟な相談対応を行うための情報共有や連携の強化。
・利用者の相談に対して、適切な情報やサービスを提供できる事業所に、つなげるためのトリアージ機能。

【障害によるサービスの偏り】
・精神障害に対応しているヘルパーや日中活動の場が不足している。
・医療的ケアや重度の障害者を受け入れられる施設が限られており、需要に対して供給量が不足している。

【障害児・医療的ケア児等に対する支援】
・児童発達支援事業所そのものが不足している。
・療育を行う場は市内にあるが、学習支援を行える場が不足している。

・発達障害児の相談に対して、専門的な知識のあるセンター的な機能をもつ窓口が必要。
・発達障害のある人の就労に向けた体験等の活動の場が不足している。

【地域的なサービスの偏り】
・保谷地域では田無地域に比べて、施設や地域資源が不足している。

【施設環境の整備について】
・防犯カメラなどの防犯、防災体制に関する設備補助が不足している。
・新規施設整備に関して、物件調査に関する費用が高負担となっており、施設整備の妨げとなっている。
・送迎に関する車両やドライバーの確保に関する支援。

③　サービスの質の向上に向けて取組みたいこと

【事業所間での情報共有や連携】
・市内の障害福祉事業者が全体で地域の課題や情報を共有し、市役所や市内の関係機関と調整を行うための仕組みづくり。
・障害種別に関わらず、他の事業所と連携、協力できる体制づくり。
・利用者の成長や加齢に伴う環境の変化に対して、切れ目のない支援体制の構築に向けた連携体制や方法の検討。
・発達障害や高次脳機能障害など、専門性の高いニーズに対する支援方法等の共有。
・防災や災害時の避難対応については、事業所単独での対応だけでなく、事業所間で連携できる体制を整えていくこと。

【人材の確保・育成】
・若い世代の確保が難しく、高齢層の新規人材が多く、モチベーションの維持に関する動機付け。
・利用者の高齢化や医療的ケア、高次脳機能障害などの課題に対応するための職員のスキルアップや介護人材の確保。
・事業所や法人の垣根を超えた市内での合同研修の実施。
・地域からの見学を積極的に受け入れ、障害福祉の世界を知ってもらうための機会を増やす。
・地域の保護者に対するペアレント・トレーニング等の研修。

【親亡き後への対策】
・利用者、介助者の高齢化に伴うサービス提供体制の強化。
・民生委員などの地域にいる活動組織との連携強化。

【利用調整に関すること】
・施設の空き状況や緊急時の受け入れについて、事業所単独ではなく、市役所などが集約して情報提供できる仕組みづくり。
・利用者の高齢化に対する改善を事業所が個別に解決するのは難しく、事業所間で課題を共有することで、高齢化した利用者へのサービス提供体制を検討する必要がある。

【送迎に関すること】
・放課後等デイサービスでは送迎にかかる負担が大きく、この負担を軽減することでサービスの向上にかけられる時間や資源を増やすことができる。

④ その他

・小学校の体育館など、バリアフリー化を進めることで、障害のある人がスポーツや余暇活動を楽しめる環境整備を市全体で取組んでほしい。
・計画書を作成する際に、第５期計画の目標に対する実績の整理を行うとともに、結果に対する分析等を次の計画には明記してほしい。
・モニタリングなど、事業所内での文書作成負担が増えており、主たる事業以外での活動（連携や情報共有）を行う余裕が無くなってきている。

Ⅵ　資料編

あなたの声をお聞かせください

西東京市の福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第６期西東京市障害福祉計画・第２期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 10 月

西東京市長　　丸山　浩一

記入にあたってのお願い

- ○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。なお、ご本人の回答や意思が反映できない場合は、無回答のまま次の設問にお進みください。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ 令和元年 **10月1日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。

また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。

- ○ 記入された調査票は、令和元年 **10 月 27 日（日）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市役所　健康福祉部　障害福祉課　障害者支援係（保谷庁舎）
担当：林
電話：０４２－４６４－１３１１（代表）　内線２２７１
０４２－４３８－４０３３（直通）

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1. 宛名シールの本人
2. 宛名シールの本人の回答を聞いた代理の方
3. 家族（本人の立場に立って記入）
4. 施設や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5. その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和元年 10 月 1 日現在）

【○は１つだけ】

1. 18～19 歳	5. 50～59 歳
2. 20～29 歳	6. 60～64 歳
3. 30～39 歳	7. 65～69 歳
4. 40～49 歳	8. 70 歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1. 持ち家（分譲マンションを含む）	4. 福祉施設（障害者・高齢者支援施設）
2. 賃貸住宅（アパート・マンション・借家）	5. 病院（入院している）
3. グループホーム、福祉ホーム	6. その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1. 全体がバリアフリー化されている	3. バリアフリー化が全くされていない
2. 一部がバリアフリー化されている	4. わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

１．ひとり暮らしをしている ⇒ 問７へ	７．祖父
２．配偶者（夫、妻）・パートナー	８．祖母
３．子ども	９．兄弟・姉妹
４．子どもの配偶者・パートナー	１０．親戚
５．父親	１１．福祉施設の職員や仲間
６．母親	１２．その他（　　）

【問６は問５で「１．ひとり暮らしをしている」“以外”に回答した方にお聞きします。】

問６　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65 歳以上の高齢者がいる	３．妊婦や小学生以下の子どもがいる
２．障害者手帳所持者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
	５．あてはまらない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問７　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．配偶者（夫、妻）・パートナー	７．兄弟・姉妹
２．子ども	８．親戚
３．子どもの配偶者・パートナー	９．近所の友人や知人
４．父親	１０．ホームヘルパーなどのサービス事業者
５．母親	１１．特に介助・支援を必要としない
６．祖父母	１２．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．19 歳以下	５．70 歳代
２．20～39 歳	６．80 歳以上
３．40～59 歳	７．わからない
４．60 歳代	

問９　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

ゆとりがある	まあまあ ゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい
1	2	3	4

障害について

問 10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている
６．高次脳機能障害と診断されたことがある
７．発達障害と診断されたことがある
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている
９．どれにもあてはまらない

【問 11～12 は問 10 で「1．身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。】

問 11　身体障害者手帳に記載されている障害名をお答えください。
また、記載されている障害の程度（等級）についてもお答えください。

【○はいくつでも】

障害の内容
1．視覚障害　→（ 1級・2級・3級・4級・5級・6級 ）
2．聴覚障害　→（ 2級・3級・4級・6級 ）
3．平衡機能障害　→（ 3級・5級 ）
4．音声機能・言語機能・そしゃく機能障害　→（ 3級・4級 ）
5．肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害） →（ 1級・2級・3級・4級・5級・6級 ）
6．肢体不自由（体幹機能障害）　→（ 1級・2級・3級・5級 ）
7．内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害） →（ 1級・3級・4級 ）
8．内部障害（免疫、肝臓の機能の障害）　→（ 1級・2級・3級・4級 ）
9．わからない

問 12　障害や疾病などがあることに気がついたのは、何歳の頃でしたか。

【○は1つだけ】

1．0～9歳	5．50～60歳代
2．10歳代	6．70歳以上
3．20歳代	7．わからない
4．30～40歳代	

【問 13 は問 10 で「8．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答した方にお聞きします。】

問 13　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．注射・点滴	8．ネブライザー使用
2．自己注射	9．膀胱カテーテル
3．リハビリテーション	10．自己導尿
4．経管栄養	11．人工透析
5．気管切開（それに伴う処置）	12．酸素吸入器
6．褥瘡処置	13．人工呼吸器装着
7．吸引器使用	14．その他（　　）
	15．特にない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 14　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は1つだけ】

1．要支援1	5．要介護3
2．要支援2	6．要介護4
3．要介護1	7．要介護5
4．要介護2	8．受けていない、または非該当
	9．わからない

問 15　あなたはこの1年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は1つだけ】

ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない
1	2	3	4

【問 16 は問 15 で「2．たまに感じる」「3．いつも感じる」と回答した方にお聞きします。】

問 16　この 1 年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

1．学校や職場	5．スーパーやレストラン
2．市役所などの公的機関	6．バスや電車などの交通機関
3．病院などの医療機関	7．面接などの就職活動の場
4．福祉サービス事業所	8．余暇活動の場
	9．その他（　　）

日常生活について

問 17　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ 1 つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問 18　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15 時）と夕方（15～18 時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。

※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15 時）	【夕方を過ごす場所】（15～18 時）
【選択肢】 ○は 1 つだけ	1．自宅	1．自宅
	2．学校や職場	2．学校や職場
	3．福祉施設	3．福祉施設
	4．親族や親戚の家	4．親族や親戚の家
	5．友人や知人の家	5．友人や知人の家
	6．地域の公共施設など	6．地域の公共施設など
	7．特に決まっていない	7．特に決まっていない

問 19　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は 1 つだけ】

週に 5 日以上	週に 3～4 日	週に 1～2 日	月に 2～3 日	ほとんど外出しない
1	2	3	4	5

【問 20 は問 19 で「5．ほとんど外出しない」以外に回答した方にお聞きします。】

問 20　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は 1 つだけ】

1．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない

2．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要

3．どこへ外出するにも支援が必要

4．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 21　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	
2．他人との会話が難しい	
3．視線が気になる	
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	
7．バリアフリーの建物が少ない	
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）	
10．電車やバスなどの交通機関が利用しづらい	
11．障害者用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）	
12．その他（　　）	
13．特にない	

問 22　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は 1 つだけ】

ある	ない	どちらともいえない
1	2	3

【問 23 は問 22 で「1．ある」と回答した方にお聞きします。】

問 23　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと	6．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
2．絵画や工作などの美術活動	7．近所へ出かけること
3．演奏や歌などの音楽活動	8．旅行
4．仕事や家事の手伝い	9．買い物
5．友人や知人との遊び	10．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 24　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	3．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
2．障害のある人と一緒に楽しめる活動	4．その他（　　）
	5．特に参加したいと思わない

就労について

問 25　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

1．仕事をしている	2．仕事をしていない ⇒ 問 29 へ

【問 26～28 は問 25 で「1．仕事をしている」と回答した方にお聞きします。】

問 26　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は 1 つだけ】

1．自営業（家業の手伝いを含む）	4．自宅での内職
2．会社・団体などの正規職員	5．福祉作業所
3．パート・アルバイトなどの非正規職員	6．その他（　　）

問 27　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

1．ハローワーク	5．家族や親戚
2．障害者就労支援センター「一歩」	6．友人や知人
3．就労移行支援事業所	7．その他（　　）
4．学校	8．特に支援やサポートは受けていない

問 28　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．給与や工賃などの収入が少ない	6．職場の設備が障害に対応していない
2．勤務時間・日数の負荷が大きい	7．職場の人の障害に対する理解が不足
3．通勤の負担が大きい	8．職場での悩みを相談できるところがない
4．職務内容が自分に合わない	9．その他（　　）
5．職場の人間関係が難しい	10．特に困っていることはない

【問 29 は問 25 で「２．仕事をしていない」と回答した方にお聞きします。】

問 29　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は１つだけ】

１．仕事をする必要がない（高齢、学生、専業主婦などのため）
２．求職中、もしくは職業訓練中である
３．仕事をしたいと思わない
４．仕事をしたいと思うが、できない
５．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 30　今後の就労意向についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
２．すぐに（継続して）パートなどで働きたい
３．すぐに（継続して）福祉作業所などで働きたい
４．１年以内に何らかの形で働きたい
５．いずれ働くことを考えている
６．働くことは考えていない

問 31　障害のある人が働くために必要なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．障害のある人が就職や転職についての悩みを相談する窓口
２．障害のある人を雇用したい事業者の求人情報
３．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
４．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
５．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
６．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
７．障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
８．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
９．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
１０．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
１１．その他（　　）
１２．わからない

相談支援や情報入手について

問 32　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

頻繁に相談している	必要に応じて相談している	あまり相談していない	相談したことがない
1	2	3	4

問 33　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の相談窓口
２．市役所以外の障害福祉の相談窓口
３．福祉施設や作業所の職員
４．職場や学校
５．病院や診療所
６．児童相談所
７．介護福祉施設の職員やケアマネジャー
８．幼稚園や保育所の先生
９．民生委員・児童委員
１０．社会福祉協議会の職員
１１．障害者団体
１２．友人や知人
１３．その他（　　）
１４．相談できる人や場所は特にいない

問 34　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．自分の健康や障害に関すること
２．家族との関係に関すること
３．仕事や職場の人間関係に関すること
４．友人や仲間に関すること
５．自分の今後の生活や将来に関すること
６．経済的なこと
７．障害や介護サービスに関すること
８．虐待や差別に関すること
９．その他（　　）
１０．特にない

問 35　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	1	②	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地 域 情 報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社 会 情 勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣 味 や 娯 楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災 害 や 避 難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問 36　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

１．障害者のしおり（市が作成した冊子）	１０．病院や診療所
２．市の広報紙	１１．図書館の障害者向けサービス
３．市のホームページや SNS	１２．民生委員･児童委員
４．都の広報紙やホームページ	１３．自治会や町内会の回覧板
５．その他の広報紙やインターネット、SNS	１４．市内にある掲示板
６．テレビ･ラジオ･新聞のニュース	１５．家族や親戚
７．障害者団体	１６．友人や知人
８．職場や学校	１７．その他（　　）
９．障害福祉施設	１８．特にない

問 37　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．点字、音声の出版物が少ない	６．周囲との意思疎通がとりづらい
２．公的な場での音声案内が不足している	７．困っていることを周りに伝えられない
３．手話や要約筆記ができる人が少ない	８．緊急時や災害時の情報が入りにくい
４．公共施設の案内表示がわからない	９．郵便物の重要度がわからない
５．インターネットが利用しにくい	１０．その他（　　）
	１１．特にない

問 38　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

１．対面での会話	６．点字
２．電話やテレビ電話を使った会話	７．手話
３．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	８．家族や介助者を介した伝言
４．インターネットや携帯などの電子メール	９．その他（　　）
５．SNS	１０．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問 39　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことがない	知らない
1	2	3

問 40　あなたは、西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問 41　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加した ことがある	知っているが 利用・参加した ことはない	知らない 利用・参加した ことがない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ 障害者水泳教室	1	2	3
⑤ ENJOY ニュースポーツ	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある人へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
障害者水泳教室	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOY ニュースポーツ	市内在住・在勤・在学の小学生から高齢者まで、障害のある人もない人も、気軽に参加し一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろな軽スポーツを行います。

問 42　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援など
２．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
３．自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
４．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
５．就労継続支援（A 型・B 型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
６．就労定着支援	福祉サービスを利用して、一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
７．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
８．短期入所（ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害者（児）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
９．グループホーム	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

◆サービスについて、困っていることや改善してほしい点などをご自由にご記入ください。

問 43　あなたの日々の暮らしに、福祉サービスの利用は必要ですか。

【○は１つだけ】

１．必要である	３．必要ない
２．今は必要ないが、いずれ必要になる	

【問 44 は問 43 で「１．必要である」と回答した方にお聞きします。】

問 44　あなたは、生活に必要な福祉サービスを十分に利用できていますか。

【○は１つだけ】

利用できている	まあまあ 利用できている	あまり 利用できていない	利用できていない
1	2	3	4

【問 45 は問 44 で「３．あまり利用できていない」「４．利用できていない」と回答した方にお聞きします。】

問 45　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自己負担が大きい	５．市内に利用したい事業所がない
２．定員がいっぱいで利用できない	６．自分に適したサービスがわからない
３．通うのが大変	７．サービスの利用方法がわからない
４．利用したい時間や時期と合わない	８．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 46　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。

【○はいくつでも】

１．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
２．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
３．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
４．施設に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
５．施設や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス
６．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
７．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
８．その他（　　）
９．わからない

問 47　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

１．ひとり暮らしがしたい
２．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
３．自宅で訪問や通いの福祉サービスを活用しながら暮らしたい
４．グループホームで暮らしたい
５．施設に入所して暮らしたい
６．わからない

問 48　問 47 で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

１．同居している家族や親戚	４．弁護士や後見人
２．別居している家族や親戚	５．福祉施設の職員や相談員
３．友人や知人	６．その他（　　）
	７．いない

問 49　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．避難所の場所がわからない	５．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
２．災害や避難の情報の入手方法がわからない	６．障害の特性上、避難所にいることが困難
３．避難時に介助してくれる人がいない	７．避難所での他人とのコミュニケーション
４．助けを呼ぶための手段がない	８．その他（　　）
	９．特にない

西東京市について

問 50　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問 51　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

１．ある　　２．ない

【問 52 は問 51 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。】

問 52　その場所を具体的にお答えください。

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 53　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、お答えください。

【○はいくつでも】

１．障害福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること
２．障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること
３．市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること
４．障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと
５．一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること
６．障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること
７．障害のある人が働くための機会を創出すること
８．障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること
９．障害のある人が利用しやすい民間の施設やお店が増えること
１０．障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること
１１．障害のある人が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること
１２．家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること
１３．地域のボランティア活動を充実させること
１４．その他（　　）
１５．不足していることはない

問 54　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～　質問は以上です。ご協力ありがとうございました。　～

あなたの声をお聞かせください

西東京市の福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第６期西東京市障害福祉計画・第2期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年10月

西東京市長　丸山　浩一

記入にあたってのお願い

- ○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。なお、ご本人の回答や意思が反映できない場合は、無回答のまま次の設問にお進みください。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ 令和元年**10月1日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、令和元年**10月27日（日）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。

【このアンケート調査についての問い合わせ先】

西東京市役所　健康福祉部　障害福祉課　障害者支援係（保谷庁舎）
担当：林
電話：０４２－４６４－１３１１（代表）　内線２２７１
０４２－４３８－４０３３（直通）

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1．宛名シールの本人
2．宛名シールの本人の回答を聞いた代理の方
3．家族（本人の立場に立って記入）
4．施設や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5．その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和元年10月1日現在）

【○は１つだけ】

1．18～19歳	5．50～59歳
2．20～29歳	6．60～64歳
3．30～39歳	7．65～69歳
4．40～49歳	8．70歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1．持ち家（分譲マンションを含む）	4．福祉施設（障害者・高齢者支援施設）
2．賃貸住宅（アパート・マンション・借家）	5．病院（入院している）
3．グループホーム、福祉ホーム	6．その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1．全体がバリアフリー化されている	3．バリアフリー化が全くされていない
2．一部がバリアフリー化されている	4．わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

１．ひとり暮らしをしている ⇒ 問７へ	７．祖父
２．配偶者（夫、妻）・パートナー	８．祖母
３．子ども	９．兄弟・姉妹
４．子どもの配偶者・パートナー	１０．親戚
５．父親	１１．福祉施設の職員や仲間
６．母親	１２．その他（　　）

【問６は問５で「１．ひとり暮らしをしている」“以外”に回答した方にお聞きします。】

問６　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65歳以上の高齢者がいる	３．妊婦や小学生以下の子どもがいる
２．障害者手帳所持者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
	５．あてはまらない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問７　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．配偶者（夫、妻）・パートナー	７．兄弟・姉妹
２．子ども	８．親戚
３．子どもの配偶者・パートナー	９．近所の友人や知人
４．父親	１０．ホームヘルパーなどのサービス事業者
５．母親	１１．特に介助・支援を必要としない
６．祖父母	１２．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。

※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．19歳以下	５．70歳代
２．20～39歳	６．80歳以上
３．40～59歳	７．わからない
４．60歳代	

問９　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

ゆとりがある	まあまあゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい
1	2	3	4

障害について

問10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている
６．高次脳機能障害と診断されたことがある
７．発達障害と診断されたことがある
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている
９．どれにもあてはまらない

【問11～12は問10で「２．愛の手帳（療育手帳）を持っている」と回答した方にお聞きします。】

問11　愛の手帳（療育手帳）に記載されている障害の程度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．１度	３．３度
２．２度	４．４度
	５．わからない

問12　障害や疾病などがあることに気がついたのは何歳の頃でしたか。

【○は１つだけ】

１．０～９歳	５．50～60歳代
２．10歳代	６．70歳以上
３．20歳代	７．わからない
４．30～40歳代	

【問13 は問10 で「8．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答した方にお聞きします。】

問13　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．注射・点滴	8．ネブライザー使用
2．自己注射	9．膀胱カテーテル
3．リハビリテーション	10．自己導尿
4．経管栄養	11．人工透析
5．気管切開（それに伴う処置）	12．酸素吸入器
6．褥瘡処置	13．人工呼吸器装着
7．吸引器使用	14．その他（　　）
	15．特にない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問14　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は１つだけ】

1．要支援１	5．要介護３
2．要支援２	6．要介護４
3．要介護１	7．要介護５
4．要介護２	8．受けていない、または非該当
	9．わからない

問15　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない
1	2	3	4

【問16 は問15 で「2．たまに感じる」「3．いつも感じる」と回答した方にお聞きします。】

問16　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

1．学校や職場	5．スーパーやレストラン
2．市役所などの公的機関	6．バスや電車などの交通機関
3．病院などの医療機関	7．面接などの就職活動の場
4．福祉サービス事業所	8．余暇活動の場
	9．その他（　　）

日常生活について

問17　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ１つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問18　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15時）と夕方（15～18時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。
※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15時）	【夕方を過ごす場所】（15～18時）
【選択肢】 ○は１つだけ	１．自宅	１．自宅
	２．学校や職場	２．学校や職場
	３．福祉施設	３．福祉施設
	４．親族や親戚の家	４．親族や親戚の家
	５．友人や知人の家	５．友人や知人の家
	６．地域の公共施設など	６．地域の公共施設など
	７．特に決まっていない	７．特に決まっていない

問19　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は１つだけ】

週に５日以上	週に３～４日	週に１～２日	月に２～３日	ほとんど外出しない
1	2	3	4	5

【問20は問19で「５．ほとんど外出しない」以外に回答した方にお聞きします。】

問20　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
２．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
３．どこへ外出するにも支援が必要
４．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問21　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない
２．他人との会話が難しい
３．視線が気になる
４．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安
５．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い
６．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい
７．バリアフリーの建物が少ない
８．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない
９．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）
１０．電車やバスなどの交通機関が利用しづらい
１１．障害者用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）
１２．その他（　　）
１３．特にない

問22　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は１つだけ】

ある	ない	どちらともいえない
1	2	3

【問23は問22で「１．ある」と回答した方にお聞きします。】

問23　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

１．スポーツやダンスなど体を動かすこと
２．絵画や工作などの美術活動
３．演奏や歌などの音楽活動
４．仕事や家事の手伝い
５．友人や知人との遊び
６．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
７．近所へ出かけること
８．旅行
９．買い物
１０．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問24　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	3．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
2．障害のある人と一緒に楽しめる活動	4．その他（　　）
	5．特に参加したいと思わない

就労について

問25　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

1．仕事をしている	2．仕事をしていない ⇒ 問29へ

【問26～28は問25で「1．仕事をしている」と回答した方にお聞きします。】

問26　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は1つだけ】

1．自営業（家業の手伝いを含む）	4．自宅での内職
2．会社・団体などの正規職員	5．福祉作業所
3．パート・アルバイトなどの非正規職員	6．その他（　　）

問27　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

1．ハローワーク	5．家族や親戚
2．障害者就労支援センター「一歩」	6．友人や知人
3．就労移行支援事業所	7．その他（　　）
4．学校	8．特に支援やサポートは受けていない

問28　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．給与や工賃などの収入が少ない	6．職場の設備が障害に対応していない
2．勤務時間・日数の負荷が大きい	7．職場の人の障害に対する理解が不足
3．通勤の負担が大きい	8．職場での悩みを相談できるところがない
4．職務内容が自分に合わない	9．その他（　　）
5．職場の人間関係が難しい	10．特に困っていることはない

【問29は問25で「2．仕事をしていない」と回答した方にお聞きします。】

問29　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は1つだけ】

1．仕事をする必要がない（高齢、学生、専業主婦などのため）
2．求職中、もしくは職業訓練中である
3．仕事をしたいと思わない
4．仕事をしたいと思うが、できない
5．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問30　今後の就労意向についてお答えください。

【○は1つだけ】

1．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
2．すぐに（継続して）パートなどで働きたい
3．すぐに（継続して）福祉作業所などで働きたい
4．1年以内に何らかの形で働きたい
5．いずれ働くことを考えている
6．働くことは考えていない

問31　障害のある人が働くために必要なことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．障害のある人が就職や転職についての悩みを相談する窓口
2．障害のある人を雇用したい事業者の求人情報
3．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
4．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
5．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
6．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
7．障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
8．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
9．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
10．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
11．その他（　　）
12．わからない

相談支援や情報入手について

問32　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

頻繁に相談している	必要に応じて相談している	あまり相談していない	相談したことがない
1	2	3	4

問33　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

1．市役所の相談窓口
2．市役所以外の障害福祉の相談窓口
3．福祉施設や作業所の職員
4．職場や学校
5．病院や診療所
6．児童相談所
7．介護福祉施設の職員やケアマネジャー
8．幼稚園や保育所の先生
9．民生委員・児童委員
10．社会福祉協議会の職員
11．障害者団体
12．友人や知人
13．その他（　　）
14．相談できる人や場所は特にいない

問34　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．自分の健康や障害に関すること
2．家族との関係に関すること
3．仕事や職場の人間関係に関すること
4．友人や仲間に関すること
5．自分の今後の生活や将来に関すること
6．経済的なこと
7．障害や介護サービスに関すること
8．虐待や差別に関すること
9．その他（　　）
10．特にない

問35　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	1	②	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣味や娯楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問36　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

1．障害者のしおり（市が作成した冊子）	10．病院や診療所
2．市の広報紙	11．図書館の障害者向けサービス
3．市のホームページや SNS	12．民生委員・児童委員
4．都の広報紙やホームページ	13．自治会や町内会の回覧板
5．その他の広報紙やインターネット、SNS	14．市内にある掲示板
6．テレビ・ラジオ・新聞のニュース	15．家族や親戚
7．障害者団体	16．友人や知人
8．職場や学校	17．その他（　　）
9．障害福祉施設	18．特にない

問37　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．点字、音声の出版物が少ない	6．周囲との意思疎通がとりづらい
2．公的な場での音声案内が不足している	7．困っていることを周りに伝えられない
3．手話や要約筆記ができる人が少ない	8．緊急時や災害時の情報が入りにくい
4．公共施設の案内表示がわからない	9．郵便物の重要度がわからない
5．インターネットが利用しにくい	10．その他（　　）
	11．特にない

問38　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

1．対面での会話	6．点字
2．電話やテレビ電話を使った会話	7．手話
3．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	8．家族や介助者を介した伝言
4．インターネットや携帯などの電子メール	9．その他（　　）
5．SNS	10．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問39　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことがない	知らない
1	2	3

問40　あなたは、西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 相談支援センター「えぼっく」	①	2	3
① 相談支援センター「えぼっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問41　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加したことがある	知っているが 利用・参加したことはない	知らない 利用・参加したことがない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ 障害者水泳教室	1	2	3
⑤ ENJOY ニュースポーツ	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある人へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
障害者水泳教室	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOY ニュースポーツ	市内在住・在勤・在学の小学生から高齢者まで、障害のある人もない人も、気軽に参加し一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろな軽スポーツを行います。

問42　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援など
２．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
３．自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
４．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
５．就労継続支援（A型・B型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
６．就労定着支援	福祉サービスを利用して一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
７．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
８．短期入所（ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害者（児）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
９．グループホーム	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

◆サービスについて、困っていることや改善してほしい点などをご自由にご記入ください。

問43　あなたの日々の暮らしに、福祉サービスの利用は必要ですか。

【○は１つだけ】

1．必要である	3．必要ない
2．今は必要ないが、いずれ必要になる	

【問44 は問43 で「1．必要である」と回答した方にお聞きします。】

問44　あなたは、生活に必要な福祉サービスを十分に利用できていますか。

【○は１つだけ】

利用できている	まあまあ利用できている	あまり利用できていない	利用できていない
1	2	3	4

【問45 は問44 で「3．あまり利用できていない」「4．利用できていない」と回答した方にお聞きします。】

問45　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．自己負担が大きい	5．市内に利用したい事業所がない
2．定員がいっぱいで利用できない	6．自分に適したサービスがわからない
3．通うのが大変	7．サービスの利用方法がわからない
4．利用したい時間や時期と合わない	8．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問46　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
2．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
3．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
4．施設に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
5．施設や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス
6．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
7．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
8．その他（　　）
9．わからない

問47　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

1．ひとり暮らしがしたい
2．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
3．自宅で訪問や通いの福祉サービスを活用しながら暮らしたい
4．グループホームで暮らしたい
5．施設に入所して暮らしたい
6．わからない

問48　問47 で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

1．同居している家族や親戚	4．弁護士や後見人
2．別居している家族や親戚	5．福祉施設の職員や相談員
3．友人や知人	6．その他（　　）
	7．いない

問49　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

1．避難所の場所がわからない	5．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
2．災害や避難の情報の入手方法がわからない	6．障害の特性上、避難所にいることが困難
3．避難時に介助してくれる人がいない	7．避難所での他人とのコミュニケーション
4．助けを呼ぶための手段がない	8．その他（　　）
	9．特にない

西東京市について

問50　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問51　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

１．ある　　２．ない

【問52 は問51 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。】

問52　その場所を具体的にお答えください。

【改めて全ての方にお聞きします。】

問53　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、お答えください。

【○はいくつでも】

１．障害福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること
２．障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること
３．市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること
４．障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと
５．一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること
６．障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること
７．障害のある人が働くための機会を創出すること
８．障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること
９．障害のある人が利用しやすい民間の施設やお店が増えること
１０．障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること
１１．障害のある人が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること
１２．家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること
１３．地域のボランティア活動を充実させること
１４．その他（　　）
１５．不足していることはない

問54　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ～

あなたの声をお聞かせください

西東京市の福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第６期西東京市障害福祉計画・第２期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 10 月

西東京市長　　丸山　浩一

記入にあたってのお願い

- ○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。なお、ご本人の回答や意思が反映できない場合は、無回答のまま次の設問にお進みください。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ 令和元年 **10 月 1 日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、令和元年 **10 月 27 日（日）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市役所　健康福祉部　障害福祉課　障害者支援係（保谷庁舎）
担当：林
電話：０４２－４６４－１３１１（代表）　内線２２７１
０４２－４３８－４０３３（直通）

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1. 宛名シールの本人
2. 宛名シールの本人の回答を聞いた代理の方
3. 家族（本人の立場に立って記入）
4. 施設や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5. その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和元年 10 月 1 日現在）

【○は１つだけ】

1. 18～19 歳
2. 20～29 歳
3. 30～39 歳
4. 40～49 歳
5. 50～59 歳
6. 60～64 歳
7. 65～69 歳
8. 70 歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1. 持ち家（分譲マンションを含む）
2. 賃貸住宅（アパート・マンション・借家）
3. グループホーム、福祉ホーム
4. 福祉施設（障害者・高齢者支援施設）
5. 病院（入院している）
6. その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1. 全体がバリアフリー化されている
2. 一部がバリアフリー化されている
3. バリアフリー化が全くされていない
4. わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

１．ひとり暮らしをしている ⇒ 問７へ	７．祖父
２．配偶者（夫、妻）・パートナー	８．祖母
３．子ども	９．兄弟・姉妹
４．子どもの配偶者・パートナー	１０．親戚
５．父親	１１．福祉施設の職員や仲間
６．母親	１２．その他（　　）

【問６は問５で「１．ひとり暮らしをしている」“以外”に回答した方にお聞きします。】

問６　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65 歳以上の高齢者がいる	３．妊婦や小学生以下の子どもがいる
２．障害者手帳所持者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
	５．あてはまらない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問７　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．配偶者（夫、妻）・パートナー	７．兄弟・姉妹
２．子ども	８．親戚
３．子どもの配偶者・パートナー	９．近所の友人や知人
４．父親	１０．ホームヘルパーなどのサービス事業者
５．母親	１１．特に介助・支援を必要としない
６．祖父母	１２．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．19 歳以下	５．70 歳代
２．20～39 歳	６．80 歳以上
３．40～59 歳	７．わからない
４．60 歳代	

問９　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

ゆとりがある	まあまあゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい
1	2	3	4

障害について

問 10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている
６．高次脳機能障害と診断されたことがある
７．発達障害と診断されたことがある
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている
９．どれにもあてはまらない

【問 11～15 は問 10 で「３．精神障害者保健福祉手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。】

問 11　精神障害者保健福祉手帳に記載されている障害の程度（等級）をお答えください。

【○は１つだけ】

１．１級	３．３級
２．２級	４．わからない

問 12　体調の変化があることに気がついたのは、何歳の頃でしたか。

【○は１つだけ】

１．0～９歳	５．50～60 歳代
２．10 歳代	６．70 歳以上
３．20 歳代	７．わからない
４．30～40 歳代	

問 13　体調の変化に気がついてから、どれくらいで医療機関を受診しましたか。

【○は１つだけ】

１．１か月以内	４．１～５年以内
２．１～６か月以内	５．５年以上たってから
３．６か月～１年以内	６．医療機関に行ったことがない

問 14　この１年間で、精神的な不調のために通っている医療機関への通院頻度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．週に１回くらい	５．３か月に１回くらい
２．２週に１回くらい	６．６か月に１回くらい
３．月に１回くらい	７．具合が悪くなったときだけ
４．２か月に１回くらい	８．その他（　　）
	９．特に病院に行っていない

問 15　通院の際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．予定日の当日に体調不良で通院できない	６．仕事を休みづらい（休めない）
２．経済的な負担が大きい	７．主治医との意思疎通がとりづらい
３．病院までの移動が困難	８．病院を変えたいが相談できない
４．同伴者がいない	９．その他（　　）
５．介助者の負担が大きい	１０．特にない

【問 16 は問 10 で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答した方にお聞きします。】

問 16　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．注射･点滴	８．ネブライザー使用
２．自己注射	９．膀胱カテーテル
３．リハビリテーション	１０．自己導尿
４．経管栄養	１１．人工透析
５．気管切開（それに伴う処置）	１２．酸素吸入器
６．褥瘡処置	１３．人工呼吸器装着
７．吸引器使用	１４．その他（　　）
	１５．特にない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 17　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．要支援１	５．要介護３
２．要支援２	６．要介護４
３．要介護１	７．要介護５
４．要介護２	８．受けていない、または非該当
	９．わからない

問 18　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない
1	2	3	4

【問 19 は問 18 で「2．たまに感じる」「3．いつも感じる」と回答した方にお聞きします。】

問 19　この 1 年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

1．学校や職場	5．スーパーやレストラン
2．市役所などの公的機関	6．バスや電車などの交通機関
3．病院などの医療機関	7．面接などの就職活動の場
4．福祉サービス事業所	8．余暇活動の場
	9．その他（　　）

日常生活について

問 20　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ 1 つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問 21　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15 時）と夕方（15～18 時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。
※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15 時）	【夕方を過ごす場所】（15～18 時）
【選択肢】 ○は 1 つだけ	1．自宅	1．自宅
	2．学校や職場	2．学校や職場
	3．福祉施設	3．福祉施設
	4．親族や親戚の家	4．親族や親戚の家
	5．友人や知人の家	5．友人や知人の家
	6．地域の公共施設など	6．地域の公共施設など
	7．特に決まっていない	7．特に決まっていない

問 22　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は 1 つだけ】

週に 5 日以上	週に 3～4 日	週に 1～2 日	月に 2～3 日	ほとんど外出しない
1	2	3	4	5

【問 23 は問 22 で「5．ほとんど外出しない」以外に回答した方にお聞きします。】

問 23　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は 1 つだけ】

1．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
2．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
3．どこへ外出するにも支援が必要
4．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 24　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない
2．他人との会話が難しい
3．視線が気になる
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい
7．バリアフリーの建物が少ない
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）
10．電車やバスなどの交通機関が利用しづらい
11．障害者用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）
12．その他（　　）
13．特にない

問 25　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は１つだけ】

ある	ない	どちらともいえない
1	2	3

【問 26 は問 25 で「1．ある」と回答した方にお聞きします。】

問 26　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと
2．絵画や工作などの美術活動
3．演奏や歌などの音楽活動
4．仕事や家事の手伝い
5．友人や知人との遊び
6．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
7．近所へ出かけること
8．旅行
9．買い物
10．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 27　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動
2．障害のある人と一緒に楽しめる活動
3．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
4．その他（　　）
5．特に参加したいと思わない

就労について

問 28　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

1．仕事をしている　　2．仕事をしていない ⇒ 問 32 へ

【問 29～31 は問 28 で「1．仕事をしている」と回答した方にお聞きします。】

問 29　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は１つだけ】

1．自営業（家業の手伝いを含む）
2．会社・団体などの正規職員
3．パート・アルバイトなどの非正規職員
4．自宅での内職
5．福祉作業所
6．その他（　　）

問 30　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

1．ハローワーク
2．障害者就労支援センター「一歩」
3．就労移行支援事業所
4．学校
5．家族や親戚
6．友人や知人
7．その他（　　）
8．特に支援やサポートは受けていない

問 31　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．給与や工賃などの収入が少ない
2．勤務時間・日数の負荷が大きい
3．通勤の負担が大きい
4．職務内容が自分に合わない
5．職場の人間関係が難しい
6．職場の設備が障害に対応していない
7．職場の人の障害に対する理解が不足
8．職場での悩みを相談できるところがない
9．その他（　　）
10．特に困っていることはない

【問 32 は問 28 で「２．仕事をしていない」と回答した方にお聞きします。】

問 32　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は１つだけ】

１．仕事をする必要がない（高齢、学生、専業主婦などのため）
２．求職中、もしくは職業訓練中である
３．仕事をしたいと思わない
４．仕事をしたいと思うが、できない
５．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 33　今後の就労意向についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
２．すぐに（継続して）パートなどで働きたい
３．すぐに（継続して）作業所などで働きたい
４．１年以内に何らかの形で働きたい
５．いずれ働くことを考えている
６．働くことは考えていない

問 34　障害のある人が働くために必要なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．障害のある人が就職や転職についての悩みを相談する窓口
２．障害のある人を雇用したい事業者の求人情報
３．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
４．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
５．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
６．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
７．障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
８．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
９．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
１０．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
１１．その他（　　）
１２．わからない

相談支援や情報入手について

問 35　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

頻繁に相談している	必要に応じて相談している	あまり相談していない	相談したことがない
1	2	3	4

問 36　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の相談窓口
２．市役所以外の障害福祉の相談窓口
３．福祉施設や作業所の職員
４．職場や学校
５．病院や診療所
６．児童相談所
７．介護福祉施設の職員やケアマネジャー
８．幼稚園や保育所の先生
９．民生委員・児童委員
１０．社会福祉協議会の職員
１１．障害者団体
１２．友人や知人
１３．その他（　　）
１４．相談できる人や場所は特にいない

問 37　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．自分の健康や障害に関すること
２．家族との関係に関すること
３．仕事や職場の人間関係に関すること
４．友人や仲間に関すること
５．自分の今後の生活や将来に関すること
６．経済的なこと
７．障害や介護サービスに関すること
８．虐待や差別に関すること
９．その他（　　）
１０．特にない

問 38　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	1	②	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地 域 情 報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社 会 情 勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣 味 や 娯 楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災 害 や 避 難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問 39　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

１．障害者のしおり（市が作成した冊子）	１０．病院や診療所
２．市の広報紙	１１．図書館の障害者向けサービス
３．市のホームページや SNS	１２．民生委員･児童委員
４．都の広報紙やホームページ	１３．自治会や町内会の回覧板
５．その他の広報紙やインターネット、SNS	１４．市内にある掲示板
６．テレビ･ラジオ･新聞のニュース	１５．家族や親戚
７．障害者団体	１６．友人や知人
８．職場や学校	１７．その他（　　）
９．障害福祉施設	１８．特にない

問 40　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．点字、音声の出版物が少ない	６．周囲との意思疎通がとりづらい
２．公的な場での音声案内が不足している	７．困っていることを周りに伝えられない
３．手話や要約筆記ができる人が少ない	８．緊急時や災害時の情報が入りにくい
４．公共施設の案内表示がわからない	９．郵便物の重要度がわからない
５．インターネットが利用しにくい	１０．その他（　　）
	１１．特にない

問 41　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

１．対面での会話	６．点字
２．電話やテレビ電話を使った会話	７．手話
３．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	８．家族や介助者を介した伝言
４．インターネットや携帯などの電子メール	９．その他（　　）
５．SNS	１０．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問 42　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことがない	知らない
1	2	3

問 43　あなたは、西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問 44　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加した ことがある	知っているが 利用・参加した ことはない	知らない 利用・参加した ことがない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ 障害者水泳教室	1	2	3
⑤ ENJOY ニュースポーツ	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある人へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
障害者水泳教室	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOY ニュースポーツ	市内在住・在勤・在学の小学生から高齢者まで、障害のある人もない人も、気軽に参加し一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろな軽スポーツを行います。

問 45　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援など
２．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
３．自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
４．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
５．就労継続支援（A 型・B 型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
６．就労定着支援	福祉サービスを利用して、一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
７．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
８．短期入所（ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害者（児）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
９．グループホーム	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

◆サービスについて、困っていることや改善してほしい点などをご自由にご記入ください。

問 46　あなたの日々の暮らしに、福祉サービスの利用は必要ですか。

【○は１つだけ】

１．必要である	３．必要ない
２．今は必要ないが、いずれ必要になる	

【問 47 は問 46 で「１．必要である」と回答した方にお聞きします。】

問 47　あなたは、生活に必要な福祉サービスを十分に利用できていますか。

【○は１つだけ】

利用できている	まあまあ 利用できている	あまり 利用できていない	利用できていない
1	2	3	4

【問 48 は問 47 で「３．あまり利用できていない」「４．利用できていない」と回答した方にお聞きします。】

問 48　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自己負担が大きい	５．市内に利用したい事業所がない
２．定員がいっぱいで利用できない	６．自分に適したサービスがわからない
３．通うのが大変	７．サービスの利用方法がわからない
４．利用したい時間や時期と合わない	８．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 49　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。

【○はいくつでも】

１．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
２．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
３．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
４．施設に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
５．施設や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス
６．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
７．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
８．その他（　　）
９．わからない

問 50　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

１．ひとり暮らしがしたい
２．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
３．自宅で訪問や通いの福祉サービスを活用しながら暮らしたい
４．グループホームで暮らしたい
５．施設に入所して暮らしたい
６．わからない

問 51　問 50 で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

１．同居している家族や親戚	４．弁護士や後見人
２．別居している家族や親戚	５．福祉施設の職員や相談員
３．友人や知人	６．その他（　　）
	７．いない

問 52　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．避難所の場所がわからない	５．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
２．災害や避難の情報の入手方法がわからない	６．障害の特性上、避難所にいることが困難
３．避難時に介助してくれる人がいない	７．避難所での他人とのコミュニケーション
４．助けを呼ぶための手段がない	８．その他（　　）
	９．特にない

西東京市について

問 53　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問 54　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

１．ある　　２．ない

【問 55 は問 54 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。】

問 55　その場所を具体的にお答えください。

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 56　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、お答えください。

【○はいくつでも】

１．障害福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること
２．障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること
３．市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること
４．障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと
５．一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること
６．障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること
７．障害のある人が働くための機会を創出すること
８．障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること
９．障害のある人が利用しやすい民間の施設やお店が増えること
１０．障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること
１１．障害のある人が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること
１２．家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること
１３．地域のボランティア活動を充実させること
１４．その他（　　）
１５．不足していることはない

問 57　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～　質問は以上です。ご協力ありがとうございました。　～

あなたの声をお聞かせください

西東京市の福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第６期西東京市障害福祉計画・第２期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 10 月

西東京市長　　丸山　浩一

記入にあたってのお願い

- ○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。なお、ご本人の回答や意思が反映できない場合は、無回答のまま次の設問にお進みください。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ 令和元年 **10 月 1 日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、令和元年 **10 月 27 日（日）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市役所　健康福祉部　障害福祉課　障害者支援係（保谷庁舎）
担当：林
電話：０４２－４６４－１３１１（代表）　内線２２７１
０４２－４３８－４０３３（直通）

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1. 宛名シールの本人
2. 宛名シールの本人の回答を聞いた代理の方
3. 家族（本人の立場に立って記入）
4. 施設や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5. その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和元年 10 月 1 日現在）

【○は１つだけ】

1. 18～19 歳
2. 20～29 歳
3. 30～39 歳
4. 40～49 歳
5. 50～59 歳
6. 60～64 歳
7. 65～69 歳
8. 70 歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1. 持ち家（分譲マンションを含む）
2. 賃貸住宅（アパート・マンション・借家）
3. グループホーム、福祉ホーム
4. 福祉施設（障害者・高齢者支援施設）
5. 病院（入院している）
6. その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1. 全体がバリアフリー化されている
2. 一部がバリアフリー化されている
3. バリアフリー化が全くされていない
4. わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

１．ひとり暮らしをしている ⇒ 問７へ	７．祖父
２．配偶者（夫、妻）・パートナー	８．祖母
３．子ども	９．兄弟・姉妹
４．子どもの配偶者・パートナー	１０．親戚
５．父親	１１．福祉施設の職員や仲間
６．母親	１２．その他（　　）

【問６は問５で「１．ひとり暮らしをしている」“以外”に回答した方にお聞きします。】

問６　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65 歳以上の高齢者がいる	３．妊婦や小学生以下の子どもがいる
２．障害者手帳所持者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
	５．あてはまらない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問７　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．配偶者（夫、妻）・パートナー	７．兄弟・姉妹
２．子ども	８．親戚
３．子どもの配偶者・パートナー	９．近所の友人や知人
４．父親	１０．ホームヘルパーなどのサービス事業者
５．母親	１１．特に介助・支援を必要としない
６．祖父母	１２．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．19 歳以下	５．70 歳代
２．20～39 歳	６．80 歳以上
３．40～59 歳	７．わからない
４．60 歳代	

問９　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

ゆとりがある	まあまあ ゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい
1	2	3	4

障害について

問 10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている	
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている	
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている	
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている	
６．高次脳機能障害と診断されたことがある	
７．発達障害と診断されたことがある	
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている	
９．どれにもあてはまらない	

【問 11～14 は問 10 で「４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている」と回答した方にお聞きします。】

問 11　体調の変化があることに気がついたのは、何歳の頃でしたか。

【○は１つだけ】

１．0～９歳	５．50～60 歳代
２．10 歳代	６．70 歳以上
３．20 歳代	７．わからない
４．30～40 歳代	

問 12　体調の変化に気がついてから、どれくらいで医療機関を受診しましたか。

【○は１つだけ】

１．１か月以内	４．１～５年以内
２．１～６か月以内	５．５年以上たってから
３．６か月～１年以内	６．医療機関に行ったことがない

問 13　この１年間で、精神的な不調のために通っている医療機関への通院頻度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．週に１回くらい	５．３か月に１回くらい
２．２週に１回くらい	６．６か月に１回くらい
３．月に１回くらい	７．具合が悪くなったときだけ
４．２か月に１回くらい	８．その他（　　）
	９．特に病院に行っていない

問 14　通院の際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．予定日の当日に体調不良で通院できない	６．仕事を休みづらい（休めない）
２．経済的な負担が大きい	７．主治医との意思疎通がとりづらい
３．病院までの移動が困難	８．病院を変えたいが相談できない
４．同伴者がいない	９．その他（　　）
５．介助者の負担が大きい	１０．特にない

【問 15 は問 10 で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答した方にお聞きします。】

問 15　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．注射･点滴	８．ネブライザー使用
２．自己注射	９．膀胱カテーテル
３．リハビリテーション	１０．自己導尿
４．経管栄養	１１．人工透析
５．気管切開（それに伴う処置）	１２．酸素吸入器
６．褥瘡処置	１３．人工呼吸器装着
７．吸引器使用	１４．その他（　　）
	１５．特にない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 16　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．要支援１	５．要介護３
２．要支援２	６．要介護４
３．要介護１	７．要介護５
４．要介護２	８．受けていない、または非該当
	９．わからない

問 17　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない
1	2	3	4

【問 18 は問 17 で「2．たまに感じる」「3．いつも感じる」と回答した方にお聞きします。】

問 18　この 1 年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

1．学校や職場	5．スーパーやレストラン
2．市役所などの公的機関	6．バスや電車などの交通機関
3．病院などの医療機関	7．面接などの就職活動の場
4．福祉サービス事業所	8．余暇活動の場
	9．その他（　　）

日常生活について

問 19　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ 1 つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問 20　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15 時）と夕方（15～18 時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。
※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15 時）	【夕方を過ごす場所】（15～18 時）
【選択肢】 ○は 1 つだけ	1．自宅	1．自宅
	2．学校や職場	2．学校や職場
	3．福祉施設	3．福祉施設
	4．親族や親戚の家	4．親族や親戚の家
	5．友人や知人の家	5．友人や知人の家
	6．地域の公共施設など	6．地域の公共施設など
	7．特に決まっていない	7．特に決まっていない

問 21　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は 1 つだけ】

週に 5 日以上	週に 3～4 日	週に 1～2 日	月に 2～3 日	ほとんど外出しない
1	2	3	4	5

【問 22 は問 21 で「5．ほとんど外出しない」以外に回答した方にお聞きします。】

問 22　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は 1 つだけ】

1．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
2．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
3．どこへ外出するにも支援が必要
4．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 23　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	
2．他人との会話が難しい	
3．視線が気になる	
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	
7．バリアフリーの建物が少ない	
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）	
10．電車やバスなどの交通機関が利用しづらい	
11．障害者用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）	
12．その他（　　）	
13．特にない	

問 24　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は 1 つだけ】

ある	ない	どちらともいえない
1	2	3

【問 25 は問 24 で「1．ある」と回答した方にお聞きします。】

問 25　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと	6．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
2．絵画や工作などの美術活動	7．近所へ出かけること
3．演奏や歌などの音楽活動	8．旅行
4．仕事や家事の手伝い	9．買い物
5．友人や知人との遊び	10．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 26　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	3．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
2．障害のある人と一緒に楽しめる活動	4．その他（　　）
	5．特に参加したいと思わない

就労について

問 27　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

1．仕事をしている	2．仕事をしていない ⇒ 問 31 へ

【問 28～30 は問 27 で「1．仕事をしている」と回答した方にお聞きします。】

問 28　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は 1 つだけ】

1．自営業（家業の手伝いを含む）	4．自宅での内職
2．会社・団体などの正規職員	5．福祉作業所
3．パート・アルバイトなどの非正規職員	6．その他（　　）

問 29　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

1．ハローワーク	5．家族や親戚
2．障害者就労支援センター「一歩」	6．友人や知人
3．就労移行支援事業所	7．その他（　　）
4．学校	8．特に支援やサポートは受けていない

問 30　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．給与や工賃などの収入が少ない	6．職場の設備が障害に対応していない
2．勤務時間・日数の負荷が大きい	7．職場の人の障害に対する理解が不足
3．通勤の負担が大きい	8．職場での悩みを相談できるところがない
4．職務内容が自分に合わない	9．その他（　　）
5．職場の人間関係が難しい	10．特に困っていることはない

【問 31 は問 27 で「２．仕事をしていない」と回答した方にお聞きします。】

問 31　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は１つだけ】

１．仕事をする必要がない（高齢、学生、専業主婦などのため）
２．求職中、もしくは職業訓練中である
３．仕事をしたいと思わない
４．仕事をしたいと思うが、できない
５．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 32　今後の就労意向についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
２．すぐに（継続して）パートなどで働きたい
３．すぐに（継続して）福祉作業所などで働きたい
４．１年以内に何らかの形で働きたい
５．いずれ働くことを考えている
６．働くことは考えていない

問 33　障害のある人が働くために必要なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．障害のある人が就職や転職についての悩みを相談する窓口
２．障害のある人を雇用したい事業者の求人情報
３．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
４．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
５．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
６．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
７．障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
８．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
９．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
１０．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
１１．その他（　　）
１２．わからない

相談支援や情報入手について

問 34　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

頻繁に相談している	必要に応じて相談している	あまり相談していない	相談したことがない
1	2	3	4

問 35　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の相談窓口
２．市役所以外の障害福祉の相談窓口
３．福祉施設や作業所の職員
４．職場や学校
５．病院や診療所
６．児童相談所
７．介護福祉施設の職員やケアマネジャー
８．幼稚園や保育所の先生
９．民生委員・児童委員
１０．社会福祉協議会の職員
１１．障害者団体
１２．友人や知人
１３．その他（　　）
１４．相談できる人や場所は特にいない

問 36　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．自分の健康や障害に関すること
２．家族との関係に関すること
３．仕事や職場の人間関係に関すること
４．友人や仲間に関すること
５．自分の今後の生活や将来に関すること
６．経済的なこと
７．障害や介護サービスに関すること
８．虐待や差別に関すること
９．その他（　　）
１０．特にない

問 37　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	1	②	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣味や娯楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問 38　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

１．障害者のしおり（市が作成した冊子）	１０．病院や診療所
２．市の広報紙	１１．図書館の障害者向けサービス
３．市のホームページや SNS	１２．民生委員･児童委員
４．都の広報紙やホームページ	１３．自治会や町内会の回覧板
５．その他の広報紙やインターネット、SNS	１４．市内にある掲示板
６．テレビ･ラジオ･新聞のニュース	１５．家族や親戚
７．障害者団体	１６．友人や知人
８．職場や学校	１７．その他（　　）
９．障害福祉施設	１８．特にない

問 39　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．点字、音声の出版物が少ない	６．周囲との意思疎通がとりづらい
２．公的な場での音声案内が不足している	７．困っていることを周りに伝えられない
３．手話や要約筆記ができる人が少ない	８．緊急時や災害時の情報が入りにくい
４．公共施設の案内表示がわからない	９．郵便物の重要度がわからない
５．インターネットが利用しにくい	１０．その他（　　）
	１１．特にない

問 40　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

１．対面での会話	６．点字
２．電話やテレビ電話を使った会話	７．手話
３．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	８．家族や介助者を介した伝言
４．インターネットや携帯などの電子メール	９．その他（　　）
５．SNS	１０．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問 41　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことがない	知らない
1	2	3

問 42　あなたは、西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問 43　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加した ことがある	知っているが 利用・参加した ことはない	知らない 利用・参加した ことがない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ 障害者水泳教室	1	2	3
⑤ ENJOY ニュースポーツ	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある人へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
障害者水泳教室	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOY ニュースポーツ	市内在住・在勤・在学の小学生から高齢者まで、障害のある人もない人も、気軽に参加し一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろな軽スポーツを行います。

問 44　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援など
２．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
３．自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
４．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
５．就労継続支援（A 型・B 型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
６．就労定着支援	福祉サービスを利用して、一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
７．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
８．短期入所（ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害者（児）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
９．グループホーム	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

◆サービスについて、困っていることや改善してほしい点などをご自由にご記入ください。

問 45　あなたの日々の暮らしに、福祉サービスの利用は必要ですか。

【○は１つだけ】

１．必要である	３．必要ない
２．今は必要ないが、いずれ必要になる	

【問 46 は問 45 で「１．必要である」と回答した方にお聞きします。】

問 46　あなたは、生活に必要な福祉サービスを十分に利用できていますか。

【○は１つだけ】

利用できている	まあまあ 利用できている	あまり 利用できていない	利用できていない
1	2	3	4

【問 47 は問 46 で「３．あまり利用できていない」「４．利用できていない」と回答した方にお聞きします。】

問 47　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自己負担が大きい	５．市内に利用したい事業所がない
２．定員がいっぱいで利用できない	６．自分に適したサービスがわからない
３．通うのが大変	７．サービスの利用方法がわからない
４．利用したい時間や時期と合わない	８．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 48　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。

【○はいくつでも】

１．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
２．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
３．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
４．施設に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
５．施設や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス
６．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
７．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
８．その他（　　）
９．わからない

問 49　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

１．ひとり暮らしがしたい
２．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
３．自宅で訪問や通いの福祉サービスを活用しながら暮らしたい
４．グループホームで暮らしたい
５．施設に入所して暮らしたい
６．わからない

問 50　問 49 で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

１．同居している家族や親戚	４．弁護士や後見人
２．別居している家族や親戚	５．福祉施設の職員や相談員
３．友人や知人	６．その他（　　）
	７．いない

問 51　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．避難所の場所がわからない	５．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
２．災害や避難の情報の入手方法がわからない	６．障害の特性上、避難所にいることが困難
３．避難時に介助してくれる人がいない	７．避難所での他人とのコミュニケーション
４．助けを呼ぶための手段がない	８．その他（　　）
	９．特にない

西東京市について

問 52　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問 53　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

１．ある　　２．ない

【問 54 は問 53 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。】

問 54　その場所を具体的にお答えください。

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 55　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、お答えください。

【○はいくつでも】

１．障害福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること
２．障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること
３．市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること
４．障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと
５．一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること
６．障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること
７．障害のある人が働くための機会を創出すること
８．障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること
９．障害のある人が利用しやすい民間の施設やお店が増えること
１０．障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること
１１．障害のある人が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること
１２．家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること
１３．地域のボランティア活動を充実させること
１４．その他（　　）
１５．不足していることはない

問 56　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～　質問は以上です。ご協力ありがとうございました。　～

あなたの声をお聞かせください

西東京市の福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第６期西東京市障害福祉計画・第２期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 10 月

西東京市長　　丸山　浩一

記入にあたってのお願い

- ○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。なお、ご本人の回答や意思が反映できない場合は、無回答のまま次の設問にお進みください。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ 令和元年 **10 月 1 日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、令和元年 **10 月 27 日（日）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市役所　健康福祉部　障害福祉課　障害者支援係（保谷庁舎）
担当：林
電話：０４２－４６４－１３１１（代表）　内線２２７１
０４２－４３８－４０３３（直通）

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1. 宛名シールの本人
2. 宛名シールの本人の回答を聞いた代理の方
3. 家族（本人の立場に立って記入）
4. 施設や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5. その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和元年 10 月 1 日現在）

【○は１つだけ】

1. 18～19 歳
2. 20～29 歳
3. 30～39 歳
4. 40～49 歳
5. 50～59 歳
6. 60～64 歳
7. 65～69 歳
8. 70 歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1. 持ち家（分譲マンションを含む）
2. 賃貸住宅（アパート・マンション・借家）
3. グループホーム、福祉ホーム
4. 福祉施設（障害者・高齢者支援施設）
5. 病院（入院している）
6. その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1. 全体がバリアフリー化されている
2. 一部がバリアフリー化されている
3. バリアフリー化が全くされていない
4. わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

１．ひとり暮らしをしている ⇒ 問７へ	７．祖父
２．配偶者（夫、妻）・パートナー	８．祖母
３．子ども	９．兄弟・姉妹
４．子どもの配偶者・パートナー	１０．親戚
５．父親	１１．福祉施設の職員や仲間
６．母親	１２．その他（　　）

【問６は問５で「１．ひとり暮らしをしている」“以外”に回答した方にお聞きします。】

問６　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65 歳以上の高齢者がいる	３．妊婦や小学生以下の子どもがいる
２．障害者手帳所持者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
	５．あてはまらない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問７　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．配偶者（夫、妻）・パートナー	７．兄弟・姉妹
２．子ども	８．親戚
３．子どもの配偶者・パートナー	９．近所の友人や知人
４．父親	１０．ホームヘルパーなどのサービス事業者
５．母親	１１．特に介助・支援を必要としない
６．祖父母	１２．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．19 歳以下	５．70 歳代
２．20～39 歳	６．80 歳以上
３．40～59 歳	７．わからない
４．60 歳代	

問９　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

ゆとりがある	まあまあ ゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい
1	2	3	4

障害について

問 10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている
６．高次脳機能障害と診断されたことがある
７．発達障害と診断されたことがある
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている
９．どれにもあてはまらない

【問 11～13 は問 10 で「５．難病医療費等助成対象疾病を患っている」と回答した方にお聞きします。】

問 11　疾病などがあることに気がついたのは、何歳の頃でしたか。

【○は１つだけ】

１．0～９歳	５．50～60 歳代
２．10 歳代	６．70 歳以上
３．20 歳代	７．わからない
４．30～40 歳代	

問12　難病の治療のために通っている医療施設への、この１年間の通院頻度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．週に１回くらい	５．３か月に１回くらい
２．２週に１回くらい	６．６か月に１回くらい
３．月に１回くらい	７．具合が悪くなったときだけ
４．２か月に１回くらい	８．その他（　　）
	９．特に病院に行っていない

問13　通院の際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．予定日の当日に体調不良で通院できない	６．仕事を休みづらい（休めない）
２．経済的な負担が大きい	７．主治医との意思疎通がとりづらい
３．病院までの移動が困難	８．病院を変えたいが相談できない
４．同伴者がいない	９．その他（　　）
５．介助者の負担が大きい	１０．特にない

【問 14 は問 10 で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答した方にお聞きします。】

問14　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．注射・点滴	８．ネブライザー使用
２．自己注射	９．膀胱カテーテル
３．リハビリテーション	１０．自己導尿
４．経管栄養	１１．人工透析
５．気管切開（それに伴う処置）	１２．酸素吸入器
６．褥瘡処置	１３．人工呼吸器装着
７．吸引器使用	１４．その他（　　）
	１５．特にない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問15　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．要支援１	５．要介護３
２．要支援２	６．要介護４
３．要介護１	７．要介護５
４．要介護２	８．受けていない、または非該当
	９．わからない

問16　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない
1	2	3	4

【問 17 は問 16 で「２．たまに感じる」「３．いつも感じる」と回答した方にお聞きします。】

問17　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．学校や職場	５．スーパーやレストラン
２．市役所などの公的機関	６．バスや電車などの交通機関
３．病院などの医療機関	７．面接などの就職活動の場
４．福祉サービス事業所	８．余暇活動の場
	９．その他（　　）

日常生活について

問 18　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ１つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問 19　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15 時）と夕方（15～18 時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。
※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15 時）	【夕方を過ごす場所】（15～18 時）
【選択肢】 ○は１つだけ	１．自宅	１．自宅
	２．学校や職場	２．学校や職場
	３．福祉施設	３．福祉施設
	４．親族や親戚の家	４．親族や親戚の家
	５．友人や知人の家	５．友人や知人の家
	６．地域の公共施設など	６．地域の公共施設など
	７．特に決まっていない	７．特に決まっていない

問 20　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は１つだけ】

週に５日以上	週に３～４日	週に１～２日	月に２～３日	ほとんど外出しない
1	2	3	4	5

【問 21 は問 20 で「５．ほとんど外出しない」以外に回答した方にお聞きします。】

問 21　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
２．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
３．どこへ外出するにも支援が必要
４．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 22　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	
2．他人との会話が難しい	
3．視線が気になる	
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	
7．バリアフリーの建物が少ない	
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）	
10．電車やバスなどの交通機関が利用しづらい	
11．障害者用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）	
12．その他（　　）	
13．特にない	

問 23　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は 1 つだけ】

ある	ない	どちらともいえない
1	2	3

【問 24 は問 23 で「1．ある」と回答した方にお聞きします。】

問 24　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと	6．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
2．絵画や工作などの美術活動	7．近所へ出かけること
3．演奏や歌などの音楽活動	8．旅行
4．仕事や家事の手伝い	9．買い物
5．友人や知人との遊び	10．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 25　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	3．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
2．障害のある人と一緒に楽しめる活動	4．その他（　　）
	5．特に参加したいと思わない

就労について

問 26　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

1．仕事をしている	2．仕事をしていない ⇒ 問 30 へ

【問 27～29 は問 26 で「1．仕事をしている」と回答した方にお聞きします。】

問 27　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は 1 つだけ】

1．自営業（家業の手伝いを含む）	4．自宅での内職
2．会社・団体などの正規職員	5．福祉作業所
3．パート・アルバイトなどの非正規職員	6．その他（　　）

問 28　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

1．ハローワーク	5．家族や親戚
2．障害者就労支援センター「一歩」	6．友人や知人
3．就労移行支援事業所	7．その他（　　）
4．学校	8．特に支援やサポートは受けていない

問 29　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．給与や工賃などの収入が少ない	6．職場の設備が障害に対応していない
2．勤務時間・日数の負荷が大きい	7．職場の人の障害に対する理解が不足
3．通勤の負担が大きい	8．職場での悩みを相談できるところがない
4．職務内容が自分に合わない	9．その他（　　）
5．職場の人間関係が難しい	10．特に困っていることはない

【問 30 は問 26 で「２．仕事をしていない」と回答した方にお聞きします。】

問 30　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は１つだけ】

１．仕事をする必要がない（高齢、学生、専業主婦などのため）
２．求職中、もしくは職業訓練中である
３．仕事をしたいと思わない
４．仕事をしたいと思うが、できない
５．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 31　今後の就労意向についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
２．すぐに（継続して）パートなどで働きたい
３．すぐに（継続して）福祉作業所などで働きたい
４．１年以内に何らかの形で働きたい
５．いずれ働くことを考えている
６．働くことは考えていない

問 32　障害のある人が働くために必要なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．障害のある人が就職や転職についての悩みを相談する窓口
２．障害のある人を雇用したい事業者の求人情報
３．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
４．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
５．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
６．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
７．障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
８．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
９．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
１０．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
１１．その他（　　）
１２．わからない

相談支援や情報入手について

問 33　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

頻繁に相談している	必要に応じて相談している	あまり相談していない	相談したことがない
1	2	3	4

問 34　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の相談窓口
２．市役所以外の障害福祉の相談窓口
３．福祉施設や作業所の職員
４．職場や学校
５．病院や診療所
６．児童相談所
７．介護福祉施設の職員やケアマネジャー
８．幼稚園や保育所の先生
９．民生委員・児童委員
１０．社会福祉協議会の職員
１１．障害者団体
１２．友人や知人
１３．その他（　　）
１４．相談できる人や場所は特にいない

問 35　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．自分の健康や障害に関すること
２．家族との関係に関すること
３．仕事や職場の人間関係に関すること
４．友人や仲間に関すること
５．自分の今後の生活や将来に関すること
６．経済的なこと
７．障害や介護サービスに関すること
８．虐待や差別に関すること
９．その他（　　）
１０．特にない

問 36　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	1	②	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣味や娯楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問 37　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

１．障害者のしおり（市が作成した冊子）	１０．病院や診療所
２．市の広報紙	１１．図書館の障害者向けサービス
３．市のホームページや SNS	１２．民生委員･児童委員
４．都の広報紙やホームページ	１３．自治会や町内会の回覧板
５．その他の広報紙やインターネット、SNS	１４．市内にある掲示板
６．テレビ･ラジオ･新聞のニュース	１５．家族や親戚
７．障害者団体	１６．友人や知人
８．職場や学校	１７．その他（　　）
９．障害福祉施設	１８．特にない

問 38　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．点字、音声の出版物が少ない	６．周囲との意思疎通がとりづらい
２．公的な場での音声案内が不足している	７．困っていることを周りに伝えられない
３．手話や要約筆記ができる人が少ない	８．緊急時や災害時の情報が入りにくい
４．公共施設の案内表示がわからない	９．郵便物の重要度がわからない
５．インターネットが利用しにくい	１０．その他（　　）
	１１．特にない

問 39　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

１．対面での会話	６．点字
２．電話やテレビ電話を使った会話	７．手話
３．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	８．家族や介助者を介した伝言
４．インターネットや携帯などの電子メール	９．その他（　　）
５．SNS	１０．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問 40　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことがない	知らない
1	2	3

問 41　あなたは、西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問 42　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加した ことがある	知っているが 利用・参加した ことはない	知らない 利用・参加した ことがない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ 障害者水泳教室	1	2	3
⑤ ENJOY ニュースポーツ	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある人へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
障害者水泳教室	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOY ニュースポーツ	市内在住・在勤・在学の小学生から高齢者まで、障害のある人もない人も、気軽に参加し一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろな軽スポーツを行います。

問 43　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援など
２．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
３．自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
４．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
５．就労継続支援（A 型・B 型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
６．就労定着支援	福祉サービスを利用して、一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
７．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
８．短期入所（ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害者（児）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
９．グループホーム	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

◆サービスについて、困っていることや改善してほしい点などをご自由にご記入ください。

問 44　あなたの日々の暮らしに、福祉サービスの利用は必要ですか。

【○は１つだけ】

１．必要である	３．必要ない
２．今は必要ないが、いずれ必要になる	

【問 45 は問 44 で「１．必要である」と回答した方にお聞きします。】

問 45　あなたは、生活に必要な福祉サービスを十分に利用できていますか。

【○は１つだけ】

利用できている	まあまあ 利用できている	あまり 利用できていない	利用できていない
1	2	3	4

【問 46 は問 45 で「３．あまり利用できていない」「４．利用できていない」と回答した方にお聞きします。】

問 46　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自己負担が大きい	５．市内に利用したい事業所がない
２．定員がいっぱいで利用できない	６．自分に適したサービスがわからない
３．通うのが大変	７．サービスの利用方法がわからない
４．利用したい時間や時期と合わない	８．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 47　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。

【○はいくつでも】

１．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
２．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
３．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
４．施設に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
５．施設や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス
６．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
７．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
８．その他（　　）
９．わからない

問 48　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

１．ひとり暮らしがしたい
２．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
３．自宅で訪問や通いの福祉サービスを活用しながら暮らしたい
４．グループホームで暮らしたい
５．施設に入所して暮らしたい
６．わからない

問 49　問 48 で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

１．同居している家族や親戚	４．弁護士や後見人
２．別居している家族や親戚	５．福祉施設の職員や相談員
３．友人や知人	６．その他（　　）
	７．いない

問 50　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．避難所の場所がわからない	５．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
２．災害や避難の情報の入手方法がわからない	６．障害の特性上、避難所にいることが困難
３．避難時に介助してくれる人がいない	７．避難所での他人とのコミュニケーション
４．助けを呼ぶための手段がない	８．その他（　　）
	９．特にない

西東京市について

問 51　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問 52　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

１．ある　　２．ない

【問 53 は問 52 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。】

問 53　その場所を具体的にお答えください。

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 54　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、お答えください。

【○はいくつでも】

１．障害福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること
２．障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること
３．市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること
４．障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと
５．一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること
６．障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること
７．障害のある人が働くための機会を創出すること
８．障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること
９．障害のある人が利用しやすい民間の施設やお店が増えること
１０．障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること
１１．障害のある人が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること
１２．家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること
１３．地域のボランティア活動を充実させること
１４．その他（　　）
１５．不足していることはない

問 55　最後に、ご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～　質問は以上です。ご協力ありがとうございました。　～

あなたの声をお聞かせください

西東京市の福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第６期西東京市障害福祉計画・第２期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 10 月

西東京市長　　丸山　浩一

記入にあたってのお願い

- ○ 封筒宛名のご本人による回答が難しい場合は、ご家族や代理の方が本人の立場に立ってお答えください。なお、ご本人の回答や意思が反映できない場合は、無回答のまま次の設問にお進みください。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ 令和元年 **10月1日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、令和元年 **10 月 27 日（日）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市役所　健康福祉部　障害福祉課　障害者支援係（保谷庁舎）
担当：林
電話：０４２－４６４－１３１１（代表）　内線２２７１
０４２－４３８－４０３３（直通）

問１　この調査票に記入される方についてお答えください。

【○は１つだけ】

1．宛名シールの本人
2．宛名シールの本人の回答を聞いた代理の方
3．家族（本人の立場に立って記入）
4．施設や病院の職員（本人の立場に立って記入）
5．その他の方（本人の立場に立って記入）

あなた自身のことについて

問２　あなたの年齢をお答えください。（令和元年 10 月 1 日現在）

【○は１つだけ】

1．18～19 歳
2．20～29 歳
3．30～39 歳
4．40～49 歳
5．50～59 歳
6．60～64 歳
7．65～69 歳
8．70 歳以上

問３　あなたは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1．持ち家（分譲マンションを含む）
2．賃貸住宅（アパート・マンション・借家）
3．グループホーム、福祉ホーム
4．福祉施設（障害者・高齢者支援施設）
5．病院（入院している）
6．その他（　　）

問４　あなたのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1．全体がバリアフリー化されている
2．一部がバリアフリー化されている
3．バリアフリー化が全くされていない
4．わからない

問５　あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。

【○はいくつでも】

１．ひとり暮らしをしている ⇒ 問７へ	７．祖父
２．配偶者（夫、妻）・パートナー	８．祖母
３．子ども	９．兄弟・姉妹
４．子どもの配偶者・パートナー	１０．親戚
５．父親	１１．福祉施設の職員や仲間
６．母親	１２．その他（　　）

【問６は問５で「１．ひとり暮らしをしている」“以外”に回答した方にお聞きします。】

問６　あなたと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65 歳以上の高齢者がいる	３．妊婦や小学生以下の子どもがいる
２．障害者手帳所持者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
	５．あてはまらない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問７　普段、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．配偶者（夫、妻）・パートナー	７．兄弟・姉妹
２．子ども	８．親戚
３．子どもの配偶者・パートナー	９．近所の友人や知人
４．父親	１０．ホームヘルパーなどのサービス事業者
５．母親	１１．特に介助・支援を必要としない
６．祖父母	１２．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。
※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください。

【○は１つだけ】

１．19 歳以下	５．70 歳代
２．20～39 歳	６．80 歳以上
３．40～59 歳	７．わからない
４．60 歳代	

問９　あなたの暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

ゆとりがある	まあまあ ゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい
1	2	3	4

障害について

問 10　次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている
６．高次脳機能障害と診断されたことがある
７．発達障害と診断されたことがある
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている
９．どれにもあてはまらない

【問 11～13 は問 10 で「７．発達障害と診断されたことがある」と回答した方にお聞きします。】

問 11　診断内容をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自閉症	５．チック（トゥレット症候群）
２．アスペルガー症候群	６．吃音症
３．注意欠陥多動性障害（ADHD）	７．その他の発達障害
４．学習障害（LD）	８．わからない

問 12　日常生活を送る中で、不自由さを感じはじめたのは、何歳の頃でしたか。

【○は１つだけ】

１．0～９歳	５．50～60 歳代
２．10 歳代	６．70 歳以上
３．20 歳代	７．わからない
４．30～40 歳代	８．感じたことはない

問 13　発達障害であると感じた際の相談先はどこですか。また、相談した人がいれば併せてお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の窓口	１１．こどもの発達センター　ひいらぎ
２．かかりつけのの医師や看護師	１２．その他の福祉施設や相談支援事業所
３．心療内科	１３．保育所や幼稚園、学校
４．市が実施する乳幼児健診	１４．社会福祉協議会
５．東京都発達障害者支援センター　TOSCA	１５．職場の同僚
６．保健所、保健センター	１６．友人や知人
７．産業医・カウンセラー	１７．家族や親せき
８．ハローワーク	１８．自分自身でなんとなく気がついた
９．子ども家庭支援センター　のどか	１９．その他（　　）
１０．児童相談所	２０．特に相談していない
	２１．わからない

【問 14 は問 13 で「20．特に相談していない」と回答した方にお聞きします。】

問 14　相談されなかった理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．困っていることがなかった	５．身近に相談できる人や場所がなかった
２．どこに相談できるのかわからなかった	６．学校や職場などに知られたくなかった
３．発達障害を受け入れられなかった	７．その他（　　）
４．相談することのメリットが感じられなかった	

【問 15 は問 10 で「８．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答した方にお聞きします。】

問 15　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．注射・点滴	８．ネブライザー使用
２．自己注射	９．膀胱カテーテル
３．リハビリテーション	１０．自己導尿
４．経管栄養	１１．人工透析
５．気管切開（それに伴う処置）	１２．酸素吸入器
６．褥瘡処置	１３．人工呼吸器装着
７．吸引器使用	１４．その他（　　）
	１５．特にない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 16　あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は該当する要介護度をお答えください。

【○は１つだけ】

１．要支援１	５．要介護３
２．要支援２	６．要介護４
３．要介護１	７．要介護５
４．要介護２	８．受けていない、または非該当
	９．わからない

問 17　あなたはこの１年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない
1	2	3	4

【問 18 は問 17 で「2．たまに感じる」「3．いつも感じる」と回答した方にお聞きします。】

問 18　この 1 年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。

【○はいくつでも】

1．学校や職場	5．スーパーやレストラン
2．市役所などの公的機関	6．バスや電車などの交通機関
3．病院などの医療機関	7．面接などの就職活動の場
4．福祉サービス事業所	8．余暇活動の場
	9．その他（　　）

日常生活について

問 19　あなたは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑬のそれぞれ 1 つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする（ご飯を食べる）	①	2	3
① 食事をする（ご飯を食べる）	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家事をする（料理、掃除、洗濯）	1	2	3
⑩ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑪ お金の管理をする	1	2	3
⑫ 薬の管理をする	1	2	3
⑬ 災害時の避難をする	1	2	3

問 20　平日の過ごし方について、昼過ぎ（12～15 時）と夕方（15～18 時）の時間帯を主にどこで過ごしているかお答えください。

※時間帯は「おおよそ」で構いません。

	【昼過ぎを過ごす場所】（12～15 時）	【夕方を過ごす場所】（15～18 時）
【選択肢】 ○は 1 つだけ	1．自宅	1．自宅
	2．学校や職場	2．学校や職場
	3．福祉施設	3．福祉施設
	4．親族や親戚の家	4．親族や親戚の家
	5．友人や知人の家	5．友人や知人の家
	6．地域の公共施設など	6．地域の公共施設など
	7．特に決まっていない	7．特に決まっていない

問 21　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。通所、通学、通勤、買い物、散歩など、全てを含めてお答えください。

【○は 1 つだけ】

週に 5 日以上	週に 3～4 日	週に 1～2 日	月に 2～3 日	ほとんど外出しない
1	2	3	4	5

【問 22 は問 21 で「5．ほとんど外出しない」以外に回答した方にお聞きします。】

問 22　外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は 1 つだけ】

1．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない

2．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要

3．どこへ外出するにも支援が必要

4．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 23　あなたが外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない	
2．他人との会話が難しい	
3．視線が気になる	
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安	
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い	
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい	
7．バリアフリーの建物が少ない	
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない	
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）	
10．電車やバスなどの交通機関が利用しづらい	
11．障害者用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）	
12．その他（　　）	
13．特にない	

問 24　あなたには、趣味や楽しみがありますか。

【○は 1 つだけ】

ある	ない	どちらともいえない
1	2	3

【問 25 は問 24 で「1．ある」と回答した方にお聞きします。】

問 25　あなたの趣味や楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと	6．テレビやビデオ、映画などの鑑賞
2．絵画や工作などの美術活動	7．近所へ出かけること
3．演奏や歌などの音楽活動	8．旅行
4．仕事や家事の手伝い	9．買い物
5．友人や知人との遊び	10．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 26　今後、次のような活動の場所に参加したいと思いますか。参加したいと思うものについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動	3．障害の有無にかかわらず楽しめる活動
2．障害のある人と一緒に楽しめる活動	4．その他（　　）
	5．特に参加したいと思わない

就労について

問 27　現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。

1．仕事をしている	2．仕事をしていない ⇒ 問 31 へ

【問 28～30 は問 27 で「1．仕事をしている」と回答した方にお聞きします。】

問 28　あなたの仕事の形態をお答えください。

【○は 1 つだけ】

1．自営業（家業の手伝いを含む）	4．自宅での内職
2．会社・団体などの正規職員	5．福祉作業所
3．パート・アルバイトなどの非正規職員	6．その他（　　）

問 29　現在の職場に就職するにあたり、どのような所から支援やサポートを受けましたか。

【○はいくつでも】

1．ハローワーク	5．家族や親戚
2．障害者就労支援センター「一歩」	6．友人や知人
3．就労移行支援事業所	7．その他（　　）
4．学校	8．特に支援やサポートは受けていない

問 30　仕事をする上で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．給与や工賃などの収入が少ない	6．職場の設備が障害に対応していない
2．勤務時間・日数の負荷が大きい	7．職場の人の障害に対する理解が不足
3．通勤の負担が大きい	8．職場での悩みを相談できるところがない
4．職務内容が自分に合わない	9．その他（　　）
5．職場の人間関係が難しい	10．特に困っていることはない

【問 31 は問 27 で「２．仕事をしていない」と回答した方にお聞きします。】

問 31　あなたが働いていない理由として、最もあてはまるものをお答えください。

【○は１つだけ】

１．仕事をする必要がない（高齢、学生、専業主婦などのため）
２．求職中、もしくは職業訓練中である
３．仕事をしたいと思わない
４．仕事をしたいと思うが、できない
５．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 32　今後の就労意向についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．すぐに（継続して）フルタイムで働きたい
２．すぐに（継続して）パートなどで働きたい
３．すぐに（継続して）福祉作業所などで働きたい
４．１年以内に何らかの形で働きたい
５．いずれ働くことを考えている
６．働くことは考えていない

問 33　障害のある人が働くために必要なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．障害のある人が就職や転職についての悩みを相談する窓口
２．障害のある人を雇用したい事業者の求人情報
３．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
４．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
５．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
６．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
７．障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
８．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
９．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
１０．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
１１．その他（　　）
１２．わからない

相談支援や情報入手について

問 34　あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。

【○は１つだけ】

頻繁に相談している	必要に応じて相談している	あまり相談していない	相談したことがない
1	2	3	4

問 35　親族や親戚以外にあなたが悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．市役所の相談窓口
２．市役所以外の障害福祉の相談窓口
３．福祉施設や作業所の職員
４．職場や学校
５．病院や診療所
６．児童相談所
７．介護福祉施設の職員やケアマネジャー
８．幼稚園や保育所の先生
９．民生委員・児童委員
１０．社会福祉協議会の職員
１１．障害者団体
１２．友人や知人
１３．その他（　　）
１４．相談できる人や場所は特にいない

問 36　親族や親戚以外の人に相談したいことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．自分の健康や障害に関すること
２．家族との関係に関すること
３．仕事や職場の人間関係に関すること
４．友人や仲間に関すること
５．自分の今後の生活や将来に関すること
６．経済的なこと
７．障害や介護サービスに関すること
８．虐待や差別に関すること
９．その他（　　）
１０．特にない

問 37　あなたは生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】①福祉サービス	1	②	3	4	5
①福祉サービス	1	2	3	4	5
②地域情報	1	2	3	4	5
③社会情勢	1	2	3	4	5
④趣味や娯楽	1	2	3	4	5
⑤災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
趣味や娯楽：あなた自身が楽しむ趣味や娯楽に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問 38　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

１．障害者のしおり（市が作成した冊子）	１０．病院や診療所
２．市の広報紙	１１．図書館の障害者向けサービス
３．市のホームページや SNS	１２．民生委員･児童委員
４．都の広報紙やホームページ	１３．自治会や町内会の回覧板
５．その他の広報紙やインターネット、SNS	１４．市内にある掲示板
６．テレビ･ラジオ･新聞のニュース	１５．家族や親戚
７．障害者団体	１６．友人や知人
８．職場や学校	１７．その他（　　）
９．障害福祉施設	１８．特にない

問 39　普段の生活の中で情報を取得したりコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．点字、音声の出版物が少ない	６．周囲との意思疎通がとりづらい
２．公的な場での音声案内が不足している	７．困っていることを周りに伝えられない
３．手話や要約筆記ができる人が少ない	８．緊急時や災害時の情報が入りにくい
４．公共施設の案内表示がわからない	９．郵便物の重要度がわからない
５．インターネットが利用しにくい	１０．その他（　　）
	１１．特にない

問 40　あなたが対応しやすい他人とのコミュニケーション手段をお答えください。

【○はいくつでも】

１．対面での会話	６．点字
２．電話やテレビ電話を使った会話	７．手話
３．ペンと紙を使った筆談（手紙を含む）	８．家族や介助者を介した伝言
４．インターネットや携帯などの電子メール	９．その他（　　）
５．SNS	１０．コミュニケーションをとる手段がない

福祉サービスについて

問 41　あなたは、西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことがない	知らない
1	2	3

問 42　あなたは、西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】 ① 相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問 43　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加した ことがある	知っているが 利用・参加した ことはない	知らない 利用・参加した ことがない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ 障害者水泳教室	1	2	3
⑤ ENJOY ニュースポーツ	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある人へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある人が携帯して、手助けが必要な時に周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
障害者水泳教室	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOY ニュースポーツ	市内在住・在勤・在学の小学生から高齢者まで、障害のある人もない人も、気軽に参加し一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろな軽スポーツを行います。

問 44　あなたは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援など
２．生活介護	常に介助が必要な方に、施設で食事や入浴、排せつなどの介助や、創作的活動の場などを提供するサービス
３．自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活や社会生活に向けて、一定期間における身体機能や生活能力向上の訓練を行うサービス
４．就労移行支援	一般就労したい方のために、一定期間における就労に必要な知識や能力の向上の訓練を行うサービス
５．就労継続支援（A 型・B 型）	福祉的就労を希望する方のために、就労や活動の場を提供し、能力を発揮するための訓練を行うサービス
６．就労定着支援	福祉サービスを利用して、一般就労した方が、職場環境に適応するために相談などにおける助言や、雇用者などとの調整を行うサービス
７．療養介護	医療的ケアと常時介助を必要とする方に、主に病院などにおいて機能訓練、療養上の管理、看護を行うサービス
８．短期入所（ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害者（児）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
９．グループホーム	他の利用者と共同生活を行う住居で、相談や日常生活の支援を行うサービス
１０．施設入所支援	施設に入所した方に対して、主として夜間に介護などの日常生活の支援を行うサービス
１１．自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス
１２．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
１３．利用したことがない	

◆サービスについて、困っていることや改善してほしい点などをご自由にご記入ください。

問 45　あなたの日々の暮らしに、福祉サービスの利用は必要ですか。

【○は１つだけ】

１．必要である	３．必要ない
２．今は必要ないが、いずれ必要になる	

【問 46 は問 45 で「１．必要である」と回答した方にお聞きします。】

問 46　あなたは、生活に必要な福祉サービスを十分に利用できていますか。

【○は１つだけ】

利用できている	まあまあ 利用できている	あまり 利用できていない	利用できていない
1	2	3	4

【問 47 は問 46 で「３．あまり利用できていない」「４．利用できていない」と回答した方にお聞きします。】

問 47　あなたが必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自己負担が大きい	５．市内に利用したい事業所がない
２．定員がいっぱいで利用できない	６．自分に適したサービスがわからない
３．通うのが大変	７．サービスの利用方法がわからない
４．利用したい時間や時期と合わない	８．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 48　今から２年後にあなたが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。

【○はいくつでも】

１．ヘルパーが自宅に訪問してくれるサービス（居宅介護、重度訪問介護など）
２．自宅で生活するために必要な習慣を身につけるサービス（自立訓練など）
３．働くために必要な技術を身につけるサービス（就労継続支援、就労移行支援など）
４．施設に通って日中を過ごすサービス（生活介護など）
５．施設や職場から帰宅するまでの空き時間を過ごすためのサービス
６．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
７．施設の中で他の利用者と一緒に暮らすサービス（グループホーム、施設入所支援など）
８．その他（　　）
９．わからない

問 49　今から５年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。

【○は１つだけ】

１．ひとり暮らしがしたい
２．自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい
３．自宅で訪問や通いの福祉サービスを活用しながら暮らしたい
４．グループホームで暮らしたい
５．施設に入所して暮らしたい
６．わからない

問 50　問 49 で回答した「５年後のイメージ」について、相談したり共有している人をお答えください。

【○はいくつでも】

１．同居している家族や親戚	４．弁護士や後見人
２．別居している家族や親戚	５．福祉施設の職員や相談員
３．友人や知人	６．その他（　　）
	７．いない

問 51　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．避難所の場所がわからない	５．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
２．災害や避難の情報の入手方法がわからない	６．障害の特性上、避難所にいることが困難
３．避難時に介助してくれる人がいない	７．避難所での他人とのコミュニケーション
４．助けを呼ぶための手段がない	８．その他（　　）
	９．特にない

西東京市について

問 52　あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

◆満足度について、回答の理由をご自由にお書きください。

問 53　あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所はありますか。

１．ある　　２．ない

【問 54 は問 53 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。】

問 54　その場所を具体的にお答えください。

【改めて全ての方にお聞きします。】

問 55　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、お答えください。

【○はいくつでも】

１．障害福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること
２．障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること
３．市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること
４．障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと
５．一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること
６．障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること
７．障害のある人が働くための機会を創出すること
８．障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること
９．障害のある人が利用しやすい民間の施設やお店が増えること
１０．障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること
１１．障害のある人が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること
１２．家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること
１３．地域のボランティア活動を充実させること
１４．その他（　　）
１５．不足していることはない

問 56　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～　質問は以上です。ご協力ありがとうございました。　～

☆☆ あなたの声をお聞かせください ☆☆

西東京市の児童福祉に関する調査へのご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第６期西東京市障害福祉計画・第2期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、障害などによって特別なケアを必要とされている方の日常生活の状況や、サービスの利用状況を把握し、皆様のご意見・ご要望を踏まえることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートは無記名での回答となり、回答いただいた結果は統計的な処理を行います。回答いただいた方のプライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年10月

西東京市長　　丸山　浩一

記入にあたってのお願い

- ○ このアンケートは封筒宛名のお子さまの保護者の方を対象に実施しております。
- ○ 質問の中には、お子さまの意思を確認するものが含まれています。可能な限り、お子さまの意思を確認して回答に反映いただきますよう、ご協力をお願いします。
- ○ 答えたくない設問については、無理に回答いただく必要はありません。
- ○ 令和元年**10月１日**現在でお答えください。
- ○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
  また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
- ○ 記入された調査票は、令和元年**10月27日（日）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。

【このアンケート調査についての問い合わせ先】

西東京市役所　健康福祉部　障害福祉課　障害者支援係（保谷庁舎）
担当：林
電話：０４２－４６４－１３１１（代表）　内線２２７１
０４２－４３８－４０３３（直通）

問１　この調査票を記入されるのはどなたですか。

【○は１つだけ】

1. 家族（本人の立場に立って記入）
2. 施設や病院などの職員（本人の立場に立って記入）
3. その他の方（本人の立場に立って記入）

お子さまのことについて

以降、「お子さま」とは封筒の宛名シールに記載された方のことです。

問２　お子さまの年齢をお答えください。（令和元年10月1日現在）

【○は１つだけ】

1. 0～2歳	4. 9～11歳
2. 3～5歳	5. 12～14歳
3. 6～8歳	6. 15～17歳

問３　お子さまは、現在どこで暮らしていますか。

【○は１つだけ】

1. 持ち家（分譲マンションを含む）	3. 障害児入所施設
2. 賃貸住宅（アパート・マンション・借家）	4. 病院（入院している）
	5. その他（　　）

問４　お子さまのお住まいはバリアフリーに対応していますか。

【○は１つだけ】

1. 全体がバリアフリー化されている	3. バリアフリー化が全くされていない
2. 一部がバリアフリー化されている	4. わからない

問５　お子さまはどなたと一緒に暮らしていますか。お子さまから見た間柄でお答えください。

【○はいくつでも】

１．お父さん	５．きょうだい・しまい
２．お母さん	６．親せき
３．おじいさん	７．福祉施設の職員や仲間
４．おばあさん	８．その他（　　）

問６　お子さまと一緒に暮らしている方について、その方にあてはまることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．65歳以上の高齢者がいる	４．病気などの理由で不自由な方がいる
２．障害者手帳所持者がいる	５．その他（　　）
３．妊婦や小学生以下の子どもがいる	６．あてはまらない

問７　ふだん、お子さまを主に介助・支援しているのはどなたですか。

【○は１つだけ】

１．お父さん	６．親せき
２．お母さん	７．近所の人、友だちや知り合い
３．おじいさん	８．ホームヘルパーなどの在宅サービス事業者
４．おばあさん	９．特に介助・支援を必要としない
５．きょうだい・しまい	１０．その他（　　）

問８　問７で回答した主な介助者の方の年齢をお答えください。

※年齢がわからない場合は「７．わからない」に○をしてください

【○は１つだけ】

１．19歳以下	５．70歳代
２．20～39歳	６．80歳以上
３．40～59歳	７．わからない
４．60歳代	

問９　お子さまの世帯の暮らしの状況について、最も近いものを直感的に選んでください。

【○は１つだけ】

ゆとりがある	まあまあゆとりがある	やや苦しい	不自由が多く、生活が苦しい
1	2	3	4

障害について

問10　次のうち、お子さまにあてはまるものに○をつけてください。手帳をお持ちの方は等級・程度についても○をつけてください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者手帳を持っている	（１級　２級　３級　４級　５級　６級）
２．愛の手帳（療育手帳）を持っている	（１度　２度　３度　４度）
３．精神障害者保健福祉手帳を持っている	（１級　２級　３級）
４．自立支援医療費制度（精神通院医療）を受けている	
５．難病医療費等助成対象疾病を患っている	
６．高次脳機能障害と診断されたことがある	
７．発達障害と診断されたことがある	
８．訪問看護などの医療的ケアを受けている	
９．どれにもあてはまらない	

問11　お子さまに発達の遅れや障害があることに気がついたのは、お子さまが何歳の頃でしたか。

【○は１つだけ】

１．０～２歳	５．12～14歳
２．３～５歳	６．15歳以降
３．６～８歳	７．わからない
４．９～11歳	

【問12 は問10 で「1．身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお聞きします。】

問12　身体障害者手帳に記載されている障害をお答えください。

【○はいくつでも】

1．視覚障害	6．肢体不自由（上肢・下肢機能障害）
2．聴覚障害	7．肢体不自由（体幹機能障害）
3．平衡機能障害	8．内部障害
4．音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	9．わからない
5．乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	

【問13 は問10 で「7．発達障害と診断されたことがある」と回答した方にお聞きします。】

問13　診断内容をお答えください。

【○はいくつでも】

1．自閉症	5．チック（トゥレット症候群）
2．アスペルガー症候群	6．吃音症
3．注意欠陥多動性障害（ADHD）	7．その他の発達障害
4．学習障害（LD）	8．わからない

【問14 は問10 で「8．訪問看護などの医療的ケアを受けている」と回答した方にお聞きします。】

問14　現在、自宅で行っている医療的ケアについてお答えください。

【○はいくつでも】

1．注射・点滴	8．ネブライザー使用
2．自己注射	9．膀胱カテーテル
3．リハビリテーション	10．自己導尿
4．経管栄養	11．人工透析
5．気管切開（それに伴う処置）	12．酸素吸入器
6．褥瘡処置	13．人工呼吸器装着
7．吸引器使用	14．その他（　　）
	15．特にない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問15　お子さまに発達の遅れや障害があると気がついた、最初のきっかけをお答えください。

【○は1つだけ】

1．市役所が実施する乳幼児健診	5．家族や親せきへの相談
2．かかりつけの医師や看護師の助言	6．自分自身でなんとなく気がついた
3．保育所や幼稚園、学校の先生の助言	7．その他（　　）
4．友人や知人への相談	

問16　お子さまに発達の遅れや障害があると気がついたときに、保護者や家族の方が相談した公共機関をお答えください。

【○はいくつでも】

1．市役所の窓口	8．こどもの発達センター　ひいらぎ
2．かかりつけの医師や看護師	9．その他の福祉施設や相談支援事業所
3．東京都発達障害者支援センター　TOSCA	10．保育所や幼稚園、学校
4．心療内科	11．社会福祉協議会
5．保健所、保健センター	12．その他（　　）
6．子ども家庭支援センター　のどか	13．特に相談していない
7．児童相談所	14．わからない

【問17 は問16 で「13．特に相談していない」と回答した方にお聞きします。】

問17　相談されなかった理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．困っていることがなかった	5．身近に相談できる人や場所がなかった
2．どこに相談できるのかわからなかった	6．学校などに知られたくなかった
3．障害を受け入れられなかった	7．その他（　　）
4．相談することのメリットが感じられなかった	

【改めて全ての方にお聞きします。】

問18　この１年間にお子さまの発達や障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない
1	2	3	4

【問19 は問18 で「２．たまに感じる」「３．いつも感じる」と回答した方にお聞きします。】

問19　この１年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所などをお答えください。

【○はいくつでも】

１．保育所や幼稚園、学校	５．スーパーやレストラン
２．市役所などの公的機関	６．バスや電車などの交通機関
３．病院などの医療機関	７．習い事
４．福祉サービス事業所	８．その他（　　）

日常生活について

問20　お子さまは、次の動作について介助が必要ですか。①～⑫のそれぞれ１つに○をつけてください。

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
【記入例】 ① 食事をする	①	2	3
① 食事をする	1	2	3
② トイレの使用やオムツ交換をする	1	2	3
③ お風呂に入る	1	2	3
④ 寝返り、起き上がりをする	1	2	3
⑤ 着替えをする	1	2	3
⑥ 身だしなみを整える	1	2	3
⑦ 家の中を移動する	1	2	3
⑧ 外出をする	1	2	3
⑨ 家族以外の人との意思疎通をする	1	2	3
⑩ お小遣いの管理をする	1	2	3
⑪ 薬の管理をする	1	2	3
⑫ 災害時の避難をする	1	2	3

問21　お子さまが外出するときの支援の必要性についてお答えください。

【○は１つだけ】

１．どこにでもひとりで外出できるため、支援は必要ない
２．慣れた場所にはひとりで外出できるが、それ以外は支援が必要
３．どこへ外出するにも支援が必要
４．その他（　　）

問22　お子さまの外出をためらうようなことがあれば、その理由をお答えください。

【○はいくつでも】

1．ヘルパーなど、家族以外に付き添ってくれる人がいない
2．他人との会話が難しい
3．視線が気になる
4．体調や気分が悪くなったときなどの対応が不安
5．狭い歩道や段差など、通行に不自由が多い
6．道路に自転車などの障害物が多く、通行しにくい
7．バリアフリーの建物が少ない
8．車いすなどでも乗り降りができる駐車場が少ない
9．気軽に利用できる移動手段が少ない（ハンディキャブ、福祉タクシーなど）
10．電車やバスなどの交通機関が利用しづらい
11．障害者用のトイレが少ない（多目的トイレ、オストメイトなど）
12．その他（　　）
13．特にない

【問23 はお子さまの意思を確認して回答をお願いします。】

問23　お子さまのしゅみや楽しみをお答えください。

【○はいくつでも】

1．スポーツやダンスなど体を動かすこと
2．絵をかいたり工作をすること
3．楽器をひいたり歌うこと
4．お父さんやお母さんの手伝いをすること
5．友達と遊ぶこと
6．テレビやビデオ、映画をみること
7．近所におでかけをすること
8．旅行にいくこと
9．買い物に行くこと
10．その他（　　）
11．特にない

【改めて保護者の方にお聞きします。】

問24　今後、お子さまを参加させたいと思う活動についてお答えください。

【○はいくつでも】

1．ひとりで自分の趣味を楽しめる活動
2．保護者と一緒に参加できる活動
3．障害のある人と一緒に参加できる活動
4．障害の有無にかかわらず参加できる活動
5．その他（　　）

幼稚園や保育所、学校での生活について

問25　お子さまの通っている学校などの種類をお答えください。

【○は１つだけ】

1．幼稚園・保育所
2．小学校・中学校・高校の通常学級
3．小学校・中学校の通常学級と通級指導学級や特別支援教室を併用
4．小学校・中学校の特別支援学級
5．特別支援学校
6．その他（　　）

問26　幼稚園、保育所、学校などでの生活で困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

1．通うための付き添いの負担が大きい
2．トイレなどのバリアフリー設備が不十分
3．障害を理由にイジメや仲間外れにされる
4．先生や職員の理解や配慮が足りない
5．周囲の児童・生徒の理解が得られない
6．体力がついていけない
7．学力がついていけない
8．体調が悪くなったときの居場所がない
9．介助体制が十分でない
10．医療的なケアが受けられない
11．その他（　　）
12．特に困っていることはない

問27　放課後や土日の休み、夏休みなどの長期休暇中の日中をどのように過ごしていますか。最も頻度の多い過ごし方をそれぞれお答えください。

【○はそれぞれに１つずつ】

	1 家族といる	2 放課後等デイサービスに行く	3 習い事や塾に行く	4 友だちや知り合いといる	5 学童クラブに行く	6 ヘルパーなどと外出する	7 ひとりでいる	8 特になにもしていない	9 その他
【記入例】①平日の放課後	①	2	3	4	5	6	7	8	9
①平日の放課後	1	2	3	4	5	6	7	8	9
②土日・祝日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
③夏休みなどの長期休み	1	2	3	4	5	6	7	8	9

【「９．その他」と回答した方にお聞きします。】

	最も頻度の多い過ごし方をお書きください
①平日の放課後	
②土日・祝日	
③夏休みなどの長期休み	

問28　放課後の過ごし方について困っていることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．居場所が学校から離れている
２．居場所が自宅から離れている
３．周囲の人との相性が良くない
４．あまり楽しめていない
５．体調が悪くなったときに介助する人がいない
６．交通環境が悪い
７．その他（　　）
８．特にない

【問29 はお子さまの意思を確認して回答をお願いします。】

問29　高等学校卒業後、日中をどのように過ごしたいですか。

【○は１つだけ】

１．家でのんびりと暮らしたい
２．会社などで働きたい
３．会社で働くのはむずかしいので、作業所などに通いたい
４．会社で働けるようになるために、技術を身につける訓練をしたい
５．福祉施設で日常生活を過ごすための訓練をしたい
６．病院などで日常生活の訓練や介護を受けたい
７．障害のある人といっしょに、色々な活動ができる場所で過ごしたい
８．学校（大学や専門学校など）に通いたい
９．その他（　　）
１０．わからない

【改めて保護者の方にお聞きします。】

問30　障害のある人が働くために必要なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．障害のある人が就職や転職についての悩みを相談する窓口
２．障害のある人を雇用したい事業者の求人情報
３．就職希望者に対する面接や筆記試験などの就職活動への支援
４．就職希望者が職場を体験することのできる機会や制度
５．就職希望者と雇用者のマッチングを行う仲介者（コーディネーター）
６．パソコンなどの仕事に必要な技術を身につけられる職業訓練
７．障害のある人を理解して受け入れられる同僚や上司がいること
８．障害があっても通うことのできる交通機関や職場のバリアフリー化
９．体調不良などの際、柔軟に対応できる勤務条件のある事業所
１０．就業後に労働者の職場での悩みや相談を受け、雇用者と調整する支援
１１．その他（　　）
１２．わからない

相談支援や情報入手について

問31　お子さまの成長や将来について、親族や親せきと相談していますか。

【○は１つだけ】

頻繁に相談している	必要に応じて相談している	あまり相談していない	相談したことがない
1	2	3	4

問32　親族や親せき以外にお子さまの悩みを相談している人や場所をお答えください。

【○はいくつでも】

1．市役所の相談窓口
2．市役所以外の障害福祉の相談窓口
3．福祉施設の職員
4．職場や学校
5．病院や診療所
6．児童相談所
7．幼稚園や保育所の先生
8．民生委員・児童委員
9．社会福祉協議会の職員
10．障害者団体
11．友人や知人
12．その他（　　）
13．特にいない

問33　お子さまの生活に必要な情報を入手できていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	必要ない
【記入例】① 福祉サービス	①	2	3	4	5
① 福祉サービス	1	2	3	4	5
② 地域情報	1	2	3	4	5
③ 社会情勢	1	2	3	4	5
③ しゅみや楽しみ	1	2	3	4	5
④ 災害や避難	1	2	3	4	5

福祉サービス：利用できる福祉サービスや事業所に関する情報など
地域情報：お住まいの地域の自治会・町内会の情報など
社会情勢：東京都や日本国内のニュースなど
しゅみや楽しみ：お子さまが楽しめるイベントや活動に関する情報など
災害や避難：地震や火災、大雨などの災害情報やお住まいの地域での避難情報など

問34　福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

1．障害者のしおり（市が作成した冊子）
2．市の広報紙
3．市のホームページやSNS
4．都の広報紙やホームページ
5．その他の広報紙やインターネット、SNS
6．テレビ・ラジオ・新聞のニュース
7．障害者団体
8．学校や職場
9．障害福祉施設
10．病院・診療所
11．図書館の障害者向けサービス
12．民生委員・児童委員
13．自治会や町内会の回覧板
14．市内にある掲示板
15．家族や親せき
16．友人や知人
17．その他（　　）
18．特にない

福祉サービスについて

問35　西東京市の障害者総合支援センター「フレンドリー」を知っていますか。

【○は１つだけ】

知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことがない	知らない
1	2	3

問36　西東京市内にある次の福祉施設について知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用したことがある	知っているが 利用したことはない	知らない
【記入例】① 相談支援センター「えぽっく」	①	2	3
① 相談支援センター「えぽっく」	1	2	3
② 障害者就労支援センター「一歩」	1	2	3
③ 地域活動支援センター「ハーモニー」	1	2	3
④ 保谷障害者福祉センター	1	2	3
⑤ 地域活動支援センター「ブルーム」	1	2	3

問37　西東京市が実施している次の講座や事業などを知っていますか。

【○はそれぞれに１つずつ】

	知っている 利用・参加した ことがある	知っているが 利用・参加した ことはない	知らない 利用・参加した ことがない
【記入例】 ① 障害者サポーター養成講座	①	2	3
① 障害者サポーター養成講座	1	2	3
② ヘルプカード	1	2	3
③ 障害者スポーツ支援事業	1	2	3
④ 障害者水泳教室	1	2	3
⑤ ENJOY ニュースポーツ	1	2	3
⑥ ペアレント・メンター／ピアカウンセリング	1	2	3

【事業の説明】

障害者サポーター養成講座	障害のある人へのちょっとしたお手伝いができるよう、市民サポーターを養成しています。受講された方には、障害者サポーターであることを示す「バンダナ」や「キーホルダー」をお渡ししています。
ヘルプカード	障害のある人が携帯して、手助けが必要なときに周囲の人に示すカードです。
障害者スポーツ支援事業	市のスポーツセンターで、障害者スポーツ指導員や補助員がついて、スポーツレクリエーション活動を行っています。
障害者水泳教室	市のスポーツセンターで、水慣れから始め、水中での感覚などの体感を目指す水泳教室を行っています。
ENJOY ニュースポーツ	市内在住・在勤・在学の小学生から高齢者まで、障害のある人もない人も、気軽に参加し一緒に楽しめるスポーツ事業です。レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目まで、いろいろな軽スポーツを行います。
ペアレント・メンター／ ピアカウンセリング	障害のある児童を育てた経験のある保護者がその経験を活かして、同じような悩みや課題を持つ保護者の相談に乗り、一緒に解決策を考える相談相手になる事業です。

問38　お子さまは、次の障害福祉サービスを過去１年間に利用したことがありますか。
利用したことがあるサービスに○をつけてください。

【○はいくつでも】

福祉サービスの名称	サービスの内容
１．訪問系サービス	ヘルパーがホームヘルプや外出時の支援を行うサービス ※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、外出時の支援など
２．短期入所（ショートステイ）	在宅の障害のある方を介助している方が、病気などで介護できなくなった際に、障害者（児）が施設に短期間入所し、介護を行うサービス
３．相談支援	福祉に関する問題や介助者からの相談に対して、必要な情報や助言を行うサービス
４．児童発達支援	未就学児を対象に、日常生活の動作や集団生活への適応訓練などの支援を行うサービス （理学療法などの医療的管理下での支援を行う医療型児童発達支援も含む）
５．放課後等デイサービス	学校の授業終了後や学校の休校日に、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進のための支援を行うサービス
６．保育所等訪問支援	専門の支援員が障害児の通う保育所などを訪問し、対象の児童に対して集団生活への適応に向けた専門的な支援などを行うサービス
７．利用したことがない	

問39　お子さまの日々の暮らしに、福祉サービスの利用は必要ですか。

【○は１つだけ】

１．必要である	３．必要ない
２．今は必要ないが、いずれ必要になる	

【問40は問39で「１．必要である」と回答した方にお聞きします。】

問40　お子さまは、生活に必要な福祉サービスを十分に利用できていますか。

【○は１つだけ】

利用できている	まあまあ 利用できている	あまり 利用できていない	利用できていない
1	2	3	4

【問41 は問40 で「３．あまり利用できていない」「４．利用できていない」と回答した方にお聞きします。】

問41　必要なサービスを十分に利用できていない理由をお答えください。

【○はいくつでも】

１．自己負担が大きい	５．市内に利用したい事業所がない
２．定員がいっぱいで利用できない	６．自分に適したサービスがわからない
３．通うのが大変	７．サービスの利用方法がわからない
４．利用したい時間や時期と合わない	８．その他（　　）

【改めて全ての方にお聞きします。】

問42　今から２年後にお子さまが必要とするサービスは次のうちどれですか。必要になると考えられるサービスをお答えください。

【○はいくつでも】

１．訪問系サービス
２．短期間を施設で過ごすサービス（ショートステイなど）
３．保育所や学校などで集団生活をするために必要な能力を身につけるサービス
４．小学校や中学校、高校の放課後や長期休業期間に子どもを預けられるサービス
５．学校や施設（放課後等デイサービスなど）から帰宅するまでの空き時間を過ごせるサービス
６．その他（　　）
７．わからない

問43　地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。

【○はいくつでも】

１．避難所の場所がわからない	５．避難所で十分な医療的ケアが受けられない
２．災害や避難の情報の入手方法がわからない	６．障害の特性上、避難所にいることが困難
３．避難時に介助してくれる人がいない	７．避難所での他人とのコミュニケーション
４．助けを呼ぶための手段がない	８．その他（　　）
	９．特にない

西東京市について

問44　西東京市の障害児施策全般について、総合的に満足していますか。

【○は１つだけ】

満足している	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

【問45 はお子さまの意思を確認して回答をお願いします。】

問45　自分のお家以外に、西東京市内に居心地のいい場所はありますか。

１．ある	２．ない

【問46 は問45 で「１．ある」と回答した方にお聞きします。】

問46　その場所を具体的にお答えください。

【改めて保護者の方にお聞きします。】

問47　今後、障害者施策を進めていくにあたって、西東京市は特にどのようなことを充実させていけばよいか、お答えください。

【○はいくつでも】

1．障害福祉サービスなどの障害のある人への情報提供を充実させること
2．障害のある人の生活に関する相談体制を充実させること
3．市民の健康や安全に配慮し、事故や疾病による障害を予防すること
4．障害を早期発見し、早い段階でのリハビリテーションなどによって重度化を防ぐこと
5．一般市民が障害についての理解を深められるように交流を促進すること
6．障害のある児童に対する教育の機会や質を確保すること
7．障害のある人が働くための機会を創出すること
8．障害のある人が在宅で生活できるようにホームヘルパーなどのサービスを充実させること
9．障害のある人が利用しやすい民間の施設やお店が増えること
10．障害のある人が住みやすい住居や施設を確保・整備すること
11．障害のある人が文化・芸術活動やスポーツなどに参加しやすい環境を整備すること
12．家族などの介助者の負担を軽減するための支援を充実させること
13．地域のボランティア活動を充実させること
14．その他（　　）
15．不足していることはない

問48　最後にご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ～

西東京市　施設入所者に関する調査

調査ご協力のお願い

日頃から西東京市の健康福祉行政の推進に、ご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、障害のある方が住み慣れた地域の中で安心して生活ができるまちづくりを目指して、『第６期西東京市障害福祉計画・第２期西東京市障害児福祉計画』の策定を進めております。

計画の策定にあたっては、西東京市から施設入所支援の決定を受け、障害者支援施設に入所している方の状況を把握し、今後の支援の在り方などを検討することが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施させていただくこととなりました。

このアンケートに回答いただいた結果は統計的な処理を行います。事業所の回答が特定されないように情報保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 10 月

西東京市長　　丸山　浩一

記入にあたってのお願い

○ 封筒宛名の事業所の管理者の方によるご記入をお願いします。なお、管理者の方による回答が難しい場合は、代理の方がご記入ください。
○ 令和元年 **10月1日**現在でお答えください。
○ 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
また、設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、網掛けの指示にしたがってお答えください。
○ 記入された調査票は、令和元年 **10 月 27 日（日）**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。

【このアンケート調査についての問い合わせ先】
西東京市役所　健康福祉部　障害福祉課 障害者支援係（保谷庁舎）
担当：林
電話：０４２－４６４－１３１１（代表）　内線２２７１
０４２－４３８－４０３３（直通）

はじめに、本調査に回答していただく方のお名前などを記入してください。

１．貴事業所名	
２．ご記入いただく方の氏名	
３．連絡先	電話　　（　　） メール　　@

事業所の概要について

問１　貴事業所の主な対象者をお答えください。

【○はいくつでも】

１．身体障害者	４．重症心身障害者
２．知的障害者	５．その他（　　）
３．精神障害者	

問２　貴事業所の事業開始年度を和暦でお答えください。

【○は１つだけ、数字を記入】

１．昭和 ２．平成 ３．令和	＿＿＿＿ 年度から事業開始

問３　貴事業所が提供している施設入所サービスについて、それぞれの「定員」と 10 月１日現在の「実利用者数」をお答えください。利用者数については年齢別の人数と、西東京市が援護の実施者となっている利用者の内数についても記入してください。

【数字を記入】

定員	＿＿＿＿ 人

【利用者数】10 月 1 日現在

	年齢別							
	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
実利用者数全体								
内数 西東京市								

［人］

施設入所ニーズの変化について

問４　貴事業所が提供しているサービスへのニーズは直近の２年間でどのように変化していますか。

【○は１つだけ】

増えている	変わらない	減っている	わからない
1	2	3	4

問５　今後、利用者数の増加やニーズに対応していくために最も必要な対策をお答えください。

【○は１つだけ】

１．施設・設備整備への支援	４．利用者へのサービスに関する情報提供
２．人材の確保のための支援や情報提供	５．事業所運営に関する情報提供
３．職員研修のための支援	６．その他（　　）

問６　今後の事業継続について、どのように考えていますか。

【○は１つだけ】

１．事業を拡大する	３．事業を縮小する
２．現状維持	４．わからない

問７　今後、サービスを提供していく上での課題などをご自由にお書きください。

施設入所者の地域移行について

問８　過去５年間に貴事業所から地域生活へ移行された利用者はいますか。いる場合は人数についてもお答えください。

【○は１つだけ】

１．いる（　　人）	２．いない

【問９～11は問８で「１．いる」と回答した方にお聞きします。】

問９　地域生活へ移行された方の生活拠点についてお答えください。

【○はいくつでも】

１．家族や親戚の家	３．福祉ホーム
２．ひとり暮らし（一般の家）	４．グループホーム
	５．その他（　　）

問 10　地域生活への移行を進める上で工夫していることをお答えください。

【○はいくつでも】

１．本人への動機づけ	５．地域のボランティアとの連携
２．家族とのコミュニケーション	６．多様な関係機関との調整
３．相談支援専門員との連携	７．地域移行支援の申請のタイミング
４．医師との連携	

その他、工夫していることをご自由にお書きください。

問 11　地域生活への移行を進める上で課題となっていることをご自由にお書きください。

【改めて全ての方にお聞きします。】

問12　貴事業所の利用者で、西東京市が援護の実施者となっている方のうち、地域生活への移行を希望している方はいますか。いる場合はその人数もお答えください。

【○は１つだけ】

１．いる（　　人）	２．いない ⇒ 問15へ

【問13は問12で「１．いる」と回答した方にお聞きします。】

問13　地域生活への移行を希望している方のうち、実現できる可能性について、それぞれの人数をお答えください。

１．２年以内に実現できる（　　人）	３．わからない　（　　人）
２．５年以内に実現できる（　　人）	４．実現は難しい　（　　人）

【問14は問13で「１．２年以内に実現できる」か「２．５年以内に実現できる」と回答した方にお聞きします。】

問14　地域生活への移行先として想定している場所をお答えください。

【○はいくつでも】

１．西東京市	３．その他の地域
２．現在の施設がある地域	４．わからない

【改めて全ての方にお聞きします。】

問15　入所者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについてお答えください。

【○はいくつでも】

１．利用者本人のニーズ把握	７．福祉サービス事業者への引継ぎ
２．重症心身障害者の増加	８．医療機関との連携
３．利用者家族の高齢化	９．相談支援機関との連携
４．地域移行支援の認知度	１０．移行先の地方自治体との連携
５．移行後の利用者の収入確保	１１．地域における障害への理解促進
６．移行後の住まいの確保	１２．その他（　　）

事業所での取り組みについて

問16　貴事業所では障害者の虐待防止マニュアルを作成していますか。

【○は１つだけ】

１．作成している	４．考えていない・わからない
２．近々に作成する予定である	５．その他（　　）
３．今後、作成することを検討する（＿＿＿年まで）	

問17　貴事業所では障害者の虐待防止研修を実施していますか。

【○は１つだけ】

１．事業所（法人）自身で実施している	３．今後、実施や参加を行う予定
２．外部の研修に参加している	４．実施も参加もしていない

問18　貴事業所では利用者のニーズを把握するためにどのような取り組みをしていますか。取り組みの内容をご自由にお書きください。

問19　貴事業所は、以下の組織と連携した取り組みを行っていますか。

例）地方自治体（市）が実施するイベントに出店した
社会福祉協議会を通じた地域活動やボランティア活動に参加した
地域包括支援センターとのケース会議に参加した
介護福祉関連施設と協働したイベントを実施した
小学校へ出前講座に出向き、障害者理解のための普及啓発を行った

【○はそれぞれに１つ】

	連携している	ときどき連携している	あまり連携していない	連携していない
【記入例】① 地方自治体	①	2	3	4
① 地方自治体	1	2	3	4
② 社会福祉協議会	1	2	3	4
③ 地域包括支援センター	1	2	3	4
④ 介護福祉関係施設	1	2	3	4
⑤ 幼稚園･保育園	1	2	3	4
⑥ 小学校･中学校	1	2	3	4
⑦ 自治会･町内会	1	2	3	4
⑧ 地域の民間企業	1	2	3	4
⑨ 商店街･商工会	1	2	3	4

問20　日々支援やサービス提供の業務をしていく上で、差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。

【○は１つだけ】

ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない
1	2	3	4

問21　貴事業所が抱えている課題に対して、実施している取り組みがあればご自由にお書きください。

（例えば･･･親亡き後への対策、人材の確保や定着、地域との交流促進など）

～　質問は以上です。ご協力ありがとうございました。　～

令和元年度実施　西東京市の障害者福祉に関する調査報告書
令和　2　年　3　月

西東京市　健康福祉部　障害福祉課
〒188-8666　東京都西東京市南町五丁目６番 13 号（田無庁舎１階）
電話　042-464-1311（代表）　FAX　042-466-9666